配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ものづくりと環境		
科目キー	2800001001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　功雄 渡邉　正美	関根　泰	市橋　宏

副題

授業概要

ものづくり技術は豊かな社会の基盤であり、その開発は社会の発展に欠かすことができない。科学技術の原理を駆使し、いろいろな機能を有する素材からエネルギーにいたるまで物質の化学変換技術がその鍵となる。近年ではものづくりに関しては経済性ばかりでなく、環境に負荷を与えない持続可能で循環型の「ものづくり」技術がもとめられている。本講義では、最先端機能材料開発事例をはじめ、過去、わが国が経験した苦い過去でもある公害問題等にまなびつつ、環境に配慮した「ものづくり」のあるべき将来像を実例を引いて提示することを試みる。産業におけるこれからの考え方の柱となるグリーンテクノロジーの考え方とグリーンなプロセスの開発事例を学ぶことにより、研究者・技術者として身につけておくべき新技術開発における倫理観を滋養する。さらに、環境に配慮した「ものづくり」を推進するための、政策的、社会的、工学的考え方についても講義する。

シラバス

第1回　9月29日　炭素資源とエネルギー（1）20世紀のエネルギーと環境（関根　泰）
　炭素資源のこれまでとこれからの展望について概説する。その後、20世紀のエネルギーとして君臨した石炭の利用について振り返り、環境に配慮した今後の石炭利用のあるべき方向性について解説する。
第2回　10月6日　炭素資源とエネルギー（2）石油と天然ガスの時代（関根　泰）
　石炭にとって代わり主役となった石油、そして天然ガスについて、これまでの利用法と今後の展望について、環境、経済そして「ものづくり」の観点から解説する。
第3回　10月13日　炭素資源とエネルギー（3）環境調和型次世代エネルギー（関根　泰）　バイオマスや代替燃料合成、自然エネルギーなどについてその可能性、利点と欠点をまとめ、環境に調和した次世代のエネルギーがどうあるべきかを総括する。
第4回　10月20日　グリーンケミストリー（1）化学コンビナート（市橋　宏）
　化学工業は化学反応を利用して有益な化合物を製造する産業である。100％目的物のみを合成できる反応はまれなケースで、多くは副反応を伴い様々な化合物が出来てしまう。副生物を有効に利用するためにコンビナートが形成されている。化学会社では大量の化学物質が使われており、これらを環境と健康に配慮し安全に扱うためレスポンシブル・ケアと呼ばれる活動が行われている。いくつか例をあげて解説する。
第5回　10月27日　グリーンケミストリー（2）グリーンケミストリーの考え方（市橋　宏）
　将来に亘って持続可能な社会を作るためには、ものの製造からそれが使われて最終的に処分されるまでの全工程を通して「環境に対するやさしさ」を考慮する必要がある。化学ではものづくりの段階から地球環境への影響を考える「グリーンケミストリー」の考えが提唱さており、実践の段階に入っている。グリーンケミストリーが生まれるきっかけとなった背景を述べグリーンケミストリーの考え方を解説する。
第6回　11月10日　グリーンケミストリー（3）グリーンケミストリーの実践例（市橋　宏）繊維やフィルムなどとして広く使われるナイロン6ポリマーの原料であるε-カプロラクタムの新しい製造技術が2003年日本で工業化された。このプロセスは典型的なグリーンケミストリーの実践例で、これの開発にまつわる講師の経験を話す。
第7回　11月17日　研究開発型企業におけるものづくりR&D事例／機能材料：電子材料（1）（渡邉正美）
　デジタル素材などの機能材料産業は、資源が乏しいわが国が先導的な立場にある知識集約型産業群であり、現在、世界的に圧倒的なシェアを誇っている領域である。これらのR&Dにおける企業研究の実例を3回にわたって講述する。第一回目は、有機EL（エレクトロルミネッセンス）材料や導電性高分子などに代表される、近年発展が目覚しい有機エレクトロニクス材料全般について概説する。
第8回　11月24日　研究開発型企業におけるものづくりR&D事例／機能材料：電子材料（2）（渡邉正美）
　第二回目は、有機エレクトロニクスが拓く，新しいライフスタイルへの可能性に向かった動向を説明する。具体的には有機EL材料の実用化を中心に、有機デバイスの発展の経緯と今後の進む方向を述べ，併せてそれらを実現するサイエンス（技術）の進展と集約について述べる。
第9回　12月01日　研究開発型企業におけるものづくりR&D事例／機能材料：電子材料（3）（渡邉正美）
　第三回目は、無機エレクトロニクス材料全般を概説し、実用化の具体例として透明導電材料の開発について講述する。
第10回　12月08日　ものづくりと社会1（清水功雄）
　現代社会の物質社会の基盤となっている石油化学について概説し、産業構造や物質社会の問題点を指摘し、高度物質社会における精密合成化学への移行について理解する。
第11回　12月15日　ものづくりと社会2（清水功雄）

第12回　12月22日　ものづくりと社会3（清水功雄）　バイオテクノロジーと創薬・医療。　20世紀後半に始まった生物学革命とものづくりおよび環境への関連について講述する。
第13回　1月12日ものづくりと社会4（清水功雄）
第14回　1月19日　ものづくりと社会5（清水功雄）
第15回　日時は後日連絡　学力考査と解説

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ものづくりと環境		
科目キー	2800001001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　功雄 渡邉　正美	関根　泰	市橋　宏

教科書　教科書は使わない。

参考文献

評価方法　授業への参加、レポート、および試験を実施し、総合的に判断する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学技術と危機管理		
科目キー	2800001002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　武彦	中尾　康二	小川　雄二郎

副題

授業概要　科学技術の高度化は、現代生活の豊かさを向上させることに大いに貢献してきたが、その一方で、新たな社会問題や環境問題などを生み出しつつある。本講では、科学技術に伴う危機管理やリスクマネジメントの問題に焦点を結び、事例を通じて今後のあり方について考える。まず、建築・都市環境の災害現場を観察するところからはじめ、都市環境の危機管理システムについて考え、高度技術の危機管理を含むリスクマネジメントの方法論を探求し、急速に発展している情報・ネットワーク技術がもたらすセキュリティ上の問題点を展望する。

シラバス

第１部「リスクマネジメントの方法論」（村山　武彦）
1)公害・環境問題からみた危機管理問題
2)環境リスクの管理とコミュニケーション
3)高度技術から見た危機管理問題
4)危機管理のための基本的枠組み
5)危機管理と社会システム専門家の役割と市民参加

第２部「建築・都市環境の災害と危機管理」（小川　雄二郎）
1)都市と地震災害
「現代都市に及ぼす地震災害による被害と影響について、過去の災害事例をもとに紹介し、問題点を明らかにする」
2)都市の特徴と災害に対する脆弱性
「都市の成立過程を通して都市の災害に対する脆弱性を述べるとともに、具体的な脆弱性を把握する手法を述べる」
3)都市の防災性強化手法その１
「歴史的に取り組んできた都市を災害に対して強化する方策を江戸及び東京を事例として紹介し、また東海地震対策を行ってきた静岡県の事例を述べる」
4)都市の防災性強化手法その２
「現代都市を災害に対して強化する方策としての都市計画的手法を述べる」
5)国際的防災協力
「国際的な視点からの防災協力の現状を述べる」

第３部「情報ネットワークにおけるセキュリティ技術」（中尾　康二）
1)ネットワーク（インターネット）におけるリスク分析
2)リスク回避のためのセキュリティ対策：運用管理技術
　侵入検知システム、ファイヤーウォールなど
3)リスク回避のためのセキュリティ対策：暗号技術
4)ネットワークシステムのための危機管理：標準化動向

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	21世紀における科学技術と社会		
科目キー	2800001003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	長谷見　雄二 中村　真吾	山田　義雄 綾部　広則	村山　武彦

副題　国際協力・開発における科学技術の展望

授業概要　(財)経済広報センターから寄附講座の設置を要請された早稲田大学理工学部は、1997年度より4年間にわたって、「21世紀へ向けての科学技術政策」をメインテーマとし、講座を開講してきた。本講座は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS(Science、Technology、and Society)研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求していく。2007年度は、各国で開発が目覚しく進められている宇宙に関連した産業を対象とし、現状と展望を探ることとする。具体的には、ハードな側面としてのロケット・輸送システムや宇宙ステーション、有人宇宙開発の視点、ソフトな側面としての地球観測、通信、放送、衛星惑星探査の視点、そして、新素材開発や有人飛行、体験などの宇宙ビジネスの視点を検討した。また、2008年度は、ナノテクノロジーを中心としたテーマを掲げた。
2009年度は、国際協力や国際開発において我が国の科学技術が果たす役割を対象とする。政府開発援助(ODA)は1990年代において世界一のレベルであり、現在においても世界有数の資金を提供している。また、少資源国という立場からの国際協調も今後の産業発展において重要な課題である。そこで、インフラ整備、資源開発、計画・調査、環境技術支援、IT・ネットワークといったトピックのもと、講義全体を構成する。

シラバス
(1)オリエンテーション
(2)インフラ整備(1)　鹿島建設(株)
(3)インフラ整備(2)　電源開発(株)
(4)インフラ整備(3)　国際航業(株)
(5)資源開発(1)　石油資源開発(株)
(6)資源開発(2)　三菱商事(株)
(7)資源開発(3)　三井金属鉱業(株)
(8)計画調査(1)　日本工営(株)
(9)計画調査(2)　アイ･シー･ネット(株)
(10)環境技術支援(1)　JFEエンジニアリング(株)
(11)環境技術支援(2)　住友化学(株)
(12)環境技術支援(3)　東レ(株)
(13)インフラ整備(4)　(株)日立製作所
(14)まとめ

教科書

参考文献

評価方法　出席、定期試験による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際保健政策と科学倫理		
科目キー	2800001004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	町田　和彦	澤　良世	吉永　真理

副題

授業概要　日本の医療政策は世界の中でも特異的なものであることが認識され始めている。これまでの政策の評価は一概には言えないものの、現状のまま放置することが最悪な状況を導く可能性があることは否定できない。過去の状況を見つめ、また諸外国の現状を探りながら追究してことを本講の狙いとする。より具体的には、日本の医療政策の過去と現在に関して、その特徴を明らかにし、我々の生活にどのような影響を及ぼしたかを考える。また、日本の医療の現状を他の先進諸国と比較考察するとともに、米国の現状を紹介し、日本の取るべき進路を探る。

シラバス

09月29日吉永　真理健康の定義について、多様な健康観、病因論の存在について事例を通して説明しながら、考察する。
10月06日吉永　真理補完･代替医療について種類と概要を説明し、medical pluralismの意義について考える。
10月13日吉永　真理国際保健学分野と健康心理学の関わりについて、「疾病と心理」や健康行動とビリーフを取り上げて論じる。
10月20日吉永　真理国際保健分野におけるメンタルヘルスの諸問題について解説する。
10月27日澤　良世保健・健康をめぐる国際的な議論
11月10日澤　良世保健・健康に関するアフリカの現状
11月17日澤　良世先進工業国の保健・健康問題(DVDを中心に)
11月24日澤　良世HIV/エイズに対する国連の取り組み
12月01日澤　良世南部アフリカのザンビアの事例から
12月08日澤　良世ザンビアのエイズ問題(DVDを中心に)
12月15日澤　良世「人間の安全保障」と保健・健康
12月22日町田　和彦日本の医療とアメリカの医療の医療
01月12日町田　和彦日本の福祉と北欧の福祉
01月19日町田　和彦中国の医療と福祉

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	開発協力論		
科目キー	2800001005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大和田　秀二	成田　弘成	三井　久明

副題

授業概要　日本の国際貢献の目玉であるODA（対外援助協力）は、近年世界最高額を拠出しておりながら、それに見合った評価が得られていないのが現状である。当講座において、政府の援助政策策定の分析、技術開発と移転、そして開発と文化についてそれぞれの分野から、効率の高い、持続的開発と発展の姿を浮き彫りにして、これからの日本の国際協力の指針を探ってみる。また、技術移転に際して特に重要となる環境・資源問題に関して、その現状と問題点を紹介する。

シラバス

教科書　毎回，資料を配布する。

参考文献

評価方法　毎回の小テストおよび定期試験による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代経済の構造と変容		
科目キー	2800001006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	荒木　勝啓	太田　愛之	篠崎　武久

副題

授業概要　これまで理系の科目を主に勉強してきた諸君に我々を取り巻く経済環境ないし、経済構造をわかり易く講義する事で、今日の経済社会がどのような仕組みになっているか、われわれはその中でどのような生活をしていったらよいのかについて考えるきっかけを提供する事を目的としている。
国全体から経済を捉える国民経済の仕組みを、中心に複数の教員がそれぞれ分野を分担して講義する。

シラバス
第01回 (04月07日) 荒木勝啓:マクロ的視点よりみた国民経済の構造
第02回 (04月14日) 荒木勝啓:マクロ経済の乗数的拡大と縮小の仕組み
第03回 (04月21日) 荒木勝啓:IS-LM分析による経済政策の効果
第04回 (04月28日) 荒木勝啓:産業連関による国民経済の内部構造分析
第05回 (05月12日) 太田愛之:占領・復興期の日本経済
第06回 (05月19日) 太田愛之:ドッジラインから「日本独立」まで
第07回 (05月26日) 太田愛之:高度経済成長
第08回 (06月02日) 太田愛之:石油危機と安定成長
第09回 (06月09日) 太田愛之:バブルとそれ以後の日本経済
第10回 (06月16日) 篠崎武久:経済環境の変化と格差
第11回 (06月23日) 篠崎武久:格差をめぐる日本での議論
第12回 (06月30日) 篠崎武久:日本の所得格差 (1)
第13回 (07月07日) 篠崎武久:日本の所得格差 (2)
第14回 (07月14日) 篠崎武久:格差と貧困
第15回 (日程別途指示):学力考査および解説

教科書
太田愛之担当部分
太田愛之・川口浩・藤井信幸 (2006)、『日本経済の二千年』(改訂版)、勁草書房。

その他のテキストや参考文献については、教場にて適宜指示する。

参考文献

評価方法
期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	企業行動と経営		
科目キー	2800001007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樋口　清秀	小松原　聡	臼井　功

副題

授業概要

これまで理系の科目を主に勉強してきた諸君に我々を取り巻く経済環境ないし、経済構造をわかり易く講義する事で、今日の経済社会がどのような仕組みになっているか、われわれはその中でどのような生活をしていったらよいのかについて考えるきっかけを提供する事を目的としている。
「企業行動と経営」では企業社会の仕組みを中心に複数の教員がそれぞれ分野を分担して講義する。

臼井功担当部分の講義概要
ゲーム理論は現代日本の企業行動と経営における諸問題、特に次のような問題を考察する際に有効とされている。第6-9回では、ゲーム理論によってこれらの問題を考察する。
1）現在の多くの企業は寡占市場で活動している。そこでは各企業のマーケット・シェアはかなり大きく，その行動は互いに影響を及ぼしあうので，他企業の行動（反応）を意識する必要が生じる．このとき各企業はどのように行動するか？
2）日本的な経済・経営システムの特徴の一つとして長期的取引関係、すなわち、いわゆる終身雇用制、メインバンク制、日本的サプライヤーシステムなどがあげられている。これらはどのようなメカニズムによって支えられているか？

シラバス

第01回（09月29日）（小松原聡）：資本主義と株式会社
第02回（10月06日）（小松原聡）：株式会社の所有と支配
第03回（10月13日）（小松原聡）：企業システムの考え方
第04回（10月20日）（小松原聡）：コーポレート・ガバナンス問題
第05回（10月27日）（小松原聡）：企業の社会的責任と5回目までの講義の総括
第06回（11月10日）（臼井功）：寡占市場における囚人のジレンマ
第07回（11月17日）（臼井功）：クールノー・ナッシュ均衡
第08回（11月24日）（臼井功）：カルテルとカルテル破り
第09回（12月01日）（臼井功）：長期的取引関係と繰り返しゲーム
第10回（12月08日）（樋口清秀）：
第11回（12月15日）（樋口清秀）：
第12回（12月22日）（樋口清秀）：
第13回（01月12日）（樋口清秀）：
第14回（01月19日）（樋口清秀）：
第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

教科書　特に指定せず（小松原）

参考文献　特に指定せず（小松原）

評価方法　定期試験（90%）、平常点（10%）（臼井功）

備考　定期試験（90%）、平常点（10%）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	高齢化社会の設計		
科目キー	2800001009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	臼井　恒夫	増田　金重	大竹　登志子

副題

授業概要　総合科目「高齢化社会の設計」では、日本社会の高齢化の趨勢および現在の高齢者の生活実態をふまえて、将来に向けての健常な高齢者のライフスタイルの望ましいあり方ならび高齢者に対する看護・介護を検討する。次いで、老人保健福祉計画（いわゆるゴールド・プラン）の具体例を素材に用いながら、高齢者政策や高齢者福祉計画の一連の過程を考察し、高齢者のみでなくあらゆる世代の人々にとって望ましい高齢社会のあり方を展望する。

シラバス

第01回（10月02日）臼井恒夫：オリエンテーション
第02回（10月09日）臼井恒夫：日本の高齢化の現状とその特徴
第03回（10月16日）臼井恒夫：高齢化の要因
第04回（10月23日）臼井恒夫：高齢化の影響
第05回（10月30日）増田金重：介護保険制度の概要
第06回（11月13日）増田金重：在宅サービスその1
第07回（11月20日）増田金重：在宅サービスその2
第08回（11月27日）増田金重：施設サービス
第09回（12月04日）大竹登志子：人の一生（生からターミナルまで）
第10回（12月11日）大竹登志子：健康で文化的な生活環境と自己実現、社会との関わり（1）
第11回（12月18日）大竹登志子：健康で文化的な生活環境と自己実現、社会との関わり（2）
第12回（01月08日）大竹登志子：日本と諸外国の社会福祉の考え方と政策決定（1）
第13回（01月15日）大竹登志子：日本と諸外国の社会福祉の考え方と政策決定（2）
第14回（01月22日）大竹登志子：総合討議：生からターミナルまで（人の一生、健康で文化的な生活を営むためにはどうしたらよいのでしょう）
第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

教科書

参考文献　臼井恒夫担当部分
内閣府編『平成21年版 高齢社会白書』

大竹登志子担当部分
各回資料提示

評価方法　期末の学力考査。持ち込みは不可。

臼井恒夫担当部分
出席および学力考査によって評価する。

大竹登志子担当部分
各回、ミニテスト。最終日は口頭発表とレポート提出。

備考

関連URL:　臼井恒夫担当部分
http://www8.cao.go.jp/kourei/index.html

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会参加とボランティア		
科目キー	2800001010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浦野　正樹	海野　和之	菅　磨志保

副題

授業概要

本講義では、地域社会に根ざした住民運動から広範な参加形態をもつボランティア活動に至るまでの広がりをもつ〈市民の社会参加活動〉に焦点をあて、それらの活動の現代的な意義と可能性、また抱えている問題点等を、具体的な活動事例等も参考にしながら論じていく。なお、こうした社会参加活動の背後には、生活ビジョンや活動を支える価値理念が存在しているため、行政の守備範囲が生活者へのサービスにまで拡大するなかで、何らかの形で行政機能との接点をもち政治現象としても現れることになる。したがって，市民の自発的行為としてのボランティア活動は，個人としての生き方と深く関連するだけではなく，同時に社会制度と関わり社会変動を誘う政治的意味を帯びる場合も少なくない。
本講義では、こうした領域が大きくクローズアップされた阪神淡路大震災などの災害現象をとりあげ、なぜ現代社会においてボランティア活動やそれと関係するNPOなどの領域が注目を集めるのか問題提起をしたうえで、その背景にある社会参加の概念や住民による社会へのさまざまな取り組み・働きかけの時代的な推移を吟味していきたい。現代の地域に関わるさまざまなボランティア活動はそうした一連の過程のなかに位置づけることが出来よう。続いて、現代社会における「ボランティア」の諸相にスポットをあて、ボランティアやボランタリズム、日本型のボランティアの評価、ボランティアの現代的トレンドについて考察を加えていく。また、ボランティア活動を進めていくうえでのさまざまな問題点などにも授業のなかで言及していく予定である。

シラバス

浦野の担当するパートでは、講義全体の導入として、災害現象を手がかりにして、社会参加とボランティアの意義やその社会的役割について学習していく。参加の概念や参加のしくみの時代的な変化、住民運動の系譜のなかでのボランティア活動の位置づけ、現代における社会運動の意義などが論じられることになろう。
[第1回]社会参加とボランティア＜概説＞--導入（ボランティアの背後にあるもの）--
[第2回]社会参加の概念とその多様な形態・次元--住民ニーズが行政施策になるまで--
[第3回]＜参加概念＞と地域社会における住民の社会参加の系譜
[第4回]現代のボランティア活動1--災害対応、復旧支援をめぐって--
[第5回]現代のボランティア活動2--災害復興支援と脆弱性の克服をめぐって--

海野の担当するパートでは、現代社会における「ボランティア」の諸相にスポットをあてる。おおよその展開としては、ボランティアやボランタリズムをどう分析するか、日本型のボランティアをどう捉えるか、ボランティアの現代的トレンドをどう評価するか、ボランティア・セクターの役割をどう位置づけるか、といった流れを想定し、人間科学および社会科学の諸領域から関連する知見を紹介する。
[第6回]ボランタリズムとボランティア
[第7回]日本社会とボランティア
[第8回]現代におけるボランティア活動の広がり
[第9回]ボランタリズムの発展と展開

菅の担当するパートでは、まず無償を前提としていたボランタリーな活動が、社会的な役割を自覚し、「市民活動」という概念を提唱して、新たな活動実態を創出していった経緯について概観する。そして、従来のボランティア活動と比較しながら、NPOによる活動の特徴について考察する。また、ボランタリーな人々によって運営される組織が抱えやすい問題や、そうした問題を解消するためにどのような社会的施策（社会基盤整備）が必要であるのか等についても考察していく。
[第10回]ボランティア活動から市民活動・NPOへ＜概念の広がりと実態＞
[第11回]NPOとは何か--第3セクターを構成する新たな社会的主体
[第12回]ボランティア・市民活動の基盤整備1
（ボランティア・市民活動は、なぜ支援が必要なのか／どんな支援が必要なのか／
日本におけるボランティア・市民活動の基盤整備の経緯）
[第13回]ボランティア・市民活動の基盤整備2
（ボランティア活動推進機関とNPOサポート／市民活動・NPOを支える機関の創設／
ポスト・NPO法の市民活動・NPOの実態の変化と今後の課題 ）

全体を再度まとめるかたちで
[第14回]社会参加とボランティアをめぐる争点―災害活動をめぐって--
[第15回]理解度のチェックと解説--ボランティア活動をめぐる論点--

教科書

大矢根・浦野・田中・吉井編『災害社会学入門』弘文堂
菅磨志保・山下祐介・渥美公秀編著『災害ボランティア論入門』弘文堂

参考文献

教科書以外の参考文献については、教場及びコースナビ上などにおいて適宜指示する。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会参加とボランティア		
科目キー	2800001010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

評価方法　授業への出席（コースナビへの書込で提出扱いとする予定）と途中1回のレポート提出で足きりをしたうえで、それらの評価（50%）と最終試験の成績（50%）を加味して評価する。

備考　授業日時は、前期木曜日4限（4月9日、16日、23日、5月7日、5月14日は浦野担当、
5月21日、28日、6月4日、11日は海野担当）であるが、菅磨志保講師の担当の4回
分については1回分のオンデマンド授業と、6月20日（土）3-5時限に開講する集中
授業形式により行う。（教室は52号館204教室を使用する。）

その他、7月9日（木）は通常通り授業を行い、全体のまとめ及び試験に向けての注意事項の伝達などを行う予定である。
とくに、土曜日集中講義の授業日、及び7月9日（木）の授業スケジュールについては、不測の事態により変更することもあり得るので、コースナビ上のお知らせ機能に充分注意し指示に従うこと。なお、これら授業の一部をオンデマンド授業のかたちで行うとともに、BBSでの書き込みが必須なので、日ごろからコースナビを充分みておく必要がある。

関連URL:　http://www.waseda.jp/sem-muranolt01/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	変革期の社会と心理		
科目キー	2800001011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　道子	星野　朝子	川村　晃司

副題

授業概要

清水道子担当部分
消費意識や行動の変化、ビジネスの変化―これまでと　これから―
大きな経済環境の変化の中で、消費者の意識や行動にも、新たな変化が起こっている。消費者の変化をどう把握するかの視点を持ち、ビジネスがそれにどう対応しようとしているかを具体的なケースから理解する。

シラバス

第01回（04月07日）川村晃司：ジャーナリズムは心理学は？ジャーナリズムとはなにか
第02回（04月14日）川村晃司：ジャーナリズムの真理と心理について具体的ケースをもとに
第03回（04月21日）川村晃司：世論調査の心理的背景
第04回（04月28日）川村晃司：メディアの政治利用と公共性
第05回（05月12日）川村晃司：一極集中報道を見抜く心理の必要性
第06回（05月19日）川村晃司：表現の自由を守るための心理構造とは
第07回（05月26日）星野朝子：マーケティングとは何か。変革期における企業のあるべきマーケティング概念
第08回（06月02日）星野朝子：市場をどのように理解するか。商品企画プロセスとリサーチプロセスについて
第09回（06月09日）川村晃司、星野朝子、清水道子：コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回（06月16日）星野朝子：具体的な商品企画事例の説明。日産自動車のキューブの開発事例より
第11回（06月23日）清水道子：「消費者リードの時代」の変化
第12回（06月30日）清水道子：消費を　お金、情報、時間の軸で把握する
第13回（07月07日）清水道子：これからの変化を生む「磁石」となるいろいろな現象
第14回（07月14日）清水道子：グローバルな視点、ローカルな視点
第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

教科書

参考文献

評価方法

期末学力考査（必ず実施）

川村晃司担当部分
各授業の回に随時レポートの提出を要請することがある。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	高度情報社会における人間関係		
科目キー	2800001012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	安田　孝	石倉　義博	佐野　秀典

副題

授業概要

安田孝担当部分の講義概要
高度情報化により，我々が接する情報量は飛躍的に増大している。こうした中で，我々が情報に接する態度と，情報処理・伝達の仕組みについて理解しておくことは重要であると言える。情報に接した際の人間の振る舞いについて，我々個人が持つ特性，集団となった場合の特性，情報を提供する側の戦略，インターネット普及における人間心理や行動の変容について解説を行う。

佐野秀典担当部分の講義概要
世界的規模で加速している高度情報社会は、私たちの人間関係にさまざまな影響を与えている。本講座では高度情報社会と人間関係について、精神医学的観点から講義を行う。人格・性格とは何か、人格間の関係とは何か、社会と個人の関わりは今後どうあるべきなのか。これらの基本的事項の理解をした上で、長時間情報と接するものに起こりやすい、コミュニケーション上のトラブル、メンタル障害や対人関係障害などについて分かりやすく解説する。

石倉義博担当部分の講義概要
コンピュータやインターネットに代表される情報メディアが普及した現在では、多くの人々がさまざまな情報機器、情報メディアをあたりまえのものとしてコミュニケーションツールとして自然に利用している。しかし、それらが従来の社会関係を変容させるものであるという意見もいまだに根強い。本講義においては、情報メディアを媒介とした社会との関わり、コミュニケーション形式について、情報メディア普及以前のものとの比較しつつ、解説を行なう。

シラバス

[第01回] 09月29日 (安田孝):コミュニケーションと自己提示
[第02回] 10月06日 (佐野秀典):高度情報社会とメンタルヘルスの関係
[第03回] 10月13日 (安田孝):集団と影響
[第04回] 10月20日 (佐野秀典):IT関係者に多いメンタル疾患とトラブル
[第05回] 10月27日 (安田孝):ステレオタイプ
[第06回] 11月10日 (安田孝):依頼と要請方略からの影響
[第07回] 11月17日 (佐野秀典):個人と社会の関係性
[第08回] 11月24日 (安田孝):非対面状況におけるコミュニケーション
[第09回] 12月01日 (佐野秀典):高度情報社会と人間関係のありかた
[第10回] 12月08日 (石倉義博):情報メディアとネットワーク行動
[第11回] 12月15日 (石倉義博):参加型メディアとコミュニケーション
[第12回] 12月22日 (石倉義博):匿名性とコミュニケーション
[第13回] 01月12日 (石倉義博):メディアへの感受性の変化
[第14回] 01月19日 (石倉義博):インターネットと公共性
[第15回] 日程別途指示:学力考査および解説

教科書

参考文献

佐野秀典担当部分
授業時に講義資料を配付

評価方法

定期試験（定期試験の成績による）

備考

関連URL:

佐野秀典担当部分
http://www.md-net.co.jp/
その他の関連情報は講義資料の

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ストレスと自殺		
科目キー	2800001013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂田　成輝	膳場　百合子	奈良　元壽

副題

授業概要

「現代はストレス社会である」「ストレス性の疾患」などストレスという用語は日常的に頻繁に使われている。誰にでもストレスはあるものだと，殆どの人が認めるであろう。それでは，ストレスとは一体何であるのか，と問われて具体的に説明できる人はどれだけいるであろうか？具体的に説明できなければその対処も難しい。
学術研究の分野でストレスが初めてテーマとして取り上げられたのは1930年代であった。その後，生理学，医学，社会学など幅広い分野で研究テーマとして取り上げられていく中で，心理学的アプローチの必要性が指摘されようになった。
そこでこの講義では，まず心理学の立場からストレスを解説し，実際に受講生のストレス状況を調査しその結果を踏まえてストレスとは如何なるものか，理解を深めていきたい。その上で、ストレスの延長線上にある、もっとも深刻な社会問題である自殺について取り上げる。人はどうして自殺をするのか，自殺をくい止めるにはどのような方法があるのか，精神医学的な立場から考えていく。最後に、人をストレスから守る社会的な環境について取り上げる。対人的な支え合いが人の心身の健康をいかに促進しうるか、社会心理学的な研究に基づいて考えていく。

シラバス

第01回（4月09日）坂田成輝　ストレスと心理的機能：知覚・認知・情動の作用について
第02回（4月16日）坂田成輝　ストレス・モデル１：心理学的アプローチによるストレス・モデル
第03回（4月23日）坂田成輝　ストレス・モデル２：心理学的アプローチによるストレス・モデル
第04回（5月07日）坂田成輝　ストレス・モデル３：心理学的アプローチによるストレス・モデル
第05回（5月14日）坂田成輝　ストレスと問題行動
第06回（5月21日）奈良元壽　我が国における自殺の現状
第07回（5月28日）奈良元壽　自殺とストレスとメンタルヘルス（1）
第08回（6月04日）奈良元壽　自殺とストレスとメンタルヘルス（2）
第09回（6月11日）奈良元壽　自殺と危機介入、行政・企業の取り組み
第10回（6月18日）膳場百合子　対人関係と健康
第11回（6月25日）膳場百合子　人間関係の広さと親密さと心理的な健康
第12回（7月02日）膳場百合子　ソーシャル・サポートが心身の健康を維持・促進するメカニズム（1）
第13回（7月09日）膳場百合子　ソーシャル・サポートが心身の健康を維持・促進するメカニズム（2）
第14回（7月16日）膳場百合子　現実の社会的場面でのソーシャル・サポートの効果
第15回（日程別途指示）　定期試験

教科書

参考文献

評価方法

定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	依存症と社会		
科目キー	2800001014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	安田　美弥子	松本　桂樹	膳場　百合子

副題

授業概要

医学的な依存症の代表であるアルコール依存においては、その問題は単一ではなく、身体依存、精神依存、身体的障害、社会的障害と多岐にわたる。さらに、その背景としては、依存を成立させているイネイブラーとよばれるパートナーの存在（社会的要因）が指摘されている。他にも、依存と関連を持った医学的病態としては、下剤などの薬物乱用、一部の摂食障害などもあげられる。

このように、依存の構造は、単に原因物質（薬物）によるのみでなく、プロセス依存、人間関係性依存、が複合的・連鎖的に関与し複雑な構造をもつ。かかるがゆえに、依存を克服することは、容易ではなく、医療の限界も自ずと存在する。

そして広義の依存としては、ギャンブル依存、買い物依存、ネット依存など様々な状態が認められている。

講義では、まず依存症の種類とその生理的、心理的、社会的な要因を概観し、次に依存症の代表であるアルコール依存についてより詳しく見ていく。そして最後に、依存症をとりまく家族の問題を取り上げ、複眼的視点から依存症について考えていく。

シラバス

第01回（10月01日）膳場百合子　依存症とは（症状の種類・原因・自他への影響）
第02回（10月08日）膳場百合子　物質への依存
第03回（10月15日）膳場百合子　対人的な依存
第04回（10月29日）膳場百合子　プロセスへの依存
第05回（11月05日）膳場百合子　コントロールを失った人への社会の反応
第06回（11月12日）松本桂樹　アルコール依存症の基礎知識チェック
第07回（11月19日）松本桂樹　アルコール依存症の専門治療の実際
第08回（11月26日）松本桂樹　アルコール依存症の予防対策
第09回（12月03日）松本桂樹　アルコール依存症と自殺
第10回（12月10日）松本桂樹　勤労者のアルコール問題対応
第11回（12月17日）安田美弥子　健康な発達課題と依存症家族のこどもの問題（アダルトチャイルド）
第12回（01月07日）安田美弥子　アルコール依存症とその家族の病理（映画による）
第13回（01月14日）安田美弥子　映画の解説と家族の病理
第14回（01月21日）安田美弥子　依存症者の配偶者の病理（共依存症）
第15回（日程別途指示）定期試験

教科書

特に指定しない

参考文献

世良守行・米沢宏・新貝憲利（2002）「アルコール依存症の治療と回復」東峰書房
安田美弥子（1998）「愛情の病理・共依存症」太陽出版

評価方法

定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学技術とコミュニケーション		
科目キー	2800001015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中島　誠一		

副題

授業概要

時代を追って急速に進化する科学技術により、人類の英知は限りなく高度なレベルに到達しつつある。しかしその科学技術は専門化し、先端にいる一部の人だけのものになる傾向がある。科学技術によって得られる知識を人類共通の知恵とし、その集大成である文化としてゆくためには、最先端の科学者と大衆をつなぐ作業、すなわち両者間のコミュニケーションが最重要課題となる。

科学技術にたずさわるものは自らの研究開発を進展させるために、その内容や成果などを必要とされる場で表現し、伝えなければならない。そればかりでなく、研究や開発に対する社会の問題提起や要請を自らの活動に反映させ、社会のために役立て、文化を育んでいくことが求められる。

授業では、コミュニケーションの基本とその重要性、メディアの機能と役割、科学技術とコミュニケーションの現状など基礎知識を学ぶ。そのうえで科学技術者として必要なコミュニケーション・スキルについて自覚することを、第一の目標とする。

さらに科学技術ジャーナリズムに積極的な関心を持ち、コミュニケータあるいはジャーナリストとして必要とされる高度なコミュニケーション能力について理解することを、第二の目標とする。

シラバス

(1) コミュニケーション概論
コミュニケーションとはなにか。その発達と役割を知り、基本を理解する。「発信する人材育成プログラム『ん？！からはじめる自己活性化』」について解説し、演習を開始する。演習は教材とする。
(2) コミュニケーションとメディア
コミュニケーションの媒介物であるメディアの種類を知る。そのうえでそれぞれの役割を学ぶ。
(3) メディアの機能とその進化
メディアの種類別に機能を分析し、科学技術が寄与して発展を続けるメディアの近未来を予測する。
(4) メディアと表現
メディアの種類ごとに、異なった表現がされることを知る。メディアの両側に人が居ることを理解し、メディアごとの最良の表現法について考える。
(5) メディアの諸問題
力の大きさゆえに起きる、メディアによる各種の問題や事件を分析する。なぜそのような問題や事件が発生するかを考察し、対策を考える。
(6) マスメディアと大衆
マスメディアが伝える情報に操作される大衆を実例で知り、「事実」とは何か、「報道」の責任、「世論」の意味などを考える。
(7) 科学技術とコミュニケーション概論
科学技術コミュニケーション史を説き起し、科学技術リテラシーの重要性を考える。大衆が置かれた情報環境を認識し、そのうえで今の科学技術は何をどのように伝えるべきなのかを考察する。
(8) コミュニケーションから考える科学技術と社会
科学技術を伝えるメディアの現状を学ぶ。そのうえで、科学技術の発展に必要な組織、制度、評価、情報公開などの仕組みを考える。
(9) 科学技術コミュニケーションと危機管理
「人間は間違うもの、機械は壊れるもの」。フェールセーフの概念がコミュニケーションにおいても重要であることを学ぶ。また、危機管理を念頭においたマスメディアとの対応についても考察する。
(10) 科学技術者とコミュニケーション
社会がコミュニケーションという潤滑油で動いていることを再認識し、科学技術者かつコミュニケータたることを探る。さらにコミュニケータとして必要な資質について演習を交えて体得する。
(11) 科学研究プレゼンテーション
科学研究、技術開発に大衆の理解と支持が前提であり、研究費や開発費の獲得にもプレゼンテーション能力が問われることを理解する。さらに演習により、よりよいプレゼンテーションについて知る。
(12) 科学技術ジャーナリズム
ジャーナリズムの持つ「新しきこと」「珍しきこと」「面白きこと」への渇望は、時にセンセーショナリズムに化ける。これは科学技術ジャーナリズムにおいても同様である。よりよい科学技術ジャーナリズムのあり方について考察する。
(13)　科学技術ジャーナリスト
科学技術ジャーナリストに求められる資質を知り、自らをそれに合わせて分析する。そのうえで自分に足りない資質を補う方法を得る。
(14) まとめ
授業を通じて実施した、「発信する人材育成プログラム『ん？！からはじめる自己活性化』」の効果を測定する。科学技術者としての自覚と、コミュニケーションへの理解のバランスを確認する。
(15) 授業理解の個別確認。確認方法は授業中に指示する。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学技術とコミュニケーション		
科目キー	2800001015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

教科書　教材は授業ごとに必要なものを配布する。

参考文献　参考書:「触覚メディア」中島誠一 (1999)インプレス。資料等は授業で配布する。

評価方法　レポート(実習、演習)・平常点(出席状況)

備考　授業では自ら感じ、自ら考えることをモットーとして、学生、教師ともに真剣な研究考察を行いながら成長する。このため、授業を阻害する要素は基本的に排除する。
【担当教員連絡先等】
中島　誠一　say@aoni.waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プレゼンテーションスキル		
科目キー	2800001016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐川　健太郎		

副題

授業概要

学生・社会人を問わず、また理工系・文科系を問わず、研究者は、自らが関わる研究やプロジェクトについて、学会はもとより多様な場面において、多様な人々に「発表する、伝達する、説得する、共感してもらう」等々の機会があります。リアルな場面で、それを行うことを通常「プレゼンテーション」と呼びます。その機会は、近年、急増しています。情報社会が進展すればするほど、リアルな場面でのプレゼンテーションが増えているのは、まさにリアルなコミュニケーションの重要性が増していることを意味しているでしょう。

では、プレゼンテーションがうまい、とは一体どういうことなのでしょうか。それは単に表面的な技法やテクニックの問題ではありません。自らの言いたいことを相手に的確に伝えるために、自らの考え方を整理するという思考法の側面もあれば、それを端的に表現するコンセプトワークや論理的に構成するといったこともあります。また、相手の欲するものに応える解釈力の側面もあります。さらに、相手に驚きをあたえるエンターテインメントの側面もあれば、それを可能にする想像力や、センスの良い資料を作成するデザイン感覚も求められるでしょう。

本科目の狙いは3つあります。第1は、プレゼンテーションを価値あるものとするために必要な基本的な考え方の習得です。すなわち、プレゼンテーションの考え方、コンセプトワーク、 思考法等々を包含した一種の「知識論、表現論」として講義を行います。狙いの第2は、実際にプレゼンテーションを効果的・魅力的に行えるような実践力の習得です。多様なプレゼンテーションの機会に対応ができるように繰り返し演習を行います。なお、プレゼンテーションのテーマとして、受講生自らの抱える課題(自己紹介から理工学部の卒業研究の研究構想まで)を取り上げる予定です。第3の狙いは、プレゼンテーションを効果的・効率的に行うための思考法の習得です。自らの頭を整理できなければ、相手は理解や共感が得られないからです。

そこで、本科目では、実践的なドリルやワークショップを通じて、プレゼンテーションの考え方と実践スキルを学びます。なお、本科目は10-12月隔週7週の土曜1-2時限集中で行います。集中講義期間を通じて個人課題と実際の発表をワークショップ形式で繰り返しますので、受講生の学習負荷はそれなりに大きいと覚悟しておいてください。

シラバス

第1回　10／3(土)
(1)オリエンテーション:プレゼンテーションの考え方
(2)ショートプレゼンテーション実践(グループセッション)
(3)プレゼンテーションの意味
第2回　10／17(土)
(4)紹介のプレゼンテーション
(5)プレゼンテーションのアウトライン
(6)個人課題発表と討議(クラスセッション)
第3回　10／31(土)
(7)プレゼンテーションの資料と表現
(8)個人課題発表と討議(クラスセッション)
第4回　11／14(土)
(9)説得のプレゼンテーション
(10)個人課題発表と討議(クラスセッション)
第5回　11／28(土)
(11)プレゼンテーションの論理と構成
(12)個人課題発表と討議(クラスセッション)
第6回　12／12(土)
(13)共感のプレゼンテーション
(14)個人課題発表と討議(クラスセッション)
第7回　12／19(土)
(15)個人課題発表と討議(クラスセッション)
(16)まとめとリフレクション
(ただし、受講生の人数・レベル・進度等を勘案して内容・進め方を変更する可能性があります)

教科書

・妹尾堅一郎『考える力をつけるための「読む」技術』(ダイヤモンド社)
その他、必要に応じて、ハンドアウツを配布。また適宜参考図書を紹介します。

参考文献

評価方法

成績評価方法:　(1)授業への参画度:60%、
(2)個人課題のプレゼンテーションパフォーマンス:20%
(3)個人課題の資料等ペーパープレゼンテーション:20%
上記の3点を合計し、下記の基準によって成績評価を行います。(学力考査は

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プレゼンテーションスキル		
科目キー	2800001016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義（後期）	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	１年以上

実施せず、授業と提出課題にて評価を行います）
Ａ＋：100%−91%、Ａ：89−80%、Ｂ：79%−70%、Ｃ：69%−60%　Ｆ：60%未満（不合格）

備考

★履修上の注意：（必要とする予備知識）　受講前に特に知識は必要ありません。
ただし、各自がPCによるデジタルプレゼンテーション（マイクロソフト・パワーポイント使用）を作成実施して頂きますので、最低限のPCリテラシー・操作はできるものとして授業を行います。

★備考（出席）：
全７回（１５コマ）の出席を前提にします。毎回発表があるので、原則として欠席は認めませんので、注意してください。

★公開メールアドレス
sagawa@rp96.co.jp　佐川健太郎

★教室は、「６３号館３階コンピュータールームＡ（Ｂルームから変更(09/08/26更新）」にて実施

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際公共政策		
科目キー	2800001017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山川　宏	三友　仁志	山名　早人
	松山　泰男	福田　耕治	藤井　慎太郎
	森　康晃	齊藤　修	

副題　技術開発やビジネス、社会において問われる公共性について、政治、技術、芸術、経営などの多様な分野と国際的な視点から論じる

授業概要

21世紀に入り、我が国における少子高齢化や、国際的な環境、資源・食料の供給構造の脆弱化、情報化社会のさらなる進展と、遺伝子ゲノム情報問題など、さまざまな問題が錯綜し、山積している。

本講義においては、経済社会、文化や科学技術と公共性の問題について、複数の教員によって、文理融合の観点から、幅広い視野に立った論点を、欧米、アジアなどの国際比較も交え、実践、経験に基づいて明らかにしていく。また、国際的な活動を展開する代表的な企業から、企業活動と、環境、社会とのつながりについてケースとしてCSR（企業の社会的責任）のご専門のゲストスピーカーのお話もいただく予定である。

本講義によって、研究者・技術者ならびに技術経営や知財などのマネジメント人材として、経済社会、文化や科学技術と公共性の問題について考察する基礎を身に付けることを目標とする。

シラバス

01．04／08　オリエンテーション　（山川 宏　創造理工学部教授・学部長）
02．04／15　EU･欧州国際公共政策と科学技術（福田耕治　政治経済学部教授）
03．04／22　知的財産と公共性の関係（森康晃　創造理工学部教授）
04．04／29　データベースにおける公共性（山名早人　基幹理工学部教授）
05．05／13　ゲノム情報処理と専有性，そして関連する国際的視野について
（松山泰男　創造理工学部教授）
06．05／20　国土形成と公共性（斎藤修　高等研究所　助教）
07．05／27　ケース1（森、マイクロソフト 業務執行役員　ジェイムス　J．フォスター氏）
08．06／03　国際環境政策（三友仁志　大学院国際情報通信研究科兼創造理工学部教授）
09．06／10　ケース2　スウェーデンの公共政策　（森、スウェーデン大使館カールソン科学技術参事官）
10．06／17　ケース3　（森、オムロン株式会社　取締役室顧問）
11．06／24　ケース4　（森、ソニー株式会社CSR部統括部長　冨田秀実氏）
12．07／01　「遊び」としての芸術の公共性（藤井慎太郎　文学部教授）
13．07／08　ケース5　グローバル教育と知的財産（森）
14．07／15　講義内容の確認・質問　（森）
15．（日程別途指示）学力考査及び解説

(注)ケース1から5までは、国際的に公共政策の先進国と評価されてきたスウェーデン等の北欧諸国の大使館科学技術担当官や、グローバルな企業の代表としてソニー、マイクロソフト、オムロンなどのCSR（企業の社会的責任）活動の、現況と課題について貴重なお話をうかがう。

教科書

参考文献

評価方法　定期試験をベースに出席状況と各授業終了時に提出するアンケートを加味して評価を行う。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業社会のメンタルヘルス		
科目キー	2800001018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡部　卓	小林　祐一	佐藤　陽

副題　職場ストレスの理解と改善を目指して

授業概要

【渡部担当分の講義概要】

職場のメンタルヘルスの悪化が社会的に関心を集め懸念されている。自殺という問題や生産性の悪化などが顕在化し経営課題ともなっている。またメンタルヘルスは学校、家庭、自治体、地域社会の課題でもある。本講座では職場のメンタルヘルス問題の理解とその対策を心身健康の視点のみならず、企業と社会、家族、人と組織の関係性、心身医学、ストレス・マネジメント、ワークライフバランス、コミュニケーション、モチベーション、キャリアなどの多彩な見地からその原因への考察を行い最新の対策を多面的に考察していく。

近年学生も不安やストレスを抱えている比率がたかまっているので日頃のストレスに負けない生活や考え方などにも学生同士のグループディスカッションなども取り入れて講義を進める。

【佐藤担当分の講義概要】

約10年間、新聞記者として「職場のメンタルヘルス」を取材してきた経験から、感じたこと、伝えたいこと、記事に書けなかった取材の裏話をお話したいと思います。私は、小林先生、渡部先生と違い、メンタルヘルスの専門家ではありません。逆に、外の人間だからこそ見えることをお伝えできるのでは、と思います。

具体的には、会社員の過労自殺や過労死が減らない「過労社会」の実態、大手企業100社メンタルヘルス対策アンケートから見えてきた「心の病への偏見」、その偏見を減らすためのメディアの役割、30代に増える心の病、自身が心の病を経験し見えてきたこと――などをお話する予定です。

メンタルヘルスの問題は、身近にそういう人がいない限り、「他人事」と考えがちです。しかし、世界同時不況によるリストラや成果主義の導入で職場の環境が悪化する中、うつ病になる会社員は増えています。自分自身が、自分の家族や友人が、いつ心の病になってもおかしくありません。私の講義をきっかけに、メンタルヘルスに少しでも関心を持って頂ければ幸いです。

なお講義は、私からの一方通行でなく、グループディスカッションなども採り入れた「双方向」の授業にしたいと考えております。ですので、講義ではみなさんの活発なご意見やご質問をお待ちしております。私は「教えるプロ」ではありません。講義へのご批判も遠慮なく聞かせて下さい。

【小林担当分の講義概要】

職場において、メンタルヘルス不調を訴える社員が増加している。現在では、うつ病は、特定の病気の素因をもつ人の問題ではなく、誰もがストレスによってうつ病などのストレス関連疾患を発症すると言われている。本講座では、ストレスとは何か、また、そのストレスによって発症するストレス関連疾患とは何かを論じる。さらに、職場のメンタルヘルスケアとしては、産業医（医師）を中心として健康管理体制が重要であり、上司、人事、主治医との連携ネットワークの重要性を学ぶ。また、昨今の話題として、過重労働による健康障害として、過労死、過労自殺の概要を学ぶ。

一方、ストレスへの気づきとして、交流分析理論を用い、自分の行動パターンをグラフ（ミニ実習）に描き、客観的に自己を見つめ、セルフコントロールにつなげる。また、社会人基礎力及びコミュニケーションスキルの向上により、メンタルヘルス不調の予防効果が期待でき、その導入として、コミュニケーションゲームを利用して、楽しくコミュニケーションを学ぶ。

最後に、心理学、医学的な観点から、食事、栄養、運動、モチベーションなどに関する基礎知識を学び、ビジネスア

シラバス

第01回（4月07日）オリエンテーション　産業社会とメンタルヘルス（渡部　卓）
第02回（4月14日）私の「心の病」体験（佐藤　陽）
第03回（4月21日）「過労社会」の実態（佐藤　陽）
第04回（4月28日）企業の対策と個人の対処法（佐藤　陽）
第05回（5月12日）キレやすい社会（佐藤　陽）
第06回（5月18日）職場のコミュニケーション問題（渡部　卓）
第07回（5月26日）新入社員のストレス問題と対策（渡部　卓）
第08回（6月02日）森林やリゾートを活用したストレス対策（渡部　卓）
第09回（6月09日）日米中の大学におけるうつ対策（渡部　卓）
第10回（6月16日）職場のメンタルヘルスケア（1）-ストレスとストレス病とは何か-（小林　祐一）
第11回（6月23日）職場のメンタルヘルスケア（2）-産業医の役割、過労死と過労自殺-（小林　祐一）
第12回（6月30日）交流分析-自分の行動パターンをグラフでみる-（小林　祐一）
第13回（7月07日）社会人基礎力とコミュニケーション-楽しくコミュニケーションを学ぶ-（小林　祐一）
※第12回及び13回講義の30分間は時間の都合によって「職場のメンタルヘルスケア補足」及び「リスクマネジメント」を入れたいと思います。
第14回（7月14日）ビジネスアスリート-心と身体のセルフコントロール-（小林　祐一）
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　特に指定しない

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業社会のメンタルヘルス		
科目キー	2800001018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

教科書

参考文献　『部下を「会社うつ」から守る本』（大和書房）渡部卓（著）
『会社のストレスに負けない本』（大和書房）渡部卓（著）
『メンタルヘルス対策の実務と法律知識』（日本実業出版社）前田陽司・河下太志・渡部卓（著）
『ワークライフバランス社会へ――個人が主役の働き方』（岩波書店）大沢真知子（著）
『新しい人事戦略　ワークライフバランス――考え方と導入法』（日本能率協会マネジメントセンター）小室淑恵（著）

評価方法　期末試験　各講師より出題の論述形式　持ち込み無し

備考　渡部　卓（わたなべ　たかし）
早稲田大学政経学部卒業後、モービル石油入社。その間に海外派遣留学生として、米国コーネル大学で人事組織論を学び、引き続き、米国ノースウェスタン大学／ケロッグ経営大学院でMBAを取得。その後、ペプシコ社、AOL、シスコ・システムズ、ネットエイジなどで米国本社勤務を含む、本部長、副社長職などを経て現在、株式会社ライフバランスマネジメント 代表取締役社長。中華人民共和国・西北工業大学客員教授
認定コーチングメンター、認定 産業カウンセラー、心理相談員。日産業カウンセリング学会理事、日本うつ病学会、日本心身医学会、国際EAP協会などの正会員。
【著書】
『部下を「会社うつ」から守る本』（大和書房）
『心がラクになる　メンタフダイアリー』（日本実業出版社）
『会社のストレスに負けない本』（大和書房）

佐藤　陽（さとう　よう）
　朝日新聞編集センター（地域面）記者。90年米・ジョージワシントン大学政治学部卒業、91年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。91年朝日新聞社入社。東京本社学芸部、くらし編集部、生活部などを経て、08年5月より現職。学芸部時代より、自身が心の病を経験したことをきっかけに、うつ病や自殺などメンタルヘルスの取材を始める。以後、約10年間にわたり、主に職場のメンタルヘルスについて継続的に取材を続ける。
　98年に自殺者が3万人を超えた時は、他社に先駆け「中高年男性の自殺」をテーマに連載した。03年には、全国紙としては初めて、大手企業100社を対象にした「メンタルヘルス対策」アンケートを実施した。また02-03年に、長期連載「過労社会」の中で、増加する会社員の過労自殺や30代のメンタルヘルスの悪化などを採り上げた。
　最近も、「キレやすい大人」の出現や、従来型のうつ病とは違う「新型うつ病」の増加など、メンタルヘルスの新たな動きについて、積極的に取材している。

小林 祐一（こばやし　ゆういち）
産業医科大学医学部卒業。HOYA株式会社総括産業医、環境・安全衛生・健康担当。グローバルな環境保全及び安全衛生・健康管理の執行責任者。2003年より経済産業省労働保健統括医兼務。秘書課に所属し、職員の健康管理を担当。2006年より早稲田大学非常勤講師及び産業医大ソリューションズ取締役兼務。経営参画型及び人事連携型のメンタルヘルスケア、労働安全衛生マネジメントに基づく安全衛生管理を実践。著書は労政時報別冊「実践メンタルヘルス・マネジメント」など。労働安全衛生コンサルタント、日本産業衛生学会認定産業医学専門医・指導医、日本内科学会認定内科医の資格保有。所属学会は日本産業衛生学会、日本産業精神保健学会、日本産業ストレス学会（監事）、日本内科学会、日本心身医学会。

関連URL:　産業保健関連サイト（小林祐一）
http://www.osh-support.com/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デザイン・音楽・映像の知的財産の基礎		
科目キー	2800001019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃		

副題

授業概要

ナノ、IT、バイオ等先端技術の研究開発においては欧米としのぎを削り、日本のアニメキャラクターは世界の子供達に人気があり、ゲームソフトも世界を席巻している。豊かな造形や画像は新たな価値創造を生み出す日本のお家芸に育ちつつあり、我が国の国家戦略としても重要なものと位置づけられている。研究者としても、ビジネスの世界においても、価値創造の生命線となる知的財産について事例分析や演習を用いた実践的な講義を行うこととし、Iは主として著作権についての講義を行う。

前期と後期の内容の区分けは、知的財産と技術経営1(前期)は知的財産の概要と著作権(コンピュータプログラム、データベースの著作権を含む。)、知的財産と技術経営2(後期)は、特許を中心に意匠、商標等について行う。

なお、2008年度から知的財産検定が国家試験になることも踏まえて、適宜、同レベルの内容に準拠し、小テスト、解説も一部行う。

シラバス

前期は、知的財産の概論と、著作権、意匠権、商標権等の表現系の知的財産について講義を行う。
01. 04/07　オリエンテーション
02. 04/14　知的財産とは？(表現系の著作権などと、テクノロジー系の特許などの体系)
03. 04/21　著作権制度
04. 04/28　著作者の権利とアーティスト、レコード製作者、放送事業者などの著作隣接権
05. 05/12　外国の著作権の保護、海賊版対策など
06. 05/19　他者の著作権を訴えられずに利用する方法
07. 05/26　無断利用ができる例外的な場合
08. 06/02　自分の著作権が侵害された場合どうやって対抗するか
09. 06/09　判例解説(データベース　コンピュータプログラム関係「ウィニー事件」、「ときめきメモリアル事件」等)
10. 06/16　判例解説(放送関係　「まねきTV」事件等)
11. 06/23　商標
12. 06/30　商標、意匠
13. 07/07　意匠、不正競争防止法
14. 07/14　不正競争防止法、独禁法及びこれまでの授業の復習、追加など
15. (日程別途指示)学力考査及び解説

教科書

レジュメを配布するか、コースナビに掲載する。

参考文献

評価方法

定期試験によるが、出席の評価を加味する。授業で配布した資料、ノートは持ち込み可とする。

備考

関連URL:

早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-mo

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	新素材・IT・バイオの知的財産の基礎		
科目キー	2800001020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃		

副題

授業概要

ナノ、IT、バイオ等先端技術の研究開発においては欧米としのぎを削り、日本のアニメキャラクターは世界の子供達に人気があり、ゲームソフトも世界を席巻している。豊かな造形や画像は新たな価値創造を生み出す日本のお家芸に育ちつつあり、我が国の国家戦略としても重要なものと位置づけられている。

また、日本経済の発展を支える戦略的分野として、燃料電池、情報家電、ロボットなど7つの新産業領域が挙げられている。新産業分野の発展には、ナノテクノロジー・材料、情報技術、ライフサイエンス、環境・エネルギーの4分野の革新的技術の導入が必須であるといわれている。その中で、ナノテクノロジー・材料は、他の3技術分野に大きく寄与する基盤技術であり、現在、企業、大学、公的研究機関などにおいて技術開発が活発に行われている。

本講座においては、知的財産の創造・保護・活用の各段階のサイクルにおける現状と課題をビジネスの最前線の事例によって掘り下げ、初めて知的財産を学ぶ学生にもポイントをわかりやすく提示する。

前期と後期の内容の区分けは、前期は知的財産の概要と著作権（コンピュータプログラム、データベースの著作権を含む。）、商標、意匠など、後期は、特許を中心に講義を行う。

なお、2008年度から知的財産検定が国家試験になることも踏まえて、同レベルの内容に準拠し、過去の事例、問題の解説も行う。

シラバス

後期は、知的財産のうち特許を中心に、知的財産の創造・保護・活用のサイクルを学ぶ。イノベーションが特許によっていかに促進されるか企業の知財戦略についても、ケーススタディによって考察していく。
特許庁や弁理士、企業知財部の方も数回ゲストにお迎えしている。

01．09／29　オリエンテーション
02．10／06　発明と特許、なぜ特許が必要か、機械、新素材、バイオ、ITなど分野別特徴
03．10／13　研究者と企業の関係　職務発明　（青色発光ダイオードのケースなど）
04．10／20　発明の報酬（日亜化学と中村氏の裁判例など）、ソフトウェアについて著作権と特許の関係
05．10／27　審査官の審査基準　発明の新規性と進歩性の基準、日米欧の比較
06．11／10　特許調査、パテントマップ分析、日本企業の海外技術流出防止策（不正競争防止法や先使用権など）
07．11／17　ゲスト　柏瀬　孝子氏　株式会社大林組　技術本部　企画推進室　建築知的財産課
08．11／24　ゲスト 元特許庁審査官・現弁理士の方
09．12／01　ゲスト（弁理士　日程は入れ替わる場合有。後期の講義開始日のオリエンテーション以降にお知らせする。）
10．12／08　米欧中国などの特許制度、特許を侵害された場合、侵害してしまった場合の対応、裁判事例、環境と特許の裁判（リサイクルインクカートリッジ事件等）

11．12／15　ライセンス、特許価値評価論
12．12／22　特許戦略論
13．01／12　パテントプール、国際標準化、独禁法と特許の関係など
14．01／19　コースナビにより授業確認
15．（日程別途指示）学力考査及び解説

教科書

毎回レジュメを配布する。

参考文献

評価方法

定期試験によるが、出席の評価を加味する。授業で配布した資料、ノートは持ち込み可とする。

備考

関連URL:

早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-mo

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	新素材･IT･バイオの知的財産の基礎		
科目キー	2800001020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学・技術の社会史		
科目キー	2800001021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　近代科学はいつ頃、どのように誕生して現在のような姿になったかについて俯瞰することが本講義のねらい。科学技術史といえば、理論的体系や技術的生産物がどのように発展していったかという歴史を想起する人も多いかもしれないが、本講義では、むしろ科学や技術を現在の形に育んだ社会、経済、政治的な側面に注目しつつその歩みを垣間見ることにしたい。

シラバス　基本的には以下の流れに沿って概説する予定であるが、若干の変更があり得るので注意すること。

[第 1回]序論
[第 2回]歴史について（1）
[第 3回]歴史について（2）
[第 4回]ルネサンスと科学
[第 5回]キリスト教と科学
[第 6回]近代科学の始まり
[第 7回]フランス革命と科学
[第 8回]ドイツにおける近代大学の誕生と科学
[第 9回]産業革命と科学――イギリス
[第10回]産業と科学――アメリカ
[第11回]ナショナリズムと科学
[第12回]戦争と科学（1）
[第13回]戦争と科学（2）
[第14回]まとめ

教科書　指定しない

参考文献　古川安『科学の社会史――ルネサンスから20世紀まで』増訂版、南窓社、2001年。

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会A		
科目キー	2800001022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	河尻　耕太郎	

副題

授業概要　本講義においては、技術革新＝イノベーションと産業社会について、単に制度論としての解説を行うのではなく、個々人の構想力、プロジェクトメーキング力、交渉力をいかに培い、基礎研究と応用研究、商品化、事業化の各ステージに対応した戦略論を技術経営（MOT）的な観点から学んでいく。2015年までの技術戦略マップを適用し、イノベーションを創出していくために有益な講義を行う。Aでは主としてイノベーション論を中心に講義を行う。また、グループによるディスカッションを通じ、考察、分析、発表、コミュニケーションの能力を養う。

シラバス　第1回（4月10日）　オリエンテーション（森）
第2回（4月17日）イノベーションの意義とイノベーションのモデル（河尻）
第3回（4月24日）イノベーションのモデル（河尻）
第4回（5月８日）組織戦略1（河尻）
第5回（5月１５日）組織戦略2（河尻）
第6回（5月２２日）組織設計（河尻）
第7回（5月２９日）研究開発マネジメント1（河尻）
第8回（６月５日）研究開発マネジメント2（河尻）
第9回（６月１２日）（スポーツ大会で休講）
第10回（6月１９日）技術評価（河尻）
第11回（6月26日）技術評価2（河尻）
第12回（7月３日）グループ発表１（河尻）
第13回（７月10日）　グループ発表２（河尻）
第14回（7月17日）　グループ発表３（河尻）
第15回（日程別途指示）学力考査及び解説（森）

（注）2回目　グループ方式の説明、グループ分け
3回目以降　最初は、技術革新がどのように研究開発から製品開発の現場で行われていくかを解説するとともに、例えばIT、バイオ、ナノ、環境、エネルギー、金融工学、建設、社会インフラ等各グループごとのテーマを討議し、発表を行う。

教科書　特になし。授業でレジュメを配布することもある。

参考文献　各グループのテーマに応じその都度必要があれば指示する。

評価方法　試験による。グループ発表の評価も加味する。

備考

関連URL:　http://www.waseda.jp/sem-morizemi/index.html

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ロボット産業とイノベーション		
科目キー	2800001023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃	下倉　健一朗	

副題

授業概要　ロボット市場は今後5年間に約2倍、20年後には10倍に拡大すると予想されている。なかでも今後急速に伸びる市場は、介護等の生活支援ロボットや危険作業の代替手段としてのロボット開発と考えられ、エンタテイメント用のみならず、非産業用途として家庭に普及することが期待されている。
ロボットはメカトロニクス、情報処理、情報通信、ヒューマンインタフェース等の様々な分野の技術が融合して初めて機能するものであり、この融合こそがロボット分野に関するイノベーションと強く関連する。
本講座では、ロボットを機能させるために必要となる様々な技術に関して、センシング/情報処理/システム化という観点から議論する。

シラバス　＜講義の特徴＞
ロボットが動作するために必要となる様々な技術分野を概観し、それらの分野の技術が融合することでシステムとしてどのような機能が生み出されるか？それらが具体的なサービスにどのように応用されているか、を理解することができる。

＜学習の目標＞
ロボットを成り立たせている要素技術の基本原理が理解できるようになること。要素を組み合わせることで構築するシステムがどのように動作するか、簡単な例題を解けるレベルの理解力がつくこと。

＜授業計画＞（予定）

01回目　09/28 オリエンテーション （森）
02回目　10/05 ロボットの歴史 （下倉）
03回目　10/12 要素技術編-1 （下倉）
04回目　10/19 要素技術編-2 （下倉）
05回目　10/26 情報処理編-1 （下倉）
06回目　11/02 情報処理編-2 （下倉）
07回目　11/09 システム編-1 （下倉）
08回目　11/16 システム編-2 （下倉）
09回目　11/23 最先端のロボットプロジェクト紹介-1（下倉）
10回目　11/30 最先端のロボットプロジェクト紹介-2（下倉）
11回目　12/07 様々な分野へ波及するロボット技術（下倉）
12回目　12/14 ロボットサービス普及に向けた課題（下倉）
13回目　12/21 ロボットについての産業政策（森）
14回目　01/18 コースナビで授業内容の確認（森）
15回目 （日程別途指示）学力考査及び解説（森）

教科書　特に無し。授業においてレジュメを配布することもある。

参考文献

評価方法　レポート及び定期試験にて行う。配布資料、ノート等は持ち込み可。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代環境論		
科目キー	2800001024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　環境に関連した社会的な問題は、空間的のみならず時間的にも大きな広がりをみせている。こうした問題解決のためには法律による規制や税制・補助金等による経済的誘導に加え、多様な主体の関係を社会システムとして捉え施策の評価と実施を繰り返す計画的なアプローチが求められている。そこで、本講義では、1)様々な視点からみた環境問題の現状と原因、そして解決のための基本的な方向性を踏まえた上で、2)個別の具体的な事例を紹介しながら、問題解決のための計画論的アプローチについて論じる。
前期は、主として計画的側面について扱い、具体的な計画づくりを通じて、環境計画のあり方について考える。

シラバス
- 環境計画の基礎論
- 環境問題の具体例
  （大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、土壌汚染、自然環境の保全、
  廃棄物、地球環境問題、ダイオキシンと環境ホルモン）
- 計画とシステムズアプローチ
- 行政からの対応（環境基本計画、環境アセスメントなど）
- 企業からの対応
  （ISO14000シリーズ、環境レポート・環境監査等、
  ゼロエミッションなど）
- 市民からの対応（環境家計簿、環境NGOの役割等）
- 環境情報の整備手法
- 新たな環境問題への取り組み（環境リスク）

教科書

参考文献

評価方法　授業時の演習課題、および期末課題による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会人類学I		
科目キー	2800001026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	西村　正雄		

副題

授業概要　社会人類学は、生物人類学と並んで、人類学を支える2大柱の一つである。人類学は、過去及び現在における人間行動すべて、そしてその結果生まれた産物すべてを扱う学問である。こうした人間の行動と、その産物を総称して「文化」と呼ぶ。人類学は、この人間の文化のすべての様相を総合して扱い、文化の統合された全体像を探求する。そこで本科目の目的は、人間の文化を総合的に把握することで、特に、人間と彼らの文化を、自然及び社会環境への適応という点から概観し、その内容と構造を詳細に検討することである。本年の授業では、文化の変動してゆく状況に焦点をあててゆく。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	情報社会論		
科目キー	2800001027		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要

情報社会論とは、情報技術の進展・普及と、それによって実現されるとされる新たな社会像に関する一連の議論である。近年では、「Web2.0」論や「ユビキタス社会」論がその代表的なものといえる。

情報社会論によって想定される社会像は、時代の変化や社会からの期待、情報技術の進展によって変化している部分と、数十年にわたって変わらない部分がある。

本講義では、古典から最新のものまで含めた情報社会論の主要トピックスを取りあげ、その議論の構造や意味するものについて学び、情報社会論自体を相対的にとらえる視点の獲得を目標とする。

シラバス

[第1回]: オリエンテーション
[第2回]: 情報社会と情報社会論
[第3回]: 電子メディアと現代社会
[第4回]: 情報通信政策の現状
[第5回]: インターネットの始まりと思想
[第6回]: 電子ネットワークとコミュニティ(1)
[第7回]: 電子ネットワークとコミュニティ(2)
[第8回]: 情報化と格差
[第9回]: コースナビ等による学習内容の点検・確認
[第10回]:情報化と地域社会
[第11回]:監視社会と情報社会
[第12回]:情報化と社会のリスク化
[第13回]:Web2.0と「総表現社会」
[第14回]:情報社会における知的財産
[第15回]:学力考査および解説

教科書

特に指定しない。

参考文献

公文俊平(編), 2003,『リーディングズ 情報社会』NTT出版.
総務省(編), 2008,『平成20年版:情報通信白書』ぎょうせい.
その他、講義中に指示する。

評価方法

筆記試験によって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する(10%)。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境心理学		
科目キー	2800001028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	広田　すみれ		

副題

授業概要　今日、都市化の進展、情報ネットワークの浸透、異文化の衝突などによって、環境はますます複雑化し、不安定性を増大させている。そしてその影響は、人間生活にもさまざまなかたちで現れ始めている。こうした環境の変化を契機として、人間の心理や行動の仕組みを環境との関わりで問い直す「環境心理学」が展開されるようになった。本講義では、環境心理学の全体像を概観し、この分野の基礎的な知見・考え方の習得をねらいとする。

シラバス　※授業の進度により、順序・時期・内容は多少変化する場合がある。
（1）ガイダンス　授業の概要、進め方について
（2）環境心理学とは
　　環境心理学の成り立ち、問題意識とその対象、アフォーダンスなど
（3）環境の知覚と認知1　−知覚の基礎的な仕組み−
　　感覚と知覚、知覚のしくみ、錯覚、大脳や生理的機構との関係など
（4）環境の知覚と認知2　−知覚の基礎的な仕組み2−
　　知覚の恒常性、知覚の体制化、奥行き知覚
（5）空間の認知と探索1
　　空間定位、心的回転、距離感・方向の歪み、幼児の空間認知
（6）空間の認知と探索2
　　認知地図、空間認知の方略、わかりやすい地図・わかりにくい地図とサイン表示
（7）環境の評価と環境美学　−美しく見える環境−
　　環境の査定と評価、環境評価の構造、環境美学
　（黄金比、部分と全体、色の好みなど）
（8）距離と心理・行動　−社会関係と空間−
　　プロクセミックス、対人距離とパーソナルスペース、着席行動、
　　ステンザー効果、ソシオペタルとソシオフーガル
（9）テリトリーとクラウディング
　　なわばり性、テリトリーとマーキング、密度、込み合いとストレス、
　　クラウディング、クラウディングによる行動沈下
(10)環境とストレス　−プライバシー、騒音の影響−
　　セリエによるストレスの概念、込み合いとストレス、プライバシー感と行動
(11)犯罪と環境1
　　犯罪原因論と犯罪機会論、セキュリティの街づくり、
　　領域性・監視性・抵抗性、防犯環境設計（CEPTED）
(12)犯罪と環境2
　　セキュリティの街づくり（英国・米国の対策例）、割れ窓理論、地域安全マップ
(13)地球環境1
　　ゲーム理論から見た環境問題の構造（社会的ジレンマなど）
(14)地球環境3
　　環境リスクの認知構造、向環境行動の行動コストとベネフィット
(15)試験

教科書　教科書は特に定めず適宜資料を配布。

参考文献　佐古順彦 ・小西啓史（編）（2007）「朝倉心理学講座12環境心理学」（朝倉書店）
R.ギフォード（2007）「環境心理学（上）（下）」（北大路書房）など。
その他授業時に紹介。

評価方法　主に定期試験による。平常点（小レポート、出席点）も評価の対象とする。

備考　授業はパワーポイントを使用して進めるが、パワーポイントの全てのスライドのコピーは配布しないので、各自ノートを取ること（細かい図表等の資料については必要に応じて配布）。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境心理学		
科目キー	2800001028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財のグローバリゼーションと言語の多様性		
科目キー	2800001029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃	平塚　三好	

副題

授業概要

【概論】
　我が国の知的財産を権利として創造・保護・活用していくためには、日本の特許など知的財産法制だけでは不十分であり、米国、欧州、アジアなどの各国の法制で保護し、活用していくことが必要となる。確かに、特許などの知的財産法制はグローバル化の調整過程にあるが、各国の産業政策や文化の障壁は大きく、グローバルな視点からアジアのリーダーとなる素養として多言語情報処理の基本的なシステムや科学技術・工業外国語等の活用事例を学ぶ。

【資格試験問題を通じた演習】
　”国家資格知的財産管理技能士”の演習問題を通じ、単なる知識のつめこみではなく、知財の実践力の涵養を図る。結果として、同資格合格へ向けた準備も可能となる。

【米国ロースクールスタイル】
担当教員の米国ロースクールでの経験を生かし、日本にいながらにして、米国ロースクールスタイルの実践的な講義により、実践力を身につける。

シラバス

1. 10月2日　オリエンテーション(森)
2. 10月9日　知的財産オーバービュー1(トピックスを交え、知的財産の全体像を俯瞰する。)(平塚)
3. 10月16日　知的財産オーバービュー2(トピックスを交え、知的財産の全体像を俯瞰する。)(平塚)
4. 10月23日　知的財産基礎1(特許・実用新案など、技術系の保護について、事例から法制度や言語を基礎とする書面主義の実務の実態を学び、検討する。)(平塚)
5. 10月30日　知的財産基礎2(特許・実用新案など、技術系の保護について、事例から法制度や言語を基礎とする書面主義の実務の実態を学び、検討する。)(平塚)
6. 11月13日　知的財産基礎3(意匠・商標など、非技術系の知財の保護について、事例から法制度や実態を学び、検討する。)(平塚)
7. 11月20日　知的財産基礎4(意匠・商標など、非技術系の知財の保護について、事例から法制度や実態を学び、検討する。)(平塚)
8. 11月27日　世界の知的財産制度の潮流1(外国の知的財産制度と国際調和の動きを学び、課題と解決策を探る。)(平塚)
9. 12月4日　事例研究(ケーススタディを通じ、現場の知財解決能力を涵養する。)(平塚)
10. 12月11日　ゲスト・スピーカ(企業の専門家により、知財の創造・保護・活用の現場の実態を知得し、検討する。)(平塚)
11. 12月18日　技術英語・特許英語1(英文特許明細書の検討を通じて、技術英語・特許英語を習得する。)(平塚)
12. 1月8日　技術英語・特許英語2(英文特許明細書の検討を通じて、技術英語・特許英語を習得する。)＊学習深度等に応じ、適切な講義となるよう、変更となることがある。(平塚)
13. 1月15日　知財のグローバリゼーションと言語の多様性1(言語情報処理の基本的な仕組みを知り、言語の多様性がもたらす、知財のグローバリゼーションへの影響や、知財のグローバリゼーション化の中で、書面主義に基づく知財の権利化から要請される使用言語の有り様について、検討するとともに、多言語情報処理の活用を探る。)(平塚)
14. 1月22日　知財のグローバリゼーションと言語の多様性2(言語の多様性がもたらす、知財のグローバリゼーションへの影響や、知財のグローバリゼーション化の中で、書面主義に基づく知財の権利化から要請される使用言語の有り様について、検討するとともに、多言語情報処理の活用を探る。)(平塚)
15. (日程別途指示)学力考査及び解説(森)

教科書

”「もの」から「知財」の時代へ”オーム社刊、平塚三好著
国家試験　知的財産管理技能検定　2級[実技]　予想問題＋過去問(3回分)三和書籍刊森康晃編

参考文献

評価方法

最終回は定期試験による。

備考

＊学習深度等に応じ、適切な講義となるよう、また、スケジュールにより、授業計画が変更となることがある。

関連URL:

早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-mo

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財のグローバリゼーションと言語の多様性		
科目キー	2800001029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会B		
科目キー	2800001030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	河尻　耕太郎	中村　達生

副題

授業概要

米国のプロパテント政策から遅れること20年を経て、我が国でも知財立国に向けた各種取り組みや、施策が稼働を開始している。その中でも、知財活用、技術の客観的な評価については、その要望が高まっているにもかかわらず、企業の中においても十分には実施されていないのが現状である。これらは技術進歩の加速、分野横断的な新技術の誕生が近年になって急速に進んでいることが起因している。そこで、当該授業では、知財の技術書としての側面に着目し、知財を対象に技術体系を把握したり、動向ををを把握する手法について、事例を交えた講義を行う。

(コンピュータルームでの知財データベース実習を行うので、スペースの制約の関係から登録学生数は50名以下に限定する。)

シラバス

・知財をベースとした分析の目的、方法の全体像把握
・知財分析による動向分析、戦略立案のための方法論
・主要企業の分析事例研究
・実務に即した先端的分析ツールによる実習(理工のコンピュータルームでの実習)
グループ分けし、IT、バイオ、ナノ、環境、エネルギー、金融工学、建設、社会インフラ等の各グループごとのテーマを討議し、発表を行う。

第1回10/2　オリエンテーション(森)
第2回10/9 技術評価手法概論(河尻)
第3回10/16 ディスカウント・キャッシュ・フロー(DCF)(河尻)
第4回10/23 普及曲線(Bassモデル)(河尻)
第5回10/30 DCFとBassモデルの組み合わせによる技術価値評価(河尻)
第6回11/13　技術革新と産業社会1　産業政策と技術移転(森)
第7回11/20　技術革新と産業社会2　企業戦略事例(森)
第8回11/27　技術革新と産業社会3　企業戦略事例(森)
第9回12/4知財情報を用いた俯瞰分析手法と事例(中村)
　知財情報とは何か、
　なぜ俯瞰して分析する必要があるか、
　知財情報の俯瞰分析により何がわかるのか、
　分析の事例
第10回12/11グループディスカッションによるテーマ設定　(中村)
　グループディスカッションの方法を説明
　俯瞰分析のフローを示す。母集団作成→解析
　・評価の仕方について説明
　　グループリーダー(発表者)2ポイント
　　グループ発表ポイント各人1ポイント
　　PowerPointの資料執筆責任者1ポイント
　　発表内容の評価　1から5ポイント

　M&A、IT、バイオ、環境、エネルギー、社会インフラの5テーマ
　各分野の解析のポイントを講義
　1グループ5人程度
　グループリーダーを決める
　グループ毎に討議を行い分析するテーマを決定する。
　各グループにIDを付与
　各グループリーダーがとりくむテーマと理由を発表する
第11回12/18演習1 グループ毎に解析の実習　(中村)
　グループ毎に着席
　XLUSの使い方について説明
　あらかじめ用意したサンプル事例を各人がアクセスしてXLUSに慣れる。
　グループ毎に付与した解析用IDを用いて母集団を作成
　数分後に出力される解析結果を各人のViewOnlyIDを用いてパターンを読み解く

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会B		
科目キー	2800001030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

講師が教室内を巡回し、使い方等の個別質問に対応
次回の講義までに中間報告用の解析を行う。
PowerPoint3枚に整理
- 母集団選定の条件
- XLUS レーダー図
- レーダー図から読み取れる内容

第12回1/8演習2 グループ毎に解析のまとめ（中村）
グループ毎に着席
グループ毎の解析・討議
ランダムにグループ毎の中間発表1グループ5分
各グループの中間発表内容を踏まえてさらに解析

PowerPointに下記のフレームにしたがって20整理する。
- 目的：分析の目的、背景、当該テーマを設定した理由
- 仮説設定：
- 母集団選定の条件
- XLUS レーダー図 複数枚
- レーダー図から読み取れる内容
- 結果の検証 ： 各種文献等から結果について考察する
- 結果まとめ

第13回1/15グループ発表（中村）
1グループ10分
各グループ毎に講評
総評
第14回1/22グループ発表又はコースナビによる授業確認（森）
第15回（日程別途指示）学力考査及び解説（森）

教科書　特にないが、授業でレジュメを配布することもある。

参考文献　各グループのテーマに応じ、必要があれば指示する。

評価方法　教場試験による。グループの討議による発表・レポート（グループ毎）も評価に加味する。

備考　（参考）理工における技術経営、知財系科目の学習の進め方

技術経営、知財系の科目は、寄附講座の企業等の協力も受けて複数設置されている。研究技術者の立場や権利を守るものとして必要なルールを学ぶためである。弁理士や企業の知財部を将来のキャリアとして考える者は、以下の基礎的な科目と、自分の専門分野等の必要に応じとることができる。また、知財の専門家になるのでなく、研究者・技術者として必要最低限を学ぶ目的ならば、特許関係と著作権関係の基礎的な科目をそれぞれどれか一つでも履修することで理工系の基礎としては十分である。国家・地方公務員や公的団体やシンクタンクなどを志望する学生は、技術経営、知財系の中でも企業分析ができる科目や産学連携、産業政策についての科目も推奨する。

1．本「技術革新と産業社会B」は、技術経営、知財の企業分析を自分で行ってみる力を身につける科目である。本科目は、企業や金融機関の調査部門やシンクタンクの手法も含まれる。我が国最大の公的研究所である産業総合研究所のイノベーション分析やオリジナルの特許データベースを用いコンピュータルームでの企業の競争力比較分析をグループ討議の上、発表する形式であり、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編（1年生でも可）である。

2．学部生の初歩としては、前期「知的財産と技術経営1」（著作権等の基礎。）、後期「知的財産と技術経営2」（特許、意匠、商標等の産業財産権の基礎。）が、基本となる。これらは、知財検定に準拠し基礎固めを行う。国際的な側面に照点を合わせた後期「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」（海外（米国、欧州、アジア等）知財制度の運用等。一部知財検定に準拠した内容も含まれる。）、特許法の実用例や米国等のベンチャーについても照点を合わせた後期「知的財産と起業」（特許法とベンチャーの基礎）は、関連する知財系の科目として推奨する。

3．応用編として、IT知財は後期のソニー・マイクロソフト寄附講座「ユビキタス社会とIT知財」、バイオ知財は後期の武田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財は後期の三菱化学寄附講座「新素材ビジネスと知的財産」の科目は応用編として設けられているが著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。企業の最前線の知財戦略を各企業の方やゲストスピーカーが豊富な実例で解説を行ってくれる。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会B		
科目キー	2800001030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

---

4. 著作権については、学生の身近な生活において、音楽と著作権のビジネスについて、後期「国際コンテンツビジネスと著作権」は、ヤマハ、第一興商、朝日新聞社などの音楽、著作権ビジネスの最前線から、音楽製作現場の話や、新聞社見学等のプログラムもとりいれて行う。著作権法の法律の全体像についても解説を行う。（知財検定に準拠するものでなく、音楽産業に関するケーススタディを中心とする。）

5. なお、大学院との併設科目として、国際知財経営論は、少人数で討議形式での企業の戦略分析と併せて、基礎固めとしての知財検定の知識も学ぶ。研究者・技術者として、知財の即戦力を養うことに重点を置く。

（産学連携、産業政策、イノベーションの科目は、前期及び後期「産学連携、ベンチャー起業の基礎1、2」、前期「産業政策」、前期「技術革新と産業社会A」、前期「バイオイノベーションとベンチャー」が関連科目である。）

関連URL: http://www.waseda.jp/sem-morizemi/index.html
知特許庁

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	人文地理学I		
科目キー	2800001032		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高柳　長直		

副題　21世紀日本の地域問題

授業概要　我々の社会や経済は、国境の垣根を越えて、ますますグローバル化しようとしている。
21世紀に入り、グローバル競争が激しくなる中で、日本も新自由主義・市場原理主義によって改変され、様々な経済的・社会的な問題が生じている。
人文地理学は、位置・場所・地域・空間など土地に関する知識の体系化を行なってきた学問分野である。そこで、最初に、地理学の基礎的な考え方を提示し、次いで、グローバリゼーション、格差問題、環境問題をとりあげ、そうした問題の解決に迫る地域再構築に関して、具体的な課題を考察していく。

シラバス
第　1回（4月　9日）地理学の基本原理
第　2回（4月16日）環境論
第　3回（4月23日）地域論
第　4回（5月　7日）世界都市・国際都市東京
第　5回（5月14日）産業空間のネットワーク
第　6回（5月21日）地域格差
第　7回（5月28日）就業構造の地域特性
第　8回（6月　4日）過疎と農地・森林の荒廃
第　9回（6月11日）環境保全活動の展開
第10回（6月18日）都市圏構造の変化
第11回（6月25日）都市形態の変容
第12回（7月　2日）産業再生
第13回（7月　9日）コミュニティの衰退・再生
第14回（7月16日）地方分権と地域政策
第15回（7月23日）まとめ・試験

教科書　伊藤喜栄・藤塚吉浩編（2008）:『図説　21世紀の日本の地域問題』古今書院

参考文献　教科書の参考文献一覧を参照

評価方法　学期末試験で評価とレポートで評価する。

備考　人文地理学2を同年度に受講することが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学と非科学		
科目キー	2800001033		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山本　勝弘 平尾　淳一	内田　種臣	海野　和之

副題

授業概要　科学とは何かを、工学、数学、人文社会科学などいろいろな視点から論じる。最近特に、世界政治体制の激変、民族紛争、世界経済の不透明性、地球環境問題などを契機に、国際的な政治、経済のインフラストラクチャーの再編成、それにともなう企業のリエンジニアリング、政党の再編、新しい宗教現象の流行などが広まっている。これに対応するかのように、学問の領域においても質的にも量的にもこれまでなかった程の不透明で複雑な現象を対象にせざるを得なくなっており、大幅な、再構成を行う必要が起きている。これらの問題を念頭に置きながら、伝統的な科学観をもう一度見直す。

シラバス

内田種臣担当
第一回:9月30日具体の科学について
第二回:10月7日近代科学以前の科学観
第三回:10月14日基礎論主義と整合主義
第四回:10月28日4タイプの科学観と計画論

海野和之担当
第一回:11月4日　無＜宗教＞主義の現実性とその展望:科学的な思考と対比させながら、宗教の本質を形式的に考察し、無宗教という立場を提示する。
第二回:11月11日　一神教の系譜:宗教の具体的な事例として、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教を取り上げ、一神教の展開を概観する。
第三回:11月18日　経済学という科学:経済学のミクロ理論を事例として、社会科学における理論構築の実際とその前提を考察する。
第四回:11月25日　社会科学・人間科学における論理と実証:社会心理学や社会学における実証的な方法(実験・調査)の紹介を通じ、科学としての性格を考察する。
第五回:12月　2日宗教思想を踏まえた経済倫理について考察

平尾淳一担当
第一回:12月8日科学が見る自然 (1) --- 測定・単位・基礎科学定数:
単位や基礎科学定数を通して科学法則の成り立ちを考える.
第二回:12月9日科学が見る自然 (2) --- 実験・観測の限界:
自然科学の実験や観測における様々な限界や実験技術の多様性を紹介する.
第三回:12月16日科学が見る自然 (3) --- 理論的存在の実在性:
科学理論における普遍的な概念と実験や観測にかかる量との関係を論じる.

山本勝弘担当
第一回:1月6日　科学と技術の比較
第二回:1月13日　人と科学/技術のかかわり

教科書

参考文献　野生の思考　クロード・レヴィ・ストロース
知識の社会史　ピーター・バーク著

評価方法　綜合科目試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学と芸術		
科目キー	2800001034		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣 盛川　浩志	佐藤　洋一	沖　啓介

副題

授業概要　かつて「アート」という言葉が科学と芸術の両方に用いられていたように、両者はその根底において深く結びついている。実際、自動車、コンピュータ、住宅など身近にある事物を考えてみれば、それらがすぐれた機能を発揮するには科学技術の裏付けが必要であり、魅力ある存在となるには芸術的なセンスが必要であるように、真のクリエーションは両者を架橋するところに現れるものである。本講座のねらいは、こうした科学と芸術との関係を多角的な視点から探求し、両者を深いレベルで結びつけている仕組みを理解することである。

シラバス　担当教員授業回数14回15回目は試験

沖啓介担当
科学と芸術について、正統と異端の周辺文化を含めて、現代芸術の観点から見ていきます。
科学の成果が、社会のなかでどのように受けとめられ、それがまた科学への反作用としてどのような働きを持つのかを、科学と芸術の両方からの豊富な例をもとに検証します。
第一回:科学と芸術の歴史の概観
科学の輪郭
科学の定義を考えるために
科学への「異端」的な見解
東洋の科学について
第二回:現代アートの観点
科学と事件
科学を考えるにあたっての芸術からの引用
芸術に見られる科学的方法の影響
第三回:芸術と科学が交差する地点と視聴覚表現
科学的理念のモデル表現
科学的事象データの視聴覚表現
文明、地域による共通と相違
第四回:科学と娯楽
空想から科学へ、科学から空想へ
空想科学と現代アート

盛川浩志担当
第一回:　メディアとテクノロジー
科学技術の発展が、メディア表現に与える影響について、
既存のメディアやコンテンツの歴史を振り返ることで考察する。

第二回　先端メディアとしてのバーチャルリアリティ
メディア技術の発展を捉えるため、今後普及が期待されている
メディアである、バーチャルリアリティを例として、
その概念の登場から要素技術の歴史を紹介する。

第三回　招聘講師による講義
技術の進歩によってもたらされるコンテンツ表現、制作手法の変化について、
実際に映像メディア表現の仕事に携わる講師が、現場の状況を紹介する。

第四回　五感情報ディスプレイ技術
人に情報を伝えるディスプレイ技術について紹介する。
映像ディスプレイだけではなく、人間の五感に対する情報呈示デバイスや、
入力デバイスについても取り上げる。

第五回　コンテンツ表現の未来
デバイス開発の発展によって、今後どのような表現の変化が起こりえるか、

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学と芸術		
科目キー	2800001034		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

また、どういった問題が生じるかについて考察する。

佐藤洋一担当
全体の講義の簡単な紹介
第1回目：「序説／見ることと描くこと」我々はよく物事をみているのであろうか。絵を描きなが ら考えます。
第 2回目：「課題1講評／映像の発生」前回の課題をみて、また映像の歴史をひもときながら考えます。
第3回目：「課題2講評／映像の展開」映像の歴史をひもときつつ、携帯による撮影課題を紹介します。
第4回目：「映像をどうみせるのか」映像の見せ方のさまざまなあり方を考えてみます。
第5回目：「映像でできること」「見ること」の拡張と、映像表現の可能性について考えます。

教科書

参考文献

評価方法　綜合科目の試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	音と音楽の表現領域		
科目キー	2800001035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	橋本　周司	山崎　芳男	菅野　由弘

副題

授業概要

生の音楽を聴く4回のコンサートを軸に、菅野が作曲家として実際に手がけたNHK大河ドラマ「炎立つ」の音楽や、様々な作品を紹介します。また、日本人自身が忘れている日本の伝統音楽の価値、最新のテクノロジーによる音楽表現（電子音楽、コンピュータ音楽）に関して論じるとともに、理工学部専門教授による科学的な意味での「音」の講義も行います。

教室は、本部キャンパス14号館201教室、また、コンサートは大隈講堂を使用します。

科目登録許可が整わない場合でも、出席のカウントは始まっていますので、4月6日から
出席して下さい。（教室が大きいので、抽選で登録不可、ということは先ずあり得ません。）

シラバス

1：シリアス・ミュージックとコマーシャル・ミュージック
菅野の自己紹介をかねて、大河ドラマ「炎立つ」、NHKスペシャル「フィレンツェ・ルネサンス」のために作曲した音楽、また、NHK交響楽団の委嘱で作曲した「崩壊の神話」、国立劇場のために書いた「西行−光の道」などを聴き、DVDで見ながら進めます。

2：映像と音楽
歴代の大河ドラマの音楽を紹介し、また、それを作曲した作曲家が、シリアスミュージックとして作曲した作品を紹介し、意図や、意味による音楽の違いを考えます。

3：橋本周二先生
早稲田大学理工学部・応用物理学科教授の橋本先生による、「音」の物理的なお話です。橋本研究室では、たとえば「指揮ロボット」などを制作しています。人間が指揮をすると、そのテンポや表情に従って演奏するロボット、またカラオケでは、歌う人のテンポを察して、カラオケの方が人間について来る装置なども開発しています。そうした研究の一端をお話しして頂きます。

4：日本音楽の歴史と概観
日本人にとって、今や遠い存在となっている日本音楽の全体像を概観します。
7：駆け足でオーケストラ音楽の歴史
西洋音楽、とりわけオーケストラ音楽の歴史と特徴を、駆け足で網羅的に紹介します。

5：5月12日（火）：笛の領域（大隈講堂）
笛：一噌幸弘　ピアノ：菅野由弘
一噌流の笛方、一噌幸弘は、伝統的な能管の名手であると同時に、様々な日本の笛、また様々な国の笛を縦横無尽に扱う演奏家です。一噌流の後継者であり、能楽界になくてはならない人材ではありますが、持ち前の若さと意欲から、その活動範囲を様々なジャンルに広げています。能管による笛の古典はじめ、様々な笛による新しい伝統の響きを聴いていただきます。

プログラム
古典:神楽(能管)

一噌+菅野:即興演奏(能管+ピアノ)

一噌幸弘：Isso's Gigue(篠笛)
一噌幸弘:ワニトカゲ

一噌幸弘:総田楽の舞(田楽笛+ピアノ)

6：山崎芳男先生
早稲田大学・国際情報通信大学院教授の山崎先生による「音響」のお話です。この授業で使用している14号館201教室は、様々な音響上の工夫がなされています。その音響設計を担当したのが、この山崎芳男先生です。工学的な「響き」の世界に誘います。

7：君が代をめぐって

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	音と音楽の表現領域		
科目キー	2800001035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

雅楽：君が代
山田耕筰：御大典奉祝前奏曲　他

君が代の、政治的な意味ではなく、純粋に音楽的な価値を再認識する試みです。
本来の雅楽で聞いてみると、非常に自然な音楽ですが、奇妙なハーモニーが
付けられることによって、不自然に響いている現行の演奏方法を見直します。

8：6月2日（火）：小川典子ピアノの世界（大隈講堂）
英国と日本を拠点とし、世界的に活躍しているピアニスト、小川典子のコンサートです。
ジュリアード音楽院に学び、イギリスのリーズ国際ピアノコンクールから出発し、文字通り世界を股にかけて活躍、年間の大半を時差ボケの中で活動するピアニストの人となりも
インタビューしながら、コンサートを進めます。

プログラム
＜ピアノ音楽の王道…古典派からロマン派へ＞
モーツァルト；きらきら星変奏曲
ベートーヴェン；テンペストソナタ第一楽章
ショパン；スケルツォ第2番

＜独自の表現を編み出す…日本人作曲家＞
滝廉太郎；憾み
武満徹；雨の樹素描
菅野由弘；光の粒子

＜新しい書法…アメリカ人作曲家＞
ジョン・ケージ；4分33秒
ガーシュイン；ラプソディ・イン・ブルー抜粋

9：天使のたまご
押井守監督、菅野が音楽を担当した「天使のたまご」を鑑賞し、考えるのではなく、感じる事の重要性について考えます。

10：6月16日（火）：カミラ・ホイテンガ、フルートコンサート（大隈講堂）
ケルン在住のアメリカのフルーティスト、ホイテンガのコンサート。
先頃亡くなったドイツの作曲家、カール・ハインツ・シュトックハウゼン作品演奏のエキスパートとして、ケルンに移住したテクニシャンであり、ヨーロッパを中心に活躍しているが、
日本もしばしば訪れてコンサートを行っています。難曲を"しなやか"に、何事もなかったように演奏してしまう姿を見、聴いていただきます。

プログラム
Camilla Hoitenga, flute
Yoshihiro Kanno, piano

Mike Svoboda – Music from “Something Bigger”* (piccolo solo)
Miyuki ITO – Sands of Time* (bass flute solo)
Michel Blavet – Sonata Nr. 4 “La Lumagne”
Pèter Köszeghy – Eisblüten* (piccolo solo)
Pèter Eötvös – Cadenza from “Shadows”* (flute solo)
G. Fauré – Sicilienne or Aprés un rève
Shirish Körde – Tenderness of Cranes
Hoitenga+Kanno-Flute/Piano Improvisation

* written for Camilla Hoitenga, Japanese Premiere

11:6月23日（火）：吉村七恵　二十絃箏の地平（大隈講堂）

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	音と音楽の表現領域		
科目キー	2800001035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

二十絃箏の第一人者、吉村七恵のコンサート。
十三絃箏による古典と、二十絃箏による現代作品を対比させると共に、伝統の箏の奏者が現代に生きる意味についても語っていただきます。

プログラム
古典箏曲　乱れ　　八橋検校

古典　千鳥の曲　　吉沢検校
錦木に寄せて　　長沢勝俊
芽生え　　三木稔作曲
濤韻　　菅野由弘作曲

12:コンピュータ音楽
電子音楽、コンピュータ音楽は、テクノロジーの進歩により、飛躍的に「道具」が進化し続けています。楽器が音楽の道具であるように、コンピュータをはじめ、様々な音の出る電子機器も、音楽の道具=楽器として、新しい創作のための大いなる刺激となっています。
それらを紹介し、歴史を振り返ってみます。

13:駆け足でオーケストラ音楽の歴史
西洋音楽、とりわけオーケストラ音楽の歴史と特徴を、駆け足で網羅的に紹介します。

14:西行一光の道
菅野が国立劇場の委嘱で作曲した、雅楽、聲明、正倉院からの復元による古代楽器ノための作品を聞き、表現とその背景を説明します。

15:レポートに関する講評と展望

教科書

参考文献

評価方法　レポートです。コースナビに提出して頂きます。
提出方法などは、授業の中で発表します。

レポートの内容は「授業に対するレポート」を、自分の考えで書いて下さい。
何かを調べて各必要はありませんし、ネットからの引用は認めません。

よく「レポートは何を書けばよいのか？」と聞いてくる人がいますが、授業を受けて、
何を書こうとするかが問われているのです。

例えば、交通事故現場に居合わせたとして「そのレポートをして下さい」と言われた時、
「何をレポートすれば良いのですか？被害状況ですか？車の壊

備考　音を扱うという性質上、私語は厳禁にします。また、出席を重要視します。
遅刻は欠席とみなします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日常と非日常のレトリック		
科目キー	2800001036		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣	福島　泰樹	畠山　宗明

副題

授業概要　人間は言葉を使う動物であるとはよく言われることである。さらに進んで、「私は、私の言葉である。」とまで断言した哲学者もいる。われわれの生活には、言葉を含むいろいろな表現が満ちあふれている。表現は物事を記述したり、情報を伝達するだけでなく、現状をかえたり、人間関係を維持したり、ほかにも非常に多くの働きをしている。このコースでは、表現行為の特性を概観し、レトリック、映画の文法、現代短歌の技法、を取り上げる。

シラバス

内田種臣担当
第一回：全体の説明
第二回：語用論および言語行為論について
第三回：ファラシー1
第四回：ファラシー2　まとめ

福島泰樹担当
第一回：「生」とは何か？ ならば「死」とは？ 福島泰樹評論集『悲しみのエナジー』（三一書房/1800円）を教科書に、生と死のレトリックを探る。教科書は必ず用意しておくこと！
第二回：60年安保闘争の暮れ、敗北死した学生歌人岸上大作の短歌と絶筆「ぼくのためのノート」を通し、その生の軌跡を問う。ラスト十分間で短歌を書いてもらう。テーマは「孤独」。
第三回：短歌から出発し、詩、放送、映画、演劇等あらゆるジャンルを席巻した寺山修司
第四回：寺山修司とは誰か？「私の拡散と回収」という短歌の方法論をもって映画、演劇を席巻した男の絢爛たるレトリック（虚構）に隠された真実。最終詩「懐かしのわが家」論など。
第五回：君は、長澤延子を知っているか。14歳で詩を書き始め、17歳で命を断った少女だ。遺された五冊のノートに記された詩と手記を通して生と死のレトリックを探る。
第一回：長澤延子の詩「乳房」、そして特攻隊の手記等、5回の講義を通して、教科書『悲しみのエナジー/友よ私が死んだからとて』に籠められた切迫したいのちの意味を読み解く。

畠山宗明担当
映画一日常と非日常の弁証法
　20世紀の初頭に登場した映画は、観客に日常とは異なった非日常の世界を体験させるメディアであった。と同時に、誰もが知っている風景を、そっくりそのまま非日常的な経験へと変容させることもできるのである。「非日常的な映像」と「日常生活の非日常化」。映画は常に、この二つの機能を効果的に使って何かを伝えようとする。本講義では、様々な時代の映像作品を概観しながらこの二つの機能を跡づけてみたい。
第一回　映画の誕生：映画の登場が当時の人々にどのような驚きを与えたかを概観する。
第二回　映画と物語：映像作品における、視覚的側面と物語的な側面の違いを見てゆく。
第三回　映画と映画'：戦争という非日常を映像はどのように伝えてきたかを概観する。
第四回　映像と言葉：言葉が映像をどのようにクールダウンし、また活性化させるかを概観する。
第五回　現代の映像：これまでの回を踏まえて、現在の映像文化を概観する。

教科書

参考文献

評価方法　綜合科目の試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数理科学の思想史		
科目キー	2800001037		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	足立　恒雄		

副題　無限概念の発展

授業概要　無限という概念がどのようにして生まれたか、その歴史をたどる。

1. 数学的無限の概説。
(i) 解析学的無限大と幾何学的無限大の解説と応用
(ii) 集合論的無限大の解説。カントルの業績の意義の紹介

2. ギリシアにおける無限思想
ギリシア人はなぜ無限大を忌避したか。アリストテレスの思想とその影響。アルキメデスが無限小を使って面積・体積を求めたこと。

3. 中世における無限思想
中世キリスト教においてなぜ無限思想が勃興したか。その思想の淵源はネオプラトニズムである。神学と無限思想の関係。異端裁判

4. ガリレオ、ケプラーの無限思想
ガリレオから数理物理学は始まった。ケプラーから積分が始まった。ガリレオとケプラーの思想と人柄の違い。

5. デカルトとパスカル
両巨人の業績紹介。デカルトとパスカルの思想と人柄の違い。

6. ニュートンとライプニツ
両巨人の無限思想にはどんな違いがあるか、またどの程度共通性があるか。
ニュートンとケプラーの思想と人柄の違い。

7. 現代数学の無限思想に至る道

シラバス

教科書　足立恒雄著『「無限」の考察』講談社科学絵本
足立恒雄著『無限のパラドクス』講談社ブルーバックス

参考文献

評価方法

備考

関連URL:　足立恒雄のホームページ

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	メディアリテラシー論		
科目キー	2800001038		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　恭子		

副題　メディアを読み解く

授業概要　多種多様なメディアが偏在する「メディア社会」を生きる今日、メディアを社会的文脈でクリティカルに読み解き、主体的にメディアを選択する能力が必要です。本講座では、既存のメディアを検証し、メディアが提示する「現実」と私たちのものの見方との関係を意識化し、マスメディアから抜け落ちている視点（オルタナティブな視点）からコミュニケーションを創りだす力を考えていきます。授業は講義とワークショップを組み合わせます。ワークショップでは、小グループを作り、グループで分析、討論、発表という一連の活動をします。川口芸術学校と共同授業になりますので、教室はStep21になります。

シラバス
1.メディア社会を生きる私たち・メディア・リテラシーとは
2.メディアはどのように「現実」を構成するか
3.CMで映像言語を学ぶ
4.CMに見るイメージと価値観の販売1
5.CMに見るイメージと価値観の販売2
6.街なかの広告ウォチング実習
7.ポップミュージックとプロダクト・プレイスメント
8.PSA（公共広告）
9.意見広告と選挙
10.街なかの広告ウォチング発表
11.インターネットサイトを読み解く
12.アニメーションを読み解く
13.ドラマと私たちの社会
14.リアリティ番組を読み解く
15.メディアを読み解く　プレゼンテーション

受講生の理解度に応じて、講義・ワークショップの内容を変更することもあります。また、タイムリーなテーマを取り上げるため、変更する可能性もあります。

教科書

参考文献
・「新版スタディ・ガイド　メディア・リテラシー入門編」鈴木みどり編著、リベルタ出版
・「メディア・リテラシー・マスメディアを読み解く」カナダ・オンタリオ州教育省編、リベルタ出版
・「スキャニング・テレビジョン」イメージ・サイエンス

評価方法　出席、授業参加度(50%)、広告ウォッチング発表、課題発表、レポートの結果(50%)を加味して評価します。

備考　広告ウォッチングでは、街の中の電光掲示板、看板、ポスターなどの写真撮影をし、授業で分析します。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/kyt/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	心・脳・ボディ		
科目キー	2800001039		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完 高西　淳夫 藤江　正克	三輪　敬之 菅野　重樹 松井　龍哉	内田　種臣 井上　哲理

副題

授業概要　哲学では、伝統的に、心身問題といわれてきた問題がある。それは、心と身体あるいは物と言われてきたもののもし可能であれば区別するとか、もし二つのものであったとすればそれら二つのものの間にどのような関係があるかを論じるものである。このような区別あるいは区別らしきものは、学問の分類とか物の考え方などにも広く影響を及ぼしている。たとえば、心の活動である意志が身体を動かしているという見方などがそうである。先端のロボット工学、医療看護機器設計の方法論を具体事例で紹介する。

シラバス　井上　立体映像の仕組や臨場感向上技術についての講義。(1―4)
菅野　ロボティックスの立場から。(7)
三輪　植物の伝達、場の共創。(6)
松井　ロボットのデザイン。(5、8―12)
藤江　医療機械とロボット。(13)

第1回　立体映像の仕組みとその見え方
人間が立体感を感じる要因，映像を立体的に見せる仕組み，人工的な立体感に人間が感じる矛盾などを概説する.

第2回　映像ディスプレイの臨場感向上技術
臨場感の高い映像を提示する技術を紹介し，特に高精細，立体化，広視野を実現する没入型ディスプレイを紹介する.

第3回　感覚協調とその応用
視覚と聴覚，触覚・力覚などとの感覚協調に関する研究を紹介して，感覚の統合性や，コンテンツ制作への応用などを考えてみる.

第4回　映像に対する興味・関心を計る
人間の興味，関心などを捉える生体計測方法を紹介し，またこれらのコンテンツへの応用研究について紹介する.

第5回　デザイン概論1

第6回　植物と人とのコミュニケーションは可能か

第7回　機械における心の発生
人間と機械との違いに着目し，人間機械論を検証しつつ，知情意の総体としての「心」の工学的意味を考察する.
その上で，複雑かつ高度に進歩している機械システムにおいて，心が発生する条件を抽出していく. 講義の後に簡単なレポートを課す.

第8回　デザイン概論2

第9回　イメージアビリティー

第10回　ロボットデザイン1

第11回　ロボットデザイン2

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	心・脳・ボディ		
科目キー	2800001039		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

第12回　ロボットデザイン3

第13回　低侵襲手術用ロボット、手術用マニピュレータの開発について

第14回　試験と課題の解説

第15回　（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生活空間の文化		
科目キー	2800001040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣 染谷　高士	宮城　俊作	高橋　信之

副題

授業概要　人間−環境系に焦点を結び、身近な建築・都市を中心とした生活環境、自然と人間の営みが深く結びついたランドスケープデザイン、さらには地球環境にいたる様々なレベルにおける環境の問題をとりあげ、現場の映像や体験に触れながら、環境と文化との多面的な関係についての理解を深めていくことにする。このことは、経済の拡大発展を第一義的に考えてきたこれまでの社会を「環境と文化」という視点からとらえ直し、21世紀に向けて文化的な豊かさを実感できる新しい世界をかたちづくる科学・技術のあり方を展望する契機となるであろう。

シラバス

染谷担当講義
「生活空間のデザイン」をテーマとし、衣・食・住等の生活空間におけるデザインの意義や価値について講義する。具体的な企業や商品の事例を中心とする。
第1回（4月　7日）食生活におけるデザイン：京菓子司「末富」の事例
第2回（4月14日）住生活におけるデザイン：香老舗「松栄堂」の事例
第3回（4月21日）衣生活におけるデザイン：高級ファッション「エルメス」の事例
第4回（4月28日）老舗における伝統と革新：御菓子司「虎屋」の事例
第5回（5月12日）総括：生活空間における経験価値創造

2）　生活空間とデザイン（高橋信之）
第1回：環境場と時空間スケール
都市の環境場とスペースデザインの考え方を前提に、時空間チャートとスケールの切り方を述べる。
第2回：都市の地下空間
大都市の地下利用は拡大の一途を遂げている。その実態とあるべき地下利用形体を述べる。
第3回：都市の水域環境
近代化と都市化で失われた河川や水域環境の実態と、水と都市の共生について述べる。
第4回：ヒートアイランド現象
近年の大都市のヒートアイランド現象はすざましい。その実態と熱源の拡散手法を述べる。
第5回：都市の風環境
都市は風環境を無視して計画されてきた。近年の都市の風の道の研究成果とあり方を述べる。

宮城俊作担当
第1回　都市とランドスケープ
都市において、ランドスケープがどのように発現しているのか、東京を事例として歴史的、現代的な文脈で述べる。
第2回　日本庭園の環境文化
日本人の自然観が映し出されている空間として日本庭園をとらえ、多くの事例をとりあげながら通史的に述べる。
第3回　風景のモデル
工業化社会から脱工業化社会への移行過程において、自然と人間の関係を映し出す風景のモデルがどのように変化したかを述べる
第4回　ランドスケープのデザイン
人間の生活と自然との対立関係を審美的に調停する職能としてのランドスケープデザインの実践について述べる。

教科書

染谷高士担当教科書
・長沢伸也編著、早稲田大学ビジネススクール長沢研究室著『老舗ブランド企業の経験価値創造?顧客との出会いのデザインマネジメント?』同友館、2006年
・長沢伸也・染谷高士共著『老舗ブランド「虎屋」の伝統と革新　経験価値創造と技術経営』晃洋書房、2007年

・長沢伸也編著、早稲田大学ビジネススクール長沢研究室著『経験価値ものづくり?ブランド価値とヒットを生む「こと」づくり』日科技連出版社、2007年
・長沢伸也編著、早稲田大学ビジネススクール長沢研究室著『ヒットを生む経験価値創造?感性を揺さぶるものづくり』日科技連出版社、2005年

参考文献

生活空間とデザイン（長沢伸也）
〇長沢伸也・岩谷昌樹共編著、佐藤典司・岩倉信弥・中西元男共著『デザインマネジメント入門−デザインの戦略的

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生活空間の文化		
科目キー	2800001040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

活用-』京都新聞出版センター、2003年

評価方法　定期試験

備考　【担当教員連絡先等】長沢　伸也、原　剛、宮城　俊作

生活空間とデザイン（染谷）履修上の注意
【備考（履修上の注意）】
教科書を読んでいるという前提で講義する。講義資料（パワーポイント）は教科書の図表・写真が中心なので配布しない。教科書は必ずしも購入する必要はないが、友人や図書館から借りる等して読んでおくこと。
最低到達目標は、衣・食・住等の生活空間におけるデザインの意義や価値についての正しい知識を得ることである。また、努力目標は、生活空間におけるデザインの意義や価値についてマスコミ等に惑わされずに自分で考える力を養うことである。

関連URL:　高橋信之：http://www.takahashi.rise.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	シミュレーション技術と文化		
科目キー	2800001041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣 及川　靖広	橋本　周司	遠藤　隆也

副題

授業概要　近年の計算機の発達は、従来の思考実験あるいは模擬実験の役割を大きく変えて、科学技術ばかりでなく我々の文化へも多大な影響を与えている。ここでは、自然科学の方法論としての仮説・推定・検証の枠組みとシミュレーションの役割を具体的な事例に基づいて検討すると共に、社会・文化と技術の関係を考える。また、人工現実感、コンピュータゲームなどにおける感覚の仮想化とリアリティの関係を通して、シミュレーション技術の将来像とそこに内在する問題点を考察する。

シラバス　原則として3人の教員が全体で14回連続で、ビデオおよび実際のデモンストレーションを交えて講義を行なう。

主な話題は以下の通りである。
第1回（橋本）　9月24日人工生命
第2回（橋本）　10月1日次世代ロボットとインタフェース
第3回（橋本）　10月8日人工感性
第4回（橋本）　10月15日行動とシミュレーション
第5回（橋本）　10月22日シミュレーション文化論
第6回（及川）　10月29日科学と技術
第7回（及川）　11月12日音とは・音場とは
第8回（及川）　11月19日音場のVR
第9回（及川）　11月26日音場の数値計算
第10回（及川）　12月3日文化を支える技術
第11回（遠藤）　12月10日シミュレーションと科学技術
第12回（遠藤）　12月17日環境とシミュレーション
第13回（遠藤）　1月7日人工現実感
第14回（遠藤）　1月14日ネットワーク社会
第15回　　1月21日（橋本、及川、遠藤）　試験とその講評

最後は
綜合科目の試験を行う

教科書

参考文献

評価方法　筆記試験、各教員が一問ずつ出題。

備考　「担当教員等の連絡先」
橋本周司（shuji@waseda.jp）
コーディネイター(taneomi@waseda.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	音楽論		
科目キー	2800001042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要　音楽には様々な形がありますが、それらを作曲家の視点から考えながら聴いて行きます。菅野が作曲した音楽などを、実作者の立場からアプローチし、分析を加えて講義します。日本では、クラシック音楽とポピュラー音楽、といった区分が一般的ですが、菅野は、シリアス・ミュージックとコマーシャル・ミュージックという、ジャンルを横断した区分を提唱しています。こうしたことを踏まえ、この講座では、ジャンルに囚われないシリアス・ミュージックを中心に、映像と音楽、コンピュータと音楽、日本文化と音楽、などを論じます。

シラバス　◎菅野が作曲家として実際に手がけた作品や、表現、その背景などについて、音楽を聴きながら考えて行きます。
　また、日本人自身が忘れている日本の伝統音楽の価値、最新のテクノロジーによる音楽表現（電子音楽、コンピュータ音楽）など、幅広いトピックを論じる予定です。

(1)再生された音と生の音：SPレコード、CD、iPodの音(音楽)、またピアノの実演も交え「再生された音」「生の音」の違い、「良い音」「悪い音」とは何か、また「良い音楽」「悪い音楽」とは何かを考えます。

(2)耳の聞こえないパーカッショニストのエヴェリン・グレニー。彼女のパワフルな演奏の秘密と、音の意味、音楽は果たして耳だけで聴くものかを考えます。

(3)音とは何か、ということを本質的に考えた作曲家、ジョン・ケージの作品を通して、音と表現の意味を探ります。

(4)ハリウッド映画音楽の礎「コルンゴルトの音楽」
退廃音楽の烙印を押され、アメリカに亡命した作曲家、コルンゴルトは、現在のハリウッド映画音楽のスタイルを作り上げた作曲家の一人です。

(5)「退廃音楽」
ナチス・ドイツ、ヒトラーによる芸術支配の姿を紹介します。

(6)「日本音楽の歴史」
奈良・平安時代に始まる日本音楽の歴史を概説し、流れをつかみます。

(7)「日本音楽について」
日本の伝統音楽が持つ、日本の社会、文化に通じる特徴を考えます。
「雅楽」
「聲明」
「邦楽」
「中国、韓国、ベトナム、そして日本の雅楽」

(8)「コンピュータ音楽」
実際にコンピュータを持ち込んでの実演
歴史
現在の作品

(9)「ピンク・フロイドのThe Wall」
ロックの持つメッセージ性と政治的意味合いについて

(10)"Low"を巡って
東西を隔てる壁が存在したベルリンで、ブライアン・イーノのプロデュースによるデビッド・ボウイの"Low"が制作された。それを、ベルリンの壁崩壊後に、フィリップ・グラスが"Low Symphony"にした意味は？

(11)「フランク・ザッパ　ロックの横断領域」
シリアスミュージックとしてのロックと現代音楽

(12)「冗談音楽」
ホフナング音楽祭

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	音楽論		
科目キー	2800001042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

---

(13)ベートーベン「第九交響曲」を巡って
年末恒例の、ベートーベンの「第九」、現在演奏されているテンポは、ベートーベン自身が指定したテンポとは、かけ離れた速度で演奏されています。

(14)「風の都市 & 不思議」
菅野がニューヨークで初演した、コンピュータと映像のための音楽作品を聞き、コンピュータ音楽の現在を紹介します。

(15)レポートの講評とその展望

教科書

参考文献

評価方法　レポートです。コースナビに提出して頂きます。
提出方法などは、授業の中で発表します。

レポートの内容は「授業に対するレポート」を、自分の考えで書いて下さい。
何かを調べて各必要はありませんし、ネットからの引用は認めません。

よく「レポートは何を書けばよいのか？」と聞いてくる人がいますが、授業を受けて、
何を書こうとするかが問われているのです。

例えば、交通事故現場に居合わせたとして「そのレポートをして下さい」と言われた時、
「何をレポートすれば良いのですか？被害状況ですか？車の壊

備考　音を扱うという性質の授業ですので、私語は厳禁です。また、出席を重要視します。
遅刻は欠席とみなします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	象徴の諸相		
科目キー	2800001043		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完 井上　明久	内田　種臣	村井　浩一

副題

授業概要　映画『薔薇の名前』を見たり、場合によっては『ダヴィンチ・コード』のいくつかのシーンも参考にしながら、中世に関わるさまざまな興味深い事柄を含むこの映画の成立，内容，構成等の説明から、進んでいろいろな注釈や文献を参考にしながら、そこに現れている記号論的な技法、モダニズムに対比されるポストモダニズムの思想や技法、宗教上のシンボルの意味を学習する。また、中世の都市や文化の特性、そこに現れている人間の在り方、それを取り巻く状況、とくに科学観、宗教論争、異端の問題、大学、図書館、中世の愛、騎士道、笑いと道化などに対する見方・考え方等を取り上げ、さらにはそれらの現代的な意義を論じる。
また，さまざまな物語やわれわれの実際の活動の中で出て来る真相の追求，真理の探求という優れて人間的な知的活動がもつ物語構造に関しても議論を展開する。

シラバス　第1回：はじめに、象徴、象徴的なるものについての概説を行なう。（1・・7村井）

第2回：映画「薔薇の名前」を見る。

第3回：映画「薔薇の名前」を見る。

第4回：映画の成立，内容，構成等の説明や中世の社会

第5回：いわゆる「普遍論争」について、主に初期の展開を追いながら問題点を整理する。

第6回：いわゆる「普遍論争」について、主に後期の展開を追いながら問題点を整理する。

第7回：教会、図書館、愛の問題、異端の問題などを講義する。

第8回：他のさまざまな分野の映画と比較しながら，映画・映像に関する講義を行う。
　　笑いをめぐる映像表現　（8・・10井上）

第9回：図書館をめぐる映像表現

第10回：異端をめぐる映像表現

第11回：近代の表現をめぐる記号論的／美学的問題　（11・・14山田）

第12回：ポストモダニズムの問題

第13回：普遍論争から記号論へ

第14回：象徴の諸相　まとめ

第15回　（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　その都度指示する。

評価方法　定期試験

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)
研究室：51号館504A

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	象徴の諸相		
科目キー	2800001043		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プラクティカルリーズニング		
科目キー	2800001044		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高頭　直樹		

副題

授業概要　地域社会や企業等の組織において出会う困難な倫理的決定において、どのように思考・判断すればよいか、ということを中心に学ぶ。(1)倫理的な問題を扱うための実践的な道具や倫理に関わる代表的な問題を示しながら、倫理的推論を行う方法論を紹介し、(2)そのような方法を具体的に適用する技術を習得することを目標にする。(3)倫理的な問題を建設的に解決し、どちらが勝ったかではなくて、どちらがどの点で正しいのかが、熟慮できる創造性を養うこと。「一方の勝ち」は社会の進歩ではないので、新しい「進歩」概念を探求する能力も必要になる。

シラバス
第1回(4月10日)　オリエンテーション
第2回(4月17日)　「実践的推論」とは何か
第3回(4月24日)　「実践的推理」はなぜ必要か
第4回(5月 8日)　日常的言語の特徴
第5回(5月15日)　「分かる」の構造と
第6回(5月22日)　「分からない」の構造
第7回(5月29日)　日常的言語と「推論」(1)
第8回(6月 5日)　日常的言語と「推論」(2)
第9回(6月12日)　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回(6月19日)　「討論」とは何か
第11回(6月26日)　「討論」の構造
第12回(7月3日)　「意見」形成の構造
第13回(7月10日)　「論駁」と「説得」
第14回(7月17日　具体的問題による討論
第15回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　適宜紹介する。

参考文献　プリント等を配布する。

評価方法　試験および、その他。

備考　一部演習形式で行うので，講義に積極的に参加する意欲のある諸君の参加を期待する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	マスターズ・オブ・シネマ　映画のすべて		
科目キー	2800001047		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	安藤　紘平	元村　直樹	

副題　株式会社ヒューマントラスト寄付講座

授業概要　映画界を支える魅力的なゲストを迎え、何故映画にかかわったか、どう映画に取り組むべきか、手法やエピソードなどを語ってもらう。学生には事前に予習させ、講座直前に映像を上映し、質の高いディスカッションを求める。

シラバス　【ゲスト講師予定】 多少変更となる場合があります。
山田洋次（監督）、行定勲（監督）、柄本明（俳優）、樋口真嗣（監督）、久石譲（音楽監督）、是枝裕和（監督）、亀山千広（プロデューサー）、大林宣彦（映像作家）、澤登翠（活弁士）、犬童一心（監督）、篠田正浩（監督）、角川歴彦（プロデューサー）、塩田明彦（監督）など

教科書　特になし

参考文献　「映像プロフェッショナル入門」安藤紘平著、フィルムアート社刊　定価2,000円
※早稲田大学生協にて生協組合員は1,800円で購入出来ます。

評価方法　レポート、授業への参加度を総合的に評価する。
※大学院学生と学部学生では、評価基準を別に定め、それぞれに見合った学業成績判定を行います。

備考　本科目は、大学院との合併科目です。
授業時間は4時限ですが、2時限終了後から同じ教室にて当日講義いただく先生に関係のある映画の上映を行いますので、できるだけ参加してください。上映する映画の内容・スケジュールについては授業中およびCourseN@viにて周知します。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	表現とコトバ		
科目キー	2800001068		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要

半期という短い期間の間に多様な表現の実際と可能性をできるだけコンパクトにまとめる。
それでもわれわれの認識の問題に関わるテーマであるので、構造主義的方法、記号論、ポストモダン、インタラクション、情報デザイン、そしてもうあまり聞かれなくなったイデオロギー批判といったキーワードがたびたび飛び出してくるでしょう。
そして「コトバ」。「言葉」とか「言語」では限定的になるかもしれないので、言葉も言語も含むものとして、ここではコトバとしておこう。そしてここでは記号、符号、図形も、表情、行為、人工物も、また自然にも表情があるのなら自然も、すべてコトバとしておこう。

シラバス

第1回 「表現」ということ

第2回 「コトバ」ということ

第3回　言語の歴史と言語学

第4回　世界認識のコペルニクス的転回とコトバ理解のコペルニクス的転回

第5回　再び「表現」ということ

第6回　構造主義的方法

第7回　記号学・記号論的なるものの展開

第8回　記号学・記号論の現在1

第9回　記号学・記号論の現在2

第10回　情報デザインとインタラクション

第11回　表現と理解

第12回　表われ・現われと表現

第13回　自己表出と自己表現

第14回　まとめ

第15回　（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

教場およびコースナビ上で種々のプリントを配付する。

参考文献

参考文献等に関してはそのつど指示する。

評価方法

定期試験。

備考

【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)
51号館504A

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	表現とコトバ		
科目キー	2800001068		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	精神分析論I		
科目キー	2800002002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　精神分析は19世紀末にフロイトが医療の文脈で生み出した、人の心に関する理論である。20世紀には飛躍的に発展し、医療や心理学の分野に限らず、人間、社会、文化に関する様々な思想領域に多大な影響を及ぼしてきた。精神分析論Ⅰでは、フロイトが生み出した精神分析の全体を概観し、精神分析の根底にある人間像の理解をめざす。

シラバス
第　1回（4月　7日）オリエンテーション
第　2回（4月14日）現代における精神分析
第　3回（4月21日）精神分析が生まれた社会的背景
第　4回（4月28日）フロイトの生涯と精神分析の誕生
第　5回（5月12日）フロイトの思想の概要
第　6回（5月19日）無意識の発見とその解読
第　7回（5月26日）性欲論
第　8回（6月　2日）心の構造と機能
第　9回（6月　9日）小テストと解説
第10回（6月16日）フロイトの弟子たちによる展開
第11回（6月23日）アメリカにおける展開
第12回（6月30日）イギリスにおける展開
第13回（7月　7日）日本における展開
第14回（7月14日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　小此木啓吾　1989　フロイト　講談社学術文庫

参考文献

評価方法　成績は小テストおよび、最終試験に基づいて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	精神分析論II		
科目キー	2800002003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　精神分析では人間の心理的な発達に決定的な影響を及ぼす要因として、発達初期の母子関係の重要性が注目されてきた。「3歳までは母の手で育てるべき」とする3歳児神話のきっかけを作ったのも、精神分析を基礎におく発達理論である。しかし、家族をとりまく社会環境が大きく変化する中、従来の枠組みの限界が指摘されてきている。精神分析論IIでは、精神分析的な発達理論と、これらに対する評価と批判、および家族の諸相に関する近年の様々な実証研究を概観し、現代の日本社会で子供を取り巻く家族や社会的ネットワークが、子供の成長を支える上でいかに機能しうるかを考えていく。

シラバス
第　1回（　9月29日）オリエンテーション
第　2回（10月　6日）3歳児神話とは
第　3回（10月13日）母子関係が注目されるようになった歴史的社会的背景
第　4回（10月20日）乳児はなぜ特定の養育者に愛着を示すか
第　5回（10月27日）愛着理論(1)
第　6回（11月10日）愛着理論(2)
第　7回（11月17日）愛着理論に対する評価と批判
第　8回（11月24日）小テストと解説
第　9回（12月　1日）日本の家族をとりまく社会環境の変化(1)
第10回（12月　8日）日本の家族をとりまく社会環境の変化(2)
第11回（12月15日）夫婦関係・親子関係の諸相(1)
第12回（12月22日）夫婦関係・親子関係の諸相(2)
第13回（　1月12日）夫婦関係・親子関係の諸相(3)
第14回（　1月19日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　特に指定しない。適宜参考文献を紹介する。

参考文献

評価方法　成績は小テストおよび、最終試験に基づいて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	心理学I		
科目キー	2800002004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　心理学は、人の行動とその背後にある心理過程を理解することを目指す学問である。本講義は、はじめて心理学を学ぶ学生を対象に、心理学の研究知見を共有していくことをめざす。心理学Ｉでは、心理学の歴史や方法論を概観した上で、人の心がどのように発達するかを扱った研究や、人が自分の外界や内面をどのように感じ取ったり、理解したり、記憶したりするのか、を分析した研究を紹介していく。

シラバス
第　1回（　4月10日）オリエンテーション
第　2回（　4月17日）心理学とは
第　3回（　4月24日）心理学の生物学的基礎
第　4回（　5月　8日）心理的発達(1)
第　5回（　5月15日）心理的発達(2)
第　6回（　5月22日）知覚(1)
第　7回（　5月29日）知覚(2)
第　8回（　6月　5日）意識
第　9回（　6月12日）コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回（　6月19日）学習と条件づけ(1)
第11回（　6月26日）学習と条件づけ(2)
第12回（　7月　3日）記憶(1)
第13回（　7月10日）記憶(2)
第14回（　7月17日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献　ヒルガードの心理学（第14版）　ブレーン出版

評価方法　終試験（教場試験）で評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	心理学II		
科目キー	2800002005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　心理学は、人の行動とその背後にある心理過程を理解することを目指す学問である。本講義は、はじめて心理学を学ぶ学生を対象に、心理学の研究知見を共有していくことをめざす。心理学IIでは、人の言語獲得や思考の仕組み、人の欲求や感情の仕組み、人格がいかにして形成されるか、人の社会的行動の特徴などに関する研究知見を紹介していく。

シラバス
第　1回（10月　2日）オリエンテーション
第　2回（10月　9日）言語と思考(1)
第　3回（10月16日）言語と思考(2)
第　4回（10月23日）動機付け(1)
第　5回（10月30日）動機付け(2)
第　6回（11月13日）感情(1)
第　7回（11月20日）感情(2)
第　8回（11月27日）知能
第　9回（12月　4日）人格(1)
第10回（12月11日）人格(2)
第11回（12月18日）社会的影響・社会的認知(1)
第12回（　1月　8日）社会的影響・社会的認知(2)
第13回（　1月15日）社会的影響・社会的認知(3)
第14回（　1月22日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献　ヒルガードの心理学（第14版）　ブレーン出版

評価方法　最終試験（教場試験）で評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物と環境適応		
科目キー	2800002007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	藤森　嶺	坂巻　義章	

副題

授業概要

シラバス

04月09日　藤森　嶺
1．地球の歴史と生物：地球46億年の歴史の中で生命体が誕生した。その進化の先に出現したヒトは火と道具を使うことを出発点に、技術の進展をはかり生活の形態を変化させ続けてきた。それはヒトの生活の快適化に貢献しているが、環境への負荷も大きなものとなってきた。

04月16日　藤森　嶺
2．細胞構造と環境：生物は海中で誕生したことから細胞構造もその環境に適応したものとして形成されている。初期の原核細胞と現在の真核細胞を比較してみる。

04月23日　藤森　嶺
3. 食糧生産と化学技術：1万年前から始まった農耕は人口増加を支えてきたが、最近の急激な人口増加には化学肥料と化学農薬の貢献が大きい。

04月30日　※臨時休業

05月07日　藤森　嶺
4．化学農薬と環境：化学農薬は現在の農業には必須とされるが、環境問題の元凶の一つでもあった。

05月14日　藤森　嶺
5．フェロモン、微生物農薬、そして有機農産物：環境保全型農業の登場。有機農産物の需要増大について考える。

05月21日　藤森　嶺
6．農薬と遺伝子組換え作物の関係：遺伝子組換え作物登場の背景。遺伝子組換え作物の急成長を検証する。

05月28日　藤森　嶺
7．地球環境問題：ヒトの生活の変遷と科学技術の関係を考える。

06月04日　坂巻 義章
8．エネルギーとしての光環境；光エネルギーは生態系のすべての生物の基礎である。生態系へのエネルギーの取り込みである光合成と物質生産について考える。

06月11日　坂巻 義章
9．信号としての光環境；光環境は生物に対して光合成のエネルギーだけではなく成長の信号としても働く。

06月18日　坂巻 義章
10. 水環境と生物；生物体の大部分は水であり、水の獲得は重要である。特に乾燥に対して生物はどのように適応しているのか。

06月25日　坂巻 義章
11. 温度環境と生物；地域、季節の温度変化の中で生物はどのように適応しているか。

07月02日　坂巻 義章
12. 生態系とエネルギー；光合成によって獲得されたエネルギーは生態系をどのように流れていくのか。

07月09日　坂巻 義章
13. 二酸化炭素と生物；温暖化の元凶とされる二酸化炭素濃度の変化は生態系にどのような影響を与えるのか。生物の側から考える。

07月16日　坂巻 義章
14. 里山の環境；身近な自然環境の具体例として里山について考える。

教科書

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物と環境適応		
科目キー	2800002007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ゲーム理論		
科目キー	2800002008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	樋口　清秀		

副題

授業概要　ゲーム理論は経済学、経営学、政治学、社会学、生物学、近年は物理学などで用いられる重要な数理的分析手法であり、何らかの相互関係（ライバル関係、協調関係、等々）があるプレイヤーの戦略形成のありようや、プレイヤー間の「闘い」の結果生じる社会的均衡状態などを扱う。 講義では、オークションや家の取引、就職のマッチングなど、身近な応用問題を紹介することから出発し、ゲーム理論の基本的な概念の応用を数学的な証明を含めて解説することを計画しています。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	情報倫理		
科目キー	2800002009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　情報技術の進展・普及にともない、個人情報や著作権など、流通する情報の取りあつかいをめぐる問題が重要視されるようになってきた。また、専門家と非専門家の間の知識のギャップが問題となる局面も多い。情報倫理学は、そのような情報の取り扱いをめぐって生じる問題をその学問領域とする。
本講義では、有害情報や、プライバシー、表現の自由、知的所有権の問題など、近年の主要な問題を取りあげ、情報倫理上の問題に対して、「こうすべき」という処方箋を提供するのではなく、そのような問題がなぜ発生するのかの解明にまで一歩踏み込んだ視点の習得を目標とする。

シラバス
[第1回]:オリエンテーション
[第2回]:なぜ情報倫理が必要か
[第3回]:倫理学の基礎
[第4回]:専門家と倫理(1):科学者のエートス、専門家の倫理
[第5回]:専門家と倫理(2):専門家と非専門家
[第6回]:新技術の出現とルール形成
[第7回]:情報技術と格差
[第8回]:表現の自由とその規制
[第9回]:有害情報とフィルタリング
[第10回]:プライバシーと個人情報
[第11回]:知的財産権の基礎
[第12回]:著作権をめぐる問題
[第13回]:メディア・リテラシー
[第14回]:情報とリスク
[第15回]:学力考査および解説

教科書　特に指定しない。

参考文献　参考文献については適宜講義中に指示する。

評価方法　筆記試験によって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する(10%)。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル家電の興亡		
科目キー	2800002010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	伊藤　裕太		

副題　情報家電産業の進化と国際競争の激化の中で、これからの日本の取るべき進路を考えます。

授業概要　昨年に引き続き、今年度もこの科目を担当する。 2008年は経済危機が世界・日本を直撃した年だった。 人間の営みは行き過ぎると必ず揺り戻しがかかるものだ。世界経済がカタストロフィー（ catastrophe：破局 ）を迎える前に、人類の叡智が経済の行き過ぎにブレーキをかけたのだと信じることができれば、窓の外の、この厳しい経済状況もまた違って見えてくる。こういう時こそ、焦らずに10年後・20年後・30年後の自分を思い描いて精進を重ねるべきだ。経済の専門家でも近い将来が予測できないようなこうした環境下で、学生の皆さんが世界に向けた自分自身の視点を確立し、社会に出てからの行動規範を築くことはとても難しいことだ。しかし、皆さんがあくなき好奇心と素敵な夢を持ち、自分はこうなりたいと強く念ずれば、チャレンジングな世相だが、必ず未来を開くことができる。そういうことをお手伝いする授業にしたいと思っている。 本講義では、毎年、デジタル化の両輪ともいうべきテクノロジーとコンテンツについて触れてきている。テクノロジーやコンテンツの分野における日本の立場・位置も10年前・20年前とは変化を余儀なくされている。この講義では、1980年代・1990年代・2000年代のデジタル化の勃興・発展をたどりながら、2010年代の日本の強みとなるであろうと予想される分野の展望を試みて行きたい。昨年来の経済危機で、世界に知られたブランドを冠する日本の大手電機メーカーですら大きな痛手を負っている。昨年までは、液晶テレビとプラズマテレビの勢力争いとか、ソフトバンクの携帯電話事業での健闘とかいった、いわば局地戦による興亡を考察していればよかったが、大手メーカーですら「事業の集中と選択」、「人員整理」、「投資の抑制」まで考え始めたとなると、経済危機脱出後の電機・IT産業の未来を占っていかざるを得ない。言ってみれば、「日本のメーカーの存亡」がこの授業の今年のメインテーマだ。 他方、コンテンツの分野では、2003年が「千と千尋の神隠し」のアカデミー賞受賞で記念碑的な年となり、日本のこの分野における優位性に注目が集まった。2009年2月には「おくりびと」がアカデミー賞を受賞した。こんな時代だからこそ、日本のコンテンツや文化力が注目されているのであろう。「殺戮と破壊」の文明から「和と自然環境」の文化への転換期なのかもしれない。ソフトパワーやクールジャパンなどの概念も注目されている。2009年もこの分野には時間を割きたい。 1980年代・90年代は海外の国との競争をあまり意識しなくても、日本は国際社会で十分に競争できた時代だった。しかしながら、2000年代に入ってからは中国や韓国との競争の波の中で、日本の産業も柔軟に構えないと国際社会で勝ち残れないし、共存すらできない時代となりつつある。 皆さんが卒業する2010年代に世界や日本がどうなっているかは現在読めない状況だ。しかし皆さんが勇気と元気を保ち、豊かに安全に暮らして行けることが大切なのだと確信できるように、授業を通して、一緒に勉強して行こう。

シラバス　＜第1回　4月10日＞ ■はじめに　卒業後にこれからの社会で待ち受けていること−好奇心、夢、自己実現について　この授業の進め方　この講義で学ぶこと・考えること−知識・研究だけが教育ではない　この講義で扱うテーマ　この講義で扱うメディア領域　＜第2回　4月17日＞ ■参考文献紹介　アナログからデジタルへ　デジタルメディアの覇権の歴史　2008年の家電・IT産業で起きたこと、見えてきたこと ＜第3回　4月24日＞ ■パソコンとインターネットの歴史　インターネットとは？　統合型ネットワークと分散型ネットワーク　WWWとは？　情報スーパーハイウェー構想　インターネットでできること　ネット社会がもたらしたもの ＜第4回　5月8日＞ ■ベンチャービジネス入門　ネットビジネス億万長者　インターネットバブルの崩壊　2008年の世界経済危機 ＜第5回　5月15日＞ ■流通手段としてのインターネット　秘密鍵と公開鍵　坂村健とTRON OS ＜第6回　5月22日＞ ■メディアとしてのインターネット　ポータルサイト　Google研究　Pod Casting　Web2.0 ■ネット時代のコンテンツ流通−iPodを中心として　ナプスターとMP3　YouTube　著作権について ＜第7回　5月29日＞ ■ネット社会の裏側にあるもの　国家と安全保障　ネットワーク社会の弊害　（ネットワーク犯罪、ウィルス、サイバー攻撃、BotNet） ＜第8回　6月5日＞ ■クールジャパンと日本の文化力　デジタル国富論（ゲーム、アニメ、漫画、フィギュアを中心として） ＜第9回　6月12日＞ ■コースナビにて学習した内容の点検と確認　■中間レポートを課します。 ＜第10回　6月19日＞ ■マルチメディアとエンターテインメント　ゲーム機　ファミコンからPS3まで　ネットワークゲーム機　デジタル携帯ゲーム機 ＜第11回　6月26日＞ ■ケーブルテレビ／衛星放送事業　ケーブルテレビ事業のフレームワーク　日本におけるCATVと衛星放送　多チャンネル時代のソフトビジネス　テレビのデジタル化、世界のテレビのデジタル化　ブロードバンド ＜第12回　7月3日＞ ■携帯電話とPDA　iモードの登場　第3世代携帯電話　携帯電話のPDA化　これからの携帯電話　＜第13回　7月10日＞ ■電機・IT産業界の展望　情報機器、通信機器、AV家電の融合　最新デジタル情報家電 ■これからの日本の国富を考える　アジアの中の日本　うさぎ（アメリカ）とかめ（日本）とドラゴン（中国）と象（インド）　BRICs、Next11 ＜第14回　7月17日＞ ■学力考査および解説 ＜第15回　日程別途指示＞ ■授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　適宜、資料を配布します。

参考文献　授業内で参考文献リストを配布

評価方法　出席をとります。評価の際は、出席を重視します（60点）。また、加点制度を採っています。授業への参画に応じて加点しています。
今年度から定期試験の実施が義務付けられましたので、教場にて試験を行なう予定です。（20点）また、レポート記

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル家電の興亡		
科目キー	2800002010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

述能力向上のためにレポートを提出していただきます（20点）。レポートの提出期限は6月30日です。レポートの課題は6月にコースナビにて説明します。レポートの提出と試験を受けることが単位取得の必要条件となります。

備考　伊藤　裕太　yutaitocello@yahoo.co.jp

関連URL:　講師紹介
http://www.polaroid.co.jp/aboutpola/press/04

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代企業論		
科目キー	2800002011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　経営組織体の中で構築、運営される様々な制度や慣行の背景を、経済学的な観点から学習し理解することを目的とする。いいかえれば、人々はどのようなインセンティブ（誘因）に基づいて選択を決定し行動するのか、そしてどのようなインセンティブ構造を組織内に構築すれば、経営目標を達成できるのかについて理解することが目的である。
企業内部の活動や制度を経済学的に分析する方法は1960年代後半頃から学術的な成果の蓄積が進んだ。現在ではこれらの成果を、まとめて契約理論と総称することが多い。本授業では主にこの契約理論に基づいて、特に企業内の人事制度や慣行がどのように説明できるのか、あるいは人事制度をどのように設計すれば効率的なのかについて講義する。

シラバス　<dl><dt>第01回（04月10日）：講義の目的と概略

<dt>第02回（04月17日）：伝統的なミクロ経済学（1)<dd>ミクロ経済学の伝統的な価格理論を確認する。

<dt>第03回（04月24日）：伝統的なミクロ経済学（2)<dd>ミクロ経済学の伝統的な価格理論を確認する。

<dt>第04回（05月08日）：情報の非対称性とエージェンシー理論<dd>価格理論と契約理論の違い、および契約理論のうちエージェンシー理論の基本的な構造について確認する。

<dt>第05回（05月15日）：エージェンシー理論（1)<dd>モラルハザードの概要について確認する。

<dt>第06回（05月22日）：エージェンシー理論（2)<dd>逆選択の概要について確認する。シグナリング、スクリーニング、自己選択、メカニズムデザインなどについても確認する。

<dt>第07回（05月29日）：エージェンシー理論（3)<dd>モラルハザード、逆選択の枠組みを拡張したケースについて確認する。

<dt>第08回（06月05日）：エージェンシー理論の応用（1)<dd>エージェンシー理論とコーポレートガバナンスとの関係を確認する。

<dt>第09回（06月12日）：コースナビにて学習した内容の点検と確認

<dt>第10回（06月19日）：エージェンシー理論の応用（2)<dd>エージェンシー理論と組織形態との関係を確認する。

<dt>第11回（06月26日）：エージェンシー理論の応用（3)<dd>エージェンシー理論と人事労務管理制度との関係を確認する。

<dt>第12回（07月03日）：取引費用（1)<dd>取引費用の概要について確認する。

<dt>第13回（07月10日）：取引費用（2)<dd>完備契約と不完備契約、ホールドアップ問題、所有権問題などの概要について確認する。

<dt>第14回（07月17日）：契約理論と関連するアプローチ<dd>経済心理学、法と経済学、進化経済学、ゲーム理論と組織との関係について確認する。

<dt>第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

教科書　特に指定しない。講義時に使用したスライドは後日ウェブ上にアップロードする。

参考文献　Milgrom, P. and J. Roberts (1992), Economics, Organization and Management, Prentice Hall Inc.（奥野正寛他訳（1997)、『組織の経済学』、NTT出版).
Lazear, E.P. (1998), Personnel Economics for Managers, John Wiley & Sons（樋口美雄・清家篤訳（1998)、『人事と組織の経済学』、日本経済新聞社).
樋口美雄（2001)、『人事経済学』、生産性出版。
今野浩一郎・佐藤博樹（2002)、『人事管理入門』、日本経済新聞社。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代企業論		
科目キー	2800002011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

評価方法　期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。出席点をつける場合、学力考査の結果に出席点を付加する。
その他の詳細は1回目の講義時に説明するので出席を推奨する。

備考　後期開講の「雇用環境と労働」と内容がリンクしているので、連続履修を推奨する。
「経済学AI」または「経済学BI」を履修済みであればより理解が深まるが、未履修でも理解できるように講義を進める。
授業の進行具合などを見て、内容を適宜変更することがある。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命倫理		
科目キー	2800002012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森川　功		

副題

授業概要　本講義では、まず、何故にいま生命倫理について学ぶ必要があるのかについて論じ、履修者の諸君に今日の医療問題や環境問題を含む社会の種々の出来事に対して問題意識を持ってもらったうえで、基本倫理原則など、生命倫理の基本的な事柄について知識を得てもらう。その後は、生命と医科学に関連した論題を採りあげ、種々の事案について解説を行なうことを繰り返すが、その際には映像を用いるなどして具体的な事例を提示して、レポートの課題とする。提出されたレポートについては論評をする。

シラバス
第　1回（4月10日）　生命倫理とは何か、何故にいま生命倫理なのか
第　2回（4月17日）　倫理理論、基本倫理原則（1）
第　3回（4月24日）　基本倫理原則（2）
第　4回（5月　8日）　基本倫理原則（3）
第　5回（5月15日）　インフォームド・コンセント
第　6回（5月22日）　生命の神聖さ(SOL)と生の質(QOL)
第　7回（5月29日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（1）
第　8回（6月　5日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（2）
第　9回（6月12日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（3）
第10回（6月19日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（4）
第11回（6月26日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（5）
第12回（7月　3日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（6）
第13回（7月10日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（7）
第14回（7月17日）　個別的な論題と種々の事案に関する解説（8）
第15回（7月24日）　学力考査

個別的な論題については履修者が希望するものを採りあげる。特に希望がない場合には、
（1）高齢者による治療拒否
（2）植物状態患者（死の定義）
（3）生殖補助技術
（4）安楽死
（5）出生前検査・診断
（6）新生児医療
（7）多能性幹細胞研究
などを採りあげる予定である。

教科書　なし。

参考文献　参考書：森川　功『生命倫理の基本原則とインフォームド・コンセント』（じほう、2002年）
資料等：レジュメを配布する。

評価方法　レポートと定期試験

備考　（履修上の注意）
本講義では自分自身で考えることを要求する。したがって、基本的な事柄について論じた後は、提出されたレポートに関して論評する場合を除き、教えすぎないようにする。それは、具体的な事例の諸事実のいずれに倫理問題が存在するのか、その事例において採られるかもしれない選択肢の倫理的是非についてどのように論じるべきかなどを自分自身で考えてもらうためである。本講義で課題とされるレポートは、文献検索を行なえば容易に作成できるようなものでは決してない。この点で、講義時間外において履修者間で意見交換が活発に行なわれることが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境倫理		
科目キー	2800002013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要

科学技術の実践は、何らかのかたちで環境とその中で生命と暮らしを営んでいる（人間を含む）生命体に大きな影響を及ぼしていく。それゆえ、科学技術に携わる者は、誰にとってどのような価値をもつ環境を実現するかという環境倫理の問題を避けて通ることはできない。しかし、これまでの価値中立的な科学技術のもとでは、近代化＝西欧化をめざす環境開発が推進され、地域の文化特性を生かした開発が行なわれてこなかったのである。

一般に環境問題はうまく定義できない意地悪な問題である。問題を解こうとすると、次々に新たな問題が現れるからである（特定の専門分野の問題にうまく絞り込むことができない）。こうした問題に立ち向かうには、問題を科学的に解決するだけでなく、環境倫理に対する深い理解に基づく豊かな環境のビジョンを構想していく必要がある。

自然環境・人工物環境・社会−文化環境・情報環境の問題が複雑に絡まりあう多元的な環境問題を解決するためには、なぜ人類は地球生態系を破壊する可能性を持っているのか、それを回避する有効な決定システムをもっているのか、といった環境倫理に関する根源的な問いに立ち向かうことが求められる。例えば、(1)自然の生存権の問題（生物の種、生態系、景観などにも生存の権利がある）、(2)世代間倫理の問題（現代世代は、未来世代の生存可能性に対して責任がある）、(3)地球全体主義（地球の生態系は開いた宇宙ではなく、閉じた世界であり、利用可能な物質とエネルギーの総量は有限であるため、配分の問題が根本の問題となる）といった問題がそれである。

この授業では、「環境倫理」に関する理論的な講義を行うと同時に、リアルな環境問題をケーススタディとしてとりあげ、異なる立場からディスカッションを行う試みを展開する。同じ問題が視点のとり方によって異なる意味をもつことを理解し、それに対してどのような行動をとるべきかを考えることは、きわめて有意義な体験となるであろう。

シラバス

科学技術の高度化に伴い、環境技術・情報技術・バイオテクノロジーを想起してみれば明らかなように、私たちの日常生活もドラスティックに変容しつつある。このため、科学技術と社会の関係（STS;Science, Technology, and Society）を深く理解することは、21世紀の科学技術に携わる者にとって必須の教養とならざるを得ない。「環境倫理」はそのSTS教育の重要な柱となるものである。

特に、経済・社会・文化のグローバル化が進み、終身雇用制も次第に姿を消しつつある今日、自分が所属している集団・組織の不利益になることでも、広い意味での社会的公正さという視点から判断して、敢えて遂行するだけの倫理的判断力が、科学者やエンジニアに求められるようになっているのである。

この講義では、抽象的な理論にとどまらず、なるべく多くの教訓を含む興味深いケーススタディをとりあげ、グループワークやディスカッションを通してそこに潜む問題点を探ることによって、環境倫理のダイナミックな本質に触れるようにしたい。

具体的には、次のような項目をとりあげていく予定である。

（1）環境倫理に関する基本概念
・外界と環境、生物多様性、サスティナビリティ（持続可能性）、保存・修復・再生など。
・倫理と道徳（モラル）、価値、評価、権利、公正さ、行為と規則、義務と責任など。
・科学技術倫理と環境倫理

（2）応用倫理としての環境倫理
・自然の生存権（人間中心主義からの脱却）
・過去世代・未来世代に対する現在世代の責任（世代間の公平性）
・地球全体主義（フロンティア倫理、救命ボート、宇宙船倫理）
・開発と保存（経済と倫理）

（3）環境倫理の理論
・人間優先主義に立脚した考え方（共有地の悲劇、社会的ジレンマ）
・非・人間優先主義の立場から（動物の権利、土地の倫理）
・環境的公正とエコフェニミズム
・環境リスクと公正
・施設立地問題とNIMBY
・自然観・世界観（ディープエコロジー、エコフェミニズム、ガイヤ仮説、宗教など）

（4）ケーススタディ
・自然生態系の破壊の問題（森林・土・水など）
・化学物質による環境汚染の問題、農薬の問題
・資源・エネルギー問題
・廃棄物処理施設の立地問題
・環境・景観の開発と保存の問題

教科書

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境倫理		
科目キー	2800002013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

参考文献

評価方法　授業中の演習およびディスカッションの内容を主に評価の対象とする。オプションとして、期末課題を検討。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	リスクマネジメント論		
科目キー	2800002014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題　環境や災害を中心としたリスク管理のあり方を考える。

授業概要　近年の環境問題や事故・災害の中には、極めて低濃度でありながら影響を及ぼしたり、稀ではあるが甚大な被害をもたらす事例が出てきている。本講では、こうした問題を「リスク」というキーワードで捉え、アセスメントとマネジメントに分けて考え方や手法を紹介する。前半では、リスクアセスメントを中心にリスクの概念や技術的な推定や評価の方法とともに、具体的な事例を紹介する。後半では、マネジメントの基礎論から法制度をはじめとする社会科学的な観点も含めてリスク管理のあり方を論じる。

シラバス
1）オリエンテーション
2）リスク概念
3）マネジメントのフロー：同定／予測／評価／管理
4）環境リスクの推定
5）環境リスクの評価
6）環境リスクの事例
（ディーゼル排ガス（DEP）、アスベスト、トリブチルスズ（TBT）ほか）
7）技術的リスクの特性
8）技術的リスクの推定と評価：ETAやFTA等による技術の安全解析
9）技術的リスクの事例　（原子力発電を中心に）
10）自然災害によるリスクの特製
11）自然災害の発生頻度の推定とリスク評価（地震災害を中心に）
12）マネジメントの方法論
13）リスクマネジメントと保険の機能
14）リスク認知とコミュニケーション

教科書

参考文献　随時紹介

評価方法　演習課題、および期末試験

備考　教員連絡先：tmura@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学技術政策論		
科目キー	2800002015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　科学技術政策の歴史と現状を日本を中心に諸外国と対比しつつ学ぶことが本講義のねらい。周知のように、日本では1995年に科学技術基本法が制定されるなど、科学技術に対する政府や産業界からの期待は高い。
本講義では、こうした状況はいつ頃、どのような経緯で始まり、現在に至っているのかについて、まず歴史的観点から把握する。その上で、科学技術が如何なる思想や構造に基づいて推進されており、それらは（近年）どう変化しつつあるのかについて概説する。

シラバス　基本的には、以下の計画にしたがって進む予定であるが、状況に応じて内容の変更を行う場合があるので、注意すること。
[第 1回]序論
[第 2回]科学技術政策の見方
[第 3回]科学技術政策の起源をたずねて（1）
[第 4回]研科学技術政策の起源をたずねて（2）
[第 5回]科学技術政策の起源をたずねて（3）
[第 6回]科学技術政策の誕生（1）
[第 7回]科学技術政策の誕生（2）
[第 8回]科学技術政策の誕生（3）
[第 9回]科学技術政策の展開（1）
[第10回]科学技術政策の展開（2）
[第11回]科学技術政策の展開（3）
[第12回]科学技術政策の現況（1）
[第13回]科学技術政策の現況（2）
[第14回]科学技術政策の現況（3）
[第15回]総括

教科書　指定しない

参考文献　授業の中で随時紹介する。

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本産業の将来設計		
科目キー	2800002016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　急激に変化する経済環境に対して、個々の企業も産業全体も変化を余儀なくされている現在にあって、将来進み行くべき姿は何かを経済学的に考えるための講座である。産業活動に欠かせない自然資源、人的資源、金融資源、技術資源が過去から現在に向かってどのように変化してきたか、そして今後どのように展開していくのかを考えてみる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	消費者の経済学		
科目キー	2800002017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　本講義では、消費者の立場から、現代の経済問題を理論的・現状分析的を解説する。まずミクロ経済学、マクロ経済学、国際経済学の基礎的経済内容をやさしく解説する。その解説方法として、消費者教育支援センターが作成したテストを用いて、その内容を解説することで、基礎的経済概念、市場経済、財政、金融、国民所得、国際経済、消費者問題、時事問題を学んでいく。また、米国、韓国、オーストラリア、ニュージーランドでのテスト結果を日本と比較することで、各国の経済教育の現状も解説する。本講義は、消費者として、納税者として、市民として、賢く生きるための基礎的経済知識を提供するものである。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	雇用環境と労働		
科目キー	2800002018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要

変化しつつある日本の雇用環境について講義する。
90年代半ばからの景気後退に伴い、日本経済には様々な変化が生じている。それは働く環境についても例外でなく、人員削減や賃金減少、非正規労働者や無業者の増加など、これまでの日本ではみられなかった現象が次々と生じている。
ただ、これらの変化の背景には、景気後退以外にも、人口構造の変化、国際競争の激化、進学率の上昇など多様な要因が存在している。雇用環境の変化の意味を正確に理解するためには、その背景と関連づけて考えることが重要である。
本講義では、現在観察されている雇用環境の変化が、どのような要因によって生じているのかを、可能な限り具体的な数字に基づいて検証する。

シラバス

<dl><dt>第01回 (10月02日):講義の目的と概略

<dt>第02回 (10月09日):経済環境と労働市場 (1)<dd>1990年代から2000年代にかけての経済環境の長期的な変化について確認する。

<dt>第03回 (10月16日):経済環境と労働市場 (2)<dd>経済環境の変化が労働市場に与えた影響について考察する。

<dt>第04回 (10月23日):労働市場の概観<dd>労働市場についてデータに基づいて確認する。また労働市場の変化の背景について考察する。

<dt>第05回 (10月30日):企業の採用と若年者の雇用環境 (1)<dd>企業の採用活動について考察する。また若年者の進路選択の変化についても確認する。

<dt>第06回 (11月13日):企業の採用と若年者の雇用環境 (2)<dd>非正規労働で働く若年者、あるいは就業しない若年者の増加とその背景について考察する。

<dt>第07回 (11月20日):教育訓練、能力開発<dd>教育訓練の意味とその背景、能力開発の進め方について考察する。

<dt>第08回 (11月27日):人事評価と昇進の管理<dd>人事評価の方法と課題、昇進の意味について考察する。

<dt>第09回 (12月04日):報酬管理<dd>労働者に対して支払われる報酬の決定方法について考察する。

<dt>第10回 (12月11日):女性の働き方の変化と労働時間の管理<dd>企業と女性労働者の関係について考察する。併せて、労働時間の管理方法についても確認する。

<dt>第11回 (12月18日):高齢者雇用、定年、雇用調整<dd>高齢者雇用と定年制の存在理由について考察する。併せて雇用調整の方法についても確認する。

<dt>第12回 (01月08日):労働組合と労使関係<dd>労働組合活動の現状、および労使関係について考察する。

<dt>第13回 (01月15日):多様な雇用形態の増加<dd>契約社員、派遣労働者、請負労働など2000年代に活用が進んだ雇用形態について確認する。

<dt>第14回 (01月22日):格差と貧困<dd>格差および貧困をめぐる問題について考察する。

<dt>第15回 (日程別途指示):学力考査および解説

教科書

特に指定しない。講義時に使用したスライドは後日ウェブ上にアップロードする。

参考文献

Milgrom, P. and J. Roberts (1992), Economics, Organization and Management, Prentice Hall Inc. (奥野正寛他訳 (1997)、『組織の経済学』、NTT出版).
Lazear, E.P. (1998), Personnel Economics for Managers, John Wiley & Sons (樋口美雄・清家篤訳 (1998)、『人事と組織の経済学』、日本経済新聞社).

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	雇用環境と労働		
科目キー	2800002018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

樋口美雄 (2001)、『人事経済学』、生産性出版。
今野浩一郎・佐藤博樹 (2002)、『人事管理入門』、日本経済新聞社。
『労働経済白書』。

評価方法　期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。出席点をつける場合、学力考査の結果に出席点を付加する。
その他の詳細は1回目の講義時に説明するので出席を推奨する。

備考　本科目の内容は前期開講の「現代企業論」と内容がリンクしているので、連続履修すると理解がより深まるが、未履修でも理解できるように講義を進める。
授業の進行具合などを見て、内容を適宜変更することがある。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境アセスメント論		
科目キー	2800002019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　様々な施設の建設に際しては、予め環境影響を予測し好ましくない影響を回避する環境アセスメントの手法が定着しつつある。わが国でもようやく国の制度として位置付けられるようになったが、様々な課題も多い。本講では、まずアセスメントの基礎や具体的な手法、わが国の法制度的なシステムの概要を示す。その後、国内外の事例を通じて、制度上の課題、住民参加のあり方、最近の新たな試みから今後のアセスメントのあり方を論じる。

シラバス
1）オリエンテーション：講義の概要、環境問題における位置づけ
2）基本枠組み：システム分析としての環境アセスメント
3）スクリーニングとスコーピング
4）環境影響の予測（1）：大気質、騒音
5）環境影響の予測（2）：水質、廃棄物ほか
6）環境影響の予測（3）：自然生態系と社会関連要素
7）環境影響の評価
8）コミュニケーションの方法
9）日本の制度（1）：歴史的経緯
10）日本の制度（2）：現行制度と事例
11）外国の制度
12）新たな展開：戦略的環境アセスメント
13）アセスメントと住民参加・紛争
14）開発援助における環境社会配慮の現状と課題

教科書

参考文献

評価方法　演習課題、および期末試験を予定

備考　教員連絡先：tmura@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	自然生態調査論		
科目キー	2800002020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大堀　聰		

副題

授業概要

身近な自然である雑木林は、約50年前までは生活の糧であった。都市部を除き、煮炊きや暖をとるための薪炭、シイタケ栽培のためのホダ木、畑への堆肥やサツマイモ苗床譲熱剤、家畜の刈敷や飼料など、私たちの生活と深く結びついていた。生活の糧を提供してくれる林は「ヤマ」としてあがめられ大切に使用されていた。

第二次世界大戦に敗れ、私たちの生活は大きく変化した。生活革命や燃料革命により落葉も落枝も不用になったため、下刈りや落葉採取も萌芽更新のための定期的な伐採も行なわれなくなった。その結果、管理放棄された雑木林では二次遷移が進行し、常緑樹や外来種が侵入した。

管理放棄された林には、新たな価値が生まれた。土地としての価値である。1960年代の高度成長期には、都市部に人口が集中し、林は宅地供給源となった。首都圏の狭山丘陵でも、1970年代から大規模な宅地開発が行なわれ、町は何倍にも大きくなった。

身近な林には、土地としての価値しかないのだろうか。物質生産、水や栄養塩類循環、大気の浄化、気候の緩和、崩壊阻止、保水効果や緑のダムとしての水源涵養など、林は目に見えない多くの恵みを与えてくれる。また、雑木林は最も身近な自然であり、小さな面積でも生物的多様性（遺伝子・種・生態系・景観の多様性）の維持にとって重要な役割を果たしていることが明らかになっている。都市部に点在する小さな緑のネットワークが、動植物の分散を助け多様性の維持に寄与している。

緑は量だけではなく、質も重要である。移動力の小さいカタクリやシジミチョウなどは、雑木林でしか生きることが出来ない種（遺存種）である。このような種は雑木林（落葉樹林）が管理放棄され遷移して常緑樹林になれば、すべて滅びてしまう。

保全とは、持続可能（sustainable）な利用による人と自然の共存の概念である。過度な利用や開発は、自然環境に回復不能なダメージを与える。本講義では首都圏の緑の孤島と呼ばれる狭山丘陵や本庄キャンパスのある大久保山の自然環境を題材に、生物的多様性に配慮した身近な自然との共生のあり方を考える。

シラバス

1.ガイダンス
2.里山の生物
3.生き物たちの生活（1）
4.生き物たちの生活（2）
5.里山の生態学（1）
6.里山の生態学（2）
7.里山の生態学（3）
8.里山の生態学（4）
9.里山の問題点（1）
10.里山の問題点（2）
11.里山の保全（1）
12.里山の保全（2）
13.里山の保全（3）

教科書

なし

参考文献

保全生態学入門（1996）　鷲谷いずみ・矢原徹一　文一総合出版
保全生物学（1997）　樋口広芳　東京大学出版
保全生物学のすすめ(1997)　リチャード　B. プリマック　小堀洋美訳　文一総合出版

評価方法

筆記試験

備考

受講者数が多すぎなければ、林を散策し実際の様子を見る。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	心理療法		
科目キー	2800002021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　信之		

副題

授業概要　「心理療法」、「カウンセリング」という言葉は、専門家以外の人々にも知られるようになってきた。しかし、いろいろな立場があることは十分には知られていないのが現状だろう。そこで本授業では、1950年代に登場し、現在でも広く用いられている3つの心理療法を選んで紹介する。とりあげるのは、アルバート・エリスの論理療法、カール・ロジャーズのクライエント中心療法、エリック・バーンのTA（交流分析）である。

シラバス
第　1回（4月10日）オリエンテーション
第　2回（4月17日）性格検査の理論と実際
第　3回（4月24日）神経症とパーソナリティ障害
第　4回（5月　8日）パーソナリティ障害
第　5回（5月15日）クライエント中心療法の前提
第　6回（5月22日）クライエント中心療法における三つの条件
第　7回（5月29日）クライエント中心療法の実際
第　8回（6月　5日）論理療法の前提
第　9回（6月12日）コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回（6月19日）非合理的信念
第11回（6月26日）論理療法の治療技法
第12回（7月　3日）構造分析
第13回（7月10日）ゲーム分析
第14回（7月17日）ラケット分析
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　資料を授業中に配布する（3回の授業で1回配布というペースの予定）。そのなかで、参考文献を示す 。

参考文献

評価方法　授業中の小レポートと定期試験による。

備考　文章による自己表現が苦ではないことが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	テクノストレス		
科目キー	2800002022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	春日　伸予		

副題

授業概要　テクノストレスとは，情報社会の主役と言えるコンピュータを操作することによって生じるストレスを指すが，この授業では、コンピュータによるストレスだけでなく，現代社会におけるストレス全般について、ストレスとはどういうものか、いかに対処していけばよいのかということに関して解説する。そして、学生一人一人が、ストレス状態やその原因に関する知識やストレス状態を軽減したりストレス予防に関する知識を取得することを目標としている。特に，自分のストレス状態について正しく把握できることを目指している。

シラバス

1.ストレスの発症機序
　ストレスの発症過程とストレッサー
2.ストレスと個人差
　ストレッサーに対する反応の個人差
3.ストレスへの対処方法
　ストレスへの対処行動とストレッサーの処理
4.ストレスに陥りやすいタイプとその修正法1
　無力感の強いタイプ、タイプA行動パターン
5.ストレスに陥りやすいタイプとその修正方法2
　帰属スタイル、イラショナル･ビリーフ
6.深刻なストレスを生む状況とその克服
　PTSD（外傷性ストレス障害）
7.感情の統制1
　音楽療法の理論と実際，アロマセラピーの理論と実際
8.ストレス対処に必要な自己変革
9.コンピュータ（機械）によるストレス1
　身体的なストレスとその対処方法
10.コンピュータ（機械）によるストレス2
　精神的なストレス（テクノストレス）に関する解説
11.情報環境におけるストレス
　インターネット依存に関する解説
12.期末試験（教場）

教科書　授業で配布する資料がすべて。

参考文献

評価方法　期末試験。100点満点中60点以上を合格とする。
ただし，授業回数の1/3以上の欠席をした場合は期末試験受験(単位取得)の資格を失う。

備考　シラバスをよく読んで授業意義と概要を理解しておくこと。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	マルチメディア政策論		
科目キー	2800002023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	三友　仁志	田尻　信行	

副題

授業概要　情報通信分野における近年の急速な技術革新に伴い、様々なサービスが安価に利用可能になるとともに、メディアが多様化し、コンテンツの流通も活発となっているが、ここでの政策の役割は大きなものがある。
　政策の立案・実施においては、市場メカニズムをベースとしつつ、必要に応じてさまざまな政策手段を講ずることによって、国民生活の向上や経済全体の成長等を図っていくことが重要となっている。
　本講義では、市場の現状を踏まえつつ、情報通信、メディアに関する主要なトピックスをいくつか選び、実際の政策、その評価と分析等について体系的に解説する。情報通信等に関する政策を理解するための基礎的な概念を説明するとともに、各テーマについて市場の現状と日本における政策について解説する。外部講師による講義も実施する。

シラバス
第1回(9月29日)　オリエンテーション【三友・田尻】
第2回(10月6日)　電波の性質と政策の基本的枠組み【田尻】
第3回(10月13日)　テレコムにおける規制とその緩和【三友】
第4回(10月20日)　放送の市場と政策の基本的枠組み【田尻】
第5回(10月27日)　日本の衛星放送について【眞島(スカパーJSAT)／田尻】
第6回(11月10日)　ユニバーサルサービス【三友】
第7回(11月17日)　ブロードバンド整備【三友】
第8回(11月24日)　米国の情報通信:動画配信サービスを巡って【田中(マルチメディア振興センター)／三友】
第9回(12月1日)　我が国の電気通信番号政策について【山田(総務省)／三友】
第10回(12月8日)　テレコム分野のアクセス問題と政策【宍倉(総務省)／三友】
第11回(12月15日)韓国の情報通信:IPTVサービス促進策を中心に【三澤(マルチメディア振興センター)／三友】
第12回(12月22日)電波政策の最近の動向【豊嶋(慶応大学)／三友】
第13回(1月12日)　新興国の情報通信市場と日本の国際競争力【キュウ・藍澤(マルチメディア振興センター)／三友】
第14回(1月19日)　学力考査及び解説
第15回(別途)　　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　教科書は特に定めない。
講義時の資料は、必要に応じてCourseN@viにアップロードする。紙媒体での配布は原則として行わないので、各自事前にダウンロードして授業に臨むこと。

参考文献　必要に応じ、講義の都度、指示する。

評価方法　講義ごとの課題(各回講義時に理解度確認のために実施。40%)
期末試験(60%)

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	技術開発論		
科目キー	2800002024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	後藤　芳一		

副題

授業概要　企業での研究や開発、大学や国の研究機関での研究やその運営管理など、工学の専門を活かした取組みを、社会のニーズに適合させながら適切に行うために必要な基礎知識を講ずる。
大学などでの学術的な研究、国の大規模プロジェクト研究、企業における製品開発など、それぞれの取組みにおけるニーズと、そこで求められる管理や運営の方法を考える。
具体的には、技術や市場の予測、技術開発の課題の設定、プロジェクトの計画立案、資金や人員の活用と運営、人や技術の成果と評価、技術の社会的受容性、技術の移転、投資の回収、及び国際協力、日本の技術開発と欧米、アジアの技術開発、技術政策などについて具体的事例を含めて明らかにする。

シラバス　講義では、プロジェクトマネジメント、産学官の連携、ベンチャーや起業、専門人材による支援、インキュベーション施設、販売促進、ファンドとベンチャーキャピタル、それらを活用した事業やプロジェクトの企画、政策の立案や運営などに触れる。講義には、必要に応じて、企業や公的機関でそれらを実際に行っている専門家を招き、具体的な事例をもとに考える。

第　1回（4月　6日）　オリエンテーション
第　2回（4月13日）　技術と経営（産学官連携）
第　3回（4月20日）　技術と経営（地域、農商工連携）
第　4回（4月27日）　技術経営事例（製薬）
第　5回（5月11日）　技術経営事例（ソフトウェア）
第　6回（5月18日）　技術経営事例（エネルギー）
第　7回（5月25日）　技術経営事例（ゴーンの事例）
第　8回（6月　1日）　技術経営理論（技術進歩と予測）
第　9回（6月　8日）　技術経営理論（技術と事業モデル）
第10回（6月15日）　技術経営理論（ポジションと戦略）
第11回（6月22日）　技術経営理論（戦略立案と運営）
第12回（6月29日）　支援策と活用（モノ：インキュベータ）
第13回（7月　6日）　支援策と活用（カネ：資金、ファンド）
第14回（7月13日）　支援策と活用（ヒト：ハンズオン支援）
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

各　月曜6限

教科書　毎回、レジメを配布する。

参考文献

評価方法　教場試験またはレポートによる。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本企業とワークライフバランス		
科目キー	2800002025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	渡部　卓		

副題　生きがいのある生き方の構築にむけて

授業概要　ワークライフバランスという言葉が頻繁にメディアに登場し人々の関心を集めています。2008年の時代のキーワードとしてもトップ10にランクされ、企業での関心と
取り組みが盛んになっています。

『ワーク・ライフ・バランスとは、老若男女誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態である。このことは、"仕事の充実"と"仕事以外の生活の充実"の好循環をもたらし、多様性に富んだ活力ある社会を創出する基盤として極めて重要である』
と東京都男女平等参画審議会による定義されています。

また近年高まる職業性ストレスやハラスメント、モチベーションの低下など
が社会的な問題になっています。またこれらの現象は企業にとっても大きな
生産性の阻害要因、法的なリスク、働きがいの喪失など、心の健康を崩す原因と
して明らかになってきています。
これらのトラブルが原因でうつ病や早期離職、長期欠勤、職場の人間関係の
崩壊などを招くことも多く、企業でのメンタルヘルス対策を含む
ワークライフバランスへの施策は企業、個人にとっても喫緊の課題になっております。
企業とその働く人々のワークライフバランスへの理解を深め、有効なマネジメント施策を企画実行することは経営戦略での要のひとつとなろうと予測されます。
本講座ではマスコミなどでよく取り上げられる子育て支援や制度論、少子化論などの
見地はもとよりさらに包括した経営学的見地、社会心理、メンタルヘルスなど
企業をとりまくワークライフバランスの課題を幅広く抽出し、分析、議論、
理解、改善案の提案までをグループでの共同作業を通じて理解していきます。
そのため基本的に一方的な講師からの講義スタイルではなく、学生の講義への発言、発表などをグループワークで講義時間外でも行うことも期待されています。
職場や生活への関心が高く、社会や産業への問題意識の高い、
また自発的な発言、他の受講生とグループを組み、講義の時間外での
共同作業や話し合いを厭わない学生の登録を期待します。

(特徴)
日本ではワークライフバランスを扱う講座はごく少数で2?3大学のみです。
企業とはどんなことをするのか？
働くということはどういうことか？
生きがいとは？
働くことの基本は　心身の健康維持
メンタルヘルスやストレスマネジメントを知る
グループ発表を取り入れる
グループ学習から学ぶ
グループ発表の内容を成績に加味する予定

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
グループ発表のテーマへの視座

人は何故働くのか
働くことは苦痛なことか
働かなくて済めば幸せか
人はどのような仕事や生活の時間的なバランスを求めているのか
仕事とプライベートは対立するものなのか
転職が増えているのはなぜか
何歳まで働きたいか
ベンチャーと大企業、官庁で働くことの違いは
父親、母親、兄弟の職場でのWLBへの取り組み

自分はどんな働き方をしたいのか
自分はどんな人生を歩みたいのか

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本企業とワークライフバランス		
科目キー	2800002025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

そのためには何を知って、何を考えたらよいのか
この講座から何を学ぶか、何を目標とするか

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
グループ発表のテーマのカテゴリー
人材育成と評価
資格取得支援、社内留学
透明な人事評価、360度評価
コーチング、メンタリング
働く側に配慮した職場志向
ヘルシー・カンパニー　MM施策
再就職斡旋。定年延長
社員の意欲を向上させる仕組み
在宅勤務
フレックスタイム
幅広い人事制度
FA制度、社内公募
子育てに配慮した職場づくり
再雇用制度
育児休業の啓発
育児休業への保障、補填
保育施設への利用援助
企業や個人の実例紹介
海外の事例紹介

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
グループ発表のテーマのサンプル
日本企業のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
日本政府のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
自治体のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
海外企業のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
海外政府のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
NPOのワークライフ バランス マネジメントへの取り組み

シラバス　暫定のスケジュール

9月30日　1.　イントロダクション　グループ組成
10月　7日　2.　ワーク・ライフ・バランスとは
10月14日　3.　企業活動とは
10月21日　4.　企業とメンタルヘルス施策
11月28日5　ストレスマネジメントの重要性
11月17日　6.　家族、ジェンダー、少子化問題
11月11日　7.　キャリアとは、多様化する働き方
11月18日　8.　ダイバーシティマネジメント、海外事例
11月25日　9.　グループ発表
12月2日　　10.　グループ発表
12月9日　　11.　グループ発表
1月13日　　12.　グループ発表
1月20日　　13.　グループ発表

教科書　特に指定しない

参考文献　インターネットでの検索
新聞メディア
日本経済新聞、4大新聞
日経産業新聞
フジサンケイビジネスアイ（日刊紙・月曜版）
ネットニュース各種

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本企業とワークライフバランス		
科目キー	2800002025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

政府・公共団体の各種資料・白書
ワークライフバランスに取り組む企業の会社案内
親戚、OB、OGの話
労働経済学関連書籍
『会社うつは上司の責任です！』(大和書房)　渡部　卓(著)
『会社のストレスに負けない本』(大和書房)　渡部　卓(著)
『メンタルヘルス対策の実務と法律知識』(日本実業出版社)渡部　卓(著)
ワークライフバランス社会へ―個人が主役の働き方 大沢 真知子 (著)
新しい人事戦略 ワークライフバランス一考え方と導入法一　小室 淑恵　(著)

評価方法　レポートの評価と、講義への出欠、講義への参加態度、講義中の発言、グループワークへの参加態度など総合して評価する。
期末試験は持ち込み不可。自由記述方式を予定。

講義に内容についての事前質問については、
watanabe@lifebalance.co.jp　へ。
評価・採点方法に関する質問は遠慮ください。

備考　渡部卓
早稲田大学政経学部卒業後、モービル石油入社。その間に海外派遣留学生として、米国コーネル大学で人事組織論を学び、引き続き、米国ノースウェスタン大学／ケロッグ経営大学院でMBAを取得。その後、ペプシコ社、AOL、シスコ・システムズ、ネットエイジなどで米国本社勤務を含む、本部長、副社長職などを経て現在、株式会社ライフバランスマネジメント 代表取締役社長
中華人民共和国・西北工業大学・大学院　客員教授
認定コーチングメンター、認定 産業カウンセラー、心理相談員
日本産業カウンセリング学会 理事、
日本うつ病学会、日本心身医学会、国際EAP協会などの正会員。
LOHAS　ビジネスアライアンス理事
【著書】『部下を会社うつから守る本』(大和書房)
『こころをラクにする・メンタフダイアリー』(日本実業出版社)
『会社のストレスに負けない本』(大和書房)
『メンタルヘルス対策の実務と法律知識』(日本実業出版社)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	健康の生態学		
科目キー	2800002026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	吉永　真理		

副題

授業概要

本講義では環境が健康に与える影響について、多様なトピックスを取り上げ、論じていく。人間と環境の相互作用を見つめながら、健康と生態の関係性を包括的な視点で論じることができるようになることが本講義の目的である。

主として、ヒトの環境への適応を研究する分野である人類生態学的視点と研究の方法論にたって、健康の問題を考えていく。その際、集団としての人類の適応の問題と個としての人間の健康の問題の二つの側面からアプローチする。人類は環境に適応しながら地球上の広い範囲に活動域を拡大してきた。その過程では生物学的、社会的、文化的および行動上の適応がなされ、種の存続や個体の生命を脅かす多様な健康問題を克服してきた。

講義の前半では人類が直面してきた健康問題の歴史的変遷を地球規模の気候変動のような自然環境と文明誕生に始まる社会的環境との関連から論じる。

後半はリプロダクティブ・ヘルス、新しい感染症、生活習慣病、精神疾患や環境問題の健康影響などの現代の健康問題について最近の論点を紹介しながら解説する。

受講者が積極的に講義に参加できるように、毎時間終了時に講義に関する質問を提出してもらい、次回講義時に解説を行う。知識を確認できるようアンケート形式の小テストを実施し、講義ごとの題材に対する自分なりの見解がまとめられるようにしたい。

シラバス

1.イントロダクション:時間と空間の中での健康像
2.ヒトの誕生と環境への適応
3.こころの進化
4.文明と環境問題の始まり:公害問題から地球環境問題へ
5.人口爆発
6.少子高齢化
7.感染症との闘い
8.新しい感染症
9.社会・文化とがん
10.生活様式と健康:生活習慣病
11.加齢と健康
12.心の病
13.健康のリスクという考え方
14.健康を生態学的に考えるとは？
15.学力考査および解説

教科書

参考文献

参考書
人類生態学　大塚柳太郎ほか著　東京大学出版会　2003
そのほか講義中に示します。

評価方法

最終回の学力考査、出席率、講義内レポート、質問の内容（質問賞）等で評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	企業の社会的責任（CSR)と利益相反		
科目キー	2800002027		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	大久保　和孝	野田　健太郎

副題　社会から信頼される企業経営とは何か

授業概要　我が国の経済社会において、企業の社会的責任（CSR）が時代の潮流のように取り沙汰されている。実際、バブル経済崩壊後、企業の不祥事によるCSRの浸透と実践による信頼性の回復、安全・安心の観点からの技術者倫理の向上、市場のグローバル化による環境、地域貢献、社会的開発などの側面、SRIファンドの普及などの社会責任投資の観点などの企業の対応が求められている。短期的な利益収奪を追及するビジネスモデルではなく、安全・安心や環境負荷の低減、福祉社会の実現などのあるべき企業のビジネスモデルについて学ぶ。

シラバス

（講義の特徴）
続発する企業不祥事。企業の社会的責任がますます重要性を帯びてくる。企業価値の向上を謳いながら、株式市場や投資家を裏切るような行為、あるいは特定の株主に偏った企業行動が目に付く。
とりわけ、昨今の経済事件を見ていると、法令等の違反行為はいざしらず、企業は法令等だけを遵守していれば良いのかという問題に突き当たる。不二家、パロマなどにみられるように、企業が本来果たすべき社会的責任とは何なのか、という問題を、CSR（企業の社会的責任）の観点から論じてみたい。
すなわち、企業は、持続的な成長をとげるためには、中長期の視点に立って社会からの要請を柔軟に受け入れ、適時的確な経営を行わなければならないのである。そのためには、企業は、自らの持続的成長を目指すと同時に社会の持続的発展に貢献することを求められているはずであり、そこにこそCSRの根源がある。
本講座では、CSRの一般的な考え方を整理したうえで、企業経営と社会的責任の関係をせいりし、昨今の企業不祥事など具体的な事例をもとに検証をかさね、今後の企業経営のあるべきすがたをうたう。そして、後半の方では、実践的なCSRをとりあげるべく、日本政策投資銀行における、投融資の金融判断において、企業の環境経営力、防災力を「格付」という手法を用いて評価し、企業価値評価のひとつのあり方として提案してきた事例などを解説してもらうなど、より実務的な内容を提供して行く。本講義では、その実践の中から、CSRを意識した企業行動のあるべき姿の提示を試みる。

（学習の目標）
日本ではCSR＝環境配慮という感が強いが、CSRの意味はもっと広く捉える必要がある。社会からの要請を鋭敏に感じ取り、企業経営に生かしていくことで、当該企業が社会と調和した経営を行い、持続的成長を目指す姿を学んでもらいたい。それは、結果として、今後どういう企業が社会的評価を受けることになるのかが明らかになるであろう。

（授業計画）
回数 内容 担当
第1回 09/30 CSR総論 社会的要請 （森）
第2回 10/07 CSR総論 CSRとは何か（大久保）
第3回 10/14 CSR総論 シンポジウム「社会環境の変化とその適応方法について」（大久保）
第4回 10/28 CSR総論 CSRの本質と歴史的経緯について（大久保）
第5回 11/04 CSR総論 CSR経営について（大久保）
第6回 11/11 CSR総論 CSR報告書の読み方（大久保）
第7回 11/18 CSRの概念整理、基本的捕らえ方 （野田）
第8回 11/25 金融とCSR（野田）
第9回 12/02 知的資産と企業価値 （野田）
第10回 12/09 BCP（事業継続計画）に見るサステナビリティ （野田）
第11回 12/16 CSR・ガバナンスを巡る最近の動き
第12回 01/06　産学連携と産業社会政策（森）
第13回 01/13　コースナビにて授業内容の確認（森）
第14回 01/20　利益相反総論（森）
第15回（日程別途指示）学力考査及び解説

※カリキュラムの内容が変更になることがあります。
※一部、各分野のご専門のゲストの方も招聘しながら実践的なテーマを取り上げることがあります。

教科書　授業の資料以外は特になし。

参考文献　•　大久保和孝他「会社員のためのCSR入門」（第一法規）、「会社員のためのCSR経営入門」（第一法

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	企業の社会的責任（CSR)と利益相反		
科目キー	2800002027		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

規）（注）以上2冊は、大久保講師の授業での指定図書とする。（早大生協にて購入できる。）
•塚越寛「いい会社をつくりましょう」（2004年7月文屋）
•藤井敏彦「ヨーロッパのCSRと日本のCSR」（2005年9月日科技連出版社）
•藤井良広「金融で解く地球環境」（2005年12月岩波書店）
•財団法人トラスト60編「ソーシャル・ファイナンス」ヨーロッパの事例に学ぶ“草の根金融”の挑戦（2006年4月金融財政事情研究会）
•小樽雅章「「良心ある企業」の見わけ方」（2006年6月宝島新書）
•環境省：環境と金融に関する懇談会編「環境等に配慮した「お金」の流れの拡大に向けて」（2006年7月環境省）
•ロナルド・ドーア「誰のための会社にするか」（2006年7月岩波新書）
•橘木俊詔「格差社会」（2006年9月岩波新書）
•野田健太郎「事業継続マネジメントBCMを理解する本」（2006年11月日刊工業新聞社
•金融CSR総覧（2007年1月経済法令研究会）
•

評価方法　成績評価方法
　教場試験による。出席、授業への積極性（授業中にアンケートやコメントを求めることもある。）も加味する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	情報通信経済		
科目キー	2800002028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	三友　仁志		

副題

授業概要　情報通信は、社会･経済･生活を大きく変化させています。これほどまでに急速に普及した技術はわれわれの歴史の中で例がなく、それゆえ、その分析は技術の視点を超えて、広く社会科学の分野においても興味が持たれています。この授業では、情報通信というサービスがこのような急速な普及を遂げる本源的な要因を持つことに着目し、その性質を経済学を中心とした社会科学的視点から明らかにすることを目的とします。

さらに、これまでネットワーク中心であった分析が、徐々にその中身すなわちコンテンツを含めた分析へと拡張されてきています。デジタルコンテンツの持つ経済的特性等についても解説することにします。

講義は3つのパートに分かれます。まず第1に、情報通信やコンテンツを理解するための経済学的基礎を学びます。ミクロ経済学の初歩をもとに、情報通信やコンテンツの市場をどのように分析するかを習得します。第2に、情報通信サービスの市場を経済学的に分析し、情報通信の急速な発展が生じるプロセスとメカニズムをなるべく平易に解説します。最後に、ネットワーク活用の観点から、デジタルコンテンツの特性とその市場について、考察を加えます。全体的に数理的な思考を要求します。

シラバス　講義では、以下の内容について適宜具体例を交えながら講義します。
講義全体のオリエンテーション
利用者の視点---情報通信サービスへの需要
事業者の視点---情報通信サービスの供給
市場の視点---情報通信サービスの需給均衡と料金
情報通信サービスの普及（1） ネットワーク効果
情報通信サービスの普及（2） 成長分析
料金戦略の重要性（1） 選択的料金制度
料金戦略の重要性（2） 利用者はどのような料金制度を好むか
利用者の選択---技術的要因と経済的要因
コンテンツ市場
新しいビジネスモデル---経済的対価という概念からの転換
最後に教場試験

教科書　指定しません。

参考文献　講義の中で適宜指示します。

評価方法　毎回の講義における課題50%　講義開始時に問題を設定し、講義の最後に回答してもらいます。
教場試験50%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	暮らしの中の先端技術		
科目キー	2800002029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中里　純	永松　陽明	沢　真司

副題

授業概要

近年我々の「暮らし」の利便性が著しく向上しています。これは自動車，携帯電話に代表されるハードウェアや流通を含むビジネススタイルに適用される「先端技術」の高度化による産物です。一方で，地球温暖化や有害物質排出などの課題の解決手段として，新エネルギーやリサイクルがクローズアップされていますが，それらは「先端技術」研究開発の重要なテーマです。
そこで本講座では各種事例を織り交ぜながら，1.先端技術による暮らしの変化，2.先端技術を支えるものづくり技術，3.先端技術の新たな潮流，4.先端技術の創生と活用，5.さらなる先端技術の発展に向けて，の5つテーマを講義します。これにより「暮らしの中の先端技術」に関する基礎知識を理解していただきます。
　併せて，今後皆さんが研究分野を絞る上で参考となるように，本授業では幅広い技術を取り扱っていきます。

シラバス

授業回数15回，うち「学力考査および解説（定期試験）1回」

第 1回　授業ガイダンス（4/9 中里　沢　松永）
・授業全体の概要説明
・製造業を取り巻く環境
・参考文献掲示
第 2回　先端技術による暮らしの変化(1)「自動車」（4/16　永松）
・自動車産業概要
・自動車技術が社会に与える影響
・自動車産業における企業と技術の将来動向
　事例：電気自動車，インホイールモータ
第 3回　先端技術による暮らしの変化(2)「流通」（4/23 永松）
・流通産業概要
事例：百貨店の凋落，カテゴリーキラー/SPAの成長
・流通技術が社会に与える影響
・流通産業における企業と技術の将来動向
第 4回　先端技術による暮らしの変化(3)「携帯電話」（5/7　中里）
・携帯電話産業概要
・携帯電話技術が社会に与える影響
事例：VERTU
・携帯電話産業における企業と技術の将来動向
第 5回　先端技術を支えるものづくり技術(1)「製造プロセス」（5/14 中里）
・パソコンを構成するデバイス製品の製造プロセス
事例：LSI，薄型ディスプレイ
・激変する電子部品産業
第 6回　先端技術を支えるものづくり技術(2)「生産システム」（5/21　中里）
・生産活動例
BTO(Build To Order) /CTO (Configure To Order)
・組み立て屋台方式（産業用ロボット含む）
第 7回　先端技術を支えるものづくり技術(3)「サプライチェーンマネジメント(SCM)」（5/28　沢）
・ワールドワイド需給調整
・VMI (Vender Managed Inventory)
・循環型社会におけるSCM
第 8回　先端技術の新たな潮流(1)「新エネルギー技術の発展」（6/4 沢）
・新エネルギー概要
・新エネルギー技術開発
事例：太陽電池
・モーダルシフトなどによる鉄道の復権
第 9回　先端技術の新たな潮流(2)「情報通信技術の隆盛」（6/11 中里）
・FTTH (Fiber To The Home)
・検索エンジン会社のビジネスモデルと検索技術
・クラウドコンピューティング
・セキュリティ技術
第10回　先端技術の新たな潮流(3)「オールドエコノミーの復活」（6/18 沢）
・希少金属を利用した技術開発

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	暮らしの中の先端技術		
科目キー	2800002029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

事例:電池, 電子部品
・世界的な金属需要増大
・先端技術素材による暮らしの変化
第11回　先端技術の新たな潮流(4)「脚光を浴びるバイオテクノロジ」(6/25 沢)
・遺伝子工学
・医療機器の発展史
・先端的な研究開発
事例:iPS細胞, 福祉ロボット
第12回　先端技術の創生と活用(1)(7/2　永松)
・海外からの技術の導入
・共同研究/国家主導プロジェクト
・技術の評価
第13回　先端技術の創生と活用(2)(7/9　永松)
・失敗技術の有効活用
事例:大手精密機器メーカ
・デジュリスタンダードとデファクトスタンダード
第14回　さらなる先端技術の発展に向けて(7/16 中里　沢　永松)
・技術者倫理
・安全な製品の設計と品質管理技術
・リスクマネジメント
第15回(日程別途指示)学力考査および解説(永松)

教科書　教科書はなし。

参考文献　参考資料は授業にて掲示します。

評価方法　定期試験に, 出席を勘案して評価します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	バイオ・イノベーションとベンチャー		
科目キー	2800002031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	木山　亮一	河原林　裕

副題

授業概要

本講座では、まずバイオ・イノベーションを支える知財について最近の事例をもとに解説し理解を深めることにより、バイオ産業の基盤となる特許の重要性を説明する（森担当）。

次に、我が国のバイオ産業を支えるバイオテクノロジーに関して概論を行なう。さらに、病気診断や環境リスク評価などにおける利用例を見ることにより、世界の技術動向を理解し、さらに、将来のバイオ産業について議論する（木山担当）。

また、醗酵等の伝統的なバイオ技術の理解にはゲノム科学の進展が大きな貢献をした。このゲノム科学で得られた知見は、新たなバイオ技術へと発展していった。このゲノム科学進展の一例として微生物ゲノム解析情報と知的財産・産業化との関連について概説したい。また、成功を収めている海外のバイオベンチャーの実例を挙げて、日本のバイオベンチャーとの違い等についても概説する（河原林担当）。

シラバス

シラバス（授業計画）

授業は、90分講義（適宜質疑応答を挟む）を原則に行う。

01　09／30　オリエンテーション（森）
02　10／07　バイオテクノロジー概論（木山）
03　10／14　癌とバイオテクノロジー（木山）
04　10／28　環境ホルモンとバイオテクノロジー（木山）
05　11／04　ゲノムと利用技術（木山）
06　11／11　バイオイノベーションの過去と未来（木山）
07　11／18　バイオベンチャー（木山）
08　11／25　生物が有する能力の利用（河原林）
09　12／02　コースナビで遺伝と進化について自習（河原林）
10　12／09　微生物ゲノム情報の意味（河原林）
11　12／16　ゲノム由来新規酵素の解析と利用（河原林）
12　01／06　極限環境中の遺伝子資源の探索と特許化（河原林）
13　01／13　日本と世界のバイオベンチャーの実例（河原林）
14　01／20　生物の能力から遺伝子へ、授業内容の確認など（森）
15　（日程別途指示）学力考査及び解説
（なお、各回の担当、内容は、必要に応じ変更もあり得る。）

バイオの専門学科以外の学生にも、基礎的なところから解説を行うので、受講可能である。

教科書　特に無し。授業においてレジュメを配布することもある。出席状況を加味する。

参考文献

評価方法　定期試験、レポートによる。出席状況を加味して評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業政策		
科目キー	2800002032		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	藤末　健三	宿輪　純一

副題

授業概要

「産業政策論」を、の3人の講師で講義する。(1)競争力・イノベーションなどのミクロ的観点から、(2)は経済・経営・金融などのマクロ的観点から、その双方向から講義し立体的に理解を深める。共に産業・大学の最先端における長年の経験があり、実践的な講義を旨とする。
特に、(1)は米国のケースをベースに日本の産業の将来像を分析する。また、(2)はエコノミストで金融機関の経営企画の経験を生かし、日本経済と産業(政策)を経済学や心理的効果も含め、単なる歴史にならず考え方・戦略から解説する。(3)は、日本と中国等アジアの産業政策との関係について解説する。
それぞれが、対応している経営・経済・金融分野の最新･最先端の課題・問題意識についても、講義の場で報告し・まさに実践的に検討したい。

シラバス

授業は、60分講演＋30分ディスカッションを原則に行う。
現在の日本企業・産業が置かれている現状をふまえ、今後の制度戦略を分析していく。

講義の中では、企業トップ講演を含み、より実践的な内容とし、解説していく。

[1]4月08日:オリエンテーション(森)
[2]4月15日:ポスト株主至上主義の新しい会社制度(1)(藤末)
[3]4月22日:ポスト株主至上主義の新しい会社制度(2)(藤末)
[4]4月29日:イノベーションが次の産業を作る(藤末)
[5]5月13日:産業の将来と就職を考える(1)　IT産業の今後(藤末)
[6]5月20日:産業の将来と就職を考える(2)　コンテンツ産業の今後(藤末)
[7]5月27日:産業の将来と就職を考える(3)　人財政策(藤末)
[8]6月03日:産業政策の考え方(経済と経営と個人の考え方/経済・金融・国際の視点/構造改革とイノベーション)(宿輪)
[9]6月10日:経済政策と日本経済の低迷(日本経済の4つの罠/制度疲労/景気と産業の関係)(宿輪)
[10]6月17日:経済の進化と産業(時間の概念/電子化(e)の流れ/環境と産業(宿輪)
[11]6月24日:金融経済と産業(モノ(製造)とおカネ(金融)の考え方/産業とファイナンス/銀行と証券/デリバティヴ)(宿輪)
[12]7月01日:グローバル経済と産業(貿易と産業/通貨・為替レート/ユーロ・ドル、アジア経済、イスラム金融他)(宿輪)
[13]7月08日:産業(ビジネス)と個人(日本型計画経済の終焉/変化に対する考え方/リスク/経済学の変貌/自分ブランド戦略)(宿輪)
[14]7月15日:総括・課題(森)
[15](日程別途指示)学力考査及び解説
(なお、各回の担当、内容は、必要に応じ変更もあり得る。)

教科書

教科書は特に無し。資料は、授業時の随時配布とする。

参考文献

藤末:『Productive Edge(和訳:競争力)』
宿輪:『実学入門 社長になる人のための経済学―経営環境、リスク、戦略の先を読む』
(日本経済新聞社)宿輪純一
森:『中国知的財産管理実務ハンドブック』(共著・中央経済社)

評価方法

定期試験(B4の答案用紙裏表に記述する形)を原則とする。授業で配布した資料、ノートの持ち込みは可とする。また、授業におけるディスカッション(産業ごとに米国のケース(教材の整理)日本の現状と将来像を報告。)における積極的貢献度も加味して評価する。

備考

日本を代表する企業の生産・マネジメントの現場を見学する機会を作ることを検討している。(希望者のみ。この場合、参加の有無は、評価には加味しない。)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業政策		
科目キー	2800002032		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境政策と計画		
科目キー	2800002033		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　環境に関連した社会的な問題は、空間的のみならず時間的にも大きな広がりをみせている。こうした問題解決のためには法律による規制や税制・補助金等による経済的誘導に加え、多様な主体の関係を社会システムとして捉え施策の評価と実施を繰り返す計画的なアプローチが求められている。そこで、本講義では、1)様々な視点からみた環境問題の現状と原因、そして解決のための基本的な方向性を踏まえた上で、2)個別の具体的な事例を紹介しながら、問題解決のための政策論的アプローチについて論じる。

シラバス　主として、政策的側面について論じる。
1)環境政策論とは
2)環境問題の変遷と政策の経緯
3)環境政策の目標
4)政策の実施主体の原則(1):汚染者負担原則
5)政策の実施主体の原則(2):生産者拡大責任、設計者責任ほか
6)政策の実施段階の原則(1):未然防止
7)政策の実施段階の原則(2):予防
8)政策の実施段階の原則(3):源流対策
9)政策の実施段階の原則(4):統合的汚染回避管理
10)政策の実施手法(1):規制的方法
11)政策の実施手法(2):経済的方法
12)政策の実施手法(3):情報提供による方法
13)政策の実施手法(4):合意形成的方法
14)政策選択(ポリシーミックス)の方向

教科書

参考文献　倉阪秀史『環境政策論』、信山社、2004年ほか

評価方法　授業時の演習課題、および期末課題による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会病理学I		
科目キー	2800002034		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高塚　雄介		

副題

授業概要　(前期)
人は日常生活はもとより、日々の心の営みを含めてその社会が有するさまざまな問題によって振り回されることが少なくない。虐待・いじめ・不登校・非行など子どもたちが直面するさまざまな問題、アルコールや薬物への依存・摂食障害・リストカットなどの嗜癖行為に浸る若者たちの増加、心身症・うつ病・ノイローゼ・自殺などの病理現象が多発する中・高年層、そして年代を超えて蔓延しつつあるひきこもり現象など、精神衛生上の課題とされる現象の背後には、その社会が有するひずみや問題状況が潜んでいることが多いと考えられている。さまざまな現象の背後にどのような社会病理が存在しているかについて検証する。

シラバス　概要に示された諸現象を精神病理と社会病理のそれぞれの観点から解説する。その時々に問題となっている現象を出来るだけテーマとして取り上げるので、必ずしも順序だてた授業計画とはならない。

教科書　人間関係と心の健康　金剛出版

参考文献

評価方法　レポート・教場試験等を総合的に判断する

備考　E-mail　yusuke6923@nifty. com

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会病理学II		
科目キー	2800002035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高塚　雄介		

副題

授業概要　(後期)
家庭・学校・職場・地域社会など、人々が生活の基盤としている領域ごとに、今日さまざまな社会病理とされるものが存在していることが指摘されている。そしてまた、それらの病理をもたらす時代背景や価値意識、さらには人々の意識や行動における共通感覚を作る「文化」がもたらすひずみというものについての関心が高まってきている。近年、文化との関連において発生する可能性が高い精神病理現象を、社会精神病理という概念によって一括して論じることも少なくない。社会病理と精神病理との狭間に現れやすい現象や問題について言及する。

シラバス　概要に示された諸現象を精神病理と社会病理のそれぞれの観点から解説する。その時々に問題となっている現象を出来るだけテーマとして取り上げるので、必ずしも順序だてた授業計画とはならない。

教科書　人間関係と心の健康　金剛出版

参考文献

評価方法　レポート・教場試験等を総合的に判断する

備考　E-mail　yusuke6923@nifty. com

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会調査法I		
科目キー	2800002036		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会調査は社会生活のさまざまな局面で広く活用されており、社会は調査データであふれているが、マスコミ報道などによって流通する「調査データ」には、データの取り方や読み方に問題のあるものも多い。
したがって、社会に流通している調査データや分析結果を適切に読みとるには、社会調査がどのように行なわれているか、どのように分析されているかを知る必要がある。
この講義では、社会調査一般の概要ならびに数量的および質的社会調査がどのようになされているのか学ぶことで、基本的な「リサーチ・リテラシー」の修得を目標とする。

シラバス
[第1回]: オリエンテーション
[第2回]: さまざまな社会調査
[第3回]: 調査デザインの選択
[第4回]: 調査票調査の実施方法
[第5回]: 対象標本の設定
[第6回]: 無作為抽出の方法
[第7回]: 標本抽出と誤差
[第8回]: 調査票の作成(1):体裁と質問文
[第9回]: 調査票の作成(2):選択肢の作成
[第10回]:調査全体の流れ
[第11回]:調査票からデータへ
[第12回]:インタビューによる社会調査
[第13回]:社会調査と社会的還元
[第14回]:社会調査と倫理
[第15回]:学力考査および解説

教科書　西野理子 (2008)『社会をはかるためのツール:社会調査入門』学文社.

参考文献　嶋尚子 (2008)『社会をとらえるためのルール:社会調査入門』学文社.

評価方法　筆記試験によって行なう。試験の成績を重視するが、不定期に行なう課題等も考慮する(20%)。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会調査法II		
科目キー	2800002037		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会調査 Iに引き続いて、数量的社会調査の基本的な分析方法の修得を目標とする。基本は講義形式だが、ケース・スタディや実習作業を採り入れながら進める。
講義中には、適宜実習課題を課すので、統計処理が可能な計算機(関数電卓等)を用意すること。

シラバス
[第1回]: オリエンテーション
[第2回]: データの構造
[第3回]: データの種類と尺度
[第4回]: データの分布と統計量(1):分布の中心
[第5回]: データの分布と統計量(2):分布の広がり
[第6回]: 復習と確認
[第7回]: 変数間の関連(1):連続変数
[第8回]: 変数間の関連(2):離散変数
[第9回]: 擬似的関連
[第10回]:回帰分析
[第11回]:多重クロス表の分析
[第12回]:統計的推定
[第13回]:統計的検定(1):平均の差、比率の差の検定
[第14回]:統計的検定(2):独立性の検定
[第15回]:学力考査および解説

教科書　開講時に指示する。

参考文献

評価方法　筆記試験によって行なう。試験の成績を重視するが、不定期に行なう課題等も考慮する(30%)。

備考　講義資料はCourseN@vilにて配布する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	統計学I		
科目キー	2800002038		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	毛利　裕昭		

副題　データ解析の基礎と基本的な確率分布

授業概要　各種のデータ処理手法を通して，統計的な発想を身に付けてもらうことが本科目の目的である．統計学の基本的な考え方を説明し，データ解析の基礎(平均などの基本統計量の意味等)および実験データの解析などでよく利用される基本的な確率分布と初歩的な検定推定について述べる。

シラバス
(1) 統計学の基礎
(2) 初歩的なデータ解析1(記述統計)
(3) 初歩的なデータ解析2(記述統計)
(4) 初歩的なデータ解析3(記述統計)
(5) 確率の基礎
(6) 確率分布1
(7) 確率分布2
(8) 確率分布3
(9) 確率分布に関する演習問題
(10) 推定検定の基礎
(11) 初歩の検定
(12) 初歩の推定

教科書　特に指定しない。参考書については授業で述べる

参考文献

評価方法　平常点およびレポート、定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	統計学II		
科目キー	2800002039		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	毛利　裕昭		

副題　理論的(哲学的)確率論および多変量データ解析法の基礎

授業概要　各種のデータ解析手法および基本的な確率分布を基に，推測統計学(統計的仮説検定や推定など)の基本概念および多変量データ解析法(回帰分析や主成分分析など)の初歩について講義をする．

シラバス
(1) 理論的確率論の必要性
(2) 確率変数の意味とは？
(3) 積分論(測度論)と確率論の関係
(4) 大数の法則と中心極限定理
(5) さまざまな確率分布について
(6) 統計学で応用される確率分布
(7) 点推定・区間推定
(8) 検定
(9) 回帰分析
(10) 判別分析
(11) 数量化1類
(12) 数量化2類

教科書

参考文献　確率概論 河野敬雄 著 京都大学学術出版会 1999
確率・統計入門　小針 あき宏 岩波書店

評価方法　定期試験およびレポート、平常点

備考　なんどか、確率統計に関する授業を行っているが、今回は実験的な試みも行うつもりである。確率論における意味づけとはなにか？教養教育の立場で考えてみたい。哲学的な意味や物理学、社会科学とのかかわりについても述べたいと思っている。純粋に数学的な部分についても、「意味」なるものについて考えてみたい。数学や物理が専門ではなくても理解できるよう配慮するつもりであるが、授業は受講者諸君の意見に応じて授業の順序や詳しさの加減について変えるつもりである。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	憲法I		
科目キー	2800002040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小林　幸夫		

副題

授業概要　日本国憲法は、施行から60年を越えた。わが国の憲法学者は、一般に現行憲法を絶対視してきた。これでは、戦後の日本で憲法が果した役割、また憲法の下で生じた不都合は明確にならない。そこで日本国憲法とは何であるか、そしてこの憲法を通して現れている近代憲法の理念･原則･特徴は何なのか、という問題関心により日本国憲法の特徴と現在を明らかにしたい。
憲法1では、日本国憲法第3章までを中心に、講義を行う。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　日本国憲法の制定過程
第3回　象徴天皇制(1)
第4回　象徴天皇制(2)
第5回　平和主義(1)
第6回　平和主義(2)
第7回　人権宣言の歴史(1)
第8回　人権宣言の歴史(2)
第9回　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回　自由権と社会権の特徴と両権利の関係
第11回　法の下の平等
第12回　日本国憲法における人権規定(1)
第13回　日本国憲法における人権規定(2)
第14回　日本国憲法における人権規定(3)
第15回　学力考査および解説

教科書　教科書は使用しないので、項目ごとにプリント配付する。

参考文献
抱喜久雄･野畑健太郎･吉川智編『新･初めての憲法』法律文化社
小林昭三著『日本国憲法の条件』成文堂
憲法政治学研究会編『人権の条件』嵯峨野書院
加藤秀治郎編『憲法改革の構想』一藝社

評価方法　定期試験

備考　憲法をめぐるマスコミの話題及び日常的な出来事に関心を持ってほしい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	憲法II		
科目キー	2800002041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小林　幸夫		

副題

授業概要　日本国憲法は、施行から60年を越えた。わが国の憲法学者は、一般に現行憲法を絶対視してきた。これでは、戦後の日本で憲法が果した役割、また憲法の下で生じた不都合は明確にならない。そこで日本国憲法とは何であるか、そしてこの憲法を通して現れている近代憲法の理念･原則･特徴は何なのか、という問題関心により日本国憲法の特徴と現在を明らかにしたい。
憲法2では、日本国憲法第4章以降の統治機構について中心に、講義を行う。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　直接民主制と代表民主制
第3回　一院制と二院制
第4回　日本国憲法における国会(1)
第5回　日本国憲法における国会(2)
第6回　主要国における両院の関係
第7回　選挙制度
第8回　議院内閣制と大統領制
第9回　日本国憲法における議院内閣制(1)
第10回　日本国憲法における議院内閣制(2)
第11回　日本国憲法における司法権の独立と制度(1)
第12回　日本国憲法における司法権の独立と制度(2)
第13回　地方自治制度
第14回　憲法改正、最高法規
第15回　学力考査および解説

教科書　教科書は使用しないので、項目ごとにプリント配付する。

参考文献
抱喜久雄･野畑健太郎･吉川智編『新･初めての憲法』法律文化社
小林昭三著『日本国憲法の条件』成文堂
加藤秀治郎編『憲法改革の構想』一藝社

評価方法　定期試験

備考　憲法をめぐるマスコミの話題及び日常的な出来事に関心を持ってほしい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済学AI		
科目キー	2800002042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　経済学の基礎的な考え方を学ぶ。
前期はミクロ経済学について講義する。

シラバス　第01回 (04月09日):講義の目的と概略
第02回 (04月16日):消費者行動 (1)
第03回 (04月23日):消費者行動 (2)
第04回 (05月07日):消費者行動 (3)
第05回 (05月14日):消費者行動 (4)
第06回 (05月21日):企業行動 (1)
第07回 (05月28日):企業行動 (2)
第08回 (06月04日):企業行動 (3)
第09回 (06月11日):企業行動 (4)
第10回 (06月18日):市場の均衡 (1)
第11回 (06月25日):市場の均衡 (2)
第12回 (07月02日):市場の均衡 (3)
第13回 (07月09日):完全競争市場の最適性
第14回 (07月16日):不完全競争
第15回 (日程別途指示):学力考査および解説

教科書　武隈慎一 (1999)、『ミクロ経済学』(増補版)、新世社。

参考文献　大竹文雄 (2005)、『経済学的思考のセンス:お金がない人を助けるには』、中央公論新社。
Becker, G.S. and G.N. Becker (1996), The economics of life: From Baseball to Affirmative Action to Immigration, How Real-World Issues Affect Our Everyday Life, McGraw-Hill (鞍谷雅敏・岡田滋行訳 (1998)、『ベッカー教授の経済学ではこう考える』、東洋経済新報社).

評価方法　期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。
出席点はなし。
その他の詳細は1回目の講義時に説明するので出席を推奨する。

備考　授業の進行具合などを見て、内容を適宜変更することがある。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済学AII		
科目キー	2800002043		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　経済学の基礎的な考え方を学ぶ。
後期はマクロ経済学について講義する。

シラバス　第01回 (10月01日):マクロ経済学とGDP (1)
第02回 (10月08日):マクロ経済学とGDP (2)
第03回 (10月15日):家計の消費行動 (1)
第04回 (10月29日):家計の消費行動 (2)
第05回 (11月05日):家計の消費行動 (3)
第06回 (11月12日):企業の投資行動 (1)
第07回 (11月19日):企業の投資行動 (2)
第08回 (11月26日):企業の投資行動 (3)
第09回 (12月03日):貨幣市場 (1)
第10回 (12月10日):貨幣市場 (2)
第11回 (12月17日):貨幣市場 (3)
第12回 (01月07日):財市場・貨幣市場・国民所得 (1)
第13回 (01月14日):財市場・貨幣市場・国民所得 (2)
第14回 (01月21日):財市場・貨幣市場・国民所得 (3)
第15回 (日程別途指示):学力考査および解説

教科書　Mankiw, N.G. (2000), Macroeconomics (forth edition), Worth Publishers (足立英之・地主敏樹・中谷武・柳川隆訳 (2003)、『マンキューマクロ経済学I 入門編』『マンキューマクロ経済学II 応用編』、東洋経済新報社).

参考文献　大竹文雄 (2005)、『経済学的思考のセンス:お金がない人を助けるには』、中央公論新社。
Becker, G.S. and G.N. Becker (1996), The economics of life: From Baseball to Affirmative Action to Immigration, How Real-World Issues Affect Our Everyday Life, McGraw-Hill (鞍谷雅敏・岡田滋行訳 (1998)、『ベッカー教授の経済学ではこう考える』、東洋経済新報社).

評価方法　期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。
出席点はなし。
その他の詳細は1回目の講義時に説明するので出席を推奨する。

備考　経済学AIの単位を取得した者のみが履修できるので注意すること。
授業の進行具合などを見て、内容を適宜変更することがある。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済学BI		
科目キー	2800002044		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	東　晋司		

副題　ミクロ経済学

授業概要　経済学が分析対象とするところは、我々が日々体験している日常生活そのものであり、極めて広範に及び複雑であることは云うまでもない。その経済社会において我々が抱く疑問や関心事を整理し、また考察する科学として経済理論がある。本講義で解説するミクロ経済学は、家計(消費者)や企業(生産者)といった個々の経済主体の行動や、それらから構成される市場を分析対象とし、種々の資源配分問題を取り扱う分野である。ここで取り上げられる概念は、経済学における他の応用分野でも多用される。それゆえ、ミクロ経済学は経済学における基礎科目として位置付けられている。経済理論を習得し、また抽象的思考を繰り返すことにより現実の経済問題を見る能力を養って頂きたい。

シラバス
(1)消費者行動
(2)生産者行動
(3)完全競争市場と効率性
(4)不完全競争市場
(5)外部性と公共性
(6)不確実性と情報

教科書　武隈慎一『ミクロ経済学　増補版』(新世社)

参考文献
奥野正寛・鈴村興太郎『ミクロ経済学I・II』(岩波書店)
西村和雄『ミクロ経済学』(東洋経済新報社)
スティグリッツ『ミクロ経済学』(東洋経済新報社)

評価方法　定期試験により成績を評価する。

備考　後期の経済学BII(マクロ経済学)を履修予定の者は本講義を履修していることが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済学BII		
科目キー	2800002045		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	東　晋司		

副題　マクロ経済学

授業概要　経済学が分析対象とするところは、我々が日々体験している日常生活そのものであり、極めて広範に及び複雑であることは云うまでもない。その経済社会において我々が抱く疑問や関心事を整理し、また考察する科学として経済理論がある。本講義で解説するマクロ経済学は、インフレーションやデフレーション、失業問題、および経済成長といった諸問題を取り扱い、文字通り巨視的観点から一国経済全体の動向を分析する分野である。マクロ経済学は、ミクロ経済学と同様、経済学における基礎科目として位置付けられている。これら経済理論を習得し、抽象的思考を繰り返すことにより現実の経済問題を見る能力を養って頂きたい。

シラバス
(1)国民所得統計
(2)マクロ経済学の長期均衡
(3)労働市場
(4)生産物市場
(5)貨幣市場
(6)IS-LMモデル
(7)AD-ASモデル
(8)経済成長理論の基礎

教科書　児玉俊介『ベーシック マクロ経済学』(中央経済社)

参考文献

評価方法　定期試験により成績を評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経営戦略論		
科目キー	2800002046		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小松原　聡		

副題

授業概要　本科目では、最初に企業の社会における本質的な存在意義について考察する。その上で、企業の行動を決定付ける各種戦略論の考え方の修得を目指す。企業経営における戦略論のスコープは広範囲であり、またその策定視点も多様性に富むので、戦略論の体系を俯瞰した上で、個別の戦略策定の議論に関する理解を深める。

シラバス
第1回（4月10日）：オリエンテーション
第2回（4月17日）：株式会社の本質　（株式会社の目的、コーポレート・ガバナンス問題の考え方）
第3回（4月24日）：株式会社の本質　（企業の社会的責任の考え方）
第4回（5月8日）：戦略論の系譜と戦略の体系
第5回（5月15日）：規範的な戦略策定に関する理論　（SWOT分析）
第6回（5月22日）：規範的な戦略策定に関する理論　（ポートフォリオ・マネジメント）
第7回（5月29日）：規範的な戦略策定に関する理論　（ポーターの競争分析モデルと基本戦略）
第8回（6月5日）：規範的な戦略策定に関する理論　（価値連鎖）
第9回（6月12日）：Course　N@vi等による学習内容の点検・確認
第10回（6月19日）：ダイナミックな戦略論　（資源論に基づく戦略策定とその基礎となるVRIO分析）
第11回（6月26日）：ダイナミックな戦略論　その他のダイナミック戦略論の概要
第12回（7月3日）：ダイナミックな戦略論　創発的戦略の特徴と重要性
第13回（7月10日）：個別の戦略策定に関する理論
第14回（7月17日）：学力考査および解説
第15回（日程別途指示）：授業の総括と理解の確認

教科書　特に定めない。資料を授業時に適宜配布します。

参考文献　ジェイB・バーニー、『企業戦略論（上・中・下）』（ダイヤモンド社）
ヘンリー・ミンツバーグ、『戦略サファリ』（東洋経済新報社）

評価方法　学力考査による授業の理解度により評価する。

備考　【担当教員連絡先等】
小松原　聡（satoshi@mri.co.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経営管理論		
科目キー	2800002047		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小松原　聡		

副題

授業概要　本科目では、経営学が対象とする領域のうち、主として経営管理論・組織論の領域をカバーする。経営管理制度・組織設計は企業の内部環境に関するイシューとして捉えられがちであるが、実際は戦略と表裏一体の関係において構築される。経営管理・組織論に関する主要理論を体系的に理解すると共に、戦略展開とマネジメント・システムの整合性確保の考え方を修得する。

シラバス
第1回（10月2日）：オリエンテーション
第2回（10月9日）：マネジメント・システムの考え方
第3回（10月16日）：組織論の系譜
第4回（10月23日）：古典的組織論 （大規模組織におけるマネジメントの原点である官僚制組織）
第5回（10月30日）：古典的組織論 （科学的管理法と職能）
第6回（11月13日）：行動科学的組織論 （インフォーマル組織）
第7回（11月20日）：行動科学的組織論 （モチベーション問題）
第8回（11月27日）：近代の組織論 （協働システムの組織の三要素）
第9回（12月4日）：近代の組織論 （限定合理性に基づくマネジメント）
第10回（12月11日）：現代の組織論 （コンティンジェンシー理論とその発展）
第11回（12月18日）：マネジメント・コントロールとPDCAサイクル
第12回（1月8日）：グループ経営管理フレーム
第13回（1月15日）：最近のマネジメント・コントロールに関する論点
第14回（1月22日）：学力考査および解説
第15回（日程別途指示）：授業の総括と理解の確認

教科書　特に定めない。資料は授業時に適宜配布します。

参考文献
リチャード　L・タフト、『組織の経営学』（ダイヤモンド社）
ロバート・サイモンズ、『戦略評価の経営学』（ダイヤモンド社）
J.R.ガルブレイス、D.A.ネサンソン、『経営戦略と組織デザイン』（白桃書房）

評価方法　学力考査による授業の理解度により評価する。

備考　担当教員連絡先等】
小松原　聡（satoshi@mri.co.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済制度論AI		
科目キー	2800002048		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石原　裕也		

副題

授業概要　会計学の基礎知識の習得を目的とする。まず，会計学がなぜ必要なのかということから説明していく。具体的には，私たちの身近にある計算書（家計簿，クラブの計算書など）の作り方から入っていき，最終的には，会社の会計計算書（財務諸表）の作り方や見方を学ぶ。ただしここでは，基礎的知識の理解を促すために，非常に簡略化した会社を想定する。

シラバス

【第1回】4月10日
オリエンテーション
講義の進め方，成績評価の方法などを説明する。
【第2回】4月17日
会計行為そして社会における会計学の役割と必要性とは何かを説明する。
【第3回】4月24日
さまざまな会計報告書を紹介し，その大まかな成り立ちや見方を説明する。
【第4回】5月8日
最も簡単な形の会計計算書である現金出納帳を示し，その作り方を説明する。
【第5回】5月15日
株式会社の仕組みを説明し，株式会社が必要とする会計計算書を説明する。
【第6回】5月22日
株式会社の設立の仕方と，そのときに作られる会計計算書を説明する。
【第7回】5月29日
会計計算書を作るために必要な簿記の仕組みを説明する。
【第8回】6月5日
会計計算書を作る過程を説明する。
【第9回】6月12日
コースナビにて学習した内容の点検と確認をする。
【第10回】6月19日
会計計算書を作る過程のうち，特に決算について説明する。
【第11回】6月26日
会社の損益計算書の作り方を説明する。
【第12回】7月3日
会社の貸借対照表の作り方を説明する。
【第13回】7月10日
会社の計算書（損益計算書と貸借対照表）の関係について説明し，それらからわかること（会計情報）の意味を説明する。
【第14回】7月17日
学力考査およびその解説を行う。
【第15回】（日程別途指示）
授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　新田，村田，佐々木，溝上『会計学･簿記入門』白桃書房（最新版を購入すること）

参考文献　石原裕也『企業会計原則の論理』白桃書房

評価方法　学力考査の点数で評価する。なお，学力考査を正当な理由なく受験しなかったものは，履修放棄とみなし評価の対象としないので注意すること。

備考　毎回の講義が相互に関連してくるので，講義の内容を理解するためには，継続的な出席が必要となる。また，実際に計算を行ってもらうので，計算機（携帯電話は不可）を毎回持ってくることが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済制度論AI		
科目キー	2800002048		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済制度論AII		
科目キー	2800002049		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩崎　健久		

副題　現代日本の税制

授業概要　昨年起きたアメリカ発の金融危機は、全世界に影響を及ぼしており、日本もこのアメリカの経済悪化の影響を受け、深刻な不況に直面している。そこで、世界各国が協調して、この不況を克服するため、財政出動を実施している。そのため、財政赤字は拡大することになるが、景気回復の傾向が現れれば、政府はこの財政赤字の解消に取り組むことになる。日本においても、景気が回復すればという条件の下、税制の抜本改革を行いながら、消費税の増税が近い将来実施されることが確実視されている。

そこで、本講義では、現代日本の税制を取り上げ、まずはその全体像を把握することから始める。その全体像の把握をした後、国税については、具体的に所得税、法人税、消費税を取り上げ、その詳細を解説する。地方税については、住民税、事業税、固定資産税などをみながら、その概要を解説する。その後、特に消費税を取り上げ、その政治過程や、国民の消費税に対する民意の変遷などを解説し、消費税について多角的に分析、検討していきたい。

シラバス
(1) 現代日本の税制の全体像の解説(その1)
(2) 現代日本の税制の全体像の解説(その2)
(3) 所得税についての解説(その1)
(4) 所得税についての解説(その2)
(5) 法人税についての解説(その1)
(6) 法人税についての解説(その2)
(7) 消費税についての解説(その1)
(8) 消費税についての解説(その2)
(9)住民税、事業税、固定資産税についての概要の解説(その1)
(10)住民税、事業税、固定資産税についての概要の解説(その2)
(11)消費税の政治過程についての解説(その1)
(12)消費税の政治過程についての解説(その1)
(13)消費税に対する民意についての解説
(14)教場試験及び解説
(15)授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　岩健久著『税制新論』(木鐸社)

参考文献

評価方法　出席状況及び試験による。

備考　私語は厳禁である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済制度論BI		
科目キー	2800002050		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　日本の社会保障制度について講義する。
少子高齢化社会を迎え、年金や医療などの社会保障制度の将来像に関する議論が活発になっている。ただ、現在進んでいる社会保障制度改革の内容を正確に理解するには、まず社会保障制度の基礎知識を習得する必要がある。
年金改革や医療保険制度改革は、高齢者や病気に罹った人のみに関係のある話ではない。日本で生活する人はすべて、これらの社会保障制度に何らかの形で直接的に関わっている。
本講義の内容は、自分がどのような形で社会保障制度に関わり、どの程度の負担をし、どれくらいの給付を受けることが出来るのか、そしてこれらがどのように変化するのかを知る手がかりとなる。

シラバス
第01回 (04月06日):講義の目的と概略
第02回 (04月13日):医療保険制度 (1)
第03回 (04月20日):医療保険制度 (2)
第04回 (04月27日):医療保険制度 (3)
第05回 (05月11日):社会福祉制度 (1)
第06回 (05月18日):社会福祉制度 (2)
第07回 (05月25日):社会福祉制度 (3)
第08回 (06月01日):介護保険制度 (1)
第09回 (06月08日):介護保険制度 (2)
第10回 (06月15日):介護保険制度 (3)
第11回 (06月22日):年金制度 (1)
第12回 (06月29日):年金制度 (2)
第13回 (07月06日):年金制度 (3)
第14回 (07月13日):年金制度 (4)
第15回 (日程別途指示):学力考査および解説

教科書　特に指定しない。講義時に使用したスライドは後日ウェブ上にアップロードする。

参考文献　特に指定しない。

評価方法　期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。出席点をつける場合、学力考査の結果に出席点を付加する。
その他の詳細は1回目の講義時に説明するので出席を推奨する。

備考　授業の進行具合などを見て、内容を適宜変更することがある。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済制度論BII		
科目キー	2800002051		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　日本の社会保障制度について講義する。
少子高齢化社会を迎え、年金や医療などの社会保障制度の将来像に関する議論が活発になっている。ただ、現在進んでいる社会保障制度改革の内容を正確に理解するには、まず社会保障制度の基礎知識を習得する必要がある。
年金改革や医療保険制度改革は、高齢者や病気に罹った人のみに関係のある話ではない。日本で生活する人はすべて、これらの社会保障制度に何らかの形で直接的に関わっている。
本講義の内容は、自分がどのような形で社会保障制度に関わり、どの程度の負担をし、どれくらいの給付を受けることが出来るのか、そしてこれらがどのように変化するのかを知る手がかりとなる。

シラバス
第01回 (09月28日):雇用保険制度 (1)
第02回 (10月05日):雇用保険制度 (2)
第03回 (10月12日):雇用保険制度 (3)
第04回 (10月19日):労働者災害補償保険制度 (1)
第05回 (10月26日):労働者災害補償保険制度 (2)
第06回 (11月02日):社会保険と民間保険 (1)
第07回 (11月09日):社会保険と民間保険 (2)
第08回 (11月16日):社会保険と民間保険 (3)
第09回 (11月23日):社会保障の歴史 (1)
第10回 (11月30日):社会保障の歴史 (2)
第11回 (12月07日):社会保障の歴史 (3)
第12回 (12月14日):企業の福利厚生 (1)
第13回 (12月21日):企業の福利厚生 (2)
第14回 (01月18日):企業の福利厚生 (3)
第15回 (日程別途指示):学力考査および解説

教科書　特に指定しない。講義時に使用したスライドは後日ウェブ上にアップロードする。

参考文献　特に指定しない。

評価方法　期末の学力考査1回のみで評価する。
いくつかの例外ケースを除き、学力考査未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
学力考査は自筆ノートも含めて全て持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。出席点をつける場合、学力考査の結果に出席点を付加する。
その他の詳細は1回目の講義時に説明するので出席を推奨する。

備考　経済制度論BIの単位を取得した者のみが履修できるので注意すること。
授業の進行具合などを見て、内容を適宜変更することがある。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済政策論I		
科目キー	2800002052		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　幸俊		

副題

授業概要　この科目の目的は、ミクロ経済学の基礎理論を利用して、ミクロ的経済政策に関する諸問題を理解することである。受講者は、需要と供給とがぶつかりあう市場メカニズムの特徴を理解した上で、市場では解決できない問題とは何かを考え、とくに規制、公共財、環境汚染などの問題を学習する。

シラバス

第　1回(4月　9日)オリエンテーション:経済学、ミクロ経済政策
第　2回(4月16日)基礎概念
第　3回(4月23日)需要(1)
第　4回(5月　7日)需要(2)
第　5回(5月14日)供給(1)
第　6回(5月21日)供給(2)
第　7回(5月28日)市場機構の特徴
第　8回(6月　4日)需給分析の応用(1)
第　9回(6月11日)需給分析の応用(2)
第10回(6月18日)市場の失敗と政府の失敗
第11回(6月25日)規制と規制緩和
第12回(7月　2日)公共財、外部効果
第13回(7月　9日)情報の非対称性
第14回(7月16日)試験
第15回(日程別途指示)授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　特定の教科書は指定しない。
講義は、板書とプリントで行う。

参考文献　授業中に紹介する。

評価方法　教場試験で評価される。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	経済政策論II		
科目キー	2800002053		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　幸俊		

副題

授業概要　この科目の目的は、マクロ経済学の基礎理論を利用して、マクロ的経済政策に関する諸問題を理解することである。受講者は、財・サービス市場、貨幣市場、労働市場の個々の性格と相互関係を理解して、財政政策と金融政策の効果を学習する。

シラバス

第　1回（10月　1日）オリエンテーション：経済学、マクロ経済政策
第　2回（10月　8日）基礎概念、国民経済計算（1）
第　3回（10月15日）国民経済計算（2）
第　4回（10月29日）アブソープション・アプローチ、ISバランス・アプローチ
第　5回（11月　5日）GDP決定の理論
第　6回（11月12日）乗数理論、財政政策
第　7回（11月19日）貨幣の機能、通貨の定義、貨幣供給
第　8回（11月26日）中央銀行の機能、金融政策
第　9回（12月　3日）信用創造、金融システムの変革
第10回（12月10日）IS曲線とLM曲線
第11回（12月17日）財政政策と金融政策の効果（1）
第12回（ 1月　7日）外国為替市場
第13回（ 1月14日）財政政策と金融政策の効果（2）
第14回（ 1月21日）試験
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法業中に指示する。

教科書　特定の教科書は指定しない。板書とプリントで講義する。

参考文献　授業中に紹介する。

評価方法　教場試験で評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際経済論I		
科目キー	2800002054		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	樋口　清秀		

副題　貿易とその効果、対策を学ぶ

授業概要

現在世界各国とも市場経済を柱として経済運営が行われている。これは市場経済が経済効率の確保という面で優れているとの実践結果であるといえる。また各国はこの市場経済を各国市場を融合させる事によって世界レベルで市場の効率化を図ろうと努力してきている。これがグローバライゼイションである。安価な品が自由に取引され、それを購入する人は大きな恩恵をうけることができる。ところが最近、とくに農産物の自由取引化では、先進国・途上国双方の農民から強烈な反対行動がでてきている。また仕事においても簡単に国境を越えて以来できるようになり、高賃金国の求職者は思うような仕事にありつけない現状さえでてきており、国境を越えた仕事の依頼を抑制する動きも一部にでてきている。果たしてモノ、サービスの自由貿易は国民にとって有益だろうか、また有益は一部、他の多くは有害となるのであろうか。

本講義ではこれらの問題点に焦点をあて、貿易発生、現代的理論および不都合なケースにおける対策などを考えていく。

シラバス

1. 貿易の発生
2. 現代貿易理論
3. 貿易障壁
4. 通商政策
5. 貿易と経済発展
6. 貿易と環境問題
7. WTOと途上国問題

教科書　ステファン・ベーカー（樋口訳）『エッセンシャル国際経済学』CAP出版

参考文献　講義時に指示

評価方法

数回の出席点
1回の試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際経済論II		
科目キー	2800002055		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	樋口　清秀		

副題　開放マクロ経済とその問題を学ぶ

授業概要　本講義では、モノ、カネ、人、情報、アイディアなどなどが自由に他国と取引されることに伴って発生するさまざまな国民経済問題を取り扱う。こうした経済財の自由取引は国民経済にある場合にはプラスの効果をもたらすが、マイナスのケースも多々ある。
こうしたマイナスの効果に対処しつつ、国民経済にとって望ましい政策運営をするためにはどのような理論的根拠に頼ればよいのであろうか。開放マクロ経済学を学びながらその方策を考えていくことにしよう。

シラバス
1. 外国為替と外国為替市場
2. 国際収支
3. 開放経済下の国民所得決定
4. 国際収支の調整問題
5. 開放経済下の経済政策
6. グローバライゼイションと先進国・途上国の調和問題

教科書　ステファン・ベーカー（樋口訳）『エッセンシャル国際経済学』CAP出版

参考文献　講義時に指示

評価方法　数回の出席点
1回の試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業構造論I		
科目キー	2800002056		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　産業構造を考察するためには、経済社会がどのような仕組みによって成り立っているかを理解しなければならない。個別企業の活動を検討するのがミクロ経済学であり、社会レベルの経済活動を分析するのがマクロ経済学である。本講座では、この両者の中間に位置する産業レベルに焦点を当て、戦後期の日本経済を分析対象として、産業活動について、多くの統計資料を用いて検討を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業構造論II		
科目キー	2800002057		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　産業構造を考察するためには、経済社会がどのような仕組みによって成り立っているかを理解しなければならない。個別企業の活動を検討するのがミクロ経済学であり、社会レベルの経済活動を分析するのがマクロ経済学である。本講座では、この両者の中間に位置する産業レベルに焦点を当て、戦後期の日本経済を分析対象として、産業活動について、多くの統計資料を用いて検討を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	都市地域計画論		
科目キー	2800002061		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	市川　宏雄		

副題

授業概要

この授業は，講師が過去数十年間にわたり，実際に関わってきた日本と海外の都市と地域の計画プロジェクトの立案，政策形成の経験に基づき，都市や地域がいかに形成され，そして現在の都市空間がいかなるメカニズムを内包しているのかを，政策分析的視点から解明することを目的としている。そのための導入として，都市発生から現代までの都市形成のプロセスを初めに振り返り，世界諸都市の特徴や都市問題等の国際比較をした上で，過去から現在に至るまでの様々な都市計画・都市政策の有効性や是非についての考察を行う。特に計画・政策の分析にあたっては，講師が東京都等の行政の政策委員を幅広く歴任してきており，最近の状況についても現在進行形の最新情報を提供しながら分析を加える。

授業では，先ず都市形成のプロセスを，古代からの歴史的系譜を通じて現代までの世界の主要な都市（東京，ニューヨーク，ロンドン，パリ等）について，その特徴を文化的背景を踏まえながら概観，考察する。そうした理解に立ったうえで，大都市形成の諸段階で適用された都市計画と政策の是非に触れる。授業の主たる対象は東京であるが，とくに，一極集中によって生み出される大都市問題とその解決を求めて適用された都市計画・政策等に焦点をあてて，都市計画と政策の知識と理解を深め，これからの都市と地域の未来を描いてみる。なお，都市と地域を理解するにあたって知っておかなければならないことは，都市と地方の関係である。これは，成熟化する国家の状況の下で改めて問われているもので，特に，最近の都市再生の動きのなかで，富める大都市と衰退する地方という対峙関係から，そのあり方に答えを見出さねばならない状況となっている。授業では，そのあるべき姿についての答えを導くことにも注力したい。

なお，授業の進行にあたっては，教科書ならびに補助教材を使用する。適宜，ビデオ等の視聴覚教材の使用と最新情報についてのプリントの配布をする。講義はおおむねつぎのようなテーマを対象とするが，その詳細な予定は第一回目の授業で発表する。

シラバス

1.世界の都市空間
・代表的な世界の都市開発
　20世紀後半を代表するヨーロッパとアメリカの注目すべき都市開発
・都市空間の形成とコンセプト
　世界を代表する東京，ニューヨーク，ロンドン，パリの四大都市について，その都市空間の形成とコンセプトについて，都市政策的視点から分析する
・東京の大規模開発
　日本の大規模開発の実例として東京を取り上げ，スクラップアンドビルドに始まる開発から，成熟化する都市基盤整備の課題までを追う
2.巨大都市東京と東京問題
・巨大都市における一極集中の功罪と東京問題の構図
　巨大都市東京における一極集中の功罪を都市経済学視点と，都市と地方の対峙という 関係での東京問題の構図から考える
・一極集中の生み出す諸問題
　一極集中による土地利用の問題，バブル期における東京都心の地価高騰問題とその後
・情報化と都市問題の解決
　進展する技術革新が都市問題の解決に寄与するのか，情報化を例にして考える。
・都市と危機管理
　災害と向き合わなければならない大都市・東京は，これからいかなる対応をしなければならないのか
3.主要な都市計画・政策とその有効性
・首都圏計画の変遷
　戦後の市街地形成と首都圏計画の変遷を開発圧力とそれに立ち向かった政策の有効性の視点から見る
・東京構想2000と都市ビジョン
　東京の最新の都市政策を長期総合計画である「東京構想2000」と都市計画の構想である「都市づくりビジョン」から考える
・知事にみる政策の変遷
　戦後，東京の都知事6人の都市政策を振り返り，その功罪，その後の都市発展への寄与などを考察する
4.都市政策と国土計画
・都市と地方
　地方分権推進法，市町村合併などの制度論がかまびすしいが，そもそも，都市と地方の関係とはどうあるべきなのか
・全国総合開発計画
　均衡ある発展の名の下に行われてきた戦後の国土計画は，低経済成長化でどこに向かうのか
・遷都・首都機能移転

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	都市地域計画論		
科目キー	2800002061		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

既に15年を経た遷都・首都機能移転は，都市と地方の脈略にいかに位置づけるのか，また，大都市問題解決の可能性はあるのか
・道州制
地方分権の切り札として，道州制が広く期待されている。しかしながら，それは本当なのか。道州制が抱える問題点を明らかにしていく

教科書　市川宏雄『文化としての都市空間』千倉書房，2007年。
市川宏雄『都市地域計画論補助教材（2009年度版）』2009年。

参考文献　福川伸次・市川宏雄『グローバルフロント東京』，都市出版，2008年。
市川宏雄『東京都を読む事典』，東洋経済新報社，2002年。
市川宏雄『首都圏自治体の攻防―分散政策の現実と展望』，ぎょうせい，2001年。
市川宏雄『「NO」首都移転』，光文社，1999年。
市川宏雄『成熟都市・東京のゆくえ―2008年の都市基盤と政策』，ぎょうせい，1997年
市川宏雄ほか『東京はこう変わる―遷都・分権の基礎知識』，東洋経済新報社，1995年

評価方法　成績評価は，原則として期末の試験結果による。この期末試験については教科書、補助教材、ノートの「持ち込み可」とし，設問にマークシート方式で解答する形式とする。また，若干の小テストを授業中に行う。授業の出欠についてはとらない。

備考　この授業は，都市や地域についての基礎知識を持たない初学者にも，分かりやすく自ずと興味の湧く形で進められる。また，持ち込み可となる期末試験については，出題範囲や出題形式について，事前に「傾向と対策」を具体的にレクチャーする。

関連URL:　http://www.kisc.meiji.ac.jp/~ichsemir/pc/index.htm

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	人間都市地域計画論		
科目キー	2800002062		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中川　義英		

副題

授業概要　一人一人と都市とのかかわりに焦点を当て、都市地域について概説する。「都市とは」、「都市の盛衰」、「都市の個性」、「共有の都市を意識しているか」、「都市地域の姿を考える手立ては」など、都市・地域を作り上げ、計画していく要素に関わる内容を基礎知識として講義する。これらを通して、市民がより充実し生涯いきいきと生活できる都市づくりを進める方策を考えてもらいたい。

シラバス

1：概説および「10年後の日本」（制作1947年）

2：＜テーマ1都市を形作ってきたもの＞　都市の盛衰
3：＜テーマ1＞築城術／城下町と理想都市（古代・中世・近世の都市）
4：＜テーマ1＞ニュータウン・近隣住区、街区型住宅
5：＜テーマ1＞東京、ロンドン、ベルリンの都市再生・改造
　＜課題提出＞「あなたにとっての理想的な都市」

6：＜テーマ2まちの個性と人、そして意識の共有と共生＞　個性あるまち
7：＜テーマ2＞クラブ、パブ、町会、コミュニティ
8：＜テーマ2＞スポーツとまち
9：＜テーマ2＞子どもと地域・まち（外国）
10：＜テーマ2＞子どもと地域・まち（日本）
　＜課題提出＞「コミュニティ」

11：＜テーマ3生涯学習都市づくりにむけて＞日本における都市計画とは
12：＜テーマ3＞地方公共団体と市民のかかわり（NPO、市民活動、ボランティア）
13：＜テーマ3＞人間行動、地域性と都市・地域の計画
14：＜テーマ3＞土地の所有と利用

15：達成度評価および解説

教科書

参考文献

評価方法　出席（2／3以上）、課題提出2回をおこなった者を評価対象者とする。
評価は、提出された課題および達成度評価の結果による。
達成度評価は3問（それぞれ40点満点）、合計120点満点で出題する。各問の評価は20点を基準とし、解答のプラス要因、マイナス要因を加味し、採点する。120点満点の半分、60点に満たない場合は不可（F）とする。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	認知心理学I		
科目キー	2800002064		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宇根　優子		

副題

授業概要　認知心理学とは認識と知識についての実験心理学であり、応用分野は多岐にわたる。本講では、人間の基本的な情報処理活動を支えるメカニズムについて、簡単な実験を交えつつ紹介する。したがって、実験や調査への参加が必須である。
認知心理学Iでは，人間のより基本的な情報処理について学ぶ。

なお本講では性格検査，カウンセリング理論などの紹介は行わないので注意すること。

シラバス
第1回（4月9日） オリエンテーション
第2回（4月16日） 認知心理学史と情報処理アプローチ
第3回（4月23日） 知覚の基礎
第4回（5月7日） 奥行きの知覚
第5回（5月14日） パターン認知
第6回（5月21日） 音、顔の認知
第7回（5月28日） 注意と感覚記憶
第8回（6月4日） 記憶の基礎
第9回（6月11日） ワーキングメモリ
第10回（6月18日） 長期記憶（種類、符号化）
第11回（6月25日） 長期記憶（検索と忘却）
第12回（7月2日） 記憶の障害
第13回（7月9日） 記憶の新展開（目撃者の証言、偽記憶）
第14回（7月16日） 記憶の新展開（リアリティモニタリング、展望的記憶）
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書

参考文献　サイエンス社　新心理学ライブラリ7「最新　認知心理学への招待」

評価方法　定期試験および平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	認知心理学II		
科目キー	2800002065		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宇根　優子		

副題

授業概要　認知心理学とは認識と知識についての実験心理学であり、応用分野は多岐にわたる。本講では、人間の基本的な情報処理活動を支えるメカニズムについて簡単な実験を交えつつ紹介する。したがって、実験や調査への参加が必須である。
IIでは人間のより高次の情報処理について学ぶ。認知心理学Iの内容を前提として講義するため、認知心理学Iを受講していることが望まれる。
なお本講では人格理論（性格検査）、カウンセリング理論の紹介は行わない。

シラバス
第1回（10月1日） オリエンテーション
第2回（10月8日） 表象とイメージ
第3回（10月15日） 概念と意味記憶
第4回（10月29日） スキーマ
第5回（11月5日） 学習と認知発達
第6回（11月12日） 問題解決
第7回（11月19日） 推論（演繹的推論）
第8回（11月26日） 推論（帰納的推論と確率判断）
第9回（12月3日） メタ認知（種類）
第10回（12月10日）　メタ認知（思考の修正）
第11回（12月17日） 類推と創造的思考
第12回（1月7日） 認知地図
第13回（1月14日） ヒューマンエラー
第14回（1月21日） PDPモデル
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書

参考文献　新心理学ライブラリ7「最新　認知心理学への招待」 サイエンス社

評価方法　教場試験・レポート（作品を含む）・平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	メディア社会論		
科目キー	2800002066		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　現代では、人々の多くは情報の入手や流通を、マスメディアをはじめとするさまざまなメディアに頼っており、そのようなメディア化した社会では、情報に対するスタンスは「メディアをどのようにとらえるか？」という問いと不可分なものとなっている。
本講義では、マスメディアやさまざまなインターネットサービスの進展、その受容など、メディアと社会の関係や、メディア・イメージ、また受容者のイメージを扱った議論を取りあげる。
印刷技術や通信技術などの、初期メディア史に関する議論や、人々がメディアやそれによって流通する情報をどのようなものとして捉えているのかというメディア受容についての講義が中心となる。また、映画や視覚的見世物など視聴覚資料も採り入れる予定である。

シラバス
[第1回]: オリエンテーション
[第2回]: メディア研究の射程
[第3回]: メディアの歴史(1):印刷文化
[第4回]: メディアの歴史(2):映像文化
[第5回]: メディアの歴史(3):音声文化
[第6回]: 電話というメディア(1)
[第7回]: 電話というメディア(2)
[第8回]: テレビというメディア
[第9回]: インターネットとネット文化(1)
[第10回]:インターネットとネット文化(2)
[第11回]:メディア研究の系譜(1)
[第12回]:メディア研究の系譜(2)
[第13回]:グローバル化とメディア
[第14回]:メディア・リテラシー
[第15回]:学力考査および解説

教科書　特に指定しない。

参考文献　適宜講義中に指示する。

評価方法　筆記試験によって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する(10%)。

備考　講義資料はCourseN@viにて配布する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会システム概論		
科目キー	2800002069		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要

現代社会が抱える様々な問題の解決方策として、法制度や経済的手法による規制や誘導が中心であった。これらに加えて、最近では多様な主体間の関係を社会システムとして捉え、現状の把握から始まり、解決策の代替案の検討、案ごとの予測・評価、施策の決定と実施、モニタリングという一連のプロセスを継続的に繰り返していく計画的アプローチが必要になっている。社会システムを工学的なアプローチで捉えることは、こうした要請に応えるべく社会が抱える様々な課題を解決するためのソフトなテクノロジーを開発する学問領域であるといえる。

現状把握や予測・評価では、定量的な調査や分析、あるいはコンピュータによるシミュレーションなど自然科学的な手法が求められるが、社会学や法律学、経済学、政治学、教育学などの諸科学との学際的な連携が極めて重要になる。また、工学には欠かすことができない「実験」はこれまで実施が困難であったが、最近ではモデル的に一種の社会実験を実施する例もでてきた。

本講では、様々な政策や計画のための意思決定の理論や現状を踏まえた上で、具体的な事例を紹介しながらよりよい決定方策とは何かを論じる。

シラバス

1）社会システムの基礎論（1）：システムの諸要素と古典的な社会システム論：機械モデル（17世紀−）
2）社会システムの基礎論（2）：有機体的側面の導入（代表的存在：パーソンズ、1950年代）と変更を求める視点（部分の自律性、非目的性、構造生成性、自己組織性）
3）社会システムの基礎論（3）：市場システムと公共システムの比較
4）社会システムの基礎論（4）：公共政策の構成要素（目的、提供財、受益と負担の関係など）
5）システム分析と問題の構造化（1）：システム分析概論
6）システム分析と問題の構造化（2）：問題の発見と構造化
7）システム分析と問題の構造化（3）：構造化手法の概要
8）システム分析と問題の構造化（4）：基本的スタンスの違い（ボトムアップ、トップダウン、アブダクション）
9）問題の構造化に関する演習（1）：トピックの選定と作業
10）問題の構造化に関する演習（2）：グループワークによる構造化
11）問題の構造化に関する演習（3）：内容の整理
13）問題の構造化に関する演習（4）：報告
14）データの収集方法
・統計的資料：わが国の統計情報の特性と全体像
（情報の集中と分散、分類の標準化、有用な資料、データ集、世論調査の例）
・人々の意識行動に関する情報
（調査の目的、調査の流れ、質問紙調査、聞き取り調査、参与観察など）

教科書

参考文献

評価方法　演習課題、および期末課題

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会システム設計論		
科目キー	2800002070		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要

現代社会が抱える様々な問題の解決方策として、法制度や経済的手法による規制や誘導が中心であった。これらに加えて、最近では多様な主体間の関係を社会システムとして捉え、現状の把握から始まり、解決策の代替案の検討、案ごとの予測・評価、施策の決定と実施、モニタリングという一連のプロセスを継続的に繰り返していく計画的アプローチが必要になっている。社会システムを工学的なアプローチで捉えることは、こうした要請に応えるべく社会が抱える様々な課題を解決するためのソフトなテクノロジーを開発する学問領域であるといえる。

現状把握や予測・評価では、定量的な調査や分析、あるいはコンピュータによるシミュレーションなど自然科学的な手法が求められるが、社会学や法律学、経済学、政治学、教育学などの諸科学との学際的な連携が極めて重要になる。また、工学には欠かすことができない「実験」はこれまで実施が困難であったが、最近ではモデル的に一種の社会実験を実施する例もでてきた。

本講では、様々な政策や計画のための意思決定の理論や現状を踏まえた上で、具体的な事例を紹介しながらよりよい決定方策とは何かを論じる。

シラバス

(1)オリエンテーション
(2)予測の方法
・3つのタイプ:投影的予測、理論的予測、直観的予測
・デルファイ法(Delphi Method)
・シナリオライティング
・システムダイナミクス
・未来学的眺望法
・クロスインパクト法
・実現可能性評価法(Feasibility Assessment Technique)
(3)評価の概念と枠組み
・評価の概念:行政評価、管理評価、政策評価
・評価の基準:効率性、有効性、公平性、十分性
・費用と効果の計測
(4)産業連関分析による波及効果の把握(1)
・投入係数表と逆行列係数表
・産業連関表の活用範囲
(5)産業連関分析による波及効果の把握(2)
・公園建設による波及効果の把握例
(6)便益の測定手法:顕示選好
ヘドニックアプローチ/消費者余剰法/トラベルコスト法/代替法
(7) 便益の測定手法:表明選好
仮想市場法(CVM)/コンジョイント分析
(8) 便益の測定手法:事例と課題
・鉄道、道路、都市公園などの事例
・各測定手法の課題
(9)効率性に関する評価手法(1):費用便益分析
・一般的手順
・波及効果の範囲
・現在価値と割引率
・評価尺度:純便益、費用便益比、内部収益率
(10)効率性に関する評価手法(2):費用便益分析の事例
・道路整備、諫早湾の干拓事業など
(11)効率性に関する評価手法(3):費用効果分析、コスト分析
・基本概念
・事例1:環境汚染対策
・事例2:イギリスの技術革新施策
(12). 有効性に着目した評価
・統計解析法
・対照実験法
・業績指標:アウトプットとアウトカム、三重県における政策評価の試み
・定性的側面に着目した評価
ピア・レビュー/プロジェクトデザインマトリクス

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会システム設計論		
科目キー	2800002070		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

---

(13)合意形成、コミュニケーションと市民参加の手法
・レスポンシビリティ(執行責任)とアカウタンビリティ(説明責任)
・知る権利と情報公開
・参加の概念:文書形式による手法／会議形式による手法
・最近の動き:コンセンサス会議、戦略的環境アセスメント、
パブリックインボルブメントなど
(14)意思決定システムとしての住民投票、国民投票
・市民参加としての投票制度
・アメリカにおける二つの制度: イニシアティブとレファレンダム
・日本の制度: 地方自治法における直接請求制度／
地方自治特別法に対する住民投票／
原子力施設、市町村合併など特定の問題を対象に条例化した事例など
・投票制度の意義と課題

教科書

参考文献

評価方法　演習課題、および期末課題

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際コンテンツビジネスと著作権		
科目キー	2800002071		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃		

副題　音楽配信ビジネスを事例とした国際的な知財戦略（主に著作権。加えて特許、商標など。）の特論

授業概要　国際コンテンツビジネスにおいては、各国の文化的特徴を活かした競争力の発揮が求められる。我が国においてはゲームソフトやアニメーションと言った分野において欧米、アジア市場などにおいて、優れた作品が創作されている。しかしながら、欧米に比べて資金調達やビジネスモデルシステムの構築面において、課題が残っており、アジアなどの新興国の台頭を前に著作権保護の対応も益々重要になっている。本講義においては、我が国の文化の個性を活かし、グローバルな文化とつながる産業の創出を成功させるための、基本的な視点を学ぶ。グループ討議（まとめ方、発表のトレーニングも含めて）を取り入れて行う。

シラバス

1.　私たちの生活におけるデジタル化は日々急速に進展している。朝起きて寝るまで音楽、映像は、生活に潤いを与え、必要な情報を迅速に提供してくれる。携帯や端末で、身につけ歩行、移動しながらも楽しむことができるようになったのはデジタル化のおかげだ。
他方、コンテンツを無許諾ダウンロードさせることによる侵害行為や海賊版頒布などの著作権の問題は、時には警察による逮捕という刑事事件となったり、創作された著作物の使い方、使われ方をめぐって有名人間の民事訴訟や争いもマスコミで報じられることもある。

2. しかしながら、悪意のない一般人がインターネットで普通におこなうことであっても違法ソフトの開発者とプロバイダーの関係の中で自ら利用者として犯罪に巻き込まれることや、一般人同士で自ら創作した作品の権利侵害を争うことなどもデジタル化の進展によって、容易に発生してしまう危険性がある。また、何気なく使っているデジタル機器にコピーによる補償金があらかじめ課せられていたり、課せられていなかったりする。いわゆるプロパテント（特許や知財重視）の流れに沿って創作者の権利保護を手厚くするのか、それともクリエィティヴ・コモンズ（創造的に共有していこうという主義）を取り入れていくのか、社会のためにはその均衡点を一体どこに求めていけばいいのか・・・音楽、映像の著作権の問題は身近にあるものにもかかわらず実に複雑な様相を呈する状況の中、私たちはイノベーションと流動化促進をめぐる諸問題の重層的な絡みをほぐすことに立ち向かい的確な判断を下していかなければならない。

3. 本科目では、我が国の代表的な音楽配信産業から、社団法人音楽電子事業協会(AMEI)を代表してヤマハ株式会社、株式会社エクシング、マスメディア界から朝日新聞社、また著作権管理団体から社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）のご協力をいただき、毎回企業の最前線における事例をベースに講義を進めていく。また、希望者には、実地見学として、可能な限り音楽製作現場の見学や新聞社本社見学、社会人との意見交換会も予定している。（ただし、実地見学の参加の有無は、評価の対象としない。）

1．10月02日：オリエンテーション

2．10月09日：各国の著作権法とコンテンツビジネス実体とのギャップ。

3．10月16日：著作権の基礎知識。新聞社の業務と著作権。

4．10月23日又は1月8日：新聞社見学（夕刊印刷現場見学含む。）／講義（ニュースから拾う著作権とコンテンツをめぐる最近のトピックスなど。）。（移動時間のため後の授業等で訪問が可能でない学生は、10月30日の授業で資料を配布する。訪問の有無は評価の対象にしない。）

5．10月30日：ビジネス事業者、エンドユーザーの立ち位置から読み解く著作権。「許諾する」という言葉の意味。人格権解説と事例、支分権解説。

6．11月13日：支分権解説／トラブル事例の紹介。著作隣接権の解説／事例紹介。実演家とデジタル化にまつわる諸問題。私的複製など制限規定解説。

7．11月20日：着うたが配信できるまでの業務フローと権利許諾・実績報告フロー。音楽データ製作の実体と簡単なデモ。VOKALOID2(初音ミク)。

8．11月27日：DRM技術の紹介と最新のビジネスモデル解説。AMEIの電子透かし。制限機能付きダウンロード、サブスクリプションモデル、等々。

9．12月04日：
10．12月11日：配信ビジネスに関する諸権利の説明。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際コンテンツビジネスと著作権		
科目キー	2800002071		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

11．12月18日：(仮)新サービス(エクシングの事例)にまつわる権利処理の実務。

12．01月08日又は10月23日：JASRAC(財団法人　日本音楽著作権協会)の著作権管理の概要
JASRACの国際ネットワーク(海外の著作権団体との相互管理契約など)
ゲスト講師：JASRAC

13．01月15日：カラオケビジネスとその特許について2。

14．コースナビによる授業の確認

15．(日程別途指示)学力考査及び解説

教科書　各回の授業で講義資料を配布する。
副教材として、早大創造理工学部森研究室・朝日新聞知的財産センター共同編集『新聞記事で見る知的財産の今(2009年版)』も配布する。
国家検定　知的財産管理技能検定2級・問題集を手引きに授業を行う。

参考文献　森康晃編　『国家検定　知的財産技能検定2級・問題集」(三和書籍)
早大創造理工学部森研究室・朝日新聞知的財産センター共同編集『新聞記事で見る知的財産の今(2009年版)』、
作花文雄『著作権法　基礎と応用』(発明協会)、
加藤君人・片岡朋行・大川原紀之『エンターティンメントビジネスの法律実務』(日本経済新聞出版社)、菅谷実・中村清『映像コンテンツ産業論』、

文化庁長官官房著作権課『著作権テキスト』「著作権テキスト」
(http://www.bunka.go.jp/chosakuken/pdf/chosaku_text.pdf)

評価方法　定期試験による。出席も加味する。
試験(満点100点の内0から80点の範囲)、授業への参加の積極性(出席だけでなく質問や発言等)(0から20点)。(資料持ち込み可)。

備考

関連URL:　関連業界団体

AMEI：　社団法人音楽電子事業協会　http://www.amei.or.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本科学技術史		
科目キー	2800002072		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　本講義のねらいは、特に日本における科学技術の歩みを、それを取り巻く社会・経済・政治的状況との関連で概観することにある。対象とする時期は、江戸末期頃から1970年前後まで。（70年代以降については、「科学技術と現代社会」の授業で扱う）。前期の科学・技術の社会史の続編にあたる。同時代における諸外国の動向と対比させることで、日本の科学技術体制の世界的な位置づけを行う。

シラバス　基本的には以下の流れに沿って概説する予定であるが、若干の変更があり得るので注意すること。

[第 1回]ガイダンス
[第 2回]序論――前史（1）
[第 3回]序論――前史（2）
[第 4回]日本における近代科学技術の導入過程
[第 5回]第一次世界大戦とそのインパクト
[第 6回]戦間期の科学技術体制（1）――科学動員への端緒
[第 7回]戦間期の科学技術体制（2）――戦前の科学者・技術者の教育
[第 8回]第二次世界大戦中の科学技術体制（1）
[第 9回]第二次世界大戦中の科学技術体制（2）
[第10回]占領下の科学技術
[第11回]高度成長への道
[第12回]高度成長と科学技術大国への道
[第13回]転換期の科学技術
[第14回]まとめ
[第15回]評価と総括

教科書　指定しない。

参考文献　廣重徹『科学の社会史』岩波現代文庫（上下2冊）、2003年。

評価方法　定期試験による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	改善技術論		
科目キー	2800002073		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　博	和泉　高雄	上埜　安英
	大塚　寛弘	中野　金次郎	

副題

授業概要

グローバル化時代において企業や産業が生き残る方法の1つは組織競争力の向上であるといわれている。そして、競争力はその組織が生み出す成果の水準によって測られる。本講義では、主として製造業を対象とし、その競争力の源である組織パフォーマンスの構成要素について論じ、それらの水準を向上させるための方法論を紹介する。我が国の製造業及び産業は歴史的にこの技術（改善技術）の開発と実務への応用において高い水準にあり、このゆえに世界のものづくりを主導してきた側面を持つ。具体的な項目は以下のようである。

1. 改善技術の発展過程
2. 改善の考え方
3. 代表的改善技術スキーム
4. 改善技術スキームの機能構成と推進法（TPMを例として）
5. 改善要素技術と適用事例（TPMを例として）
6. 改善技術の将来展望

シラバス

第1回（片山、中野）
4月13日　改善技術のフレームワーク（ガイダンス・改善の必要性、歴史）
PDCAの要素展開、TPM・TQMなどの改善スキーム、ロス解析、ステップ展開、改善技術要素、QC7つ道具等
キーワード　PDCA、TMP、改善要素技術、QCストーリー、7つ道具

第2回（中野）
4月20日　生産効率評価法
生産阻害ロスの把握、OEE(Overall Efficiency of Equipment)の算出方法と演習・ケーススタディ
キーワード　OEE

第3回（和泉）
4月27日　製造力（現場力）強化マネジメントプログラム
TPM活動の概論、8つの活動と成果、現場力と見える化の推進法
キーワード　8本柱（個別改善、自主保全、計画保全、開発管理、教育訓練、品質保全）

第4回（中野）
5月11日　メンテナンスマネジメント
製造業における生産ロスの諸悪の根源である故障撲滅の展開法
キーワード　計画保全

第5回（和泉）
5月18日　改善のための観察、解析、対策技術
タイプ別ロスのアプローチ（突発型・慢性型）、ミシン教材による機構の理解
キーワード　観察（層別）、解析、対策

第6回（和泉）
5月25日　非価値時間撲滅技術
PM分析による因子の洗い出し法
ミシン教材による実習、原理・原則をふまえた解析法の習得
キーワード　PM分析

第7回（和泉）
6月1日　100%良品技術
加工点保証、モニタリング技術、工程・設備で品質を作りこむ品質保全の考え方、進め方の理解、目で見る管理
キーワード　工程・設備で品質を作りこむ、品質保全

第8回（大塚）
6月8日　生産の流れを把握する技術
サイコロを使用した生産工程擬似体験演習により停滞ロス改善の進め方の理解
キーワード　ボトルネック、バッファ、変動

第9回（大塚）

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	改善技術論		
科目キー	2800002073		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

6月22日　ネックエ程を分析する技術
『モノと情報の流れ図』を用いた生産工程の改善の進め方の理解
キーワード　在庫、リードタイム、生産指示、運搬、VSM(value stream mapping)

第10回（大塚）
6月29日　チェンジオーバー短縮技術　からくり（LCA）
IE手法も用いた演習により段取り改善の進め方と定石の理解。からくり
キーワード　IE、作業分析、ECRS

第11回（上埜）
7月6日　データマイニング(1)
企業データをもとに、データ解析を行う。エクセルを使用し、パレート、ヒストグラム、重回帰分析を行う。(1)
キーワード　エクセル、パレート、ヒストグラム、層別

第12回（上埜）
7月13日　データマイニング(2)
企業データをもとに、データ解析を行う。エクセルを使用し、パレート、ヒストグラム、重回帰分析を行う。(2)
キーワード　回帰式、重回帰式、予測

第13回（上埜）
7月17日　CUDBAS(A Method of Curriculum Developing Based on Ability Structure)
職業能力分析(CUDBAS)を活用した各作業に必要な能力の摘出法（演習）
キーワード　2007年問題、必要能力抽出法

第14回（片山）
7月18日　改善技術の実況見分

第15回（片山）
7月19日-23日　定期試験日・レポート提出期限

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	イノベーションの創造と知的財産		
科目キー	2800002075		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	伊藤　ゆみ子	青柳　進

副題

授業概要

21世紀に入り益々多くの技術開発が進展している。産業立国として我国日本でも多くの技術開発が行われており、イノベーションの創造が益々重要視されている。このような背景からイノベーションの保護に関して益々知的財産の重要性が増している。
本講義は、IT産業においてWindows95やInternet Explorerを始めとする重要なイノベーションを実現したマイクロソフト（株）、およびAV産業においてCD、ウォークマンを始めとする重要なイノベーションを実現したソニー（株）の両企業の実務家を講師に迎え、AV／IT産業の最前線で起こっている知的財産問題を具体的な事例も踏まえて、知的財産問題を始めとしてイノベーションの創造過程を俯瞰し、企業における知的財産戦略を学び、先端技術系人材育成のための学習機会を創設する。

シラバス

〈講義の特徴〉
1.マイクロソフト（株）、ソニーの（株）の実務家が具体的な事例を紹介し、これらのケースを学ぶことにより、ダイナミックに変化する産業の最前線における知的財産問題の現状と動向を知ることができる。
2.ソニースクウェアの見学　ソニーの家電製品や放送機器の見学と、ゲーム、音楽、映画ビジネスの紹介・デモンストレーション

〈学習の目標〉
受講者は、AV／IT産業の現状と知的財産問題の変遷および所在を理解することにより、単眼で狭隘な視野でなく、俯瞰的な戦略視点を持った思考を身に付けられることを目標とする。

〈授業計画〉（予定）
第1回10月1日　オリエンテーション(森、弁理士　加藤志麻子（元特許庁））
第2回10月8日　台風で休講
第3回10月15日　ソニーの知的財産戦略（S：青柳　進　知財センター　副センター長）
第4回10月29日　マイクロソフトの知的財産戦略（MS：伊藤　ゆみ子　執行役　法務・政策企画統括本部長）
第5回11月5日　スクエア見学（S）　16時から17時
第6回11月12日　インターネット社会とイノベーション（MS：Jim Foster 業務執行役　政策企画本部長）
第7回11月19日　ブランド保護を担保する知財活動　商標・意匠（S：琴寄　俊　知財センター　企画管理部部長）
第8回11月26日　著作権・標準化とイノベーション（MS：楠　正憲　標準規格室部長）
第9回12月3日　　標準化、フォーマットと知的財産（S：守屋　文彦　知財センター　センター長）
第10回12月10日　海賊版対策とライセンシング（MS：中島　麻里　法務本部・弁護士、同本部　松尾　早苗）
第11回12月17日　知的財産と情報戦略（S：矢藤　有希　知財センター　情報戦略部課長）
第12回　1月7日　　競争法とイノベーション（MS：舟山　聡　法務本部長）
第13回　1月14日　事業部における知財推進活動（S：村　満　PI＆S事業本部部長）
第14回　1月21日　コースナビにて学習内容を点検（森、弁理士　奥山尚一）
第15回　（日程別途指示）学力考査及び解説（森）

（注）MSは、マイクロソフト、Sは、ソニーであり、各社より講師を派遣して講義を行う。

教科書

特になし

参考文献

参考文献
『ソニー自叙伝』（2001）ソニー広報部 (著), ワック編集部 (編集), ワック文庫
『ビーイング・デジタル：ビットの時代』（2001）ニコラス・ネグロポンテ（著）, アスキー

評価方法

論文形式の集合試験により評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	イノベーションの創造と知的財産		
科目キー	2800002075		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知的財産と起業		
科目キー	2800002076		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	原田　泉	森　康晃	日高　賢治

副題

授業概要

知的財産は、資源に乏しい日本にとって、モノつくり、コンテンツを保護し、世界市場に進出する源泉に他ならない。研究開発やコンテンツ生産の創造・保護・活用は、一般的には大企業における知財マネジメントの課題である。他方、研究開発型の中小企業、ベンチャーの存在は、企業文化、流通構造、大企業優先の政策によって、日本では、せっかくの独創性が活用されないというマイナス面は往々にして指摘されており、知財立国宣言後もなかなか改善の方向が見出せていない。こうした観点から、知的財産の基本政策課題を解説するとともに、特にハイテク関連の中小企業、ベンチャーにおける知財保護活用、公的研究機関・大学の基礎研究成果を活用した製品開発のマネジメントを学ぶ。また、こうした取組の先駆者でもある米国シリコンバレーの状況を中心に、中国、韓国の状況も加え、特にIT分野におけるベンチャーの現状と問題点を示し、知的財産権にまつわる現代的課題を考察する。

シラバス

第01回10/1「オリエンテーション　」 森
第02回10/8「知的財産権制度概論」 日高
1. そもそも知的財産権制度とは何のための制度なのか
2. 企業経営におけるその意味と価値（特にベンチャーにとって）

第03回10/15「特許制度概論」 日高
1. 特許制度の特徴
2. ハイテク分野における保護の現状
3. ベンチャー企業の特許戦略

第04回10/29「意匠・商標制度概論」 日高
1. 意匠、商標制度の特徴
2. ベンチャー企業のデザイン・ブランド戦略

第05回11/5「著作権制度、不正競争防止法（営業秘密保護）概論」 日高
1. 著作権制度の特徴
2. 営業秘密保護制度の特徴
3. ベンチャー企業における戦略的活用策

第06回11/12「産業政策としての知的財産権戦略」 日高
1. 日米プロパテント政策比較
2. 日本の知的財産権政策のあり方、方向性

第07回11/19「マイクロソフトの事例」 森
1. 研究開発型ベンチャーにとっての知財マネジメントの重要性
2. IBMのオープンアーキテクチュア戦略はなぜマイクロソフトによって利用されたのか？
3. 特許の「藪」とパテントプールの限界、オープンイノベーションの課題

第08回11/26「キヤノンの事例」 森
1. 研究開発戦略、事業戦略と一体となった知財戦略
2. 環境リサイクルなど複合的な知財の視点
3. 世界とどう闘うか？円高を活用したベンチャー起業戦略の重要性

第09回12/3 「ベンチャーとIT革命」 原田

IT革命とインターネットの歴史、日米の知財政策

ベンチャーとIT革命」

第10回12/10 「シリコンバレーのベンチービジネス」 原田

実際のベンチャーキャピタルとベンチャービジネス（ビデオ等）

第11回12/17 「中国と韓国等のIT革命とベンチャー」 原田

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知的財産と起業		
科目キー	2800002076		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

中国の最新動向、韓国の最新動向

第12回　1/7 「情報化と知財保護」 原田
　　インターネットと著作権問題

第13回　1/14「産業発展と知的財産権」 原田
　　今後日本の進むべき方向

第14回　1/21「まとめ」 森
第15回　定期試験期間（日程別途指示）

教科書

参考文献　参考文献
「国民ID」　NTT出版　2009年1月

「ネット戦争」 NTT出版　2007年12月

「クリエーティブ・シティ」NTT出版　2007年２月

「インターネットにおける言語と文化受容」NTT出版　2005年12月

「ネット社会の自由と安全保障」NTT出版　2005年3月

「デジタル・ツナガリ」 NTT出版　2004年10月

「21世紀北東アジア世界の展望」　日本経済評論社　2004年4月

「ブロードバンド国家戦略」 NTT出版　2003年10月

「デジタル・デバイド」 NTT出版　2002年8月

評価方法　試験

備考

関連URL:　創造理工学部 知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-m

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知的資産経営におけるコミュニケーション		
科目キー	2800002077		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	花堂　靖仁		

副題　知識化経済における価値創造に向けて

授業概要　企業の社会的使命は生産活動を通しての価値創造にある。そのために、供給する製品やサービスの付加価値をどのように高めるのか、顧客満足度を上げるためのブランド形成にいかに取り組むのか、といったことが企業経営のテーマとして問われることになる。具体的には、知的財産や知的資産の概念の形成と関連情報の体系化、知的財産やノウハウの管理、機密保持・プライバシーの確保と情報開示のバランス、ナレジマネジメントとITの活用などが企業経営の重要なテーマとなってきている。知的資産経営の視点からみれば、資金を含め経営資源の調達、研究開発と製品開発、知的財産のクロスライセンス、ブランド・エクイティーの形成、個人知と組織知の連関、持続的成長とリスク・マネジメントなどの企業経営の各プロセスにおける企業とステークホルダーとの双方向コミュニケーションの向上を通した情報共有が求められることになる。
本講義においては、総論において、工業化経済における企業経営から知識化経済における企業経営への変遷を辿りつつ、それぞれの特徴を整理する。そのうえで、各論として、経営理念と価値創造、経営資源の類型化と情報化、対外交渉力、組織知の形成とITの活用、情報共有によるCo-Productionとリスク管理などの知的資産経営の基本を学ぶ。

シラバス　【総論1】企業経営とは(1)ー経済・市場・企業・競争・情報
【総論2】企業経営とは(2)個人企業・会社企業・人的会社・物的会社
【総論3】工業化経済の企業経営(1)規格化・標準化・大量生産・大量消費・資本の固定化・規模の経済
【総論4】工業化経済の企業経営(2)持株会社と連結会計・公開会社と投資家保護・管理会計と財務会計
【総論5】知識化経済の企業経営(1)ーインターネット・ICT・レレバンスロストとBSC・経済レントとコンピテンシー
【総論6】知識化経済の企業経営(2)ー財務報告から改善された事業報告へ・リスボン計画と知的資本経営・失われた10年と知的資産経営
中間試験
【各論1】知的財産経営(1)ー知的財産の概念と管理・プロパテント政策・知的財産戦略
【各論2】知的財産経営(2)ーR＆Dプッシュ経営と価値創造・知的財産報告書の活用と限界
【各論3】知的資産経営(1)ー経営資源の体系化と知的資産の概念・知的資産経営の必要性
【各論4】知的資産経営(2)ーディマンドプル経営と価値創造・知的資産経営報告書の役割
【各論5】知的資産経営(3)ー知的資産経営のグローバル展開・XBRLタクソノミの形成とWICI
【各論6】知的資産経営(4)ー双方向コミュニケーション・情報共有と創発・CO-Production
期末試験

教科書　教科書は使用しない。
授業で使用するパワーポイントその他の教材については、掲出するサイトを初回授業時に紹介します。

参考文献　経済産業省『通商白書2004-新たな価値創造経営に向けてー』、ぎょうせい、2004年
古賀智敏著『知的資産の会計』、東洋経済新報社、2005年
伊藤邦雄編著『無形資産の会計』、中央経済社、2006年
花堂靖仁・ダイヤモンド社著『XBRLの衝撃』、ダイヤモンド社、2008年
花堂靖仁稿「Intangiblesの情報化とコミュニケーションに向けて」、ARI研究所/あずさ監査法人研究誌『人的資本についての論考ー非財務項目における人財の評価』所収、2008年2月

評価方法　授業時のショートレポートと意見表明　40%
中間試験　20%
期末試験　40%

備考

関連URL:　http://www.wiaps.waseda.ac.jp/user/hanado

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業・技術移転論		
科目キー	2800002079		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　博	後藤　芳一	船田　学

副題

授業概要

産業界では目下、グローバル化を背景に工場や事業所および技術の海外移転が盛んに行われている。また、特定の分野で開発された技術や事業の成功体験を他の分野に応用する試みも多くなされており、実務界におけるこのような資産やノウハウの移転活動は世界経済に大きな貢献を果たしているといえる。そこで本講義では、移転活動に関わる以下の各項目について考察する。

シラバス

1回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
「大学から企業への技術移転　-産学官連携-」
第1回-第8回までのオリエンテーションを行い、各講義の位置づけを整理する。初回講義では、大学と企業との共同研究や委託研究における技術移転のプロセスについて、成功事例を紹介した上で整理する。さらに、大企業と中小企業における技術移転のプロセスの違いについてフォーカスする。

2回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　塩田様:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
「地域における長期継続的な技術承継　-伝産品、地域資源等-」
近年地域振興の重要性があらためて問われていることから、古くから地域に伝わる伝統産業や地域資源に、再び注目が集まっている。長期継続的に地域で技術が移転(承継)されている仕組みや工夫、それらを活かした新たな取り組み等を紹介する。

3回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　馬来様:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
「神奈川県産業技術センターの取組み」
講師は早稲田大学理工学部大学院から日産自動車を経て、神奈川県工業技術センター長に就任。現在は、中小企業基盤整備機構プロジェクトマネージャーと、神奈川県顧問を務める。神奈川県工業技術センター所長時代には支援実績を3年間で3倍に伸ばした。公設試験研究機関における地域の企業に対する技術移転(支援)の実体を紹介する。

4回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　山田様:日本総研
「経営ノウハウの移転　-コンサルティングの仕事-」
講師は早稲田大学法学部から、大手ゼネコンを経て、日本総研へ入社。技術と経営の両面のノウハウをクライアントへ移転することで、事業を改善していくコンサルティングの仕事について事例を交えながら紹介する。近年は、経営だけでなく技術的な知識や経験も問われることから、理系出身の優秀なコンサルタントが多い。コンサルティング業界における理系人材の強みについても言及する。

5回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　小松様:ミュージックセキュリティーズ　代表取締役社長
「起業体験と日本酒等のファンド事業への挑戦」
講師は、大学卒業後、インディーズレーベル等で活躍するアーティストを育成するマネジメント会社を設立。アーティストを育成する手法としてファンドのスキームを活用した。また日本の各地域で中小酒造メーカーが経営に苦しむ状態を打開するため、同じくファンドのスキームを活用して、それらの再生事業に取り組んでいる。独自の技術を長期継続的に移転(承継)していくためには、優れた技術に加え、人材や資金を如何に継続的に確保していくかが重要な課題となる。

6回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　速水様:音力発電　代表取締役社長
「振動力発電の仕組みとビジネス展開」
講師は、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科に在学中に起業。『音力・振動力発電』の研究を本格的に始め、『発電床』『振子型振動力発電機』『振力電池』などを発明。今後どのような分野へ技術移転が可能かどうかについて、講義内では一部フリーディスカッションを予定。

7回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　新井様:マテリアルハウス　取締役社長
「産学官連携による光ダクトシステム事業」
講師は、社内新事業として、太陽光の届かない居室へ光をとどける仕組みである光ダクトシステムを開発。多くの大

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産業・技術移転論		
科目キー	2800002079		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

学や設計会社と協力しながら、経営者みずから技術を習得して、新事業を立ち上げていった様子を紹介する。外部からの技術移転に関しては、移転を受ける側の知識の習得や応用力が重要となる。

8回　非常勤講師　船田学:(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)
話題提供　　長尾様:マイクロソフト
「米から日本への技術移転　−マイクロソフトの技術と経営の強み−」
アメリカから日本へのマイクロソフトの技術移転、ビジネス展開について説明する。何故、マイクロソフトはワールドワイドに成功し続けているのか、マイクロソフトの新たなビジネス戦略を含めて説明する。

9回　専任教授　片山博:創造理工学部経営システム工学科
「わが国産業の抱える課題と産業・技術移転」

10回　専任教授　片山博:創造理工学部経営システム工学科
「産業のグローバル移転:事例研究」

11回　専任教授　片山博:創造理工学部経営システム工学科
「技術のグローバル移転:改善スキームの展開事例を中心として」

12回　非常勤講師　後藤芳一:経済産業省
内容未定

13回　専任教授　片山博:創造理工学部経営システム工学科
「産業のグローバル移転:産業力とコスト競争力の評価」

14回　専任教授　片山博:創造理工学部経営システム工学科
招聘講師(内容未定)

15回　専任教授　片山博:創造理工学部経営システム工学科
学力考査及び解説(定期試験及びコースナビによる達成度チェック)

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産学連携、ベンチャー起業の基礎I		
科目キー	2800002081		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	出川　通		

副題　研究開発の成果を事業にしていくイノベーションのマネジメントの基礎

授業概要　研究と開発を社会的ニーズに適合させながら、事業化できるまでを効率よく遂行するために必要な基礎知識とその方法論を講ずる。日米のベンチャー企業と産学などの連携・アライアンスのあり方を中心にして技術シーズを製品開発しビジネスにするまでの全体を取り扱う。
製造業における付加価値構造のパラダイムシフトと研究、開発、事業化への時系列的な概念を明確化したあと、開発プロジェクトの実行とマーケットによる課題設定の重要性を示す。事例研究として組織やマネジメント上の問題点と克服手段を具体的に明らかにし、研究開発をした結果をビジネスストーリーやプランに仕上げていくための知識と実例についても基礎的体系的に講義する。

シラバス　＊毎回の講義内容：産学連携・ベンチャー起業（基礎I）
第1回（4月9日）　オリエンテーション：はじめに、入門概論、新事業創出戦略
第2回（4月16日）　研究・開発マネジメント戦略：ロードマップとポートフォリオなど
第3回（4月23日）　ハイテク・マネジメント戦略：理科少年の発想とは
第4回（5月7日）　テーマ・マーケティング戦略
第5回（5月14日）　開発プロジェクト・マネジメント戦略
第6回（5月21日）　アライアンス戦略、産学連携と技術移転戦略
第7回（5月28日）　知財マネジメント戦略
第8回（6月4日）　コーポレートベンチャー戦略
第9回（6月11日）　独立ベンチャー戦略
第10回（6月18日）　中小企業イノベーション戦略
第11回（6月25日）　資金調達、リスクマネジメント戦略
第12回（7月2日）　ビジネスプラン戦略
第13回（7月9日）　技術者の戦略：自立・自律にむけて
第14回（7月16日）まとめ、クロージング
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。方法は授業中に指示

教科書　・出川　通著：最新MOT(技術経営)の基本と実践がよーくわかる本、秀和システム社、2009．2刊、2200円（税抜き）。(初回以外の毎回の講義は本書にしたがって講義するので、毎回必携のこと)

参考文献　・講師の本講義に関して著した記事や最新関連資料などを適宜配布する予定
・出川　通著：新事業創出のすすめ：日米ベンチャーに学ぶビジネス・イノベーションとマネジメント、オプトロニクス社、2006．12刊
・出川　通著：技術経営の考え方—MOTと開発ベンチャーの現場から、光文社新書（143）、2004．4刊。
・クレイトン・クリステンセン（伊豆原弓訳）著：「イノベーションのジレンマ」翔泳社、2000刊
・ジェフリー・ムーア著：「キャズム」翔泳社、2002

評価方法

備考

関連URL:　http://www.techno-ig.com

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	産学連携、ベンチャー起業の基礎II		
科目キー	2800002082		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　太郎	谷川　英和	西村　由希子

副題

授業概要　今後、我が国のイノベーションシステムでは、欧米やアジア新興国との国際競争力の強化に鑑み、産学連携における研究開発型中小企業及びベンチャー企業の役割に着目することが重要と考えられる。本講義では、産学連携の形態として、特許利用や技術導入などの技術移転型のベンチャー起業だけでなく、企業を起点とした研究開発体制と企業ニーズからスタートする例などを示し、企業側と研究者側両方のメリットと産学連携を阻む問題点について論じる。

シラバス

第一回　西村
第二回　山田
第三回　山田
第四回　山田
第五回　山田
第六回　西村
第七回　西村
第八回　西村
第九回　西村
第十回　谷川 「ベンチャー企業と知的財産権」
　ベンチャー企業にとって必要な知的財産権の基礎について説明する。
　特に、技術系のベンチャー企業に必要な特許、商標について詳細に説明する。
　そして、本授業で、知的財産権の重要性と概要を理解することを学習目標とする。

第十一回　谷川「ベンチャー企業のための知財戦略」
　1）知的財産権の取得戦略、2）知的財産権の活用戦略、3）知的財産権の管理戦略、について説明する。
　そして、本授業で、知財戦略の重要性を理解し、その概要をマスターすることを学習目標とする。

第十二回　谷川「特許工学1」
　アイデアの着想から特許権の取得、消滅に至るまでの特許ライフサイクルを工学的に支援する学問領域である特許工学の概要について説明する。
　特に、技術系のベンチャー企業にとって必要なアイデアの創出方法や優れた特許権の取得方法について概説する。
　そして、本授業で、特許工学の概要を理解し、優れたアイデアを創出、展開するコツを掴むことを学習目標とする。

第十三回　谷川　1/13「特許工学2」
　特許工学1の講義で学習したアイデア展開手法を用いて、優れたアイデアに仕上げる演習を、複数人で行ってもらう。
　複数人でディスカッションすることにより、小さな着想が優れたアイデアに仕上がっていくことを実感しても実感してもらう。

第十四回　西村　まとめにかえて（Discussion）

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	人文地理学II		
科目キー	2800002083		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高柳　長直		

副題　アメリカ合衆国の人文地理

授業概要　本講義では、「人文地理学1」の応用として、人間の諸活動の場所的差違形成の論理や地域問題に対する視点を提示していくことにする。具体的には、アメリカ合衆国の事例をとりあげて、人口と民族問題・都市問題・政治と地理との関係などのサブテーマに関して人文地理学的考察を行なっていく。

シラバス
第　1回　9月24日メンタルマップ：アメリカ人は，どこに住みたいと思っているか？
第　2回10月　1日人口地理　：南部や西部で人口増加が著しいのはなぜ？
第　3回10月　8日経済地理　：産業立地と変化と地域格差
第　4回10月15日先住民族　：ネイティブアメリカンの人々が住んでいるのはどこか？
第　5回10月29日移民問題　：なぜ時代によって移民の出身国が異なっているのか？
第　6回11月　5日都市構造1：都市内部の各地区はどうして異なっているのか？
第　7回11月12日都市構造2：民族ごとのすみわけはどのようになっているのか？
第　8回11月19日政治地理1：プエルトリコはなぜ独立国でも州でもないのか？
第　9回11月26日政治地理2：「合州国」としての特徴は何であろう？
第10回12月　3日文化地理　：バイブルベルトとは何であろう？
第11回12月10日健康・消費：アメリカ人はなぜ太っているのか？
第12回12月17日農業問題1：アメリカ農業はなぜ強いか？
第13回　1月　3日農業問題2：グローバル化の中でどのように変動しているか？
第14回　1月10日環境問題　：環境に対する二面性
第15回　1月17日まとめ・試験

教科書　使用しない。

参考文献　Artbur Getis etal The United States and Canada（McGraw-Hill）
川島浩平他編『地図でよむアメリカ　歴史と現在』（雄山閣出版）

評価方法　学期末試験とレポートで評価する。

備考　「人文地理学1」を同年度に受講することが望ましい。
アメリカ合衆国に興味のある方や将来留学等を考えている方の受講も歓迎する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	様相論理学		
科目キー	2800002084		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　種臣		

副題

授業概要　広い意味での様相論理学と言われるものの入門にあたることを主に扱う。これは、推論の内容を表わす文の中に、「……は必然的である」とか「……は可能である」などの表現、時制を表す表現など、いわゆる広い意味での、様相表現が現われ、それらの意味が推論の正当性に関与しているようなものを扱う論理学である。これらの論理体系は、社会科学の基礎概念の研究、理論言語学の研究、さらには、自然言語処理の理論などにも関係してくる。また、この講義は、命題論理学、述語論理学、モンタギュー文法などもカバーする。

シラバス
第一回：形式演繹論理学 「形式」の意味 「演繹」の意味
第二回：「構文論　意味論　語用論」の意味
第三回：命題論理意味論
第四回：タブロー式証明
第五回：ヒルベルト式証明
第六回：広い意味での様相論理の解釈
第七回：いろいろな公理体系1
第八回：いろいろな公理体系2
第九回：いろいろなモデル構造1
第十回：いろいろなモデル構造2
第十一回：モンタギュー文法1
第十二回：モンタギュー文法2
第十三回：カテゴリー文法
第十四回：高階内包論理学
第十五回：試験

教科書

参考文献　Symbolic Logic (Harry J. Gensler)

評価方法　出席と試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	境界領域アート論		
科目キー	2800002085		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要

芸術活動は従来、美術、音楽、演劇、文学と明確に分類されてきた。しかし現在、これらの境界が取り払われ、明確に分類出来ないクロスした領域に様々な新しいアートが生まれ、それらが生き生きと活動している。絵画や彫刻が美術館に、音楽がコンサートホールに、演劇が劇場に、文学が本の中に閉じこもっている間に、自由闊達さが失われ、本来の芸術の意味さえ問われかねない状況になっていることも事実であろう。本講座では、それらの境界領域に属する表現活動を実際に見学鑑賞し、論じ、ゼミ形式で話し合うことを目的とする。

シラバス

◎授業内容は、パブリック・アート、メディア・アート、パフォーミング・アート、ランド・アート、などを論じ、刻一刻変化するアート形態に、リアルタイムで対応して行きたいと考えている。

実際に出かける場所は、六本木ヒルズ、けやき坂のパブリックアート見学を皮切りに、東京オペラシティアートギャラリー、森美術館、東京都現代美術館、 NTTインターコミュニケーションセンターなどを予定している。尚、時間内に理エキャンパスに戻れる範囲としている。場所は、授業開始後、随時発表し、シラバスにも記載して行く。

第一回：教室にて、クリスト、ジェームズ・タレルなどの作品を紹介し、この講座の全体像と、今後の予定を述べる。

第二回：10月8日
六本木ヒルズ、パブリック・アート鑑賞
（野外なので、雨天順延、雨天の場合は教室に集合--中止の場合、午前中に登録のメールアドレスにコースナビでメールを送ります。）

13:00に、六本木ヒルズの彫刻「ママン」の下に集合の後、ガイドツアー形式で見て回るので、遅刻しないように集合のこと。なお、この日は、出席票に学籍番号と氏名を記入したものを持参し、現地で提出する。

地下鉄日比谷線、六本木下車、六本木ヒルズ方面1c出口を出ると、六本木ヒルズの真下に着くので、長いエスカレーターで地上2階へ。正面すぐに「ママン」が見える。

往路：西早稲田12:18発（渋谷行き）--新宿三丁目12:30(東京メトロ丸の内線、池袋行き）--霞ヶ関12:48（日比谷線、中目黒行き）--12:54六本木着--1c出口
復路：六本木14:08発--行きと逆の経路14:38西早稲田着

第三回：教室にて、パブリック・アートに関する発表とディスカッション1

第四回：教室にて、パブリック・アートに関する発表とディスカッション2

第五回：教室にて、パブリック・アートに関する発表とディスカッション3

第六回：六本木森美術館鑑賞
13:00現地集合：
往路：西早稲田12:18発（渋谷行き）--新宿三丁目12:30(東京メトロ丸の内線、池袋行き）--霞ヶ関12:48（日比谷線、中目黒行き）--12:54六本木着--1c出口
復路：六本木14:08発--行きと逆の経路14:38西早稲田着

第七回：教室にて、森美術館展覧会に関する発表とディスカッション1

第八回：教室にて、森美術館展覧会に関する発表とディスカッション2

第九回：教室にて、森美術館展覧会に関する発表とディスカッション3

第十回：ICC(NTTインターコミュニケーションセンター）メディアアート鑑賞

第十一回：教室にて、メディアアートに関する発表とディスカッション1

第十二回：教室にて、メディアアートに関する発表とディスカッション2

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	境界領域アート論		
科目キー	2800002085		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

第十三回：教室にて、メディアアートに関する発表とディスカッション3

第十四回：芸術における机上の空論について

第十五回：最終発表とディスカッション

教科書

参考文献

評価方法

備考　ほぼ三回おきに実際の展覧会等を見学、鑑賞し、それについて、学生自身が発表し、ディスカッションするゼミ形式で授業を行うので、主体的な参加態度を望んでいる。また、遅刻は認めない。なお、展覧会等の入場料（それぞれ600円から3000円程度）は自己負担となる。

第一回目の授業で、次週からの予定を発表するので、必ず出席すること。また、展覧会見学鑑賞に出かける週は、教室ではなく、現地集合となるので、注意すること。集合場所等は、授業計画に随時記載する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	心身問題研究		
科目キー	2800002086		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　種臣		

副題

授業概要　本講座では、「心」という概念、「身体」という概念、「物」という概念が古代ギリシャ以降歴史的にどのように変化してきたか、また心と身体はどのように関係するものと見なされてきたか（哲学では、いわゆる「心的問題」といわれるもの）、これらの問題が哲学においてどのような位置を占めてきたかを、文献をもとに議論する。文献は伝統的な哲学の分野だけに限らず、認知科学、人工知能に関する哲学のものも含む。講義というよりむしろ学生参加の演習形式にし、これによって「自己」との関わりという問題が現れてくるようにする。

シラバス
1）心身問題とは何か1
2）心身問題とは何か2
3）コンピュータは考えられるか？
4）インターネットについて
5）認知科学
6）行為の構造
7）社会科学の特徴
8）自由意志について
9）自己意識とは何か1
10）自己意識とは何か2
11）自己意識とは何か3
12）心と身体の関係1
13）心と身体の関係2
14）心と身体の関係3
15）試験

教科書

参考文献
心・脳・科学（ジョン・サール）
心の概念（ギルバート・ライル）
心の中の身体（マーク・ジョンソン）
心を自然化する（フレッド・ドレツキ）

評価方法　ディベート式の討論の評価とレポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物語研究		
科目キー	2800002087		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完 村井　浩一		中野　葉子

副題

授業概要

対象となる「物語」は単にそう命名されそうなものだけでない。テクストになりうるもの、あるいはわれわれがテクストとして取り上げるものはすべて、その瞬間から「物語」になると言ってもいいからだ。新聞記事やテレビの報道、種々のレポートの「物語性」をもいっしょに考えていく。そうしてわれわれは、われわれの世界理解そのものが物語性ぬきには考えられないという認識から、物語研究をすべての人間的営為の物語構造研究への出発点になる重要な研究として位置付けているのある。

そもそも物語とは何か、というところから授業を始める。絵画、写真、新聞記事、日常のふとした出来事の中にも物語はある。また、世代や国境を超えて人々をひきつける物語に共通点があるとすれば、それは何なのか、物語を面白くするのは何なのか、といったことも考察していく。最後に課題として短編を実際に書いてもらう。

物語の「普遍的構造」が抽出しやすい中世ヨーロッパの叙事的テクストを実例に挙げ、その中でいかに当時のメディア的条件が反映、もしくは内省されているのかを検証する。さらにそこから論点を広げ、現代の電子的メディア環境に生きる我々にとっての物語受容の在り方という問題も考えてみたい。

ドイツ語圏で読まれている日本の文学作品を取り上げ、日本の物語が海外でどのように評価されているかを考える。日本を代表する文学作品、いわゆる純文学はもちろん、ここ数年村上春樹や吉本ばななのような、日本の大衆文学作家が話題を呼んでいる。日本のまんがも若い人々に熱狂的に受け入れられている。これらの翻訳された「日本の物語」需要に注目し、ドイツ語圏内でポピュラーな作品と比較していく。最終回ではドイツの映画『ベルンの奇跡』(予定)を取り上げ、時事問題と個人(家族)との関わりという物語について、検討する。

シラバス

第1回(1・・4　中野)
序説:物語とはなにか
物語の基本要素を確認し、何が物語を面白くしたりつまらなくしたりするのかを
一緒に考えていく。

第2回
絵画や写真の中の物語
物語は何も活字の中だけにあるわけではない。絵画や写真の物語性を探っていく。

第3回
昔話に見る物語の普遍性
昔話を一緒に読んで、その特質や普遍性を考察する。

第4回
ヒーローの資質
物語のヒーローに共通する資質とはなんだろうか。また、戦争詩を読み、同じ戦
争がどのように違う物語として捉えられているかを見てみる。

第5回　(5・・7山田)
説得力のあるものとは

第6回
世界観の自己表出

第7回
二つの世界の「物語構造」

第8回　(8・・10村井)
物語受容とパフォーマンス、メディアの介在といったテーマについて、一般的に論じる。

第9回
物語を構造的に分析する方法に関して一般的な解説を行う。さらに中世ヨーロッパの叙事的テクストをもとにして具

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物語研究		
科目キー	2800002087		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

体的に物語構造を分析する。

第10回
中世ヨーロッパの叙事的テクストをもとに、当時のメディア的条件がどのようにその内部に反映もしくは内省されているのかを検証し、現代の電子的メディア時代における物語受容の在り方という問題と接続させる。

第11回 （11・・14シュレヒト）
日本の文学1：純文学
ドイツ語圏における日本文学の受容について、概説的に紹介する。日本の文学作品を幅広く取り上げ、海外でどのように評価されているかを考える。

第12回
日本の文学2：大衆文学
ここ数年村上春樹や吉本ばななのような、日本の大衆文学作家がドイツ国内のベストセラーになるなど、話題を呼んでいる。現代日本文学の魅力とは何か、物語構造の側面から見ていく。

第13回
マンガとコミックス
日本のマンガが欧州文化圏の若者の間で熱狂的に受け入れられている。これらの翻訳されたマンガ需要に注目し、ドイツ語圏内のマンガとコミックスの関係について述べる。

第14回
ドイツの代表的な映画を取り上げ、ストーリー性について日本の映画との違いを比較する。

第15回
（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　種々のプリントを配付する。

参考文献　参考文献等に関してはそのつど指示する。

評価方法　レポート（作品を含む）

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

レポートはかならず三つ以上提出しなければならない。
テーマは授業中に指示。
別に指示がない場合には、51号館2階のレポートボックスに提出のこと。

レポートボックスが設置される前，あるいは撤去されている場合は51号館5階の504A（山田研究室）のメールボックスの入れること。ただし期限は厳守のこと。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フィクション設計論		
科目キー	2800002088		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完	市川　真人	

副題

授業概要　小説、映画、コミックなど、さまざまなメディアを成立させる要素とは、ひとつに物語であり、同時にそれを載せる器としての、文章、映像、構図などでもあります。

たとえば文学についてなら、「なにを書くのか」だけでなく、「どう書くのか」「なにを書かないのか」といった選択が、無意識的・意識的を問わず、行われているわけです。

この講義では、そうした形式性を文体・フィクションの構造・細部の配置などから見出すとともに、文学のみにとどまらず、映画やコミックなどの作品も随時参照し、あるいは社会構造における同種のフィクション（想像の共同体としての「社会」）なども批評的に視野に入れながら、さまざまなフィクションの生産に再利用することを考えます。

シラバス

第1回　ガイダンス・概論１［山田］

第2回　ガイダンス・概論２（「物語」とはなにか）［以下市川］

第3回　物語の構築のされかた（「アンダルシアの夏」におけるコミックとアニメーションの比較　1）

第4回　物語の構築のされかた（「アンダルシアの夏」におけるコミックとアニメーションの比較　2）

第5回　物語の構造論（大塚英志「物語の体操」を参照しつつ）

第6回　物語の構造実践1

第7回　物語の構造実践2

第8回　フィクションにおける時間操作１（市川拓司「いま、会いにいきます」）

第9回　フィクションにおける時間操作２（クリストフォー・ノーラン「メメント」

第10回　フィクション内のシステムとしての「限定」（RPGにおける諸設定の恣意）

第11回　ヴァーチャルなシステムとしての「物語」1

第12回　ヴァーチャルなシステムとしての「物語」2

第13回　学力考査および解説

第14回　（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　授業内で指示します。

参考文献　授業内で指示します。

評価方法　平常点・課題およびレポート

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	語源研究		
科目キー	2800002089		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要　＊　言語は絶えず変化する。言語の大きな特性はそれが変化することであると言ってもよい。人間の営みの総体を文化と呼ぶならば、言語の変化は最も文化的な現象であると言うことができる。一つの語の歴史を探ることは、単に語形・音韻・意味等の変化を知るだけに留まらない。それはその語と密接につながっている他のさまざまな語と、それらの言の葉を担う枝・幹を、言語という一本の大木を見るということ、つまりは言語そのものの構造に触れるということなのだ。＊　「語源研究」によってぼくたちは、どの言語においても見られる言葉遊び・語源俗解などによる、時には苦笑せざるをえない、また時には感心させられるほどに見事な、語源理解のさまざまな例にも目配りを怠らず、ゆっくりとしかし着実に言語の古い森に分け入ろうと思う。いくつかの興味深い木々の観察をしてみよう。＊　「語源」あるいは「語源学」に相当する例えば英語は　″etymology″　であるが、これはもともとギリシャ語の ″etymos″（本当の）と ″logos″（言葉）をもとにしている。はたして古代ギリシャでは『語源』というものがどのように考えられていたのだろうか？中世から現代までのヨーロッパでは？日本では？興味はつきない。そこで、 語源に関する古今東西のさまざまな考え方をまずは概観する。そして語源研究の歴史を辿ることで、言語そのものにたいしてはさまざまな態度があること、ありうることを確認する。＊　語源研究が、一時の停滞を経て、今日また見直され関心を集めてきたのには理由がある。もちろん語源研究が、いつも発見のよろこびがある「楽しい学問」gaya scienza であるということは一方にはあるが、さまざまな次元での歴史理解の増大がかなりの信憑性をもって語源の確定を可能にするようになった、ということもまた一方にあるのである。この意味でこれまで語源俗解の無法にさらされてきたさまざまな解釈をもう一度考え直す作業をおこなう。＊　そうして、概説・解説の段階で扱われる膨大な量の参考例を自ら操作することによって、初出の言葉にたいしても漸次なんらかの類推形を出す練習をおこなう。

シラバス

第1回　語の起源と言語の起源

第2回　言語の多様性

第3回　文化間の衝突・干渉と言語の変化

第4回　形態的変化と意味の変化　一般的法則？

第5回　形態的変化と意味の変化　日本語の場合1

第6回　形態的変化と意味の変化　漢字の場合

第7回　形態的変化と意味の変化　日本語の場合2

第8回　形態的変化と意味の変化　日本語の場合3

第9回　形態的変化と意味の変化　ヨーロッパの諸言語の場合

第10回　形態的変化と意味の変化　英語の場合

第11回　語源俗解と言葉遊び

第12回　日本語における外来語

第13回　専門用語のネーミング

第14回　総括

第15回　（日程別途指示） 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　教場およびコースナビ上で種々のプリントを配付する。

参考文献　参考文献等に関してはそのつど指示する。

評価方法　定期試験。

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	語源研究		
科目キー	2800002089		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

５１号舘５０４Ａ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	実験の思想史I		
科目キー	2800002090		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	平尾　淳一		

副題

授業概要　自然に関する認識が，実験・観測を通じて，歴史的にどのように変遷してきたかを紹介する．本講義では特に「重力と運動」にスポットライトをあてる．実験を可能にした技術の進歩にも可能な限り触れることにしたい．

シラバス
(1)天文学と運動の分析
(2)ニュートン力学
(3)地球の形状と運動
(4)重力の法則と重力定数
(5)等価原理とマッハ原理
(6)特殊および一般相対論と重力波

教科書　教科書は指定しない．
参考書として，
「古典物理学を創った人々」エミリオ・セグレ著／みすず書房
「重力と力学的世界」山本義隆著／現代数学社
をあげておく．

参考文献

評価方法　教場試験

備考　高等学校程度の物理学の理解を前提とするが，それ以上の知識は必要としない．

【担当教員連絡先等】
平尾　淳一（chris@aoni.waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	実験の思想史II		
科目キー	2800002091		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	平尾　淳一		

副題

授業概要　自然に関する認識が，実験・観測を通じて，歴史的にどのように変遷してきたかを紹介する．本講義では特に光学と電磁気学にスポットライトをあてる．実験を可能にした技術の進歩にも可能な限り触れることにしたい．

シラバス
(1)光の基本的性質
(2)光速の測定
(3)光を伝える媒質
(4)電気と磁気に関する現象
(5)電磁波
(6)電子と量子

教科書　教科書は指定しない．
参考書として，
「古典物理学を創った人々」エミリオ・セグレ著／みすず書房
「歴史を変えた物理実験」霜田光一著／丸善
をあげておく．

参考文献

評価方法　教場試験・レポート（作品を含む）

備考　高等学校程度の物理学の理解を前提とするが，それ以上の知識は必要としない．

【担当教員連絡先等】
平尾　淳一（chris@aoni.waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	芸術表現I		
科目キー	2800002092		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	藪野 健		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	芸術表現II		
科目キー	2800002093		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	板屋　緑		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	映像史I		
科目キー	2800002094		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	井上　明久		

副題

授業概要　世界を代表する都市の一つである東京は、世界で最も激しく変貌する都市でもある。江戸の町並みから明治、大正、昭和、平成と大きく様変わりする東京の映像を、ドキュメントと映画作品を通して見ていく。そして、それらの映像を通して、東京という町の意味を考察する。

シラバス　1回目は「映像史I」についての全体的な内容について講義し、2回目以降は、山中貞雄、小津安二郎、黒澤明、成瀬巳喜男他の映像作品の一部分をビデオを使用して講義する。

教科書

参考文献

評価方法　前期の最終回授業日（7月9日）において、その授業時間内で「課題」について小論文を書く。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	映像史II		
科目キー	2800002095		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	有木　宏二		

副題

授業概要　20世紀の映像史（映画史）を、主にハリウッドで製作された映画を中心に「ユダヤ人」、「群集」という観点から検証します。そこで明らかになるのは、ハリウッド映画の娯楽性ではなく、そのアクチュアルな歴史認識です。最終的にはホロコーストと歴史の表象不可能性という、表現におけるもっとも困難な問題を考えてみます。すなわち、いかにすれば映像は、その絶対的な禁忌と向き合うことができるのか――。もちろん、余裕があれば、エンターテイメントとしての映画にも触れていきたいと思います。それも映画史の重要な一部なのですから。

シラバス　映像史の通史の講義ではありますが、ある意味、映画史の読み替えとなりますので、できればハリウッド映画についての知識（断片的でもかまいません）を持って授業に臨んでください。取り組むテーマは難しく感じられるかもしれませんが、できるかぎり理解すべき事柄を共有しながらゆっくりと授業を進めていきたいと思います。大まかに以下のような進行を考えています。

1　映画の誕生と映画文法の確立
2　ナチス・ドイツとフリッツ・ラング
3　第二次世界大戦とアウシュヴィッツの記憶
4　スティーヴン・スピルバーグとクロード・ランズマン
5　ジャン=リュック・ゴダール『映画史』

教科書　蓮見重彦『ハリウッド映画史講義――翳りの歴史のために』（筑摩書房）
加藤幹郎『映画とは何か』（みすず書房）
鵜飼哲、高橋哲哉［編］『「ショアー」の衝撃』（未来社）
ジョルジュ・ディディ・ユベルマン『イメージ、それでもなお――アウシュヴィッツからもぎ取られた四枚の写真』（平凡社）

参考文献

評価方法　出席とレポートによって判定します。

備考　特になし

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ラテン語文献基礎研究I		
科目キー	2800002096		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要　古代ローマにおいて使用されたラテン語は、中世およびルネサンス期のヨーロッパにおいて知識人共通の言語であった。これらの時期の文化的営為はラテン語によって行われていた、とも言える。当時、科学的思考もまたラテン語によって表現されていた。したがって科学史を研究したりローマ時代以後の科学論文を読もうとする者は、当然ラテン語の知識がなければならない。この講義ではシーザー、セネカなどの文章の明快な箇所を学習する一方、理系の学生が絶えず直面するさまざまな科学用語の解明もある程度はできるように、語源意識をもった文法構造理解にも努める。

シラバス

第1回　ラテン語についての概説　発音練習

第2回　ラテン語の歴史とその現代的意味・意義について考える　　発音練習

第3回　現代語の中のラテン語　みんなが知っているラテン語　発音練習

第4回　変化とパターン練習

第5回　変化とパターン練習

第6回　変化とパターン練習

第7回　文章を読む

第8回　文章を読む

第9回　文章を読む

第10回　文章を作る

第11回　文章を作る

第12回　長文読解

第13回　長文読解

第14回　習得度の確認

第15回　テストと講評

教科書　プリントを配布する。

参考文献　辞書・参考文献はその都度指示する。

評価方法　平常点＋テスト。

備考　【担当教員連絡先等】山田泰完(taik@waseda.jp)51号館504A　山田研究室

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ラテン語文献基礎研究II		
科目キー	2800002097		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要　この講義ではIで学んだラテン語の基礎的な文法と語彙を確認しながら進むが、学期が終わる頃にはニュートンのプリンキピア(Philosophiae Naturalis Principia Mathematica)の諸定義や中世の普遍論争で出てくる概念なども理解できるところまで到達する。
同時に近代語の構造的理解や語源的理解を深めるための練習も行なう。
古代ローマにおいて使用されたラテン語は、中世およびルネサンス期のヨーロッパにおいて知識人共通の言語であった。これらの時期の文化的営為はラテン語によって行われていた、とも言える。当時、科学的思考もまたラテン語によって表現されていた。したがって科学史を研究したりローマ時代以後の科学論文を読もうとする者は、当然ラテン語の知識がなければならない。
この講義ではシーザー、セネカなどの文章の明快な箇所を学習する一方、理系の学生が絶えず直面するさまざまな科学用語の解明もある程度はできるように、語源意識をもった文法構造理解にも努める。
ラテン語の習得によって身についた教養は単に自然科学の範囲にとどまるものではない。それはまた古代ローマや中世以降のヨーロッパ文化全体にも広い展望を開いてくれ、諸君の知的営為に大きなインパクトを与えるものなのだ。

シラバス

第1回　基礎的な文法と語彙の確認

第2回　基礎的な文法と語彙の確認

第3回　古典ラテン語と中世ラテン語の違い

第4回　中世の普遍論争1

第5回　中世の普遍論争2

第6回　ニュートンのプリンキピア1

第7回　ニュートンのプリンキピア2

第8回　ニュートンのプリンキピア3

第9回　ニュートンのプリンキピア4

第10回　ニュートンのプリンキピア5

第11回　近代語の構造的理解や語源的理解を深めるための練習1

第12回　近代語の構造的理解や語源的理解を深めるための練習2

第13回　近代語の構造的理解や語源的理解を深めるための練習3

第14回　習得度の確認

第15回　テストと講評

教科書　プリントを配布する。

参考文献　辞書・参考文献はその都度指示する。

評価方法　平常点＋テスト。

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)
51号館504A

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ラテン語文献基礎研究II		
科目キー	2800002097		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プロデュース特論		
科目キー	2800002099		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	安藤　紘平	元村　直樹	

副題

授業概要　映画のプロデューサーの仕事は、企画、デベロップメント、マーケッティングリサーチ、ファイナンス、映画製作、契約、著作権、宣伝、配給、回収、マーチャンダイズ、海外展開など、多彩です。「陰陽師」「世界の中心で愛をさけぶ」の濱名一哉氏、「ナビィの恋」「カナリア」の佐々木史朗氏など、ヒットメーカープロデューサーとして活躍する各部門の専門家をゲストに迎え、プロデューサーの何たるかを学びます。

シラバス　安藤が統括、“世界の中心で愛をさけぶ”“ナビィの恋”などで活躍のプロデューサー濱名氏・佐々木氏を中心に多彩なゲストがそれぞれの専門分野を担当する。

【ゲスト講師予定】 多少変更となる場合があります。
(1) 濱名一哉(TBS) 時代が求めるプロデューサーとは・映画事業の可能性
(2) 佐々木史朗(オフィスシロウズ) インディペンデントプロデューサーとは・ミニシアター映画製作
(3) 市川南(東宝) 公開映画を基にしたプロデュースの実際
(4) 和田倉和利(シネバザール) 映画製作現場の実際
(5) 濱名一哉(TBS) 映画企画デベロップメントと製作
(6) 久保田修(IMJ)＆犬童一心 プロデューサーと監督
(7) 平野直樹(TBS) 映画事業における著作権・契約
(8) 小谷靖(エンタテインメント・ファーム) 映画ファイナンス
(9) 市川南(東宝) 映画宣伝とマーケティング
(10) 濱名一哉(TBS) 映画制作の収支構造・ビジネスの実際
(11) 辻本珠子(TBS) マーチャンダイジングとプロモーション(12) 佐久間二(WOWOW) WOWOWをプロデュースする
(13) 久保雅一(小学館) ポケモンと日本アニメの国際戦略
(14) 濱名一哉(TBS) 総括と課題

教科書　場合により、授業中に適宜配付する。

参考文献　『コンテンツ・プロデュース機能の基盤強化に関する調査研究』
URL: http://www.meti.go.jp/policy/media_contents/index.html
「映像プロフェッショナル入門」安藤紘平著、フィルムアート社刊　定価2,000円
※早稲田大学生協にて生協組合員は1,800円で購入出来ます。

評価方法　レポート、授業への参加度を総合的に評価する。
※大学院学生と学部学生では、評価基準を別に定め、それぞれに見合った学業成績判定を行います。

備考　本科目は、大学院との合併科目です。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンテンツマーケティングリサーチ		
科目キー	2800002102		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　一美		

副題

授業概要

マーケティングという言葉は日本語・フランス語・ドイツ語・ロシア語どこの国でも共通語として使われる。
また概念は「trade（商取引）selling（販売）でないものをいうと定義されている。
コンテンツ（メディア素材）の売り上げから利潤をあげるために、消費者の動向・嗜好を調査・分析をすること、
それらの調査・分析の結果に基づいてコンテンツ販売を行うこと、これはマーケティングの一部概念とされ、
マーケティングリサーチである。
リサーチとは関係なく、販売ルートを最適化して利益をあげることもマーケティングである。
マーケティングが関わる分野は非常に広い。
具体的なマーケティング戦略は、その時代・市場により、最適なものは異なる。
現代においては、情報技術(IT)を活用したマーケティングが必須である。
この講義では「コンテンツ」のマーケティングをする為のリサーチ（調査）方法について学習する。

シラバス

1）マーケティング志向とは何か
　コンテンツの定義とマーケティング的なアプローチ、考え方とは何かについて、
　マーケティング成立の背景や要因、歴史にふれながら考察する。
2）メディアとマーケティング
　身近な素材であるメディア（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌）をテーマにマーケティングの意味や役割を解説する。
マーケティングに関するいくつかの代表的な理論・定義を紹介し今何がマーケティングに求められているかを考察する。
3）マーケティングリサーチ
　マーケティングリサーチの種類、流れ、調査の組立方等について解説し、特に調査票の重要性を理解してもらう。
　標本調査についてサンプリングの実務も含めて解説し、社会調査の果たす役割などを考察する。
4）調査結果の分析方法
　誤差検定、数量化分析の基本、回帰分析・重回帰分析、数量化1類、因子分析、クラスター分析、データマイニング、
　コンジョイント分析などの概念と分析結果の使われ方について考察する。
5）実例紹介と今後の使われ方
　現実の社会で使われているデータを用い今後のマーケティングを考察する。
　・パチンコ業界のマーケティング、　・プロモーショナルマーケティング、　・クーポン・ダイレクトマーケティング
　マーケティングの原点に立って、消費者（生活者）とマーケティングのこれからのかかわり方、方向等を考察する。

教科書

教科書はなし　資料は実例を紹介するが　企業名などは公表しない。

参考文献

評価方法

備考

事前の学習は不要だが講義内容に付いての質問を希望する。
　疑問を持つこと考える事を大事にしたい。
　小レポートを講義中に書いてもらう（数回）このレポートも採点基準にする、同時に出席点として評価する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	インターメディア作曲I		
科目キー	2800002104		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	インターメディア作曲II		
科目キー	2800002105		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ニーズ型社会と新産業創出		
科目キー	2800002107		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義（前期）	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	後藤　芳一		

副題

授業概要

ニーズが経済を主導する社会に移るなかで、新産業の創出が求められている。社会のニーズとは、持続的な社会にむけて、少子高齢化、環境問題、格差の問題、消費や流通の変化、情報化などへの対応である。講義では、事例をもとに、受講者が産業、行政、NPOなどで、企画立案を通じてリーダーシップを発揮するための、実践的な方法を論じる。

シラバス

第1回8月17日（月）
▼第１講 「ニーズ型社会と日本の現状」（起こりつつあること）
　第１講では、本講の枠組を設定するために、「日本の経済と産業で起こりつつあること」を確認するとともに、「ニーズ型社会」を定義する。
　経済社会の成熟とともに、経済社会のあり方を決める要因が、これまでの、量的成長、規模の経済、技術シーズ主導から、社会のニーズへの対応に移りつつある。
　そうした対応をするためには、経済や産業のしくみや変化を押さえつつ、それを支える産業の競争力を持つことが必要である。経済や産業をめぐっては、長期的な変化（例：グローバル化）とともに、2008年から起きている、未曾有ともいわれる変化を整理する。産業の競争力としては、日本の産業や経済の活力を支える、中小企業、ベンチャー、それらの支援策（例：ファンド、インキュベーション）に注目する。

【事例】「経済・産業の現状」「ニーズ型社会」、「中小企業の力」、「ベンチャー」、「ファンド」

第2回8月18日（火）
▼第２講 「競争力の確保と必要な視点」（これから必要なこと）
　第２講では、今後の経営環境のもとで、産業や企業が競争力を持つために必要な点を整理する。
　中長期的には、社会のフラット化、経済活動のグローバル化への対応、短期的には、足下の経済・景気の回復が求められる。産業や企業には、限られた経営資源や時間のもとで、的確な対応が必要になっている。
　そこでは、第1に、個々の取組みの質の高さが求められるとともに、第2に、課題をどう定義して、どの対応策を選ぶか、という取組みの視点が大切になる（個々の技術は優れていながら、全体のシステムを組むと劣る、という日本企業の陥りがちな問題は、第１の点が優れていながら、第２が劣ることから生じる）。
　本講では、第２の点に力点をおいて、経営戦略、組織運営、事業モデルの構築と展開を事例とともに考える。

【事例】「経営戦略」、「マネジメント」、「ビジネスモデル」、「販売促進」

第3回8月24日（月）
▼第３講 「ニーズに応えて市場を創る」（成功している事例）
　第３講では、ニーズに対応する産業と、その条件を考える。
　社会の成熟とともに高齢化が進み、障害者対応も、一層のきめ細かさが求められている。こうしたニーズに対応しつつ、新しい市場を開拓する産業が求められる。
　その代表例として、福祉用具や共用品（バリアフリー、ユニバーサルデザインも同義）に注目し、ニーズに応えることと、利益をあげて続けていくこと（事業性）の調和のあり方を考える。

【事例】「福祉用具」、「共用品（バリアフリー、UD）」、「ニーズ型産業」、「高齢化対応産業」

第4回8月25日（火）
▼第４講 「企業活動と社会の関わり」（これからの方向）
　第４講では、持続的な社会を実現するために、産業としての社会への寄与のあり方を考える。
　人の暮らしや社会を健全に続けていくために、環境、高齢化、貧困などに、適切に対応することが、国際的課題になっている。課題への対応のため、国だけでなく企業や個人が果たす役割も大きくなっており、その事例を、企業の社会的責任（CSR）や社会的起業の視点から考える。
　特に、自然と調和する暮らしを大切にしてきた日本には、持続的なモノ作り（例：デザイン、感性、伝統的工芸品）の伝統があり、国際的にも注目されている。これらを整理しつつ、今後の取組みを考える。

【事例】「企業の社会的責任（CSR）」、「社会起業家」、「日本生活支援工学会」、「メンテナンスの産業化」「感性価値」「デザイン」「伝統的工芸品」

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ニーズ型社会と新産業創出		
科目キー	2800002107		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義（前期）	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上

時間：各、午前一杯（9：00-13:30）
教室：55S号館 2階 第三会議室

日付は、別途指定
▼第5講
コースナビ等を活用した補講・課題3コマ

教科書　必要に応じて、資料を配付する

参考文献　講義の中で提示する

評価方法　平常点（講義の際に簡単な課題提出）・レポート

備考　【担当教員連絡先等】
後藤芳一（goto-yoshikazu@aoni.waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	CIO（最高情報責任者）概論		
科目キー	2800002108		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小尾　敏夫		

副題

授業概要　CIOの人材育成や需要が求められる一方で、CIOの核心的な定義や役割は構築されていない。そこで、歴史的背景、現状、役割、定義、活動範囲など多角的な面からCIOを考察して理解を深め、企業戦略、ITマネジメント、予算、プロジェクト立案、システム構築を含むCIOに必要な能力を検証し、「CIO学」を集大成させる。また、米国のクリンガーコーヘン法に基づくCIOに必要不可欠なコアコンピタンス、及びCIO大学(7大学)の教育科目の必修分野及び専門分野を参考として取り上げ、日本に必要なCIOコンピタンスを検討し、CIO標準モデルを構築する。

シラバス
1：CIO学とは
2：CIOの定義
3：CIOの歴史
4：CIOと組織文化
5：CIOの機能・役割(1)
6：CIOの機能・役割(2)
7：日本のCIO
8：アメリカのCIO
9：アジアのCIO
10：中小企業とCIO
11：CIOとITSS（ITスキル標準）

教科書　「CIO」小尾敏夫監修、（社）電気通信協会

参考文献　「CIO学」東大出版、小尾敏夫編

評価方法　受講生の平常点（毎回の参加内容）及び、期末テストによって採点する。

備考

関連URL:　http://www.obi.giti.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル映像コンテンツ概論		
科目キー	2800002112		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題　デジタル映像の成り立ち

授業概要　コンピューターによるビジュアル表現はファインアートと比べると歴史的には始まって間もないのに等しい。
しかし表現の手法としては様々な形態があり、今日芸術表現やビジネスとしても発展している。
この授業ではコンピューターによるアートの歴史を考察したり、表現手法の解説したりしつつデジタル映像の基礎を学ぶ。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　最終授業時間の教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル映像コンテンツビジネス論		
科目キー	2800002113		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題　デジタル映像のビジネス

授業概要　コンピューターによるビジュアル表現はファインアートと比べると歴史的には始まって間もないのに等しい。
しかしビジネスとしては確立されており市場は拡大している。
この授業ではデジタル映像のビジネスの概要を解説する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　最終授業時間の教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	文化遺産のデジタルアーカイブ		
科目キー	2800002114		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　デジタルデータとして文化財を保存する、デジタルアーカイブの活動が盛んに行われている。しかし、文化財には有形無形含めてさまざまな形態があり、またその文化財が持つ情報についても、見るものの視点によって変化してくる。そのため、それぞれの文化財に対して、どのようにデジタルアーカイブするか検討することが重要である。
本講義では、遺跡や文物などの有形文化財の3次元デジタイザを用いた形状の保存や、無形文化財のモーションキャプチャによる動きの保存、CTスキャンなどによる隠された情報の可視化、さらにはそれらの情報の表現方法なども含め解説する。

シラバス　講義予定
（授業内容は進度によって多少の変更が生じる可能性がある。）

第1回　ガイダンス
第2回　デジタルアーカイブへの取り組み
第3回　デジタルアーカイブのデータ形式
第4回　2次元画像の記録
第5回　3次元形状の計測
第6回　様々な形式のデジタル化手法
第7回　様々な形式のデジタル化手法
第8回　レポートに対する講評
第9回　デジタルアーカイブの事例紹介1
第10回　デジタルアーカイブの事例紹介2
第11回　デジタルアーカイブの事例紹介3
第12回　公開と権利
第13回　デジタルアーカイブの実践
第14回　総括
第15回　レポートに対する講評

講義期間中、3回のレポート課題を予定

教科書

参考文献

評価方法　出席状況や期間内に提出されたレポートによって判断し、評価を行う。

備考　CourseN@viにて資料を配付予定

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	3Dコンテンツの医療・福祉応用		
科目キー	2800002115		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　医学分野においては、多岐にわたって3Dコンテンツの開発や導入が進んでいる。コンテンツの普及、活用促進には、映像や3Dモデルのクリエータと、医師や研究者との連携が必要である。しかし、3Dコンテンツの制作には未だスキルや制作環境において課題が残されている。
本講義では、このように普及が期待されている3Dコンテンツについて、撮影や編集から呈示環境の構築といった、どのようにコンテンツを制作するかについての技術的な解説と、さまざまな分野の手術3Dコンテンツ撮影、手術ナビゲーションシステム、VRコンテンツの利用、インフォームドコンセント用3Dコンテンツといった例を挙げ、どのようなコンテンツが制作、活用されているのかについて具体的に紹介を行う。

シラバス　講義予定
（授業内容は進度によって多少の変更が生じる可能性がある。）

第1回　ガイダンス
第2回　立体視の基礎
第3回　立体映像の表示・撮影
第4回　立体映像の編集・公開
第5回　様々な医用画像
第6回　3次元CGの基礎
第7回　医用画像からの3次元モデル構築
第8回　3次元CGによる仮想内視鏡の制作
第9回　レポートに対する講評
第10回　外科手術とインフォームドコンセント
第11回　脳神経外科・手術シミュレータ
第12回　パニック障害治療用VR
第13回　眼科、耳鼻科での3Dコンテンツ
第14回　総括
第15回　レポートに対する講評

講義期間中、3回のレポート課題を予定。

教科書

参考文献　「医学3Dコンテンツの最先端」 中郡 聡夫編，カットシステム
「アニメーションでもっとよくわかる消化器外科手術」 中郡 聡夫著，メディカ出版

評価方法　出席状況およびレポート提出状況などから総合的に判断し、評価を行う。

備考　CourseN@viにて資料を配付予定

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	クロスメディアビジネス		
科目キー	2800002117		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	浅利　光昭		

副題

授業概要　情報化社会の到来を受け、われわれの生活はテレビや新聞、雑誌、インターネットなどさまざまなメディアを通じて娯楽コンテンツやニュース情報などさまざまな情報が届けられている。情報の消費者として日常的にメディアやコンテンツを利用するだけではなく、産業論的視点や情報経済学的な視点という文脈で位置付けることで新しい捉え方が可能となる。
本講義では、情報コンテンツのビジネスモデルを起点とし、コンテンツを媒介するメディア産業の位置づけや特徴を把握できるように、マスメディアを中心としたメディアビジネスの基本的な形から、ネットワーク環境が日常化しつつある現状におけるコンテンツビジネスの変容と今後の課題について考察したい。
本論の主たる対象とするメディア産業は、新聞やテレビ放送などのマスメディア分野を核に据えて、その他プリントメディアやコンテンツビジネスについては、その関連の中で言及したいと考えている。

シラバス
第　1回（　9月28日）　オリエンテーション
第　2回（10月　5日）　マスメディアとは何か
第　3回（10月12日）　メディアビジネスとは何か
第　4回（10月19日）　メディアビジネスの類型化（広告モデルについて）
第　5回（10月26日）　メディアビジネスの類型化（課金モデルについて）
第　6回（11月　2日）　マスメディア産業の特徴（テレビ放送を中心に）
第　7回（11月　9日）　マスメディア産業の特徴（新聞、雑誌を中心に）
第　8回（11月16日）　「ワンソース・マルチユース」の現状（“制作委員会”について）
第　9回（11月23日）　「ワンソース・マルチユース」の現状（テレビ番組の二次利用）
第10回（11月30日）　放送と通信の融合−そのビジネス的な意味
第11回（12月　7日）　メディアビジネスにおけるネットワーク化の衝撃
第12回（12月14日）　マーケティングとメディアビジネス
第13回（12月21日）　グローバル化とメディアビジネス
第14回（　1月18日）　メディア産業の今後と課題
第15回（　1月25日）　学力考査及び解説
（注）講義内容は、新たな事例の紹介等に応じて一部変更の可能性がある。

教科書　特に定めない（講義中に適宜解説を行う）

参考文献　（株）電通『情報メディア白書2009』ダイヤモンド社

《講義資料》
講義に必要な資料等を適宜配布する

評価方法　期末に予定する定期試験を中心に、講義中課するレポート、出席等平常点を加味して、総合的な評価を行う

備考　特になし

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	家族と子ども		
科目キー	2800002118		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	島　直子		

副題

授業概要　本講義では、近年顕著にみうけられる家族の変化や多様化、また子どもの成長過程において生じる問題や、子どもが成長発達を遂げる社会的場について社会学の観点から考察する。特に、「家族と子ども」の歴史的変化に注目したい。家族変動メカニズムの解明を試みた研究の理論と方法について検討することで、「現代社会における家族と子ども」について歴史的視点から理解を深めたいと考えている。
ところで「家族」は社会の縮図であり、家族研究は社会学の重要なテーマと位置づけられている。家族社会学研究は、社会を理解するための多くの示唆をあたえてきたのである。そこで本講義でも、「家族と子ども」をめぐる現状や問題について考察することで、急激な変化を遂げている現代社会そのものについての理解も深めたい。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　家族の変化：（1）家族形態の変化
第3回　家族の変化：（2）家族機能の変化
第4回　家族の変化：（3）まとめと議論
第5回　近代家族の成立と「子ども」の誕生
第6回　感情労働と家族
第7回　ネットワークとしての家族
第8回　家族外集団と子どもの社会化
第9回　家族儀式と子どもの社会化
第10回　子どもの社会化と逸脱行動（1）
第11回　子どもの社会化と逸脱行動（2）
第12回　ファミリー・アイデンティティ（1）
第13回　ファミリー・アイデンティティ（2）
第14回　家族の個人化をめぐる議論
第15回　学力考査および解説

教科書　資料を配布する。

参考文献　宮本みち子・清水新二編、2009『家族生活研究』放送大学教育振興会
藤見純子・西野理子編、2009『現代日本人の家族』有斐閣

評価方法　出席及び受講態度、定期試験を総合して評定する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代マスコミ論Ｉ		
科目キー	2800002120		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　「現代マスコミ論」Iでは、現代社会において重要な役割を果たしているマスメディアについて、その発展過程を概観したあと、情報メディアの原理とマスメディアの特質を分析し、そのあとマスメディアの文化的役割や社会の情報化についてマクロな考察を行う。

シラバス
第１回（４月９日）　オリエンテーション
第2回（４月１６日）　マスメディア発達史１
第3回（４月２３日）　マスメディア発達史２
第４回（５月７日）　マスメディア発達史３
第５回（５月１４日）　情報とは何か
第６回（５月２１日）　コミュニケーションの形態
第７回（５月２８日）　情報メディアの仕組み
第８回（６月４日）　情報メディアの発達方向
第９回（６月１１日）　文化とマスメディア１（基本構造）
第１０回（６月１８日）　文化とマスメディア２（ジャーナリズム）
第１１回（６月２５日）　文化とマスメディア３（娯楽）
第１２回（７月２日）　文化とマスメディア４（価値意識）
第１３回（７月９日）　情報化社会１（本質的意味）
第１４回（７月１６日）　情報化社会２（産業と情報化）
第１５回（７月２３日）　情報化社会３（情報表現・発信と責任）

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考　とくになし。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代マスコミ論 II		
科目キー	2800002121		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　「現代マスコミ論II」では各マスメディアの実態と社会的役割について考察する。実態部分に関しては「メディア産業論I」と一部重なるが、この講義では各メディアの社会的役割論、文化論に重点を置く。

シラバス

第1回（9月24日）　オリエンテーション
第2回（10月1日）　新聞1（一般紙）
第3回（10月8日）　新聞2（スポーツ紙、フリーペーパー）
第4回（10月15日）　出版1（書籍）
第5回（10月29日）　出版2（雑誌、マンガ、書店）
第6回（11月5日）　放送1（民放）
第7回（11月12日）　放送2（NHK）
第8回（11月19日）　ラジオ
第9回（11月26日）　衛星放送
第10回（12月3日）　ケーブルテレビ
第11回（12月10日）　映画
第12回（12月17日）　ビデオソフト
第13回（1月7日）　広告
第14回（1月14日）　電話
第15回（1月21日）　郵便

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考　とくになし。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	メディア産業論Ｉ		
科目キー	2800002122		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　「メディア産業論」Iでは新聞や出版、放送など伝統的なメディアを中心にマさまざまな個別情報メディアの、産業としての側面に注目して、その原理と特質を解説したうえで、経営実態についても考察する。

シラバス

第１回（４月９日）　オリエンテーション
第２回（４月１６日）新聞産業１（一般紙）
第３回（４月２３日）新聞産業２（スポーツ紙、フリーペーパー）
第４回（５月７日）　出版産業１（書籍）
第５回（５月１４日）出版産業２（雑誌、マンガ、書店）
第６回（５月２１日）放送産業１（民放）
第７回（５月２８日）放送産業２（NHK）
第８回（６月４日）　ラジオ産業
第９回（６月１１日）衛星放送産業
第１０回（６月１８日）ケーブルテレビ産業
第１１回（６月２５日）映画産業
第１２回（７月２日）　ビデオソフト産業
第１３回（７月９日）　広告産業
第１４回（７月１６日）電話産業
第１５回（７月２３日）郵便事業

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考　とくになし。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	メディア産業論 II		
科目キー	2800002123		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　現代社会において重要な役割を果たしているマスメディアを中心に、情報メディアの原理と特質を分析して、産業上の特性や限界を考察するし、さらにマスメディアの文化的役割や社会の情報化についてマクロな考察を行う。

シラバス

第1回（9月24日）　オリエンテーション
第2回（10月1日）　情報とは何か
第3回（10月8日）　コミュニケーションの形態
第4回（10月15日）情報メディアの仕組み
第5回（10月29日）情報メディアの発達方向
第6回（11月5日）　文化とマスメディア1（基本構造）
第7回（11月12日）文化とマスメディア2（ジャーナリズム）
第8回（11月19日）文化とマスメディア3（娯楽）
第9回（11月26日）文化とマスメディア4（価値意識）
第10回（12月3日）　情報化社会1（本質的意味）
第11回（12月10日）情報化社会2（産業と情報化）
第12回（12月17日）情報化社会3（文化と情報化）
第13回（1月7日）　情報化社会4（政治と情報化）
第14回（1月14日）　情報化社会5（生活と情報化）
第15回（1月21日）　情報化社会6（情報表現・発信と責任）

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	技術倫理		
科目キー	2800002124		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　将来科学者や技術者として活躍する際に直面せざるを得ない「社会」との関係について、その基本的な考え方を学ぶことが本講義のねらい。科学技術が現代社会においてきわめて大きな影響力をもつ状況下において、科学者や技術者はどのようなスタンスで望まなければならないか。本講義では、技術者倫理、研究倫理といった現代の科学者・技術者にとって最低限必要不可欠な行動規範の概説に加えて、そうした行動規範が必要とされる背景についても概説する。さらに技術倫理、研究倫理の意義と限界についても若干の考察を加える。

シラバス　概ね以下の3つの観点から概説する。
1）技術者倫理
技術者倫理の基本的事項を学ぶ。特にさまざまな制約条件下において技術者はどう行動すべきかに関する従来の考え方について紹介する。
2）研究倫理
研究者としてどう行動すべきかに関する基本的事項を学ぶ。捏造、改竄、盗用といった問題も然ることながら、そうした事態がなぜ生ずるのか、あるいはなぜ問題とされるかという点について概説する。
3）まとめ
技術者倫理・研究倫理の意義と限界についての考察。いわば「倫理の倫理」について考える。

教科書　指定しない。

参考文献　授業の中で随時紹介する

評価方法　定期試験による

備考　講義資料はCourseN@viにて配布する予定。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学社会学		
科目キー	2800002125		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　科学技術と社会を考えるために最低限必要とされる基本的な知識と考え方を学ぶ。個人的な体験や信念をもとにすれば、科学技術と社会については、如何様にでも語ることが可能であるが、しかし、欧米のみならず日本でも少なからず積み重ねられてきた過去の議論を踏まえていなければ、「車輪の再発明」的な議論になることは否めない。本講義では、科学技術と社会に関して今後より実りある議論を展開するために必要不可欠な過去の蓄積を紹介するとともに、現代においてこのテーマをどう考えればよいかについても若干の考察を加える。

シラバス　主に以下の内容について概説する。
1. 序論
基本的事項の確認
2. 科学者とは何か――科学者集団の社会学
その歴史、科学者集団の動態に関する質的・量的分析
3. 科学知識とは何か――科学知識の社会学
科学革命論、社会構成主義科学論、技術の社会的構成
4. 科学が産み出される場とは――科学人類学
実験室の人類学的研究、アクターネットワーク理論
5. 科学技術と社会の関係は――科学技術社会論
科学コミュニケーション、科学技術と公共性

教科書　指定しない。

参考文献　講義の中で適宜紹介する

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	科学技術と現代社会		
科目キー	2800002126		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　本講義のねらいは、主に1970年代以降の科学技術と社会の関係変容について、日本を中心に諸外国と対比させながら理解を深めることにある。具体的には、まず第二次世界大戦後から60年代末までの動きを一瞥した後、70年代においてどのような変化が生じたかを、さしあたり公害・環境問題、エネルギー、日米関係、経済・財政の観点から概観する。その上で、こうした70年代における変化がその後、現在にどう引き継がれて行ったかを垣間見る。また同時に変容の分析に関する論考についても紹介する。

シラバス　概ね以下の内容について概説する予定である。
1.序論：歴史的前提
2.転換期（1）公害・環境問題
3.転換期（2）エネルギー問題をめぐる科学技術と政治
4.転換期（3）日米関係
5.転換期（4）経済・財政
6.科学技術体制の民主・民生転換
7.科学技術と現代社会の関係変容とその捉え方

教科書　指定しない

参考文献　授業の中で随時紹介する

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会学概論		
科目キー	2800002127		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会学とは社会を読みとく学問であると同時に、一般的な「ものの見方」がどのように構成されているかを読みとく学問でもある。
この授業では、社会学の主要トピックスから、家族や労働、地域移動、社会的ネットワークなど身近な題材を取りあげ、社会学の基本的な考えかたや視点の修得を目標とする。

シラバス
[第1回]:オリエンテーション
[第2回]:社会学とは何か
[第3回]:家族(家族とは何か、「核家族化」の進展、変容する「家族」)
[第4回]:家族(結婚の変化、低出生社会)
[第5回]:仕事と労働(ライフスタイルと就業意識)
[第6回]:社会階層と社会移動(社会階層とは何か、産業化と階層構造の変化)
[第7回]:社会階層と社会移動(社会移動としての地域移動、地域移動とライフコース)
[第8回]:社会階層と社会移動(ライフコースと居住形態)
[第9回]:都市(社会学からみた「都市」、都市と都市化)
[第10回]:都市(コミュニティとネットワーク、ソーシャル・キャピタル)
[第11回]:地域社会(地域社会の変化、地方の過疎化と「限界集落」)
[第12回]:地域社会(地域社会と「文化」、「文化」をどうとらえるか、「地域文化」の創出)
[第13回]:現代社会(国家とグローバル化、グローバル化の中の「文化」)
[第14回]:現代社会(リスクとリスク社会論)
[第15回]:学力考査および解説

教科書　特に指定しない。

参考文献　参考文献については適宜講義中に指示する。

評価方法　試験によって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する(10%)。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本をめぐる国際関係		
科目キー	2800002128		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	川島　高峰	坪内　淳	片岡　貞治

副題　北朝鮮の人権・人道問題と国際人権システム

授業概要

「北朝鮮帰還（帰国）事業」をご存知でしょうか？
近年は、拉致・核開発、そして、脱北者問題を中心に北朝鮮の人権問題がよく報道されるので、ご存知の学生もいると思います。私は、この問題の日本側の対応を（北朝鮮側の対応は知りたくても資料が公開されません）研究してきたので、最初は、この帰還事業を導入に話をしていきたいと思います。このような問題は、直ぐに、親日か、反日かという非常に極端で単純化された尺度で議論されがちですが、生身の人間にとって生きることの意味は、もう少し複雑です。在日韓国・朝鮮人、そして、もう一段抽象化した時、在日外国人にとってのアイデンティについても考えてみましょう。なにしろ、在外日本人は、130万人以上もいるのですから。
次に北朝鮮の飢餓と脱北者について話をします。脱北者というのは、妙な言葉ですね。どうして、「難民」と呼ばれないのでしょうか？　また、脱北者はどうやって韓国や日本に来ると思いますか？　タイには何と1000名も脱北者がいます。ドイツには200名前後です。どういうことでしょうか。
その他方で、無理矢理、北朝鮮に入国させられてしまう人々がいます。拉致です。拉致被害国は世界で少なくとも13ヶ国にも及びます。
このような北朝鮮という国が、今、国際社会の人権システムの中でどのように位置づけられているのか、そして、位置づけられていくのか、これを諸君とともに考えていきたいです。
教室の環境が許すのであれば、映像資料なども利用したいと思っています。

以下より片岡貞治担当。
現在、アフリカの様々な問題が世界的な課題となっている。一般の日本人にとってはアフリカは、距離的にも、心理的にも遠い存在である。アフリカは、世界の10%の人口を持ちながら、経済規模では1%にしか過ぎない。しかし、政治的に国連の4分の1の票を持つ、決して無視する事は出来ない存在である。こうしたアフリカに対して、日本は如何なる戦略を持つべきなのか。
アフリカ問題に

シラバス

第一回　北朝鮮帰還事業とは何か　その論じられ方の類型と先生の立場・考え
第二回　飢餓と脱北の諸問題　飢民と難民　中国の人権問題
第三回　拉致　疑惑から問題へ　左派知識人の犯罪的無視から被害国の国際連帯へ
第四回　国際人権システムと北朝鮮人権法、国連人権理事会、強制失踪防止条約など

5. アフリカ問題
6. 開発問題
7. 紛争問題
8. 日本との関係

教科書

参考文献

川島高峰監修『アメリカ国務省人権報告』現代史料出版
申東赫（シン・ドンヒョク）『収容所に生まれた僕は愛を知らない』KKベストセラーズ
萩原遼『北朝鮮に消えた友と私の物語』文春文庫

評価方法

備考　授業時に携帯電話を活用したアンケートを実施します。協力してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	バイオ創薬分野における知財・イノベーション		
科目キー	2800002129		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	木山　亮一		

副題

授業概要　バイオベンチャー設立の事例、大学発バイオベンチャーの支援の具体例を紹介する。さらに医薬品産業において特許権をいかに戦略上活用していくかを解説する。また、バイオ関連発明の特許要件、さらには、抗体医薬の研究開発における国内事情と後発バイオ医薬品であるバイオシミラーについて概説する。さらに、新薬とジェネリック医薬の知財における攻防などを事例を挙げて解説する。(高島一担当)
　さらに創薬バイオ分野に関する特許の俯瞰的な分析の上に、このバイオ分野でユニークな知財・特許戦略により業績を伸ばしている会社の実践について、また近年の蛋白質立体構造の解析から得られる創薬に結びつく情報の重要性について解説することで、現実・実践に即したバイオ分野での知財獲得からその応用までの関連について考察を行う。(河原林裕担当)
　最後に、最近のバイオ・創薬分野のイノベーションに関して具体的な事例を挙げて解説を行なうとともに、創薬分野での知財訴訟の動向、特許審査現場から見た知財動向、さらに、政策的な知財戦略についてそれぞれの専門分野の専門家によるレクチャーを通じて将来のバイオ及び医薬産業について議論する(木山亮一担当)。

シラバス　授業は、90分講義(適宜質疑応答を挟む)を原則に行う。
[1]4月8日、オリエンテーション(担当:森康晃)
[2]4月15日、「ライフサイエンス産業における研究開発戦略と知財戦略の将来像」講師:秋元浩(元・武田薬品工業)(担当:木山亮一)
[3]4月22日、「バイオ分野における知財ポートフォリオ戦略」講師:隅蔵康一(政策研究大学院大学)(担当:木山亮一)
[4]4月29日、「バイオ創薬分野におけるイノベーション概論」講師:木山亮一(産業技術総合研究所)
[5]5月13日、「バイオ分野における技術開発と技術移転について」講師:川端兆隆(産総研イノベーションズ)(担当:木山亮一)
[6]5月20日、「大学発バイオ創薬およびベンチャー支援」講師:村田美由紀(高島国際特許事務所)(担当:高島一)
[7]5月27日、「医薬品研究開発から創造される知的財産権」講師:奥村洋一(武田薬品工業知財部)(担当:河原林裕)
[8]6月3日、「PSSの知財戦略、海外企業との取り組み」講師:田島秀二(プレシジョンシステムサイエンス社)(担当:河原林裕)
[9]6月10日、「産業応用を目指したタンパク質の立体構造解析」講師:田之倉優(東京大学)(担当:河原林裕)
[10]6月17日、「抗体医薬とバイオシミラー」講師:鎌田光宜(高島国際特許事務所)(担当:高島一)
[11]6月24日、「バイオ関連発明の特許要件」講師:小池順造(高島国際特許事務所)(担当:高島一)
[12]7月1日、「医薬品産業における特許権の活用(特許権侵害訴訟など)」講師:奥村洋一(武田薬品工業知財部)(担当:高島一)
[13]7月8日、「医薬に関する特許事情　新薬とジェネリック医薬の知財攻防など」　担当:高島一(高島国際特許事務所)
[14]7月15日、コースナビ等で指導予定
[15]試験、定期試験期間
(なお、各回の担当、内容は、必要に応じ変更もあり得る。)

教科書　毎回レジュメを配布する。

参考文献

評価方法　本講義受講の成績は、試験結果と講義出席回数を参考にして決定する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	バイオ創薬分野における知財・イノベーション		
科目キー	2800002129		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	写真表現I		
科目キー	2800002131		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	下村　純一		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	写真表現II		
科目キー	2800002132		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	下村　純一		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会心理学I		
科目キー	2800002133		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　社会心理学の目的は、人々の行動の法則性を理解することにある。社会心理学は、(1)人が自分や自分をとりまく社会環境をどのように認識しているか、(2)人が他者に対してどのように働きかけるか、(3)人の行動が他者の存在によってどんな影響を受けるか、(4)他者との協力的な社会関係がどうやって形成されるか、(5)集団として行動する際に人々がどのように行動するか、など、多様な問題を扱う。社会心理学Iでは、これらのうち、特に、個人の行動を扱った研究（上の(1)と(2)が該当）を概観し、個人が、社会環境をどのように理解し、社会環境に対してどう働きかけていくのか、についての研究の知見を共有していくことをめざす。

シラバス
第　1回（　4月　6日）オリエンテーション
第　2回（　4月13日）社会心理学の研究領域と方法
第　3回（　4月20日）自他に対する評価の形成（印象形成）
第　4回（　4月27日）自他に対する評価の形成（対人魅力）
第　5回（　5月11日）自他に対する評価の形成（自己評価）
第　6回（　5月18日）他者の視点をとるということ
第　7回（　5月25日）他者の行動の説明（原因帰属）
第　8回（　6月　1日）理解度チェックのための小テストと解説
第　9回（　6月　8日）集団の認知（差別とステレオタイプ1）
第10回（　6月15日）集団の認知（差別とステレオタイプ2）
第11回（　6月22日）集団の認知（差別とステレオタイプ3）
第12回（　6月29日）現実問題への応用（晩婚・非婚化の背後にある個人の心理1）
第13回（　7月　6日）現実問題への応用（晩婚・非婚化の背後にある個人の心理2）
第14回（　7月13日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　特に指定しない。適宜参考文献を紹介する。

参考文献

評価方法　最終試験（教場試験）で評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	社会心理学II		
科目キー	2800002134		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　社会心理学の目的は、人々の行動の法則性を理解することにある。社会心理学は、(1)人が自分や自分をとりまく社会環境をどのように認識しているか、(2)人が他者に対してどのように働きかけるか、(3)人の行動が他者の存在によってどんな影響を受けるか、(4)他者との協力的な社会関係がどうやって形成されるか、(5)集団として行動する際に人々がどのように行動するか、など、多様な問題を扱う。社会心理学IIでは、これらのうち、特に、集団や他者の存在といった社会環境が人にどのような影響を及ぼすかを扱った研究（上の(3)と(4)と(5)が該当）を概観し、社会的な環境の中で、人間がどのように行動するのか、についての研究の知見を共有していくことをめざす。

シラバス
第　1回（　9月28日）オリエンテーション
第　2回（10月　5日）社会的影響過程（社会的促進）
第　3回（10月12日）社会的影響過程（多数派の影響）
第　4回（10月19日）社会的影響過程（少数派の影響）
第　5回（10月26日）協力行動 (1)
第　6回（11月　2日）協力行動 (2)
第　7回（11月　9日）集団行動（意思決定）
第　8回（11月16日）集団行動（集団の効率性）
第　9回（11月23日）文化と人の行動(社会心理学の背景にある西洋文化）
第10回（11月30日）文化と人の行動(東アジア人の行動の特徴）
第11回（12月　7日）文化と人の行動(集団主義と個人主義）
第12回（12月14日）文化と人の行動(文化的自己観）
第13回（12月21日）文化と人の行動(文化と思考）
第14回（　1月18日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　特に指定しない。適宜参考文献を紹介する。

参考文献

評価方法　最終試験（教場試験）で評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	劇場と文化		
科目キー	2800005001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	今岡　謙太郎		

副題

授業概要　ひと誰しも生きていれば、出会いがあり別れがある。愛があり憎しみがある。喜びがあり悲しみがある。すぐれた戯曲には、そうした生の姿がくっきりと描き出されている。そして役者の演技を通して、現実の人間以上にリアルな人間が生き始める。この授業では、戯曲や上演をその時代や社会との関わりのうちに考察し、普遍性と独自性を探る。演劇は役者と同じ時空に身をおいてはじめて享受しうるジャンルである。この反文明的な表現形式のうちに生物（なまもの・いきもの）としての演劇の生命力と魅力を探りたい。

シラバス　今回は日本の古典演劇から、能の「安宅」と歌舞伎「勧進帳」を取り上げる。能、歌舞伎、近代劇、映画、テレビといった様々なジャンルでこの題材がいかに取り込まれ、いかに表現されてきたかを見てみたい。
開講時に、授業の進め方について説明をするので、必ず出席して欲しい。おおよそ以下の形で授業を進めていく予定だが、受講生と相談の上、若干の変更もある。
第1回：日本演劇と義経伝説(1)
第2回：日本古典演劇の特色について
第3回：日本演劇と義経伝説(2)
第4回：能「安宅」の映像鑑賞(1)
第5回：能「安宅」の映像鑑賞(2)
第6回：能と歌舞伎の特色について
第7回：歌舞伎「勧進帳」の映像鑑賞(1)
第8回：歌舞伎「勧進帳」の映像鑑賞(2)
第9回：江戸歌舞伎の様式について
第10回：歌舞伎「御摂勧進帳」の映像鑑賞(1)
第11回：近代メディアと歌舞伎
第12回：映画「虎の尾を踏む男達」鑑賞(1)
第13回：映画「虎の尾を踏む男達」鑑賞(2)
第14回：近代劇と義経伝説
第15回：質疑応答と補足

教科書　この一冊、という教科書は使用しない。
各時間に必要な文献は、配付する。

参考文献　授業時に指示する。

評価方法　試験を中心にしつつ、平常点を加味する。試験問題は事前に予告する。
平常点には、出席と受講態度が含まれる。遅刻は欠席とする。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	舞台芸術論		
科目キー	2800005002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山形　治江		

副題

授業概要　芸術とは知性ある文化社会の象徴である。特に劇場文化は、日本では未だに趣味としてしか認知していない人も多い。だが欧米においては、劇場文化は知性と教養のレベルを計る尺度であり、社交に不可欠な知識として位置づけられている。本講義では、ギリシャ悲劇・シェイクスピア劇・バレエ・オペラ・ミュージカルの代表作を実際にビデオで観るとともに、作品の社会的背景や思想、鑑賞の視点を解説する。国際的な活躍をめざす者にとっては基礎教養に、専門技術者を志す者にとっては発想力と創造力の原点になるだろう。

シラバス
第 1回（4月7日） オリエンテーション
第 2回（4月14日）バレエの世界「白鳥の湖」
第 3回（4月21日）オペラの誕生「カストラート」
第 4回（4月28日）妖精の身体表現「夏の夜の夢」
第 5回（5月12日）演出と演技「ロミオとジュリエット」
第 6回（5月19日）解釈と表現「ロミオ＆ジュリエット」
第 7回（5月26日）作品の風土「マクベス」
第8回（6月2日） 翻案改作の傑作「蜘蛛巣城」
第9回（6月9日） 初期ミュージカル「ウェストサイド物語」
第10回（6月16日）アナログとハイテクの舞台技術「ライオン・キング」
第11回（6月23日）大衆操作スピーチの模範「ジュリアス・シーザー」
第12回（6月30日）宗教の娯楽化「ジーザス・クライスト・スーパースター」
第13回（7月7日） 観客の嗜好性「ヴェニスの商人」
第14回（7月14日）授業理解の確認。確認方法は授業中に指示する。
第15回（7月21日）授業理解の確認。確認方法は授業中に指示する。

教科書　資料プリントを配布

参考文献

評価方法　出席点と小論文点の総合評価。定期試験なし。レポートなし。現時点での得点がわかる成績計算式を初日に発表するので、必ず出席すること。

備考　（1）欠席は理由の如何にかかわらず出席点はゼロ
（2）30分を超えて遅刻した場合、出席点はゼロ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	越境する文化		
科目キー	2800005004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女 塩塚　秀一郎	石井　道子 小林　拓也	熊　遠報

副題

授業概要　さまざまな「文化」が境界を越える。異なる文化、異なる価値観、異なる生活、異なる性。欧米文化やアジア諸国の文化は日本にどのように受容されているか、また日本文化はどのように近隣諸国や欧米に受け容れられているか。身の回りの生活から文学、演劇、映画にいたるまで、文化の越境はいたる所で確認されるだろう。本講義は5人の教員がそれぞれの専門領域を活かしつつ、数回ずつ交代で担当するオムニバス形式である。

シラバス

10月1日　第1回:オリエンテーション(塩塚1)
　授業全体の説明、成績評価の方法、全般的な参考文献の紹介など。
10月8日　第2回:「言語の越境と文学」(塩塚2)
　亡命、移民などの事情で、言語を越境して創作する作家たちが存在する。一方で、近年には、多和田葉子、リービ英雄など、自ら望んで母語の外に出る作家たちも出現し始めた。さまざまなケースにおける「言語の越境」は、文学にとって、言語にとって、いかなる意味をもつのか考察する。

10月15日　第3回:「ジェンダーと越境　―　ジェンダーの変遷」(中村1)
10月29日　第4回:「ジェンダー越境と文化　―」(中村2)
　まず、ジェンダーとは何かを、身近な事柄、歴史的な事象を手がかりとして確認し、そのうえで、ジェンダー間の越境について考える。また、かつてのドイツを例に、東西間の文化的越境についても考察する予定である。

11月5日　第5回:「華僑」(熊1)
11月12日　第6回:「漢字」(熊2)
　世界各地域に分布している華僑について。彼らは母国の伝統を守りながら、
いかにして在地社会に影響を与えたのか。また漢字に関しても多少触れる予定である。

11月19日　第7回:「日本文化の特徴と外国文化の影響」(石井1)
11月26日　第8回:「日本文化が外国文化に与える影響」(石井2)
12月3日　第9回:「外国における日本文化の未来」(石井3)
　古来より、日本は中国・韓国をはじめ、さまざまな文化を受け入れ、消化・応用・発展させることによって独自の文化を築き上げてきた。講義では日本文化をあらためて見つめ直し、特徴を明らかにする。また、近年の外国における日本文化受容についても考察する。

12月10日　第10回:「スイス1:知られざる「小さな大国」」(小林1)
12月17日　第11回:「スイス2:理系と文系の融合」(小林2)
1月7日　第12回:「スイス3:日本との関わり」(小林3)
1月14日　第13回:「スイス4:個人と共同体」(小林4)
　独、仏、伊、ロマンシュの4カ国語が混在するスイスという国を取り上げる。
『アルプスの少女ハイジ』のイメージが強いこのEU非加盟の小国は、実はチューリッヒ工科大学や製薬会社ロシュなどを抱える技術大国であり、UBS銀行を筆頭とする金融大国、傭兵で名を馳せた軍事大国、WHOやFIFAといった国際組織の本部を抱える外交大国でもある。
　異なる言語や文化との接触、自然-人工、個人-共同体、ブランド戦略といったキーワードをもとに、混沌とする世界で生き残るためのヒントを浮び上らせたい。

1月21日　第14回:ゲストスピーカー「ジェンダーを考える」(中村3)
日程別途指示　第15回:学力考査と解説(塩塚3)

教科書　なし。資料の必要があれば、担当教員がその都度配布する。

参考文献

評価方法　平常点(出席回数・受講態度。欠席が一定数を超えると、評価の対象にしない)と
学期末論述試験で評価する。
論述試験の評価に際しては、出版物、Webからの剽窃は、カンニングとみなし、厳しく対処する。

備考　授業中の私語には厳しく対処する(退席を命じる)。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	越境する文化		
科目キー	2800005004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	翻訳と文化		
科目キー	2800005005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎	中野　京子	小田島　恒志

副題　翻訳を考える

授業概要　欧米諸国との言語体系の違いにより、はやくから日本では多様な翻訳文化が発達してきた。翻訳は諸外国との文化・学問・技術などの情報の伝達に大きな役割を果たしていることは間違いない。英語が世界的な共通言語としての地位を確立しつつある現代社会においても、基本的な情報は母語を中心に伝達されている。そのため非英語圏地域との交流では、英語を介さない母語同士の翻訳が現在でも重要視されているといえる。本講座では、翻訳の果たす役割やそこから生じる問題点などを、具体例を挙げながら考察していく。

シラバス

第1回 ＜9月28日・塩塚秀一郎＞
オリエンテーション
授業全体の説明、成績評価方法、全般的な参考文献の紹介など。

第2回 ＜10月5日・塩塚秀一郎＞
翻訳の意義
翻訳という行為によって高度な外国文化を受容する際、受け入れ側の言語や文化は否応なしに変質する。このような変質がもたらした功罪を、主にフランスと日本に例を求め、具体的に論ずる予定である。

第3回 ＜10月12日・塩塚秀一郎＞
翻訳と日本文化
近代日本は西洋文化を翻訳を通して受容してきたわけだが、そのことがもたらした功罪を、具体例を通して考察する。とりわけ、文学作品の翻訳とその影響に焦点をあてるつもりである。

第4回 ＜10月19日・塩塚秀一郎＞
翻訳の創造性
翻訳とは劣化コピーを作ることではない。母語の枠内では決して発想されえなかったような思想や表現をもたらすことで、母語を鍛え豊かにしてくれるのが、翻訳のもつ創造性である。詩や言語遊戯といった、翻訳しにくいとされるテクストの翻訳が、言語に何をもたらすのか、具体例に即して考える。

第5回 ＜10月26日・中野京子＞
「日本における翻訳出版の現実」
昨年、自分が翻訳したツヴァイク「マリー・アントワネット」（角川文庫）について。実際にどういう経緯で出版社から依頼があり、どういう手順を踏んで出版されるかを具体的に。また翻訳の実際的な作業（どんな辞書や参考文献が必要か、など）及び出版社内における校正部の実力、増刷の場合のあれこれについても触れたい。

第6回 ＜11月2日・中野京子＞
「日本の本が海外で出版されるまで」
4年前に出版した拙著「情熱の女流昆虫画家メーリアン」（講談社）が、韓国で翻訳出版されるまでについての実際的な手続きについて。双方の出版社どうしのやりとりや、著者と翻訳者の意思疎通の問題点、印税についても。

第7回 ＜11月9日・中野京子＞
「翻訳をやってみたい人のために」
1にも2にも母語の力が必要である。さまざまな本の具体例から、良い例悪い例を個別に見てゆきたい。

第8回 ＜11月16日・W. シュレヒト＞
「翻訳のいろいろ」
異文化間における翻訳の問題点について紹介する。生活習慣や制度、価値観や発想の違いが翻訳にどのような影響をもたらすのか、具体例をあげながら見ていく。

第9回 ＜11月23日・小田島恒志＞
舞台翻訳の実際：
講師が日ごろ手がけている英米演劇の実際の舞台翻訳に関して、できるだけ数多くの具体例に即して考察する。
セリフを訳す、ということの特殊性について考察する。
［例］
A: What comes after twenty-nine？
B: Thirty.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	翻訳と文化		
科目キー	2800005005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

A: Your face is dirty.

第10回 ＜11月30日・小田島恒志＞
英米の文化と日本語との「すり合わせ」について考察する。
［例］
A: Goodnight, John
B: Goodnight.
A: I thought the bedroom scene tonight was brilliant.
B: Did you？

第11回 ＜12月7日・小田島恒志＞
翻訳でできることとできないことについて考察する。
［例］
A: Anything!　Anything's better than this, Boetie.
これらはほんの一例。できれば、近日中に上演予定の新訳作品を例に使うつもり。

第12回 ＜12月14日・W. シュレヒト＞
「いろいろな翻訳」
様々な分野の翻訳について紹介する。文学作品の翻訳や、商業的翻訳、映画の字幕、通訳や自動翻訳など、多岐にわたる領域の現状を考える。

第13回 ＜12月21日・W. シュレヒト＞
「日本文学の“翻訳”―ドイツ語圏の場合：その1」
ドイツで受容されている日本文学を、古典から現代文学、マンガに至るまで、様々な角度から検討し、翻訳の際に生じる問題点などについて2回にわたって考察する。

第14回 ＜1月18日・W. シュレヒト＞
「日本文学の“翻訳”―ドイツ語圏の場合：その2」
前回に引き続き、ドイツで受容されている日本文学を、古典から現代文学、マンガに至るまで、様々な角度から検討し、翻訳の際に生じる問題点などについて考察する。

第15回 ＜1月25日・W. シュレヒト＞
コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　コピーなどを授業中に適宜配布する。

参考文献　授業中に指示する。

評価方法　出席状況とレポート。

備考　教員ごとにレポートの課題が出されるので、授業にはきちんと出席すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	時代の青年像		
科目キー	2800005006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子	但田　栄	市川　真人

副題

授業概要　青年期を「第二の誕生」と称した思想家もいます。この科目は、青年のそのような新たな誕生に伴う期待と不安、ときには挫折と悲しみを古今東西の古典に探りながら、現代を生きる若者に人生の指針を提示しようとするものです。

科目は3名の教員で分担担当し、各自4回から5回ずつ交代で講義します。それぞれ取りあげる作品は異なりますが、そこに、ある時代に固有な精神構造と、またそれを超えた現代に通じる普遍的な「青年像」を発見できるでしょう。これらの講義を通し、受講者に古典に親しみつつ、現代を見直すきっかけを提供できればと願っています。

シラバス

第1回（10月1日）:オリエンテーションおよび人文系科目の試験・
レポートの答案作成に関する注意事項。ー石井道子

第2回（10月8日）:ゲーテ『若きヴェルテルの悩み』ー石井道子

第3回（10月15日）:ゲーテ『ファウスト』ー石井道子

第4回（10月29日）:シェリー『フランケンシュタイン』ー石井道子

第5回（11月5日）:シェリー『フランケンシュタイン』ー石井道子

第6回（11月12日）:「青年期」としての明治と日本近代文学の成立-市川真人

第7回（11月19日）:漱石と鴎外の青春像ー市川真人

第8回（11月26日）:戦争と青年と文学ー市川真人

第9回（12月3日）:青年たちの高度成長ー市川真人

第10回（12月10日）:現代の青春小説あるいはライトノベル
ー市川真人

第11回（12月17日）: ルソーとその時代ー但田栄

第12回（1月7日）:『学問芸術論』から『人間不平等起源論』へ
ー但田栄

第13回（1月14日）:『エミール』における「心」の問題ー但田栄

第14回（1月21日）『エミール』と時代の青年像（まとめ）ー但田栄

第15回（日程別途指示）: 学力考査および解説ー但田栄

以上

教科書　各教員が教場で指示します。

参考文献　各教員が教場で指示します。

評価方法　●出席は全体の3分の2以上とします。

●期末試験では、各先生がそれぞれの講義内容に応じた問題を出します。
問題は3問あることになります。受講者はいずれの設問にも解答する
こと。最終評価は、各先生の点数を同値とし、最終的な総合点を出します。

備考　（1）石井道子先生
授業で扱う作品を各自入手し、講義前に通読しておくことが望ましい。どの版でも可。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	時代の青年像		
科目キー	2800005006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

『若きヴェルテルの悩み』新潮文庫　など
『ファウスト』集英社文庫など
『フランケンシュタイン』創元推理文庫など

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (4)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題　ドイツ語圏の都市と文化—ウィーンと音楽・舞台芸術—

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

この講義ではおもに音楽、舞台作品を通してドイツ語圏の文化、歴史と社会に触れることにより、ヨーロッパ文化に対する関心を高め、異文化理解を深めることを目的とする。

学生時代にさまざまな芸術作品を鑑賞する能力を養っておくことは、社会人となってからもおおいに役立つはずであり、その基盤となる教養を身につけることが大学教育にも必要だと確信する。

シラバス

オーストリアの首都、ウィーンの音楽文化を中心に映像・音源も用いて講義する。

近年ドイツ語圏（および日本）で上演中のウィーン発、現代の音楽劇（ミュージカル「エリーザベト」、「モーツァルト！」、「レベッカ」など）から始め、20世紀のオペレッタ（レハールの「メリー・ウィドウ」とヨハン・シュトラウスの「こうもり」）と歌劇（リヒャルト・シュトラウスの「ばらの騎士」）、そして19世紀の歌劇（ベートーベン作曲「フィデリオ」）、さらに18世紀のジングシュピール（モーツァルトの「魔笛」、「後宮からの逃走」）へとさかのぼり、ドイツ語の音楽劇と劇場の変遷を時代の背景とともに解説する。

あいさつ、自己紹介など初歩的な日常会話も習得する。

発音の練習もかねて、簡単なドイツ語の歌も実際に、聞いて、歌う。

歌は「野ばら」「すみれ」「鱒」「ローレライ」「菩提樹」「魔王」などよく耳にする曲や現代のミュージカルナンバーなどからいくつかを取り上げる。

文化入門の講義としてはおもにドイツ語オペラの紹介と鑑賞。

ドイツ語の習得は、作品の中に出てくるドイツ語が聞き取れるように努め、作中の簡単な会話も実践的に練習する。

	文化入門のテーマ	ドイツ語入門
第1回	オリエンテーション/作業グループ分け ドイツ語圏の文化とは？ そのイメージは？	ドイツ語とは？ アルファベートと発音 国名、都市名の読み方
第2回	オペラ、オペレッタ、ミュージカルの歴史	発音練習 数詞、人名の読み方
第3回	実在の皇妃エリーザベトとハプスブルク家の歴史	あいさつ
第4回	ミュージカル「エリーザベト」解説と鑑賞 各自感想文を書き、提出	
第5回	前回の感想文の紹介 オペレッタ（レハールの「メリー・ウィドウ」解説と鑑賞	自己紹介（1） 名前、住所、出身地　各自感想文を書き、提出

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (4)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

第6回　前回の感想文の紹介
ヨハン･シュトラウス2世のオペレッタ「こうもり」とその時代　　自己紹介(2)
年令、職業
第7回　オペレッタ「こうもり」 鑑賞　　自己紹介(3)
各自感想文を書き、提出　　趣味、好み

第8回 前回の感想文の紹介　　家族、友人の紹介
リヒャルト･シュトラウスの歌劇「ばらの騎士」について
第9回　ベートーベンと歌劇「フィデリオ」について解説　　食生活

第10回　歌劇「フィデリオ」鑑賞
各自感想文を書き、提出

第11回　前回の感想文の紹介　　買い物
モーツァルトとその歌劇について解説

第12回　モーツァルトのジングシュピール「魔笛」鑑賞
各自感想文を書き、提出

第13回　前回の感想文の紹介
モーツァルトのジングシュピール「後宮からの逃走」解説と鑑賞
各自感想文を書き、提出

第14回　前回の感想文の紹介　　会話スキット作成

第15回　まとめ　　グループで会話スキット実演

教科書　随時資料配布の予定

参考文献

評価方法　鑑賞した作品の感想文

まとめのレポート

グループ単位でドイツ語会話のスキットを作成し、発表

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (8)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題　ドイツ映画とオペラに見るドイツ語圏の都市と文化

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

この講義ではおもに音楽、舞台、映画作品を通してドイツ語圏の文化、歴史と社会に触れることにより、ヨーロッパ文化に対する関心を高め、異文化理解を深めることを目的とする。

学生時代にさまざまな芸術作品を鑑賞する能力を養っておくことは、社会人となってからもおおいに役立つはずであり、その基盤となる教養を身につけることが大学教育にも必要だと確信する。

シラバス　文化入門の講義としてはおもにドイツ映画とオペラの紹介と鑑賞。

ドイツ語の習得は、作品の中に出てくるドイツ語が聞き取れるように努め、作中の簡単な会話も実践的に練習する。

文化入門のテーマ	ドイツ語入門
第1回オリエンテーション/作業グループ分け	ドイツ語とは？
ドイツ語圏の文化とは？	アルファベートと発音
そのイメージは？	国名、都市名の読み方
第2回　エーリヒ・ケストナー生涯と作品	発音練習
″ケストナー作品に見る都市と文学	数詞、人名の読み方
-ドレスデン、ライプツィヒ、ベルリン-″	
「点子ちゃんとアントン」原作の紹介	
第3回映画「点子ちゃんとアントン」前半　鑑賞	あいさつ
第4回映画「点子ちゃんとアントン」後半　鑑賞	
各自感想文を書き、提出	
第5回前回の感想文の紹介	自己紹介(1)
ドイツ映画の歴史、「エーミールと探偵たち」	名前、住所、出身地
	第6回「飛ぶ教室」
	自己紹介(2)
原作と映画について解説、ドイツ戦後史	年令、職業
第7回映画「飛ぶ教室」 鑑賞	自己紹介(3)
各自感想文を書き、提出	趣味、好み
第8回前回の感想文の紹介	映画「善き人のためのソナタ」解説と
前半の鑑賞	
第9回　映画「善き人のためのソナタ」後半の鑑賞	家族、友人の紹介
各自感想文を書き、提出	
第10回　前回の感想文の紹介	
映画「グッバイ・レーニン」解説と鑑賞	
各自感想文を書き、提出	

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (8)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

第11回　前回の感想文の紹介
　　グリム兄弟とグリム童話について　　食生活メルヘンオペラと「ヘンゼルとグレーテル」について

第12回　歌劇「ヘンゼルとグレーテル」鑑賞　　買い物

第13回　歌劇「ヘンゼルとグレーテル」（英語版）鑑賞クリスマス・ソング各自感想文を書き、提出

第14回　前回の感想文の紹介　　会話スキット作成ベートーベン第九、合唱「歓喜に寄せて」解説と鑑賞

第15回　まとめ　　グループで会話スキット実演

教科書　随時資料配布の予定

参考文献

評価方法　最後にまとめのレポート提出

グループ単位でドイツ語会話のスキットを作成し、発表

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (2)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樋口　純明		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

シラバス

第1回目（4月7日）
オリエンテーション、ドイツ語歴などをアンケート。
ドイツの歴史、国土、建物などの紹介。
独語：ABCの発音を通じてドイツ語の音を知る。
第2回目（4月14日）
テーマ：日本に来るドイツ人たち
日本学を学ぶドイツ人、兵役代替社会奉仕で訪日するドイツ人などを通して文化の違いを考える。
独語：綴りと発音：母音字
第3回目（4月21日）
テーマ：環境問題とドイツ人、節約の精神から環境保護へ。
独語：綴りと発音：子音字
第4回目（4月28日）
テーマ：バウハウス　その歴史
独語：あいさつのドイツ語（基本）、数字（1−20）
第5回目（5月12日）
テーマ：ドイツの学校制度。とくにシュタイナー教育について。
独語：あいさつのドイツ語（発展）、数字（20−）
第6回目（5月19日）
テーマ：第二次世界大戦とドイツ
独語：人称代名詞、動詞の人称変化（基本）、隣同士で肯定・否定の練習
第7回目（5月26日）
テーマ：ウィーン　歴史と建築物
独語：動詞の人称変化（haben,sein）
第8回目（6月2日）
テーマ：ゲーテの詩『野バラ』や、シラーの詩『歓喜の歌』などが、歌詞として日本で受容されていること。
独語：名詞と文法的性　定冠詞と不定冠詞、動詞の人称変化（住まい、出身）
第9回目（6月9日）
テーマ：ドイツ人の考え方を考える。「はい」か「いいえ」か。意見表明が前提。個性の違いが当然。
独語：定冠詞、不定冠詞の格変化、動詞の人称変化（名前を聞く）
第10回目（6月16日）
テーマ：グリム童話　グリム兄弟はどんな人たちだったか
独語：定冠詞類、不定冠詞類、否定冠詞。
第11回目（6月23日）
テーマ：ドイツロマンチック街道　　美しい町を訪れる
独語：語順（定型倒置）、人称代名詞
第12回目（6月30日）
テーマ：ドイツ語圏で活躍する日本人音楽家たち。日本人と欧米人の音の感覚の違い。
独語：動詞の人称変化（fahrenなど）、名詞の複数形
第13回目（7月7日）
テーマ：ゲーテ『ファウスト』 生の意味
独語：動詞の人称変化(sehenなど)、家具・身体などを表す名詞
第14回目（7月14日）
テーマ：ドイツのファンタジー作家ミヒャエル・エンデを通し、現代人と現実適応の問題や貨幣問題を考える。
独語：小テスト
第15回目（日時別途指示）
コースナビにて学習した講義内容の点検と確認。

教科書　教場でプリント類を配布する。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (2)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

参考文献　教場で適宜紹介する。

評価方法　授業への参加度、毎回書かせるコメント、ドイツ語の小テスト、ならびに最後のレポートを総合評価する。

備考　授業の性質上、あまり欠席が多いと単位が認定されない可能性もある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (5)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

シラバス　授業は
A. ドイツ語圏文化についての講義
B. ドイツ語超入門
の二部から成り立ちます。

第１回A:イントロダクション
　　B:ドイツ語の挨拶
第２回A:ドイツ語の歴史・ドイツの歴史
　　B:ドイツ語の発音
第３回A:ドイツの歴史（第二次世界大戦）
　　B:アルファベット・名前
第４回A:ドイツの歴史（二つのドイツと再統一）
　　B:出身地・住まいの表現
第５回A:現代ドイツの産業・新エネルギー政策
　　B:動詞の変化
第６回A:日本とドイツ　第一次大戦の「板東収容所」
　　B:国名と数
第７回A:映画「バルトの楽園」
　　B:電話番号・車のナンバー
第８回A:ドイツの学校制度と兵役
　　B:専攻をドイツ語で表現する
第９回A:ドイツの文化遺産
　　B:言語名・国籍の表現
第１０回A:ドイツ語圏の伝統行事・クリスマス
　　B:趣味の表現
第１１回A:オーストリアの歴史
　　B:不規則動詞
第１２回A:オーストリアの文化
　　B:好みの表現
第１３回A:スイスの歴史と文化
　　B:まとめと復習
第１４回学力考査と解説

第１５回コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　教場で指示する。

参考文献　授業中に指示する。

評価方法　平常点、課題、試験結果を総合評価する。

備考　ドイツ語未履修者が対象ですが、履修中または既修者の参加も可能です。
出席が極端に少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (5)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (3)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	近藤　武		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

シラバス

第　1回　4月　8日　インド・ヨーロッパ語におけるドイツ語
第　2回　4月15日　ドイツの国家制度、戦争と国境変更および再統一
第　3回　4月22日　ドイツ語会話　（挨拶）
第　4回　4月29日　ドイツ語会話　（名前　住所）
第　5回　5月13日　ドイツ語会話　（人物紹介）
第　6回　5月20日　ドイツ語会話　（会社での会話）
第　7回　5月27日　ドイツ語会話　（ドイツ人の食事）
第　8回　6月　3日　ドイツ語会話　（レストランにて）
第　9回　6月10日　ドイツ語会話　（ドイツの料理）
第10回　6月17日　ドイツ語会話　（ドイツのビール、ワイン）
第11回　6月24日　（ドイツとEU）
第12回　7月　1日　（EUの深化　拡大）
第13回　7月　8日　（ドイツの外国人問題）
第14回　7月15日　（学力考査および解説）
第15回　7月22日　（コースナビにて学習した内容の確認）

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　教場試験と平常点を加味する。平常点には、出席と受講態度が含まれる。

備考　開講時に、授業の進め方を説明する。必ず出席して欲しい。遅刻は欠席とする。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (7)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	近藤　武		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

シラバス　毎時間、初歩のドイツ語を学習し、他方で映像情報を通して、ドイツ語圏の文化紹介に努める。ドイツ語はアルファベット、発音の仕方、つづり方、数字動詞や名詞の変化、構文などについて学ぶ。初歩ではあるが、語彙力がついていけば、日常生活に必要な相当部分の表現をカバーできるはずである。ドイツ語を通して文化に触れ、また文化を通してドイツ語への関心を育てたい。異なるものとの触れ合いは、つねにスリリングである。スリリングな出会い、カルチャーショックを味わって欲しい。

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　教場試験と平常点を加味する。平常点には、出席と受講態度が含まれる。

備考　開講時に、授業の進め方を説明する。必ず出席して欲しい。遅刻は欠席とする。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (1)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

シラバス　毎時間、ドイツ語の手ほどきと、文化紹介を同時に進めていく。
ドイツ語は発音の仕方、数詞、動詞や名詞の変化の仕組みなどを学ぶ。到達目標は、簡単な自己紹介ができるようになることである。ドイツ語の単語もある程度覚えてもらう。
ドイツ・オーストリア・スイスなどの歴史と地理を踏まえて、各国の代表的な街の風景・建物、音楽、文学、演劇、芸術、人びとの習慣・考え方などを映像も交えて紹介する。以下のような順序で進めて行く予定である。

第1回　オリエンテーション
　　ドイツ語のアルファベットと数詞
　　ドイツ語圏の国々　ドイツ
第2回　ドイツ語のつづりと読み方
　　ドイツ　州と都市
第3回　挨拶のドイツ語
　　ベルリンの街と文化
第4回　自己紹介をする
　　ベルリンを舞台にした文学・映画作品
第5回　人を紹介する
　　フランクフルトの街と歴史・文化
第6回　電話のやりとりを聞く
　　ドイツ語圏の音楽　若者と音楽
第7回　出身地を尋ねる　ドイツ語の語順
　　ドイツ語圏の国々　オーストリア　ウィーンの街と音楽
第8回　ドイツ語の名詞　定冠詞
　　オーストリア・ウィーン発のミュジーカル
第9回　ドイツ語の名詞　不定冠詞・所有冠詞
　　ドイツ語圏の国々　スイスの州と都市　リヒテンシュタイン
第10回　名詞の複数形
　　ドイツ語圏の食文化
第11回　否定詞・否定冠詞
　　ドイツ語圏の美術
第12回　名詞について　まとめ
　　ドイツ語圏の環境問題　ドイツ・フライブルクの場合
第13回　ドイツ語学習　まとめと復習練習
　　ドイツ語圏からの時事ニュース
第14回　学力考査と解説
第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　教場で資料を配付する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と試験結果を総合評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (1)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (6)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樋口　純明		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

シラバス

第1回目（9月29日）
オリエンテーション、ドイツ語歴などをアンケート。
ドイツの歴史、国土、建物などの紹介。
独語：ABCの発音を通じてドイツ語の音を知る。
第2回目（10月6日）
テーマ：日本に来るドイツ人たち
日本学を学ぶドイツ人、兵役代替社会奉仕で訪日するドイツ人などを通して文化の違いを考える。
独語：綴りと発音：母音字
第3回目（10月13日）
テーマ：環境問題とドイツ人、節約の精神から環境保護へ。
独語：綴りと発音：子音字
第4回目（10月20日）
テーマ：バウハウス　その歴史
独語：あいさつのドイツ語（基本）、数字（1−20）
第5回目（10月27日）
テーマ：ドイツの学校制度。とくにシュタイナー教育について。
独語：あいさつのドイツ語（発展）、数字（20−）
第6回目（11月10日）
テーマ：第二次世界大戦とドイツ
独語：人称代名詞、動詞の人称変化（基本）、隣同士で肯定・否定の練習
第7回目（11月17日）
テーマ：ウィーン　歴史と建築物
独語：動詞の人称変化（haben,sein）
第8回目（11月24日）
テーマ：ゲーテの詩『野バラ』や、シラーの詩『歓喜の歌』などが、歌詞として日本で受容されていること。
独語：名詞と文法的性　定冠詞と不定冠詞、動詞の人称変化（住まい、出身）
第9回目（12月1日）
テーマ：ドイツ人の考え方を考える。「はい」か「いいえ」か。意見表明が前提。個性の違いが当然。
独語：定冠詞、不定冠詞の格変化、動詞の人称変化（名前を聞く）
第10回目（12月8日）
テーマ：グリム童話　グリム兄弟はどんな人たちだったか
独語：定冠詞類、不定冠詞類、否定冠詞。
第11回目（12月15日）
テーマ：ドイツロマンチック街道　　美しい町を訪れる
独語：語順（定型倒置）、人称代名詞
第12回目（12月22日）
テーマ：ドイツ語圏で活躍する日本人音楽家たち。日本人と欧米人の音の感覚の違い。
　　ドイツ語圏のクリスマス
独語：動詞の人称変化（fahrenなど）、名詞の複数形
第13回目（1月12日）
テーマ：ゲーテ『ファウスト』 生の意味
独語：動詞の人称変化（sehenなど）、家具・身体などを表す名詞
第14回目（1月19日）
テーマ：ドイツのファンタジー作家ミヒャエル・エンデを通し、現代人と現実適応の問題や貨幣問題を考える。
独語：小テスト
第15回目（日時別途指示）
コースナビにて学習した講義内容の点検と確認。

教科書　教場でプリント類を配布する。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (6)		
科目キー	2800005007		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

参考文献　教場で適宜紹介する。

評価方法　授業への参加度、毎回書かせるコメント、ドイツ語の小テスト、ならびに最後のレポートを総合評価する。

備考　授業の性質上、あまり欠席が多いと単位が認定されない可能性もある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (2)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	床鍋　剛彦		

副題

授業概要　フランス文化のひとつの特徴として、民衆文化のレベルの高さが挙げられる。その一例として、大衆音楽としてのシャンソンがある。この講義では、シャンソンの歴史や現状、さらにフランスで愛されるスタンダード曲の歌詞の紹介等を通じて、フランス文化の豊かさの一端に触れてもらう。歌詞は対訳を用意するのでフランス語の知識は必要ないが、歌詞に関連していくつかの魅力的なフランス語表現を紹介する。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　シャンソン楽曲紹介(曲目未定)
第三回　同上
第四回　同上
第五回　同上
第六回　同上
第七回　同上
第八回　同上
第九回　同上
第十回　同上
第十一回　同上
第十二回　同上
第十三回　同上
第十四回　同上
第十五回　同上

教科書　逐次、プリントを配布する。

参考文献　特になし。

評価方法　学期末に、授業内容に関するレポートを提出。レポート7割、平常点3割を目安とする。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (7)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	床鍋　剛彦		

副題

授業概要　フランス文化のひとつの特徴として、民衆文化のレベルの高さが挙げられる。その一例として、大衆音楽としてのシャンソンがある。この講義では、シャンソンの歴史や現状、さらにフランスで愛されるスタンダード曲の歌詞の紹介等を通じて、フランス文化の豊かさの一端に触れてもらう。歌詞は対訳を用意するのでフランス語の知識は必要ないが、歌詞に関連していくつかの魅力的なフランス語表現を紹介する。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　シャンソン楽曲紹介(曲目未定)
第三回　同上
第四回　同上
第五回　同上
第六回　同上
第七回　同上
第八回　同上
第九回　同上
第十回　同上
第十一回　同上
第十二回　同上
第十三回　同上
第十四回　同上
第十五回　同上

教科書　逐次、プリントを配布する。

参考文献　特になし。

評価方法　学期末に、授業内容に関するレポートを提出。レポート7割、平常点3割を目安とする。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (3)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題　フランスの文化と言語に触れる

授業概要　話があまりあちらこちらに拡散しないように、いちおう歴史的順序を踏みながら、フランス文化の様々な面に触れるたいと思います。
できるだけ映像なども利用して、イメージとしてつかみやすいように説明を行う予定です。
その一方で、フランス語の発音や基本的な会話文の練習を行います。

シラバス
第 1回 導入的説明、 フランス語のアルファベット
第 2回 フランス文化の源流(1)ケルトの文化
第 3回 フランス文化の源流(2)地中海文明とキリスト教
第 4回 フランス文化の源流(3)ゲルマン文化と封建制度
第 5回 中世の社会、城壁都市
第 6回 ロマネスク建築とゴチック建築
第 7回 16世紀のユマニストたち
第 8回 17世紀 ルイ14世とヴェルサイユ宮殿
第 9回 17世紀の思想 デカルトとパスカル
第10回 17世紀の文学 「寓話詩」「赤ずきん」
第11回 18世紀の啓蒙思想とモラリストたち
第12回 フランス革命、ロマン主義
第13回 フランスの料理の歴史
第14回 フランスの教育制度
第15回 試験と解説

教科書　教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

参考文献　気軽に読める文献をあげておきます。下記の本はいずれも早稲田大学図書館に入っています。
篠沢秀夫 「フランス三昧」　中公新書1624　2002年
小林善彦 「フランス学入門」 白水社　1991年
柴田三千雄「フランス史10講」 岩波新書(新赤版1016) 2006年

評価方法　出席状況、平常点、および筆記試験を基準にして評価します。

備考　受講するにあたってフランス語の知識は必要ありませんが、是非フランス語科目を並行して履修することをお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (5)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　知っているようで意外と知らないフランスという国の魅力と特質を歴史、地理・風土、文化・芸術、政治・経済・社会、フランス人の思考方法など、さまざまな角度からお話します。また、簡単なフランス語の会話表現なども学びます。この講義を聴いたら是非フランスに行ってみたくなる、そんな楽しい講義にしたいと思っています。

シラバス

第1回　（9月29日）　オリエンテーション

第2回　（10月6日）　フランスの地理・風土

第3回　（10月13日）　フランスの歴史（古代-中世）

第4回　（10月20日）　フランスの歴史（ルネッサンス-フランス革命）

第5回　（10月27日）　フランスの歴史（19世紀-現代）

第6回　（11月10日）　フランス語とはどんな言葉か？

第7回　（11月17日）　フランス人の国民性

第8回　（11月24日）　フランス文学の魅力

第9回　（12月1日）　フランス音楽の魅力

第10回　（12月8日）　フランス絵画の魅力

第11回　（12月15日）　現代フランス社会の諸問題

第12回　（12月22日）　パリと地方

第13回　（1月12日）　フランス料理とワイン

第14回　（1月19日）　フランス映画の魅力

第15回　（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　使用しない（必要に応じてプリントを配布）

参考文献　詳細は授業中に指示するが、概説的な入門書として、東京都立大学フランス文学研究室編、「フランスを知る　新＜フランス学＞入門」（法政大学出版局3800円）を推薦します。

評価方法　レポートにて評価

備考　本講義ではフランス語の知識は必要ないが、開講されている仏語科目を同時に履修することを強く薦めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (1)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	昼間　賢		

副題　フランス(語)って何？

授業概要　このクラスでは、フランスの事柄に慣れることを全体の目標とします。
近年は、主に情報経路の細分化のため、フランスに関する一般的な情報が入手しにくくなり、またフランスという国のイメージも、様々な点で揺らぎ始めています。その中で、大学で非専門的にフランス関連の授業を履修することは、決して簡単ではないでしょう。

具体的には、フランス共和国の基礎知識、フランス語の読み方、学習上のポイント、簡単な会話表現、等々、基本的な事柄を確認しながら、日本でアクセス可能なフランス関連の催し物を紹介したり、身の周りに実は数多く見つかるフランス語を拾い集めたりして、フランス(語)に関する一般常識を構築します。

シラバス
第　1回(4月　6日)　オリエンテーション
第　2回(4月13日)　パリの映像を観る
第　3回(4月20日)　フランス共和国の基礎知識
第　4回(4月27日)　フランス史概説
第　5回(5月11日)　フランス語のアルファベ
第　6回(5月18日)　フランス語の読み方
第　7回(5月25日)　名詞・冠詞・主語
第　8回(6月　1日)　身の周りのフランス語
第　9回(6月　8日)　フランス社会の基礎知識
第10回(6月15日)　フランスの教育制度
第11回(6月22日)　フランス語圏の紹介
第12回(6月29日)　基本的な動詞の活用
第13回(7月　6日)　否定文・疑問文
第14回(7月13日)　学力考査および解説
第15回(日程別途指示)　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献

評価方法　平常点と学期末試験の結果で評価します。

備考　仏和辞書は、必携ではありませんが、辞書の引き方が一つのポイントになるので、
一冊用意できれば理解はより深まります。どれを選ぶかは、開講時に説明します。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (8)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題　フランスの文化と言語に触れる

授業概要　話があまりあちらこちらに拡散しないように、いちおう歴史的順序を踏みながら、フランス文化の様々な面に触れるたいと思います。
できるだけ映像なども利用して、イメージとしてつかみやすいように説明を行う予定です。
その一方で、フランス語の発音や基本的な会話文の練習を行います。

シラバス
第 1回 導入的説明、 フランス語のアルファベット
第 2回 フランス文化の源流（1）ケルトの文化
第 3回 フランス文化の源流（2）地中海文明とキリスト教
第 4回 フランス文化の源流（3）ゲルマン文化と封建制度
第 5回 中世の社会、城壁都市
第 6回 ロマネスク建築とゴチック建築
第 7回 16世紀のユマニストたち
第 8回 17世紀 ルイ14世とヴェルサイユ宮殿
第 9回 17世紀の思想 デカルトとパスカル
第10回 17世紀の文学 「寓話詩」「赤ずきん」
第11回 18世紀の啓蒙思想とモラリストたち
第12回 フランス革命、ロマン主義
第13回 フランスの料理の歴史
第14回 フランスの教育制度
第15回 試験と解説

教科書　必要に応じてプリントを使用します。

参考文献　気軽に読める文献をあげておきます。下記の本はいずれも早稲田大学図書館に入っています。
篠沢秀夫 「フランス三昧」　中公新書1624　2002年
小林善彦 「フランス学入門」 白水社　1991年
柴田三千雄「フランス史10講」 岩波新書（新赤版1016） 2006年

評価方法　出席状況、平常点、および筆記試験を基準にして評価します。

備考　受講するにあたってフランス語の知識は必要ありませんが、是非フランス語科目を並行して履修することをお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (4)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題　フランスそしてフランス語とは何だろう？

授業概要　フランスは、革命以来、自由・平等といった普遍的理念の主導者としてふるまってきました。アメリカー極支配の強まる現代国際社会においても、独特の外交戦略において存在感を示す国です。しかし、国内では雇用、移民等先進国が共通して抱える問題が先鋭的に顕在化しています。日本の進路を考えるうえでも示唆的なフランスという地域に関して、その地理・歴史・政治・宗教・文化の基礎知識を、日本語で講義しつつ、同時にフランス語という言語についても、簡単な日常会話が出来る程度の基礎知識を身につけることを目指します。

フランス語を学習する上で知っておくと便利な基本的な知識の習得を目的とします。
言語の背景にはそれを用いる人々の文化や習慣があります。新しい言語に出会う時には必ず軽い（人によっては重い）カルチャーショックを受けます。そのショックを少しでも心地よいものにするためにフランス、フランス語を覗いてみましょう。

シラバス
第1回：オリエンテーション、アンケート
第2回：フランスについてのクイズなど
第3回：パリについてのクイズ、フランスの地理
第4回：フランスの地理・政治など
第5回：フランスの歴史
第6回：同上
第7回：フランスの映画
第8回：同上
第9回：フランス語を少々（アルファベット、数詞）
第10回：数詞のテスト、フランスの音楽
第11回：フランスの美術・建築
第12回：日本語の中のフランス語
第13回：フランスの食生活（料理・ワインなど）
第14回：同上
第15回：学力考査および解説

教科書　適宜プリントなどを配布します。また必要に応じてCDを聴いたり、映像（映画）も観たりします。

参考文献　第1回ガイダンス時に参考文献リストを配布します。また授業内で適宜参考書を紹介します。

評価方法　レポートと定期試験を評価の中心にします。必要に応じて行われるかもしれない小テスト、平常点等も大いに参考にする。遅刻と欠席は授業の把握の大きな妨げになるので極力避けるようにしてください（なお遅刻・欠席回数は各自で把握してください）。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (6)		
科目キー	2800005015		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題　フランスそしてフランス語とは何だろう？

授業概要　フランスは、革命以来、自由・平等といった普遍的理念の主導者としてふるまってきました。アメリカー極支配の強まる現代国際社会においても、独特の外交戦略において存在感を示す国です。しかし、国内では雇用、移民等先進国が共通して抱える問題が先鋭的に顕在化しています。日本の進路を考えるうえでも示唆的なフランスという地域に関して、その地理・歴史・政治・宗教・文化の基礎知識を、日本語で講義しつつ、同時にフランス語という言語についても、簡単な日常会話が出来る程度の基礎知識を身につけることを目指します。

フランス語を学習する上で知っておくと便利な基本的な知識の習得を目的とします。
言語の背景にはそれを用いる人々の文化や習慣があります。新しい言語に出会う時には必ず軽い（人によっては重い）カルチャーショックを受けます。そのショックを少しでも心地よいものにするためにフランス、フランス語を覗いてみましょう。

シラバス
第１回：オリエンテーション、アンケート
第２回：フランスについてのクイズ
第３回：パリについてのクイズ、フランスの地理
第４回：フランスの地理・政治など
第５回：フランスの歴史
第６回：同上
第７回：フランスの映画
第８回：同上
第９回：フランス語を少々（アルファベット、数詞）
第１０回：数詞のテスト、フランスの音楽
第１１回：フランスの美術・建築
第１２回：日本語の中のフランス語
第１３回：フランスの食生活（料理・ワインなど）
第１４回：同上
第１５回：学力考査および解説

教科書　適宜プリントなどを配布します。また必要に応じてCDを聴いたり、映像（映画）も観たりします。

参考文献　第１回ガイダンス時に参考文献リストを配布します。また授業内で適宜参考書を紹介します。

評価方法　レポートと定期試験を評価の中心にします。必要に応じて行われるかもしれない小テスト、平常点等も大いに参考にする。遅刻と欠席は授業の把握の大きな妨げになるので極力避けるようにしてください（なお遅刻・欠席回数は各自で把握してください）。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (1)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本授業では、初修者、及びある程度の中国語に接した学生に対し、具体的資料を用いて、語学の学習を進め、中国の多様な文化についての理解もはかる。

シラバス

第　1回(4月 6日)　オリエンテーション
第　2回(4月13日)　発音(1)／北京概況
第　3回(4月20日)　発音(2)／北京の足
第　4回(4月27日)　発音(3)／長安街を行く
第　5回(5月11日)　あいさつ言葉と発音／授業内容関連のビデオ視聴
第　6回(5月18日)　第6課「本文」／北京のうまいもの
第　7回(5月25日)　第7課「本文」／街から胡同
第　8回(6月 1日)　第8課「本文」／中国の大学生活
第　9回(6月 8日)　第9課「本文」／市民生活小景
第10回(6月15日)　会　話　「タクシー利用」／美を作る人々
第11回(6月22日)　会　話　「食べ歩き」／北京買物事情
第12回(6月29日)　会　話　「道をたずねる」／街頭探索
第13回(7月 6日)　会　話　「テレビを看る」／のんびり北京
第14回(7月13日)　会　話　「京劇を観る」／中国のかれこれ
第15回(日程別途指示)　学力考査および解説

教科書　相原茂 他『入門・北京カタログ　中国文化・中国事情』朝日出版社 2004年

参考文献

評価方法　出席・受講状況、及び定期試験の成績等により評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (5)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本講座では、初修者及びある程度の中国語学習者に対し、具体的資料を用いて中国の語学と文化について理解をはかり、より深い中国語学習への導きを行う。授業では語学学習を進めると共に、その半ばで中国の多様な文化も紹介する。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　第1課　発音(1)／シルクロード小史
第　3回　第2課　発音(2)／古都長安―大雁塔をめぐって
第　4回　第3課　発音(3)／始皇帝の栄華―秦兵馬俑
第　5回　まとめ／長城の関門―嘉峪関
第　6回　第4課／敦煌莫高窟と世紀の大発見
第　7回　第5課／敦煌の名勝古跡―鳴沙山・陽関
第　8回　第6課／吐魯番繁栄の跡―高昌故城
第　9回　第7課／天然屏障中の都城―交河故城
第10回　まとめ／胡漢の遺跡―北庭故城
第11回　第8課／佛教東漸の道―キジル千仏洞
第12回　第9課／東西文化の出入口―カシュガル
第13回　第10課／西方の聖地―崑崙山麓
第14回　学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）:授業理解の確認

教科書　（教科書・参考文献）
■文化入門:視聴覚教材等使用
■中国語:『初めての中国語コミュニケーション（改訂版）』高橋良行他（同学社）

参考文献　同上

評価方法　出席・受講状況、及び学力考査の成績等により評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (3)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語初学者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行うと同時に、中国文化理解の一助として「中国絵画史」入門を講ずる。中国語に関しては、授業中に発言する機会をなるべく多く設けて、中国語の正確な発音の定着を目指すとともに、中国語の構造を正しく理解するために、基本的文法の解説を行う。「中国絵画史」に関しては、わが国において目にする機会の比較的少ない中国絵画作品をスクリーンに映写しながら、その見方・鑑賞方法などを説明する。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　発音練習（1）／中国絵画の基礎知識・用語解説
第三回　発音練習（2）／本格的絵画作成のはじまり（1）
第四回　中国語の基本構造／本格的絵画作成のはじまり（2）
第五回　動詞述語文（1）／唐代の人物画
第六回　動詞述語文（2）／初期山水画
第七回　助動詞／江南系山水と華北系山水
第八回　形容詞述語文（1）／北宋大様式山水
第九回　形容詞述語文（2）／北宋の風俗画
第十回　補語（1）／南宋の絵画
第十一回　補語（2）／文人画と職業画家の画（1）
第十二回　謙語文・受身表現／文人画と職業画家の画（2）
第十三回　把構文・存現文／董其昌の南北二宗論
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『ポイント学習　中国語初級』（東方書店）
「中国絵画史」に関しては、適宜授業中にプリントを配布する。

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (4)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　本講座は、中国語初心者を対象に、中国語と中国文化を同時に学ぶことによって、中国語能力の向上と、中国への理解を深めることを目的とする。
中国語に関しては、発音および基礎的な文法事項を学ぶ。配布資料をもとに、それぞれの文法項目について解説し、その後練習を行う。また随時小テストを実施する。
中国文化の面では、「近世日本の中国観」と題し、過去の日本における中国文化の受容とその影響について、江戸時代の儒教を具体例として講義する。日本史上において、江戸時代とは中国文化の影響が最も広範囲に及んだ時代であった。とくに儒教は、江戸時代においてめざましい普及を見た。その普及の過程で起こった受容と反発のなかで、やがて日本と中国をどのように捉えるのかが大きな問題となり、様々な議論が交わされた。本講座ではこれらの議論を概観し、またそれらが明治維新以後の日本に残した影響を考える。
日中間の歴史問題といえば、誰もが先の大戦のことを考えるであろう。それは当然のことだが、さらに根源へと遡るなら、江戸時代にも注目する必要がある。現在中国語に関心を持つ諸君にとっても、これらの知識は有益なものとなるだろう。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション
[第 2回]中国語　(1)　声調と発音(1)
[第 3回]中国文化(1)　近世日本社会と儒教
[第 4回]中国語　(2)　声調と発音(2)・代名詞
[第 5回]中国文化(2)　儒教受容の一形態——神儒一致論
[第 6回]中国語　(3)　主述文
[第 7回]中国文化(3)　儒教の受容と反発——中国夷狄論争
[第 8回]中国語　(4)　疑問文・否定文
[第 9回]コースナビにて学習した内容の点検と確認
[第10回]中国文化(4)　本居宣長の「からごころ」批判
[第11回]中国語　(5)　数詞・量詞
[第12回]中国文化(5)　幕末における世界像の転換
[第13回]中国語　(6)　兼語文・連動文
[第14回]期末試験および解説
[第15回]授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点(出席と小テストを含む)50%　期末テスト50%

備考　出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。さらに、出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (7)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語初学者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行うと同時に、中国文化理解の一助として「中国絵画史」入門を講ずる。中国語に関しては、授業中に発言する機会をなるべく多く設けて、中国語の正確な発音の定着を目指すとともに、中国語の構造を正しく理解するために、基本的文法の解説を行う。「中国絵画史」に関しては、わが国において目にする機会の比較的少ない中国絵画作品をスクリーンに映写しながら、その見方・鑑賞方法などを説明する。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　発音練習（1）／中国絵画の基礎知識・用語解説
第三回　発音練習（2）／本格的絵画作成のはじまり（1）
第四回　中国語の基本構造／本格的絵画作成のはじまり（2）
第五回　動詞述語文（1）／唐代の人物画
第六回　動詞述語文（2）／初期山水画
第七回　助動詞／江南系山水と華北系山水
第八回　形容詞述語文（1）／北宋大様式山水
第九回　形容詞述語文（2）／北宋の風俗画
第十回　補語（1）／南宋の絵画
第十一回　補語（2）／文人画と職業画家の画（1）
第十二回　謙語文・受身表現／文人画と職業画家の画（2）
第十三回　把構文・存現文／董其昌の南北二宗論
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『大学基礎中国語』菅谷音・劉建著　白帝社

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (8)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　本講座は、中国語初心者を対象に、中国語と中国文化を同時に学ぶことによって、中国語能力の向上と、中国への理解を深めることを目的とする。
中国語に関しては、発音および基礎的な文法事項を学ぶ。配布資料をもとに、それぞれの文法項目について解説し、その後練習を行う。また随時小テストを実施する。
中国文化の面では、「近世日本の中国観」と題し、過去の日本における中国文化の受容とその影響について、江戸時代の儒教を具体例として講義する。日本史上において、江戸時代とは中国文化の影響が最も広範囲に及んだ時代であった。とくに儒教は、江戸時代においてめざましい普及を見た。その普及の過程で起こった受容と反発のなかで、やがて日本と中国をどのように捉えるのかが大きな問題となり、様々な議論が交わされた。本講座ではこれらの議論を概観し、またそれらが明治維新以後の日本に残した影響を考える。
日中間の歴史問題といえば、誰もが先の大戦のことを考えるであろう。それは当然のことだが、さらに根源へと遡るなら、江戸時代にも注目する必要がある。現在中国語に関心を持つ諸君にとっても、これらの知識は有益なものとなるだろう。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション
[第 2回]中国語　(1)　声調と発音(1)
[第 3回]中国文化(1)　近世日本社会と儒教
[第 4回]中国語　(2)　声調と発音(2)・代名詞
[第 5回]中国文化(2)　儒教受容の一形態——神儒一致論
[第 6回]中国語　(3)　主述文
[第 7回]中国文化(3)　儒教の受容と反発——中国夷狄論争
[第 8回]中国語　(4)　疑問文・否定文
[第 9回]中国文化(4)　本居宣長の「からごころ」批判
[第10回]中国語　(5)　数詞・量詞
[第11回]中国文化(5)　幕末における世界像の転換
[第12回]中国語　(6)　兼語文・連動文
[第13回]中国文化(6)　福沢諭吉の儒教批判
[第14回]期末試験および解説
[第15回]授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点(出席と小テストを含む)50%　期末テスト50%

備考　出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。さらに、出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (2)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　中国語と中国文化の双方を同時に学ぶことによって、中国に対する視野を広げると共に、自国の文化を振り返る契機にもなることを目標とする。中国語に関しては発音の基礎と基本文型を学ぶ。また中国文化に関しては、今年度は中国思想と科学の接点を、古代と近代の二つの時代を軸に考えてみたい。

シラバス

第1回（4月7日）：オリエンテーション、発音（声調・単母音）
第2回（4月14日）：発音（単母音・子音）、中国の歴史
第3回（4月21日）：発音（複母音）、中国の歴史
第4回（4月28日）：発音（鼻母音）、古代の自然観（気）
第5回（5月12日）：常用表現（数字・月日や曜日）、古代の自然観（気）
第6回（5月19日）：簡単な会話、基本動詞「是」、古代の自然観（陰陽五行）
第7回（5月26日）：指示語、古代の自然観（天人相関）
第8回（6月2日）：形容詞、古代の自然観（天文）
第9回（6月9日）：動詞、西洋科学の受容（歴史的背景）
第10回（6月16日）：所有、西洋科学の受容（技術書の翻訳）
第11回（6月23日）：時を表す表現、西洋科学の受容（日本との関係）
第12回（6月30日）：時を表す表現、西洋科学の受容（進化論の受容）
第13回（7月7日）：副詞・介詞、西洋科学の受容（進化論の受容）
第14回（7月14日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認。（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　中国語：『初めての中国語コミュニケーション』（高橋良行・村上公一、同学社）
中国文化：プリントを配布予定。
辞書・参考書等は開講時に指示する。

参考文献　辞書・参考書等は開講時に指示する。

評価方法　教場試験100点（中国語：50点　中国文化：50点）から、遅刻・欠席・態度不良等を減点する。

備考　中国語に関しては、時間は短いが語学の授業として基礎はしっかりやるので、復習は必要である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (6)		
科目キー	2800005023		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　中国語と中国文化の双方を同時に学ぶことによって、中国に対する視野を広げると共に、自国の文化を振り返る契機にもなることを目標とする。中国語に関しては発音の基礎と基本文型を学ぶ。また中国文化に関しては、今年度は中国思想と科学の接点を、古代と近代の二つの時代を軸に考えてみたい。

シラバス

第1回（9月29日）：オリエンテーション、発音（声調・単母音）
第2回（10月6日）：発音（単母音・子音）、中国の歴史
第3回（10月13日）：発音（複母音）、中国の歴史
第4回（10月20日）：発音（鼻母音）、古代の自然観（気）
第5回（10月27日）：常用表現（数字・月日や曜日）、古代の自然観（気）
第6回（11月10日）：簡単な会話、基本動詞「是」、古代の自然観（陰陽五行）
第7回（11月17日）：指示語、古代の自然観（天人相関）
第8回（11月24日）：形容詞、古代の自然観（天文）
第9回（12月1日）：動詞、西洋科学の受容（歴史的背景）
第10回（12月8日）：所有、西洋科学の受容（技術書の翻訳）
第11回（12月15日）：時を表す表現、西洋科学の受容（日本との関係）
第12回（12月22日）：時を表す表現、西洋科学の受容（進化論の受容）
第13回（1月12日）：副詞・介詞、西洋科学の受容（進化論の受容）
第14回（1月19日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認。（確認方法は授業中に指示する。）

教科書

中国語：『初めての中国語コミュニケーション』（高橋良行・村上公一、同学社）
中国文化：プリントを配布予定。
辞書・参考書等は開講時に指示する。

参考文献

評価方法　教場試験100点（中国語：50点　中国文化：50点）から、遅刻・欠席・態度不良等を減点する。

備考　中国語に関しては、時間は短いが語学の授業として基礎はしっかりやるので、復習は必要である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	スペイン語文化入門 (2)		
科目キー	2800005031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　スペイン語は、スペイン、ラテンアメリカ18ヶ国、アフリカの赤道ギニアの計20ヶ国で公用語となっています。全世界での使用人口は3億5千万人とも言われています。日本はスペインやラテンアメリカの国々と古くから深い関係を結び、現在でも文化・経済面で友好的な関係を保っています。
今学期はスペインを取り上げます。スペインの多様な文化を理解するために、映像を多く使ってさまざまな角度から見ていきます。
また、スペイン語についても毎回、ごく初歩的な知識を学習して、簡単な表現を覚えていくようにします。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。
〈　〉内はスペイン語の部

第 1回	受講案内、アンケート、	〈簡単な挨拶言葉〉
第 2回	スペインの地勢・気候。	〈発音〉
第 3回	地勢・気候、歴史。	〈発音、挨拶言葉〉
第 4回	歴史	〈名前・職業・出身〉
第 5回	歴史、北部について。	〈自己紹介、他人を紹介する〉
第 6回	南部コルドバ	〈数字、飲み物の注文、値段〉
第 7回	南部グラナダ、セビリア	〈在るかないかを聞く〉
第 8回	中央部マドリッド	〈どこに在るかいるかを聞く〉〈課題〉
第 9回	その他の中央部	〈課題の講評〉〈動詞の現在形〉
第10回	バルセロナ	〈動詞の現在形〉
第11回	バルセロナ	〈・・・したい、・・・してもいいか〉
第12回	食生活	〈何時に〉
第13回	食生活、人付き合いなど	〈レストランにて〉
第14回	学期末課題	
第15回	今学期のまとめ	

教科書　特に定めません。適宜、プリントを配布する予定です。

参考文献

評価方法　課題（スペイン語と文化の両方について何回か課す）と出席状況によって評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。

備考　1回目の授業で、受講案内をするほか、関心のある分野などについてアンケートを取ります。履修しようと考えている人は必ず出席してください。

なお、科目登録済みか否かにかかわらず、1回目の授業から出欠をとります。

授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	スペイン語文化入門 (1)		
科目キー	2800005031		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　日本はスペインや中南米の国々と文化・経済面で友好的な関係を維持しています。本講座では、これらスペイン語圏の国々をより深く理解できるようプリントやビデオをつかって紹介していきます。 なお、スペイン語文化圏に親しみが持てるよう、スペイン語についても、毎回、初歩的な知識を学習します。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　アルファベットと挨拶
第三回　スペイン語の発音と読み方
第四回　スペインの習慣と食事
第五回　スペイン語の名詞と形容詞
第六回　スペインの文化、スポーツ、祭り
第七回　スペイン語の動詞（現在形の規則）
第八回　スペインの地理、政治
第九回　スペイン語の動詞（現在形の不規則）
第十回　スペイン語の歴史と中南米の言語
第十一回　スペイン語の動詞（過去、未来）
第十二回　中南米の地理、政治
第十三回　中南米の文化、スポーツ、祭り
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「英語活用　基礎スペイン語」 細川幸夫著 （創拓社出版）

参考文献

評価方法　教場試験 と レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ロシア語文化入門 (1)		
科目キー	2800005035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　ロシアは比較的短い歴史の間に、文学・芸術・学術の分野で普遍的な価値を生み出した。世界はそれを共有し、ロシアがなし遂げたものの知的影響を受けつづけている。それとともに、ロシアの風土に深く根ざしながら、他の民族にとっても魅力的な、それでいてまだよくは知られていないロシア固有の価値もまた、それに深いまなざしを注ぐことにより、普遍的な意味に転化する可能性がある。この授業では、ロシア文化の普遍的な価値と、ロシア文化固有の魅力ある現象の両面を紹介する。ロシア語の初歩的な知識を学ぶ場ともなる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ロシア語文化入門 (2)		
科目キー	2800005035		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　ロシアは比較的短い歴史の間に、文学・芸術・学術の分野で普遍的な価値を生み出した。世界はそれを共有し、ロシアがなし遂げたものの知的影響を受けつづけている。それとともに、ロシアの風土に深く根ざしながら、他の民族にとっても魅力的な、それでいてまだよくは知られていないロシア固有の価値もまた、それに深いまなざしを注ぐことにより、普遍的な意味に転化する可能性がある。この授業では、ロシア文化の普遍的な価値と、ロシア文化固有の魅力ある現象の両面を紹介する。

シラバス
第一回　ロシアについての基礎知識。テスト。
第二回　ロシアの文字の形。音は?　今回は文字と音の勉強です。
第三回　音を集めると詩になる。詩のリズムはどうやってできる。ロシアの詩人たち。
第四回　ロシア語の表現。レトリック、ことわざ、小話、裏言語。
第五回　ロシアとコーカサス。南オセチア・アブハジア紛争の歴史的背景。
第六回　ロシア映画の魅力(1)。社会主義リアリズムの方法で描かれる人間たち。
第七回　ロシア正教会と分離派セクト。十字の切り方だけじゃない。
第八回　バレエ『ペトルシュカ』、『春の祭典』に描かれたロシアの祭り。
　　マスレニッツァ、イワン・クパラ祭。
第九回　ロシア映画の魅力(2) アニメーション。
第十回　ユダヤ人たちは誰から逃れようとしていたのか。
　　リトアニア領事杉原千畝のビザ発給をめぐって。
第十一回　ロシアの不思議で、愉快で、ちょっと怖い妖怪たち。
第十二回　ロシア映画の魅力(3) ロシア版ハムレット。前編。
第十三回　ロシア映画の魅力(3) ロシア版ハムレット。後編。
第十四回　まとめ。
第十五回　まとめ。

教科書　プリント配布。

参考文献　特になし。

評価方法　レポート

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp
ロシア語学習、能力検定、ロシ

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	入門・外国語案内		
科目キー	2800005040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		但田　栄
	北田　よ志子	熊　遠報	伊藤　英人

副題

授業概要　この科目は、理系の学生を対象に、初修外国語としてのドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語について入門的な紹介をするものです。各言語について、6名の担当者が2回ずつ交代で講義します。なお、本年度は、招聘講師を招き、アラビア語について講義してもらいます。ただし、アラビア語の講義は1回のみです。

[担当者および講義の順番]:

(1)ドイツ語:W.シュレヒト　(2)フランス語:但田(ただ)栄
(3)中国語:熊(ゆう)遠報　(4)スペイン語:北田よ志子
(5)ロシア語:南平かおり、　(6)朝鮮語:伊藤英人
(7)アラビア語:青柳かおる

参考:
※朝鮮語は理工には設置されていません。同言語の履修を希望する学生は、オープン教育センターのクラスを履修してください。
※アラビア語についても、オープン教育センターに「初級」から始めるクラスが設置されています。

シラバス　第1回(4月8日):イントロダクション(但田栄)

第2回(4月15日):ドイツ語圏の今:現代の社会状況を概観する(シュレヒト)

第3回(4月22日):ドイツ語世界の扉を開く:ドイツ語とは何か?(シュレヒト)

第4回(4月29日):フランス語の歴史とフランス語圏(但田栄)

第5回(5月13日):フランス語の初歩ーアルファベ、発音ー(但田栄)

第6回(5月20日):中国語の発音、漢字と文法の特徴(熊遠報)

第7回(5月27日):中国事情と文化、中国語の小テスト(熊遠報)

第8回(6月3日):スペイン語(1)(北田よ志子)

第9回(6月10日):スペイン語(2)(北田よ志子)

第10回(6月17日):ロシア語。ロシア文化への招待(ロシアをめぐるあれこれ)
(南平かおり)

第11回(6月24日):ロシア語。初めてのロシア語(文字の読み方と初歩の文法について)(南平かおり)

第12回(7月1日):朝鮮語とはどんな言葉か。周辺言語との類似点と相似点。(伊藤英人)

第13回(7月8日):ハングルの歴史と仕組み。朝鮮語入門。(伊藤英人)

第14回(7月15日):アラビア語概論(招聘講師、青柳かおる[予定])

第15回(日程別途指示):　学力考査および解説(但田栄)

以上

教科書　各外国語の担当教員が指示します。

参考文献　各外国語の担当教員が指示します。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	入門・外国語案内		
科目キー	2800005040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

評価方法　●出席は、3分の2以上とする。

●科目最後の時間に、講義で取り上げたすべての言語について、
筆記試験を行う。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本の詩、世界の詩		
科目キー	2800005041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子 昼間　賢	井上　一之 城戸　朱理	江田　孝臣

副題

授業概要

ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なるーひらの雲

教科書にも載っている歌であるが、ふつうの文章を作成するときには、このように助詞の「の」を重ねることはない。ワープロでこのような文を書いたら、チェック機能が働いて、他の助詞に変えるように指示されるかもしれない。しかし、この歌では「の」という助詞がズーム・インの役割をして、晩秋の澄み切った青空に浮かぶ一片の雲が、空に深く突き入る薬師寺の塔と印象的な一つの情景を形作っている。「の」という助詞の持つ種々な意味合いが並列されていると同時に、「の」の連なりがリズミカルに響く。言葉の意味と言葉の音楽の融合。この「の」を他の助詞に置き換えることはできるだろうか。おそらく無理であろう。詩が詩であるのは、一句一句、一節一節が有機的に結びついていて、それこそ結晶体を形作っているのである。日本の詩歌ばかりではなく、世界の詩歌にも目を向けて、言語による芸術作品の精髄に触れてみよう。

シラバス

4人の講師それぞれ3回または4回の講義を行う。

（1）井上一之先生　ー中国の詩を読む
本講義では、韻律とイメージの観点から唐詩の諸作品を分析してみたい。中国の詩（漢詩）の歴史は紀元前6世紀の『詩経』に遡る。元来、器楽の伴奏を伴う楽歌であった詩（歌）が、その後、音楽を離れ、目で読まれるものとなったとき、詩の言語は自律化の途を辿りはじめ、徐々に洗練の度を加えてゆくこととなった。その完成の頂点が、李白、杜甫、王維、白楽天に代表される、唐詩である。わが国の文芸作品にも大きな影響を与えたとされる唐詩の美しさをより深く、より細やかに理解していただきたい。

第1回（9月29日）　中国古典詩の韻律
第2回（10月6日）　詩型とその表現機能
第3回（10月13日）　中国詩のイメージ

（2）床鍋剛彦先生　ーフランスの詩を読む
フランスは、公共広告に詩句を用いる国である。古典的な詩編から現代のラップまで、お気に入りのフレーズを暗記している人も珍しくない。川柳がわかる外国人は、相当な日本通だ。フランス詩を少しでも理解できれば、フランスがより近しく感じられるだろう。日本の近現代詩にも影響を与えたフランス詩の魅力を、基本（定型詩）から応用（歌詞）まで、よく知られたものの成り立ちを確認しながら味わってみたい。フランス語の知識は必須ではない。

第4回（10月20日）　詩とは何か（フランス詩の基本形）
第5回（10月27日）　都市と恋愛、流行か前衛か（20世紀初頭の詩）
第6回（11月10日）　詩から詞へ（詩人の書いた歌詞）
第7回（11月17日）　よりよく生きる言葉

（3）城戸朱理先生　ー日本の詩を読む
日本の近代詩は西欧の影響のもとで始まった。そうしたとき、東アジアの東端に位置する日本のアイデンティティは、どのようにして保証されるのだろうか。また、西洋と東洋という対立を超克する道は、あるのだろうか。日本の諸芸術が置かれた、こうした問題を詩を通して考察する。なお、いずれの授業もDVDによる、映像を使う予定。

第8回（11月24日）　日本の近代詩における欧米詩の影響
第9回（12月1日）　日本の近代・現代詩の生成
第10回（12月8日）　20世紀の前衛運動と日本の詩
第11回（12月15日）西洋と東洋の対立を超えて

（4）江田孝臣先生　ーアメリカの詩を読む
20世紀前半のアメリカ合衆国は、世界的に見ても優れた詩人たちを多数輩出しました。最初の2回の授業では、その中からEzra Pound, William Carlos Williams, Gertrude Stein,
Mina Loyといった詩人たちを、第3回では、20世紀を先取りしていた19世紀の偉大な詩人Emily Dickinsonを紹介します。
授業のキーワードは、「俳句や唐詩の影響」、「医者と詩人」、「キュビスム」、「反近代」、「お金と詩」などです。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本の詩、世界の詩		
科目キー	2800005041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

第12回（12月22日） アメリカ・モダニズム詩(1)
第13回（1月12日） アメリカ・モダニズム詩(2)
第14回（1月19日） Emily Dickinson (1830-86)

第15回（日程は別途指示）学力考査 （担当：石井）

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と試験。

備考　出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	東アジア文化研究		
科目キー	2800006001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　東アジア地域は、歴史上、漢字や仏教、律令などの制度と文化を中心に、一つの文化圏を形成してきた。この文化圏には、中国、朝鮮半島、日本列島、ヴェトナムが含まれる。この文化圏の中心に位置する中国社会が、どのような文化や制度を創出し発信したのか、朝鮮半島、日本列島、ヴェトナムなどの地域がどのように中国の文化と制度を受容したのか、という問題を中心に、より深く東アジア地域の文明と文化を紹介する。

シラバス
第一回（10月１日） オリエンテーション
第二回（10月８日） 東アジア文化圏の成立
第三回（10月15日） 漢字と東アジア社会
第四回（10月29日） 中国の書籍の出版と東アジア社会
第五回（11月5日） 儒教の世界
第六回（11月12日） 孔子とその周辺
第七回（11月19日） 論語と東アジア社会
第八回（11月26日） 論語講読（上）
第九回（12月３日） 論語講読（下）
第十回（12月10日） 仏教と道教
第十一回（12月17日） 東アジアの世界文化遺産（上）
第十二回（1月７日） 東アジアの世界文化遺産（下）
第十三回（1月14日） 科挙と官僚制
第十四回（1月21日） 東アジアの巨大都市
第十五回（日程別途指示）学力考査および解説。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席（無断欠席4回は不可,出席状況も評価の内容）
平常点（講義後の討論に積極的な質問、発言を高く評価する）
試験、或いはレポート（授業状況による）

備考　映像・画像資料なども使用

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	歴史社会学I		
科目キー	2800006002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　政治経済のグローバル化が急速に展開している現代社会の中で、私たちは、民族、宗教、生命に関わる様々な価値観の相違に起因した諸問題や貧困、発展、環境などの問題に直面している。こうした人類共通の諸課題の解決方法を模索する際、そこにいたるまでの人類の歴史を辿る作業が必要不可欠となる。この授業では、中国の古代を中心に、中国社会の形成と展開の基本的な流れを紹介しながら、歴史社会学の知識と方法を教える。
歴史社会学Iは、中国歴史の流れに重点をおきながら、同時代の世界の大きな変化および主要な出来事をも紹介する。

シラバス
第一回(4月10日)　オリエンテーション
第二回(4月17日)　中国社会の特徴
第三回(4月24日)　中国文明の形成(上)
第四回(5月8日)　中国文明の形成(下)
第五回(5月15日)　都市国家連合
第六回(5月22日)　始皇帝と統一帝国の形成
第七回(5月29日)　農耕社会と遊牧社会
第八回(6月5日)　三国とその時代の英雄
第九回(6月12日)　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第十回(6月19日)　分裂と統合(上)
第十一回(6月26日)　分裂と統合(下)
第十二回(7月3日)　隋唐帝国(上)
第十三回(7月10日)　隋唐帝国(下)
第十四回(7月17日)　北方民族の台頭と宋代社会
第十五回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席(無断欠席四回は不可,出席状況も評価の内容)
レポート(小論文式、参考文献と注は明示)
平常点(積極的な質問、発言を高く評価する)

備考　映像資料なども使用

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	歴史社会学II		
科目キー	2800006003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　政治経済のグローバル化が急速に展開している現代社会の中で、私たちは、民族、宗教、生命に関わる様々な価値観の相違に起因した諸問題や貧困、発展、環境などの問題に直面している。こうした人類共通の諸課題の解決方法を模索する際、そこにいたるまでの人類の歴史を辿る作業が必要不可欠となる。この授業では、16世紀以来の中国の歴史と社会を中心に、中国社会の形成と展開の基本的な流れを紹介しながら、歴史社会学の知識と方法を教える。
　歴史社会学IIは、各地域の代表的歴史遺跡を中心に、映像資料を含めて人類の優れた智恵、発想と傑作等を紹介する。

シラバス
第一回（10月２日）　宋代以前の歴史の大筋
第二回（10月９日）　ユーラシアに跨る元の世界
第三回（10月16日）　明清時代（上）
第四回（10月23日）　明清時代（下）
第五回（10月30日）　アヘン戦争から洋務運動へ（上）
第六回（11月13日）　アヘン戦争から洋務運動へ（下）
第七回（11月20日）　辛亥革命と国民国家への模索
第八回（11月27日）　社会主義の選択
第九回（12月４日）　世界文化遺産：万里の長城
第十回（12月11日）　世界文化遺産：兵馬俑
第十一回（12月18日）　世界文化遺産：敦煌とシルクロード
第十二回（１月８日）　世界文化遺産：インカ帝国の空中都市
第十三回（１月15日）　世界文化遺産：アルハンブラ宮殿
第十四回（１月22日）　世界文化遺産：ローマ帝国
第十五回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席（無断欠席四回は不可,出席状況も評価の内容）
試験、或いはレポート（授業情況による）
平常点（積極的な質問、発言などを高く評価する）

備考　映像資料なども使用

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	「こころ」と宇宙		
科目キー	2800006004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小曽戸　洋		

副題　中国伝統医学の世界

授業概要　中国伝統医学においては、人体はミクロコスモスとして、大宇宙と平行する存在とされてきた。今日の医学の常識からすると荒唐無稽とも思える不合理さと、底知れない奥深さが同居するところに伝統医学の魅力は存在するのである。本講座では、そのような一見矛盾するかのような伝統医学の世界を紹介していきたい。

シラバス　永冨の作成したプリントに沿って進めて行く。

教科書　永冨の作成したプリントをテキストとする。

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	過去の伝承		
科目キー	2800006005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　大昔から現代にいたるまで、さまざまな事柄が、さまざまな形態で伝承されてきた。この授業では過去の人々が何に興味を持ち、伝えようとしていたのかを考えながら、我々が将来に向けて伝えていくべきことは何かを考えていきたい。

シラバス

第1回　オリエンテーション

＜世界の始まり＞
第2回　世界の神話
第3回　「世界の始まり」の共通性

＜指輪の物語＞
第4回　指輪の歴史。指輪の文化
第5回　トールキン『指輪物語』における伝統の継承。
第6回　ワーグナー『ニーベルングの指輪』における伝統の継承
第7回　映画『ロード・オブ・ザ・リング』と楽劇『ニーベルングの指輪』

＜戦争の伝承＞
第8回　世界文学における「戦争文学」
第9回　映画『父と暮らせば』
第10回　井上ひさし『父と暮らせば』を読む
第11回　遠藤周作『海と毒薬』を読む
第12回　映画『海と毒薬』
第13回　講義のまとめ

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書

参考文献　井上ひさし『父と暮らせば』新潮文庫
遠藤周作『海と毒薬』新潮文庫

評価方法　レヴューシート、学期末の試験で評価。

備考　『父と暮らせば』『海と毒薬』は各自入手の上、通読しておくこと。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	文化と科学・技術者		
科目キー	2800006006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　時代とともに科学・技術の重要性は増大してきた。科学・技術者の表象もそれにつれ大きく変化した。中世に語り継がれた伝説の魔術師ファウストは、その後も戯曲、小説、漫画など様々なジャンルの作品の中に生き続けた。本講義では、近代科学誕生以前のファウスト博士像、近代科学の父ガリレオ像の変遷をも視野にいれながら、科学・技術者たちの表象の変遷をたどる。小説、戯曲、あるいは伝記文学に現れた科学・技術者たちの姿を通して、今日に生きる科学・技術者のあり方を考えてゆく。

シラバス

1. オリエンテーション
　第1回　日本現代文学・日本現代文化にみる科学者像
2. ファウスト伝説からゲーテの『ファウスト』へ
　第2回　中世の錬金術師　ファウスト博士伝説
　第3回　ゲーテ作　戯曲『ファウスト　第一部』にみる学者像
　第4回　ゲーテ作　戯曲『ファウスト　第二部』と科学・技術
3. 日本の数学者像
　第5回　江戸の算術家たちは文学作品にどう描かれたか
4. 19世紀の科学者・文学者ビューヒナーの問題提起について
　第6回　ビューヒナー作　戯曲断片『ヴォイツェク』作家・作品紹介
　第7回　ビューヒナー作　戯曲断片『ヴォイツェク』に描かれた実験
　第8回　ベルク作オペラ『ヴォツェック』の描く研究者像
5. ジェンダーと科学・技術
　第9回　化学者フリッツ・ハーバーとクララ・インマーヴァール
6. ブレヒトの描く科学者たち
　第10回　ブレヒト作　戯曲『ガリレイの生涯』 史実のガリレオと同時代人たち
　第11回　ブレヒト作　戯曲『ガリレイの生涯』に描かれたガリレオ
7. 現代文学の描く科学者たち
　第12回　マイケル・フレイン作　戯曲『コペンハーゲン』 作品紹介
　第13回　マイケル・フレイン作　戯曲『コペンハーゲン』に描かれた科学者たち
　第14回　アメリカ文学、日本演劇の描く科学者たち

　第15回　学力考査と解説

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　出席状況と学力考査

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	世界の宗教		
科目キー	2800006007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	永冨　青地	田戸　大智	青木　健
	晴佐久　昌英	森山　央朗	

副題

授業概要

現代日本人は、日頃宗教に対してほとんど関心を払うことはない。しかし、ひとたび心の不安に襲われた際、それまでの無関心が転じて狂信へと陥りやすいことは、近年のカルト教団に関わる事件が、何よりも雄弁に物語っている。本講義は、宗教について白紙の学生に対し、現代社会において、多数の信者を獲得している諸宗教について、専門家の説明を受け、それらの宗教が自己の長所がどこにあると考えているかを理解し、それらの宗教に対して、自己の視点を身につけることを目標とする。

今学期においては、世界の三大宗教とされるイスラーム、キリスト教、仏教を取り上げ、最後に宗教学の立場から、それらの宗教に関する総括を行なうこととしたい。

イスラーム（森山央朗）

イスラームに関する4回の講義では、イスラームの現状と、その現状を生み出した教義と歴史を論ずる。1回目の講義では、世界のムスリムの現状を紹介する。2回目の講義では、イスラームの教義を解説し、ムスリムの基本的な信仰・思想・生活を理解する。3回目の講義は、7世紀から現在までの歴史を追い、現状の背景を探る。そして最後の講義で、イスラームが現在直面している問題を考察していくこととする。

キリスト教（晴佐久昌英）

キリスト教の原点は、神が人に語りかけるという出来事にある。
人間の真の親である神は、当然一人ひとりのわが子を愛しているし、あらゆるわざでその愛を語りかけている。中でも最も決定的で完全なわざとして、神は一人の人間としてこの世界に生まれ、直接語りかけた。それが、イエス・キリストという出来事である。
すべての人は神の子であり、神に語りかけられなくては真の意味で生きていけない。そのような神の語りかけそのものとしての授業により、キリスト教の真髄を体験してほしい。

仏教（田戸大智）

仏教はインドに起源を発し、後に広くアジア全域に伝播することになるが、その過程で大きな変容を被ることになり、タイ・中国・日本などの各地域で多種多様な仏教が展開されることになる。そこには、基本となる教理的概念が通底しているとはいえ、それぞれの地域的特色に適応した独自の仏教が形成されたと言っても過言ではない。本講義では、複雑にして多彩な仏教が持つ特徴をいくつか取り上げて、その内実に迫ることを目的とする。

宗教学（青木健）

宗教学の立場から、世界の宗教の、特に現状を中心に解説する。全3回に合わせて、一、原理主義とナショナリズムの結合、二、世俗化と近代化、三、神秘主義とエキュメニズムを取り扱う。その際のサンプルとしては、既に講義のあったイスラーム、キリスト教、仏教と重複しないように、一、ヒンドゥー教、二、ゾロアスター教、三、スーフィズム、ヨーガ、バハーイー教を取り上げる予定。

シラバス

第　1回（4月　6日）（森山）世界のムスリムの現状
第　2回（4月13日）（森山）イスラームの教義
第　3回（4月20日）（森山）歴史と現状の背景
第　4回（4月27日）（森山）現在直面している問題
第　5回（5月11日）（晴佐久）神（天の父）
第　6回（5月18日）（晴佐久）イエス・キリスト（神のことば）
第　7回（5月25日）（晴佐久）聖霊（すべての神の子を愛する親心）
第　8回（6月　1日）（田戸）仏教の現状
第　9回（6月　8日）（田戸）仏教の本質
第10回（6月15日）（田戸）仏菩薩という存在
第11回（6月22日）（田戸）経典の成立と展開
第12回（6月29日）（青木）原理主義とナショナリズムの結合
第13回（7月　6日）（青木）世俗化と近代西欧への憧れ
第14回（7月13日）（青木）神秘主義とエキュメニズム
第15回（日程別途指示）（永冨）学力考査および解説

教科書

教科書は指定しないが，参考書は授業中に適宜紹介し，必要な資料を配布する。

参考文献

評価方法

学力考査の結果に、出席点および授業中の態度を含む平常点を加味して成績評価を行う。極端に平常点が悪い

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	世界の宗教		
科目キー	2800006007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

場合には成績評価の対象から外すことがあるので、注意されたい。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本の宗教		
科目キー	2800006008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	永冨　青地 河東　仁	矢崎　浩之	柳澤　正志

副題

授業概要

現代日本人は、日頃宗教に対してほとんど関心を払うことはない。しかし、ひとたび心の不安に襲われた際、それまでの無関心が転じて狂信へと陥りやすいことは、近年のカルト教団に関わる事件が、何よりも雄弁に物語っている。本講義は、宗教について白紙の学生に対し、現代社会において、多数の信者を獲得している諸宗教について、専門家の説明を受け、それらの宗教が自己の長所がどこにあると考えているかを理解し、それらの宗教に対して、自己の視点を身につけることを目標とする。

今学期においては、神道、日本仏教、日本の新宗教を取り上げ、最後に宗教学の立場から、それらの宗教に関する総括を行なうこととしたい。

神道（矢崎浩之）

4回にわたって、神道の歴史的展開とその教説を、基本的な事がらを中心に解説する。時間の制約上、点描的にならざるをえないが、参考文献を多めに提示して、欠を補います。

日本仏教（柳澤正志）

現代の日本で日常的に宗教を意識して生活する人は少ないと思われる。そして葬式仏教といわれるように、今日の日本において仏教は葬送儀礼のみが強調されている感が否めない。しかし、経典に説かれる仏教とは、今を生きる私たち人間の本質であり、私たちを思い悩ませる苦しみの原因であり、そして、迷いの世界から覚りの世界へ到達する方法である。つまり、本来仏教が対象とするのは「死」ではなく「生」なのである。そうしたことを踏まえ、本講では日本における仏教の歴史的展開と今日的あり方について、四回にわたり講義する。

日本の新宗教（矢崎浩之）

4回にわたって、近代以降の新宗教の動向を解説していく。新宗教のうち、今回は、神道系教団に注目する。その中でも現在にまで影響力をもった教団と教祖についてとりあげる。

宗教学から見た日本の宗教（河東仁）

第13回前半は、アニミズム、シンクレティズム、シャーマニズムをキーワードとして、日本の宗教を概観することで、これまで本講で話されてきた神道（神祇信仰）、仏教、陰陽道などが習合した状況について総合的に理解するための視座を提供する。後半は上述のなかからシャーマニズムに注目して、憑依親和性という日本の文化の特性、および「ケガレ」思想によって「女巫王」（じょふおう）が零落させられていった女性差別の歴史について展開する。

第14回前半は「冠婚葬祭」の祭、すなわち祖先祭祀に焦点を当てる。さらに一年の節目になされる、祖先祭祀も含めた年中行事について解説したのち、冠婚葬という人生の節目になされる通過儀礼を取り上げる。後半では、これら年中行事と通過儀礼の相関性について論じ、最終的に、クリスマスなどキリスト教系の年中行事をも無条件に取り込んでしまう日本の宗教状況の中にも、「リズムの宗教」という一つの論理性が見出されることを講ずる。

シラバス

第　1回（9月28日）（矢崎）神道の歴史（1）古代、中世、特に神仏習合について
第　2回（10月5日）（矢崎） 同上（2）江戸時代を中心に、神仏合一論と国学
第　3回（10月12日）（矢崎）神道の教説（1）「中臣祓」を中心に日本人の「祓」を考える
第　4回（10月19日）（矢崎）同上（2）神仏合一感について―「神胤」に注目して―
第　5回（10月26日）（柳澤）仏教の基本的な思想について。
第　6回（11月2日）（柳澤）日本における仏教の受容と展開（1）　国家と仏教の関係について。
第　7回（11月9日）（柳澤）日本における仏教の受容と展開（2）　庶民の信仰対象としての仏教。
第　8回（11月16日）（柳澤）現代日本における仏教。
第　9回（11月23日）（矢崎）近代以降の新興宗教の動向　「宗教年鑑」（文化庁編）を材料にして
第10回（11月30日）（矢崎）金光教と教祖金光大神　教義と組織化に最初に本格的に取り組んだ、教祖と教団の動向をさぐる
第11回（12月7日）（矢崎）大本と出口王仁三郎、出口なお　戦後の神道系教団に、思想的な影響を与えた、教団と教祖の思想をさぐる
第12回（12月14日）（矢崎）近世から近代、そして現在へ―神道の水脈をめぐって―
第13回（12月21日）（河東）――アニミズム、シンクレティズム、シャーマニズム
第14回（1月18日）（河東）――冠婚葬祭、年中行事、リズムの宗教
第15回（日程別途指示）（永冨）学力考査および解説

教科書

教科書は指定しないが，参考書は授業中に適宜紹介し，必要な資料を配布する。

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	日本の宗教		
科目キー	2800006008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

評価方法　学力考査の結果に、出席点および授業中の態度を含む平常点を加味して成績評価を行う。極端に平常点が悪い場合には成績評価の対象から外すことがあるので、注意されたい。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	都市と文化		
科目キー	2800006009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女 小林　拓也	永冨　青地	大澤　清治

副題

授業概要　文学にしても音楽にしてもあるいは建造物にしても、それを生み出した都市を如実に反映している。都市にはそれぞれの歴史があり、歴史に育まれた気風があり、個性がある。国の内外に目を向けて、思想や芸術の背景や特質を、母胎としての都市のうちに探る。４人の担当者とともに探訪するのは大都会が中心であるが、時には小都市との出会いもある。よく知る大都市の知られざる側面を知り、あるいは、無名の小都市に、独自の歴史と文化が育まれてきたことを知り、私たち自身の都市生活を検証することになるだろう。

シラバス　次の順に講義を行う。

1. 担当:大澤
次の内容について画像、映像を交えて概説する。
第1回　9月28日
ケルン
成立史(ローマ帝国の植民地ケルン)― 大聖堂の建築(様式と歴史)
― ライン川と大聖堂と民族主義(ゲーテやハイネなどによるコメント)
― 現代のケルン
第2回　10月5日
マールブルク
成立史 ― 小都市のたたずまい(木組みの民家建築や城など) ― 宗教改革と大学
― グリム兄弟(「グリム童話」の発端)― 現代のマールブルク
第3回　10月12日
ライプツィヒ、そしてストラスブール
成立史 ― J. S. バッハ ― ゲーテ ― メンデルスゾーン
ストラスブールのゲーテ ― フリーデリケとの恋、その「詩と真実」
第4回　10月19日
ベルリン
成立史とプロイセン時代のベルリン ― 森鴎外の留学と『舞姫』
― ナチ支配と「頽廃芸術」― 戦後の東西ドイツ分裂とベルリン、壁の建設と崩壊、 現状 ―「博物館島」など

2. 担当:永冨
上海と北京とは、日本における大阪と東京のように、対照的な性格の都市として常に対比されてきた。ここでは、映画を含む近代の文芸を通して、これら二都市のうち、特に上海の性格を探っていきたい。また、J・G・バラードの『太陽の少年』を通して、上海の街の発展について触れていきたい。
第5回　10月26日
租界都市上海の誕生
第6回　11月2日
上海モダニズムの誕生
第7回　11月9日
租界都市上海の終焉
第8回　11月16日
シリアのダマスカス(ゲストスピーカー予定)

3. 担当:小林(9. 11月23日　10. 11月30日)
スイスのフランス語圏の都市、ジュネーヴとヌーシャテルを紹介する。
ジュネーヴは、国連ヨーロッパ本部や赤十字、WHO本部を擁する国際都市である。本講では、特に『社会契約論』で知られる当地出身の思想家ジャン＝ジャック・ルソーの視点を参考に、ヨーロッパの文化的首都とも言われるパリとの比較から、その独自な地位を明らかにしていきたい。
一方、ヌーシャテルは、長くオルレアン公やプロシア王の個人的所有地として独立を維持してきた風変わりな歴史を持つ都市である。ドイツ語圏との境にあることから、街並みもどこかドイツ的である。講義では、この小都市が、その政治的独自性や小さな出版社の活躍によってヨーロッパ中に大きな影響力を持ちえた18世紀という時代を取り上げる。そこからは、地方再生や町おこしのためのヒントが浮かび上がるはずである。
第9回　11月23日
ジュネーヴ
第10回　11月23日
ヌーシャテル

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	都市と文化		
科目キー	2800006009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

---

4. 担当:中村
東京という巨大な都市とその文化について、時代を四区分して考察する。
西欧的近代化の流れと日本固有の文化的な伝統は互いにどのように関わって東京の姿を形作ってきたのだろうか。ヨーロッパの都市の発展と対比させながら、東京を考える。
第11回　12月7日
明治維新から関東大震災後の復興まで
第12回　12月14日
第二次世界大戦の戦前・戦中・戦後
第13回　12月21日
戦後復興
第14回　1月18日
現在へ

第15回　日時別途指定
学力考査と解説

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　出席状況と学力考査結果を総合評価する

備考　出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	近代思想と現代		
科目キー	2800006011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要

現代人の世界観や人間観の多くは、自由や平等、社会的正義といった人間の基本的な権利を尊重し、個々人の幸福を追求するという考え方に基づいています。このような基本的人権の思想は、アメリカの独立宣言（1776）や、フランス革命（1789）の人権宣言に明確に表明されているものです。

本講義では、そのような思想の普及を準備し、強力に推進したフランス18世紀の啓蒙思想家たち、とりわけ、その中でも特異なポジションを占めるJ.-J.ルソー（1712ー1778）を中心に取りあげます。テキストしては、主にルソーの思想を集大成した教育論『エミール』（1762）を読みます。ルソーにとって、基本的人権とは何か、かれの構想した近代人とはいかなるものであったかを検証しながら、ルソーの現代に通じるアクチュアリティーを探りたいと考えています。

授業は原則、講義形式で行いますが、受講者の人数がゼミ形式に適したものなら、そのような形式で行うこともあり得ます。

教材：J.-J.ルソー著『エミール』、今野訳、岩波文庫（全3巻）
基本的なテキスト（日本語）は、教員のほうで準備します。

評価方法：平常点（出席）と、教場による筆記試験

シラバス

第1回：イントロダクション

第2回：J.-J.ルソーとその時代

第3回：『学問芸術論』（1750）について

第4回：『人間不平等起源論』（1755）について

第5回：：『人間不平等起源論』から『エミール』（1762）へ

第6回：『エミール』の概要

第7回：『エミール』第3編までと、その概要

第8回：『エミール』第4編の意義

第9回：ルソーの考える青年像

第10回：青年期における「心」の発達とは何か

第11回：青年の「心」の発達（感性、想像力、記憶）

第12回：青年の「心」の発達（良心、理性）

第13回：ルソーにとって「心」とは何か

第14回：ルソーの現代的意義

第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

以上

教科書

参考文献　授業の最初に紹介します。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	近代思想と現代		
科目キー	2800006011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

評価方法　3分の2以上の出席を求めます。

規定の出席回数に満たない場合、受験しても単位を認めることはできません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究：中国		
科目キー	2800006012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　冷戦構造の崩壊、世界の政治経済の一体化という流れの中で、中国は高度経済成長と政治改革によって、世界の中で重要性を増大させている。 近年日本と中国は、様々な分野やレベルにおいてこれまで以上に交流が進展している。特に日本企業の中国進出も目立っている。こうした変化を背景にした現代中国の政治・社会体制の形成とその展開、とりわけ現代中国社会における人口、教育、貧富格差、都市・農村等の社会問題、金融危機と中国の対応、中国・日本・アメリカと東アジアの国際関係、民族問題と社会統合、中国の最新動向を紹介しながら、現代中国社会に対する複眼的な考察力の向上を目指す。

シラバス
第一回（4月９日） オリエンテーション
第二回（4月16日） 現代中国とは
第三回（4月23日） 二十世紀後半の社会体制とその変化
第四回（５月７日） 文化大革命とその後の改革
第五回（５月14日） オリンピックの開催と中国
第六回（５月21日） 世界の金融危機と中国の対応
第七回（５月28日） 中日米関係と東アジアの将来
第八回（６月４日） 「一国二制度」と香港返還
第九回（６月11日） 少数民族と中国社会の統合
第十回（６月18日） 「一人っ子」政策と人口問題
第十一回（６月25日） 大学と中国の教育問題
第十二回（７月２日） 都市化と農村社会の問題
第十三回（７月９日） 開発と環境問題
第十四回（7月16日） 中国の最新出来事
第十五回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席（無断欠席4回は不可,出席状況も評価の内容）
レポート（小論文、参考文献と注）
平常点（講義後の討論に積極的な質問、発言を高く評価する）

備考　映像・画像資料なども使用

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究:ドイツ		
科目キー	2800006013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	近藤　武		

副題

授業概要　ドイツは、第2次大戦前にはナチスによる戦時統制経済、戦後には資本主義と社会主義と言う二つの全く異なった経済体制が併存した珍しい高度先進国である。授業ではナチス経済の性格と問題点を論じた後、西独の資本主義（社会的市場経済）と東独の社会主義との両経済体制の相違を理論的に説明するとともに、その成立、発展を歴史的に講義する。社会主義の崩壊は重大な歴史的事件であったが、どんな欠陥が内在していたかを説明し、両独の統一と経済体制の市場経済化について触れる。最後にドイツ経済とEUについて言及する。

シラバス

第　1回　4月　8日　ドイツ経済の特徴
第　2回　4月15日　価格機構と政治・社会
第　3回　4月22日　自由主義（レッセフェール）
第　4回　4月29日　自由主義社会の明暗
第　5回　5月13日　自由主義と大恐慌（レッセ・フェールの終焉）
第　6回　5月20日　レッセ・フェールから混合体制へ
第　7回　5月27日　自由経済体制の社会化
第　8回　6月　3日　政治的干渉の拡大
第　9回　6月10日　社会主義思想の誕生
第10回　6月17日　社会主義の実験（革命）
第11回　6月24日　社会主義体制の経済問題画（経済計画の困難）
第12回　7月　1日　社会主義体制の社会・政治問題
第13回　7月　8日　分権化と市場経済の導入。体制崩壊
第14回　7月15日　学力考査および解説
第15回　7月22日　コースナビにて学習した内容の確認

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究:フランス		
科目キー	2800006014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	昼間　賢		

副題　パリ――ある文明の舞台

授業概要　このクラスでは、フランスの首都パリの成り立ちを確認しながら、人間の営みが展開する都市空間の諸問題を考察する。

第一のレベルは、パリに関する基礎知識を共有すること。世界一の観光国であるフランスの首都は、なぜそれほど多くの人を惹きつけてきたのだろうか。「先進国」の首都としては異例の小ささや、それにもかかわらず、地区ごとの際立った多様性や、都市計画のデザイン性などが、漠然と思い浮かぶだろう。

第二のレベルは、その社会性を理解すること。たとえば、整然とした大通りは、専ら都市計画的な「美しさ」のために開かれたのだろうか。「光の都」パリには、工場も、農場も、ゴミ処理場も見られないが、なぜなのか。世界中の民族がひしめきあう街で、社会という共通項を維持するにはどうしたらよいのか。

最終的な目標は、講師の人文学的な視点によって受講者の理工学的な素養がより豊かなものとなることである。

シラバス
第　1回（　9月28日）　オリエンテーション
第　2回（10月　5日）　パリの映像を観る
第　3回（10月12日）　現代のパリ
第　4回（10月19日）　パリの歴史（概説）
第　5回（10月26日）　パリの空間構成
第　6回（11月　2日）　パリを創る政治家たち
第　7回（11月　9日）　パリと照明の関係
第　8回（11月16日）　景観・観光・「博物館化」
第　9回（11月23日）　演習（小テストを含む）
第10回（11月30日）　フランスの「郊外問題」
第11回（12月　7日）　郊外の映像を観る
第12回（12月14日）　「郊外問題」に対する取り組み
第13回（12月21日）　都市と新しいアートの形
第14回（　1月18日）　「グラン・パリ」計画の進展
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　主なものは以下の三点。

石井洋二郎『パリ　都市の記憶を探る』（ちくま新書）
ミシェル・パンソン『パリの万華鏡　多彩な街の履歴書』（原書房）
石井リーサ明理『都市と光　照らされたパリ』（水曜社）

この他は教場で提示する。

評価方法　平常点（出席＋小テスト1回の結果）＋学力考査

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究:ロシア		
科目キー	2800006016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	桜井　厚二		

副題　ロシアン・ストーリーの現在

授業概要　ロシアは中世・近代・現代にかけて、国家の形態と宗教文化を様々に変遷させながら今日ある形に至っています。その中でもロシア独特の宗派「ロシア正教」や19世紀に黄金期を迎えた諸芸術によって、普遍的で高尚な「ロシア」のイメージが形成されていますが、この授業ではあえて、時代の変動とともに絶えず不安定に揺れ動いてきた通俗的な「ロシア」のイメージの方に重点を置き、とりわけ物語文化に着目します。

具体的には、ロシアと外敵との抗争、国内の混迷など「内憂外患」を描いた時事的な物語や、素朴でややご都合主義的なヒーロー物語など、必ずしも高尚芸術の域にまで昇華されきっていない「世俗文化」として消費されている、ありがちで陳腐な、いわゆる「ベタ」なお話の数々です。

イワン雷帝の栄光と恐怖、タタール人の野蛮、上流貴族の退廃などを描いた物語は、20世紀にはスターリン、ナチス・ドイツ、資本主義者などに取って代わり、さらに現代では時事的風刺やTV映画のキャラクターに踏襲されるなど、軽薄ながらもある意味では普遍性のあるストーリーの題材となっています。それらは「ロシア」の自意識や価値観の、素朴な表象として眺めることができるでしょう。

この授業ではこのような古代から現代までの、ロシアの「ベタ」なお話の数々を紹介するとともに、適時トルストイの文学やムソルグスキーのオペラといった「高尚」なお話や周辺諸国の類例、現代ロシア社会の世相と対照し、ロシア文化の「自分語り」を手掛かりに、イメージの集合体としての「ロシア」の理解をめざします。

シラバス
第1回(9月28日)「ロシア」をめぐるステレオタイプあれこれ
第2回(10月 5日) キエフ公国時代の自意識:『イーゴリ公遠征記』
第3回(10月12日) 歴代皇帝像と列伝ドラマ
第4回(10月19日) 偽皇帝伝説:『ボリス・ゴドゥノフ』『女帝エカテリーナ』
第5回(10月26日)『戦争と平和』『コーカサスの虜』:19世紀ロシアの「外患」文学
第6回(11月 2日) 19世紀ロシアの「内憂」文学あれこれ
第7回(11月 9日) ロシア革命とヒーロー伝説
第8回(11月16日) 対ナチス・ドイツの聖戦神話(1):スターリン崇拝の見本例
第9回(11月23日) 対ナチス・ドイツの聖戦神話(2):殉国の物語
第10回　(11月30日) 対ナチス・ドイツの聖戦神話(3):外から見た殉国物語
第11回(12月 7日) 東西冷戦時代の愛国ヒーロー像
第12回(12月14日)『士官たち』と『007』:東西融和時代のヒーロー像
第13回(12月21日) ソ連崩壊後の「混迷」ストーリー
第14回(1月18日) 現代ロシアTV映画のマッチョ主義
第15回(日程別途指示) 授業理解の確認。確認方法は授業中に指示する。

教科書　毎回参考資料のプリントを配布します。

参考文献

評価方法　コメントカード＋レポート

備考　毎回授業時にコメントカード用の用紙を配布しますので，授業の最後の10から15分を使って，授業中に扱われたテーマついての簡単な感想や質問を書いて提出してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究:アフリカ		
科目キー	2800006017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高林　敏之		

副題　現代アフリカ政治史

授業概要　日本におけるアフリカのイメージは、紛争、貧困などの悲劇や、自然の事物などに画一化される傾向が強い。しかし、現実のアフリカの様相はきわめて多様であり、また植民地支配の歴史や、20世紀後半における脱植民地化、1990年代以降の政治民主化や紛争解決努力など、現代史における自主性模索の動きを抜きに、その実像を理解することはできない。本講義は、アフリカを「援助の対象」ではなく歴史における主体的アクターとして認識し、アフリカが現在抱える諸問題の背景を理解するために必要な題材を提供し、受講者各自の思考を促すことを目的とする。日本とアフリカの関係についても随時言及する予定である。

シラバス
第1回（10月2日）「アフリカ」とは何か　その定義、多様性（1）
第2回（10月9日）「アフリカ」とは何か　その定義、多様性（2）
第3回（10月16日）「アフリカの歴史」をいかに捉えるか（1）—主体としての歴史
第4回（10月23日）「アフリカの歴史」をいかに捉えるか（2）—抵抗の歴史
第5回（10月30日）植民地支配がアフリカに残したもの（1）—経済的側面
第6回（11月13日）植民地支配がアフリカに残したもの（2）—文化的側面
第7回（11月20日）なぜ「アフリカ統一」が追求されたのか（1）—政治的側面
第8回（11月27日）なぜ「アフリカ統一」が追求されたのか（2）—経済的側面
第9回（12月4日）、独立後アフリカの政治（1）—なぜ「独裁」が広がったのか
第10回（12月11日）独立後アフリカの政治（2）—民主化の努力
第11回（12月18日）アフリカの紛争をいかに捉えるか（1）—それは「民族紛争」か
第12回（1月8日）アフリカの紛争をいかに捉えるか（2）—外部勢力の介入
第13回（1月15日）、アフリカ連合（AU）の努力（1）—紛争解決に向けて
第14回（1月22日）、アフリカ連合（AU）の努力（2）—民主主義の定着に向けて
第15回（別途日程提示）授業理解の確認および質問受付
（授業の進度や現地の情勢により変更の可能性がある。）

教科書　資料を授業中に適宜配布する。

参考文献　以下の書籍の講読を勧める。
・宮本正興・松田素二編『新書アフリカ史』講談社現代新書
・岡倉登志編著『ハンドブック現代アフリカ』明石書店

評価方法　期末レポート、および学期中数回（5回から7回程度を予定。不定期）提出を求めるコメントペーパーによる総合評価。ただしコメントペーパーの提出が皆無、あるいはレポート未提出の場合は無条件で不可とする。

備考　原則としてインターネット情報に安易に依存したレポートは不可とするので注意。詳細な注意事項は初回オリエンテーション、およびレポート告示の際に説明する。

関連URL:　http://www.geocities.jp/viva_saharawi_tt

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究：イスラム圏		
科目キー	2800006018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	青柳　かおる		

副題

授業概要　現代における国際情勢、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考えるとき、イスラムに関する知識は必要不可欠です。この授業では、西暦7世紀に生まれたイスラムの文化を構成するさまざまな要素を、古典時代から現代まで幅広く解説します。一口にイスラム文化と言ってもその範囲は広く、コーラン・ハディース（預言者ムハンマドの言行録）から、文法学・法学・神学・文学・哲学・スーフィズム（イスラム神秘主義）・医学・天文学などの学問分野、さらには現代のイスラム原理主義運動やイスラム教徒の動向までもが含まれます。現代イスラム圏のさまざまな映像も適宜鑑賞予定です。

シラバス

1イスラムに関する文献紹介

2イスラム以前のジャーヒリーヤ時代

3預言者ムハンマドの生涯

4スンナ派とシーア派

5アラビア語

6コーランとハディース

7メッカ大巡礼

8スーフィズム

9ダマスカス旅行DVD鑑賞

10イスラム法

11イスラム原理主義

129．11同時多発テロ事件

13中東の民族と宗教

14中東近現代史

15聖地エルサレム、レポート提出

教科書　教科書は使用せず、プリントを配布します。

参考文献　青柳かおる『面白いほどよくわかるイスラーム――教義・思想から歴史まで』日本文芸社

中村廣治郎『イスラム教入門』岩波書店（岩波新書538）

詳しくは、第1回目の授業で文献リストを配布します。

評価方法　出席点　50%　レポート　50%

レポートでは、イスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して自分の見解を書いていただく予定です。

欠席は3回までとし、欠席回数が4回以上またはレポートを提出しなかった場合は、不合格とします。

なお締切日を過ぎたレポートは受け取りません。

備考

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究:イスラム圏		
科目キー	2800006018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究：東ヨーロッパ		
科目キー	2800006019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　大国にはさまれた東ヨーロッパ諸国は，しばしば民族滅亡の危機に直面しながらも，周辺諸国と交流を深めながら独自の歴史と文化を守り，ヨーロッパにおいて重要な位置を占めてきた。そして今日，これらの諸国はEUに加盟し，政治や経済の分野においてもますます存在意義を高めつつある。戦争や民族対立という苦難を経験したこれらの国々の歴史と伝統は，グローバル化のもたらす諸問題の解決を求められている私たちにも，多くの示唆を与えてくれるだろう。東ヨーロッパ諸国の歴史と文化を映像資料も交えながら学ぶことで，これらの諸国がなおいっそう身近な存在となるように努めたい。

シラバス
第　1回（4月10日）　オリエンテーション
第　2回（4月17日）　東ヨーロッパの特徴（国・民族・言語・宗教）
第　3回（4月24日）　中世の民族王朝の成立と城の建設
第　4回（5月　8日）　中世における王権とキリスト教
第　5回（5月15日）　プラハ大学にみる中世の知的運動
第　6回（5月22日）　チェコ宗教改革運動（中世から近代へ）
第　7回（5月29日）　近代のハプスブルク帝国支配とチェコの民族意識
第　8回（6月　5日）　ポーランド分割と祖国解放運動
第　9回（6月12日）　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回（6月19日）　オーストリアの支配とハンガリー独立運動
第11回（6月26日）　第一次世界大戦後のチェコスロヴァキアの独立と文化人
第12回（7月　3日）　ナチス・ドイツの侵攻と東ヨーロッパ
第13回（7月10日）　社会主義体制と文化人
第14回（7月17日）　旧ユーゴスラヴィア解体にみる東欧革命のゆくえ
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説

教科書　レジュメを配付

参考文献　授業中に参考文献を指示

評価方法　平常点，レポート，試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には，単位の取得は認められません。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究：中南米		
科目キー	2800006020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山本　昭代		

副題

授業概要　経済のグローバル化や国境を超えた人の移動が急速に進展し、またその一方で地域統合が進められるなど、ラテンアメリカ地域は近年、複雑で活発な動向を見せている。この地域は、西欧による征服という歴史的共通性をもつ一方で、その後の歴史的な展開や社会的･文化的な状況は、国や地域、さらにはそれぞれの地域内のエスニシティ集団や社会階層によっても、非常に多様性に富んでいる。本講義では、この地域の政治的･社会的･歴史的な概況をとらえるとともに、具体的な事例をもとに、その重層的な社会と文化の一端に触れ、ラテンアメリカ地域に対する総合的な視点の形成を目指す。

シラバス
1回(4月8日) オリエンテーション
2回(4月15日) ラテンアメリカの概要
3回(4月22日) ラテンアメリカの歴史
4回(4月29日)ラテンアメリカの政治
5回(5月13日) ラテンアメリカの経済
6回(5月20日) ラテンアメリカの社会
7回(5月27日) ラテンアメリカの文化
8回(6月3日) メキシコ
9回(6月10日) 中米諸国
10回(6月17日) カリブ海地域
11回(6月24日) アンデス諸国
12回(7月1日) ラプラタ地域
13回(7月8日) ブラジル
14回(7月15日) 日本とラテンアメリカ
15回(7月22日) ラテンアメリカ研究の課題

教科書

参考文献　『ラテンアメリカ研究への招待』(改定新版) 国本伊代・中川文雄著、新評論
『講座 世界の先住民族― ファーストピープルズの現在 中米・カリブ海、南米』綾部恒雄監修、明石書店

評価方法　授業に関連した短いレポート(A41枚程度)を計4回課し、これと授業への参加度によって評価する。レポートのテーマは授業中に指示する。期末試験は行わない。レポートの書き方については第1回の講義で指示する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地域研究:英語文化圏		
科目キー	2800006021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松本　佳穂子		

副題

授業概要　グローバルなIT時代の到来に伴い、英語は世界共通語としての地位を高めつつある。本講義では、英語帝国主義といわれる程の影響力を持つに至った言語を使用する英語圏に焦点をあてる。英語圏には、英語を母語とする地域と英語を第二言語或いは公用語とする地域があり、そこでは異なる特徴を備えた様々な英語が話されている。多様な地域英語(変種)が生まれた背景について、歴史、言語、文化、政治、経済の各方面から考察する。同時に、話者の社会的地位、年齢、性別、エスニシティーなどの文化的、社会的要因が実際のコミュニケーションにどのように作用しているかにも注目する。

シラバス
・ 第1 - 2講
言語と文化的、社会的要素の関係について
・ 第3 - 4講
世界の様々な英語について概説
・ 第5 - 12講
英語の変種について(毎回1、2種類を取り上げ、音声や映像による例を使いながら詳しく解説する)
・ 第13 - 最終講
学生による発表と議論

教科書　Englishes of the World (Judy　Yoneoka、Jun Arimoto著)三修社

参考文献　参考書は各自の発表と最終レポートに役立つものを随時クラスで紹介する。

評価方法　クラスでの発表、最終レポート、平常点による総合評価とする。

備考　一方的な講義形式ではなく、グループ活動や議論をできるだけ取り入れて行くので、積極的な参加を期待する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (1)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題　音楽で学ぶドイツ語

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識をもった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての理解を深めることがめざされる。

この講義ではドイツの音楽シーンを通じ、ドイツ語を学んでいきます。クラウトロック（ジャーマンロック）、フォーク、シュラーガー(ポップス)、民謡、歌曲・・・ドイツのさまざまな音楽を実際に聴いて、歌詞の意味を理解し、そこから日常会話で使える表現を練習していきます。

講義で扱うアーティスト(ドイツのポップグループ、ロックバンド、シンガーソングライターなど)の情報を入手できるURL情報も提供していきます。

Die Materialien für den Unterricht (Texte, Hausaufgabenblätter usw.) können die Teilnehmer von der Homepage des 国際文化領域ドイツ語教室 herunterladen. In der ersten Unterrichtsstunde werden Informationen dazu gegeben.

シラバス　1回目
Einführung und Orientierung （授業全体の説明、成績評価方法）
Unterrichtsmethode: まず曲を聴き、歌詞に登場する重要な単語に注目し、語彙を増やします。新しい表現を学習し、意味を理解して、実際に使用する練習を行います。歌の内容について語り合い、それに関連するテーマについて、ドイツ語で話す練習をします。たとえば、生活、友情、恋愛、仕事、社会問題、将来など、現代のドイツの若者、そして私たちがどのように考えているのか、共通点や相違点について議論していきたいと考えています。

歌の原語テキストと、歌手に関する情報はあらかじめ配布しますので、事前に歌詞に目を通しておくことができます。曲の内容に沿った練習問題で、学習した事柄を復習します。

2回目
The Beatles "I want to hold your hand"のドイツ語版："Komm, gib mir deine Hand".
■Beatlesに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Komm, gib mir deine Hand!"を聴く。

3回目
■語彙の確認
■復習する文法項目：命令形・不規則動詞・形容詞
■文法の練習
■会話の練習

4回目
Rammstein（ドイツの代表的なロックグループ）の"Ich will".
■Rammsteinに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Ich will"を聴く。

5回目
■語彙の確認
■復習する文法項目：話法の助動詞・人称代名詞
■文法の練習
■会話の練習

6回目
ポップス・シンガーJuliane Werdingの"Ich vergess dich"
■Juliane Werdingに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Ich vergess dich"を聴く。

7回目
■語彙の確認

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (1)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

■復習する文法項目：vergessenの使い方・時間を表す表現・頻度を表す表現・程度を表す表現
■文法の練習
■会話の練習

8回目
人気ロック・グループTokio Hotelの"Durch den Monsun"
■Tokio Hotelに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Durch den Monsun"を聴く。

9回目
■語彙の確認
■復習する文法項目：形容詞の使い方・前置詞
■文法の練習
■会話の練習

10回目
Schandmaul（中世ロック）の"Dein Anblick"
■ドイツの中世や中世の音楽に関するドイツ語のテキストを読む。
■"Dein Anblick"を聴く。

11回目
■語彙の確認
■復習する文法項目：形容詞の語尾変化・接続法第1式・接続法第2式
■文法の練習
■会話の練習

12回目
ロック・シンガーHerbert Groenemeyerの"Mensch"
■Herbert Groenemeyerに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Mensch"を聴く。

13回目
■語彙の確認
■復習する文法項目：副文・接続詞
■文法の練習
■会話の練習

14回目
学力考査と解説

15回目
コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低2年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

担当教員連絡先：W. シュレヒト（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP（http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (1)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (2)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語中級IIA、中級IIB、ドイツ語上級を履修,、または同程度のドイツ語レベルの者を対象とする科目である。これまでに学んだ基礎をもとに、さらに文法運用能力を高め、語彙を確実に増やして、応用力をつけていく。また、同時にドイツ語圏文化に関するドイツ語テキストを読み、知識を深める。

シラバス　講読テキストについては初回授業で相談し、第2回目から講読演習の時間をとります。

第1回　オリエンテーション、レベル診断
＜Schritte 3. Lektion 1: Kennenlernen ＞
第2回　感情の表現
第3回　旅の経験を報告する（分離動詞のPerfekt）
第4回　旅の経験を報告する（非分離動詞のPerfekt）
第5回　親族関係・ヒアリング
＜Schritte 3. Lektion 2: Zu Hause＞
第6回　場所を表す前置詞
第7回　Dativ・Akksativとともに用いる前置詞
第8回　raus と rein
第9回　メッセージを読む、書く
＜Schritte 3. Lektion 3: Guten Apetit! ＞
第10回　頻度を表す言葉
第11回　家事に関する表現
第12回　レストランでの会話
第13回　ドイツのファーストフード。招待を受けたときの表現。

第14回　理解度の確認
第15回　コースナビにて学習内容の点検

教科書　Schritte international 3（購入方法は初回の授業で相談）
使用資料は授業中に指示

参考文献　独和辞典が必要

評価方法　平常点、課題

備考　初回の授業の時に、参加者のドイツ語力に応じた授業進度・レベルを決定する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (3)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題　Deutsch lernen mit aktuellen Podcasts und Texten

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識をもった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての理解を深めることがめざされる。

Im Mittelpunkt dieses Unterrichts steht die Ausbildung des Lese- und Hörverstaendnisses. Um dieses Ziel zu erreichen, werden aktuelle Themen behandelt, die für beide Laender – also Japan und Deutschland – gleichermassen relevant sind.

Die zu behandelnden Texte werden inhaltlich analysiert, neue Wörter, Ausdrücke und Wendungen werden herausgearbeitet und mittels praktischer Übungen gefestigt. Die Texte stammen hauptsächlich aus Zeitungen, Zeitschriften und wissenschaftlichen Publikationen. Für das Hörverstaendnis werden vor allem Audio- und Video-Podcasts verwendet. Da es sich um jeweils ganz aktuelle Themen handelt, koennen sich Aenderungen bei der im Unterrichtsablauf (授業計画) angegebenen Themen und Vorgehensweisen ergeben.

Die Materialien für den Unterricht (Texte, Hausaufgabenblätter usw.) können die Teilnehmer von der Homepage des 国際文化領域ドイツ語教室 herunterladen. In der ersten Unterrichtsstunde werden Informationen dazu gegeben.

シラバス

1回目
Einführung und Orientierung (授業全体の説明、成績評価方法)

2回目
Hörverstaendnis zum Thema Beziehungen zwischen Japan und Deutschland.

3回目
Übungen zum Wortschatz des Themas im vorangegangenen Unterricht.

4回目
Podcast (Video) zum Thema: "Das Image der Deutschen im Ausland."

5回目
Übungen zum Wortschatz des Themas im vorangegangenen Unterricht.

6回目
Präsentation (auf Deutsch) der Teilnehmer zum Thema "Deutschlandbild der Japaner"

7回目
Podcast (Video) zu den Essgewohnheiten der Deutschen.

8回目
Übungen zum Wortschatz des Themas im vorangegangenen Unterricht.

9回目
Präsentation (auf Deutsch) der Teilnehmer zum Thema "Alltag in Japan".

10回目
Aktuelle deutsche Nachrichten (Fernsehen, Rundfunk, Zeitung) anhand von Podcasts (Video, Hörverständnis, Lesetext).

11回目
Übungen zum Wortschatz des Themas im vorangegangenen Unterricht und zur neu gelernten Grammatik..

12回目
Kürzere literarische Texte (Erzählung oder Gedicht).

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (3)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

13回目
Übungen zu den Texten im vorangegangenen Unterricht, die vor allem den neuen Wortschatz festigen sollen.

14回目
学力考査と解説

15回目
コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低2年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

担当教員連絡先：W. シュレヒト (schlecht@waseda.jp)

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP（http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (4)		
科目キー	2800006022		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識をもった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての理解を深めることがめざされる。

シラバス　教材 Schritte international 3 に従って、以下の順に進めていく予定ですが、受講者の興味によってテーマや教材を変更することも考えます。

第1回　Lektion 1. 1
　人との関わり方
第2回　Lektion 1. 2
　ドイツの街
第3回　Lektion 2. 1
　ゴミの分別法
第4回　Lektion 2. 2
　ウィーンの建物
第5回　Lektion 3. 1
　食文化について
第6回　Lektion 3. 2
　焼き菓子
第7回　Lektion 4. 1
　職業生活
第8回　Lektion 4. 2
　余暇の過ごし方
第9回　Lektion 5. 1
　スポーツ
第10回　Lektion 5. 2
　登山
第11回　Lektion 6. 1
　教育とキャリア
第12回　Lektion 6. 2
　舞踊
第13回　Lektion 7. 1
　風習としての贈り物
第14回　Lektion 7. 2
　祝い事
第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　教場で資料を配付する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と期末レポート。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語圏文化論 (1)		
科目キー	2800006024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　このクラスでは基礎的なフランス語の知識を使ってフランスの地理、歴史、歴史遺産、特産物、料理などについての平易な文章を読んだりビデオを見たりしながら、フランスとその文化について学びつつ、フランス語の基礎的知識の復習と拡充もはかります。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　フランスの地理（1）
第3回　フランスの地理（2）
第4回　フランスの歴史（1）
第5回　フランスの歴史（2）
第6回　フランスの歴史（3）
第7回　フランスの地方とその文化（1）
第8回　フランスの地方とその文化（2）
第9回　フランスの地方とその文化（3）
第10回　フランスの地方とその文化（4）
第11回　フランスの地方とその文化（5）
第12回　フランスの地方とその文化（6）
第13回　フランスの地方とその文化（7）
第14回　フランスの地方とその文化（8）
第15回　学力考査および解説

教科書　プリント配布

参考文献　折に触れて授業中に紹介する

評価方法　学期末試験および平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フランス語圏文化論 (2)		
科目キー	2800006024		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題　フランス語を学び続けて、さらに世界を広げよう

授業概要　この授業では、文学固有のフランス語というよりも、フランスで日常普通に使われている明快で正統的なフランス語を学びます。フランスの文化やフランス人の習慣、フランスで接する機会の多い事柄をテーマにした文章を、味わうようにして急がずに無理のないペースで読み進めて行きます。進行中、必要であればフランス語文法を復習する時間を織り交ぜましょう。もし希望者がいれば、そのひとには個別に練習問題を課して仏検4級3級2級受験対策を講じたり、仏文和訳の添削問題を出したりすることも厭いません。
　また、授業の合間には関連のあるビデオやDVD、あるいは映画を見たり、季節にあったシャンソンを聞いたりもしましょう。たとえば、晩秋には「枯葉」、クリスマスが近づいたら「きよしこの夜」というように。映画や展覧会の紹介も積極的に行うつもりです。皆さんは「コーラス」という邦題のフランス映画（2004年の作品）は見ましたか。ぜひお勧めします。歌声もすばらしい、秀逸な映画です。

シラバス　皆さんの希望に沿って指定教科書からテーマを選びます。

第　1回（10月　1日）オリエンテーション
第　2回（10月　8日）テーマ1の仏文読解と解説　その1
第　3回（10月15日）テーマ1の仏文読解と解説　その2
第　4回（10月29日）テーマ1の仏文読解と解説　その3
第　5回（11月　5日）テーマ2の仏文読解と解説　その1
第　6回（11月12日）テーマ2の仏文読解と解説　その2
第　7回（11月19日）テーマ2の仏文読解と解説　その3
第　8回（11月26日）授業の理解度確認、仏文化及び仏文法関連事項補足
第　9回（12月　3日）テーマ3の仏文読解と解説　その1
第10回（12月10日）テーマ3の仏文読解と解説　その2
第11回（12月17日）テーマ3の仏文読解と解説　その3
第12回（　1月　7日）テーマ4の仏文読解と解説　その1
第13回（　1月14日）テーマ4の仏文読解と解説　その2
第14回（　1月21日）テーマ4の仏文読解と解説　その3
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　『心に映るフランス』 永野クリスティーヌ／安西記世子著　朝日出版社刊　定価1995円（本体1900円＋税） 本学生協理工店で購入してください。

参考文献　種々ありますので授業の中で適宜、紹介します。

評価方法　期末試験の成績に普段の出席状況や学習姿勢（平常点）等を加味して総合的に評価します。

備考　教室では前方の席から座って下さい。これは、双方向の授業にしたいからです。きちんきちんと授業に出て、無用な遠慮なくどんどん発言し、授業に積極的に参加することが大切です。まず例外なく、成績は出席状況の良しあしの反映になっているものです。出席を特に重視するのではありませんが、全授業時間数の3分の2以上の出席が単位取得の最低条件です。正当な止むを得ない理由で何週も連続して欠席する（あるいは欠席した）場合は、事前に（あるいは事後すぐに）必ず私に知らせてください。リラックスして、しかし適度の緊張感をもって授業に臨んでください。
楽しい授業にしたいです。
　この半期でフランス語がさらに好きになって、フランス語、さらにはフランスやフランス文化への関心をさらに高めてください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (1)		
科目キー	2800006026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　今日、日本の新聞・テレビ等のマスコミに中国に関するニュースがでない日はない。
しかし、隣人である中国について、我々は十分な理解を持っているのだろうか。
本講座においては、中国語の基礎を学んだ学生諸君を対象として、ピンイン、分かち書きのない新聞記事が読めるように、中国語のレベルアップを図りながら、より深い中国への理解を目指してし、中国語で中国の新聞記事を読み進めていく。
辞書必携。
関心のある学生諸君の受講を期待したい。

シラバス　第1回　オリエンテーション　ピンイン確認　声調確認　辞書の引き方
第2回　新聞を読むための文法確認1　連動文　使役文　受身文　存現文　ba構文　是…的構文など確認
第3回　新聞を読むための文法確認2　主な介詞　主な副詞　アスペクト(完了・経験・進行・持続など)の確認
第4回　オリンピックその後
第5回　オリンピックその後
第6回　科学技術　青蔵鉄道
第7回　科学技術　青蔵鉄道
第8回　大学生活
第9回　大学生活
第10回　出稼ぎ　農民工
第11回　出稼ぎ　農民工
第12回　マスコミ事情
第13回　マスコミ事情
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する

教科書　新聞記事を用意する
辞書必携

参考文献

評価方法　出席、授業への取り組み、期末試験なを総合的に評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (2)		
科目キー	2800006026		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　最近の中国語圏は急激な変化を見せている。コンピューターの普及、インターネットの社会への浸透により、中国語圏の言語と文化が大きく変化している。毎年の流行語の上位を占めているのは、非漢字的なものが多い。時代を映す、新語・流行語を知ることは、今の中国語圏の姿を知る一番の近道です。
1978年中国改革開放以来の新語・流行語を中心に勉強する。1年間で30年分の中国語圏の言語と文化の動きを見ていきます。そして前期は1990年代までを中心とする予定です。
授業運営は講義形式を中心とする。途中、映像資料を用いた解説などを挟む予定。

シラバス　第一セッション　中国語圏の基礎的な知識(1)
まず三週間を使い、中国語圏について基礎的な知識を学ぶ。
1回目(1)オリェンテーション
2回目(2)中国文明の基本空間
3回目(3)中国人と中国語
4回目(4)中国語圏の地域構造
第二セッション　年代別の新語・流行語
5回目(5)中国改革開放以前の流行語概論
6回目(6)1950年代
7回目(7)1960年代
8回目(8)1970年代前半
9回目(9)1970年代後半
10回目(10)1980年代前半
11回目(11)1980年代後半
12回目(12)1990年代前半
13回目(13)1990年代後半
14回目(14)学力考査および解説
15回目(15)授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

■到達目標
授業の内容から、受講生の自発的な参加が重要となる。発表の際も資料集めや、討論の際も内容についての知識も必要となる。新しい知識は勿論のこと、情報収集の能力や、分析力も養うことが出来る。

教科書　特に使用しない。

参考文献　■参考書　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法　授業への参加30%
日常点(小テスト・課題等)40%
その他30%出席回数

備考　■履修上のアドバイス
(1)授業への参加を重視する。教室で他の履修者とともに作業をすることが重要になる。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)毎回授業を受ける前に予習・準備を必要とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (3)		
科目キー	2800006026		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　今日、日本の新聞・テレビ等のマスコミに中国に関するニュースがでない日はない。
しかし、隣人である中国について、我々は十分な理解を持っているのだろうか。
本講座においては、中国語の基礎を学んだ学生諸君を対象として、ピンイン、分かち書きのない新聞記事が読めるように、中国語のレベルアップを図りながら、より深い中国への理解を目指してし、中国語で中国の新聞記事を読み進めていく。
辞書必携。
関心のある学生諸君の受講を期待したい。

シラバス　第1回　オリエンテーション　ピンイン確認　声調確認　辞書の引き方
第2回　新聞を読むための文法確認1　連動文　使役文　受身文　存現文　ba構文　是…的構文など確認
第3回　新聞を読むための文法確認2　主な介詞　主な副詞　アスペクト(完了・経験・進行・持続など)の確認
第4回　中国の1年　年間行事　休日祝日
第5回　中国の1年　年間行事　休日祝日
第6回　海外旅行
第7回　海外旅行
第8回　民族問題
第9回　民族問題
第10回　旧正月と爆竹
第11回　旧正月と爆竹
第12回　ネット上の議論
第13回　ネット上の議論
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する

教科書　新聞記事を用意する
辞書必携

参考文献

評価方法　出席、授業への取り組み、期末試験などを総合的に評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (4)		
科目キー	2800006026		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　最近の中国語圏は急激な変化を見せている。コンピューターの普及、インターネットの社会への浸透により、中国語圏の言語と文化が大きく変化している。毎年の流行語の上位を占めているのは、非漢字的なものが多い。時代を映す、新語・流行語を知ることは、今の中国語圏の姿を知る一番の近道です。
1978年中国改革開放以来の新語・流行語を中心に勉強する。前半は基本的には毎週1回の授業ごとに10年間の動きを見ていきます。後半は基本的には毎週1回の授業ごとに2年間の動きを見ていきます。
授業運営は講義形式を中心とする。途中、映像資料を用いた解説などを挟む予定。

シラバス　第一セッション　中国語圏の基礎的な知識
1回目オリエンテーション
2回目中国語圏文化の基本形態
第二セッション　年代別の新語・流行語
3回目1950年代
4回目1960年代
5回目1970年代
6回目1980年代
7回目1990年代前半
8回目1990年代後半
第三セッション　2000年以後の新語・流行語
9回目2001-2年
10回目2003-4年
11回目2005-6年
12回目2007-8年
13回目2009-10年
14回目学力考査および解説
15回目授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

■到達目標
授業の内容から、受講生の自発的な参加が重要となる。発表の際も資料集めや、討論の際も内容についての知識も必要となる。新しい知識は勿論のこと、情報収集の能力や、分析力も養うことが出来る。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　レポート40%
日常点（小テスト・課題等）30%
その他（出席回数）30%

備考　■履修上のアドバイス
(1)授業への参加を重視する。教室で他の履修者とともに作業をすることが重要になる。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	古代ギリシア文化と現代		
科目キー	2800006030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	土屋　睦廣 兼利　琢也	屋敷　紘一	但田　栄

副題

授業概要

古代ギリシア世界は西洋文化の母胎であり、したがって、西洋の文化や制度の支配的な影響下で生きる現代の我々にとっても、それはけっして無縁ではない。ヨーロッパの知的伝統の根幹をなしてきた哲学は古代ギリシアに誕生し、プラトンやアリストテレスはじめとする古代の哲学者たちの思索は現代でもその意義を失っていない。

今日の世界を支える科学技術文明は、直接には17世紀にヨーロッパで成立した近代科学の産物だが、それとてもギリシアにおいて生まれ育った古代の数学と科学の成果なしにはありえなかった。そもそも西洋の学問は、すべからくその源を古代ギリシアに負っていると言っても過言ではない。もちろん学問ばかりではない。たとえば、ギリシア神話とそれを題材とした古代の文学と美術は、後の西洋の文学・美術・音楽・演劇に計り知れない影響を与え、その輝きは今日でも色褪せることがない。

古代ギリシアはいつの時代にも文化的創造力を提供してきた。西洋思想のもう一つの源泉であるキリスト教も、ギリシア思想との相克の中でみずからの神学を形成した。イスラム世界もギリシアから多くを学ぶことによって独自の文化を発展させた。本講義では、このように豊穣な古代ギリシアの思想と文化について、いくつかのテーマを設定して、それらをたんなる過去の遺物としてではなく、現代との関わりを踏まえて、多角的に、わかりやすく解説する。それらよって、西洋の文化をより深く理解することができるとともに、現代の問題を批判的に考察するための視点をも提供できればと考えている。

シラバス

第1回（10月1日）：科学の始まり（ミレトス派とアナクシマンドロスの宇宙論）ー土屋睦廣

第2回（10月8日）：数学と自然研究（ピュタゴラス派の数学的神秘主義）ー土屋睦廣

第3回（10月15日）：天文学の発展（数学的精密化と哲学的基礎付け）ー土屋睦廣

第4回（10月29日）：医学の誕生と発展（ヒッポクラテスとガレノス）ー土屋睦廣

第5回（11月5日）：応用技術の発展（アレクサンドリアの機械学）・ギリシア科学の衰退と継承ー土屋睦廣

第6回（11月12日）：ヘシオドス『神統記』からのウラノス、クロノス、ゼウスの治世の考察ー屋敷紘一

第7回（11月19日）：ヘシオドス『仕事と日』からの人間の五時代説とプラトンー屋敷紘一

第8回（11月26日）：『古事記』の中の日本神話と本居宣長の神道論ー屋敷紘一

第9回（12月3日）：ギリシア神話と日本神話との比較からみた現代日本人の心性ー屋敷紘一

第10回（12月10日）：オイディプース伝説：古典古代での異伝ー兼利琢也

第11回（12月17日）：ソポクレース『オイディプース王』：ギリシア悲劇とその解釈ー兼利琢也

第12回（1月7日）：セネカ『オエディプース』：ローマ悲劇での変容ー兼利琢也

第13回（1月14日）：中世から近代までの主題と古典需要の変遷ー兼利琢也

第14回（1月21日）：神話学における各種の解釈とその現代的意義ー兼利琢也

第15回（日程別途指示）：学力考査および解説ー但田栄

以上

教科書

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	古代ギリシア文化と現代		
科目キー	2800006030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

評価方法　●出席は全体の3分の2以上とします。

●期末試験では、各先生がそれぞれの講義内容に応じた問題を出します。
問題は3問あることになります。受講者はいずれの設問にも解答する
こと。最終評価は、各先生の点数を同値とし、最終的な総合点を出します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　綾部		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　石倉		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会学の基本的な考え方を身につけるために、社会学の基本文献および卒業論文の作成に向け、参加者の関心に即した文献の輪読を行なう。
各回の担当者が文献の報告を行ない、担当教員が、適宜解説を加える。

シラバス
[第1回]:オリエンテーション
[第2回]:文献購読(1)
[第3回]:文献購読(2)
[第4回]:文献購読(3)
[第5回]:文献購読(4)
[第6回]:文献購読(5)
[第7回]:文献購読(6)
[第8回]:文献購読(7)
[第9回]:文献購読(8)
[第10回]:文献購読(9)
[第11回]:文献購読(10)
[第12回]:文献購読(11)
[第13回]:文献購読(12)
[第14回]:文献購読(13)
[第15回]:理解の確認を行なう。確認方法は演習中に指示する。

教科書　適宜演習中に指示する。

参考文献　適宜演習中に指示する。

評価方法　文献報告や、演習での議論への参加の程度によって評価を行なう。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　篠崎		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　各人の関心のあるテーマに基づき、発表形式で進める。

シラバス
第01回 (10月01日):基礎演習の目的と概略
第02回 (10月08日):演習発表 (1)
第03回 (10月15日):演習発表 (2)
第04回 (10月29日):演習発表 (3)
第05回 (11月05日):演習発表 (4)
第06回 (11月12日):演習発表 (5)
第07回 (11月19日):演習発表 (6)
第08回 (11月26日):演習発表 (7)
第09回 (12月03日):演習発表 (8)
第10回 (12月10日):演習発表 (9)
第11回 (12月17日):演習発表 (10)
第12回 (01月07日):演習発表 (11)
第13回 (01月14日):演習発表 (12)
第14回 (01月21日):演習発表 (13)
第15回 (01月28日):演習発表 (14)

教科書　特に指定しない。

参考文献　特に指定しない。

評価方法　基礎演習への参加態度に基づき評価する。

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　三友		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	三友　仁志		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　村山		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　社会工学は、社会を一つのシステムとして捉え社会問題を解決するソフトなテクノロジーを開発する学問領域であり、計画策定や政策立案を通じて問題解決の有用なツールとなりつつある。本演習では、特に様々なリスク問題を中心にこの領域の基礎文献を輪読するとともに、研究を進めるために必要となる調査の方法や多変量解析などの統計分析手法、関連する社会科学の諸分野に位置づけられる基礎的な文献を読み進める。

シラバス　社会工学関連の基礎的な文献を輪読するとともに、ヒアリングやアンケートなどの社会調査手法、データ処理のための統計解析手法の基礎を学ぶ。また、参加学生の関心に応じて社会学や法律学、経済学、政治学、教育学などの関連する社会科学分野の文献を取り上げ、報告を通じて討論する。

【学生へのメッセージ】

このため、(1)対象とするリスクがもたらす被害レベルの情報収集、(2)講じるべき施策を決定するための判断材料の作成、(3)リスクに関わる人々の意向を組み入れながら施策を決定する計画手法の検討、という3点について検討していきたい。特に第3の側面については、対象とするリスクが人々に致命的な被害を与える場合、様々な立場にある人々の間でどのような方法を用いて情報を交流させることが有効かつ公正であるかが極めて重要な課題である。

教科書　『講座社会学　12　環境』
船橋・飯島編
東京大学出版会、1998年
『環境リスク管理の新たな手法』
山崎・佐藤訳
化学工業日報社、1998年　など

参考文献

評価方法　輪読における各自の発表とともに期末のレポートによって基本的な評価を行う。

備考　教員連絡先
村山武彦（tmura@waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　森		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	森　康晃		

副題　知的財産（特許、著作権等）、産学連携、国際産業協力をテーマとするゼミナール

授業概要　原則として、3年から複合領域コースに進学した学生、及び4年から複合領域コースに進学したいと考えている学生が選択するゼミナールである。
　具体的には、知的財産（特許、著作権、ビジネスモデル、ノウハウ等）に関する基礎的な考察を行い、ケーススタディを通じて知的財産について考えていく。
　知的財産とともに、産学連携、産業政策、国際産業協力についても併せてゼミナールの対象とする。
シラバス（授業計画） ナノ・IT・バイオ知財経営に関し、創造・保護・活用のサイクルを学び、各自の興味ある分野について問題点を掘り下げる。産学連携についても同様にテーマとする。
特許や著作権などの知的財産権をいかにして権利化し、また活用していくか、学生生活の身近な製品やサービスをベースとして基礎的に考える力を養う。また、産学連携活動として、伝統工芸品の技術革新をテーマに、地方自治体と連携した調査やセミナーでの発表も行っている。（2007年　台東区との連携「伝統工芸品と知財」セミナー
　http://www.waseda.jp/sem-morizemi/nittei.html）

　本科目で森康晃研究室での基礎演習希望者は、従来から弁理士志望や企業の知財部、国家公務員・地方公務員、シンクタンク等の志望者が多いという傾向であった。しかしながら、ただ単に漠然と知的財産を学びたいというのでなく、自分の専門学科の分野との関係や、自分の専門学科との関係は無くとも、希望の際の研究計画書にできるだけ知的財産のうち特にどういう問題やテーマについて興味があるのか、具体的に記載し要点を簡潔に説明できるようにしてもらうことが望ましい。（例：自動車産業における企業の特許分析、半導体やIT産業における企業の特許分析、バイオマスエネルギーと特許分析、バイオ薬品と特許分析、環境リサイクルと特許、デジタルコンテンツ産業と著作権、音楽、映像ビジネスと著作権等）

シラバス　火曜日の5時限に行うこともありうる。

01. オリエンテーション
02. 研究方法、対象について
03. 分野別基礎調査1
04. 分野別基礎調査2
05. 分野別基礎調査3
06. 分野別基礎調査4
07. 分野別基礎調査5
08. 分野別基礎調査6
09. 分野別基礎調査7
10. 分野別基礎調査8
11. 分野別基礎調査9
12. 分野別基礎調査10
13. 分野別基礎調査11
14. 分野別基礎調査12
15. 発表と解説

基礎調査においては、企業知財部や研究所または、弁理士事務所、特許庁を訪問することもある。

教科書　特許庁や文化庁の知財関係のテキスト及び早大創造理工学部・朝日新聞知財センター共同編集『朝日新聞記事に見る知的財産の今（2008年版）』は、森研究室で配布するので、購入する必要は無い。

参考文献　参考文献 テーマに応じその都度紹介する。

評価方法　成績評価方法 レポート・平常点

備考　備考 （参考）理工における知財系科目の学習の進め方

　知財系の科目は、寄附講座の企業等の協力も受けて複数設置されている。研究技術者の立場や権利を守るものとして必要なルールを学ぶためである。弁理士や企業の知財部を将来のキャリアとして考える者は、以下の基礎的な科目と、自分の専門分野等の必要に応じとることができる。また、知財の専門家になるのでなく、研究者・技術者として必要最低限を学ぶ目的ならば、特許関係と著作権関係の基礎的な科目をそれぞれどれか一つでも履修することで理工系の基礎としては十分である。国家・地方公務員や公的団体やシンクタンクなどを志望する学生は、知財系の中でも企業分析ができる科目や産学連携、産業政策についての科目も推奨する。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　森		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上

---

1. 学部生の初歩としては、前期「知的財産と技術経営1」(著作権等の基礎。)、後期「知的財産と技術経営2」(特許、意匠、商標等の産業財産権の基礎。)が、基本となる。これらは、知財検定に準拠し基礎固めを行う。国際的な側面に照点を合わせた後期「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」(海外(米国、欧州、アジア等)知財制度の運用等。一部知財検定に準拠した内容も含まれる。)、特許法の実用例や米国等のベンチャーについても照点を合わせた後期「知的財産と起業」(特許法とベンチャーの基礎)は、関連する知財系の科目として推奨する。

2. 応用編として、IT知財は後期のソニー・マイクロソフト寄附講座「知的財産の創造とイノベーション」、バイオ知財は前期の武田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財の科目は応用編として設けられているが著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。企業の最前線の知財戦略を各企業の方やゲストスピーカーが豊富な実例で解説を行ってくれる。

3. 知財の企業分析を自分で行ってみる力を身につける科目としては、後期「技術革新と産業社会B」がある。この科目は、企業や金融機関の調査部門やシンクタンクの手法も含まれる。オリジナルの特許データベースを用いコンピュータルームでの企業の競争力比較分析をグループ討議の上、発表する形式であり、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編(1年生でも可)である。

4. 著作権については、学生の身近な生活において、音楽と著作権のビジネスについて、後期「国際コンテンツビジネスと著作権」は、ヤマハ、第一興商、朝日新聞社などの音楽、著作権ビジネスの最前線から、音楽製作現場の話や、新聞社見学等のプログラムもとりいれて行う。著作権法の法律の全体像についても解説を行う。(知財検定に準拠するものでなく、音楽産業に関するケーススタディを中心とする。)

5. なお、大学院との併設科目として、国際知財経営論は、少人数で討議形式での企業の戦略分析と併せて、基礎固めとしての知財検定の知識も学ぶ。研究者・技術者として、知財の即戦力を養うことに重点を置く。

(知財と関連して、産学連携、産業政策、イノベーションの科目は、前期及び後期「産学連携、ベンチャー起業の基礎1、2」、前期「産業政策」、前期「技術革新と産業社会A」、前期「バイオイノベーションとベンチャー」が関連科目である。)

関連URL:　関連URL 早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	知財・産業社会政策領域基礎演習　膳場		
科目キー	2800013001		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	膳場　百合子		

副題

授業概要　心理学は、実証的なデータを用いて人間行動や心理を探究する分野である。基礎演習では、心理学の実証研究に必要な一連のスキルを学ぶとともに、学生の興味に応じた研究テーマの文献研究を行っていく。

シラバス　研究スキルについては、研究テーマの探し方、文献研究の方法、仮説の立て方、データを用いた仮説の検証の仕方、結果の報告の仕方、の各ステップについて学んでいく。
学生の興味に応じた文献研究については、そのテーマがなぜ重要なのか、および、そのテーマに関してこれまで何がどこまで分かっていて、何が分かっていないのか、という観点から文献を読み、既存の情報を整理していく。

教科書　アン・サール（著）宮本聡介・渡邊真由美（訳）心理学研究法入門　新曜社

参考文献

評価方法　授業への参加と最終レポートによって評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　秋葉		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　シュレヒト		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	10	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　マルチメディアと語学教育　ードイツ語を中心にー

授業概要　与えられた課題の研究を行いつつ、卒業論文／制作に向けて、テーマを絞っていく。本研究室では、主にマルチメディア教材を使用した語学教育について指導を行う。

中心的な専門領域は、外国語としてのドイツ語（Deutsch als Fremdsprache=DaF）だが、この方法論を使用して、他言語、外国語としての日本語教育も研究テーマとして扱う。

その他、自動翻訳や電子辞書に関連する研究も行っている。

シラバス
01. オリエンテーション
02. 研究テーマの選択方法について
03. 資料収集、検索の方法
04. 課題研究1
05. 課題研究2
06. 参考文献表および発表レジュメの作成1
07. 課題研究の発表と確認1
08. 課題研究の発表と確認2
09. グループ研究
10. 課題研究3
11. 課題研究4
12. 参考文献表および発表レジュメの作成2
13. 課題研究の発表と確認3
14. 課題研究の発表と確認4
15. 総括（まとめ）

教科書　授業中適宜配布。

参考文献　授業中に指示する。

評価方法　レポート（作品を含む）・出席を含む平常点

備考　担当教員連絡先：W. シュレヒト　（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　複合領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac.j

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　塩塚		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	11	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題

授業概要　学生が興味をもつ分野の文献を、教員の指示のもとで読み込み、卒論の核となる問題を探す。

シラバス
第1回:オリエンテーション
第2回:関心分野の画定(1)
第3回:関心分野の画定(2)
第4回:関心分野の画定(3)
第5回:関心分野の画定(4)
第6回:関心分野の画定(5)
第7回:関心分野の画定(6)
第8回:当該分野の基本文献のリストアップ(1)
第9回:当該分野の基本文献のリストアップ(2)
第10回:基本文献の読み込みとその報告(1)
第11回:基本文献の読み込みとその報告(2)
第12回:基本文献の読み込みとその報告(3)
第13回:基本文献の読み込みとその報告(4)
第14回:基本文献の読み込みとその報告(5)
第15回:休暇中の課題の選定

教科書　適宜指示する

参考文献　なし

評価方法　平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　但田		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	12	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　永冨		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	13	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　中村		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	14	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	国際文化領域基礎演習　熊		
科目キー	2800013002		
科目クラスコード	15	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　現代中国は、伝統中国の継続、西洋世界からの衝撃、および現代化の努力などによって形成されてきた。こうした多様で巨大な社会の構造、人々の生活・行動様式、制度、および政治・経済活動を理解するためには多様な側面から考察する必要がある。この演習では、農村社会を中心に、20世紀の中国社会のあり方を探りながら、歴史社会学の方法と理論について基礎的な知識を学ぶ.

履修者の希望に応じて計画を調整することも可能。

シラバス　希望者の関心点と卒論のテーマに応じて著作や論文等を選択することも可能

教科書　例えば
費孝通『中国農村の細密画――ある村の記録　1936-82――』(小島晋治ほか訳、研文出版、1985年)。

参考文献

評価方法　発表とレポートの状況による

備考　【担当教員連絡先等】

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1人見		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1人見		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ファーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ファーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1レイナ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1レイナ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1バーカス		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1バーカス		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ジョンソン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ジョンソン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3レイナ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3レイナ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3大山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3大山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1シェパード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1シェパード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ハドランド		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ハドランド		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1キャンベル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1キャンベル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ヴァジラサーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ヴァジラサーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1マーフィー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1マーフィー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2野邊		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2野邊		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ヴァジラサーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ヴァジラサーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ハドランド		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ハドランド		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2マーフィー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2マーフィー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2キャンベル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2キャンベル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2高橋		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2片山		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2レナード		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2コズウォスキー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2ファーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2ファーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2リトル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2リトル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3ファーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3ファーン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3中野		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3中野		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3マグワイア		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3マグワイア		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3福田		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福田　哲哉		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3福田		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3リトル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3リトル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ホサイン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ホサイン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1モズデル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1モズデル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バーティウム		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バーティウム		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1トゥージー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1トゥージー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1オヒガン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1オヒガン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1グリブル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1グリブル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1サンダーズ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1サンダーズ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4中野		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4中野		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バーティウム		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バーティウム		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4グリブル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4グリブル		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ソルヤ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4レイナ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4レイナ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ホサイン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ホサイン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3ハドランド		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3ハドランド		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3エディソン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3エディソン		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3テイラー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3テイラー		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木6スキーツ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
•Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
•Use different question types to obtain simple information.
•Form simple, accurate, meaningful sentences.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木6スキーツ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Monday, March 30.
•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1オードノフ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	67	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety, and cloning.

Course Goals
• Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
• Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
• Use different question types to obtain simple information.
• Form simple, accurate, meaningful sentences.
• Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
• Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2: Unit 1 – “Community College” Part 1
Lesson 3: Unit 1 – “Community College” Part 2
Lesson 4: Unit 2 – “Hospice” Part 1
Lesson 5: Unit 2 – “Hospice” Part 2
Lesson 6: Unit 3 – “Recycling” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Unit 3 – “Recycling” Part 2
Lesson 9: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 1
Lesson 10: Unit 4 – “African Burial Ground” Part 2
Lesson 11: Unit 5 – “Twister Detection” Part 1
Lesson 12: Unit 5 – “Twister Detection” Part 2
Lesson 13: Review and Interview Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: Interview Part 2
Lesson 16: Interview Part 3
Final Test Period: TOEIC-IP (Sunday, 26 July)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 1 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs1_2009_pages/eng1_cs1_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
• Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
• 2 Standardized Tests (50 points each)
• TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

• You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1オードノフ		
科目キー	2800111001		
科目クラスコード	67	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

• You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
• Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
• All the information about Communication Strategies 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1人見		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1人見		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ファーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ファーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1バーカス		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1バーカス		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ジョンソン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ジョンソン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3大山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3大山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1シェパード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1シェパード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ハドランド		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ハドランド		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1キャンベル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1キャンベル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ヴァジラサーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ヴァジラサーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1マーフィー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1マーフィー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2野邊		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2野邊		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ヴァジラサーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ヴァジラサーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ハドランド		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ハドランド		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2マーフィー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2マーフィー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2キャンベル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2キャンベル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2高橋		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2片山		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2レナード		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2コズウォスキー		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2ファーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2ファーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2リトル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2リトル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3ファーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3ファーン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3中野		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3中野		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3マグワイア		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3マグワイア		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3福田		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福田　哲哉		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3福田		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3リトル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3リトル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ホサイン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ホサイン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1モズデル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1モズデル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バーティウム		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バーティウム		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1国吉		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	国吉 ニルソン		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1国吉		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　ﾄｩｰｼﾞｰ　→　後期　クニヨシ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1オヒガン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1オヒガン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1グリブル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1グリブル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1サンダーズ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1サンダーズ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4中野		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4中野		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バーティウム		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バーティウム		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4グリブル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4グリブル		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ソルヤ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ホサイン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ホサイン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3ハドランド		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3ハドランド		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3エディソン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3エディソン		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3レイナ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　レイナ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木6スキーツ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

.In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
•Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
•Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
•Use various strategies to obtain simple and complex information.
•Construct long and meaningful sentences with ease.
•Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
•Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
•2 Standardized Tests (50 points each)
•TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

•You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木6スキーツ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1オードノフ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	67	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, product safety and cloning.

Course Goals
• Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points and specific details.
• Give long, multiple-clause answers to prepared and free questions related to the news report.
• Use various strategies to obtain simple and complex information.
• Construct long and meaningful sentences with ease.
• Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
• Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

シラバス

Each unit will be covered in two weeks. Five units will be covered. The suggested schedule is as follows:

Lesson 1: CS 1 Review and CS 2 Orientation
Lesson 2: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 1
Lesson 3: Unit 7 – “Extreme Sports” Part 2
Lesson 4: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 1
Lesson 5: Unit 8 – “Alternative Sentencing” Part 2
Lesson 6: Unit 9 – “Cloning” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Unit 9 – “Cloning” Part 2
Lesson 9: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 1
Lesson 10: Unit 11 – “Consumer Product Safety” Part 2
Lesson 11: Unit 12 – “Henry Ford” Part 1
Lesson 12: Unit 12- “Henry Ford” Part 2
Lesson 13: Review and Practice
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 8 January)
Lesson 15: Interviews Part 1
Lesson 16: Interviews Part 2
Final Test Week: TOEIC-IP (Sunday, 31 January)

教科書

1. Talking about America (Tsurumi Shoten)
2. Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogram for Self-Study)
3. The CELESE Communication Strategies 2 Homepage
(http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/eng1_cs2_2009_pages/eng1_cs2_2009_index.html)
4. Supplementary materials (provided by each teacher)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
• Class component: attendance, participation (listening and speaking), pair and group work, in-class interview test, and other homework
• 2 Standardized Tests (50 points each)
• TOEIC-IP

Grading P

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher. Students should also review the previous class, and prepare for the in-class quizzes and standardized tests.

• You will be placed into your class based on the TOEIC placement score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1オードノフ		
科目キー	2800111002		
科目クラスコード	67	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

• You will be assigned an IMPRESS user name and Password. They will be sent to your Waseda e-mail account. Please make sure you check your e-mail account regularly.
• Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grades are available through your Waseda Net Portal account.
• All the information about Communication Strategies 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2人見		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2人見		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーカス		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーカス		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ドモンドン		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ドモンドン		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーティウム		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーティウム		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ファーン		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ファーン		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2久世		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2久世		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2レイナ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2レイナ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1ケリー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1ケリー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2レイナ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2レイナ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2中野		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2中野		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2モズデル		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2モズデル		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バーティウム		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バーティウム		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2保坂		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2保坂		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3中野		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3中野		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バーティウム		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バーティウム		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3レイナ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3レイナ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3グリブル		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3グリブル		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3ソルヤ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3ソルヤ		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3デイビス		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3デイビス		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3保坂		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3保坂		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3藤井		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3藤井		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1松永		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1松永		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1野中		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1野中		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1虎岩		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩 直子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1虎岩		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1服部		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1服部		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2藤井		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2藤井		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2野中		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2野中		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2高橋		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2高橋		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2虎岩		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2虎岩		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2服部		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2服部		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2コズウォスキー		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2松永		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2松永		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2上野		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2上野		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3ホサイン		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through the study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content.
•Write simple one-paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 1
Lesson 3: Chapter 2: Chronology – “Pompeii” Part 2
Lesson 4: Chapter 4: Process – “Internet” Part 1
Lesson 5: Chapter 4: Process – “Internet” Part 2
Lesson 6: Chapter 5: Process – “Language” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 29 May)
Lesson 8: Chapter 5: Process – “Language” Part 2
Lesson 9: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 1
Lesson 10: Chapter 7: Classification/Definition – “A Tidal Wave” Part 2
Lesson 11: Chapter 8: Classification/Definition – “Levels of Language Usage” Part 1
Lesson 12: Chapter 8: Classification and Definition – “Levels of Language Usage” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 10 July)
Lesson 15: MIT Lecture Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension by Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3ホサイン		
科目キー	2800111003		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2人見		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2人見		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーカス		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーカス		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ドモンドン		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ドモンドン		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーティウム		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーティウム		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ファーン		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ファーン		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2久世		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2久世		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2レイナ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2レイナ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1ケリー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1ケリー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2レイナ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2レイナ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2中野		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2中野		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2モズデル		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2モズデル		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バーティウム		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バーティウム		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2保坂		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2保坂		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3中野		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3中野		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バーティウム		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バーティウム		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

担当教員

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3レイナ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3レイナ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3グリブル		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3グリブル		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3ソルヤ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3ソルヤ		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3デイビス		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3デイビス		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3保坂		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3保坂		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3藤井		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3藤井		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1松永		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1松永		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1野中		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1野中		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1虎岩		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1虎岩		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1服部		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1服部		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2藤井		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2藤井		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2野中		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2野中		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2高橋		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2高橋		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2虎岩		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2虎岩		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2服部		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2服部		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2コズウォスキー		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2松永		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2松永		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2上野		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2上野		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3ホサイン		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (comparison/contrast and causal analysis).
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content.
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries.
•Attain a 2000-word vocabulary.

シラバス

Each Chapter will be covered in two weeks. The course schedule is as follows:

Lesson 1: Review of ALC 1 and Orientation
Lesson 2: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 1
Lesson 3: Chapter 10: Comparison/Contrast – “Asian and African Elephants” Part 2
Lesson 4: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 1
Lesson 5: Chapter 12: Comparison/Contrast – “The Titanic and the Andrea Doria” Part 2
Lesson 6: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 1
Lesson 7: Review of Academic Progress (Standardized Test 1: 13 November)
Lesson 8: Chapter 13: Causal Analysis – “Dinosaurs” Part 2
Lesson 9: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 1
Lesson 10: Chapter 14: Causal Analysis – “The American Civil War” Part 2
Lesson 11: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 1
Lesson 12: Chapter 15: Causal Analysis – “Endangered Species” Part 2
Lesson 13: MIT Lecture and Summary Part 1
Lesson 14: Review of Academic Progress (Standardized Test 2: 8 January)
Lesson 15: MIT Lecture and Summary Part 2
Lesson 16: Review and Practice

教科書

1. Academic Lecture Comprehension. By Dunkel, P.A. and Lim, P.L.
2. Supplementary resources are available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading texts, Vocabulary lists, Note-taking practice, and Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grades are based on the following:
•Class component: participation (listening, taking notes, asking and answering questions), summaries, in-class tests, and other homework
•Two Standardized Tests (50 points each)

Grading Policy
1. Stud

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for each class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include reviewing the previous class, revising the notes, and preparing for the in-class quizzes and Standardized Tests.

Other information
•You will be placed into your class based on the TOEIC placement test score. This test will take place on Monday, March 30.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3ホサイン		
科目キー	2800111004		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

•Information regarding your TOIEC scores, Standardized Test scores, and your final grade are available through your Waseda Net Portal account.
•All the information about Academic Lecture Comprehension 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1ドモンドン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1ドモンドン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1久世		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1久世		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4マグワイア		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4マグワイア		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1野邊		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1野邊		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1ウイリアムズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1ウイリアムズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ソルヤ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ソルヤ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5リトル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5リトル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ソルヤ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ソルヤ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ワーリントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ワーリントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ローズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ローズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4サリバン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4サリバン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4村岡		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4村岡		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4ファーン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4ファーン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5エディソン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5エディソン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ローズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ローズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5村岡		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5村岡		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5サリバン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5サリバン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ヒントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ヒントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ワーリントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ワーリントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ﾄｩｰｼﾞｰ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4トゥージー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ワーリントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ワーリントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5トゥージー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5トゥージー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ヒントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ヒントン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5リトル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5リトル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5マーティン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5マーティン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ソルヤ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ソルヤ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5グリブル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5グリブル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1高橋		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1高橋		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ハドランド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ハドランド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3マイヤーズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3マイヤーズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3虎岩		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3虎岩		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3片山		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3片山		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4ハドランド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4ハドランド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4片山		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4片山		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4エディソン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4エディソン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4久世		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4久世		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4オードノフ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4オードノフ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4マイヤーズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4マイヤーズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ハドランド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ハドランド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5キャンベル		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ブレイクフィールド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ブレイクフィールド		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5オードノフ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5オードノフ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5エディソン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5エディソン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5テイラー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5久世		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5久世		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5マイヤーズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5マイヤーズ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ケリー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ケリー		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5マグワイア		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5マグワイア		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ドモンドン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ドモンドン		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5アントニ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5アントニ		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation
Lesson 2:Task 1: Processes 1
Lesson 3:Task 1: Processes 2
Lesson 4:Task 2: Results 1
Lesson 5:Task 2: Results 2
Lesson 6:Task 3: Problem-Solving 1
Lesson 7:Task 3: Problem-Solving 2
Lesson 8:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 9:Task 4: Ranking and Debate
Lesson 10:Internet Research and Plagiarism
Lesson 11:Group Research Project 1 (Negotiating Roles, Selecting a topic)
Lesson 12:Group Research Project 2 (Research Proposals)
Lesson 13:Group Research Project 3 (Conducting Research)
Lesson 14:Group Research Project 4 (Collating Data and Preparing Presentations)
Lesson 15:Group Presentations
Final Test Period:TOEIC-IP (26 July, 2009)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion: Foundations. DTP Publishing
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4シェパード		
科目キー	2800112001		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1ドモンドン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1ドモンドン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1久世		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1久世		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　ワーリントン

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1野邊		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1野邊		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1ウイリアムズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1ウイリアムズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1スキーツ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1スキーツ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　スキーツ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ソルヤ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ソルヤ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5リトル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5リトル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ソルヤ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ソルヤ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ローズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ローズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　エディソン
•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4サリバン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4サリバン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4村岡		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4村岡		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ファーン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ファーン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ローズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ローズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　ワーリントン

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5村岡		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5村岡		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5サリバン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5サリバン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ヒントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ヒントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ウィリアムズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ウィリアムズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　トゥージー　→　後期　ウィリアムズ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ワーリントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ウィリアムズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ウィリアムズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　トゥージー　→　後期　ウィリアムズ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ヒントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ヒントン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5リトル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5リトル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5マーティン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5マーティン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ソルヤ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ソルヤ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5グリブル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5グリブル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1高橋		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1高橋		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ハドランド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ハドランド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3マイヤーズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3マイヤーズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3虎岩		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3虎岩		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3片山		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3片山		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4ハドランド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4ハドランド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4片山		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4片山		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　マグワイア

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4久世		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4久世		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4オードノフ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4オードノフ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4マイヤーズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4マイヤーズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ハドランド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ハドランド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5キャンベル		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ブレイクフィールド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ブレイクフィールド		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5オードノフ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5オードノフ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5エディソン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　マグワイア

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5久世		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5久世		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5マイヤーズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5マイヤーズ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ケリー		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ケリー		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5マグワイア		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ドモンドン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ドモンドン		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5アントニ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a series of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
• Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
• Understand the concepts related to plagiarism.
• Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
• Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
• Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
• Write two-to-three paragraph reports based on the information discussed/researched.
• Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
• Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
• Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
• Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
• TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
• Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5アントニ		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

• TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
• All information about Concept Building Discussion 1 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in Communication Strategies 1 and 2 through a serious of individual and team activities related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem-solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings with proper source acknowledgment to an audience in well-formed sentences with pronunciation and intonation comprehensible to an international audience.

Course Goals
•Use Internet and library resources to find information on a chosen topic.
•Understand the concepts related to plagiarism.
•Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance.
•Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script.
•Prepare and deliver a convincing speech with comprehensible pronunciation and intonation.
•Write two-to-three page reports based on the information discussed/researched.
•Use vocabulary from the first 2000 words and the academic word list effectively.

シラバス

The pace of the course may change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Lesson 1: Course Orientation, Group Formation and Choosing a Topic
Lesson 2:Group Research Project 1: Finalizing a topic,
Lesson 3:Group Research Project 2: Presenting Research Proposals
Lesson 4:Group Research Project 3: Data Collecting
Lesson 5:Group Research Project 4: Reporting Data
Lesson 6:Group Research Project 5: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 7:Group Presentations
Lesson 8:Group Presentations and Writing Instruction
Lesson 9:Individual Research Project 1: Choosing a Topic
Lesson 10:Individual Research Project 2: Presenting Proposals
Lesson 11:Individual Research Project 3: Data Collecting and Reporting
Lesson 12:Individual Research Project 4: Discussing Data and Preparing Presentations
Lesson 13:Individual Presentations
Lesson 14: Individual Presentations
Lesson 15: Individual Presentations and Final Report Instruction
Final Test Period:TOEIC-IP (31 January, 2010)

教科書

•Textbook: Concept Building and Discussion-Applications
•Supplementary materials on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
•Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

The grading is based on two components.
•Class Component: participation in discussion tasks and group work, written assignments (portfolio), presentations, in-class tests, and other tasks and homework required by the teacher.
•TOEIC-IP

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the Internet and from the library, and preparing presentations.

Other
•Students are placed into classes based on an average of their TOEIC-IP scores in their first year.

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4シェパード		
科目キー	2800112002		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

•TOEIC-IP scores, Class Grades and Final grades can be accessed from Waseda-Net Portal accounts.
•All information about Concept Building Discussion 2 is on the CELESE website. Please check this site regularly for updates and information about the course.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　金1ワーリントン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　金1ワーリントン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3エルヴィン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3エルヴィン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3デイビス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3デイビス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3オードノフ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3オードノフ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3マーティン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3マーティン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3バーティウム		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3バーティウム		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4バーティウム		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4バーティウム		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4バン　クリーヴ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4バン　クリーヴ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4エルヴィン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4エルヴィン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4大山		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月４大山		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月４ウィルコックス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月４ウィルコックス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5バーティウム		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5バーティウム		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5エルヴィン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5エルヴィン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5大山		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5大山		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火4マーフィー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火4マーフィー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5マーフィー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月５マーフィー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5マーティン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月５マーティン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5ウィルコックス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月５ウィルコックス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3ヴァジラサーン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3ヴァジラサーン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3テイラー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3テイラー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3マーフィー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3マーフィー		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火4ワーリントン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火4ワーリントン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5バーカス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5バーカス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火5国吉		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火5国吉		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火5ヴァジラサーン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火5ヴァジラサーン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5上野		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5上野		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5国吉		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5国吉		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5松永		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5松永		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3オヒガン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3オヒガン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3ヒントン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3ヒントン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3ミルティアドス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3ミルティアドス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4デイビス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4デイビス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4ミルティアドス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4ミルティアドス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4マーティン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4マーティン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4バートン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4バートン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5ミルティアドス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5ミルティアドス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5デイビス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5デイビス		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5スキーツ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5スキーツ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5バートン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5バートン		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　金1オードノフ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　金1オードノフ		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3メズルール		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	メズルール　ジェルマン		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
•Learn various reading skills.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 1 to Chapter 5 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Extensive reading and academic vocabulary development
Lesson 3: Using context clues and word parts to guess word meaning
Lesson 4: Recognizing technical term definitions: types of technical term definition
Lesson 5: Recognizing technical term definitions: practice
Lesson 6: Identifying referents of pronouns and other referring expressions
Lesson 7: Ways of restating ideas
Lesson 8: Logical connectors: types of logical connector
Lesson 9: Logical connectors: practice
Lesson 10: Determining main ideas: topic, main idea and supporting details
Lesson 11: Determining main ideas: Where is the main idea in a paragraph?
Lesson 12: Determining main ideas: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage
•Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thir

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3メズルール		
科目キー	2800112003		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1ワーリントン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1ワーリントン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3エルヴィン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3エルヴィン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3デイビス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3デイビス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3オードノフ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3オードノフ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3マーティン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3マーティン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バーティウム		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バーティウム		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4バーティウム		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４バーティウム		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4バン　クリーヴ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher’s instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4バン　クリーヴ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4エルヴィン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4エルヴィン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4大山		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４大山		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４ウィルコックス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher’s instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４ウィルコックス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5バーティウム		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５バーティウム		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5エルヴィン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5エルヴィン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5大山		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５大山		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火4マーフィー		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火４マーフィー		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５マーフィー		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher’s instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５マーフィー		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5マーティン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５マーティン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5ウィルコックス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５ウィルコックス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3ヴァジラサーン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3ヴァジラサーン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3スキーツ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　テイラー　→　後期　スキーツ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3スキーツ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3マーフィー		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3マーフィー		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火4ワーリントン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火４ワーリントン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5バーカス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５バーカス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5スキーツ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher’s instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

担当教員に変更がありましたのでご注意ください。
前期　国吉　→　後期　スキーツ

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5スキーツ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5ヴァジラサーン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5ヴァジラサーン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5上野		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5上野		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5国吉		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5国吉		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5松永		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5松永		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3オヒガン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3オヒガン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ヒントン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ヒントン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ミルティアドス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ミルティアドス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4デイビス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4デイビス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4ミルティアドス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4ミルティアドス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4マーティン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4マーティン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4バートン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4バートン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5ミルティアドス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5ミルティアドス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5デイビス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5デイビス		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5スキーツ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5スキーツ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5バートン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5バートン		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1オードノフ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher's instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1オードノフ		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3メズルール		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	メズルール　ジェルマン		

副題

授業概要

In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
•Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
•Learn vocabulary.
•Develop reading fluency.
•Comprehend academic texts in science and engineering.

シラバス

Chapter 6 to Chapter 11 of the textbook will be covered.

Lesson 1: Orientation
Lesson 2: Enumeration organization
Lesson 3: Classification organization
Lesson 4: Comparison and contrast organization
Lesson 5: Time order organization
Lesson 6: Cause-effect organization
Lesson 7: Active, strategic, and metacognitive reading
Lesson 8: Reading strategies
Lesson 9: Reading and studying technique: SQ3R
Lesson 10: SQ3R: practice
Lesson 11: Taking notes: the Cornell method
Lesson 12: Taking note: practice
Lesson 13: Application
Lesson 14: Review and practice
Lesson 15: Review of Academic Achievement (standardized final test)

教科書

•Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
•Supplementary materials provided by the teacher
•Weekly vocabulary lists (based on the Academic Word List) available at the CELESE homepage

参考文献

評価方法

Two Components
•Class component: based on active participation in various activities (skill practice, reading, pair/group work), quizzes, and homework
•Standardized Final Test

Grading Policy
•Students who miss more than one-thi

備考

Homework and Participation
•As for weekly assignments and preparations, follow your teacher’s instructions.
•Further information about this course is available at the CELESE homepage.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3メズルール		
科目キー	2800112004		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　月3国吉		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　月3国吉		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1)Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2)Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　火3国吉		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　火3国吉		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1)Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2)Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木4バトラー		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木4バトラー		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　水2シェパード		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　水2シェパード		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　水3エディソン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　水3エディソン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　水4エディソン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　水4エディソン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木2オヒガン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木2オヒガン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木5バトラー		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木5バトラー		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　金3アントニ		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　金4アントニ		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木4オヒガン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the importance of English in science and technology. Then, they will look at the differences between general texts, such as essays and lecture summaries, and highly technical texts, such as research papers, in terms of intended audience, purpose, organization, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn about the basic structure of a research paper, and the importance of avoiding plagiarism in scientific and technical writing through the use of citations and references. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical “Instructions for Authors” guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to technical writing:
What is research
How do you structure a research paper

Week 2
Understanding the audience and purpose of research papers

Week 3
Understanding the structure of research papers

Week 4
Understanding the style, and presentation of research papers

Week 5
Reading research papers:
macro level features of research papers

Week 6
Reading research papers:
micro level features of research papers

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the “Instructions for Authors” guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:
writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 1　木4オヒガン		
科目キー	2800113001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term test.

備考　履修上の注意:
(1) Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
(2) Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　月3国吉		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　月3国吉		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report.

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　火3国吉		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　火3国吉		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report.

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木4バトラー		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木4バトラー		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　水2シェパード		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　水2シェパード		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report.

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　水3エディソン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　水3エディソン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report.

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　水4エディソン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　水4エディソン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report.

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木2オヒガン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木2オヒガン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report.

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木5バトラー		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the scientific and technical reading and writing skills they need to understand and construct research articles in their specialized field. The course will be divided into three parts. In the first part of the course, students will learn about the characteristic features of quality research studies, and how science and engineering research articles are constructed in terms of intended audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. In the second part of the course, students will learn how to avoid plagiarism in their writing through paraphrasing and the correct citation and referencing of other people's work. In the third part of the course, students will begin writing a research paper following a typical "Instructions for Authors" guide that is found in most journals. For each section of the research paper, the teacher will explain its unique features, and the common problems found in student writing. In particular, there will be a focus on noun phrases usage in titles, definition and tense usage in introductions, process explanations in the methods section, figure and table explanations in the results section, hedging in the results and discussion/conclusion section, and formatting in the reference section.

シラバス

Week 1
Introduction to Technical Writing
Review of Technical Writing 1:
What is research.
How do you structure a research paper.

Week 2
Basic Principles in Technical Writing:
Audience, Purpose, Structure, Style, Presentation

Week 3
Introduction to text analysis tools (1):
analyzing email communication

Week 4
Introduction to text analysis tools (2):
analyzing graduate school recommendation letters

Week 5
First steps in text analysis (1):
Building a corpus of research papers

Week 6
First steps in text analysis (2):
Creating vocabulary lists, searching for words, phrases, and grammar patterns

Week 7
Writing a research paper proposal:
choosing a topic, deciding a methodology

Week 8
Preparing to write a research paper:
understanding the "Instructions for Authors" guide in a research journal, understanding the importance of citation and references

Week 9
Writing a research paper title:
keywords, noun phrases, and prepositions

Week 10
Writing a research paper introduction:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木5バトラー		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

writing definitions, understanding tense usage

Week 11
Writing a research paper methods section:
explaining methods and processes

Week 12
Writing a research paper results section:
explaining figures and tables, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 13
Writing a research paper discussion/conclusion section:
summarizing results, adjusting the strength of interpretations using hedging

Week 14
Writing a research paper reference section:
citation and reference formatting in specialists fields

Week 15
Wrap-up:
Summary of course
Final report submission details

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Student evaluations will be based on a series of written reports, class participation, and an end of term report

備考　1. Students are expected to attend each class, and actively participate in group and class discussions. Students will also be required to complete all homework exercises, and submit an extended report at the end of the semester.
2. Bringing an advanced English/Japanese dictionary to class is recommended.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　金3アントニ		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　金4アントニ		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Writing 2　木4オヒガン		
科目キー	2800113002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月4メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	メズルール　ジェルマン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月4メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　火2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　火2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水5ファーン		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水5ファーン		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月5メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	メズルール　ジェルマン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月5メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　木3バトラー		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　木3バトラー		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月4メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	メズルール　ジェルマン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月4メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　火2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　火2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水2ローズ		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水5ファーン		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　水5ファーン		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月5メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	メズルール　ジェルマン		

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　月5メズルール		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　木3バトラー		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題

授業概要

In this course, students will develop the oral presentation skills needed to present scientific and technical research findings in their specialist field. The course will be divided into four parts. In the first part of the course, there will be general discussion on the macro level aspects of oral presentations that need to be considered during the preparation process. These include purpose, intended audience, organization, flow, style, and delivery. There will also be a discussion on the problems associated with presentation Q&A and effective strategies to deal with these. In the second part of the course, there will be a short tutorial on the use of presentation software applications, as well as a discussion on their inherent advantages and disadvantages. In the third part of the course, students will be required to work in small groups and prepare and then give an oral presentation on a general topic in science and engineering. Students in the audience will be required to ask questions during the question time session, and submit a report on their impressions of the presentation and areas they think could be improved. Following a similar procedure, in part four of the course, students will be required to prepare and present a more technical presentation on a topic from their specialist field of study. As in part three, students in the audience will be required to ask questions and submit an evaluation report. After each set of presentations, there will be a general discussion and feedback session that highlights problems and areas for improvement.

シラバス

Week 1
(1) General Introduction: Aims of course. Evaluation procedure.
(2) Overview of Oral Presentations: Importance of oral presentations. Types of oral presentations. Differences between Japanese and English presentations.
(3) Introductory-Presentation: Experiencing the problems of talking in front of people
(4) Introductory-Presentation: Understanding body language

Week 2
Considerations when preparing an oral presentation – audience, purpose, organization

Week 3
Considerations when preparing an oral presentation – organization, style, flow, delivery

Week 4
(1) Introduction to presentation software (PowerPoint)
(2) Slide design in PowerPoint (mastering the master slide)
(3) Navigating slides in PowerPoint

Week 5
(1)Overview of Presentation One – Topic of general interest decided by instructor
(2)General design and format for Presentation One.
(3)Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.

Week 6
Presentation One (session 1) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 7
Presentation One (session 2) – Topic of general interest in science and engineering
(5 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 8
Presentation One discussion and feedback.

Week 9
Language of presentations (1)
Explaining the Title/Outline/Introduction/Conclusion sections of a presentation

Week 10

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Technical Presentation　木3バトラー		
科目キー	2800113003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Language of presentations (2)
Explaining science and engineering methods/processes

Week 11
Language of presentations (3)
Explaining data in the form of figures/tables

Week 12
Language of presentations (4)
Understanding and answering questions from the audience

Week 13
(1) Overview of Presentation Two – Topic from specialist field of study
(2) General design and format for Presentation Two.
(3) Guidelines for preparing presentations and completing evaluation reports.
(4) Group Work

Week 14
Presentation Two (session 1) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

Week 15
Presentation Two (session 2) – Topic from specialist field of study
(8 minute presentation, 2 minute question/answer session)

教科書　Course materials will be distributed in the first lesson.

参考文献

評価方法　Students will be evaluated based on a portfolio of work comprising of: 1) Materials used to prepare a presentation on a general topic in the student's field. 2) PowerPoint file for the presentation on a general topic in the student's field. 3) Materials u

備考　(1) Students are required to work individually or in groups, and give a series presentations of increasing difficulty in English during the span of the course. Students are also required to evaluate and submit reports on the presentations of other students in the class. Therefore, attendance and participation are an integral part of the course.
(2) A basic tutorial on the use of presentation software (Microsoft PowerPoint) will be given, although prior knowledge of such software is desired.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　月2ローズ		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　The Sound System of English

授業概要　This course has two main aims: First, to help students develop their pronunciation skills in English by, second, participating in a technical exploration of some of the phenomena of the English sound system. The course should take place in a computer lab and take advantage of multimedia features in computers in order to do technical analyses of various aspects of the pronunciation of English. Students will be able to look at spectrographic representations of their own voice and compare it to target native speaker voices in order to see how their own pronunciation differs. The course will include the introduction of some fundamental concepts of phonetics and phonology and how these concepts help us to understand English sound phenomena. The course will also include some practical work on raising students' awareness of their own pronunciation skills.

シラバス　Course goals:
* Understand and be able to talk about the fundamental concepts of (acoustic) phonetics and phonology in English
* Understand and be able to describe some of the key phonological and phonetic features of the English language in English.
* Use specialized software to measure and analyze acoustic recordings of English speech.
* Design and carry out an experiment looking at key differences between two different dialectal varieties of English.
* Present findings from the above experiment to the class in English.

Schedule:
第　1回　（4月　6日）　Introduction
第　2回　（4月13日）　Fundamentals of Acoustics
第　3回　（4月20日）　Vowels 1
第　4回　（4月27日）　Vowels 2
第　5回　（5月11日）　Consonants 1
第　6回　（5月18日）　Consonants 2
第　7回　（5月25日）　Syllables
第　8回　（6月　1日）　Stress and Rhythm
第　9回　（6月　8日）　Intonation
第10回　（6月15日）　Reduction (Weak forms)
第11回　（6月22日）　Project Preparation
第12回　（6月29日）　Dialect Variation
第13回　（7月　6日）　Applications
第14回　（7月13日）　Final Presentations
第15回　　Final Report submission (instructions will be given in class)

教科書　(none; readings will be given in class or made available online)

参考文献　(none)

評価方法　Final grades will be determined based on attendance and class participation as well as completion of homework assignments and performance on quizzes and a final group project.

備考　http://www.roselab.sci.waseda.ac.jp/moodle/

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　月4松永		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	松永　正樹		

副題　Intercultural Communication as a Foundation for English Skills

授業概要　Major theories, concepts, and contemporary research findings of intercultural communication studies will be discussed. The course aims to provide students with the knowledge to use English in a communicatively competent manner at higher education settings (e.g., graduate schools or research institutes at foreign countries). Lectures will be given in Japanese, though students may ask questions and/or write reports in either Japanese or English. The course grades will be determined based on: (a) active class participation (note: merely attending classes will not count toward grades); (b) chapter quizzes; (c) final exam; and (d) group report on students' intercultural experiences in daily lives.本授業では異文化コミュニケーション学における主要な理論、概念、および最新の知見について講義を行います。講義は学生の皆さんが海外の大学院や諸研究機関等の高等教育場面に置いて英語を適切かつ的確に用いるために必要な知識を身につけることを目的とします。講義そのものは日本語で行いますが、授業中の質問あるいはレポートの執筆は日本語・英語どちらを用いても結構です。成績は(ａ)授業への積極的参加(注:単に授業に出席しただけでは評価の対象とはしませんのでご理解ください);(ｂ)教科書の各章についての小テスト;(　ｃ　) 期末試験;および(ｄ)日常生活における異文化体験についてのグループ研究レポート;以上、四項目に基づいて決定します。

シラバス　1. Defining "Intercultural Communication"2. Intercultural Communication as a Layered Process3. Culture, Communication, and Identity4. Attributes and Attitudes in Intercultural Communication5. Initial Interactions in Intercultural Settings6. Interpersonal Relationships in Intercultural Settings7. Higher Education Contexts

教科書　Oetzel, J. G. (2008). Intercultural Communication: A Layered Approach. New York: Pearson Education. ISBN-13: 978-0135069356.

参考文献

評価方法　See the Course Summary above.

上記講義概要参照。

備考　

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　水5藤井		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題　MBA Basics in English (A) (First Semester)

授業概要

Course Description: This course covers the basics of the two major areas of business as taught at most business schools:
(1) Marketing
(2) Accounting and Finance

Goals: Students will acquire the following knowledge and skills:
(1) Basic and workable knowledge of the basics of major MBA subjects
(2) Problem finding and solving skills
(3) Effective communication skills

Learning Methods: We learn basic theories in the textbook, and then apply them to real-life examples. This is an effective way to learn both theory and practice.

シラバス

We will cover the following topics:

Class 1: Orientation
Class 2: What is marketing?
Class 3: Marketing Analysis--The 3 C's
Class 4: Review and Applications
Class 5: Marketing Analysis--Segmentation, Targeting, Positioning
Class 6: The marketing MIx--The 4 P's
Class 7: Review and Applications
Class 8: Mid-term Examination
Class 9: The Income Statement
Class 10: The Balance Sheet
Class 11: Review and Applications
Class 12: The Cash Flow Statement
Class 13: The Time Value of Money
Class 14: Review and Applications
Class 15: Final Examination

In the Review and Applications classes, we will discuss mostly real-life examples of the theory learned.

教科書

Textbooks:
(1) "MBA Basics in English" (Masatsugu Fujii, et al., NHK Publishing.)
(英語で学ぶ「MBAベーシックス」(藤井　正嗣　他著。NHK出版。)
(2) Other materials will be provided by the instructor.

参考文献

評価方法

Grading:
(1) Class Participation 50%
(2) Mid-term Examination 20%
(3) Final Examination 30%

備考

Class Format:
This is a very interactive class conducted only in English. Students are expected to study the assigned sections of the textbook beforehand, participate in class discussions, and give presentations on assigned topics.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　水5藤井		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　金5上野		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上野　義雄		

副題　TOEIC Test Preparation

授業概要　Course Description

In this course, students will improve their test taking skills for TOEIC through in-class practice tests and activities. Emphasis will be placed on getting used to the types of questions asked in TOEIC tests and improving listening and reading skills. Students are required to take an official TOEIC test or a TOEIC-IP during the semester and submit the score report.

Course Goals

・Learn and apply TOEIC test taking skills.
・Improve TOEIC scores by developing listening and reading skills.

シラバス　Course Schedule

Students are expected to spend at least one hour every day reviewing the section of the practice test covered in class.

Week 1: Orientation and test-taking skills
Week 2: Practice Test 1 (listening section) and how to review practice test materials
Week 3: Practice Test 1 (reading section) and Week 2 review check
Week 4: Practice Test 2 (listening section) and Week 3 review check
Week 5: Practice Test 2 (reading section) and Week 4 review check
Week 6: Practice Test 3 (listening section) and Week 5 review check
Week 7: Practice Test 3 (reading section) and Week 6 review check
Week 8: Practice Test 4 (listening section) and Week 7 review check
Week 9: Practice Test 4 (reading section) and Week 8 review check
Week 10: Practice Test 5 (listening section) and Week 9 review check
Week 11: Practice Test 5 (reading section) and Week 10 review check
Week 12: Practice Test 6 (listening section) and Week 11 review check
Week 13: Practice Test 6 (reading section) and Week 12 review check
Week 14: Week 13 review check and further practice
Week 15: Review of test-taking skills

教科書　宮野他『新TOEIC TESTプレ受験600問』語研(前半の教科書)
宮野他『新TOEIC TEST完全攻略模試』語研(後半の教科書)

参考文献

評価方法　Grades will be determined by active participation and the TOEIC score report.

備考　Homework and Participation

・Students are expected to spend at least one hour every day reviewing the practice test section covered in class.
・Students are required to take an official TOEIC test or a TOEIC-IP during the semester and submit the score report.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　月2ローズ		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　The Sound System of English

授業概要　This course has two main aims: First, to help students develop their pronunciation skills in English by, second, participating in a technical exploration of some of the phenomena of the English sound system. The course takes place in a computer lab and takes advantage of multimedia features in computers in order to do technical analyses of various aspects of the pronunciation of English. Students will be able to look at spectrographic representations of their own voice and compare it to target native speaker voices in order to see how their own pronunciation differs. The course will include the introduction of some fundamental concepts of phonetics and phonology and how these concepts help us to understand English sound phenomena. The course will also include some practical work on raising students' awareness of their own pronunciation skills.

シラバス　Course goals:
* Understand and be able to talk about the fundamental concepts of (acoustic) phonetics and phonology in English
* Understand and be able to describe some of the key phonological and phonetic features of the English language in English.
* Use specialized software to measure and analyze acoustic recordings of English speech.
* Design and carry out a small-scale experiment looking at some phenomenon of the English sound system.
* Present findings from the above experiment in English in both oral and written forms.

Schedule:
第 1回 （ 9月28日） Introduction
第 2回 （10月 5日） Fundamentals of Acoustics
第 3回 （10月12日） Vowels 1
第 4回 （10月19日） Vowels 2
第 5回 （10月26日） Consonants 1
第 6回 （11月 2日） Consonants 2
第 7回 （11月 9日） Syllables
第 8回 （11月16日） Stress and Rhythm
第 9回 （11月23日） Intonation
第10回 （11月30日） Reduction (Weak forms)
第11回 （12月 7日） Project Preparation
第12回 （12月14日） Dialect Variation
第13回 （12月21日） Applications
第14回 （ 1月18日） Final Presentations
第15回　Final Report submission (instructions will be given in class)

教科書　(none; readings will be given in class or made available online)

参考文献　(none)

評価方法　Final grades will be determined based on attendance and class participation as well as completion of homework assignments and performance on quizzes and a final group project.

備考　http://www.roselab.sci.waseda.ac.jp/moodle/
http://www.praat.org/

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　月4松永		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	松永　正樹		

副題 Intercultural Communication as a Foundation for English Skills

授業概要 Major theories, concepts, and contemporary research findings of intercultural communication studies will be discussed. The course aims to provide students with the knowledge to use English in a communicatively competent manner at higher education settings (e.g., graduate schools or research institutes at foreign countries). Lectures will be given in Japanese, though students may ask questions and/or write reports in either Japanese or English. The course grades will be determined based on: (a) active class participation (note: merely attending classes will not count toward grades); (b) chapter quizzes; (c) final exam; and (d) group report on students' intercultural experiences in daily lives.

本授業では異文化コミュニケーション学における主要な理論、概念、および最新の知見について講義を行います。講義は学生の皆さんが海外の大学院や諸研究機関等の高等教育場面に置いて英語を適切かつ的確に用いるために必要な知識を身につけることを目的とします。講義そのものは日本語で行いますが、授業中の質問あるいはレポートの執筆は日本語・英語どちらを用いても結構です。成績は(ａ)授業への積極的参加(注:単に授業に出席しただけでは評価の対象とはしませんのでご理解ください);(ｂ)教科書の各章についての小テスト;(ｃ)期末試験;および(ｄ)日常生活における異文化体験についてのグループ研究レポート;以上、四項目に基づいて決定します。

シラバス
1. Defining "Intercultural Communication"
2. Intercultural Communication as a Layered Process
3. Culture, Communication, and Identity
4. Attributes and Attitudes in Intercultural Communication
5. Initial Interactions in Intercultural Settings
6. Interpersonal Relationships in Intercultural Settings
7. Higher Education Contexts

教科書 Oetzel, J. G. (2008). Intercultural Communication: A Layered Approach. New York: Pearson Education. ISBN-13: 978-0135069356.

参考文献

評価方法 See the Course Summary above.

上記講義概要参照。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　水5藤井		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題　MBA Basics in English (B) (Second Semester)

授業概要

Course Description: This course covers the basics of the three major areas of business as taught at most business schools:
(1) Human Resources and Organization
(2) Strategy
(3) Vision

Goals: Students will acquire the following knowledge and skills:
(1) Basic and workable knowledge of the basics of major MBA subjects
(2) Problem finding and solving skills
(3) Effective communication skills

Learning Method: Students will learn basic theories first and then how to apply them to real-life examples. This is an effective way to learn both theory and practice.

シラバス

We will cover the following topics:

Class 1: Orientation
Class 2: Corporate Culture
Class 3: Performance-based System
Class 4: Discrimination in the Workplace
Class 5: Business Ethics
Class 6: Mid-term Examination
Class 7: Industry Analysis
Class 8: Competitive Advantage
Class 9: Global Strategies
Class 10: Synergy/Diversification
Class 11: IT and Business
Class 12: Entrepreneurship
Class 13: Corporate Governance
Class 14: Leadership in the 21st Century
Class 15: Final Examination

教科書

教科書　Textbooks:
(1) "MBA Basics in English" (Masatsugu Fujii, et al., NHK Publishing.)
（英語で学ぶ「MBAベーシックス」（藤井　正嗣　他著。NHK出版。）
(2) Other materials will be provided by the instructor.

参考文献

評価方法

Grading:
(1) Class Participation 50%
(2) Mid-term Examination 20%
(3) Final Examination 30%

備考

Class Format:
This is a very interactive class conducted only in English. Students are expected to study the assigned sections of the textbook beforehand, participate in class discussions actively, and give presentations on assigned topics.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　水5藤井		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Special Topics in Functional English　金5上野		
科目キー	2800113004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上野　義雄		

副題　TOEIC Test Preparation

授業概要　Course Description

In this course, students will improve their test taking skills for TOEIC through in-class practice tests and activities. Emphasis will be placed on getting used to the types of questions asked in TOEIC tests and improving listening and reading skills. Students are required to take an official TOEIC test or a TOEIC-IP during the semester and submit the score report.

Course Goals

・Learn and apply TOEIC test taking skills.
・Improve TOEIC scores by developing listening and reading skills.

シラバス　Course Schedule

Students are expected to spend at least one hour every day reviewing the section of the practice test covered in class.

Week 1: Orientation and test-taking skills
Week 2: Practice Test 1 (listening section) and how to review practice test materials
Week 3: Practice Test 1 (reading section) and Week 2 review check
Week 4: Practice Test 2 (listening section) and Week 3 review check
Week 5: Practice Test 2 (reading section) and Week 4 review check
Week 6: Practice Test 3 (listening section) and Week 5 review check
Week 7: Practice Test 3 (reading section) and Week 6 review check
Week 8: Practice Test 4 (listening section) and Week 7 review check
Week 9: Practice Test 4 (reading section) and Week 8 review check
Week 10: Practice Test 5 (listening section) and Week 9 review check
Week 11: Practice Test 5 (reading section) and Week 10 review check
Week 12: Practice Test 6 (listening section) and Week 11 review check
Week 13: Practice Test 6 (reading section) and Week 12 review check
Week 14: Week 13 review check and further practice
Week 15: Review of test-taking skills

教科書　宮野他『新TOEIC　TESTプレ受験600問』語研（前半の教科書）
宮野他『新TOEIC　TEST完全攻略模試』語研（後半の教科書）

参考文献

評価方法　Grades will be determined by active participation and the TOEIC score report.

備考　Homework and Participation

・Students are expected to spend at least one hour every day reviewing the practice test section covered in class.
・Students are required to take an official TOEIC test or a TOEIC-IP during the semester and submit the score report.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期月４村井		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第１回　オリエンテーション、アルファベット
第２回　綴りと発音、文の構造
第３回　動詞の人称変化
第４回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第５回　その他の不規則動詞
　　命令文
第６回　学力考査と解説
第７回　名詞の話
第８回　格の役割
第９回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第１０回　人称代名詞
第１１回　分離動詞と非分離動詞
第１２回　接続詞
第１３回　esを使った非人称動詞
第１４回　１課から5課の復習
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期月５村井		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第１回　オリエンテーション、アルファベット
第２回　綴りと発音、文の構造
第３回　動詞の人称変化
第４回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第５回　その他の不規則動詞
　　命令文
第６回　学力考査と解説
第７回　名詞の話
第８回　格の役割
第９回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第１０回　人称代名詞
第１１回　分離動詞と非分離動詞
第１２回　接続詞
第１３回　esを使った非人称動詞
第１４回　１課から5課の復習
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期火２土屋		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	土屋　睦廣		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第１回　オリエンテーション、アルファベット
第２回　綴りと発音、文の構造
第３回　動詞の人称変化
第４回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第５回　その他の不規則動詞
　　命令文
第６回　学力考査と解説
第７回　名詞の話
第８回　格の役割
第９回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第１０回　人称代名詞
第１１回　分離動詞と非分離動詞
第１２回　接続詞
第１３回　esを使った非人称動詞
第１４回　１課から5課の復習
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期火３中村		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第１回　オリエンテーション、アルファベット
第２回　綴りと発音、文の構造
第３回　動詞の人称変化
第４回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第５回　その他の不規則動詞
　　命令文
第６回　学力考査と解説
第７回　名詞の話
第８回　格の役割
第９回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第１０回　人称代名詞
第１１回　分離動詞と非分離動詞
第１２回　接続詞
第１３回　esを使った非人称動詞
第１４回　１課から5課の復習
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期水1秋葉		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期木1高橋		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　憲子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期木2高橋		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　憲子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期木3石井		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期金1飯塚		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期金2飯塚		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期金４浅野		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第１回　オリエンテーション、アルファベット
第２回　綴りと発音、文の構造
第３回　動詞の人称変化
第４回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第５回　その他の不規則動詞
　　命令文
第６回　学力考査と解説
第７回　名詞の話
第８回　格の役割
第９回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第１０回　人称代名詞
第１１回　分離動詞と非分離動詞
第１２回　接続詞
第１３回　esを使った非人称動詞
第１４回　１課から5課の復習
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　後期金3浅野		
科目キー	2800121001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。

第1回　オリエンテーション、アルファベット
第2回　綴りと発音、文の構造
第3回　動詞の人称変化
第4回　不規則動詞 seinとhaben
　　不規則動詞fahrenとhelfen
第5回　その他の不規則動詞
　　命令文
第6回　学力考査と解説
第7回　名詞の話
第8回　格の役割
第9回　ドイツ語の「こそあど」
　　mein、dein、sein
第10回　人称代名詞
第11回　分離動詞と非分離動詞
第12回　接続詞
第13回　esを使った非人称動詞
第14回　1課から5課の復習
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月１大澤		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の１課から４課のABまで（教科書の前半）を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

第１回　オリエンテーション、アルファベットの発音

＜１課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第２回　発音の続き、簡単な挨拶
第３回　相手の名前をきく、出身地をきく
第４回　自己紹介
第５回　書類記入の仕方

＜２課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第６回　お元気ですか？
第７回　日常のことば：家族、親族、友人
第８回　動詞の変化（１人称、２人称、３人称）
第９回　数（0から20）、電話番号

＜３課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第１０回　日常のことば：食べ物
第１１回　ドイツ語の名詞、複数形
第１２回　買い物の表現

＜４課　Meine Wohnung　私の住まい　（前半）＞
第１３回　日常のことば：住まい
第１４回　日常のことば：大きい、小さい…（形容詞）

第１５回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　評価の主たる対象は学期末の教場試験。
その結果と平常点（レポート、小テスト、授業参加の状態など）を総合的に判断。

備考　後期に継続して履修することが望ましい。
出席状況により単位の取得が認められない場合がある。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月１大澤		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月２大澤		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の１課から４課のABまで（教科書の前半）を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

第１回　オリエンテーション、アルファベットの発音

＜１課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第２回　発音の続き、簡単な挨拶
第３回　相手の名前をきく、出身地をきく
第４回　自己紹介
第５回　書類記入の仕方

＜２課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第６回　お元気ですか？
第７回　日常のことば：家族、親族、友人
第８回　動詞の変化（１人称、２人称、３人称）
第９回　数（0から20）、電話番号

＜３課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第１０回　日常のことば：食べ物
第１１回　ドイツ語の名詞、複数形
第１２回　買い物の表現

＜４課　Meine Wohnung　私の住まい　（前半）＞
第１３回　日常のことば：住まい
第１４回　日常のことば：大きい、小さい…（形容詞）

第１５回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　評価の主たる対象は学期末の教場試験。
その結果と平常点（レポート、小テスト、授業参加の状態など）を総合的に判断。

備考　後期に継続して履修することが望ましい。
出席状況により単位の取得が認められない場合がある。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月２大澤		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月3秋葉		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月３秋葉		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	３時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月４石井		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の１課から４課のABまで（教科書の前半）を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜１課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第１回　オリエンテーション、あいさつ
第２回　相手の名前をきく、出身地をきく
第３回　自己紹介
第４回　アルファベット、書類記入の仕方

＜２課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第５回　お元気ですか？
第６回　日常のことば：家族、親族、友人
第７回　動詞の変化（１人称、２人称、３人称）
第８回　数（0から20）、電話番号

第９回　１課・２課のまとめと復習

＜３課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第１０回　日常のことば：食べ物
第１１回　ドイツ語の名詞、複数形
第１２回　買い物の表現

＜４課　Meine Wohnung　私の住まい　（前半）＞
第１３回　日常のことば：住まい
第１４回　日常のことば：大きい、小さい…（形容詞）

第１５回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月４石井		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水1村井		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水1村井		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水2村井		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水2村井		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水3杉本		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水3杉本		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水4杉本		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水４杉本		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木3中村		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木３中村		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木4ケルバー阿部		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木4ケルバー阿部		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木5ケルバー阿部		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木5ケルバー阿部		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　後期木4濱野		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

"Schritte international 1"の1課から4課のABまで(教科書の前半)を学びます。どの課も日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

＜1課　Guten Tag. Mein Name ist …こんにちは。私の名前は…＞
第1回　オリエンテーション、あいさつ
第2回　相手の名前をきく、出身地をきく
第3回　自己紹介
第4回　アルファベット、書類記入の仕方

＜2課　Familie und Freunde 家族と友人＞
第5回　お元気ですか？
第6回　日常のことば:家族、親族、友人
第7回　動詞の変化(1人称、2人称、3人称)
第8回　数(0から20)、電話番号

第9回　1課・2課のまとめと復習

＜3課　Essen und Trinken 食べる、飲む＞
第10回　日常のことば:食べ物
第11回　ドイツ語の名詞、複数形
第12回　買い物の表現

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　(前半)＞
第13回　日常のことば:住まい
第14回　日常のことば:大きい、小さい…(形容詞)

第15回　学力考査と解説(日程は別途指示)

教科書　"Schritte international 1"　(理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　後期木4濱野		
科目キー	2800121002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期月４村井		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第１回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第２回　前置詞のいろいろ
第３回　疑問詞
第４回　助動詞を用いる文の構造
第５回　助動詞のいろいろ
第６回　学力考査と解説
第７回　形容詞の用法と形
第８回　比較級と最高級
第９回　動詞の３基本形、「過去の話」
第１０回　過去形
第１１回　現在完了形
第１２回　過去形と現在完了形
第１３回　再帰代名詞と再帰動詞
第１４回　zu不定詞
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期月５村井		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第１回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第２回　前置詞のいろいろ
第３回　疑問詞
第４回　助動詞を用いる文の構造
第５回　助動詞のいろいろ
第６回　学力考査と解説
第７回　形容詞の用法と形
第８回　比較級と最高級
第９回　動詞の３基本形、「過去の話」
第１０回　過去形
第１１回　現在完了形
第１２回　過去形と現在完了形
第１３回　再帰代名詞と再帰動詞
第１４回　zu不定詞
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期火２土屋		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	土屋　睦廣		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第１回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第２回　前置詞のいろいろ
第３回　疑問詞
第４回　助動詞を用いる文の構造
第５回　助動詞のいろいろ
第６回　学力考査と解説
第７回　形容詞の用法と形
第８回　比較級と最高級
第９回　動詞の３基本形、「過去の話」
第１０回　過去形
第１１回　現在完了形
第１２回　過去形と現在完了形
第１３回　再帰代名詞と再帰動詞
第１４回　zu不定詞
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期火3中村		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　釆女		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期水1秋葉		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期木1高橋		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　憲子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期木2高橋		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　憲子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期木3石井		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期金1飯塚		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期金2飯塚		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期金4浅野		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第1回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第2回　前置詞のいろいろ
第3回　疑問詞
第4回　助動詞を用いる文の構造
第5回　助動詞のいろいろ
第6回　学力考査と解説
第7回　形容詞の用法と形
第8回　比較級と最高級
第9回　動詞の3基本形、「過去の話」
第10回　過去形
第11回　現在完了形
第12回　過去形と現在完了形
第13回　再帰代名詞と再帰動詞
第14回　zu不定詞
第15回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語100』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　前期火１土屋		
科目キー	2800121005		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	１時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	土屋　睦廣		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2週程度を割り当てる予定です。

第１回　いままで身に付けたドイツ語知識の復習
第２回　前置詞のいろいろ
第３回　疑問詞
第４回　助動詞を用いる文の構造
第５回　助動詞のいろいろ
第６回　学力考査と解説
第７回　形容詞の用法と形
第８回　比較級と最高級
第９回　動詞の３基本形、「過去の話」
第１０回　過去形
第１１回　現在完了形
第１２回　過去形と現在完了形
第１３回　再帰代名詞と再帰動詞
第１４回　zu不定詞
第１５回　学力考査と解説（日時は別途指示）

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期月１大澤		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の４課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第１回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第１0回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第１１回　「...ができる」の表現
第１２回　「...をしたい」の表現
第１３回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第１４回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第１５回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　評価の主たる対象は学期末の教場試験。
その結果と平常点（レポート、小テスト、授業参加の状態など）を総合的に判断。

備考　出席状況により単位の取得が認められない場合がある。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期月2大澤		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　評価の主たる対象は学期末の教場試験。
その結果と平常点（レポート、小テスト、授業参加の状態など）を総合的に判断。

備考　出席状況により単位の取得が認められない場合がある。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期月４石井		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の４課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜４課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第１回　今までに学習した表現の復習
第２回　日常のことば：家具、色
第３回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜５課　Mein Tag　私の一日＞
第４回　時刻
第５回　日常のことば：一日の出来事
第６回　日常のことば：時を表す表現

第７回　４課・５課のまとめと復習

＜６課　Freizeit 余暇＞
第８回　天気、気候
第９回　買い物をする、注文をする
第１０回　日常のことば：余暇、趣味

＜７課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第１１回　「...ができる」の表現
第１２回　「...をしたい」の表現
第１３回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第１４回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第１５回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期水1村井		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期水2村井		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期水3杉本		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期水4杉本		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木3中村		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木4ケルバーアベ		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木5ケルバーアベ		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期金3秋葉		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　前期木4濱野		
科目キー	2800121006		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IA、または初級IBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

シラバス　"Schritte international 1"の4課CD（後半）から7課までを学びます。使用教材のレッスンごとに3-4回の授業を割り当てる予定です。各課ごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

＜4課　Meine Wohnung　私の住まい　（後半）＞
第1回　今までに学習した表現の復習
第2回　日常のことば：家具、色
第3回　1000までの数、賃貸広告を読む

＜5課　Mein Tag　私の一日＞
第4回　時刻
第5回　日常のことば：一日の出来事
第6回　日常のことば：時を表す表現

第7回　4課・5課のまとめと復習

＜6課　Freizeit 余暇＞
第8回　天気、気候
第9回　買い物をする、注文をする
第10回　日常のことば：余暇、趣味

＜7課　Lernen – ein Leben lang 生涯学習＞
第11回　「...ができる」の表現
第12回　「...をしたい」の表現
第13回　過去の表現：haben を用いる現在完了形
第14回　過去の表現：seinを用いる現在完了形

第15回　学力考査と解説（日程は別途指示）

教科書　"Schritte international 1"　（理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMがついています。このCD-ROMにはインターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、ドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されています。自宅学習にはこれも活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期月3石井		
科目キー	2800121007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学び、ドイツ文法の基礎を完成させます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

シラバス　「ドイツ語100」の11課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

第1回　1年次に学んだ文法事項や語彙の復習
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！（前半）
第2回 ドイツ語100: 受動態の構文
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！（後半）
第3回 ドイツ語100: 受動態の用法
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(前半)
第4回 ドイツ語100:　関係代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(後半)
第5回　ドイツ語100: 指示代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で（まとめ）

第6回　文法のまとめと復習、語彙の確認

第7回 ドイツ語100: 接続法の形
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（前半）
第8回 ドイツ語100: 接続法の用法
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（後半）
第9回 ドイツ語100: 接続法の練習
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（まとめ）
第10回 ドイツ語100: 接続詞
Abschnitt 4: Probleme 難題（前半）
第11回 ドイツ語100: 合成名詞
Abschnitt 4: Probleme 難題（後半）
第12回　今まで学んだ文法のまとめ
Abschnitt 4: Probleme 難題（まとめ）
第13回　Abschnitt1-4の語彙と表現のまとめ

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　「ドイツ語100」三修社　（理工生協扱い）
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"（理工生協扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数、参加態度を成績に反映されます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期月3石井		
科目キー	2800121007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期水3秋葉		
科目キー	2800121007		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学び、ドイツ文法の基礎を完成させます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

シラバス　「ドイツ語100」の11課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

第1回　1年次に学んだ文法事項や語彙の復習
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！（前半）
第2回 ドイツ語100: 受動態の構文
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！（後半）
第3回 ドイツ語100: 受動態の用法
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(前半)
第4回 ドイツ語100:　関係代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(後半)
第5回　ドイツ語100: 指示代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で（まとめ）

第6回　文法のまとめと復習、語彙の確認

第7回 ドイツ語100: 接続法の形
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（前半）
第8回 ドイツ語100: 接続法の用法
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（後半）
第9回 ドイツ語100: 接続法の練習
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（まとめ）
第10回 ドイツ語100: 接続詞
Abschnitt 4: Probleme 難題（前半）
第11回 ドイツ語100: 合成名詞
Abschnitt 4: Probleme 難題（後半）
第12回　今まで学んだ文法のまとめ
Abschnitt 4: Probleme 難題（まとめ）
第13回　Abschnitt1-4の語彙と表現のまとめ

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　「ドイツ語100」三修社　（理工生協扱い）
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"（理工生協扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数、参加態度を成績に反映されます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期水3秋葉		
科目キー	2800121007		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期木2中村		
科目キー	2800121007		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学び、ドイツ文法の基礎を完成させます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

シラバス　「ドイツ語100」の11課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

第1回　1年次に学んだ文法事項や語彙の復習
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！（前半）
第2回 ドイツ語100: 受動態の構文
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！（後半）
第3回 ドイツ語100: 受動態の用法
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(前半)
第4回 ドイツ語100:　関係代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(後半)
第5回　ドイツ語100: 指示代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で（まとめ）

第6回　文法のまとめと復習、語彙の確認

第7回 ドイツ語100: 接続法の形
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（前半）
第8回 ドイツ語100: 接続法の用法
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（後半）
第9回 ドイツ語100: 接続法の練習
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?（まとめ）
第10回 ドイツ語100: 接続詞
Abschnitt 4: Probleme 難題（前半）
第11回 ドイツ語100: 合成名詞
Abschnitt 4: Probleme 難題（後半）
第12回　今まで学んだ文法のまとめ
Abschnitt 4: Probleme 難題（まとめ）
第13回　Abschnitt1-4の語彙と表現のまとめ

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　「ドイツ語100」三修社　（理工生協扱い）
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"（理工生協扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数、参加態度を成績に反映されます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期木2中村		
科目キー	2800121007		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IB（学院クラス）前期月４中村		
科目キー	2800121008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語初級IIAまたは初級IIBを学び、基礎を身につけた学生が対象の授業です。授業は演習形式で行います。「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"のLektion 8からLektion 11の前半(AB)までを学びます。

シラバス　教科書1課につき3-4回の授業をあてる予定です。

＜8課 Beruf und Arbeit　職業と仕事＞
第1回　仕事に関する表現
第2回　時を表す前置詞
第3回　過去形
第4回　求人広告を読む

＜9課　In einer fremden Stadt 初めての町で＞
第5回　観光局での問い合わせ
第6回　許可、禁止、命令の表現
第7回　観光パンフレットを読む

第8回　8課・9課のまとめと復習

＜10課　Gesundheit　健康＞
第9回　身体に関する表現
第10回　病気やけがの症状を表現し、治療法を理解する
第11回　病院の予約をとる、問い合わせの手紙を書く

＜11課　In der Stadt unterwegs　町の中で　（前半）＞
第12回　道順を尋ねる
第13回　場所・方向を表す表現

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IB（学院クラス）前期木3シュレヒト		
科目キー	2800121008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　ドイツ語初級IIAまたは初級IIBを学び、基礎を身につけた学生が対象の授業です。授業は演習形式で行います。「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"のLektion 8からLektion 11の前半(AB)までを学びます。

シラバス　教科書1課につき3-4回の授業をあてる予定です。

＜8課 Beruf und Arbeit　職業と仕事＞
第1回　仕事に関する表現
第2回　時を表す前置詞
第3回　過去形
第4回　求人広告を読む

＜9課　In einer fremden Stadt 初めての町で＞
第5回　観光局での問い合わせ
第6回　許可、禁止、命令の表現
第7回　観光パンフレットを読む

第8回　8課・9課のまとめと復習

＜10課　Gesundheit　健康＞
第9回　身体に関する表現
第10回　病気やけがの症状を表現し、治療法を理解する
第11回　病院の予約をとる、問い合わせの手紙を書く

＜11課　In der Stadt unterwegs　町の中で　（前半）＞
第12回　道順を尋ねる
第13回　場所・方向を表す表現

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IB（学院クラス）前期金3石井		
科目キー	2800121008		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語初級IIAまたは初級IIBを学び、基礎を身につけた学生が対象の授業です。授業は演習形式で行います。「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"のLektion 8からLektion 11の前半(AB)までを学びます。

シラバス　教科書1課につき3-4回の授業をあてる予定です。

＜8課 Beruf und Arbeit　職業と仕事＞
第1回　仕事に関する表現
第2回　時を表す前置詞
第3回　過去形
第4回　求人広告を読む

＜9課　In einer fremden Stadt 初めての町で＞
第5回　観光局での問い合わせ
第6回　許可、禁止、命令の表現
第7回　観光パンフレットを読む

第8回　8課・9課のまとめと復習

＜10課　Gesundheit　健康＞
第9回　身体に関する表現
第10回　病気やけがの症状を表現し、治療法を理解する
第11回　病院の予約をとる、問い合わせの手紙を書く

＜11課　In der Stadt unterwegs　町の中で　（前半）＞
第12回　道順を尋ねる
第13回　場所・方向を表す表現

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IIA（学院クラス）後期月３石井		
科目キー	2800121009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語中級IAまたは中級IBを履修した学生のための科目です。ドイツ語中級IAで学んだビデオ教材を引き続き用いて、ドイツ語を確実に習得します。基礎的な単語や単語に繰り返し触れ、文法の復習をしながら、ベルリンの若者の日常生活を描いたドラマを見、「聞く」「読む」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。
中級IAで学んだビデオドラマ”Treffpunkt Berlin”の第5話から、最終回までを扱います。

シラバス　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”の5課−12課を学びます。

第１回　Abschnitt 1からAbschnitt4の復習
第２回　Abschnitt 5: Die Boutique ブティック
第３回　Abschnitt 6: Wie schmeckt’s?
　　お味はいかがですか?
第４回　Abschnitt 5と6のまとめ
第５回　Abschnitt 7: Wie gefaellt dir das? 気に入った?
第６回　Abschnitt 8: Geburtstag 誕生日
第７回　Abschnitt 7と8のまとめ
第８回　Abschnitt 9: Arbeit仕事
第９回　Abschnitt 10: Besuch 訪問
第１０回　Abschnitt 9と10のまとめ
第１１回　Abschnitt 11: Berlin　ベルリン
第１２回　Abschnitt 12: Sport スポーツ
第１３回　Abschnitt 11と12のまとめ
第１４回　学力考査と解説
第１５回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”（理工生協扱い）

参考文献　予習・復習のために独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　毎回の授業態度は成績に反映されます。
極端に出席が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IIA（学院クラス）後期水3秋葉		
科目キー	2800121009		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　すでにドイツ語中級IAまたは中級IBを履修した学生のための科目です。ドイツ語中級IAで学んだビデオ教材を引き続き用いて、ドイツ語を確実に習得します。基礎的な単語や単語に繰り返し触れ、文法の復習をしながら、ベルリンの若者の日常生活を描いたドラマを見、「聞く」「読む」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。
中級IAで学んだビデオドラマ”Treffpunkt Berlin”の第5話から、最終回までを扱います。

シラバス　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”の5課−12課を学びます。

第1回　Abschnitt 1からAbschnitt4の復習
第2回　Abschnitt 5: Die Boutique ブティック
第3回　Abschnitt 6: Wie schmeckt’s?
　　お味はいかがですか?
第4回　Abschnitt 5と6のまとめ
第5回　Abschnitt 7: Wie gefaellt dir das? 気に入った?
第6回　Abschnitt 8: Geburtstag 誕生日
第7回　Abschnitt 7と8のまとめ
第8回　Abschnitt 9: Arbeit仕事
第9回　Abschnitt 10: Besuch 訪問
第10回　Abschnitt 9と10のまとめ
第11回　Abschnitt 11: Berlin　ベルリン
第12回　Abschnitt 12: Sport スポーツ
第13回　Abschnitt 11と12のまとめ
第14回　学力考査と解説
第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”（理工生協扱い）

参考文献　予習・復習のために独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　毎回の授業態度は成績に反映されます。
極端に出席が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IIA（学院クラス）後期金３中村		
科目キー	2800121009		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語中級IAまたは中級IBを履修した学生のための科目です。ドイツ語中級IAで学んだビデオ教材を引き続き用いて、ドイツ語を確実に習得します。基礎的な単語や単語に繰り返し触れ、文法の復習をしながら、ベルリンの若者の日常生活を描いたドラマを見、「聞く」「読む」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。
中級IAで学んだビデオドラマ”Treffpunkt Berlin”の第5話から、最終回までを扱います。

シラバス　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”の5課−12課を学びます。

第１回　Abschnitt 1からAbschnitt4の復習
第２回　Abschnitt 5: Die Boutique ブティック
第３回　Abschnitt 6: Wie schmeckt’s?
　　お味はいかがですか？
第４回　Abschnitt 5と6のまとめ
第５回　Abschnitt 7: Wie gefaellt dir das? 気に入った？
第６回　Abschnitt 8: Geburtstag 誕生日
第７回　Abschnitt 7と8のまとめ
第８回　Abschnitt 9: Arbeit仕事
第９回　Abschnitt 10: Besuch 訪問
第１０回　Abschnitt 9と10のまとめ
第１１回　Abschnitt 11: Berlin　ベルリン
第１２回　Abschnitt 12: Sport スポーツ
第１３回　Abschnitt 11と12のまとめ
第１４回　学力考査と解説
第１５回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”（理工生協扱い）

参考文献　予習・復習のために独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　毎回の授業態度は成績に反映されます。
極端に出席が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IIB （学院クラス） 後期月４中村		
科目キー	2800121010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語中級IBまたは中級IIAを学んだ学生のための科目です。授業は演習形式で行います。中級IBに引き続き、「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、さらに新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"の Lektion 11の後半（CD）からLektion 14までを学びます。

シラバス　3-4回の授業を教科書1課分にあてる予定です。

＜１１課　In der Stadt unterwegs 町の中で（後半）＞
第１回　これまでに学んだことの復習
第２回　時刻表を読む

＜１２課　Der Kunde ist Koenig お客様は神様です＞
第３回　お店でのやりとり
第４回　ていねいな依頼の表現
第５回　期限・期日の表現
第６回　説明書を読む

第７回　11課CD・12課の復習とまとめ

＜１３課 Neue Kleider 新しい服＞
第８回　衣服に関する表現
第９回　好みを表現する、比較級・最上級
第１０回　Dativ表現の重要動詞

＜１４課　Festeお祝い＞
第１１回　日にちの正確な表現
第１２回　承諾・断りの返答
第１３回　招待状を読む・書く、カードを書く

第１４回　学力考査と解説

第１５回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IIB （学院クラス） 後期木3シュレヒト		
科目キー	2800121010		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員			

副題

授業概要　ドイツ語中級IBまたは中級IIAを学んだ学生のための科目です。授業は演習形式で行います。中級IBに引き続き、「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、さらに新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
”Schritte international 2”の Lektion 11の後半（CD）からLektion 14までを学びます。

シラバス　3-4回の授業を教科書1課分にあてる予定です。

＜１１課　In der Stadt unterwegs 町の中で（後半）＞
第１回　これまでに学んだことの復習
第２回　時刻表を読む

＜１２課　Der Kunde ist Koenig お客様は神様です＞
第３回　お店でのやりとり
第４回　ていねいな依頼の表現
第５回　期限・期日の表現
第６回　説明書を読む

第７回　11課CD・12課の復習とまとめ

＜１３課 Neue Kleider 新しい服＞
第８回　衣服に関する表現
第９回　好みを表現する、比較級・最上級
第１０回　Dativ表現の重要動詞

＜１４課　Festeお祝い＞
第１１回　日にちの正確な表現
第１２回　承諾・断りの返答
第１３回　招待状を読む・書く、カードを書く

第１４回　学力考査と解説

第１５回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Schritte international 2”（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語IIB （学院クラス） 後期金3石井		
科目キー	2800121010		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語中級IBまたは中級IIAを学んだ学生のための科目です。授業は演習形式で行います。中級IBに引き続き、「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、さらに新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"の Lektion 11の後半（CD）からLektion 14までを学びます。

シラバス　3-4回の授業を教科書1課分にあてる予定です。

＜11課　In der Stadt unterwegs 町の中で（後半）＞
第1回　これまでに学んだことの復習
第2回　時刻表を読む

＜12課　Der Kunde ist Koenig お客様は神様です＞
第3回　お店でのやりとり
第4回　ていねいな依頼の表現
第5回　期限・期日の表現
第6回　説明書を読む

第7回　11課CD・12課の復習とまとめ

＜13課 Neue Kleider 新しい服＞
第8回　衣服に関する表現
第9回　好みを表現する、比較級・最上級
第10回　Dativ表現の重要動詞

＜14課　Festeお祝い＞
第11回　日にちの正確な表現
第12回　承諾・断りの返答
第13回　招待状を読む・書く、カードを書く

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語上級I　前期月4シュレヒト		
科目キー	2800121013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　Junge Leute in Europa（1）

授業概要

Im Unterricht verwenden wir Videos, in denen drei junge Leute aus Deutschland, Österreich und Liechtenstein vorgestellt werden. Wir beschäftigen uns intensiv mit dem Inhalt der einzelnen Szenen, um zu sehen, wie diese jungen Leute leben, was sie denken und was sie fühlen. Wir üben dabei das Hörverständnis（聞き取り能力）und lernen viele neue Wendungen（表現）für den Gebrauch im Alltag（日常会話）. In den einzelnen Szenen gibt es immer wieder auch Diskussionen, z. B. mit Freunden oder anderen Familienmitgliedern. Anhand dieser Diskussionen wollen wir lernen und üben, wie man auf Deutsch seine eigene Meinung（意見）ausdrückt.

Natürlich liefern uns die Videoszenen auch wichtige Informationen über Deutschland, Österreich und Liechtenstein. Wir beschäftigen uns im Unterricht (anhand von zusätzlichen Lesetexten und anderen Materialien) mit verschiedenen Aspekten dieser Länder: z. B. Schulsystem, Esskultur, Hobby, Freizeit, Urlaub, Lebensstil, Musik, Mode etc.

Die Materialien für den Unterricht (Texte, Hausaufgabenblätter usw.) können die Teilnehmer von der Homepage des 国際文化領域ドイツ語教室 herunterladen. In der ersten Unterrichtsstunde werden Informationen dazu gegeben.

シラバス

1回目
Einführung und Orientierung（授業全体の説明、成績評価方法）

2回目
Vorstellung von "Christiane aus Berlin" (Teil 1).
Christiane möchte Schauspielerin werden. Sie stellt uns ihre Schule vor. Sie lebt in einer Wohnung zusammen mit ihrer Freundin Josy in Prenzlauer Berg. Das ist ein Berliner Stadtteil, in dem viele junge Leute wohnen. Dort gibt es zahlreiche nette Cafes, Restaurants, Kneipen ... In ihrer Freizeit malt Christiane gern Bilder.

3回目
Fortsetzung von "Christiane aus Berlin" (Teil 2)

4回目
Übungen zur neu gelernten Grammatik und zum Wortschatz.

5回目
Sprech- und Hörübungen zu den in "Christiane aus Berlin" behandelten Themen. Diskussion dazu.

6回目
Vorstellung von "Björn aus Wien" (Teil 1).
Björn besucht das Gymnasium. Seine Schule befindet sich nicht in einem normalen Haus, sondern in einem alten Schiff (!) auf der Donau. Er führt uns durch seine Schule, und dabei lernen wir seine Schulkameraden und seine Lehrer/innen kennen. Sein Hobby ist "Inline-Skating". Er zeigt uns die Stadt Wien. Im Prater, einem Vergnügungspark（遊園地）, trifft er am Nachmittag seine Freunde

7回目
Fortsetzung von "Björn aus Wien" (Teil 2).

8回目
Übungen zur neu gelernten Grammatik und zum Wortschatz.

9回目
Sprech- und Hörübungen zu den in "Björn aus Wien" behandelten Themen. Diskussion dazu.

10回目
Vorstellung von "Baris aus Liechtenstein" (Teil 1).
Baris besucht in der Stadt Vaduz eine Realschule. Er zeigt uns die Stadt und das Schloss. Seine Hobbys sind Kick-

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語上級I　前期月4シュレヒト		
科目キー	2800121013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Boxing und Saxophon. Er ist Mitglied in einer Band. Baris stellt uns auch seine Familie vor: Seinen Vater (aus der Türkei) und seine Schwester.

11回目
Fortsetzung von "Baris aus Liechtenstein" (Teil 2).

12回目
Übungen zur neu gelernten Grammatik und zum Wortschatz.

13回目
Sprech- und Hörübungen zu den in "Baris aus Liechtenstein" behandelten Themen. Diskussion dazu.

14回目
学力考査と解説

15回目
コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　「少しでもドイツ語が話せるようになりたい」という気持ちで、積極的に授業に参加してください。この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低3年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

（前期のみ、または後期のみ履修も可）

＊担当教員連絡先：　W. シュレヒト (schlecht@waseda.jp)

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語上級II　後期月4シュレヒト		
科目キー	2800121014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　Junge Leute in Europa（2）

授業概要

Im Unterricht verwenden wir Videos, in denen drei junge Leute aus Italien, aus der Schweiz und aus Deutschland vorgestellt werden. Wir beschäftigen uns intensiv mit dem Inhalt der einzelnen Szenen, um zu sehen, wie diese jungen Leute leben, was sie denken und was sie fühlen. Wir üben dabei das Hörverständnis（聞き取り能力）und lernen viele neue Wendungen（表現）für den Gebrauch im Alltag（日常会話）. In den einzelnen Szenen gibt es immer wieder auch Diskussionen, z. B. mit Freunden oder anderen Familienmitgliedern. Anhand dieser Diskussionen wollen wir lernen und üben, wie man auf Deutsch seine eigene Meinung（意見）ausdrückt.

Natürlich liefern uns die Videoszenen auch wichtige Informationen über Italien (Südtirol), die Schweiz und Deutschland. Wir beschäftigen uns im Unterricht (anhand von zusätzlichen Lesetexten und anderen Materialien) mit verschiedenen Aspekten dieser Länder: z. B. Schulsystem, Esskultur, Hobby, Freizeit, Urlaub, Lebensstil, Musik, Mode etc.

Die Materialien für den Unterricht (Texte, Hausaufgabenblätter usw.) können die Teilnehmer von der Homepage des 国際文化領域ドイツ語教室 herunterladen. In der ersten Unterrichtsstunde werden Informationen dazu gegeben.

シラバス

1回目
Einführung und Orientierung（授業全体の説明、成績評価方法）

2回目
Vorstellung von "Peter aus Brixen" (Teil 1).
Peter lebt in Südtirol. Südtirol gehört zu Italien, aber viele Leute dort sprechen Deutsch. Er besucht in Brixen eine Hotelfachschule. Seine Eltern betreiben ein kleines Hotel, das er später übernehmen soll. Seine Hobbys sind Fußball und Snowboarding.

3回目
Fortsetzung von "Peter aus Brixen" (Teil 2)

4回目
Übungen zur neu gelernten Grammatik und zum Wortschatz.

5回目
Sprech- und Hörübungen zu den in "Peter aus Brixen" behandelten Themen. Diskussion dazu.

6回目
Vorstellung von "Nina aus Luzern" (Teil 1).
Luzern ist eine Stadt in der Schweiz. Nina besucht dort ein Gymnasium. Einmal pro Woche arbeitet sie als Ansagerin（アナウンサー）in einem Studio. Ihr Hobby ist "Modern Dance", und oft geht sie mit ihren Freunden in einen Fitness-Park. Am Abend trifft sie meist ihre Freunde und Freundinnen in einen Klub für junge Leute. Der Klub heißt "Treibhaus".

7回目
Fortsetzung von "Nina aus Luzern" (Teil 2).

8回目
Übungen zur neu gelernten Grammatik und zum Wortschatz.

9回目
Sprech- und Hörübungen zu den in "Nina aus Luzern" behandelten Themen. Diskussion dazu.

10回目
Vorstellung von "Sandra aus Hamburg" (Teil 1).
Sandra studiert Medizin. Ihr Freund heißt Jan. Die beiden sind oft zusammen, sie gehen gemeinsam einkaufen,

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語上級II　後期月4シュレヒト		
科目キー	2800121014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

---

treffen Freunde, gehen ins Cafe, besuchen einen Flohmarkt, bummeln durch den Hamburger Hafen ... Sandras Hobby ist Segeln. Wir sehen sie auf einem Segelboot auf einem See.

11回目
Fortsetzung von "Sandra aus Hamburg" (Teil 2).

12回目
Übungen zur neu gelernten Grammatik und zum Wortschatz.

13回目
Sprech- und Hörübungen zu den in "Sandra aus Hamburg" behandelten Themen. Diskussion dazu.

14回目
学力考査と解説

15回目
コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　「少しでもドイツ語が話せるようになりたい」という気持ちで、積極的に授業に参加してください。この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低3年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

（前期のみ、または後期のみ履修も可）

＊担当教員連絡先：　W. シュレヒト（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IA　前期月３石井		
科目キー	2800121015		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学び、ドイツ文法の基礎を完成させます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

シラバス　「ドイツ語100」の11課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

第１回　１年次に学んだ文法事項や語彙の復習
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！(前半)
第２回 ドイツ語100: 受動態の構文
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！(後半)
第３回 ドイツ語100: 受動態の用法
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(前半)
第４回 ドイツ語100:　関係代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(後半)
第５回　ドイツ語100: 指示代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で (まとめ)

第６回　文法のまとめと復習、語彙の確認

第７回 ドイツ語100: 接続法の形
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?
(前半)
第８回 ドイツ語100: 接続法の用法
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?
(後半)
第９回 ドイツ語100: 接続法の練習
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?
(まとめ)
第１０回 ドイツ語100: 接続詞
Abschnitt 4: Probleme 難題 (前半)
第１１回 ドイツ語100: 合成名詞
Abschnitt 4: Probleme 難題 (後半)
第１２回　今まで学んだ文法のまとめ
Abschnitt 4: Probleme 難題 (まとめ)
第１３回　Abschnitt1-4の語彙と表現のまとめ

第１４回　学力考査と解説

第１５回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　「ドイツ語１００」三修社　(理工生協扱い)
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"(理工生協扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数、参加態度を成績に反映されます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IA　前期月３石井		
科目キー	2800121015		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	３時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IA　前期水3秋葉		
科目キー	2800121015		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学び、ドイツ文法の基礎を完成させます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

シラバス　「ドイツ語100」の11課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

第1回　1年次に学んだ文法事項や語彙の復習
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！(前半)
第2回 ドイツ語100: 受動態の構文
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！(後半)
第3回 ドイツ語100: 受動態の用法
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(前半)
第4回 ドイツ語100:　関係代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(後半)
第5回　ドイツ語100: 指示代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で (まとめ)

第6回　文法のまとめと復習、語彙の確認

第7回 ドイツ語100: 接続法の形
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?
(前半)
第8回 ドイツ語100: 接続法の用法
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?
(後半)
第9回 ドイツ語100: 接続法の練習
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの?
(まとめ)
第10回 ドイツ語100: 接続詞
Abschnitt 4: Probleme 難題 (前半)
第11回 ドイツ語100: 合成名詞
Abschnitt 4: Probleme 難題 (後半)
第12回　今まで学んだ文法のまとめ
Abschnitt 4: Probleme 難題 (まとめ)
第13回　Abschnitt1-4の語彙と表現のまとめ

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　「ドイツ語100」三修社　(理工生協扱い)
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"(理工生協扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数、参加態度を成績に反映されます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IA　前期水3秋葉		
科目キー	2800121015		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IA　前期木2中村		
科目キー	2800121015		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学び、ドイツ文法の基礎を完成させます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

シラバス　「ドイツ語100」の11課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

第1回　1年次に学んだ文法事項や語彙の復習
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！(前半)
第2回 ドイツ語100: 受動態の構文
Abschnitt 1: Hallo, Julia! ハロー，ユーリア！(後半)
第3回 ドイツ語100: 受動態の用法
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(前半)
第4回 ドイツ語100:　関係代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で(後半)
第5回　ドイツ語100: 指示代名詞
Abschnitt 2: Zu Hause 自宅で (まとめ)

第6回　文法のまとめと復習、語彙の確認

第7回 ドイツ語100: 接続法の形
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの? (前半)
第8回 ドイツ語100: 接続法の用法
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの? (後半)
第9回 ドイツ語100: 接続法の練習
Abschnitt 3: Was machst du? 何をしているの? (まとめ)
第10回 ドイツ語100: 接続詞
Abschnitt 4: Probleme 難題 (前半)
第11回 ドイツ語100: 合成名詞
Abschnitt 4: Probleme 難題 (後半)
第12回　今まで学んだ文法のまとめ
Abschnitt 4: Probleme 難題 (まとめ)
第13回　Abschnitt1-4の語彙と表現のまとめ

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　「ドイツ語100」三修社　(理工生協扱い)
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"(理工生協扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数、参加態度を成績に反映されます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IA　前期木２中村		
科目キー	2800121015		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IB　前期月４中村		
科目キー	2800121016		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語初級IIAまたは初級IIBを学び、基礎を身につけた学生が対象の授業です。授業は演習形式で行います。「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"のLektion 8からLektion 11の前半(AB)までを学びます。

シラバス　教科書1課につき3-4回の授業をあてる予定です。

＜8課 Beruf und Arbeit　職業と仕事＞
第1回　仕事に関する表現
第2回　時を表す前置詞
第3回　過去形
第4回　求人広告を読む

＜9課　In einer fremden Stadt 初めての町で＞
第5回　観光局での問い合わせ
第6回　許可、禁止、命令の表現
第7回　観光パンフレットを読む

第8回　8課・9課のまとめと復習

＜10課　Gesundheit　健康＞
第9回　身体に関する表現
第10回　病気やけがの症状を表現し、治療法を理解する
第11回　病院の予約をとる、問い合わせの手紙を書く

＜11課　In der Stadt unterwegs　町の中で　（前半）＞
第12回　道順を尋ねる
第13回　場所・方向を表す表現

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IB　前期木3シュレヒト		
科目キー	2800121016		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要　ドイツ語初級IIAまたは初級IIBを学び、基礎を身につけた学生が対象の授業です。授業は演習形式で行います。「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"のLektion 8からLektion 11の前半(AB)までを学びます。

シラバス　教科書1課につき3-4回の授業をあてる予定です。

＜8課 Beruf und Arbeit　職業と仕事＞
第1回　仕事に関する表現
第2回　時を表す前置詞
第3回　過去形
第4回　求人広告を読む

＜9課　In einer fremden Stadt 初めての町で＞
第5回　観光局での問い合わせ
第6回　許可、禁止、命令の表現
第7回　観光パンフレットを読む

第8回　8課・9課のまとめと復習

＜10課　Gesundheit　健康＞
第9回　身体に関する表現
第10回　病気やけがの症状を表現し、治療法を理解する
第11回　病院の予約をとる、問い合わせの手紙を書く

＜11課　In der Stadt unterwegs　町の中で　（前半）＞
第12回　道順を尋ねる
第13回　場所・方向を表す表現

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IB　前期金3石井		
科目キー	2800121016		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語初級IIAまたは初級IIBを学び、基礎を身につけた学生が対象の授業です。授業は演習形式で行います。「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"のLektion 8からLektion 11の前半(AB)までを学びます。

シラバス　教科書1課につき3-4回の授業をあてる予定です。

＜8課 Beruf und Arbeit　職業と仕事＞
第1回　仕事に関する表現
第2回　時を表す前置詞
第3回　過去形
第4回　求人広告を読む

＜9課　In einer fremden Stadt 初めての町で＞
第5回　観光局での問い合わせ
第6回　許可、禁止、命令の表現
第7回　観光パンフレットを読む

第8回　8課・9課のまとめと復習

＜10課　Gesundheit　健康＞
第9回　身体に関する表現
第10回　病気やけがの症状を表現し、治療法を理解する
第11回　病院の予約をとる、問い合わせの手紙を書く

＜11課　In der Stadt unterwegs　町の中で　（前半）＞
第12回　道順を尋ねる
第13回　場所・方向を表す表現

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IIA　後期月3石井		
科目キー	2800121017		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語中級IAまたは中級IBを履修した学生のための科目です。ドイツ語中級IAで学んだビデオ教材を引き続き用いて、ドイツ語を確実に習得します。基礎的な単語や単語に繰り返し触れ、文法の復習をしながら、ベルリンの若者の日常生活を描いたドラマを見、「聞く」「読む」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。
中級IAで学んだビデオドラマ”Treffpunkt Berlin”の第5話から、最終回までを扱います。

シラバス　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”の5課-12課を学びます。

第1回　Abschnitt 1からAbschnitt4の復習
第2回　Abschnitt 5: Die Boutique ブティック
第3回　Abschnitt 6: Wie schmeckt’s?
　　お味はいかがですか?
第4回　Abschnitt 5と6のまとめ
第5回　Abschnitt 7: Wie gefaellt dir das? 気に入った?
第6回　Abschnitt 8: Geburtstag 誕生日
第7回　Abschnitt 7と8のまとめ
第8回　Abschnitt 9: Arbeit仕事
第9回　Abschnitt 10: Besuch 訪問
第10回　Abschnitt 9と10のまとめ
第11回　Abschnitt 11: Berlin　ベルリン
第12回　Abschnitt 12: Sport スポーツ
第13回　Abschnitt 11と12のまとめ
第14回　学力考査と解説
第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”（理工生協扱い）

参考文献　予習・復習のために独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　毎回の授業態度は成績に反映されます。
極端に出席が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IIA　後期水3秋葉		
科目キー	2800121017		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　すでにドイツ語中級IAまたは中級IBを履修した学生のための科目です。ドイツ語中級IAで学んだビデオ教材を引き続き用いて、ドイツ語を確実に習得します。基礎的な単語や単語に繰り返し触れ、文法の復習をしながら、ベルリンの若者の日常生活を描いたドラマを見、「聞く」「読む」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。
中級IAで学んだビデオドラマ”Treffpunkt Berlin”の第5話から、最終回までを扱います。

シラバス　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”の5課-12課を学びます。

第1回　Abschnitt 1からAbschnitt4の復習
第2回　Abschnitt 5: Die Boutique ブティック
第3回　Abschnitt 6: Wie schmeckt’s?
　　お味はいかがですか?
第4回　Abschnitt 5と6のまとめ
第5回　Abschnitt 7: Wie gefaellt dir das? 気に入った?
第6回　Abschnitt 8: Geburtstag 誕生日
第7回　Abschnitt 7と8のまとめ
第8回　Abschnitt 9: Arbeit仕事
第9回　Abschnitt 10: Besuch 訪問
第10回　Abschnitt 9と10のまとめ
第11回　Abschnitt 11: Berlin　ベルリン
第12回　Abschnitt 12: Sport スポーツ
第13回　Abschnitt 11と12のまとめ
第14回　学力考査と解説
第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”（理工生協扱い）

参考文献　予習・復習のために独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　毎回の授業態度は成績に反映されます。
極端に出席が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IIA　後期金3中村		
科目キー	2800121017		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語中級IAまたは中級IBを履修した学生のための科目です。ドイツ語中級IAで学んだビデオ教材を引き続き用いて、ドイツ語を確実に習得します。基礎的な単語や単語に繰り返し触れ、文法の復習をしながら、ベルリンの若者の日常生活を描いたドラマを見、「聞く」「読む」「書く」「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。
中級IAで学んだビデオドラマ”Treffpunkt Berlin”の第5話から、最終回までを扱います。

シラバス　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”の5課-12課を学びます。

第1回　Abschnitt 1からAbschnitt4の復習
第2回　Abschnitt 5: Die Boutique ブティック
第3回　Abschnitt 6: Wie schmeckt’s?
　　お味はいかがですか？
第4回　Abschnitt 5と6のまとめ
第5回　Abschnitt 7: Wie gefaellt dir das? 気に入った？
第6回　Abschnitt 8: Geburtstag 誕生日
第7回　Abschnitt 7と8のまとめ
第8回　Abschnitt 9: Arbeit仕事
第9回　Abschnitt 10: Besuch 訪問
第10回　Abschnitt 9と10のまとめ
第11回　Abschnitt 11: Berlin　ベルリン
第12回　Abschnitt 12: Sport スポーツ
第13回　Abschnitt 11と12のまとめ
第14回　学力考査と解説
第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　”Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1”（理工生協扱い）

参考文献　予習・復習のために独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　毎回の授業態度は成績に反映されます。
極端に出席が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IIB　後期月４中村		
科目キー	2800121018		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語中級IBまたは中級IIAを学んだ学生のための科目です。授業は演習形式で行います。中級IBに引き続き、「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、さらに新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"の Lektion 11の後半（CD）からLektion 14までを学びます。

シラバス　3-4回の授業を教科書1課分にあてる予定です。

＜１１課　In der Stadt unterwegs 町の中で（後半）＞
第１回　これまでに学んだことの復習
第２回　時刻表を読む

＜１２課　Der Kunde ist Koenig お客様は神様です＞
第３回　お店でのやりとり
第４回　ていねいな依頼の表現
第５回　期限・期日の表現
第６回　説明書を読む

第７回　11課CD・12課の復習とまとめ

＜１３課 Neue Kleider 新しい服＞
第８回　衣服に関する表現
第９回　好みを表現する、比較級・最上級
第１０回　Dativ表現の重要動詞

＜１４課　Festeお祝い＞
第１１回　日にちの正確な表現
第１２回　承諾・断りの返答
第１３回　招待状を読む・書く、カードを書く

第１４回　学力考査と解説

第１５回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IIB　後期木3シュレヒト		
科目キー	2800121018		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要　ドイツ語中級IBまたは中級IIAを学んだ学生のための科目です。授業は演習形式で行います。中級IBに引き続き、「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、さらに新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"の Lektion 11の後半（CD）からLektion 14までを学びます。

シラバス　3-4回の授業を教科書1課分にあてる予定です。

＜11課　In der Stadt unterwegs 町の中で（後半）＞
第1回　これまでに学んだことの復習
第2回　時刻表を読む

＜12課　Der Kunde ist Koenig お客様は神様です＞
第3回　お店でのやりとり
第4回　ていねいな依頼の表現
第5回　期限・期日の表現
第6回　説明書を読む

第7回　11課CD・12課の復習とまとめ

＜13課 Neue Kleider 新しい服＞
第8回　衣服に関する表現
第9回　好みを表現する、比較級・最上級
第10回　Dativ表現の重要動詞

＜14課　Festeお祝い＞
第11回　日にちの正確な表現
第12回　承諾・断りの返答
第13回　招待状を読む・書く、カードを書く

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	独語中級IIB　後期金3石井		
科目キー	2800121018		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語中級IBまたは中級IIAを学んだ学生のための科目です。授業は演習形式で行います。中級IBに引き続き、「表現」「会話」「読解」「視聴覚」などの能力向上を目指し、さらに新しい文法事項を学び、より複雑なドイツ語表現力を身につけます。ドイツ語圏に行った際に必要な最低限のコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得が目標です。
"Schritte international 2"の Lektion 11の後半（CD）からLektion 14までを学びます。

シラバス　3-4回の授業を教科書1課分にあてる予定です。

＜11課　In der Stadt unterwegs 町の中で（後半）＞
第1回　これまでに学んだことの復習
第2回　時刻表を読む

＜12課　Der Kunde ist Koenig お客様は神様です＞
第3回　お店でのやりとり
第4回　ていねいな依頼の表現
第5回　期限・期日の表現
第6回　説明書を読む

第7回　11課CD・12課の復習とまとめ

＜13課 Neue Kleider 新しい服＞
第8回　衣服に関する表現
第9回　好みを表現する、比較級・最上級
第10回　Dativ表現の重要動詞

＜14課　Festeお祝い＞
第11回　日にちの正確な表現
第12回　承諾・断りの返答
第13回　招待状を読む・書く、カードを書く

第14回　学力考査と解説

第15回　コースナビにて学習した内容の点検と確認

教科書　"Schritte international 2"（理工生協扱い）

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。発音練習、聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。自宅学習の際、是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出、試験

備考　授業態度は評価に反映されます。
極端に出席回数が少ない場合は単位取得できません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期月５中沢		
科目キー	2800131001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス
第１回　オリエンテーション
第２回　あいさつの表現
第３回　お礼・おわびの表現、数字の言い方（１から２０）
第４回　名詞の性と数
第５回　冠詞、「コーヒーをお願いします」
第６回　主語人称代名詞、動詞etreとavoir
第７回　「これは何ですか？」、曜日・月の名前と日付の言い方
第８回　形容詞
第９回　「あなたのお名前は何ですか？」よく出てくる国名・国籍
第１０回　第一群規則動詞（-er形の動詞）
第１１回　数字の言い方（２０から６０）
第１２回　「今何時ですか？」
第１３回　否定文と疑問文
第１４回　「映画は好き？」
第１５回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版）2200円

参考文献　特に無し

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）があります。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期火3但田		
科目キー	2800131001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　あいさつの表現
第3回　お礼・おわびの表現、数字の言い方（1?20）
第4回　名詞の性と数
第5回　冠詞、「コーヒーをお願いします」
第6回　主語人称代名詞、動詞êtreとavoir
第7回　「これは何ですか？」、曜日・月の名前と日付の言い方
第8回　形容詞
第9回　「あなたのお名前は何ですか？」、よく出てくる国名・国籍
第10回　第一群規則動詞（-er形の動詞）
第11回　数字の言い方（20-60）
第12回　いま何時ですか？
第13回　否定文と疑問文
第14回　「映画は好き？」
第15回　学力考査および解説

参考文献〔各先生でご自由にお書きください〕

評価方法 学期末試験および平常点。

備考 同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）があります。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）

理工生協書籍部取り扱い

参考文献　参考書、辞書類については、授業中に紹介します。

評価方法　平常点（出席）と期末試験の成績を合わせて評価します。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。

このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期火５小林		
科目キー	2800131001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	小林　拓也		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

担当者からのメッセージ:

外国語をいやいや学ぼうとしていませんか？フランス語は、フランス、スイス、カナダ、モロッコなど多くの国と地域で話されている国連の公用語です。また、フランスのエコール・ポリテクニークや原子力庁（CEA）、スイスのローザンヌ工科大学や欧州原子核研究機構（CERN）など、理工系の名門での基盤言語でもあり、少しでも身に付ければ様々な可能性が広がります。
本講では、語学だけでなく関連の文化も学び、受験英語とは違った「生きた外国語」としての習得を目指します。会話能力を高めることに集中し、旅行で困らないレベルを当面の目標としますが、その先には、日本語や英語による思考システムとは別の物の見方を介した、新しい世界との出会いが待っていることでしょう。Bon courage!

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語１　改訂版』（朝日出版社）第１課から第6課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　あいさつの表現
第３回　お礼・おわびの表現、数字の言い方（1−20）
第４回　名詞の性と数
第５回　冠詞、「コーヒーをお願いします」
第６回　主語人称代名詞、動詞êtreとavoir
第７回　「これは何ですか？」、曜日・月の名前と日付の言い方
第８回　形容詞
第９回　「あなたのお名前は何ですか？」、よく出てくる国名・国籍
第１０回　第一群規則動詞（-er形の動詞）
第１１回　数字の言い方（20-60）
第１２回　いま何時ですか？
第１３回　否定文と疑問文
第１４回　「映画は好き？」
第１５回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語１　改訂版』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）があります。
また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期木1宇田川		
科目キー	2800131001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　あいさつの表現
第3回　お礼・おわびの表現、数字の言い方（1−20）
第4回　名詞の性と数
第5回　冠詞、「コーヒーをお願いします」
第6回　主語人称代名詞、動詞êtreとavoir
第7回　「これは何ですか？」、曜日・月の名前と日付の言い方
第8回　形容詞
第9回　「あなたのお名前は何ですか？」、よく出てくる国名・国籍
第10回　第一群規則動詞（-er形の動詞）
第11回　数字の言い方（20-60）
第12回　いま何時ですか？
第13回　否定文と疑問文
第14回　「映画は好き？」
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）があります。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期木5綾部		
科目キー	2800131001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　あいさつの表現
第3回　お礼・おわびの表現、数字の言い方（1-20）
第4回　名詞の性と数
第5回　冠詞、「コーヒーをお願いします」
第6回　主語人称代名詞、動詞_treとavoir
第7回　「これは何ですか？」、曜日・月の名前と日付の言い方
第8回　形容詞
第9回　「あなたのお名前は何ですか？」、よく出てくる国名・国籍
第10回　第一群規則動詞（-er形の動詞）
第11回　数字の言い方（20-60）
第12回　いま何時ですか？
第13回　否定文と疑問文
第14回　「映画は好き？」
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）2200円

参考文献　「角川oneテーマ21」の中の1冊、語学のカッコよさ（黒田氏のことば）について語る『語学はやり直せる！』（黒田龍之助著）は読むと楽しい本だと思います。他は辞書も含め、授業の中で適宜紹介します。

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）があります。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期金1佐山		
科目キー	2800131001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐山　一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　半年間で、教科書『カジュアルにフランス語--改訂版--』のうち、第1課から第6課までを学習します。
そのことを通じて、フランス語のしくみの基礎の基礎をじっくりと学び、しっかり確実に身につけることを目指します。
随時かんたんな小テストを行い、ふだんからの反復練習を積み上げてゆきたいと思います。また、できるだけフランス文化に触れる機会を設けて、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。総体として楽しい授業になるよう心がけます。
少しでもフランス語に興味のある人は、気軽に参加してみてください。

授業スケジュール
第1回（4月10日）オリエンテーション
第2回（4月17日）あいさつの表現
第3回（4月24日）お礼・おわびの表現、数字の言い方（1-20）
第4回（5月8日）　名詞の性と数
第5回（5月15日）冠詞、「コーヒーをお願いします」
第6回（5月22日）主語人称代名詞、動詞etreとavoir
第7回（5月29日）「これは何ですか？」、曜日・月の名前と日付の言い方
第8回（6月5日）　形容詞、「あなたのお名前は何ですか？」
第9回（6月12日）コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回（6月19日）よく出てくる国名・国籍、第一群規則動詞（-er形の動詞）
第11回（6月26日）数字の言い方（20-60）
第12回（7月3日）　いま何時ですか？
第13回（7月10日）否定文と疑問文
第14回（7月17日）「映画は好き？」
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　沼田・松村ほか著『カジュアルにフランス語--改訂版--』（朝日出版社）本体価格2200円。理工生協書籍部扱い。

参考文献　辞書：「プチ・ロワイヤル仏和辞典」旺文社（本体3700円）、同［CD付き版］（本体3800円）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）があります。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期月４中沢		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』の第1課から第11課まで。
第１回　オリエンテーション
第２回　疑問文
第３回　名詞、不定冠詞
第４回　名詞の複数形
第５回　定冠詞
第６回　数詞（１から２０）
第７回　主語人称代名詞
第８回　動詞etreの現在形、名詞の女性形
第９回　形容詞
第１０回　形容詞（名詞につけるとき）
第１１回　動詞avoirの現在形
第１２回　倒置による疑問文、時の表現
第１３回　疑問詞qu'est-ce que,que、数詞（２１から６９）
第１４回　否定文、il y a
第１５回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　特に無し

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）があります。また「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期火2斎藤		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題　フランス語初級文法（1）

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第11課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　疑問文
第3回　名詞、不定冠詞
第4回　名詞の複数形
第5回　定冠詞
第6回　数詞（1-20）
第7回　主語人称代名詞
第8回　動詞êtreの現在形、名詞の女性形
第9回　形容詞
第10回　形容詞（名詞につけるとき）
第11回　動詞avoirの現在形
第12回　倒置による疑問文、時の表現
第13回　疑問詞qu'est-ce que, que、数詞（21-69）
第14回　否定文、il y a
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』（現代書館）
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』（現代書館）

千野栄一『外国語上達法』（岩波新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）があります。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:　街角にはへんてこなフランス語があふれている。フランス語を学ぶと、そんな「フランポネ」（日本製フランス

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期火4坂口		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス

第1回　（4月7日）オリエンテーション

第2回　（4月14日）疑問文

第3回　（4月21日）名詞、不定冠詞

第4回　（4月28日）名詞の複数形

第5回　（5月12日）定冠詞

第6回　（5月19日）数詞（1-20）

第7回　（5月26日）主語人称代名詞

第8回　（6月2日）動詞etreの現在形、名詞の女性形

第9回　（6月9日）形容詞

第10回　（6月16日）形容詞（名詞につけるとき）

第11回　（6月23日）動詞avoirの現在形

第12回　（6月30日）　倒置による疑問文、時の表現

第13回　（7月7日）疑問詞qu' est-ce que, que、数詞（21-69）

第14回　（7月14日）否定文、il y a

第15回　（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　仏和辞典（白水社、旺文社、小学館、三省堂等どの出版社のものでもよい）を必ず準備すること。

文法に関しては（1）数江譲治著「フランス語のABC」（白水社1890円）、（2）島岡茂著「フランス文法の入門」（白水社1995円）を薦める。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）があります。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。

このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期火４坂口		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期水2加藤		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『レ・ランコントル１』第１課から第１１課まで。

第　1回　(4月8日)オリエンテーション
第　2回　(4月15日)疑問文
第　3回　(4月22日)名詞、不定冠詞
第　4回　(4月29日)名詞の複数形
第　5回　(5月13日)定冠詞
第　6回　(5月20日)数詞（1-20）
第　7回　(5月27日)主語人称代名詞
第　8回　(6月3日)動詞etreの現在形、名詞の女性形
第　9回　(6月10日)形容詞
第１０回　(6月17日)形容詞（名詞につけるとき）
第１１回　(6月24日)動詞avoirの現在形
第１２回　(7月1日)倒置による疑問文、時の表現
第１３回　(7月8日)疑問詞qu' est-ce que, que、数詞 (21-69)
第１４回　(7月15日)否定文、il y a
第１５回　(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル１』（第三書房）2000円

参考文献　必要に応じて授業中に紹介します。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）があります。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期木1楠本		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第11課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　疑問文
第3回　名詞、不定冠詞
第4回　名詞の複数形
第5回　定冠詞
第6回　数詞（1-20）
第7回　主語人称代名詞
第8回　動詞êtreの現在形、名詞の女性形
第9回　形容詞
第10回　形容詞（名詞につけるとき）
第11回　動詞avoirの現在形
第12回　倒置による疑問文、時の表現
第13回　疑問詞qu'est-ce que, que、数詞（21-69）
第14回　否定文、il y a
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　各種仏和辞典（授業中に紹介する）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）があります。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期木4綾部		
科目キー	2800131002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第11課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　疑問文
第3回　名詞、不定冠詞
第4回　名詞の複数形
第5回　定冠詞
第6回　数詞（1-20）
第7回　主語人称代名詞
第8回　動詞_treの現在形、名詞の女性形
第9回　形容詞
第10回　形容詞（名詞につけるとき）
第11回　動詞avoirの現在形
第12回　倒置による疑問文、時の表現
第13回　疑問詞qu'est-ce que, que、数詞（21-69）
第14回　否定文、il y a
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　「角川oneテーマ21」の中の1冊、語学のカッコよさ（黒田氏のことば）について語る『語学はやり直せる！』（黒田龍之助著）は読むと楽しい本だと思います。他は仏和辞典も含め、授業の中で適宜紹介します。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）があります。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期月５佐山		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐山　一		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

シラバス　半年間で、教科書『カジュアルにフランス語--改訂版--』の後半部、第7課から第１４課までを学習します。
そのことを通じて、フランス語のしくみの基礎の基礎をじっくりと学び、しっかり確実に身につけることを目指します。
随時かんたんな小テストを行い、ふだんからの反復練習を積み上げてゆきたいと思います。また、できるだけフランス文化に触れる機会を設けて、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。総体として楽しい授業になるよう心がけます。
少しでもフランス語に興味のある人は、気軽に参加してみてください。

第１回　オリエンテーション
第２回　指示形容詞・所有形容詞
第３回　命令文、「お父さんは何をしているのですか？」
第４回　動詞allerとvenir
第５回　さまざまな前置詞、「明日は何をするの？」
第６回　第二群規則動詞（-ir形の動詞）
第７回　数字の言い方III（60-）、ユーロ
第８回　疑問詞を使った疑問文、動詞faireとprendre
第９回　「いくらになりますか？」、「順序」を表す言い方
第１０回　直接・間接目的語と強勢形
第１１回　「郵便局はどこですか？」、動詞vouloir, pouvoir, devoir
第１２回　「どちらさまですか？」、住居・部屋
第１３回　比較、「勘定をお願いします」
第１４回　複合過去、「昨日は何をしましたか？」
第１５回　学力考査および解説

教科書　沼田・松村ほか著『カジュアルにフランス語 --改訂版--』（朝日出版社）本体定価２２００円。理工生協書籍部扱い。

参考文献　辞書：「プチ・ロワイヤル仏和辞典」旺文社（本体3700円）、同［CD付き版］（本体3800円）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　前期火４貴田		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	貴田　晃		

副題

授業概要　仏語初級1A(あるいは仏語初級1B)を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語1Aに引き続き、フランス語初級文法を学びます。

シラバス
第1回　(4月7日)　オリエンテーション
第2回　(4月14日)　テキスト前半 L. 1 から L. 4の復習
第3回　(4月21日)　テキスト前半 L. 5 から L. 7の復習
第4回　(4月28日)　L. 8　指示形容詞、所有形容詞、命令文
第5回　(5月12日)　L. 9　動詞 aller と venir
第6回　(5月19日)　L. 10 第二群規則動詞 (-ir)
第7回　(5月26日)　L. 11 疑問詞、疑問文
第8回　(6月　2日)　これまでの復習と小テストを実施
第9回　(6月　9日)　L. 12 動詞 faire と prender
第10回　(6月16日)　L. 13 直接、間接目的語と強勢形
第11回　(6月23日)　L. 14 不規則動詞の活用
第12回　(6月30日)　L. 15 比較
第13回　(7月　7日)　L. 16 複合過去形
第14回　(7月14日)　これまでの総合復習と小テスト実施
第15回　(日程別途指示)　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語』(朝日出版社)
<<注意>>テキストについては下記の備考を参照すること。

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点(小テストを含む)。
出席回数が3分の2に満たない受講者には原則として単位を与えない。

備考　<<注意>>上記のテキストは本年、改訂版が出版されたが、この授業では旧版を使用する。テキストについてはオリエンテーションの際に説明するので改訂版を購入しないように注意すること。

「仏語初級2A」を修了したところで、フランス語初級文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級1」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期火５小林		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	小林　拓也		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

担当者からのメッセージ:

外国語をいやいや学んでいませんか？フランス語は、フランス、スイス、カナダ、モロッコなど多くの国と地域で話されている国連の公用語です。また、フランスのエコール・ポリテクニークや原子力庁（CEA）、スイスのローザンヌ工科大学や欧州原子核研究機構（CERN）など、理工系の名門での基盤言語でもあり、少しでも身に付ければ様々な可能性が広がります。
本講では、語学だけでなく関連の文化も学び、受験英語とは違った「生きた外国語」としての習得を目指します。会話能力を高めることに集中し、旅行で困らないレベルを当面の目標としますが、その先には、日本語や英語による思考システムとは別の物の見方を介した、新しい世界との出会いが待っていることでしょう。Bonne continuation!

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語１　改訂版』第７課から第１４課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　指示形容詞・所有形容詞
第３回　命令文、「お父さんは何をしているのですか？」
第４回　動詞allerとvenir
第５回　さまざまな前置詞、「明日は何をするの？」
第６回　第二群規則動詞（-ir形の動詞）
第７回　数字の言い方Ⅲ（60-）、ユーロ
第８回　疑問詞を使った疑問文、動詞faireとprendre
第９回　「いくらになりますか？」、「順序」を表す言い方
第１０回　直接・間接目的語と強勢形
第１１回　「郵便局はどこですか？」、動詞vouloir, pouvoir, devoir
第１２回　「どちらさまですか？」、住居・部屋
第１３回　比較、「勘定をお願いします」
第１４回　複合過去、「昨日は何をしましたか？」
第１５回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語１　改訂版』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IA」あるいは「仏語中級IB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期水3加藤		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』第7課から第14課まで。

第　1回　(9月30日)オリエンテーション
第　2回　(10月7日)指示形容詞・所有形容詞
第　3回　(10月14日)命令文、「お父さんは何をしているのですか？」
第　4回　(10月28日)動詞allerとvenir
第　5回　(11月4日)さまざまな前置詞、「明日は何をするの？」
第　6回　(11月11日)第二群規則動詞（-ir形の動詞）
第　7回　(11月18日)数字の言い方III（60-）、ユーロ
第　8回　(11月25日)疑問詞を使った疑問文、動詞faireとprendre
第　9回　(12月2日)「いくらになりますか？」、「順序」を表す言い方
第10回　(12月9日)直接・間接目的語と強勢形
第11回　(12月16日)「郵便局はどこですか？」、動詞vouloir, pouvoir, devoir
第12回　(1月6日)「どちらさまですか？」、住居・部屋
第13回　(1月13日)比較、「勘定をお願いします」
第14回　(1月20日)複合過去、「昨日は何をしましたか？」
第15回　(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）2200円

参考文献　必要に応じて授業中に紹介します。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IA」あるいは「仏語中級IB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期木3但田		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

教科書
参考文献〔各先生でご自由にお書きください〕

成績評価方法 学期末試験および平常点

備考

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』第7課から第14課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　指示形容詞・所有形容詞
第3回　命令文、「お父さんは何をしているのですか？」
第4回　動詞allerとvenir
第5回　さまざまな前置詞、「明日は何をするの？」
第6回　第二群規則動詞（-ir形の動詞）
第7回　数字の言い方III（60-）、ユーロ
第8回　疑問詞を使った疑問文、動詞faireとprendre
第9回　「いくらになりますか？」、「順序」を表す言い方
第10回　直接・間接目的語と強勢形
第11回　「郵便局はどこですか？」、動詞vouloir, pouvoir, devoir
第12回　「どちらさまですか？」、住居・部屋
第13回　比較、「勘定をお願いします」
第14回　複合過去、「昨日は何をしましたか？」
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）2200円

理工生協書籍部取り扱い

参考文献　辞書、参考書類については、最初の授業のときに紹介します。

評価方法　平常点（出席）と期末試験の成績を合わせて評価します。

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IA」あるいは「仏語中級IB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期木4斎藤		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』第7課から第14課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　指示形容詞・所有形容詞
第3回　命令文、「お父さんは何をしているのですか？」
第4回　動詞allerとvenir
第5回　さまざまな前置詞、「明日は何をするの？」
第6回　第二群規則動詞（-ir形の動詞）
第7回　数字の言い方III（60-）、ユーロ
第8回　疑問詞を使った疑問文、動詞faireとprendre
第9回　「いくらになりますか？」、「順序」を表す言い方
第10回　直接・間接目的語と強勢形
第11回　「郵便局はどこですか？」、動詞vouloir, pouvoir, devoir
第12回　「どちらさまですか？」、住居・部屋
第13回　比較、「勘定をお願いします」
第14回　複合過去、「昨日は何をしましたか？」
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）2200円

参考文献　とくにありません。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IA」あるいは「仏語中級IB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期金3但田		
科目キー	2800131005		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1　改訂版』第7課から第14課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　指示形容詞・所有形容詞
第3回　命令文、「お父さんは何をしているのですか？」
第4回　動詞allerとvenir
第5回　さまざまな前置詞、「明日は何をするの？」
第6回　第二群規則動詞（-ir形の動詞）
第7回　数字の言い方III（60-）、ユーロ
第8回　疑問詞を使った疑問文、動詞faireとprendre
第9回　「いくらになりますか？」、「順序」を表す言い方
第10回　直接・間接目的語と強勢形
第11回　「郵便局はどこですか？」、動詞vouloir, pouvoir, devoir
第12回　「どちらさまですか？」、住居・部屋
第13回　比較、「勘定をお願いします」
第14回　複合過去、「昨日は何をしましたか？」
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語1　改訂版』（朝日出版社）2200円

理工生協書籍部取り扱い

参考文献　辞書、参考書類については、最初の授業のときに紹介します。

評価方法　平常点（出席）と期末試験の成績を合わせて評価します。

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IA」あるいは「仏語中級IB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期月４中沢		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　「仏語初級IB」（あるいは「仏語初級IA」）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、「仏語初級IB」に引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』の第12課から第26課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　指示形容詞
第３回　第一群規則動詞（-er）の現在形
第４回　所有形容詞
第５回　faireの現在形、前置詞aと定冠詞le/lesの縮約形
第６回　疑問形容詞、前置詞deと定冠詞le/lesの縮約形
第７回　allerの現在形、疑問詞ou
第８回　venirの現在形、人称代名詞強勢形
第９回　prendreの現在形、部分冠詞
第１０回　否定のde
第１１回　近接未来形、国名と前置詞
第１２回　partirの現在形、形容詞の女性形（原則以外）
第１３回　第二群規則動詞（-ir）の現在形、oui/non/si、近接過去形
第１４回　命令形、vouloirの現在形、比較級、on
第１５回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）２０００円

参考文献　特に無し

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終ったことになりますが、続けて「仏語中級IB」あるいは「仏語中級IA」を履修することを強くお勧めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期火４坂口		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス

第１回　（9月29日）オリエンテーション

第２回　（10月６日）指示形容詞

第３回　（10月13日）第一群規則動詞（-er）の現在形

第４回　（10月20日）所有形容詞

第５回　（10月27日）faireの現在形、前置詞aと定冠詞le/lesの縮約形

第６回　（11月10日）疑問形容詞、前置詞deと定冠詞le/lesの縮約形

第７回　（11月17日）allerの現在形、疑問詞ou

第８回　（11月24日）venirの現在形、人称代名詞強勢形

第９回　（12月１日）prendreの現在形、部分冠詞

第１０回　（12月８日）否定のde

第１１回　（12月15日）近接未来形、国名と前置詞

第１２回　（12月22日）partirの現在形、形容詞の女性形（原則以外）

第１３回　（1月12日）第二群規則動詞（-ir）の現在形、oui/non/si、近接過去形

第１４回　（1月19日）命令形、vouloirの現在形、比較級、on

第１５回　（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル１』第１２課から第２６課まで。

参考文献　仏語初級IBのシラバス参照のこと

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IB」あるいは「仏語中級IA」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期水2加藤		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第17課から40課まで。
［教科書のダイアローグ、単語を繰り返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。］

教科書　『レ・ランコントル』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期木1楠本		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第12課から第26課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　指示形容詞
第3回　第一群規則動詞（-er）の現在形
第4回　所有形容詞
第5回　faireの現在形、前置詞àと定冠詞le/lesの縮約形
第6回　疑問形容詞、前置詞deと定冠詞le/lesの縮約形
第7回　allerの現在形、疑問詞où
第8回　venirの現在形、人称代名詞強勢形
第9回　prendreの現在形、部分冠詞
第10回　否定のde
第11回　近接未来形、国名と前置詞
第12回　partirの現在形、形容詞の女性形（原則以外）
第13回　第二群規則動詞（-ir）の現在形、oui/non/si、近接過去形
第14回　命令形、vouloirの現在形、比較級、on
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　各種仏和辞典（授業中に紹介する）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IB」あるいは「仏語中級IA」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期木3塩塚		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　フランス語初級文法（2）

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第12課から第26課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　指示形容詞
第3回　第一群規則動詞（-er）の現在形
第4回　所有形容詞
第5回　faireの現在形、前置詞àと定冠詞le/lesの縮約形
第6回　疑問形容詞、前置詞deと定冠詞le/lesの縮約形
第7回　allerの現在形、疑問詞où
第8回　venirの現在形、人称代名詞強勢形
第9回　prendreの現在形、部分冠詞
第10回　否定のde
第11回　近接未来形、国名と前置詞
第12回　partirの現在形、形容詞の女性形（原則以外）
第13回　第二群規則動詞（-ir）の現在形、oui/non/si、近接過去形
第14回　命令形、vouloirの現在形、比較級、on
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』（現代書館）
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』（現代書館）

千野栄一『外国語上達法』（岩波新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IB」あるいは「仏語中級IA」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:　街角にはへんてこなフランス語があふれている。フランス語を学ぶと、そんな「フランポネ」（日本製フランス

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期金2塩塚		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　フランス語初級文法（2）

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第12課から第26課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　指示形容詞
第3回　第一群規則動詞（-er）の現在形
第4回　所有形容詞
第5回　faireの現在形、前置詞àと定冠詞le/lesの縮約形
第6回　疑問形容詞、前置詞deと定冠詞le/lesの縮約形
第7回　allerの現在形、疑問詞où
第8回　venirの現在形、人称代名詞強勢形
第9回　prendreの現在形、部分冠詞
第10回　否定のde
第11回　近接未来形、国名と前置詞
第12回　partirの現在形、形容詞の女性形（原則以外）
第13回　第二群規則動詞（-ir）の現在形、oui/non/si、近接過去形
第14回　命令形、vouloirの現在形、比較級、on
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』（現代書館）
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』（現代書館）

千野栄一『外国語上達法』（岩波新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IB」あるいは「仏語中級IA」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:　街角にはへんてこなフランス語があふれている。フランス語を学ぶと、そんな「フランポネ」（日本製フランス

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　前期月４昼間		
科目キー	2800131006		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	昼間　賢		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル１』第１２課から第２６課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　指示形容詞
第３回　第一群規則動詞（-er）の現在形
第４回　所有形容詞
第５回　faireの現在形、前置詞àと定冠詞le/lesの縮約形
第６回　疑問形容詞、前置詞deと定冠詞le/lesの縮約形
第７回　allerの現在形、疑問詞où
第８回　venirの現在形、人称代名詞強勢形
第９回　prendreの現在形、部分冠詞
第１０回　否定のde
第１１回　近接未来形、国名と前置詞
第１２回　partirの現在形、形容詞の女性形（原則以外）
第１３回　第二群規則動詞（-ir）の現在形、oui/non/si、近接過去形
第１４回　命令形、vouloirの現在形、比較級、on
第１５回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル１』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の約半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IB」あるいは「仏語中級IA」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IA（学院クラス）前期火2但田		
科目キー	2800131007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IIA（あるいは仏語初級IIB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語初級IIAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、仏語初級IIBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIAに引き続き、フランス語初級文法の後半を学びます。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　基本動詞・複合過去の復習
第3回　se présenter　自己紹介する
第4回　代名動詞
第5回　L'aéroport　空港
第6回　中性代名詞en, y, le
第7回　l'hôtel　ホテル
第8回　単純未来
第9回　Demander le chemin　道を尋ねる
第10回　半過去
第11回　La gare　駅
第12回　関係代名詞
第13回　La poste et la banque　郵便局と銀行
第14回　不規則動詞の活用復習
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200円

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業中、適宜、指示します。

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IA」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIA」あるいは「仏語中級IIB 」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IA（学院クラス）前期木2但田		
科目キー	2800131007		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IIA（あるいは仏語初級IIB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語初級IIAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、仏語初級IIBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIAに引き続き、フランス語初級文法の後半を学びます。

教科書
参考文献〔各先生でご自由にお書きください〕

成績評価方法

備考

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　基本動詞・複合過去の復習
第3回　se présenter　自己紹介する
第4回　代名動詞
第5回　L'aéroport　空港
第6回　中性代名詞en, y, le
第7回　l'hôtel　ホテル
第8回　単純未来
第9回　Demander le chemin　道を尋ねる
第10回　半過去
第11回　La gare　駅
第12回　関係代名詞
第13回　La poste et la banque　郵便局と銀行
第14回　不規則動詞の活用復習
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200 円

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業中に、適宜、指示します。

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IA」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIA」あるいは「仏語中級IIB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IA（学院クラス）前期木4ルールム		
科目キー	2800131007		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IB （学院クラス） 前期月２坂口		
科目キー	2800131008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題　フランス語初級文法（３）

授業概要　仏語初級IIB（あるいは仏語初級IIA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIBに続くもの（『レ・ランコントル2』を使用）ですが、仏語初級IIAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル２』第４１課から第５２課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　疑問詞qu’est-ce qui、recevoirの現在形
第３回　代名動詞の命令形
第４回　aucun(e)、écrireの現在形
第５回　さまざまな否定
第６回　関係代名詞qui
第７回　指示代名詞
第８回　疑問詞（前置詞とともに使うとき）、関係代名詞que
第９回　不定代名詞と形容詞、croireの現在形
第１０回　単純未来形１
第１１回　単純未来形２
第１２回　中性代名詞y
第１３回　前未来形
第１４回　疑問詞まとめ、yを含む表現
第１５回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル２』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之介、『外国語の水曜日―学習法としての言語学入門』、現代書館

黒田龍之介、『その他の外国語』、現代書館、

千野栄一、『外国語上達法』、岩波新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IB」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IB （学院クラス） 前期木3中沢		
科目キー	2800131008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中沢　信一		

副題　フランス語初級文法（3）

授業概要　仏語初級IIB（あるいは仏語初級IIA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIBに続くもの（『レ・ランコントル2』を使用）ですが、仏語初級IIAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル2』第41課から第52課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　疑問詞qu'est-ce qui、recevoirの現在形
第3回　代名動詞の命令形
第4回　aucun(e)、écrireの現在形
第5回　さまざまな否定
第6回　関係代名詞qui
第7回　指示代名詞
第8回　疑問詞（前置詞とともに使うとき）、関係代名詞que
第9回　不定代名詞と形容詞、croireの現在形
第10回　単純未来形1
第11回　単純未来形2
第12回　中性代名詞y
第13回　前未来形
第14回　疑問詞まとめ、yを含む表現
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル2』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之介、『外国語の水曜日―学習法としての言語学入門』、現代書館

黒田龍之介、『その他の外国語』、現代書館、

千野栄一、『外国語上達法』、岩波新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IB」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IB（学院クラス）前期金3ベルフロワ		
科目キー	2800131008		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IIA（学院クラス）後期火5但田		
科目キー	2800131009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語中級Iを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語中級IAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、中級IBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語中級IAを継続する内容で講義します。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第8課から第13課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　直接話法
第3回　間接話法
第4回　Le restaurant　レストラン
第5回　時、理由、条件を表す接続詞
第6回　Le marché　市場
第7回　条件法
第8回　Le magasin de vêtements
第9回　接続法
第10回　L'hôpital et la pharmacie　病院と薬局
第11回　現在分詞と過去分詞
第12回　Le téléphone　電話
第13回　単純過去
第14回　Écrire une lettre　手紙を書く
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200円

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業中に、適宜、お知らせします。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語中級IIA」を修了すると、フランス語初等文法をすべて終えたことになります。
身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IIA（学院クラス）後期木4ルールム		
科目キー	2800131009		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IIB （学院クラス） 後期月２塩塚		
科目キー	2800131010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　フランス語初級文法（４）

授業概要　仏語中級IBを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語中級IBに続くもの（『レ・ランコントル２』を使用）ですが、中級IAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語中級IBを継続する内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル２』第５３課から第６４ 課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　男性第２形を持つ形容詞
第３回　疑問代名詞où
第４回　関係代名詞dont
第５回　boireの現在形
第６回　半過去形
第７回　最上級
第８回　受動態
第９回　rireの現在形
第１０回　大過去形
第１１回　使役、lireの現在形
第１２回　中性代名詞le
第１３回　疑問代名詞lequel
第１４回　使役構文と代名詞
第１５回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル２』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之介、『外国語の水曜日―学習法としての言語学入門』、現代書館

黒田龍之介、『その他の外国語』、現代書館、

千野栄一、『外国語上達法』、岩波新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IIB」を修了すると、フランス語初等文法をほぼ終えたことになります。
身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語IIB（学院クラス）後期金3ベルフロワ		
科目キー	2800131010		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語上級I　前期月3但田		
科目キー	2800131013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　この科目は、比較的やさしいフランス語で書かれた文章を読みながら、フランスの政治・経済・文化などについて学ぼうとするものである。フランス語を正確に読解することを目指す。

教科書の進度は、受講者のレベルを考慮しながら調節するので、下記のシラバスは、一応の目安と考えて欲しい。

シラバス

第1回:イントロダクション

第2回:フランスの地理と人口

第3回:フランスの歴史（1）

第4回:フランスの歴史（2）

第5回:フランスの政治制度

第6回:フランスの教育制度

第7回:フランスの経済

第8回:フランスの芸術、文化

第9回:フランス文学、フランス詩について

第10回:フランスの社会状況

第11回:フランス人の生き方

第12回:世界におけるフランスの位置

第13回:フランスの現在（1）

第14回:フランスの現在（2）

第15回:学力考査および解説

以上

教科書　ドラ・トーザン著『現代フランスの基礎知識（改訂版）』白水社、1900円＋税

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業の中で指示します。

評価方法　●出席を重視します。

●試験は辞書の使用を「可」とします。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語上級I　前期月３但田		
科目キー	2800131013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	３時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	３年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語上級II　後期金3塩塚		
科目キー	2800131014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　映画のシナリオで学ぶ仏語日常会話

授業概要　映画のシナリオを少しずつ読み、日常的な表現を学ぶ。

受講対象者は、仏語初級I,II、仏語中級I,IIをすでに受講し、フランス語初級文法を一通り終えたひとである。

とはいえ、忘れている文法事項があるのは当然なので、文法事項や基本語彙の確認も丁寧に行うつもりである。

シラバス　最初の回に、学生の顔ぶれと能力をみて、相談のうえ内容を決める。以下は、
三本の映画のシナリオを少しずつ読む場合の計画である。

第1回:オリエンテーション
第2回:エリック・ロメール「海辺のポーリーヌ」(1)
第3回:エリック・ロメール「海辺のポーリーヌ」(2)
第4回:エリック・ロメール「海辺のポーリーヌ」(3)
第5回:エリック・ロメール「海辺のポーリーヌ」(4)
第6回:エリック・ロメール「レネットとミラベル四つの冒険」(1)
第7回:エリック・ロメール「レネットとミラベル四つの冒険」(2)
第8回:エリック・ロメール「レネットとミラベル四つの冒険」(3)
第9回:エリック・ロメール「レネットとミラベル四つの冒険」(4)
第10回:ジュネ「アメリ」(1)
第11回:ジュネ「アメリ」(2)
第12回:ジュネ「アメリ」(3)
第13回:ジュネ「アメリ」(4)
第14回:学力考査および解説
第15回:授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　毎回、教員がプリントを配布する。

参考文献

評価方法　平常点80%＋学期末試験20%

備考　フランス語力に自信がないひとでも、丁寧にフォローしますので、心配しないで
参加してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IA　前期火2但田		
科目キー	2800131015		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IIA（あるいは仏語初級IIB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語初級IIAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、仏語初級IIBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIAに引き続き、フランス語初級文法の後半を学びます。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　基本動詞・複合過去の復習
第3回　se présenter　自己紹介する
第4回　代名動詞
第5回　L'aéroport　空港
第6回　中性代名詞en, y, le
第7回　l'hôtel　ホテル
第8回　単純未来
第9回　Demander le chemin　道を尋ねる
第10回　半過去
第11回　La gare　駅
第12回　関係代名詞
第13回　La poste et la banque　郵便局と銀行
第14回　不規則動詞の活用復習
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200円

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業中、適宜、指示します。

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IA」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIA」あるいは「仏語中級IIB 」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IA　前期木2但田		
科目キー	2800131015		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IIA（あるいは仏語初級IIB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語初級IIAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、仏語初級IIBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIAに引き続き、フランス語初級文法の後半を学びます。

教科書
参考文献〔各先生でご自由にお書きください〕

成績評価方法

備考

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第1課から第6課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　基本動詞・複合過去の復習
第3回　se présenter　自己紹介する
第4回　代名動詞
第5回　L'aéroport　空港
第6回　中性代名詞en, y, le
第7回　l'hôtel　ホテル
第8回　単純未来
第9回　Demander le chemin　道を尋ねる
第10回　半過去
第11回　La gare　駅
第12回　関係代名詞
第13回　La poste et la banque　郵便局と銀行
第14回　不規則動詞の活用復習
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200 円

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業中に、適宜、指示します。

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IA」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIA」あるいは「仏語中級IIB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IA　前期木4ルールム		
科目キー	2800131015		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IB　前期月２坂口		
科目キー	2800131016		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題　フランス語初級文法（３）

授業概要　仏語初級IIB（あるいは仏語初級IIA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIBに続くもの（『レ・ランコントル2』を使用）ですが、仏語初級IIAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル２』第４１課から第５２課まで。

第１回　オリエンテーション
第２回　疑問詞qu’est-ce qui、recevoirの現在形
第３回　代名動詞の命令形
第４回　aucun(e)、écrireの現在形
第５回　さまざまな否定
第６回　関係代名詞qui
第７回　指示代名詞
第８回　疑問詞（前置詞とともに使うとき）、関係代名詞que
第９回　不定代名詞と形容詞、croireの現在形
第１０回　単純未来形１
第１１回　単純未来形２
第１２回　中性代名詞y
第１３回　前未来形
第１４回　疑問詞まとめ、yを含む表現
第１５回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル２』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之介、『外国語の水曜日―学習法としての言語学入門』、現代書館

黒田龍之介、『その他の外国語』、現代書館、

千野栄一、『外国語上達法』、岩波新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IB」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IB　前期木3中沢		
科目キー	2800131016		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中沢　信一		

副題　フランス語初級文法（3）

授業概要　仏語初級IIB（あるいは仏語初級IIA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIBに続くもの（『レ・ランコントル2』を使用）ですが、仏語初級IIAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル2』第41課から第52課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　疑問詞qu'est-ce qui、recevoirの現在形
第3回　代名動詞の命令形
第4回　aucun(e)、écrireの現在形
第5回　さまざまな否定
第6回　関係代名詞qui
第7回　指示代名詞
第8回　疑問詞（前置詞とともに使うとき）、関係代名詞que
第9回　不定代名詞と形容詞、croireの現在形
第10回　単純未来形1
第11回　単純未来形2
第12回　中性代名詞y
第13回　前未来形
第14回　疑問詞まとめ、yを含む表現
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル2』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之介、『外国語の水曜日―学習法としての言語学入門』、現代書館

黒田龍之介、『その他の外国語』、現代書館、

千野栄一、『外国語上達法』、岩波新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IB」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IIB」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IB　前期金3ベルフロワ		
科目キー	2800131016		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IIA　後期火5但田		
科目キー	2800131017		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語中級Iを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語中級IAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、中級IBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語中級IAを継続する内容で講義します。

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第8課から第13課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　直接話法
第3回　間接話法
第4回　Le restaurant　レストラン
第5回　時、理由、条件を表す接続詞
第6回　Le marché　市場
第7回　条件法
第8回　Le magasin de vêtements
第9回　接続法
第10回　L'hôpital et la pharmacie　病院と薬局
第11回　現在分詞と過去分詞
第12回　Le téléphone　電話
第13回　単純過去
第14回　Écrire une lettre　手紙を書く
第15回　学力考査および解説

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200円

理工生協書籍部扱い

参考文献　授業中に、適宜、お知らせします。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語中級IIA」を修了すると、フランス語初等文法をすべて終えたことになります。
身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IIA　後期木4ルールム		
科目キー	2800131017		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IIB　後期月2塩塚		
科目キー	2800131018		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　フランス語初級文法（4）

授業概要　仏語中級IBを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語中級IBに続くもの（『レ・ランコントル2』を使用）ですが、中級IAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語中級IBを継続する内容で講義します。

シラバス　教科書『レ・ランコントル2』第53課から第64 課まで。

第1回　オリエンテーション
第2回　男性第2形を持つ形容詞
第3回　疑問代名詞où
第4回　関係代名詞dont
第5回　boireの現在形
第6回　半過去形
第7回　最上級
第8回　受動態
第9回　rireの現在形
第10回　大過去形
第11回　使役、lireの現在形
第12回　中性代名詞le
第13回　疑問代名詞lequel
第14回　使役構文と代名詞
第15回　学力考査および解説

教科書　『レ・ランコントル2』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之介、『外国語の水曜日―学習法としての言語学入門』、現代書館

黒田龍之介、『その他の外国語』、現代書館、

千野栄一、『外国語上達法』、岩波新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級IIB」を修了すると、フランス語初等文法をほぼ終えたことになります。
身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	仏語中級IIB　後期金3ベルフロワ		
科目キー	2800131018		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期月2福岡		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語初学者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行う。まず、発音練習からはじめて、文法の基礎を学びながら、読む・聴く・話す・書くの基礎的能力の習得を目指す。授業では、「話す」機会を多く設けて、正確に中国語を発音できるようにしていく。また、基本的文型を利用して単語の置き換え練習などを繰り返して行い、中国語の基礎的運用能力を身につけるようにしていく。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　発音練習（1）
第三回　発音練習（2）・あいさつと人称代名詞
第四回　動詞「是」とその否定形・疑問形・「的」の用法
第五回　指示代名詞・形容詞述語文
第六回　主述述語文
第七回　場所代名詞・動詞述語文
第八回　疑問詞疑問文
第九回　助動詞の用法・選択疑問文
第十回　数詞・量詞
第十一回　動詞「有」と「在」
第十二回　完了の「了」とその否定形
第十三回　連動文
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『一冊めの中国語（講読クラス）』（白水社）

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期月3福岡		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語初学者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行う。まず、発音練習からはじめて、文法の基礎を学びながら、読む・聴く・話す・書くの基礎的能力の習得を目指す。授業では、「話す」機会を多く設けて、正確に中国語を発音できるようにしていく。また、基本的文型を利用して単語の置き換え練習などを繰り返して行い、中国語の基礎的運用能力を身につけるようにしていく。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　発音練習（1）
第三回　発音練習（2）・あいさつと人称代名詞
第四回　動詞「是」とその否定形・疑問形・「的」の用法
第五回　指示代名詞・形容詞述語文
第六回　主述述語文
第七回　場所代名詞・動詞述語文
第八回　疑問詞疑問文
第九回　助動詞の用法・選択疑問文
第十回　数詞・量詞
第十一回　動詞「有」と「在」
第十二回　完了の「了」とその否定形
第十三回　連動文
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『一冊めの中国語（講読クラス）』（白水社）

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期月5永冨		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　初めて履修する中国語を、視覚・聴覚の両面から、十分味わって頂きたい。視聴覚教材もできる限り活用する。とにかく、大きな声を出してもらう事から始めたい。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　発音
第3回　自己紹介
第4回　指示代名詞・形容詞述語文、
第5回　動詞述語文
第6回　疑問詞疑問文
第7回　助動詞「想」
第8回　動詞「喜歓」
第9回　数詞
第10回　お金の数え方
第11回　反復疑問文
第12回　完了の「了」
第13回　連動文
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『1冊目の中国語』(講読クラス)白水社刊、劉頴他著
(理工生協書籍部扱い)2300円

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火1石田		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　中国語の基礎を学ぶ。
中国語の音韻を表すローマ字表記(ピンイン符号)を学び、中国語特有の上がり下がり(声調)をマスターし、基本文法を学習する。

前期は学年統一の教科書『1冊目の中国語一講読クラス』を使用し、前半第7課までを学習する。(8課以降は中国語初級?Aの授業で使用)

本講義1Aは講読、文法中心ではあるが、1年次の学習なので、当然、聞き取り、発音は重きが置かれる。毎課本文の暗記をおこなう。

1A2Aで使用する教科書『1冊目の中国語一講読クラス』と1B2Bで使用する『1冊目の中国語一会話クラス』とは、各課の文法内容、使用単語など互換性をもって作成されており、AB両方同時に履修も可能である。あるいは前期に1A、後期に2Bを履修、あるいは逆に前期に1Bで後期に2Aを履修することも可能である。

シラバス
第1回　オリエンテーション　母音　声調
第2回　子音　複母音　鼻母音
第3回　変則のピンイン綴り　声調変化　など
第4回　人称代名詞　動詞:是(?です)　否定　疑問　　的(の)
第5回　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文
第6回　第1，2課のドリル　本文暗記　単語テスト
第7回　場所代名詞　動詞述語文　時を表す言葉　副詞　疑問詞疑問文
第8回　助動詞:想(?したい)　動詞:喜歓(?がすき)　選択疑問文
第9回　第3，4課のドリル　本文暗記　単語テスト
第10回　数詞　量詞(助数詞)
第11回　動詞:有　　動詞:在　　反復疑問文
第12回　第5，6課のドリル　本文暗記　単語テスト
第13回　完了:了(?した)連動文　前置詞:離(?から)　第7課のドリル　本文暗記　単語テスト
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書　1冊目の中国語一講読クラス　　白水社　　劉頴　喜多山幸子ほか

参考文献

評価方法　出席　授業参加態度　期末試験　小テストなどを総合して評価する
初修外国語なので出席を重視する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火2石田		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要

中国語の基礎を学ぶ。
中国語の音韻を表すローマ字表記(ピンイン符号)を学び、中国語特有の上がり下がり(声調)をマスターし、基本文法を学習する。

前期は学年統一の教科書『1冊目の中国語一講読クラス』を使用し、前半第7課までを学習する。(8課以降は中国語初級?Aの授業で使用)

本講義1Aは講読、文法中心ではあるが、1年次の学習なので、当然、聞き取り、発音は重きが置かれる。毎課本文の暗記をおこなう。

?A?Aで使用する教科書『1冊目の中国語一講読クラス』と?B?Bで使用する『1冊目の中国語一会話クラス』とは、各課の文法内容、使用単語など互換性をもって作成されており、AB両方同時に履修も可能である。あるいは前期に?A、後期に?Bを履修、あるいは逆に前期に?Bで後期に?Aを履修することも可能である。

シラバス

第1回　オリエンテーション　母音　声調
第2回　子音　複母音　鼻母音
第3回　変則のピンイン綴り　声調変化　など
第4回　人称代名詞　動詞:是(?です)　否定　疑問　　的(の)
第5回　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文
第6回　第1，2課のドリル　本文暗記　単語テスト
第7回　場所代名詞　動詞述語文　時を表す言葉　副詞　疑問詞疑問文
第8回　助動詞:想(?したい)　動詞:喜歓(?がすき)　選択疑問文
第9回　第3，4課のドリル　本文暗記　単語テスト
第10回　数詞　量詞(助数詞)
第11回　動詞:有　　動詞:在　　反復疑問文
第12回　第5，6課のドリル　本文暗記　単語テスト
第13回　完了:了(?した)連動文　前置詞:離(?から)　第7課のドリル　本文暗記　単語テスト
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書

1冊目の中国語一講読クラス　　白水社　　劉頴　喜多山幸子ほか

参考文献

評価方法

出席　授業参加態度　期末試験　小テストなどを総合して評価する
初修外国語なので出席を重視する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火４田中		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。発音とローマ字＝「ピンイン」の学習から始まり、第7課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

シラバス
第１回（４月７日）：オリエンテーション・発音（声調・単母音）
第２回（４月１４日）：発音（単母音・子音・複母音）
第３回（４月２１日）：発音（鼻母音・常用表現）
第４回（４月２８日）：人称代名詞、肯定・否定・疑問文
第５回（５月１２日）：指示代名詞、形容詞述語文、主述述語文
第６回（５月１９日）：動詞述語文、疑問詞疑問文
第７回（５月２６日）：復習と応用
第８回（６月２日）：助動詞、動詞の重ね型、選択疑問文
第９回（６月９日）：数詞、量詞、名詞述語文
第１０回（６月１６日）：復習と応用
第１１回（６月２３日）：所有・所在表現、反復疑問文
第１２回（６月３０日）：完了、連動文、前置詞
第１３回（７月７日）：復習と応用
第１４回（７月１４日）：学力考査及び解説
第１５回（日程別途指示）：授業理解の確認。（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊めの中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）
辞書・参考書については、開講時に指示する。

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を８０点、小テスト・平常点の点数を２０点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、付属のCDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火5田中		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。発音とローマ字＝「ピンイン」の学習から始まり、第7課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

シラバス
第1回（4月7日）：オリエンテーション・発音（声調・単母音）
第2回（4月14日）：発音（単母音・子音・複母音）
第3回（4月21日）：発音（鼻母音・常用表現）
第4回（4月28日）：人称代名詞、肯定・否定・疑問文
第5回（5月12日）：指示代名詞、形容詞述語文、主述述語文
第6回（5月19日）：動詞述語文、疑問詞疑問文
第7回（5月26日）：復習と応用
第8回（6月2日）：助動詞、動詞の重ね型、選択疑問文
第9回（6月9日）：数詞、量詞、名詞述語文
第10回（6月16日）：復習と応用
第11回（6月23日）：所有・所在表現、反復疑問文
第12回（6月30日）：完了、連動文、前置詞
第13回（7月7日）：復習と応用
第14回（7月14日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認。（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊めの中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）
辞書・参考書については、開講時に指示する。

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、付属のCDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水1清水		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　中国語の正確な発音および初級文法を習得することを目的とする。はじめに中国語の基礎となる声調・発音を学び、それから教科書第7課までの文法事項を順に学習していく。前期はここまでの内容を身につけてもらうことになる。また教科書の練習問題等を活用し、作文やリスニングの訓練も行う。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション　発音（1）
[第 2回]発音（2）
[第 3回]発音（3）
[第 4回]復習・小テスト
[第 5回]人称代名詞・動詞「是」・否定文・疑問文
[第 6回]指示代名詞・形容詞述語文・「的」・主述述語文
[第 7回]復習・小テスト
[第 8回]場所代名詞・動詞述語文・時間表現の位置・「都」と「也」・疑問詞疑問文
[第 9回]助動詞「想」・動詞「喜欢」・動詞の重ね型・選択疑問文
[第10回]数詞・量詞・「是」の省略
[第11回]復習・小テスト
[第12回]所有の「有」・反復疑問文・動詞「在」
[第13回]完了の「了」・連動文・前置詞「离」
[第14回]総復習と応用練習
[第15回]期末試験および解説

教科書　『1冊めの中国語［購読クラス］』 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著　白水社

参考文献　辞書など主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点（出席と小テストを含む）50%、期末テスト50%

備考　発音、文法、作文などはいずれも重要だが、あえて言うならば、まず最初は正確な発音の習得に力を注いでほしい。そのためには授業中の練習を積極的に行うだけでなく、自宅でも教科書付属のCDを聞くなどして、中国語の「音」に親しむようにするとよい。
出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。また出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水2渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

シラバス　1冊目の中国語　講読クラスの第1課から第7課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（4月8日）　オリエンテーション

第2回　（4月16日）　発音練習（1）＋知って便利な呼び方

第3回　（4月22日）　発音練習（2）＋知って便利なことば

第4回　（4月29日）　第1課　人称代名詞　動詞“是”　否定を表す“不”　等

第5回　（5月13日）　第2課　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文等

第6回　（5月20日）　第3課　場所代名詞　動詞述語文　疑問詞疑問文等

第7回　（5月27日）　第1課から第3課までの復習

第8回　（6月3日）　第4課　助動詞“想”　動詞の重ね型　選択疑問文　等

第9回　（6月10日）　第5課　数詞　量詞の使い方　等

第10回（6月17日）　4課、5課の復習

第11回（6月24日）　第6課　動詞“有”　反復疑問文　動詞“在”

第12回（7月1日）　第7課　完了の“了”　連動文　等

第13回（7月8日）　総復習

第14回（7月15日）　学力考査および解説

第15回（7月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水2渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水3渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

シラバス　1冊目の中国語　講読クラスの第1課から第7課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（4月8日）　オリエンテーション

第2回　（4月16日）　発音練習（1）＋知って便利な呼び方

第3回　（4月22日）　発音練習（2）＋知って便利なことば

第4回　（4月29日）　第1課　人称代名詞　動詞“是”　否定を表す“不”　等

第5回　（5月13日）　第2課　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文等

第6回　（5月20日）　第3課　場所代名詞　動詞述語文　疑問詞疑問文等

第7回　（5月27日）　第1課から第3課までの復習

第8回　（6月3日）　第4課　助動詞“想”　動詞の重ね型　選択疑問文　等

第9回　（6月10日）　第5課　数詞　量詞の使い方　等

第10回（6月17日）　4課、5課の復習

第11回（6月24日）　第6課　動詞“有”　反復疑問文　動詞“在”

第12回（7月1日）　第7課　完了の“了”　連動文　等

第13回（7月8日）　総復習

第14回（7月15日）　学力考査および解説

第15回（7月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水3渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水5清水		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　中国語の正確な発音および初級文法を習得することを目的とする。はじめに中国語の基礎となる声調・発音を学び、それから教科書第7課までの文法事項を順に学習していく。前期はここまでの内容を身につけてもらうことになる。また教科書の練習問題等を活用し、作文やリスニングの訓練も行う。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション　発音（1）
[第 2回]発音（2）
[第 3回]発音（3）
[第 4回]復習・小テスト
[第 5回]人称代名詞・動詞「是」・否定文・疑問文
[第 6回]指示代名詞・形容詞述語文・「的」・主述述語文
[第 7回]復習・小テスト
[第 8回]場所代名詞・動詞述語文・時間表現の位置・「都」と「也」・疑問詞疑問文
[第 9回]助動詞「想」・動詞「喜欢」・動詞の重ね型・選択疑問文
[第10回]数詞・量詞・「是」の省略
[第11回]復習・小テスト
[第12回]所有の「有」・反復疑問文・動詞「在」
[第13回]完了の「了」・連動文・前置詞「离」
[第14回]総復習と応用練習
[第15回]期末試験および解説

教科書　『1冊めの中国語［購読クラス］』 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著　白水社

参考文献　辞書など主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点（出席と小テストを含む）50%　期末テスト50%

備考　発音、文法、作文などはいずれも重要だが、あえて言うならば、まず最初は正確な発音の習得に力を注いでほしい。そのためには授業中の練習を積極的に行うだけでなく、自宅でも教科書付属のCDを聞くなどして、中国語の「音」に親しむようにするとよい。
出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。また出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木1熊		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　中国語　講読クラス

授業概要　基本的な表現を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
本文の朗読と暗記も重要である。
テキスト、視聴覚教材を適宜使用する。

シラバス　テキストに沿って、中国語の基本的な構造、基礎的文法の説明、関連の表現と簡単な作文練習を行う。
中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。

第一回（4月９日）　オリエンテーション・姓名の中国語発音
第二回（4月16日）発音練習：単母音、声調、
第三回（4月23日）発音練習：子音
第四回（５月７日）発音練習：複母音
第五回（５月14日）第一課：どうぞよろしく
第六回（５月21日）第二課：到着ロビーで
第七回（５月28日）第三課：明日のスケジュール
第八回（６月４日）　第四課：喫茶店で
第九回（６月11日）第四課：喫茶店で――中華料理関連の映像資料
第十回（６月18日）第五課：コンビニで買い物
第十一回（６月25日）第六課：電子辞書がほしい
第十二回（７月2日）第七課：京劇を見る
第十三回（７月９日）第七課：京劇を見る――京劇の映像資料
第十四回（7月16日）学力考査および解説
第十五回（日程別途指示）授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・他『1冊めの中国語　講読クラス』（白水社）

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可,出席状況も評価の内容)
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストも参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木2福岡		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語初学者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行う。まず、発音練習からはじめて、文法の基礎を学びながら、読む・聴く・話す・書くの基礎的能力の習得を目指す。授業では、「話す」機会を多く設けて、正確に中国語を発音できるようにしていく。また、基本的文型を利用して単語の置き換え練習などを繰り返して行い、中国語の基礎的運用能力を身につけるようにしていく。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　発音練習（1）
第三回　発音練習（2）・あいさつと人称代名詞
第四回　動詞「是」とその否定形・疑問形・「的」の用法
第五回　指示代名詞・形容詞述語文
第六回　主述述語文
第七回　場所代名詞・動詞述語文
第八回　疑問詞疑問文
第九回　助動詞の用法・選択疑問文
第十回　数詞・量詞
第十一回　動詞「有」と「在」
第十二回　完了の「了」とその否定形
第十三回　連動文
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『一冊めの中国語（講読クラス）』（白水社）

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木4田中		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。発音とローマ字＝「ピンイン」の学習から始まり、第7課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

シラバス
第1回（4月9日）：オリエンテーション・発音（声調・単母音）
第2回（4月16日）：発音（単母音・子音・複母音）
第3回（4月23日）：発音（鼻母音・常用表現）
第4回（5月7日）：人称代名詞、肯定・否定・疑問文
第5回（5月14日）：指示代名詞、形容詞述語文、主述述語文
第6回（5月21日）：動詞述語文、疑問詞疑問文
第7回（5月28日）：復習と応用
第8回（6月4日）：助動詞、動詞の重ね型、選択疑問文
第9回（6月11日）：数詞、量詞、名詞述語文
第10回（6月18日）：復習と応用
第11回（6月25日）：所有・所在表現、反復疑問文
第12回（7月2日）：完了、連動文、前置詞
第13回（7月9日）：復習と応用
第14回（7月16日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認。（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊めの中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）
辞書・参考書については、開講時に指示する。

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、付属のCDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木5田中		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。発音とローマ字＝「ピンイン」の学習から始まり、第7課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

シラバス
第1回（4月9日）：オリエンテーション・発音（声調・単母音）
第2回（4月16日）：発音（単母音・子音・複母音）
第3回（4月23日）：発音（鼻母音・常用表現）
第4回（5月7日）：人称代名詞、肯定・否定・疑問文
第5回（5月14日）：指示代名詞、形容詞述語文、主述述語文
第6回（5月21日）：動詞述語文、疑問詞疑問文
第7回（5月28日）：復習と応用
第8回（6月4日）：助動詞、動詞の重ね型、選択疑問文
第9回（6月11日）：数詞、量詞、名詞述語文
第10回（6月18日）：復習と応用
第11回（6月25日）：所有・所在表現、反復疑問文
第12回（7月2日）：完了、連動文、前置詞
第13回（7月9日）：復習と応用
第14回（7月16日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認。（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊めの中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）
辞書・参考書については、開講時に指示する。

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、付属のCDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金3渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

シラバス　1冊目の中国語　講読クラスの第1課から第7課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（4月10日）　オリエンテーション

第2回　（4月17日）　発音練習（1）＋知って便利な呼び方

第3回　（4月24日）　発音練習（2）＋知って便利なことば

第4回　（5月8日）　第1課　人称代名詞　動詞“是”　否定を表す“不”　等

第5回　（5月15日）　第2課　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文等

第6回　（5月22日）　第3課　場所代名詞　動詞述語文　疑問詞疑問文等

第7回　（5月29日）　第1課から第3課までの復習

第8回　（6月5日）　第4課　助動詞“想”　動詞の重ね型　選択疑問文　等

第9回　（6月12日）　コースナビにて学習した内容の点検と確認

第10回（6月19日）　第5課　数詞　量詞の使い方　等

第11回（6月26日）　第6課　動詞“有”　反復疑問文　動詞“在”

第12回（7月3日）　第7課　完了の“了”　連動文　等

第13回（7月10日）　総復習

第14回（7月17日）　学力考査および解説

第15回（7月24日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金3渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

必ず授業に出席すること。遅刻は厳禁です。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金4渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

シラバス　1冊目の中国語　講読クラスの第1課から第7課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（4月10日）　オリエンテーション

第2回　（4月17日）　発音練習（1）＋知って便利な呼び方

第3回　（4月24日）　発音練習（2）＋知って便利なことば

第4回　（5月8日）　第1課　人称代名詞　動詞“是”　否定を表す“不”　等

第5回　（5月15日）　第2課　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文等

第6回　（5月22日）　第3課　場所代名詞　動詞述語文　疑問詞疑問文等

第7回　（5月29日）　第1課から第3課までの復習

第8回　（6月5日）　第4課　助動詞“想”　動詞の重ね型　選択疑問文　等

第9回　（6月12日）　コースナビにて学習した内容の点検と確認

第10回（6月19日）　第5課　数詞　量詞の使い方　等

第11回（6月26日）　第6課　動詞“有”　反復疑問文　動詞“在”

第12回（7月3日）　第7課　完了の“了”　連動文　等

第13回（7月10日）　総復習

第14回（7月17日）　学力考査および解説

第15回（7月24日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金4渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

必ず授業に出席すること。遅刻は厳禁です。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金5渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

シラバス　1冊目の中国語　講読クラスの第1課から第7課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（4月10日）　オリエンテーション

第2回　（4月17日）　発音練習（1）＋知って便利な呼び方

第3回　（4月24日）　発音練習（2）＋知って便利なことば

第4回　（5月8日）　第1課　人称代名詞　動詞“是”　否定を表す“不”　等

第5回　（5月15日）　第2課　指示代名詞　形容詞述語文　主述述語文等

第6回　（5月22日）　第3課　場所代名詞　動詞述語文　疑問詞疑問文等

第7回　（5月29日）　第1課から第3課までの復習

第8回　（6月5日）　第4課　助動詞“想”　動詞の重ね型　選択疑問文　等

第9回　（6月12日）　コースナビにて学習した内容の点検と確認

第10回（6月19日）　第5課　数詞　量詞の使い方　等

第11回（6月26日）　第6課　動詞“有”　反復疑問文　動詞“在”

第12回（7月3日）　第7課　完了の“了”　連動文　等

第13回（7月10日）　総復習

第14回（7月17日）　学力考査および解説

第15回（7月24日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金5渋谷		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

必ず授業に出席すること。遅刻は厳禁です。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　後期金5清水		
科目キー	2800141001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　中国語の正確な発音および初級文法を習得することを目的とする。はじめに中国語の基礎となる声調・発音を学び、それから教科書第7課までの文法事項を順に学習していく。前期はここまでの内容を身につけてもらうことになる。また教科書の練習問題等を活用し、作文やリスニングの訓練も行う。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション　発音（1）
[第 2回]発音（2）
[第 3回]発音（3）
[第 4回]復習・小テスト
[第 5回]人称代名詞・動詞「是」・否定文・疑問文
[第 6回]指示代名詞・形容詞述語文・「的」・主述述語文
[第 7回]復習・小テスト
[第 8回]場所代名詞・動詞述語文・時間表現の位置・「都」と「也」・疑問詞疑問文
[第 9回]助動詞「想」・動詞「喜欢」・動詞の重ね型・選択疑問文
[第10回]数詞・量詞・「是」の省略
[第11回]復習・小テスト
[第12回]所有の「有」・反復疑問文・動詞「在」
[第13回]完了の「了」・連動文・前置詞「离」
[第14回]総復習と応用練習
[第15回]期末試験および解説

教科書　『1冊めの中国語［購読クラス］』 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著　白水社

参考文献　辞書など主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点（出席と小テストを含む）50%、期末テスト50%

備考　発音、文法、作文などはいずれも重要だが、あえて言うならば、まず最初は正確な発音の習得に力を注いでほしい。そのためには授業中の練習を積極的に行うだけでなく、自宅でも教科書付属のCDを聞くなどして、中国語の「音」に親しむようにするとよい。
出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。また出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月１李		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

教室　63号館3階　Gルーム

シラバス

第１回	オリエンテーション	*教室*	63号館　G　ルーム
第２回	発音1（子音、声調）		63号館　G　ルーム
第３回	発音2（単母音、複合母音）		63号館　G　ルーム
第４回	発音3（鼻母音）→		63号館　G　ルーム
第５回	発音の総合復習		63号館　G　ルーム
第６回	自己紹介		
第７回	様子・評価		
第８回	動作		
第９回	飲食		
第１０回	買い物		
第１１回	場所		
第１２回	移動		
第１３回	表現の総合復習		
第１４回	学力考察および解説		
第１５回	授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。		

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、平常点と期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月２李		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

教室　63号館3階　Gルーム

シラバス

第１回	オリエンテーション　　*教室*	63号館　Ｇ　ルーム
第２回	発音１（子音、声調）	63号館　Ｇ　ルーム
第３回	発音2（単母音、複合母音）	63号館　Ｇ　ルーム
第４回	発音3（鼻母音）→	63号館　Ｇ　ルーム
第５回	発音の総合復習	63号館　Ｇ　ルーム
第６回	自己紹介	
第７回	様子・評価	
第８回	動作	
第９回	飲食	
第１０回	買い物	
第１１回	場所	
第１２回	移動	
第１３回	表現の総合復習	
第１４回	学力考察および解説	
第１５回	授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。	

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、平常点と期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月3和		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに　発音および中国語ローマ字（ピンイン）　声調、単母音
2. 発音およびピンインの習得、声母、複母音
3. 発音およびピンインの習得、鼻母音、声調変化
4. 発音およびピンインの習得、声調符号の付け方、
5. あいさつ、発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」、是非疑問文
7. 指示代詞、形容詞述語文、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文
10. 願望を表す助動詞、選択疑問文、語気助詞、動詞のかさね
11. 数詞、量詞、反復疑問文詞
12. 「有」と「在」の文、前置詞
13. 連動文、完了を表すアスペクト助詞
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月４陳		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　中国語のイロハを習い知ってもらう。発音からスタートし、徐々に文の仕組みおとび簡単な日常会話を覚えていく。前期は教科書の7課まで進む予定、終了時に次のレベルに達成できることを目標とする。（1）中国語ローマ字（ピンイン）をスムーズに且つ正確に読める。（2）自分のことを中国語で少し言える。（3）日常関連のことを中国語でたずねることができる。授業は発音と会話に重点をおいて進めていくため、授業中における学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音1（単母音・声調・子音・複母音）
第　3回発音2（鼻母音・声調の変化・ル化音）
第　4回発音のまとめ
第　5回「楊麗さんですか」
第　6回「荷物は多いですか」
第　7回「明日はどこへ行きますか」
第　8回復習
第　9回「ケーキを食べたいですか」
第10回「これはいくらですか」
第11回「電子辞書を持っていますか」
第12回「京劇のチケットを買いました」
第13回復習
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『1冊目の中国語――会話クラス』
劉韻・喜多山幸子・松田かの子　著（白水社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月5陳		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　中国語のイロハを習い知ってもらう。発音からスタートし、徐々に文の仕組みおとび簡単な日常会話を覚えていく。前期は教科書の7課まで進む予定、終了時に次のレベルに達成できることを目標とする。(1)中国語ローマ字(ピンイン)をスムーズに且つ正確に読める。(2)自分のことを中国語で少し言える。(3)日常関連のことを中国語でたずねることができる。授業は発音と会話に重点をおいて進めていくため、授業中における学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音1(単母音・声調・子音・複母音)
第　3回発音2(鼻母音・声調の変化・ル化音)
第　4回発音のまとめ
第　5回「楊麗さんですか」
第　6回「荷物は多いですか」
第　7回「明日はどこへ行きますか」
第　8回復習
第　9回「ケーキを食べたいですか」
第10回「これはいくらですか」
第11回「電子辞書を持っていますか」
第12回「京劇のチケットを買いました」
第13回復習
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『1冊目の中国語――会話クラス』
劉韻・喜多山幸子・松田かの子　著(白水社)

参考文献

評価方法　平常点(出席状況・授業態度)＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期火1王		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　まず三週間を使い、中国語の基礎的な知識を学ぶ。第一週間は中国の文字（簡体字）を勉強し、あとの一週間は発音を練習します。あともう一週間は基本文型を覚えていきます。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語の基礎的な知識
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）中国の文字（簡体字）
3回目（3）中国語の発音（ピンインと声調）
4回目（4）中国語の基本文型
5回目（5）復習　小テスト
第二セッション　テキスト
6回目（6）第一課
7回目（7）第二課
8回目（8）第三課
9回目（9）復習　小テスト
10回目（10）第四課
11回目（11）第五課
12回目（12）第六課
13回目（13）第七課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法　授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考　■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期火2王		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　まず三週間を使い、中国語の基礎的な知識を学ぶ。第一週間は中国の文字（簡体字）を勉強し、あとの一週間は発音を練習します。あともう一週間は基本文型を覚えていきます。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語の基礎的な知識
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）中国の文字（簡体字）
3回目（3）中国語の発音（ピンインと声調）
4回目（4）中国語の基本文型
5回目（5）復習　小テスト
第二セッション　テキスト
6回目（6）第一課
7回目（7）第二課
8回目（8）第三課
9回目（9）復習　小テスト
10回目（10）第四課
11回目（11）第五課
12回目（12）第六課
13回目（13）第七課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期火3王		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　まず三週間を使い、中国語の基礎的な知識を学ぶ。第一週間は中国の文字（簡体字）を勉強し、あとの一週間は発音を練習します。あともう一週間は基本文型を覚えていきます。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語の基礎的な知識
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）中国の文字（簡体字）
3回目（3）中国語の発音（ピンインと声調）
4回目（4）中国語の基本文型
5回目（5）復習　小テスト
第二セッション　テキスト
6回目（6）第一課
7回目（7）第二課
8回目（8）第三課
9回目（9）復習　小テスト
10回目（10）第四課
11回目（11）第五課
12回目（12）第六課
13回目（13）第七課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法　授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考　■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期火5和		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに　発音および中国語ローマ字（ピンイン）　声調、単母音
2. 発音およびピンインの習得、声母、複母音
3. 発音およびピンインの習得、鼻母音、声調変化
4. 発音およびピンインの習得、声調符号の付け方、
5. あいさつ、発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」、是非疑問文
7. 指示代詞、形容詞述語文、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文
10. 願望を表す助動詞、選択疑問文、語気助詞、動詞のかさね
11. 数詞、量詞、反復疑問文詞
12. 「有」と「在」の文、前置詞
13. 連動文、完了を表すアスペクト助詞
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期水1熊		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　中国語の会話クラス

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
本文の朗読と暗記が重要である。
テキスト、視聴覚教材を適宜使用する。

シラバス　テキストに沿って、中国語の基本的な構造の説明、日常生活会話および簡単な作文の練習を行う。中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。

第一回(4月8日)　オリエンテーション・姓名の中国語発音
第二回(4月15日)　発音練習:単母音、声調、
第三回(4月22日)　発音練習:子音
第四回(4月29日)　発音練習:複母音
第五回(5月13日)　第一課:楊麗さんですか
第六回(5月20日)　第二課:荷物は多いですか
第七回(5月27日)　第三課:明日はどこへ行きますか
第八回(6月3日)　第四課:ケーキを食べたいですか
第九回(6月10日)　第四課:ケーキを食べたいですか――茶・食関連の映像資料
第十回(6月17日)　第五課:これはいくらですか
第十一回(6月24日)　第六課:電子辞書を持っていますか
第十二回(7月1日)　第七課:京劇のチケットを買いました
第十三回(7月8日)　第七課:京劇のチケットを買いました――京劇の映像資料
第十四回(7月15日)　学力考査および解説
第十五回(日程別途指示)授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・他『1冊めの中国語　会話クラス』(白水社)

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容)
平常点(積極的な発言と質問を高く評価する)
定期試験(小テストも参考)

備考　辞書必携。
予習必要。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期水3和		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに　発音および中国語ローマ字（ピンイン）　声調、単母音
2. 発音およびピンインの習得、声母、複母音
3. 発音およびピンインの習得、鼻母音、声調変化
4. 発音およびピンインの習得、声調符号の付け方、
5. あいさつ、発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」、是非疑問文
7. 指示代詞、形容詞述語文、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文
10. 願望を表す助動詞、選択疑問文、語気助詞、動詞のかさね
11. 数詞、量詞、反復疑問文詞
12. 「有」と「在」の文、前置詞
13. 連動文、完了を表すアスペクト助詞
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期水4和		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに　発音および中国語ローマ字（ピンイン）　声調、単母音
2. 発音およびピンインの習得、声母、複母音
3. 発音およびピンインの習得、鼻母音、声調変化
4. 発音およびピンインの習得、声調符号の付け方、
5. あいさつ、発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」、是非疑問文
7. 指示代詞、形容詞述語文、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文
10. 願望を表す助動詞、選択疑問文、語気助詞、動詞のかさね
11. 数詞、量詞、反復疑問文詞
12. 「有」と「在」の文、前置詞
13. 連動文、完了を表すアスペクト助詞
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期木3和		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに　発音および中国語ローマ字（ピンイン）　声調、単母音
2. 発音およびピンインの習得、声母、複母音
3. 発音およびピンインの習得、鼻母音、声調変化
4. 発音およびピンインの習得、声調符号の付け方、
5. あいさつ、発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」、是非疑問文
7. 指示代詞、形容詞述語文、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文
10. 願望を表す助動詞、選択疑問文、語気助詞、動詞のかさね
11. 数詞、量詞、反復疑問文詞
12. 「有」と「在」の文、前置詞
13. 連動文、完了を表すアスペクト助詞
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期金1李		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　発音1（子音、声調）
第3回　発音2（単母音、複合母音）
第4回　発音3（鼻母音）
第5回　発音の総合復習
第6回　自己紹介
第7回　様子・評価
第8回　動作
第9回　飲食
第10回　買い物
第11回　場所
第12回　移動
第13回　表現の総合復習
第14回　学力考察および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉韻・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、平常点と期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席4回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期金２李		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

シラバス

第１回　オリエンテーション
第２回　発音1（子音、声調）
第３回　発音2（単母音、複合母音）
第４回　発音3（鼻母音）
第５回　発音の総合復習
第６回　自己紹介
第７回　様子・評価
第８回　動作
第９回　飲食
第１０回　買い物
第１１回　場所
第１２回　移動
第１３回　表現の総合復習
第１４回　学力考察および解説
第１５回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、平常点と期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期金3陳		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　中国語のイロハを習い知ってもらう。発音からスタートし、徐々に文の仕組みおとび簡単な日常会話を覚えていく。前期は教科書の7課まで進む予定、終了時に次のレベルに達成できることを目標とする。(1)中国語ローマ字(ピンイン)をスムーズに且つ正確に読める。(2)自分のことを中国語で少し言える。(3)日常関連のことを中国語でたずねることができる。授業は発音と会話に重点をおいて進めていくため、授業中における学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音1(単母音・声調・子音・複母音)
第　3回発音2(鼻母音・声調の変化・ル化音)
第　4回発音のまとめ
第　5回「楊麗さんですか」
第　6回「荷物は多いですか」
第　7回「明日はどこへ行きますか」
第　8回「ケーキを食べたいですか」
第　9回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回「これはいくらですか」
第11回「電子辞書を持っていますか」
第12回「京劇のチケットを買いました」
第13回復習
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書
『1冊目の中国語――会話クラス』
劉韻・喜多山幸子・松田かの子　著(白水社)

参考文献

評価方法　平常点(出席状況・授業態度)＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期金４陳		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　中国語のイロハを習い知ってもらう。発音からスタートし、徐々に文の仕組みおとび簡単な日常会話を覚えていく。前期は教科書の7課まで進む予定、終了時に次のレベルに達成できることを目標とする。（1）中国語ローマ字（ピンイン）をスムーズに且つ正確に読める。（2）自分のことを中国語で少し言える。（3）日常関連のことを中国語でたずねることができる。授業は発音と会話に重点をおいて進めていくため、授業中における学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音1（単母音・声調・子音・複母音）
第　3回発音2（鼻母音・声調の変化・ル化音）
第　4回発音のまとめ
第　5回「楊麗さんですか」
第　6回「荷物は多いですか」
第　7回「明日はどこへ行きますか」
第　8回「ケーキを食べたいですか」
第　9回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回「これはいくらですか」
第11回「電子辞書を持っていますか」
第12回「京劇のチケットを買いました」
第13回復習
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書
『1冊目の中国語――会話クラス』
劉頴・喜多山幸子・松田かの子　著（白水社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期金5王		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　まず三週間を使い、中国語の基礎的な知識を学ぶ。第一週間は中国の文字（簡体字）を勉強し、あとの一週間は発音を練習します。あともう一週間は基本文型を覚えていきます。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語の基礎的な知識
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）中国の文字（簡体字）
3回目（3）中国語の発音（ピンインと声調）
4回目（4）中国語の基本文型
5回目（5）復習　小テスト
第二セッション　テキスト
6回目（6）第一課
7回目（7）第二課
8回目（8）第三課
9回目（9）復習　小テスト
10回目（10）第四課
11回目（11）第五課
12回目（12）第六課
13回目（13）第七課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法　授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考　■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　後期木4和		
科目キー	2800141002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに　発音および中国語ローマ字（ピンイン）　声調、単母音
2. 発音およびピンインの習得、声母、複母音
3. 発音およびピンインの習得、鼻母音、声調変化
4. 発音およびピンインの習得、声調符号の付け方、
5. あいさつ、発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」、是非疑問文
7. 指示代詞、形容詞述語文、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 場所代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文
10. 願望を表す助動詞、選択疑問文、語気助詞、動詞のかさね
11. 数詞、量詞、反復疑問文詞
12. 「有」と「在」の文、前置詞
13. 連動文、完了を表すアスペクト助詞
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期月2福岡		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語を半年間学習した者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行う。正確な発音を定着されるため、授業中はなるべく多くの「話す」機会を設ける。また、基本的文型を利用した単語の置き換え練習などを繰り返して行い、中国語の基礎的運用能力の習得を目指す。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　発音の復習
第三回　変化の「了」・存在を表す動詞の「有」
第四回　前置詞「在」
第五回　助動詞「可以」「会」「能」
第六回　直接話法と間接話法・前置詞「給」
第七回　時刻の言い方・方向補語
第八回　「是から的」の用法・比較の表現
第九回　「把」構文・結果補語
第十回　使役動詞
第十一回　様態補語・その他の補語の復習
第十二回　進行形
第十三回　「就要から了」の用法・主述構造の目的語
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『一冊めの中国語（講読クラス）』（白水社）

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期月3福岡		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語を半年間学習した者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行う。正確な発音を定着されるため、授業中はなるべく多くの「話す」機会を設ける。また、基本的文型を利用した単語の置き換え練習などを繰り返して行い、中国語の基礎的運用能力の習得を目指す。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　発音の復習
第三回　変化の「了」・存在を表す動詞の「有」
第四回　前置詞「在」
第五回　助動詞「可以」「会」「能」
第六回　直接話法と間接話法・前置詞「給」
第七回　時刻の言い方・方向補語
第八回　「是から的」の用法・比較の表現
第九回　「把」構文・結果補語
第十回　使役動詞
第十一回　様態補語・その他の補語の復習
第十二回　進行形
第十三回　「就要から了」の用法・主述構造の目的語
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『一冊めの中国語（講読クラス）』（白水社）

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期月5永冨		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　前期において学生諸君は中国語の初歩はマスターしたはずである。後期の授業においては、中級へとつながる、新たなステップを登っていきたい。学習者の積極的な参加を期待する。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　変化の「了」
第3回　「できる」
第4回　時刻の言い方、
第5回　動作の回数
第6回　「少し・・・だ」
第7回　比較の表現
第8回　「把」構文
第9回　結果補語
第10回　番号の言い方
第11回　動作の進行
第12回　主述構造の目的語
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『1冊目の中国語』(講読クラス)白水社刊、劉頴他著
(理工生協書籍部扱い)2300円

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火1石田		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要

初級1A1Bに引き続いて、中国語の基礎を学ぶ。
ピンインを正しく読み、綴り、発音できるようにする。声調を聞き取り、正しく操れるようにする。基本文法を学習する。
学年統一教科書『1冊目の中国語一講読クラス』の第8課から第15課までを学習する。
本講義2Aは講読、文法中心ではあるが、1年次の学習なので、当然、聞き取り、発音は重きが置かれる。毎課本文の暗記をおこなう。
なお、2Aの授業と2Bを同時に履修することはもちろんのこと、教科書の前半を1Bで学習したものが後半を2Aで履修しても差し支えない。

シラバス

第1回　ピンインと声調の復習
第2回　変化を表す「了」 動詞「有」 前置詞「在」
第3回　助動詞「できる」 前置詞「給」
第4回　第8，9課のドリル　本文暗記　単語テスト
第5回　時刻の言い方　経験　動作の回数
第6回「少し」「是…的」 比較
第7回　第10，11課のドリル　本文暗記　単語テスト
第8回　ba構文　結果補語 「 から　まで 」 二重目的語
第9回　疑問詞「どのように」 使役動詞
第10回　第12，13課のドリル　本文暗記　単語テスト
第11回　様態補語　進行
第12回　将然　連体修飾語　VOからなる目的語
第13回　第14，15課のドリル　本文暗記　単語テスト
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書

1冊目の中国語一講読クラス　白水社　劉頴　喜多山幸子ほか

参考文献

評価方法

出席　授業参加態度　期末試験　小テストなどを総合して評価する
初修外国語なので出席を重視する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火2石田		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　初級1A1Bに引き続いて、中国語の基礎を学ぶ。
ピンインを正しく読み、綴り、発音できるようにする。声調を聞き取り、正しく操れるようにする。基本文法を学習する。
学年統一教科書『1冊目の中国語一講読クラス』の第8課から第15課までを学習する。
本講義2Aは講読、文法中心ではあるが、1年次の学習なので、当然、聞き取り、発音は重きが置かれる。毎課本文の暗記をおこなう。
なお、2Aの授業と2Bを同時に履修することはもちろんのこと、教科書の前半を1Bで学習したものが後半を2Aで履修しても差し支えない。

シラバス
第1回　ピンインと声調の復習
第2回　変化を表す「了」 動詞「有」 前置詞「在」
第3回　助動詞「できる」 前置詞「給」
第4回　第8，9課のドリル　本文暗記　単語テスト
第5回　時刻の言い方　経験　動作の回数
第6回「少し」「是…的」 比較
第7回　第10，11課のドリル　本文暗記　単語テスト
第8回　ba構文　結果補語 「 から　まで 」 二重目的語
第9回　疑問詞「どのように」 使役動詞
第10回　第12，13課のドリル　本文暗記　単語テスト
第11回　様態補語　進行
第12回　将然　連体修飾語　VOからなる目的語
第13回　第14，15課のドリル　本文暗記　単語テスト
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書　1冊目の中国語一講読クラス　白水社　劉頴　喜多山幸子ほか

参考文献

評価方法　出席　授業参加態度　期末試験　小テストなどを総合して評価する
初修外国語なので出席を重視する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火４田中		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第１５課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと「態」、「補語」、連体・連用修飾語等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

シラバス
第１回（９月２９日）：変化、所有の表現、前置詞
第２回（１０月６日）：助動詞、直接話法と間接話法
第３回（１０月１３日）：復習と応用
第４回（１０月２０日）：時刻の表現、経験、方向補語
第５回（１０月２７日）：「是　的」構文、比較文
第６回（１１月１０日）：復習と応用
第７回（１１月１７日）：「把」構文、結果補語、二重目的語
第８回（１１月２４日）：使役文
第９回（１２月１日）：復習と応用
第１０回（１２月８日）：様態補語、進行形
第１１回（１２月１５日）：近い未来、名詞修飾語
第１２回（１２月２２日）：復習と応用
第１３回（１月１２日）：総復習
第１４回（１月１９日）：学力考査及び解説
第１５回（日程別途指示）：授業理解の確認（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊目の中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）

参考文献

評価方法　期末試験の点数を８０点、小テスト・平常点の点数を２０点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火５田中		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第１５課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと「態」、「補語」、連体・連用修飾語等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

シラバス
第１回（９月２９日）：変化、所有の表現、前置詞
第２回（１０月６日）：助動詞、直接話法と間接話法
第３回（１０月１３日）：復習と応用
第４回（１０月２０日）：時刻の表現、経験、方向補語
第５回（１０月２７日）：「是　的」構文、比較文
第６回（１１月１０日）：復習と応用
第７回（１１月１７日）：「把」構文、結果補語、二重目的語
第８回（１１月２４日）：使役文
第９回（１２月１日）：復習と応用
第１０回（１２月８日）：様態補語、進行形
第１１回（１２月１５日）：近い未来、名詞修飾語
第１２回（１２月２２日）：復習と応用
第１３回（１月１２日）：総復習
第１４回（１月１９日）：学力考査及び解説
第１５回（日程別途指示）：授業理解の確認（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『１冊目の中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）

参考文献

評価方法　期末試験の点数を８０点、小テスト・平常点の点数を２０点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水1清水		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　前期から継続。中国語の正確な発音と初級文法を習得することを目的とする。発音や初歩の文法など、これまでの学習内容を随時確認しつつ、教科書の後半部分へと進んでいく。必要とされる初級中国語の文法事項を身につけるとともに、発音やリスニング等の能力にも一層の磨きをかけていく。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション　前期の復習
[第 2回]変化の「了」・存在の「有」・前置詞「在」
[第 3回]助動詞「可以」「会」「能」・直接話法と間接話法・前置詞「给」
[第 4回]復習・小テスト
[第 5回]時刻の表現、経験の「过」・動量詞・方向補語
[第 6回]「有点儿」・「是…的」・比較
[第 7回]復習・小テスト
[第 8回]「把」構文・結果補語・「从…到…」・二重目的語
[第 9回]疑問詞「怎么」、使役表現・番号
[第10回]復習・小テスト
[第11回]様態補語・進行表現
[第12回]「就要…了」・名詞を修飾する語・主述構造の目的語・前置詞「为」
[第13回]総復習と応用練習（1）
[第14回]総復習と応用練習（2）
[第15回]期末試験および解説

教科書　『1冊めの中国語［購読クラス］』 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著　白水社

参考文献　辞書など主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点（出席と小テストを含む）50%　期末テスト50%

備考　出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。さらに、出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水2渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に引き続き初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

後期の具体的な到達目標は以下の通り

1　初級中国語の文法を完全に理解する。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる）

3　簡単な中国語の作文が書けるようになる。

（自分の日常生活を中国語で表現できるようになる。）

4　中国語検定4級レベルの実力を身につける

シラバス　『1冊目の中国語　講読クラス』の第8課から第15課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（9月30日）　前期の復習（学力チェック）

第2回　（10月7日）　変化を表す“了”　動詞　“有”等（第8課）

第3回　（10月14日）　助動詞“可以”“会”“能”等（第9課）

第4回　（10月28日）　復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（1）

第5回　（11月 4日）　時刻の言い方　方向補語　動作の回数等（第10課）

第6回　（11月11日）　比較の表現　“是・・的”等（第11課）

第7回　（11月18日）　復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（2）

第8回　（11月25日）　結果補語　“把”構文等（第12課）

第9回　（12月 2日）　使役表現、どうやって、何故の表現（第13課）

第10回（12月 9日）　復習（作文、会話練習）中国語検定4級練習問題（3）

第11回（12月16日）　様態補語、動作の進行を表す言い方（第14課）

第12回（ 1月 6日）　名詞を修飾する語、主述構造の目的語（第15課）

第13回（ 1月13日）　総復習

第14回（ 1月20日）　学力考査および解説

第15回（ 1月27日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水2渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水3渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に引き続き初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

後期の具体的な到達目標は以下の通り

1　初級中国語の文法を完全に理解する。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる）

3　簡単な中国語の作文が書けるようになる。

（自分の日常生活を中国語で表現できるようになる。）

4　中国語検定4級レベルの実力を身につける

シラバス　『1冊目の中国語　講読クラス』の第8課から第15課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（9月30日）　前期の復習（学力チェック）

第2回　（10月7日）　変化を表す“了”　動詞　“有”等（第8課）

第3回　（10月14日）　助動詞“可以”“会”“能”等（第9課）

第4回　（10月28日）　復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（1）

第5回　（11月 4日）　時刻の言い方　方向補語　動作の回数等（第10課）

第6回　（11月11日）　比較の表現　“是・・的”等（第11課）

第7回　（11月18日）　復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（2）

第8回　（11月25日）　結果補語　“把”構文等（第12課）

第9回　（12月 2日）　使役表現、どうやって、何故の表現（第13課）

第10回（12月 9日）　復習（作文、会話練習）中国語検定4級練習問題（3）

第11回（12月16日）　様態補語、動作の進行を表す言い方（第14課）

第12回（ 1月 6日）　名詞を修飾する語、主述構造の目的語（第15課）

第13回（ 1月13日）　総復習

第14回（ 1月20日）　学力考査および解説

第15回（ 1月27日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水3渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水5清水		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　前期から継続。中国語の正確な発音と初級文法を習得することを目的とする。発音や初歩の文法など、これまでの学習内容を随時確認しつつ、教科書の後半部分へと進んでいく。必要とされる初級中国語の文法事項を身につけるとともに、発音やリスニング等の能力にも一層の磨きをかけていく。

シラバス
[第 1回]オリエンテーション　前期の復習
[第 2回]変化の「了」・存在の「有」・前置詞「在」
[第 3回]助動詞「可以」「会」「能」・直接話法と間接話法・前置詞「给」
[第 4回]復習・小テスト
[第 5回]時刻の表現、経験の「过」・動量詞・方向補語
[第 6回]「有点儿」・「是…的」・比較
[第 7回]復習・小テスト
[第 8回]「把」構文・結果補語・「从…到…」・二重目的語
[第 9回]疑問詞「怎么」、使役表現・番号
[第10回]復習・小テスト
[第11回]様態補語・進行表現
[第12回]「就要…了」・名詞を修飾する語・主述構造の目的語・前置詞「为」
[第13回]総復習と応用練習（1）
[第14回]総復習と応用練習（2）
[第15回]期末試験および解説

教科書　『1冊めの中国語［購読クラス］』 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著　白水社

参考文献　辞書など主要なものはオリエンテーションにおいて、その他は随時指示する。

評価方法　平常点（出席と小テストを含む）50%　期末テスト50%

備考　出席は毎回取る。特別な事情が無い限り、欠席は減点の対象となる。さらに、出席が総授業回数の3分の2に満たない場合、期末試験の受験資格を失うので注意すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木1熊		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　1冊めの中国語　講読クラス

授業概要　基本的な表現を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
本文の朗読と暗記も重要である。
テキスト、視聴覚教材を使用する。

シラバス　テキストに沿って、中国語の基本的な構造、基礎的文法の説明、関連の表現と簡単な作文練習を行う。
中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。

第一回（10月１日）第八課：ファーストフード店で昼食
第二回（10月８日）第八課：ファーストフード店で昼食――飲食関連の映像資料
第三回（10月15日）第九課：カラオケ店で
第四回（10月29日）第十課：万里の長城に登る
第五回（11月5日）第十課：万里の長城に登る――長城に関する映像資料
第六回（11月12日）第十一課：診察を受ける
第七回（11月19日）第十二課：タクシーに乗る
第八回（11月26日）第十二課：タクシーに乗る――交通関連の映像資料
第九回（12月３日）第十三課：修理を頼む
第十回（12月10日）第十四課：訪問する
第十一回（12月17日）第十四課：訪問する――中国の家庭に関する映像資料
第十二回（１月７日）第十五課：乾杯
第十三回（１月14日）作文練習
第十四回（１月21日）学力考査および解説
第十五回（日程別途指示）授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・他『1冊めの中国語　講読クラス』（白水社）

参考文献

評価方法　出席（無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容）
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストも参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木2福岡		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福岡　さち子		

副題

授業概要　中国語を半年間学習した者を対象として、中国語の発音と文法の基礎を中心とした授業を行う。正確な発音を定着されるため、授業中はなるべく多くの「話す」機会を設ける。また、基本的文型を利用した単語の置き換え練習などを繰り返して行い、中国語の基礎的運用能力の習得を目指す。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　発音の復習
第三回　変化の「了」・存在を表す動詞の「有」
第四回　前置詞「在」
第五回　助動詞「可以」「会」「能」
第六回　直接話法と間接話法・前置詞「給」
第七回　時刻の言い方・方向補語
第八回　「是から的」の用法・比較の表現
第九回　「把」構文・結果補語
第十回　使役動詞
第十一回　様態補語・その他の補語の復習
第十二回　進行形
第十三回　「就要から了」の用法・主述構造の目的語
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　『一冊めの中国語（講読クラス）』（白水社）

参考文献

評価方法　教場試験と授業参加態度などの平常点をあわせて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木4田中		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第15課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと「態」、「補語」、連体・連用修飾語等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

シラバス
第1回（10月1日）：変化、所有の表現、前置詞
第2回（10月8日）：助動詞、直接話法と間接話法
第3回（10月15日）：復習と応用
第4回（10月29日）：時刻の表現、経験、方向補語
第5回（11月5日）：「是　的」構文、比較文
第6回（11月12日）：復習と応用
第7回（11月19日）：「把」構文、結果補語、二重目的語
第8回（11月26日）：使役文
第9回（12月3日）：復習と応用
第10回（12月10日）：様態補語、進行形
第11回（12月17日）：近い未来、名詞修飾語
第12回（1月7日）：復習と応用
第13回（1月14日）：総復習
第14回（1月21日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊目の中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）

参考文献

評価方法　期末試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木5田中		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第15課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと「態」、「補語」、連体・連用修飾語等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

シラバス
第1回（10月1日）：変化、所有の表現、前置詞
第2回（10月8日）：助動詞、直接話法と間接話法
第3回（10月15日）：復習と応用
第4回（10月29日）：時刻の表現、経験、方向補語
第5回（11月5日）：「是　的」構文、比較文
第6回（11月12日）：復習と応用
第7回（11月19日）：「把」構文、結果補語、二重目的語
第8回（11月26日）：使役文
第9回（12月3日）：復習と応用
第10回（12月10日）：様態補語、進行形
第11回（12月17日）：近い未来、名詞修飾語
第12回（1月7日）：復習と応用
第13回（1月14日）：総復習
第14回（1月21日）：学力考査及び解説
第15回（日程別途指示）：授業理解の確認（確認方法は授業中に指示する。）

教科書　『1冊目の中国語　講読クラス』（劉穎・喜多山幸子・松田かの子著、白水社）

参考文献

評価方法　期末試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金3渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に引き続き初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

後期の具体的な到達目標は以下の通り

1　初級中国語の文法を完全に理解する。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる）

3　簡単な中国語の作文が書けるようになる。

（自分の日常生活を中国語で表現できるようになる。）

4　中国語検定4級レベルの実力を身につける

シラバス　『1冊目の中国語　講読クラス』の第8課から第15課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（10月 2日）　復習・ 変化を表す“了” 動詞 “有”等（第8課）

第2回　（10月 9日）　8課・ 助動詞“可以”“会”“能”等（第9課）

第3回　（10月16日）　9課・ 復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（1）

第4回　（10月23日）　時刻の言い方　方向補語　動作の回数等（第10課）

第5回　（10月30日）　比較の表現　“是・・的”等（第11課）

第6回　（11月13日）　復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（2）

第7回　（11月20日）　結果補語　“把”構文等（第12課）

第8回　（11月27日）　使役表現、どうやって、何故の表現（第13課）

第9回（12月 4日）　復習（作文、会話練習）中国語検定4級練習問題（3）

第10回（12月11日）　様態補語、動作の進行を表す言い方（第14課）

第11回（12月18日）　名詞を修飾する語、主述構造の目的語（第15課）

第12回（ 1月 8日）　総復習

第13回（ 1月15日）　学力考査および解説

第14回（ 1月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金3渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金4渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に引き続き初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

後期の具体的な到達目標は以下の通り

1　初級中国語の文法を完全に理解する。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる）

3　簡単な中国語の作文が書けるようになる。

（自分の日常生活を中国語で表現できるようになる。）

4　中国語検定4級レベルの実力を身につける

シラバス　『1冊目の中国語　講読クラス』の第8課から第15課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（10月 2日）　復習・ 変化を表す“了” 動詞 “有”等（第8課）

第2回　（10月 9日）　8課・ 助動詞“可以”“会”“能”等（第9課）

第3回　（10月16日）　9課・ 復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（1）

第4回　（10月23日）　時刻の言い方　方向補語　動作の回数等（第10課）

第5回　（10月30日）　比較の表現　“是・・的”等（第11課）

第6回　（11月13日）　復習（作文、会話練習）　中国語検定4級練習問題（2）

第7回　（11月20日）　結果補語　“把”構文等（第12課）

第8回　（11月27日）　使役表現、どうやって、何故の表現（第13課）

第9回（12月 4日）　復習（作文、会話練習）中国語検定4級練習問題（3）

第10回（12月11日）　様態補語、動作の進行を表す言い方（第14課）

第11回（12月18日）　名詞を修飾する語、主述構造の目的語（第15課）

第12回（ 1月 8日）　総復習

第13回（ 1月15日）　学力考査および解説

第14回（ 1月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金4渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金5渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に引き続き初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

後期の具体的な到達目標は以下の通り

1　初級中国語の文法を完全に理解する。

2　簡単な中国語を話したり、聞いて理解できるようになる

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる）

3　簡単な中国語の作文が書けるようになる。

（自分の日常生活を中国語で表現できるようになる。）

4　中国語検定4級レベルの実力を身につける

シラバス　1冊目の中国語　講読クラス』の第8課から第15課を行う。

具体的な学習計画は次の通り

第1回　（10月 2日）　復習・ 変化を表す“了” 動詞 “有”等（第8課）

第2回　（10月 9日） 8課・ 助動詞“可以”“会”“能”等（第9課）

第3回　（10月16日） 9課・ 復習（作文、会話練習） 中国語検定4級練習問題（1）

第4回　（10月23日） 時刻の言い方　方向補語　動作の回数等（第10課）

第5回　（10月30日） 比較の表現 “是・・的”等（第11課）

第6回　（11月13日） 復習（作文、会話練習） 中国語検定4級練習問題（2）

第7回　（11月20日） 結果補語 “把”構文等（第12課）

第8回　（11月27日） 使役表現、どうやって、何故の表現（第13課）

第9回（12月 4日） 復習（作文、会話練習）中国語検定4級練習問題（3）

第10回（12月11日） 様態補語、動作の進行を表す言い方（第14課）

第11回（12月18日）　名詞を修飾する語、主述構造の目的語（第15課）

第12回（ 1月 8日）　総復習

第13回（ 1月15日） 学力考査および解説

第14回（ 1月22日） 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　劉頴　喜多山幸子　松田かの子著『1冊目の中国語　講読クラス』白水社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う筆記テストの成績に基づいて評価をつける

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金5渋谷		
科目キー	2800141005		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を真剣にマスターしたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月１李		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

教室　63号館3階　Gルーム

シラバス

第１回　オリエンテーション　→　*教室*　63号館3階　Gルーム
第２回　ファーストフード
第３回　カラオケ
第４回　復習1
第５回　時刻
第６回　病院
第７回　復習2
第８回　タクシーに乗る
第９回　ホテル
第１０回　復習3
第１１回　訪問
第１２回　送別会
第１３回　表現の総合復習
第１４回　学力考察および解説
第１５回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、小テスト、期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月２李		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

教室　63号館3階　Gルーム

シラバス

第１回　オリエンテーション　→　*教室*　63号館3階　Gルーム
第２回　ファーストフード
第３回　カラオケ
第４回　復習1
第５回　時刻
第６回　病院
第７回　復習2
第８回　タクシーに乗る
第９回　ホテル
第１０回　復習3
第１１回　訪問
第１２回　送別会
第１３回　表現の総合復習
第１４回　学力考察および解説
第１５回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、小テスト、期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月3和		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに
2. 発音・基本文法の復習
3. 変化を表す助詞、前置詞(続)
4. 可能を表す助動詞、連動文、疑問詞
5. 時間、経験を表すアスペクト助詞、方向補語
6. 主述述語文、“是…的”の文、比較構文
7. 結果補語、二重目的語文
8. 中間考査および解説
9. 使役動詞、番号の言い方
10. 様態補語、動作の進行を表す言い方
11. 近い未来を表す言い方、主述構造の目的語
12. 名詞を修飾する語、前置詞(続)
13. 総復習
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月４陳		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　後期は教科書の8課から始まる。会話を中心に授業を進めていくが、リスニング力をさらに強化し、より高度で複雑な表現も覚えていく。終了時は次のレベルに達成できることを目標とする。（1）中国語の音に慣れ、瞬時に耳で理解できる。（2）中国語で簡単な会話を組み立てることができる。（3）ある程度まとまった内容の自己紹介ができる。授業中は多くの会話練習を行うため、学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回「ファーストフード店がありますか」
第　4回「中国の歌が歌えますか」
第　5回「長城に行ったことがありますか」
第　6回「お腹をこわしました」
第　7回復習
第　8回「どのくらいの時間がかかりますか」
第　9回「トイレが故障しました」
第10回「中国語が上手ですね」
第11回「いよいよ帰国です」
第12回復習
第13回まとめ
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『1冊目の中国語――会話クラス』
劉韻・喜多山幸子・松田かの子　著（白水社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月5陳		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　後期は教科書の8課から始まる。会話を中心に授業を進めていくが、リスニング力をさらに強化し、より高度で複雑な表現も覚えていく。終了時は次のレベルに達成できることを目標とする。(1)中国語の音に慣れ、瞬時に耳で理解できる。(2)中国語で簡単な会話を組み立てることができる。(3)ある程度まとまった内容の自己紹介ができる。授業中は多くの会話練習を行うため、学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回「ファーストフード店がありますか」
第　4回「中国の歌が歌えますか」
第　5回「長城に行ったことがありますか」
第　6回「お腹をこわしました」
第　7回復習
第　8回「どのくらいの時間がかかりますか」
第　9回「トイレが故障しました」
第10回「中国語が上手ですね」
第11回「いよいよ帰国です」
第12回復習
第13回まとめ
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『1冊目の中国語――会話クラス』
劉韻・喜多山幸子・松田かの子　著(白水社)

参考文献

評価方法　平常点(出席状況・授業態度)＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期火１王		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　第一週間は前期の復習をし、あとの一週間は中国語と日本語の根本的違いを明らかにする。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語と日本語の根本的違い
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）前期の復習
3回目（3）中国語と日本語の根本的違い
第二セッション　テキスト
4回目（4）第八課
5回目（5）第九課
6回目（6）復習　小テスト
第三セッション
7回目（7）第十課
8回目（8）第十一課
9回目（9）復習　小テスト
第四セッション
10回目（10）第十二課
11回目（11）第十三課
12回目（12）第十四課
13回目（13）第十五課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考

■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期火2王		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　第一週間は前期の復習をし、あとの一週間は中国語と日本語の根本的違いを明らかにする。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語と日本語の根本的違い
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）前期の復習
3回目（3）中国語と日本語の根本的違い
第二セッション　テキスト
4回目（4）第八課
5回目（5）第九課
6回目（6）復習　小テスト
第三セッション
7回目（7）第十課
8回目（8）第十一課
9回目（9）復習　小テスト
第四セッション
10回目（10）第十二課
11回目（11）第十三課
12回目（12）第十四課
13回目（13）第十五課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考

■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期火3王		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　第一週間は前期の復習をし、あとの一週間は中国語と日本語の根本的違いを明らかにする。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語と日本語の根本的違い
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）前期の復習
3回目（3）中国語と日本語の根本的違い
第二セッション　テキスト
4回目（4）第八課
5回目（5）第九課
6回目（6）復習　小テスト
第三セッション
7回目（7）第十課
8回目（8）第十一課
9回目（9）復習　小テスト
第四セッション
10回目（10）第十二課
11回目（11）第十三課
12回目（12）第十四課
13回目（13）第十五課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考

■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期火5和		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに
2. 発音・基本文法の復習
3. 変化を表す助詞、前置詞(続)
4. 可能を表す助動詞、連動文、疑問詞
5. 時間、経験を表すアスペクト助詞、方向補語
6. 主述述語文、“是…的”の文、比較構文
7. 結果補語、二重目的語文
8. 中間考査および解説
9. 使役動詞、番号の言い方
10. 様態補語、動作の進行を表す言い方
11. 近い未来を表す言い方、主述構造の目的語
12. 名詞を修飾する語、前置詞(続)
13. 総復習
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期水1熊		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　中国語の会話クラス

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
本文の朗読と暗記が重要である。
テキスト、視聴覚教材を適宜使用する。

シラバス　テキストに沿って、中国語の基本的な構造の説明、日常生活会話および簡単な作文の練習を行う。中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。

第一回（9月30日）　第八課：ファーストフード店がありますか
第二回（10月7日）　第九課：中国の歌が歌えますか
第三回（10月14日）　第九課：中国の歌が歌えますか――中国歌関連の音声と映像資料
第四回（10月28日）　第十課：長城に行ったことがありますか
第五回（11月4日）　第十課：長城に行ったことがありますか――中国名勝関連の映像
第六回（11月11日）　第十一課：お腹をこわしました
第七回（11月18日）　第十二課：どのくらいの時間がかかりますか
第八回（11月25日）　第十二課：どのくらいの時間がかかりますか――交通関連の映像
第九回（12月3日）　第十三課：トイレが故障しました
第十回（12月9日）　第十四課：中国語が上手ですね
第十一回（12月16日）　第十四課：中国語が上手ですね――留学生の中国語
第十二回（1月6日）　第十五課：いよいよ帰国です
第十三回（1月13日）　作文練習
第十四回（1月20日）　学力考査および解説
第十五回（日程別途指示）授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・他『1冊めの中国語　会話クラス』（白水社）

参考文献

評価方法　出席（無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容）
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストも参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期水3和		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに
2. 発音・基本文法の復習
3. 変化を表す助詞、前置詞(続)
4. 可能を表す助動詞、連動文、疑問詞
5. 時間、経験を表すアスペクト助詞、方向補語
6. 主述述語文、“是…的”の文、比較構文
7. 結果補語、二重目的語文
8. 中間考査および解説
9. 使役動詞、番号の言い方
10. 様態補語、動作の進行を表す言い方
11. 近い未来を表す言い方、主述構造の目的語
12. 名詞を修飾する語、前置詞(続)
13. 総復習
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期水4和		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに
2. 発音・基本文法の復習
3. 変化を表す助詞、前置詞(続)
4. 可能を表す助動詞、連動文、疑問詞
5. 時間、経験を表すアスペクト助詞、方向補語
6. 主述述語文、“是…的”の文、比較構文
7. 結果補語、二重目的語文
8. 中間考査および解説
9. 使役動詞、番号の言い方
10. 様態補語、動作の進行を表す言い方
11. 近い未来を表す言い方、主述構造の目的語
12. 名詞を修飾する語、前置詞(続)
13. 総復習
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期木3和		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

シラバス

1. はじめに
2. 発音・基本文法の復習
3. 変化を表す助詞、前置詞(続)
4. 可能を表す助動詞、連動文、疑問詞
5. 時間、経験を表すアスペクト助詞、方向補語
6. 主述述語文、“是…的”の文、比較構文
7. 結果補語、二重目的語文
8. 中間考査および解説
9. 使役動詞、番号の言い方
10. 様態補語、動作の進行を表す言い方
11. 近い未来を表す言い方、主述構造の目的語
12. 名詞を修飾する語、前置詞(続)
13. 総復習
14. 学力考査および解説
15. 授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉穎ほか『1冊目の中国語　会話クラス』、白水社

参考文献

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期金1李		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

シラバス

第1回　オリエンテーション　*教室*　→　63号館3階端末室Gルーム
第2回　ファーストフード
第3回　カラオケ
第4回　復習1
第5回　時刻
第6回　病院
第7回　復習2
第8回　タクシーに乗る
第9回　ホテル
第10回　復習3
第11回　訪問
第12回　送別会
第13回　表現の総合復習
第14回　学力考察および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、小テスト、期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席4回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期金2李		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	李　洵		

副題　1冊めの中国語（会話クラス）

授業概要　中国語でのコミュニケーションに必要な最も基本的な表現を身につけることを目的とします。授業は聞く話すためのトレーニングを中心に進めます。

シラバス

第1回　オリエンテーション　*教室*　→　63号館3階端末室Gルーム
第2回　ファーストフード
第3回　カラオケ
第4回　復習1
第5回　時刻
第6回　病院
第7回　復習2
第8回　タクシーに乗る
第9回　ホテル
第10回　復習3
第11回　訪問
第12回　送別会
第13回　表現の総合復習
第14回　学力考察および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉韻・喜多山幸子・松田かの子著『1冊めの中国語　会話クラス』白水社

参考文献

評価方法　出席、小テスト、期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席4回以上は不合格とする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期金3陳		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　後期は教科書の8課から始まる。会話を中心に授業を進めていくが、リスニング力をさらに強化し、より高度で複雑な表現も覚えていく。終了時は次のレベルに達成できることを目標とする。(1)中国語の音に慣れ、瞬時に耳で理解できる。(2)中国語で簡単な会話を組み立てることができる。(3)ある程度まとまった内容の自己紹介ができる。授業中は多くの会話練習を行うため、学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回「ファーストフード店がありますか」
第　4回「中国の歌が歌えますか」
第　5回「長城に行ったことがありますか」
第　6回復習
第　7回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第　8回「お腹をこわしました」
第　9回「どのくらいの時間がかかりますか」
第10回「トイレが故障しました」
第11回「中国語が上手ですね」
第12回「いよいよ帰国です」
第13回復習
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『1冊目の中国語――会話クラス』
劉韻・喜多山幸子・松田かの子　著(白水社)

参考文献

評価方法　平常点(出席状況・授業態度)＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期金4陳		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　後期は教科書の8課から始まる。会話を中心に授業を進めていくが、リスニング力をさらに強化し、より高度で複雑な表現も覚えていく。終了時は次のレベルに達成できることを目標とする。(1)中国語の音に慣れ、瞬時に耳で理解できる。(2)中国語で簡単な会話を組み立てることができる。(3)ある程度まとまった内容の自己紹介ができる。授業中は多くの会話練習を行うため、学生同士のペアワークという形式の練習に積極的に参加でき、自ら進んで相手とコミュニケーションがとれる意欲ある受講生が望ましい。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回「ファーストフード店がありますか」
第　4回「中国の歌が歌えますか」
第　5回「長城に行ったことがありますか」
第　6回復習
第　7回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第　8回「お腹をこわしました」
第　9回「どのくらいの時間がかかりますか」
第10回「トイレが故障しました」
第11回「中国語が上手ですね」
第12回「いよいよ帰国です」
第13回復習
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『1冊目の中国語――会話クラス』
劉頴・喜多山幸子・松田かの子　著(白水社)

参考文献

評価方法　平常点(出席状況・授業態度)＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期金5王		
科目キー	2800141006		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　第一週間は前期の復習をし、あとの一週間は中国語と日本語の根本的違いを明らかにする。その後はテキストを中心に勉強を進めていきます。

シラバス

第一セッション　中国語と日本語の根本的違い
1回目（1）オリェンテーション
2回目（2）前期の復習
3回目（3）中国語と日本語の根本的違い
第二セッション　テキスト
4回目（4）第八課
5回目（5）第九課
6回目（6）復習　小テスト
第三セッション
7回目（7）第十課
8回目（8）第十一課
9回目（9）復習　小テスト
第四セッション
10回目（10）第十二課
11回目（11）第十三課
12回目（12）第十四課
13回目（13）第十五課
14回目（14）学力考査および解説
15回目（15）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　劉頴・喜多山幸子・松田かの子著、『1冊めの中国語』（会話クラス）白水社、2009年、2300円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考

■履修上のアドバイス
　中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
　質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。
　語学なので、予習復習が大切です。特に復習が重要なので、毎週欠かさずにしていきましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IA（学院クラス）前期火5永冨		
科目キー	2800141007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　一年次において学生諸君は中国語の基礎は一通りマスターしたはずである。下記テキストは、中級者向けのより実用的なものであり、各課ごとに会話が設定されている。学習者の積極的な参加を期待する。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　你多大了？
第3回　モノのありかを言う
第4回　V着
第5回　存在を表す文
第6回　たずねる(1)・進行・持続
第7回　前半のまとめ
第8回　問路
第9回　タクシーにて
第10回　没睡好覚
第11回　打工
第12回　時間のたずね方・答え方
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社)2200円
(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IA（学院クラス）前期水2熊		
科目キー	2800141007		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　北京コレクション　初級ー中級編

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
テキストと視聴覚教材を使用する。
テキストに沿って、ビデオ資料を中心に中国語の発音、聞き取り、日常会話、中国語の日本語訳、簡単な作文、口頭発表の練習を行う。
中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。
また最新の流行語や中国事情をも紹介する。

シラバス
第一回（4月8日） オリエンテーション・姓名の中国語発音の確認等
第二回（4月15日） 第一課：北京の小学校　単語、文法説明、本文講読
第三回（4月22日） 第一課：北京の小学校：一年生の今、練習問題
第四回（4月29日） 第二課：北京のアフターファイブ　単語、文法説明、本文講読
第五回（5月13日） 第二課：北京のアフターファイブ　一年生の今、練習問題
第六回（5月20日） 第三課：明日のスター　単語、文法説明、本文講読
第七回（5月27日） 第三課：明日のスター　一年生の今、練習問題
第八回（6月3日） 第四課：新北京の足　単語、文法説明、本文講読
第九回（6月10日） 第四課：新北京の足　一年生の今、練習問題
第十回（6月17日） 第五課：中国メデイア事情　単語、文法説明、本文講読
第十一回（6月24日） 第五課：中国メデイア事情　一年生の今、練習問題
第十二回（7月1日） 第六課：港町天津　単語、文法説明、本文講読
第十三回（7月8日） 第六課：港町天津　一年生の今、練習問題
第十四回（7月15日）学力　考査および解説
第十五回（日程別途指示）授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂・陳祖蓓『北京コレクション　初級ー中級編』（朝日出版社）

参考文献

評価方法　出席（無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容）
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストと口頭試験も参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

中国語の既修者、あるいは中国語圏での留学経験者等のクラス。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IA（学院クラス）前期水4渋谷		
科目キー	2800141007		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　初級中国語文法の総復習と、実践的な日常会話練習を行う。

具体的な到達目標は以下の通り

1　自分の日常生活について中国語で言えるようになる。

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

2　初級文法を正しく理解して、正確な中国語の文章が書けるようになる

3　前期・後期の授業を通じて中国語検定3級、4級の合格をめざす。

シラバス　中文課本とオリジナルプリントを併用して以下の内容を学習する

第1回　（4月8日）　オリエンテーション（実力チェック）

第2回　（4月16日）　総合演習1の解説、中国語で学校を紹介しよう（第6課）

第3回　（4月22日）　家庭状況についての表現（第7課）

第4回　（4月29日）　一日の生活を述べてみよう（第8課）

第5回　（5月13日）　総復習（練習問題＋会話練習）

第6回　（5月20日）　キャンパス生活を述べてみよう（第9課）

第7回　（5月27日）　動作の時間・回数と目的語、前置詞のまとめ、会話練習

第8回　（6月3日）　昨日のことを述べてみよう。完了の了と変化の了（第10課）

第9回　（6月10日）　完了表現の会話・作文練習、総合演習2

第10回（6月17日）　様態補語“得”を使いこなそう（第11課）

第11回（6月24日）　初対面の中国人に話しかける時（第12課）

第12回（7月1日）　総復習

第13回（7月8日）　会話テスト

第14回（7月15日）　学力考査および解説

第15回（7月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　竹島金吾著『中文課本　基礎編　改訂新版』金星堂

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う会話・筆記テストの成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IA（学院クラス）前期水4渋谷		
科目キー	2800141007		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

毎回必ず授業に出席して下さい。遅刻厳禁。

ヒアリングや会話練習を徹底的に行う予定なので、中国語が話せるようになりたい、

中国語検定を受けてみたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IA（学院クラス）前期木4石田		
科目キー	2800141007		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　中国語でコミュニケーションできるよう、聞く話すに重点をおいて授業する。1年次に学習したなじみのある文型、単語をしっかり確認した上で、それらを発展させつつ、音で意味が理解でき、的確な発話、質疑応答ができるように訓練する。但し、音で意味を理解するその基礎には、しっかりとした文法の裏づけが必要であることは言うまでもない。こちらも授業でしっかり確認する。前期は教科書の第11課までを目標に進める。意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

シラバス
第1回　オリエンテーション　発音復習：子音　母音　変則綴りの確認　声調の変化
第2回　第一単元で使う単語の先取り学習
第3回　名前・紹介
第4回　時刻の表現
第5回　年月日　年齢
第6回　値段
第7回　第一単元のまとめ
第8回　第二単元で使う単語の先取り学習
第9回　何があるか
第10回　どこにあるか
第11回　何がすきですか
第12回　何時間ですか
第13回　第二単元のまとめ
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書　音で覚える中国語会話特訓　同学社　楊達　石田知子他

参考文献

評価方法　出席　授業参加態度　授業時小テスト　学期末試験などを総合して評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IB（学院クラス）前期月3李		
科目キー	2800141008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	李　洵		

副題　中国語検定試験3級一一筆記

授業概要　日本中国語検定協会が主催する中国語検定試験（以下「中検」と略す）は、学習者の中国語力を判断する客観的、かつ信頼のおける資格試験です。この授業は、中検試験の3級レベル（*）の実力を身につけることを目指します。

授業では筆記」を中心に過去問を解きながら、3級合格に必要な文法事項を学びます。

*中検3級のレベル
基本的な文書を読み、書くことができること;簡単な日常会話ができること。
学習時間に換算すると、200―300時間。
一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　助詞；　連動文、兼語文
第3回　前置詞；　処置文、受身文
第4回　量詞；　比較文
第5回　過去問題1
第6回　過去問題2
第7回　過去問題3
第8回　副詞;時量の表現
第9回　補語;存現文
第10回　助動詞
第11回　関連詞
第12回　過去問題4
第13回　過去問題5
第14回　学力考察および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献　洪潔清・陳敏著『中国語検定3級一ヶ月でできる総仕上げ』白帝社
柴森著『中国語検定3級頻出問題集』高橋書店

評価方法　小テスト
期末試験
中国語検定試験3級合格

備考　欠席4回以上は、不合格とする。
前期と後期、あわせて受講することを奨励。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IB（学院クラス）前期木2和		
科目キー	2800141008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　中国と日本の留学生のこと、日本人と中国人の生活習慣、成語、歌などを題材として、大量の副教材やビデオ教材も使いながら会話の練習をする。個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本文型の定着と応用能力の向上を目指す。朗読と聞き取りも重視する。テキスト各1課につき授業2回の予定。副教材としては、出席者の状況を見ながら、テキストの本文と関連する新聞・雑誌の文章、テレビの最新ニュースなどを使う。

シラバス

1．はじめに　初級の総復習
2．中国語を選択　　因果関係や逆接関係を表す接続詞、呼応する副詞
3．会話と練習問題
4．自己紹介　　条件関係を表す接続詞、列挙を表す助詞、「免得」「好不容易」「除了」等
5．会話と練習問題
6．中国人留学生　　累加関係を表す接続詞、目的を表す前置詞、「不必」「不能不」「只有」等
7．会話と練習問題
8．梅雨の時節　　呼応する副詞
9．会話と練習問題
10．アルバイト　　各種の接続詞や副詞
11．会話と練習問題
12．短期留学　　使役、前置詞、「之后」、成語
13．会話と練習問題
14．総合復習
15．まとめ　テスト

教科書　范建明など『中国語のデイリーライフ』、朝日出版社
副教材はプリント配布

参考文献

評価方法　学期末テストと時折の小テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IB（学院クラス）前期金2王		
科目キー	2800141008		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要

授業の目的は中国語の中級段階の修得なので，それに向かって，毎回の授業の終りにまとめをしていく。
例文の練習問題を中心とする。中国語会話に有用な口語的表現や慣用的表現を習得するため，短文の中文和訳を中心とする。
中国の歴史・地理と中国人の生活文化を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。
必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。
教室ではビデオの使用によって，出来るだけ中国語の原体験を多くする。又これによって動機づけを強化したい。
学生の自発的な参加が中心になる。

シラバス

第1回　オリェンテーション
第2回　第1課
第3回　第1課
第4回　第2課
第5回　第2課
第6回　第3課
第7回　第3課
第8回　第1-3課のまとめ、中間試験
第9回　中間試験
第10回　第4課
第11回　第4課
第12回　第5課
第13回　第5課
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

■到達目標
(1)中級前期のレベルを対象として，学習者が，日常会話ができるようにする。
(2)文法事項や語彙は一応理解しているものの，それらを使って文を作ることを不得手としている学生が多いと言われている。本コースでは苦手を克服して，日常の様々なことを中国語で表現出来るようになることを目的とする。

教科書

銭春蘭・兵頭和美・王元『世界遺産で学ぶ中国語』白帝社　1,800円

参考文献

王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

定期試験40%
実技・作品等%
日常点（小テスト・課題等）30%
その他20%出席回数

評価方法ABC

備考

■履修上のアドバイス
(1)継続学習することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。CD教材も必要に応じて使用する。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)練習問題は基本動詞を基礎とした具体的なものから発展的に並べられているので，自発的なドリルが大きな進歩をとげる助けとなる。
(4)選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
外国語で，その国の文化や人間を学習していることを忘れないようにしよう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IB（学院クラス）前期金2王		
科目キー	2800141008		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IB（学院クラス）前期金5陳		
科目キー	2800141008		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　初級で覚えた中国語をステップアップさせ、応用力をつけると同時に、コトバの奥にある「中国人のこころ」にも触れてみる。教科書は全6ユニット、各ユニットは「会話・閲読・実力チェック」という構成になっており、前期はユニット3まで進む予定。授業は聞く・話す・読む・書くという総合的なトレーニングを行うので、意欲ある受講生を望む。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回会話1「ようこそ」
第　4回閲読1『私は誰ですか』＋実力チェック
第　5回会話2「北京は初めてですか」
第　6回閲読2『中国人の名前』＋実力チェック
第　7回会話3「スポーツ」
第　8回閲読3『卓球』＋実力チェック
第　9回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回会話4「娯楽」
第11回閲読4『オリンピックとマラソン』＋実力チェック
第12回会話5「旅行」
第13回閲読5『江南の水郷――烏鎮』＋実力チェック
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『中国語キャンパス――中級・実用編』
関中研＝共著（朝日出版社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIA（学院クラス）後期火5永冨		
科目キー	2800141009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　前期に引き続き、下記テキストを学習する。教科書も後半となり、内容もより深みをもったものへと進んでいく。学習者の積極的な参加を期待する。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　前置詞「給」と「跟」
第3回　値段の交渉
第4回　中華料理について
第5回　自由市場
第6回　たずねる（2）
第7回　前半のまとめ
第8回　バレンタイン
第9回　さまざまな職業
第10回　色に対する感覚
第11回　先生との再会
第12回　つなげることば
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』（朝日出版社）2200円
（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIA（学院クラス）後期水2熊		
科目キー	2800141009		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　北京コレクション 初級−中級編

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
テキストと視聴覚教材を使用する。
テキストに沿って、ビデオ資料を中心に中国語の発音、聞き取り、日常会話、中国語の日本語訳、簡単な作文、口頭発表の練習を行う。
中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。
また最新の流行語や中国事情をも紹介する。

シラバス
第一回（9月30日） 2008年北京オリンピック映像資料と関連の単語練習
第二回（10月7日） 第七課：古董ブーム　単語、文法説明、本文講読
第三回（10月14日） 第七課：古董ブーム　一年生の今、練習問題
第四回（10月28日） 第八課：北京の職人　単語、文法説明、本文講読
第五回（11月4日） 第八課：北京の職人　一年生の今、練習問題
第六回（11月11日） 第九課：北京の郊外　単語、文法説明、本文講読
第七回（11月18日） 第九課：北京の郊外　一年生の今、練習問題
第八回（11月25日） 第十課：中国の飲食文化　単語、文法説明、本文講読
第九回（12月3日） 第十課：中国の飲食文化　一年生の今、練習問題
第十回（12月9日） 第十一課：未来の京劇スターの夢　単語、文法説明、本文講読
第十一回（12月16日） 第十一課：未来の京劇スターの夢　一年生の今、練習問題
第十二回（1月6日） 第十二課：オリンピックと胡同　単語、文法説明、本文講読
第十三回（1月13日） 第十二課：オリンピックと胡同　一年生の今、練習問題
第十四回（1月20日） 学力考査および解説
第十五回（日程別途指示）授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂・陳祖蓓『北京コレクション 初級−中級編』（朝日出版社）

参考文献

評価方法　出席（無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容）
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストと口頭試験も参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

中国語の既修者、あるいは中国語圏での留学経験者等のクラス。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIA（学院クラス）後期木4石田		
科目キー	2800141009		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　中国語でコミュニケーションできるよう、聞く話すに重点をおいて授業する。1年次に習ったなじみのある文型、単語をしっかり確認した上で、それらを発展させつつ、音で意味が理解でき、的確な発話、質疑応答ができるように訓練する。但し、音で意味を理解するその基礎には、しっかりとした文法の裏づけが必要であることは言うまでもない。こちらも授業で確認する。後期は教科書の第12課以降を行う。
前期、本講義を履修していなくてもなんら差し支えない。意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

シラバス
第1回　オリエンテーション　発音復習:子音　母音　変則綴りの確認　声調の変化
第2回　第一、第二単元の復習・確認
第3回　第三単元で使う単語の先取り学習
第4回　前置詞「給」 誰に買ってあげますか
第5回　前置詞「在」 どこで勉強しますか
第6回　受身　何が盗まれましたか
第7回　進行　なにをしていますか
第8回　第三単元のまとめ
第9回　第四単元で使う単語の先取り学習
第10回　経験　見たことがありますか
第11回　可能　タバコを吸ってもいいですか
第12回　比較　これより安いですか
第13回　第四単元のまとめ
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書　音で覚える中国語会話特訓　同学社　楊達　石田知子ほか

参考文献

評価方法　出席　授業参加態度　期末試験　小テストなどを総合して評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIA（学院クラス）後期水4渋谷		
科目キー	2800141009		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に続き、『中文課本』を用いて中国語文法の総復習と、実用的な会話練習を行う。

具体的な到達目標は以下の通り

1　自分の日常生活について中国語で言えるようになる。

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

2　初級文法を正しく理解して、正確な中国語の文章が書けるようになる

3　前期・後期の授業を通じて中国語検定3級、4級の合格をめざす。

後期では中国語検定の過去問題を実際に解いてみて、各自の中国語レベルや弱点を

総点検する予定。

その他ビデオやオリジナル教材を用いて、履修生の中国語レベルや興味に合

った楽しい授業を行いたいと思っています。

シラバス　中文課本とオリジナルプリントを併用して以下の内容を学習する

第1回　（ 9月30日）　オリエンテーション（実力チェック）

第2回　（10月 7日）　中国人の家を訪問する時の表現（第13課）

第3回　（10月14日）　自分の特技を述べる時の表現（第14課）

第4回　（10月28日）　復習（練習問題＋会話練習）　中国語検定過去問題（1）

第5回　（11月 4日）　レストランでの実用会話（第15課）

第6回　（11月 11日）　復習（助動詞と前置詞の総復習＋会話練習）　総合演習3

第7回　（11月18日）　比較の表現を使いこなそう（第16課）

第8回　（11月25日）　旅行について述べてみよう。（第17課）

第9回　（12月 2日）　復習（練習問題＋会話練習）　中国語検定過去問題（2）

第10回（12月 9日）　身体や病気に関する表現（第18課）

第11回（12月16日）　中国の故事を読んでみる（第19課）

第12回（ 1月 6日）　総復習（20課）

第13回（ 1月13日）　会話テスト

第14回（ 1月20日）　学力考査および解説

第15回（7月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　竹島金吾著『中文課本　基礎編　改訂新版』金星堂

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIA （学院クラス） 後期水4渋谷		
科目キー	2800141009		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う会話・筆記テストの成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましいが、後期のみの受講も可能です。

その場合は、10月中旬までに中文課本の5課から12課までの内容に目を通して

文法的に未習の分野がないか確認して下さい（分からなかったら質問に来ること）

本文のヒアリングテストを毎回行いますので授業の復習は不可欠です。

真面目に勉強すればかなり力がつくテキストなので、中国語が話せるようになりたい、

在学中に是非中国に行って中国人とコミュニケーションをしてみたい、中国語検定試験

に挑戦したいというやる気のある学生の履修を歓迎します！

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIB（学院クラス）後期月３李		
科目キー	2800141010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　中国語検定試験3級ーーリスニング

授業概要　日本中国語検定協会が主催する中国語検定試験（以下「中検」と略す）は、学習者の中国語力を判断する客観的、かつ信頼のおける資格試験です。この授業は、中検試験の3級レベル（*）の実力を身につけることを目指します。

授業は演習の形で進めます。
教室　６３号館3階端末室Gルーム

*中検3級のレベル
基本的な文書を読み、書くことができること;簡単な日常会話ができること。
学習時間に換算すると、200ー300時間。
一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。

シラバス
第1回　オリエンテーション　*教室* →　６３号館3階端末室Gルーム
第2回　時間の量
第3回　時間
第4回　動作1
第5回　動作2
第6回　数量
第7回　場所
第8回　提案、意見
第9回　事実確認
第10回　自己紹介
第11回　ある一日
第12回　日記、思い出
第13回　総合
第14回　学力考察および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献　洪潔清・陳敏著『中国語検定3級一ヶ月でできる総仕上げ』白帝社
柴森著『中国語検定３級頻出問題集』高橋書店

評価方法　小テスト
期末試験
中国語検定試験3級合格

備考　欠席4回以上は、不合格とする。
前期と後期、あわせて受講することを奨励。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIB（学院クラス）後期木2和		
科目キー	2800141010		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　中国と日本の留学生のこと、日本人と中国人の生活習慣、成語、歌などを題材として、大量の副教材やビデオ教材も使いながら会話の練習をする。個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本文型の定着と応用能力の向上を目指す。朗読と聞き取りも重視する。テキスト各1課につき授業2回の予定。副教材としては、出席者の状況を見ながら、テキストの本文と関連する新聞・雑誌の文章、テレビの最新ニュースやドラマなどを使う。

シラバス

1．はじめに　復習
2．先生への手紙　　原因や理由を表す前置詞、仮定関係を表す接続詞
3．会話と練習問題
4．餃子作り　　各種の副詞や接続詞の用法
5．会話と練習問題
6．李強さんの話　　複合方向補語の抽象的用法
7．会話と練習問題
8．富士山　　感嘆文、各種の副詞
9．会話と練習問題
10．七言絶句
11．成語の話（1）
12．成語の話（2）
13．「海よ、ふるさと」「草原情歌」
14．総合復習
15．まとめ　テスト

教科書　范建明など『中国語のデイリーライフ』、朝日出版社

参考文献

評価方法　学期末テストと時折の小テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIB（学院クラス）後期金2王		
科目キー	2800141010		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　授業の目的は中国語の中級段階の修得なので，それに向かって，毎回の授業の終りにまとめをしていく。
例文の練習問題を中心とする。中国語会話に有用な口語的表現や慣用的表現を習得するため，短文の中文和訳を中心とする。
中国の歴史・地理と中国人の生活文化を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。
必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。
教室ではビデオの使用によって，出来るだけ中国語の原体験を多くする。又これによって動機づけを強化したい。
学生の自発的な参加が中心になる。

シラバス
第1回　オリェンテーション
第2回　第6課
第3回　第6課
第4回　第7課
第5回　第7課
第6回　第8課
第7回　第8課
第8回　第6-8課のまとめ、中間試験
第9回　第9課
第10回　第9課
第11回　第l0課
第12回　第11課
第13回　第12課
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

■到達目標
(1)口語的な中国語表現力の向上中級後期のレベルを対象として，前期の復習をしながら，日常会話の能力向上を目指す。
(2)中国文化（中国の歴史と中国人の生活習慣など）に興味を持てるようにし，中級終了後も中国語学習に取り組んでいけるようにする。
(3)また方針として学習した実力判定の基準となる中国語検定試験3級取得に挑戦したい。

教科書　銭春蘭・兵頭和美・王元『世界遺産で学ぶ中国語』白帝社　1,800円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法
定期試験40%
実技・作品等%
日常点（小テスト・課題等）30%
その他20%出席回数

評価方法ABC

備考　■履修上のアドバイス
(1)継続学習することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)練習問題は基本動詞を基礎とした具体的なものから発展的に並べられているので，自発的なドリルが大きな進歩をとげる助けとなる。
(4)選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
外国語で，その国の文化や人間を学習していることを忘れないようにしよう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIB（学院クラス）後期金２王		
科目キー	2800141010		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語IIB （学院クラス） 後期金5陳		
科目キー	2800141010		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　初級で覚えた中国語をステップアップさせ、応用力をつけると同時に、コトバの奥にある「中国人のこころ」にも触れてみる。教科書は全6ユニット、各ユニットは「会話・閲読・実力チェック」という構成になっており、後期はユニット4から始まる。授業は聞く・話す・読む・書くという総合的なトレーニングを行うので、意欲ある受講生を望む。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回会話6「日常」
第　4回閲読6『盲導犬』＋実力チェック
第　5回会話7「集まり」
第　6回閲読7『四文字成語の話』＋実力チェック
第　7回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第　8回会話8「中国語の入力」
第　9回閲読8『“五筆型”入力法』＋実力チェック
第10回会話9「中国語を話す」
第11回閲読9『“普通語”と方言』＋実力チェック
第12回会話10「消費」
第13回閲読10『ファッション』＋実力チェック
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書
『中国語キャンパス――中級・実用編』
関中研＝共著（朝日出版社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語上級I　前期月6永冨		
科目キー	2800141013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　本講座は、中国語上級の習得を目指す学生を対象とする。長年にわたる中国語学習の最後として、より高度な内容にチャレンジしていただきたい。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　履歴表
第3回　食べ物飲み物
第4回　学校の一日
第5回　作文を読む
第6回　通知を読む
第7回　前半のまとめ
第8回　結婚
第9回　笑い話
第10回　注意報
第11回　スポーツ
第12回　私の一日
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　教場にて指示する。

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語上級II　後期月6永冨		
科目キー	2800141014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　上級の授業も後半となり、やや息切れ気味の学生もいるかもしれない。しかし、中国語学習の完成を目指し、もうひとがんばりしていただきたい。学習者の積極的な参加を期待する。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　日常医学
第3回　さまざまな動物
第4回　さまざまなイメージ
第5回　中国のお茶
第6回　旅行
第7回　前半のまとめ
第8回　外国語を学ぶ
第9回　干支と性格
第10回　料理について
第11回　漢字と日本人
第12回　笑い話
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　教場にて指示する。

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IA　前期火5永冨		
科目キー	2800141015		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　一年次において学生諸君は中国語の基礎は一通りマスターしたはずである。下記テキストは、中級者向けのより実用的なものであり、各課ごとに会話が設定されている。学習者の積極的な参加を期待する。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　你多大了？
第3回　モノのありかを言う
第4回　V着
第5回　存在を表す文
第6回　たずねる(1)・進行・持続
第7回　前半のまとめ
第8回　問路
第9回　タクシーにて
第10回　没睡好覚
第11回　打工
第12回　時間のたずね方・答え方
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社)2200円
(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IA　前期水2熊		
科目キー	2800141015		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　北京コレクション　初級ー中級編

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
テキストと視聴覚教材を使用する。
テキストに沿って、ビデオ資料を中心に中国語の発音、聞き取り、日常会話、中国語の日本語訳、簡単な作文、口頭発表の練習を行う。
中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。
また最新の流行語や中国事情をも紹介する。

シラバス
第一回(4月8日)　オリエンテーション・姓名の中国語発音の確認等
第二回(4月15日)　第一課:北京の小学校　単語、文法説明、本文講読
第三回(4月22日)　第一課:北京の小学校:　一年生の今、練習問題
第四回(4月29日)　第二課:北京のアフターファイブ　単語、文法説明、本文講読
第五回(5月13日)　第二課:北京のアフターファイブ　一年生の今、練習問題
第六回(5月20日)　第三課:明日のスター　単語、文法説明、本文講読
第七回(5月27日)　第三課:明日のスター　一年生の今、練習問題
第八回(6月3日)　第四課:新北京の足　単語、文法説明、本文講読
第九回(6月10日)　第四課:新北京の足　一年生の今、練習問題
第十回(6月17日)　第五課:中国メデイア事情　単語、文法説明、本文講読
第十一回(6月24日)　第五課:中国メデイア事情　一年生の今、練習問題
第十二回(7月1日)　第六課:港町天津　単語、文法説明、本文講読
第十三回(7月8日)　第六課:港町天津　一年生の今、練習問題
第十四回(7月15日)学力　考査および解説
第十五回(日程別途指示)授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂・陳祖蓓『北京コレクション　初級ー中級編』(朝日出版社)

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容)
平常点(積極的な発言と質問を高く評価する)
定期試験(小テストと口頭試験も参考)

備考　辞書必携。
予習必要。

中国語の既修者、あるいは中国語圏での留学経験者等のクラス。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IA　前期水4渋谷		
科目キー	2800141015		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　初級中国語文法の総復習と、実践的な日常会話練習を行う。

具体的な到達目標は以下の通り

1　自分の日常生活について中国語で言えるようになる。

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

2　初級文法を正しく理解して、正確な中国語の文章が書けるようになる

3　前期・後期の授業を通じて中国語検定3級、4級の合格をめざす。

シラバス　中文課本とオリジナルプリントを併用して以下の内容を学習する

第1回　（4月8日）　オリエンテーション（実力チェック）

第2回　（4月16日）　総合演習1の解説、中国語で学校を紹介しよう（第6課）

第3回　（4月22日）　家庭状況についての表現（第7課）

第4回　（4月29日）　一日の生活を述べてみよう（第8課）

第5回　（5月13日）　総復習（練習問題＋会話練習）

第6回　（5月20日）　キャンパス生活を述べてみよう（第9課）

第7回　（5月27日）　動作の時間・回数と目的語、前置詞のまとめ、会話練習

第8回　（6月3日）　昨日のことを述べてみよう。完了の了と変化の了（第10課）

第9回　（6月10日）　完了表現の会話・作文練習、総合演習2

第10回（6月17日）　様態補語“得”を使いこなそう（第11課）

第11回（6月24日）　初対面の中国人に話しかける時（第12課）

第12回（7月1日）　総復習

第13回（7月8日）　会話テスト

第14回（7月15日）　学力考査および解説

第15回（7月22日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　竹島金吾著『中文課本　基礎編　改訂新版』金星堂

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う会話・筆記テストの成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回授業始めに出席代わりに小テストを実施するので、

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IA　前期水４渋谷		
科目キー	2800141015		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上

毎回必ず授業に出席して下さい。遅刻厳禁。

ヒアリングや会話練習を徹底的に行う予定なので、中国語が話せるようになりたい、

中国語検定を受けてみたいと希望する学生の履修を希望します。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IA　前期木4石田		
科目キー	2800141015		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　中国語でコミュニケーションできるよう、聞く話すに重点をおいて授業する。1年次に学習したなじみのある文型、単語をしっかり確認した上で、それらを発展させつつ、音で意味が理解でき、的確な発話、質疑応答ができるように訓練する。但し、音で意味を理解するその基礎には、しっかりとした文法の裏づけが必要であることは言うまでもない。こちらも授業でしっかり確認する。前期は教科書の第11課までを目標に進める。意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

シラバス
第1回　オリエンテーション　発音復習:子音　母音　変則綴りの確認　声調の変化
第2回　第一単元で使う単語の先取り学習
第3回　名前・紹介
第4回　時刻の表現
第5回　年月日　年齢
第6回　値段
第7回　第一単元のまとめ
第8回　第二単元で使う単語の先取り学習
第9回　何があるか
第10回　どこにあるか
第11回　何がすきですか
第12回　何時間ですか
第13回　第二単元のまとめ
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書　音で覚える中国語会話特訓　同学社　楊達　石田知子他

参考文献

評価方法　出席　授業参加態度　授業時小テスト　学期末試験などを総合して評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IB　前期月３李		
科目キー	2800141016		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	３時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	李　洵		

副題　中国語検定試験３級一一筆記

授業概要　日本中国語検定協会が主催する中国語検定試験（以下「中検」と略す）は、学習者の中国語力を判断する客観的、かつ信頼のおける資格試験です。この授業は、中検試験の３級レベル（*）の実力を身につけることを目指します。

授業では筆記」を中心に過去問を解きながら、３級合格に必要な文法事項を学びます。

*中検３級のレベル
基本的な文書を読み、書くことができること;簡単な日常会話ができること。
学習時間に換算すると、200―300時間。
一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。

シラバス
第１回　オリエンテーション
第２回　助詞；　連動文、兼語文
第３回　前置詞；　処置文、受身文
第４回　量詞；　比較文
第５回　過去問題1
第６回　過去問題2
第７回　過去問題3
第８回　副詞;時量の表現
第９回　補語;存現文
第１０回　助動詞
第１１回　関連詞
第１２回　過去問題4
第１３回　過去問題5
第１４回　学力考察および解説
第１５回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献　洪潔清・陳敏著『中国語検定３級一ヶ月でできる総仕上げ』白帝社
柴森著『中国語検定３級頻出問題集』高橋書店

評価方法　小テスト
期末試験
中国語検定試験３級合格

備考　欠席４回以上は、不合格とする。
前期と後期、あわせて受講することを奨励。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IB　前期木2和		
科目キー	2800141016		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　中国と日本の留学生のこと、日本人と中国人の生活習慣、成語、歌などを題材として、大量の副教材やビデオ教材も使いながら会話の練習をする。個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本文型の定着と応用能力の向上を目指す。朗読と聞き取りも重視する。テキスト各1課につき授業2回の予定。副教材としては、出席者の状況を見ながら、テキストの本文と関連する新聞・雑誌の文章、テレビの最新ニュースなどを使う。

シラバス

1．はじめに　初級の総復習
2．中国語を選択　　因果関係や逆接関係を表す接続詞、呼応する副詞
3．会話と練習問題
4．自己紹介　　条件関係を表す接続詞、列挙を表す助詞、「免得」「好不容易」「除了」等
5．会話と練習問題
6．中国人留学生　　累加関係を表す接続詞、目的を表す前置詞、「不必」「不能不」「只有」等
7．会話と練習問題
8．梅雨の時節　　呼応する副詞
9．会話と練習問題
10．アルバイト　　各種の接続詞や副詞
11．会話と練習問題
12．短期留学　　使役、前置詞、「之后」、成語
13．会話と練習問題
14．総合復習
15．まとめ　テスト

教科書　范建明など『中国語のデイリーライフ』、朝日出版社
副教材はプリント配布

参考文献

評価方法　学期末テストと時折の小テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IB　前期金２王		
科目キー	2800141016		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	王　元		

副題

授業概要

授業の目的は中国語の中級段階の修得なので，それに向かって，毎回の授業の終りにまとめをしていく。
例文の練習問題を中心とする。中国語会話に有用な口語的表現や慣用的表現を習得するため，短文の中文和訳を中心とする。
中国の歴史・地理と中国人の生活文化を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。
必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。
教室ではビデオの使用によって，出来るだけ中国語の原体験を多くする。又これによって動機づけを強化したい。
学生の自発的な参加が中心になる。

シラバス

第１回　オリェンテーション
第２回　第1課
第３回　第1課
第４回　第2課
第５回　第2課
第６回　第3課
第7回　第3課
第8回　第1-3課のまとめ、中間試験
第9回　中間試験
第10回　第4課
第11回　第4課
第12回　第5課
第13回　第5課
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

■到達目標
(1)中級前期のレベルを対象として，学習者が，日常会話ができるようにする。
(2)文法事項や語彙は一応理解しているものの，それらを使って文を作ることを不得手としている学生が多いと言われている。本コースでは苦手を克服して，日常の様々なことを中国語で表現出来るようになることを目的とする。

教科書

銭春蘭・兵頭和美・王元『世界遺産で学ぶ中国語』白帝社　1,800円

参考文献

王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法

定期試験40%
実技・作品等%
日常点（小テスト・課題等）30%
その他20%出席回数

評価方法ABC

備考

■履修上のアドバイス
(1)継続学習することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。CD教材も必要に応じて使用する。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)練習問題は基本動詞を基礎とした具体的なものから発展的に並べられているので，自発的なドリルが大きな進歩をとげる助けとなる。
(4)選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
外国語で，その国の文化や人間を学習していることを忘れないようにしよう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IB　前期金２王		
科目キー	2800141016		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IB　前期金5陳		
科目キー	2800141016		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　初級で覚えた中国語をステップアップさせ、応用力をつけると同時に、コトバの奥にある「中国人のこころ」にも触れてみる。教科書は全6ユニット、各ユニットは「会話・閲読・実力チェック」という構成になっており、前期はユニット3まで進む予定。授業は聞く・話す・読む・書くという総合的なトレーニングを行うので、意欲ある受講生を望む。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回会話1「ようこそ」
第　4回閲読1『私は誰ですか』＋実力チェック
第　5回会話2「北京は初めてですか」
第　6回閲読2『中国人の名前』＋実力チェック
第　7回会話3「スポーツ」
第　8回閲読3『卓球』＋実力チェック
第　9回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回会話4「娯楽」
第11回閲読4『オリンピックとマラソン』＋実力チェック
第12回会話5「旅行」
第13回閲読5『江南の水郷――烏鎮』＋実力チェック
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書　『中国語キャンパス――中級・実用編』
関中研＝共著（朝日出版社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIA　後期火5永冨		
科目キー	2800141017		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　前期に引き続き、下記テキストを学習する。教科書も後半となり、内容もより深みをもったものへと進んでいく。学習者の積極的な参加を期待する。

シラバス

第1回　オリエンテーション
第2回　前置詞「給」と「跟」
第3回　値段の交渉
第4回　中華料理について
第5回　自由市場
第6回　たずねる(2)
第7回　前半のまとめ
第8回　バレンタイン
第9回　さまざまな職業
第10回　色に対する感覚
第11回　先生との再会
第12回　つなげることば
第13回　総まとめ
第14回　学力考査および解説
第15回 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社)2200円
(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIA　後期水2熊		
科目キー	2800141017		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題　北京コレクション 初級−中級編

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得する。
テキストと視聴覚教材を使用する。
テキストに沿って、ビデオ資料を中心に中国語の発音、聞き取り、日常会話、中国語の日本語訳、簡単な作文、口頭発表の練習を行う。
中国の文化と社会に関連する映像資料も使用する。
また最新の流行語や中国事情をも紹介する。

シラバス
第一回（9月30日） 2008年北京オリンピック映像資料と関連の単語練習
第二回（10月7日） 第七課：古董ブーム　単語、文法説明、本文講読
第三回（10月14日） 第七課：古董ブーム　一年生の今、練習問題
第四回（10月28日） 第八課：北京の職人　単語、文法説明、本文講読
第五回（11月4日） 第八課：北京の職人　一年生の今、練習問題
第六回（11月11日） 第九課：北京の郊外　単語、文法説明、本文講読
第七回（11月18日） 第九課：北京の郊外　一年生の今、練習問題
第八回（11月25日） 第十課：中国の飲食文化　単語、文法説明、本文講読
第九回（12月3日） 第十課：中国の飲食文化　一年生の今、練習問題
第十回（12月9日） 第十一課：未来の京劇スターの夢　単語、文法説明、本文講読
第十一回（12月16日） 第十一課：未来の京劇スターの夢　一年生の今、練習問題
第十二回（1月6日） 第十二課：オリンピックと胡同　単語、文法説明、本文講読
第十三回（1月13日） 第十二課：オリンピックと胡同　一年生の今、練習問題
第十四回（1月20日） 学力考査および解説
第十五回（日程別途指示）授業理解の確認を行なう。確認方法は授業中に指示する。

教科書　相原茂・陳祖蓓『北京コレクション 初級−中級編』（朝日出版社）

参考文献

評価方法　出席（無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容）
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストと口頭試験も参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

中国語の既修者、あるいは中国語圏での留学経験者等のクラス。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIA　後期木4石田		
科目キー	2800141017		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　中国語でコミュニケーションできるよう、聞く話すに重点をおいて授業する。1年次に習ったなじみのある文型、単語をしっかり確認した上で、それらを発展させつつ、音で意味が理解でき、的確な発話、質疑応答ができるように訓練する。但し、音で意味を理解するその基礎には、しっかりとした文法の裏づけが必要であることは言うまでもない。こちらも授業で確認する。後期は教科書の第12課以降を行う。
前期、本講義を履修していなくてもなんら差し支えない。意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

シラバス
第1回　オリエンテーション　発音復習:子音　母音　変則綴りの確認　声調の変化
第2回　第一、第二単元の復習・確認
第3回　第三単元で使う単語の先取り学習
第4回　前置詞「給」 誰に買ってあげますか
第5回　前置詞「在」 どこで勉強しますか
第6回　受身　何が盗まれましたか
第7回　進行　なにをしていますか
第8回　第三単元のまとめ
第9回　第四単元で使う単語の先取り学習
第10回　経験　見たことがありますか
第11回　可能　タバコを吸ってもいいですか
第12回　比較　これより安いですか
第13回　第四単元のまとめ
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う　確認方法は授業中に指示する。

教科書　音で覚える中国語会話特訓　同学社　楊達　石田知子ほか

参考文献

評価方法　出席　授業参加態度　期末試験　小テストなどを総合して評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIA　後期水4渋谷		
科目キー	2800141017		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期に続き、『中文課本』を用いて中国語文法の総復習と、実用的な会話練習を行う。

具体的な到達目標は以下の通り

1　自分の日常生活について中国語で言えるようになる。

（テキストの本文は全て聞いてわかるようにして、その応用会話ができるようになる、）

2　初級文法を正しく理解して、正確な中国語の文章が書けるようになる

3　前期・後期の授業を通じて中国語検定3級、4級の合格をめざす。

後期では中国語検定の過去問題を実際に解いてみて、各自の中国語レベルや弱点を

総点検する予定。

その他ビデオやオリジナル教材を用いて、履修生の中国語レベルや興味に合

った楽しい授業を行いたいと思っています。

シラバス　中文課本とオリジナルプリントを併用して以下の内容を学習する

第1回 （ 9月30日） オリエンテーション（実力チェック）

第2回 （10月 7日） 中国人の家を訪問する時の表現（第13課）

第3回 （10月14日） 自分の特技を述べる時の表現（第14課）

第4回 （10月28日） 復習（練習問題＋会話練習） 中国語検定過去問題（1）

第5回 （11月 4日） レストランでの実用会話（第15課）

第6回 （11月 11日） 復習（助動詞と前置詞の総復習＋会話練習） 総合演習3

第7回 （11月18日） 比較の表現を使いこなそう（第16課）

第8回 （11月25日） 旅行について述べてみよう。（第17課）

第9回 （12月 2日） 復習（練習問題＋会話練習） 中国語検定過去問題（2）

第10回（12月 9日） 身体や病気に関する表現（第18課）

第11回（12月16日） 中国の故事を読んでみる（第19課）

第12回（ 1月 6日） 総復習（20課）

第13回（ 1月13日） 会話テスト

第14回（ 1月20日） 学力考査および解説

第15回（7月22日） 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する

教科書　竹島金吾著『中文課本　基礎編　改訂新版』金星堂

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIA　後期水４渋谷		
科目キー	2800141017		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行う会話・筆記テストの成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましいが、後期のみの受講も可能です。

その場合は、１０月中旬までに中文課本の５課から１２課までの内容に目を通して

文法的に未習の分野がないか確認して下さい（分からなかったら質問に来ること）

本文のヒアリングテストを毎回行いますので授業の復習は不可欠です。

真面目に勉強すればかなり力がつくテキストなので、中国語が話せるようになりたい、

在学中に是非中国に行って中国人とコミュニケーションをしてみたい、中国語検定試験

に挑戦したいというやる気のある学生の履修を歓迎します！

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIB　後期月3李		
科目キー	2800141018		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	李　洵		

副題　中国語検定試験3級ーーリスニング

授業概要　日本中国語検定協会が主催する中国語検定試験（以下「中検」と略す）は、学習者の中国語力を判断する客観的、かつ信頼のおける資格試験です。この授業は、中検試験の3級レベル（*）の実力を身につけることを目指します。

授業は演習の形で進めます。
教室　63号館3階端末室Gルーム

*中検3級のレベル
基本的な文書を読み、書くことができること;簡単な日常会話ができること。
学習時間に換算すると、200ー300時間。
一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。

シラバス
第1回　オリエンテーション　*教室* →　63号館3階端末室Gルーム
第2回　時間の量
第3回　時間
第4回　動作1
第5回　動作2
第6回　数量
第7回　場所
第8回　提案、意見
第9回　事実確認
第10回　自己紹介
第11回　ある一日
第12回　日記、思い出
第13回　総合
第14回　学力考察および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献　洪潔清・陳敏著『中国語検定3級一ヶ月でできる総仕上げ』白帝社
柴森著『中国語検定3級頻出問題集』高橋書店

評価方法　小テスト
期末試験
中国語検定試験3級合格

備考　欠席4回以上は、不合格とする。
前期と後期、あわせて受講することを奨励。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIB　後期木2和		
科目キー	2800141018		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　中国と日本の留学生のこと、日本人と中国人の生活習慣、成語、歌などを題材として、大量の副教材やビデオ教材も使いながら会話の練習をする。個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本文型の定着と応用能力の向上を目指す。朗読と聞き取りも重視する。テキスト各1課につき授業2回の予定。副教材としては、出席者の状況を見ながら、テキストの本文と関連する新聞・雑誌の文章、テレビの最新ニュースやドラマなどを使う。

シラバス

1．はじめに　復習
2．先生への手紙　　原因や理由を表す前置詞、仮定関係を表す接続詞
3．会話と練習問題
4．餃子作り　　各種の副詞や接続詞の用法
5．会話と練習問題
6．李強さんの話　　複合方向補語の抽象的用法
7．会話と練習問題
8．富士山　　感嘆文、各種の副詞
9．会話と練習問題
10．七言絶句
11．成語の話（1）
12．成語の話（2）
13．「海よ、ふるさと」「草原情歌」
14．総合復習
15．まとめ　テスト

教科書　范建明など『中国語のデイリーライフ』、朝日出版社

参考文献

評価方法　学期末テストと時折の小テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIB　後期金2王		
科目キー	2800141018		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　授業の目的は中国語の中級段階の修得なので，それに向かって，毎回の授業の終りにまとめをしていく。
例文の練習問題を中心とする。中国語会話に有用な口語的表現や慣用的表現を習得するため，短文の中文和訳を中心とする。
中国の歴史・地理と中国人の生活文化を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。
必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。
教室ではビデオの使用によって，出来るだけ中国語の原体験を多くする。又これによって動機づけを強化したい。
学生の自発的な参加が中心になる。

シラバス
第1回　オリェンテーション
第2回　第6課
第3回　第6課
第4回　第7課
第5回　第7課
第6回　第8課
第7回　第8課
第8回　第6-8課のまとめ、中間試験
第9回　第9課
第10回　第9課
第11回　第l0課
第12回　第11課
第13回　第12課
第14回　学力考査および解説
第15回　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

■到達目標
(1)口語的な中国語表現力の向上中級後期のレベルを対象として，前期の復習をしながら，日常会話の能力向上を目指す。
(2)中国文化（中国の歴史と中国人の生活習慣など）に興味を持てるようにし，中級終了後も中国語学習に取り組んでいけるようにする。
(3)また方針として学習した実力判定の基準となる中国語検定試験3級取得に挑戦したい。

教科書　銭春蘭・兵頭和美・王元『世界遺産で学ぶ中国語』白帝社　1,800円

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法
定期試験40%
実技・作品等%
日常点（小テスト・課題等）30%
その他20%出席回数

評価方法ABC

備考　■履修上のアドバイス
(1)継続学習することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)練習問題は基本動詞を基礎とした具体的なものから発展的に並べられているので，自発的なドリルが大きな進歩をとげる助けとなる。
(4)選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
外国語で，その国の文化や人間を学習していることを忘れないようにしよう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIB　後期金2王		
科目キー	2800141018		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	中国語中級IIB　後期金5陳		
科目キー	2800141018		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　初級で覚えた中国語をステップアップさせ、応用力をつけると同時に、コトバの奥にある「中国人のこころ」にも触れてみる。教科書は全6ユニット、各ユニットは「会話・閲読・実力チェック」という構成になっており、後期はユニット4から始まる。授業は聞く・話す・読む・書くという総合的なトレーニングを行うので、意欲ある受講生を望む。

シラバス
第　1回オリエンテーション
第　2回発音チェック・導入
第　3回会話6「日常」
第　4回閲読6『盲導犬』＋実力チェック
第　5回会話7「集まり」
第　6回閲読7『四文字成語の話』＋実力チェック
第　7回コースナビにて学習した内容の点検と確認
第　8回会話8「中国語の入力」
第　9回閲読8『“五筆型”入力法』＋実力チェック
第10回会話9「中国語を話す」
第11回閲読9『“普通語”と方言』＋実力チェック
第12回会話10「消費」
第13回閲読10『ファッション』＋実力チェック
第14回学力考査および解説
第15回授業理解の確認を行う

教科書
『中国語キャンパス――中級・実用編』
関中研＝共著（朝日出版社）

参考文献

評価方法　平常点（出席状況・授業態度）＋定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期月2佐藤		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。まず、発音・基礎単語をしっかり覚えることから始め、形容詞・動詞の活用へと入っていきます。動詞は直説法・現在の規則動詞と一部の不規則動詞を中心に学習します。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　スペイン語とは？
第三回　アルファベット
第四回　スペイン語の発音と読み方
第五回　挨拶と基本単語
第六回　数字と感嘆文
第七回　名詞の性と数
第八回　定冠詞と不定冠詞
第九回　形容詞
第十回　不定詞と主格人称代名詞
第十一回　直説法現在の規則動詞
第十二回　直説法現在の不規則動詞(1)
第十三回　所有形容詞完全形
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期月４北田		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要　四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文法を学びましょう。文法の学習から始めますが、個々の事項のみを取り上げて覚えるのでなく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。また実際使ってみます。
時間が許せば、スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考えています。

予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。

シラバス

第一回:授業の進め方
　　スペイン語について:　発音
第二回:発音　アクセント　単語、短文の読み
第三回:人称代名詞　動詞(1)　疑問文(1)
第四回:名詞の性と数
第五回:形容詞と名詞の一致(1)
第六回:動詞(2)　形容詞の一致(2)
第七回:指示詞
第八回:所有形容詞
第九回:これまでのまとめ
第十回:動詞(3)　数字(1)
第十一回:動詞(4)　前置詞　数字(2)
第十二回:動詞(5)　形容詞(2)　順序数
第十三回:動詞(6)　不定代名詞　不定形容詞
第十四回:予備日
第十五回:試験

受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著 「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　辞書等に関しては、最初の授業時にお話しします。

評価方法　前期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期月5北田		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要　四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文法を学びましょう。文法の学習から始めますが、個々の事項のみを取り上げて覚えるのでなく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。また実際に使ってみます。
　時間が許せば、スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考えています。

予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。

シラバス

第一回:授業の進め方
　　スペイン語について:　発音
第二回:発音　アクセント　単語、短文の読み
第三回:人称代名詞　動詞(1)　疑問文(1)
第四回:名詞の性と数
第五回:形容詞と名詞の一致(1)
第六回:動詞(2)　形容詞の一致(2)
第七回:指示詞
第八回:所有形容詞
第九回:これまでのまとめ
第十回:動詞(3)　数字(1)
第十一回:動詞(4)　前置詞　数字(2)
第十二回:動詞(5)　形容詞(2)　順序数
第十三回:動詞(6)　不定代名詞　不定形容詞
第十四回:予備日
第十五回:試験

教科書　石崎、レイ著 「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　辞書等に関しては、最初の授業時にお話しします。

評価方法　前期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期火5北田		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文法を学びましょう。文法の学習から始めますが、個々の事項のみを取り上げて覚えるのでなく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。また実際に使ってみます。
時間が許せば、スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考えています。
予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。

シラバス

第一回:授業の進め方
　　スペイン語について:　発音
第二回:発音　アクセント　単語、短文の読み
第三回:人称代名詞　動詞(1)　疑問文(1)
第四回:名詞の性と数
第五回:形容詞と名詞の一致(1)
第六回:動詞(2)　形容詞の一致(2)
第七回:指示詞
第八回:所有形容詞
第九回:これまでのまとめ
第十回:動詞(3)　数字(1)
第十一回:動詞(4)　前置詞　数字(2)
第十二回:動詞(5)　形容詞(2)　順序数
第十三回:動詞(6)　不定代名詞　不定形容詞
第十四回:予備日
第十五回:試験

受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著 「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　辞書等に関しては、最初の授業時にお話しします。

評価方法　前期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期水2澤井		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	澤井　芳江		

副題

授業概要　スペイン語の初級文法を学習し、練習問題や本文の読解を通して定着させ、簡単な会話ができる程度の日常的表現を習得します。
また、スペイン語の学習を通して、スペインや中南米の人々の生活と文化を垣間見たいと思います。
授業の進め方：前週に文法事項を説明した後、各自で練習問題を解き本文の予習をして、次週に解答および講読をし、あわせて会話の練習も行います。 また適宜プリントも配布します。

シラバス
（1）授業の概略・発音
（2）L1発音と綴り
（3）L2名詞、冠詞
（4）
（5）L3人称代名詞、直説法現在（ser,estar）
（6）
（7）L4形容詞、直説法現在(規則動詞)
（8）
（9）L5直説法現在(不規則動詞1)
（10）
（11）L6直説法現在(不規則動詞2)、所有形容詞
（12）
（13）L7目的格人称代名詞
（14）
（15）学期末試験（授業内）

教科書　『新スペイン語ゼミナール』:西川　喬　著（第三書房）

参考文献

評価方法　予習の状況、課題（練習問題など）、小テスト、学期末試験、授業への取組み方等、総合的に評価します。 さらに、外国語の習得という授業の性格から、出席も重視します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期水3澤井		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	澤井　芳江		

副題

授業概要　スペイン語の初級文法を学習し、練習問題や本文の読解を通して定着させ、簡単な会話ができる程度の日常的表現を習得します。
また、スペイン語の学習を通して、スペインや中南米の人々の生活と文化を垣間見たいと思います。
授業の進め方：前週に文法事項を説明した後、各自で練習問題を解き本文の予習をして、次週に解答および講読をし、あわせて会話の練習も行います。 また適宜プリントも配布します。

シラバス
（1）授業の概略・発音
（2）L1発音と綴り
（3）L2名詞、冠詞
（4）
（5）L3人称代名詞、直説法現在（ser,estar）
（6）
（7）L4形容詞、直説法現在(規則動詞)
（8）
（9）L5直説法現在(不規則動詞1)
（10）
（11）L6直説法現在(不規則動詞2)、所有形容詞
（12）
（13）L7目的格人称代名詞
（14）
（15）学期末試験（授業内）

教科書　『新スペイン語ゼミナール』：西川　喬　著（第三書房）

参考文献

評価方法　予習の状況、課題（練習問題など）、小テスト、学期末試験、授業への取組み方等、総合的に評価します。 さらに、外国語の習得という授業の性格から、出席も重視します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期木2佐藤		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。まず、発音、基礎単語をしっかり覚えることから始め、形容詞、動詞の活用へと入っていきます。動詞は直説法現在の規則動詞と一部の不規則動詞を中心に学習します。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　スペイン語とは？
第三回　アルファベット
第四回　スペイン語の発音と読み方
第五回　挨拶と基本単語
第六回　数字と感嘆文
第七回　名詞の性と数
第八回　定冠詞と不定冠詞
第九回　形容詞
第十回　不定詞と主格人称代名詞
第十一回　直説法現在の規則動詞
第十二回　直説法現在の不規則動詞（1）
第十三回　所有形容詞・完全形
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期木4浜田		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、文を組み立てるための基本的な文法知識を習得することと、これを活用して身近な場面で簡単な構造の文を作ったり読み取ったりできるようになることです。
授業では、文法説明の後、動詞を中心とした文法練習をします。その後、作文や読解（会話文）などへ進みます。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語について、発音
第　2回　第1課（発音）
第　3回　第1課、第2課（名詞、冠詞）
第　4回　第2課、第3課（動詞SER）
第　5回　第3課（SER、文の形、形容詞）
第　6回　第3課、第4課（動詞ESTAR）
第　7回　第4課
第　8回　第4課、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第5課（-ar動詞の現在形規則活用）
第10回　第5課
第11回　第5課、第6課（-er、-ir動詞の現在形規則活用）
第12回　第6課
第13回　第6課、第1から6課の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Plaza Mayor I（プラサ・マヨールI　ソフト版）』青砥清一、他（朝日出版社、1900円）CD付

参考文献　辞　書:『現代スペイン語辞典』（白水社）、『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（1回目の授業で辞書の紹介を行います）

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。
1回目の授業で、スペイン語の特徴、教科書、辞書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　後期水4澤井		
科目キー	2800151001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	澤井　芳江		

副題

授業概要　スペイン語の初級文法を学習し、練習問題や本文の読解を通して定着させ、簡単な会話ができる程度の日常的表現を習得します。
また、スペイン語の学習を通して、スペインや中南米の人々の生活と文化を垣間見たいと思います。
授業の進め方：前週に文法事項を説明した後、各自で練習問題を解き本文の予習をして、次週に解答および講読をし、あわせて会話の練習も行います。 また適宜プリントも配布します。

シラバス
（1）授業の概略・発音
（2）L1発音と綴り
（3）L2名詞、冠詞
（4）
（5）L3人称代名詞、直説法現在（ser,estar）
（6）
（7）L4形容詞、直説法現在(規則動詞)
（8）
（9）L5直説法現在(不規則動詞1)
（10）
（11）L6直説法現在(不規則動詞2)、所有形容詞
（12）
（13）L7目的格人称代名詞
（14）
（15）学期末試験（授業内）

教科書　『新スペイン語ゼミナール』:西川　喬　著（第三書房）

参考文献

評価方法　予習の状況、課題（練習問題など）、小テスト、学期末試験、授業への取組み方等、総合的に評価します。 さらに、外国語の習得という授業の性格から、出席も重視します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期月２浜田		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞（現在形のみ）を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語について、挨拶言葉と発音
第　2回　発音
第　3回　発音、第1課（名詞）
第　4回　第1課、第2課（冠詞など）
第　5回　第2課、第3課（動詞SER）
第　6回　第3課、第4課（動詞ESTAR）
第　7回　第4課、第5課（形容詞など）
第　8回　第5課、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第6課（-ar動詞の現在形規則活用）
第10回　第6課
第11回　第6課、第7課（-er、-ir動詞の現在形規則活用）
第12回　第7課
第13回　第7課、今学期の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献　辞　書:『現代スペイン語辞典』（白水社）、『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（1回目の授業で辞書の紹介を行います）

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。
1回目の授業で、スペイン語の特徴、教科書、辞書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期月３浜田		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞（現在形のみ）を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語について、挨拶言葉と発音
第　2回　発音
第　3回　発音、第1課（名詞）
第　4回　第1課、第2課（冠詞など）
第　5回　第2課、第3課（動詞SER）
第　6回　第3課、第4課（動詞ESTAR）
第　7回　第4課、第5課（形容詞など）
第　8回　第5課、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第6課（-ar動詞の現在形規則活用）
第10回　第6課
第11回　第6課、第7課（-er、-ir動詞の現在形規則活用）
第12回　第7課
第13回　第7課、今学期の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献　辞　書:『現代スペイン語辞典』（白水社）、『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（1回目の授業で辞書の紹介を行います）

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。
1回目の授業で、スペイン語の特徴、教科書、辞書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期月４浜田		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞（現在形のみ）を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語について、挨拶言葉と発音
第　2回　発音
第　3回　発音、第1課（名詞）
第　4回　第1課、第2課（冠詞など）
第　5回　第2課、第3課（動詞SER）
第　6回　第3課、第4課（動詞ESTAR）
第　7回　第4課、第5課（形容詞など）
第　8回　第5課、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第6課（-ar動詞の現在形規則活用）
第10回　第6課
第11回　第6課、第7課（-er、-ir動詞の現在形規則活用）
第12回　第7課
第13回　第7課、今学期の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献　辞　書:『現代スペイン語辞典』（白水社）、『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（1回目の授業で辞書の紹介を行います）

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。
1回目の授業で、スペイン語の特徴、教科書、辞書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期月５瓜谷		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	瓜谷　アウロラ		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期木1佐藤		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　簡単な旅行会話を中心にして、耳からスペイン語を習得することを目標にします。イメージの中で一人旅をしてみましょう。教科書にそって、簡単に文法事項も説明します。

シラバス

第一回　オリエンテーション
第二回　アルファベット
第三回　スペイン語の発音と読み方
第四回　第一課の「挨拶と基本単語」
第五回　第一課の「自己紹介」
第六回　第二課「入国審査」の本文の解説
第七回　第二課の重要表現と練習
第八回　第三課「税関で」の本文の解説
第九回　第三課の重要表現と練習
第十回　第四課「空港の観光案内所で」の本文の解説
第十一回　第四課の重要表現と練習
第十二回　第五課「空港の銀行で」の本文の解説
第十三回　第五課の重要表現と練習
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「楽しいスペイン旅行」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期木5浜田		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞（現在形のみ）を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語について、挨拶言葉と発音
第　2回　発音
第　3回　発音、第1課（名詞）
第　4回　第1課、第2課（冠詞など）
第　5回　第2課、第3課（動詞SER）
第　6回　第3課、第4課（動詞ESTAR）
第　7回　第4課、第5課（形容詞など）
第　8回　第5課、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第6課（-ar動詞の現在形規則活用）
第10回　第6課
第11回　第6課、第7課（-er、-ir動詞の現在形規則活用）
第12回　第7課
第13回　第7課、今学期の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献　辞　書:『現代スペイン語辞典』（白水社）、『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（1回目の授業で辞書の紹介を行います）

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。
1回目の授業で、スペイン語の特徴、教科書、辞書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期金4ガルシア		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　学生が、スペイン語の文章、会話に慣れ親しむことを目標とします。
所定のテキストに沿いながら、文法、会話、作文といった学習を進め、同時に正確な発音やイントネーションにも気を付けます。
また、スペインやラテンアメリカ諸国の生活、文化、習慣について様々な知識が得られるよう、適宜その説明やコメントも加えていきます。

シラバス
1　オリエンテーション
2　アルファベット　発音　アクセント
3　名詞　冠詞　性数
4　主語の人称代名詞　数字
5　“Ser”動詞　“Estar”動詞
6　直説法現在形（規則動詞）
7　国籍　出身
8　基礎会話練習
9　直説法現在形（不規則動詞）
10　時間の表現　数字
11　目的語人称代名詞
12　“Gustar”動詞等
13　指示形容詞・代名詞　所有形容詞・代名詞
14　比較級　最上級
15　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico （動く！スペイン語）朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験　・　平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期金5ガルシア		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　学生が、スペイン語の文章、会話に慣れ親しむことを目標とします。
所定のテキストに沿いながら、文法、会話、作文といった学習を進め、同時に正確な発音やイントネーションにも気を付けます。
また、スペインやラテンアメリカ諸国の生活、文化、習慣について様々な知識が得られるよう、適宜その説明やコメントも加えていきます。

シラバス
1　オリエンテーション
2　アルファベット　発音　アクセント
3　名詞　冠詞　性数
4　主語の人称代名詞　数字
5　“Ser”動詞　“Estar”動詞
6　直説法現在形（規則動詞）
7　国籍　出身
8　基礎会話練習
9　直説法現在形（不規則動詞）
10　時間の表現　数字
11　目的語人称代名詞
12　“Gustar”動詞等
13　指示形容詞・代名詞　所有形容詞・代名詞
14　比較級　最上級
15　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico （動く！スペイン語）朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験　・　平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　後期月６瓜谷		
科目キー	2800151002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	瓜谷　アウロラ		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期月2佐藤		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。直説法・現在の不規則動詞・点過去・線過去・未来形・過去未来形・完了形を中心に学習します。

シラバス

第一回　目的格人称代名詞
第二回　直説法現在の不規則動詞（2）
第三回　gustar型の動詞
第四回　語根母音変化動詞
第五回　比較表現
第六回　再帰動詞
第七回　受動態
第八回　点過去の規則動詞
第九回　点過去の不規則動詞
第十回　線過去
第十一回　進行形
第十二回　直説法未来
第十三回　直説法過去未来
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期月４北田		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文　法を学びましょう。文法の学習から始めますが、個々の事項のみを取り上げて覚えるのでなく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。また実際に使ってみます。
スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考えています。
予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。
後期から出席され、前期の授業内容を学習されていない場合は、個別に対応します。

シラバス

第一回　前期の復習　(1)
第二回:前期の復習　(2)
第三回:動詞(7)　疑問詞　量と数
第四回:動詞(8)　時間の表現
第五回:動詞(9)人称代名詞の格による変化
第六回:動詞(10)
第七回:様々な動詞の活用
第八回:比較級　最上級
第九回:これまでのまとめ
第十回:動詞(11)　過去形の表現(1)
第十一回:動詞(12)　過去形の表現(2)
第十二回:動詞(13)　過去形の表現(3)
第十三回　:動詞(14)　未来形の表現
第十四回　:予備日
第一五回　:試験
受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著　「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　最初の授業時にお話しします。

評価方法　後期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期月５北田		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文法を学びましょう。前期に学んだ文法を続けて学習します。個々の事項のみを取り上げて覚えるのではなく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。また実際に使ってみます。
スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考えています。
予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂　きたいと思います。
必要があれば、後期から出席される方には個別に対応します。

シラバス

第一回　前期の復習　(1)
第二回:前期の復習　(2)
第三回:動詞(7)　疑問詞　量と数
第四回:動詞(8)　時間の表現
第五回:動詞(9)人称代名詞の格による変化
第六回:動詞(10)
第七回:様々な動詞の活用
第八回:比較級　最上級
第九回:これまでのまとめ
第十回:動詞(11)　過去形の表現(1)
第十一回:動詞(12)　過去形の表現(2)
第十二回:動詞(13)　過去形の表現(3)
第十三回　:動詞(14)　未来形の表現
第十四回　:予備日
第一五回　:試験

受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著　「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　最初の授業時にお話しします。

評価方法　後期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期火5北田		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要　四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文法を学びましょう。前期に学んだ文法を続けて学習します。個々の事項のみを取り上げて覚えるのではなく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。また実際に使ってみます。
スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考えています。
予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂　きたいと思います。
必要があれば、後期から出席される方には個別に対応します。

シラバス　シラバス(授業計画)
第一回　前期の復習 (1)
第二回:前期の復習 (2)
第三回:動詞(7)　疑問詞　量と数
第四回:動詞(8)　時間の表現
第五回:動詞(9)人称代名詞の格による変化
第六回:動詞(10)
第七回:様々な動詞の活用
第八回:比較級　最上級
第九回:これまでのまとめ
第十回:動詞(11)　過去形の表現(1)
第十一回:動詞(12)　過去形の表現(2)
第十二回:動詞(13)　過去形の表現(3)
第十三回 : 動詞(14)　未来形の表現
第十四回 :予備日
第一五回 : 試験

受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著 「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　最初の授業時にお話しします。

評価方法　後期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期水2澤井		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	澤井　芳江		

副題

授業概要　スペイン語の初級文法を学習し、練習問題や本文の読解を通して定着させ、簡単な会話ができる程度の日常的表現を習得します。
また、スペイン語の学習を通して、スペインや中南米の人々の生活と文化を垣間見たいと思います。
授業の進め方:前週に文法事項を説明した後、各自で練習問題を解き本文の予習をして、次週に解答および講読をし、あわせて会話の練習も行います。 また適宜プリントも配布します。

シラバス
(1)試験の解答・復習
(2)L8直説法現在(不規則動詞3)
(3)
(4)L9直説法現在(再帰動詞)
(5)
(6)L10過去分詞と直説法現在完了
(7)
(8)L11直説法点過去(規則活用)
(9)
(10)L12直説法点過去(不規則活用)
(11)
(12)L13直説法線過去
(13)
(14)総復習
(15)学期末試験(授業内)

教科書　『新スペイン語ゼミナール』:西川　喬　著(第三書房)

参考文献

評価方法　予習の状況、課題(練習問題など)、小テスト、学期末試験、授業への取組み方等、総合的に評価します。 さらに、外国語の習得という授業の性格から、出席も重視します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期水3澤井		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	澤井　芳江		

副題

授業概要　スペイン語の初級文法を学習し、練習問題や本文の読解を通して定着させ、簡単な会話ができる程度の日常的表現を習得します。
また、スペイン語の学習を通して、スペインや中南米の人々の生活と文化を垣間見たいと思います。
授業の進め方:前週に文法事項を説明した後、各自で練習問題を解き本文の予習をして、次週に解答および講読をし、あわせて会話の練習も行います。 また適宜プリントも配布します。

シラバス
(1)試験の解答・復習
(2)L8直説法現在(不規則動詞3)
(3)
(4)L9直説法現在(再帰動詞)
(5)
(6)L10過去分詞と直説法現在完了
(7)
(8)L11直説法点過去(規則活用)
(9)
(10)L12直説法点過去(不規則活用)
(11)
(12)L13直説法線過去
(13)
(14)総復習
(15)学期末試験(授業内)

教科書　『新スペイン語ゼミナール』:西川　喬　著(第三書房)

参考文献

評価方法　予習の状況、課題(練習問題など)、小テスト、学期末試験、授業への取組み方等、総合的に評価します。 さらに、外国語の習得という授業の性格から、出席も重視します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期木2佐藤		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。直説法・現在の不規則動詞・点過去・線過去・未来形・過去未来形・完了形を中心に学習します。

シラバス　指定した教科書に従って8課から14課まで進みます。テキストの例文を反復練習し、実際に使えるようになることを目標にします。各自が学習に目的意識を持って積極的に参加してください。

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期木4浜田		
科目キー	2800151003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、文を組み立てるための基本的な文法知識を習得することと、これを活用して身近な場面で簡単な構造の文を作ったり読み取ったりできるようになることです。
授業では、文法説明の後、動詞を中心とした文法練習をします。その後、作文や読解(会話文)などへ進みます。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、初級IAの復習
第　2回　第7課(目的格人称代名詞)
第　3回　第7課(gustar型動詞)
第　4回　第8課(語根母音変化動詞)
第　5回　第8課、第9課(一人称単数の現在形が不規則な動詞)
第　6回　第9課、第10課(再帰動詞)
第　7回　第10課、課題
第　8回　課題の答え合わせ、第11課(現在完了形)
第　9回　第11課、第12課(点過去)
第10回　第12課、第13課(点過去)
第11回　第13課、第14課(線過去)
第12回　第14課、第12から14課
第13回　第12から14課
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Plaza Mayor I (プラサ・マヨールI　ソフト版)』青砥清一、他(朝日出版社、1900円)CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点(課題・出席状況など)で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　1回目の授業で、教科書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期月2浜田		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語IBの復習
第　2回　第8課（現在形：一人称単数不規則動詞）
第　3回　第8課（直接目的格人称代名詞）
第　4回　第8課、第9課（現在形：語幹母音変化動詞）
第　5回　第9課、第10課（現在形：その他の不規則動詞）
第　6回　第10課、第11課（間接目的格人称代名詞）
第　7回　第11課（つづき、gustar型動詞）
第　8回　第12課（再帰動詞）、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第14課（点過去）
第10回　第14課
第11回　第14課、第15課（線過去）
第12回　第15課
第13回　第14・15課の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　1回目の授業で、教科書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IIA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期月3浜田		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語IBの復習
第　2回　第8課（現在形：一人称単数不規則動詞）
第　3回　第8課（直接目的格人称代名詞）
第　4回　第8課、第9課（現在形：語幹母音変化動詞）
第　5回　第9課、第10課（現在形：その他の不規則動詞）
第　6回　第10課、第11課（間接目的格人称代名詞）
第　7回　第11課（つづき、gustar型動詞）
第　8回　第12課（再帰動詞）、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第14課（点過去）
第10回　第14課
第11回　第14課、第15課（線過去）
第12回　第15課
第13回　第14・15課の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　1回目の授業で、教科書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IIA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期月５瓜谷		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	瓜谷　アウロラ		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期木1佐藤		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　簡単な旅行会話を中心にして、耳からスペイン語を習得することを目標にします。近い将来、スペイン旅行をするチャンスが訪れるかもしれません。イメージの中で一人旅をしてみましょう。
教科書に沿って、簡単にスペイン語の文法も解説します。

シラバス
第一回　第六課「空港からホテルへ」の本文の解説
第二回　第六課の重要表現と練習
第三回　第七課「チェックイン」の本文の解説
第四回　第七課の重要表現と練習
第五回　第八課「フロントに聞く（1）」の本文の解説
第六回　第八課の重要表現と練習
第七回　第九課「フロントに聞く（2）」の本文の解説
第八回　第九課の重要表現と練習
第九回　第十課「レストランで」の本文の解説
第十回　第十課の重要表現と練習
第十一回　第十一課「旅行代理店で」の本文の解説
第十二回　第十一課の重要表現と練習
第十三回　第十二課「グラナダのホテルで」の本文の解説
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「楽しいスペイン旅行」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期木3佐藤		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　簡単な旅行会話を中心にして、耳からスペイン語を習得することを目標にします。近い将来、スペインを旅行するチャンスが訪れるかもしれません。イメージの中で一人旅をしてみましょう。教科書にそって、簡単にスペイン語の文法も解説します。

シラバス

第一回　第六課「空港からホテルへ」の本文の解説
第二回　第六課の重要表現と練習
第三回　第七課「チェクイン」の本文の解説
第四回　第七課の重要表現と練習
第五回　第八課「フロントに聞く(1)」の本文の解説
第六回　第八課の重要表現と練習
第七回　第九課「フロントに聞く(2)」の本文の解説
第八回　第九課の重要表現と練習
第九回　第十課「レストランで」の本文の解説
第十回　第十課の重要表現と練習
第十一回　第十一課「旅行代理店で」の本文の解説
第十二回　第十一課の重要表現と練習
第十三回　第十二課「グラナダのホテルで」の本文の解説
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「楽しいスペイン旅行」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期木5浜田		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

シラバス　以下に記す予定は、授業の進み具合などによって変更になる場合があります。

第　1回　受講案内、スペイン語IBの復習
第　2回　第8課（現在形：一人称単数不規則動詞）
第　3回　第8課（直接目的格人称代名詞）
第　4回　第8課、第9課（現在形：語幹母音変化動詞）
第　5回　第9課、第10課（現在形：その他の不規則動詞）
第　6回　第10課、第11課（間接目的格人称代名詞）
第　7回　第11課（つづき、gustar型動詞）
第　8回　第12課（再帰動詞）、課題
第　9回　課題の答え合わせ、第14課（点過去）
第10回　第14課
第11回　第14課、第15課（線過去）
第12回　第15課
第13回　第14・15課の復習
第14回　期末教場試験
第15回　今学期のまとめ

教科書　『Unas　pinceladas del español　（スペイン語でスケッチ）』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。
3分の2以上の出席が最低限必要です。評価方法については、1回目の授業で詳しく説明します。

備考　1回目の授業で、教科書、授業の進め方、成績評価の仕方などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。なお、1回目の授業から出欠をとります。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IIA」も履修することを勧めます。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期金4ガルシア		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　前期からの継続の授業ということで、授業のレベルは多少高くなりますが、基本的な目標は前期と同様です。
最初は、既に前期で学習した事柄の中から、必要事項を復習します。その後は、新たな文法事項を学習し、さらにリスニング力、読解力や文章および口語による表現力を身に付けるための練習へと進んでいきます。

シラバス
1　前期復習
2　点過去形(規則動詞)
3　点過去形(不規則動詞)
4　前置詞　疑問詞　数字
5　線過去形
6　天気・気候の表現
7　現在分詞　現在進行形
8　過去形の表現方法(まとめ)
9　日付の表現　家族
10　過去分詞　現在完了形
11　受動文　無人称表現
12　再帰動詞　関係代名詞の"que"
13　日常習慣の表現
14　未来・予定の表現
15　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico(動く！スペイン語)朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験　・　平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期金5ガルシア		
科目キー	2800151004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　前期からの継続の授業ということで、授業のレベルは多少高くなりますが、基本的な目標は前期と同様です。
最初は、既に前期で学習した事柄の中から、必要事項を復習します。その後は、新たな文法事項を学習し、さらにリスニング力、読解力や文章および口語による表現力を身に付けるための練習へと進んでいきます。

シラバス
1　前期復習
2　点過去形(規則動詞)
3　点過去形(不規則動詞)
4　前置詞　疑問詞　数字
5　線過去形
6　天気・気候の表現
7　現在分詞　現在進行形
8　過去形の表現方法(まとめ)
9　日付の表現　家族
10　過去分詞　現在完了形
11　受動文　無人称表現
12　再帰動詞　関係代名詞の"que"
13　日常習慣の表現
14　未来・予定の表現
15　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico(動く！スペイン語)朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験　・　平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IA　前期水4ジンベルグ		
科目キー	2800151007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要

前期では、最初の5回でロシア語の発音と文字を学びます。
これは、このあとの学習にとってかならず必要なプロセスです。
このあと簡単なロシア語の構文と表現の学習をすすめていきます。
ロシア語は形態がとても大切な言語ですが、覚えてしまえば、
あとは使うことになじんでいくだけなので、難しさはさほどありません。
あいまいさをのこすことの少ない言語です。
そして、学習のどの段階であっても、すぐに使える表現が
学べます。

今後ロシアとの関係は発展が期待されています。
みなさんの活躍するどの場面でも、ロシア語は役に立つはずです。

シラバス

第一回　ロシア語の文字と発音。筆記体の練習。
第二回　ロシア語の文字と発音。筆記体の練習。
第三回　ロシア語の文字と発音。筆記体の練習。
第四回　ロシア語の文字と発音。筆記体の練習。
第五回　ロシア語の文字と発音。筆記体の練習。

第六回　教科書第一課。疑問文、肯定文、否定文の形。
第七回　練習とロシア語の文章によるトレーニング。
第八回　教科書第二課。所有代名詞。動詞の現在変化(1)。
第九回　副詞の使い方。ロシア語の文章を使ったトレーニング。
第十回　教科書第三課。動詞の現在変化(2)。
第十一回　動詞の命令形。ロシア語の文章を使ったトレーニング。
第十二回　教科書第四課。ロシア語の6つの格。前置格の形と用法。
第十三回　前置格練習。基本動詞の練習。ロシア語の文章を使ったトレーニング。
第十四回　教科書第五課。名詞の複数形主格。正書法の規則。形容詞の性と数。
第十五回　指示代名詞の性と数。所有代名詞の複数形。ロシア語の文章を使ったトレーニング。

授業実施に変更があった場合は、予定はそれにともない変更されることがあります。

教科書

『ロシア語教程?初級篇』(東京ロシア語学院発行)

参考文献

博友社『ロシア語辞典』

評価方法

評価は授業中に行うテストによって行います。
音読と書き取りが中心です。前者は音と文字の一致が
どれくらいできているか、後者は聞き取った文の意味をどの程度
把握できているかをみます。

備考

昨年は出席を評価の対象としましたが、出席が形式にとどまり、
学習意欲に欠ける学生が散見されました。
ロシア語に限らず、外国語の学習には持続する意志と意欲が不可欠です。

この点に留意して授業に参加してください。

関連URL:

東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp
パソコンでロシア語を使うとき

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IA　前期水4ジンベルグ		
科目キー	2800151007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IB　前期火４上野		
科目キー	2800151008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要　入門者を対象としたクラスです。アルファベットから始めて文法の基礎を習得し、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。

現在、ロシアは著しい経済成長を遂げており、今後、日本にとって重要な隣国になることは確実です。仕事でロシア語が必要となる場面もこれからどんどん増えていくでしょう。また宇宙開発の分野でロシアは先進国です。将来この分野に進むことを考えている人にとってロシア語は必須言語といえます。ロシアの魅力はそれにとどまりません。ご存知のようにロシアは芸術大国でもあります。文学、美術、音楽、演劇、バレエなど、さまざまな分野で優れた芸術家を数多く輩出し、世界に影響を与えてきました。最近の日本では、アニメや絵本といったロシアのサブカルチャーもとても人気があります。ロシアは実に多様な側面をもったスケールの大きな国です。そんなロシアの魅力をお伝えするために、授業ではロシアの文化事情を紹介する時間ももうける予定です。

シラバス　教科書に沿って授業を進めていきます。授業では「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、教科書に出てきた基本表現や基本単語を覚えていきます。

前期はロシア語の文字と発音から入り、教科書の第5課まで進む予定です。

第1回　文字と発音
第2回　文字と発音
第3回　文字と発音
第4回　第1課「. . . は. . . である」
　　基本文型、人称代名詞
第5回　第1課「. . . は. . . にいる／ある」
　　基本文型、名詞の性
第6回　第2課「これは私の机です」
　　所有代名詞
第7回　第2課「学生はテクストを読んでいる」
　　第1変化動詞、副詞
第8回　第3課「私はロシア語が話せる」「私はロシア語を勉強している」
　　第2変化動詞、по-русски と русский язык
第9回　第3課「読んでください」
　　命令形
第10回　第4課「私は学校で働いている」
　　前置格の用法、前置詞 в と на の使い分け
第11回　第4課「私はモスクワに住んでいる」「私は大学に在学している」
　　特殊変化の動詞、-ся 動詞
第12回　第5課「これらは雑誌です」
　　名詞の複数形、正書法の規則
第13回　第5課「これは新しい家です」
　　形容詞・指示代名詞・所有代名詞の性・数変化
第14回　まとめ
第15回　試験、解説など

＊　受講生の理解度に応じて授業を進めていくので、上記内容は変更となる可能性があります。

教科書　ロシア語教程Ⅰ（初級編）

参考文献　教場で指示します。

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考　ロシア語の学習は文字の発音から始まるので最初が肝心です。できるだけ欠席しないように努力してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IB　前期火４上野		
科目キー	2800151008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIA　後期水4ジンベルグ		
科目キー	2800151009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　前期の初級IAまたは初級IBを履修した後、ロシア語の基礎文法を学ぶ授業。履修後、中級に進むことができます。

シラバス

第一回　動詞の過去。名詞と形容詞の不活動体対格。
第二回　移動の動詞と方向をあらわす体格。ロシア語のテキストを使ったトレーニング。
第三回　動詞の未来形。形容詞、人称代名詞、所有代名詞の前置格。
第四回　指示代名詞の対格。動詞「起きる」、「...したい」などの動詞。ロシア語のテキスト　を使ったトレーニング。
第五回　動詞の完了体と不完了体(1)。 数詞1-30
第六回　所有の表現「私は...を持っている」。 人称代名詞の生格。ロシア語の文章を使　ったトレーニング。
第七回　名詞、形容詞の単数生格。第八回
第九回　動詞の完了体と不完了体(2) ロシア語の文章を使ったトレーニング。
第十回　活動体名詞の単数生格。 第十一回
第十二回　動詞の完了体と不完了体(3)。ロシア語の文章を使ったトレーニング。
第十三回　名詞の単数・複数与格。形容詞、所有代名詞などの与格。
第十四回　関係代名詞の用法(その1)。 ロシア語の文章を使ったトレーニング。
第十五回　試験。

この進度予定は、授業の過程で変更される場合があります。

教科書　『ロシア語教程?初級篇』(東京ロシア語学院発行)

参考文献　博友社『ロシア語辞典』

評価方法　学期末テスト
出席は評価の対象としません。

備考　格変化の学習が中心となります。
ひとつひとつ着実に覚えていくことが、次の土台となります。
授業にはかならず出席し、課題をクリアしてください。

関連URL:　東京ロシア語学院:
http://www.tokyorus.ac.jp
ロシア語に関連した実務

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIA　前期金1南平		
科目キー	2800151009		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIB　後期火４上野		
科目キー	2800151010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要　初級Ｉの履修者を対象としたクラスです。初級Ｉで使用した教科書の続きをやります。文法の基礎を習得し、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。

現在、ロシアは著しい経済成長を遂げており、今後、日本にとって重要な隣国になることは確実です。仕事でロシア語が必要となる場面もこれからどんどん増えていくでしょう。また宇宙開発の分野でロシアは先進国です。将来この分野に進むことを考えている人にとってロシア語は必須言語といえます。ロシアの魅力はそれにとどまりません。ご存知のようにロシアは芸術大国でもあります。文学、美術、音楽、演劇、バレエなど、さまざまな分野で優れた芸術家を数多く輩出し、世界に影響を与えてきました。最近の日本では、アニメや絵本といったロシアのサブカルチャーもとても人気があります。ロシアは実に多様な側面をもったスケールの大きな国です。そんなロシアの魅力をお伝えするために、授業ではロシアの文化事情を紹介する時間ももうける予定です。

シラバス　教科書に沿って授業を進めていきます。授業では「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、教科書に出てきた基本表現や基本単語を覚えていきます。

後期は教科書の第6課から第10課まで進む予定です。

第1回　前期の復習
第2回　第6課「昨日私は雑誌を読んだ」「昨日私は劇場へ行った」
　　過去形、対格の用法
第3回　第6課「私は学校へ行きます」
　　運動の動詞（1）、方向表現、交通手段
第4回　第6課「私は新しい雑誌を読む」
　　形容詞の対格、第2唇音変化動詞
第5回　第7課「明日私は劇場へ行きます」
　　未来形
第6回　第7課「私は新しい良い家に住んでいる」「彼はロシア文学について話す」
　　o＋前置格、形容詞・人称代名詞の前置格
第7回　第7課「彼女は自分の兄について話す」「彼はこの家に住んでいる」
　　所有代名詞・指示代名詞の前置格
第8回　第8課　体の用法（1）
第9回　第8課「今1時です」「今日は2日です」
　　時間の表現：個数詞・順序数詞
第10回　第8課「私には兄がいる」
　　所有の表現：人称代名詞の性格
第11回　第9課「これはアントンの辞書です」
　　名詞・形容詞の生格
第12回　第9課　動詞の体（2）
第13回　第10課「私は兄と姉を待っている」
　　名詞：活動体の対格、人称代名詞の対格
第14回　第10課「私は新入生を待っている」
　　形容詞・所有代名詞・指示代名詞：活動体の対格
第15回　試験、解説など

＊　受講生の理解度に応じて授業を進めていくので、上記内容は変更となる可能性があります。

教科書　ロシア語教程Ｉ（初級編）

参考文献　教場で指示します。

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考　語学は日々の積み重ねが重要です。なるべく欠席しないように努力してください。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIB　後期火４上野		
科目キー	2800151010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIB　前期水5ジンベルグ		
科目キー	2800151010		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　昨年度後期初級1Bまたは初級1Aのつづきの授業です。

シラバス

第一回　動詞「歩く」、「乗り物で行く」。移動の手段を表す前置格。
第二回　ロシア語のテキストによるトレーニング
第三回　「私は学校へ行く」 方向をあらわす対格。形容詞の形。
第四回　時間の表現(1)。ロシア語のテキストによるトレーニング。
第五回　他動詞と自動詞。時間の表現(2)
第六回　ロシア語のテキストによるトレーニング。
第七回　「私は…を持っている」 所有の表現。前置詞 в と на。所有代名詞複数形。
第八回　接続詞Когда。「…するとき」。ロシア語のテキストを使ったトレーニング。
第九回　動詞の過去形。名詞の対格(人、動物)。関係代名詞の用法(1)。
第十回　ロシア語のテキストを使ったトレーニング。
第十一回　動詞の完了体と不完了体1(過去　)。動作の継続の表現。所有代名詞対格。
第十二回　ロシア語テキストによるトレーニング。
第十三回　動詞の完了体と不完了体2(未来)。人称代名詞与格。表現「…しなければならない」; 「…したとき」。
第十四回　ロシア語のテキストを使ったトレーニング。
第十五回　テスト。

教科書　『百万人のロシア語』(ナウカジャパン)

参考文献　博友社『ロシア語辞典』

評価方法　学期末筆記試験。
成績は評価の対象としません。

備考

関連URL:　東京ロシア語学院
http://www.tokyorus.ac.jp/
ロシア語学習、実力検定試

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語IA（学院クラス）前期金3南平		
科目キー	2800151011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語IB（学院クラス）前期火3上野		
科目キー	2800151012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要

初級ⅠとⅡの履修者、または早稲田高等学院で三年間ロシア語を学んだ人を対象としたクラスです。一年間の勉強でようやくロシア語にも慣れてきたところだと思いますが、ロシア語学習の愉しみはまだまだこれからです。もう一年勉強を続けて基礎を習得すれば、インターネットでロシア語の情報を得たり、ロシア語で簡単なコミュニケーションがとれるようになるでしょう。ロシア語を通じてあなたの世界はぐっと広がるはずです。

またロシアは日本にとって経済的にも文化的にも重要な隣国です。仕事や勉強でロシア語が必要になる機会もこれから増えていくと思います。宇宙開発の仕事を考えている人にロシア語は必須言語ですし、早稲田大学はモスクワ大学と留学協定を結んでいるので、この制度を利用して、天才的な数学者や物理学者をたくさん輩出しているモスクワ大学に研究に行くことも可能です。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストや対話を読みながら、口語表現と関連の文法事項を学びます。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、基本的な表現と単語を覚え、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。またロシア語学習をより実りあるものにするため、授業のなかでロシアの文化事情について紹介する時間をもうけます。

シラバス

教科書に沿って進めていきます。前期は初級で学んだ第10課までの文法事項や基本表現の復習をやってから、第11課に入り、第15課まで進む予定です。

第1回　第10課までの復習
第2回　第10課までの復習
第3回　第11課「アントンは何時間雑誌を読みましたか」「2時間です」
　　体の用法（過去）、疑問詞 с к о л ь к о とその答え方
第4回　第11課「彼はもう雑誌を読んでしまった」
　　体の用法（過去）
第5回　第11課「街は4年間建設された」
　　不定人称文、所有代名詞の対格
第6回　第12課「明日私は新しい雑誌を読む」
　　体の用法（未来）
第7回　第12課「アントンはわれわれに語った」
　　「ヴェーラは今日雑誌を読まなければならない」
　　間接目的を示す与格（人称代名詞）
　　д о л ж е н＋動詞の不定形
第8回　第13課「私は休まなければならない」
　　無人称文（1）
第9回　第13課「アントンは自分の雑誌とあなたの本をかばんに入れた」
　　再帰所有代名詞の対格
第10回　第14課「今日の晩、私は読書をする」
　　「アントンはいつノボシビルスクに出発しますか」「1ヶ月後です」
　　不完了体未来、疑問詞 к о г д а とその答え方
第11回　第14課「アントンは新しい雑誌と本を買った」
　　х о т е т ь＋動詞の不定形、形容詞の対格
第12回　第15課「今日は寒い」「もし良い天気なら……」
　　無人称文（2）、条件文
第13回　第15課「あなたが会うヴェーラは……」
　　関係代名詞（対格）
第14回　まとめ
第15回　試験、解説など

＊　受講生の理解度に応じて授業を進めていくので、上記内容は変更となる可能性があります。

教科書　E・ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献　教場で指示します。

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考　語学は日々の積み重ねが重要です。なるべく欠席しないように努力してください。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語IB（学院クラス）前期火3上野		
科目キー	2800151012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語IIA（学院クラス）後期金3南平		
科目キー	2800151013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語IIB（学院クラス）後期火3上野		
科目キー	2800151014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要

中級Ⅰの履修者を対象としたクラスです。一年間の勉強でようやくロシア語にも慣れてきたところだと思いますが、ロシア語学習の愉しみはまだまだこれからです。もう一年勉強を続けて基礎を習得すれば、インターネットでロシア語の情報を得たり、ロシア語で簡単なコミュニケーションがとれるようになるでしょう。ロシア語を通じてあなたの世界はぐっと広がるはずです。

またロシアは日本にとって経済的にも文化的にも重要な隣国です。仕事や勉強でロシア語が必要になる機会もこれから増えていくと思います。宇宙開発の仕事を考えている人にロシア語は必須言語ですし、早稲田大学はモスクワ大学と留学協定を結んでいるので、この制度を利用して、天才的な数学者や物理学者をたくさん輩出しているモスクワ大学に研究に行くことも可能です。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストや対話を読みながら、口語表現と関連の文法事項を学びます。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、基本的な表現と単語を覚え、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。またロシア語学習をより実りあるものにするため、授業のなかでロシアの文化事情について紹介する時間をもうけます。

シラバス

後期は教科書の第16課から第20課まで進む予定です。

第1回　前期の復習
第2回　第16課「アントンはモスクワのことを話して聞かせる」
「ヴェーラは自分の仕事のことをたくさん話す」
о＋前置格、所有代名詞の前置格、
第3回　第16課「アントンはいつノボシビルスクにいましたか」「3年前です」
疑問詞 когда とその答え方
第4回　第17課「私たちはこの街の住んでいる」
「ニーナは新しい学校で学んでいる」
指示代名詞・形容詞の前置格
第5回　第17課　動詞の格支配（対格・与格）
第6回　第18課「彼は弟に本を買った」
間接目的を示す与格（名詞）
第7回　第18課「君の本を貸してくれ」
「父は彼が大学で学ぶことを望んでいる」
命令形、接続詞 чтобы の用法
第8回　第19課「アントンはノヴォシビルスクが気に入っている」
нравиться の用法
第9回　第19課「ニーナは自分の小さな弟に本を読み聞かせる」
「この通りには本屋がある」
所有代名詞・形容詞の与格、存在を表す есть
第10回　第20課「アントンは家にいない」
「これはバスの停留所です」
否定生格、所有・所属を示す生格
第11回　第20課「切符はいくらですか」
値段の表現
第12回　造格の用法「私はアントンと働いている」
「ニーナは医者になりたい」
第13回　映画鑑賞
第14回　まとめ
第15回　試験、解説など

＊　受講生の理解度に応じて授業を進めていくので、上記内容は変更となる可能性があります。

教科書

E・ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献

教場で指示します。

評価方法

学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

語学は日々の積み重ねが重要です。なるべく欠席しないように努力してください。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語IIB（学院クラス）後期火３上野		
科目キー	2800151014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語中級IA　前期火4北田		
科目キー	2800151019		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要　スペイン語 初級で既習の文法、構文を丁寧に復習します。また、未修の文法も少しずつ学んでいきます。
会話への導入として、テープを使い、スペイン語初級で学んだ簡単な文章のパターン練習をする予定です。
スペインやヨーロッパの歴史、文化や社会、また人々の生き方や考え方等についてふれてみたいと考えています。
予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。

シラバス　第一回目の授業時、受講する方々の初級での進度や修得の状態などを聞き、全体の授業の進め方を決めますが、第四回までは、初級の復習(特に、動詞の変化と使い方)をします。

教科書　必要があればプリントを配布します。

参考文献　辞書等に関しては、最初の授業時にお話しします。

評価方法　前期末の試験と平常点の両方で評価します。平常点の割合は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語中級IB　前期月１佐藤		
科目キー	2800151020		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　一年次に学習したスペイン語の基礎文法を土台にして、更に必要な文法事項を学習するのが、この授業のねらいです。
特に、関係代名詞、関係形容詞、関係副詞、過去未来を中心に勉強します。

シラバス
第一回　オリエンテーション
第二回　関係詞の種類と用法
第三回　関係代名詞　que
第四回　関係代名詞　quien
第五回　関係代名詞　定冠詞＋que
第六回　関係代名詞　定冠詞＋cual
第七回　関係代名詞　lo queと　lo cual
第八回　関係形容詞　cuyo
第九回　関係副詞　donde
第十回　関係副詞　cuandoと　como
第十一回　関係詞＋不定詞、 疑問詞＋不定詞
第十二回　過去未来完了
第十三回　分詞構文
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「スペイン語2」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語中級IIA　後期火４北田		
科目キー	2800151021		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

スペイン語初級で既習の文法、構文を丁寧に復習します。また、未修の文法も少しずつ学んでいきます。
会話への導入として、テープを使い、スペイン語初級で学んだ簡単な文章のパターン練習をする予定です。
スペインやヨーロッパの歴史、文化や社会、また人々の生き方や考え方等についてふれてみたいと考えています。

予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。

シラバス

第一回目の授業時、受講する方々の初級での進度や修得の状態などを聞き、全体の授業の進め方を決めますが、第四回までは、初級の復習(特に、動詞の変化と使い方)をします。

教科書　必要があればプリントを配布します

参考文献　辞書等に関しては、最初の授業時にお話しします。

評価方法　平常点と試験の成績で評価します。平常点の比率は低くありません。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	西語中級IIB　後期月1佐藤		
科目キー	2800151022		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　一年次に学習したスペイン語の基礎文法を土台にして、更に必要な文法事項を学習するのが、この授業のねらいです。
特に、接続法現在の用法と接続法現在完了の用法を勉強します。

シラバス
第一回　接続法現在の規則動詞
第二回　接続法現在の不規則動詞
第三回　法について
第四回　接続法現在形の用法
第五回　命令法と命令文
第六回　命令文と代名詞の位置
第七回　願望文
第八回　疑惑文
第九回　名詞節（目的節）
第十回　名詞節（主語節）
第十一回　形容詞節
第十二回　副詞節
第十三回　接続法の現在完了
第十四回　学力考査および解説
第十五回　授業理解の確認

教科書　「スペイン語2」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語中級IA　前期金3南平		
科目キー	2800151023		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語中級IB　前期火3上野		
科目キー	2800151024		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要

初級ⅠとⅡの履修者、または早稲田高等学院で三年間ロシア語を学んだ人を対象としたクラスです。一年間の勉強でようやくロシア語にも慣れてきたところだと思いますが、ロシア語学習の愉しみはまだまだこれからです。もう一年勉強を続けて基礎を習得すれば、インターネットでロシア語の情報を得たり、ロシア語で簡単なコミュニケーションがとれるようになるでしょう。ロシア語を通じてあなたの世界はぐっと広がるはずです。

またロシアは日本にとって経済的にも文化的にも重要な隣国です。仕事や勉強でロシア語が必要になる機会もこれから増えていくと思います。宇宙開発の仕事を考えている人にロシア語は必須言語ですし、早稲田大学はモスクワ大学と留学協定を結んでいるので、この制度を利用して、天才的な数学者や物理学者をたくさん輩出しているモスクワ大学に研究に行くことも可能です。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストや対話を読みながら、口語表現と関連の文法事項を学びます。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、基本的な表現と単語を覚え、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。またロシア語学習をより実りあるものにするため、授業のなかでロシアの文化事情について紹介する時間をもうけます。

シラバス

教科書に沿って進めていきます。前期は初級で学んだ第10課までの文法事項や基本表現の復習をやってから、第11課に入り、第15課まで進む予定です。

第1回　第10課までの復習
第2回　第10課までの復習
第3回　第11課「アントンは何時間雑誌を読みましたか」「2時間です」
　　体の用法（過去）、疑問詞 с к о л ь к о とその答え方
第4回　第11課「彼はもう雑誌を読んでしまった」
　　体の用法（過去）
第5回　第11課「街は4年間建設された」
　　不定人称文、所有代名詞の対格
第6回　第12課「明日私は新しい雑誌を読む」
　　体の用法（未来）
第7回　第12課「アントンはわれわれに語った」
　　「ヴェーラは今日雑誌を読まなければならない」
　　間接目的を示す与格（人称代名詞）
　　д о л ж е н＋動詞の不定形
第8回　第13課「私は休まなければならない」
　　無人称文（1）
第9回　第13課「アントンは自分の雑誌とあなたの本をかばんに入れた」
　　再帰所有代名詞の対格
第10回　第14課「今日の晩、私は読書をする」
　　「アントンはいつノボシビルスクに出発しますか」「1ヶ月後です」
　　不完了体未来、疑問詞 к о г д а とその答え方
第11回　第14課「アントンは新しい雑誌と本を買った」
　　х о т е т ь＋動詞の不定形、形容詞の対格
第12回　第15課「今日は寒い」「もし良い天気なら……」
　　無人称文（2）、条件文
第13回　第15課「あなたが会うヴェーラは……」
　　関係代名詞（対格）
第14回　まとめ
第15回　試験、解説など

＊　受講生の理解度に応じて授業を進めていくので、上記内容は変更となる可能性があります。

教科書

E･ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献

教場で指示します。

評価方法

学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

語学は日々の積み重ねが重要です。なるべく欠席しないように努力してください。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語中級IB　前期火３上野		
科目キー	2800151024		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語中級IIA　後期金3南平		
科目キー	2800151025		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語中級IIB　後期火3上野		
科目キー	2800151026		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要

中級Ⅰの履修者を対象としたクラスです。一年間の勉強でようやくロシア語にも慣れてきたところだと思いますが、ロシア語学習の愉しみはまだまだこれからです。もう一年勉強を続けて基礎を習得すれば、インターネットでロシア語の情報を得たり、ロシア語で簡単なコミュニケーションがとれるようになるでしょう。ロシア語を通じてあなたの世界はぐっと広がるはずです。

またロシアは日本にとって経済的にも文化的にも重要な隣国です。仕事や勉強でロシア語が必要になる機会もこれから増えていくと思います。宇宙開発の仕事を考えている人にロシア語は必須言語ですし、早稲田大学はモスクワ大学と留学協定を結んでいるので、この制度を利用して、天才的な数学者や物理学者をたくさん輩出しているモスクワ大学に研究に行くことも可能です。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストや対話を読みながら、口語表現と関連の文法事項を学びます。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、基本的な表現と単語を覚え、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。またロシア語学習をより実りあるものにするため、授業のなかでロシアの文化事情について紹介する時間をもうけます。

シラバス

後期は教科書の第16課から第20課まで進む予定です。

第1回　前期の復習
第2回　第16課「アントンはモスクワのことを話して聞かせる」
「ヴェーラは自分の仕事のことをたくさん話す」
о＋前置格、所有代名詞の前置格、
第3回　第16課「アントンはいつノボシビルスクにいましたか」「3年前です」
疑問詞 когда とその答え方
第4回　第17課「私たちはこの街の住んでいる」
「ニーナは新しい学校で学んでいる」
指示代名詞・形容詞の前置格
第5回　第17課　動詞の格支配（対格・与格）
第6回　第18課「彼は弟に本を買った」
間接目的を示す与格（名詞）
第7回　第18課「君の本を貸してくれ」
「父は彼が大学で学ぶことを望んでいる」
命令形、接続詞 чтобы の用法
第8回　第19課「アントンはノヴォシビルスクが気に入っている」
нравиться の用法
第9回　第19課「ニーナは自分の小さな弟に本を読み聞かせる」
「この通りには本屋がある」
所有代名詞・形容詞の与格、存在を表す есть
第10回　第20課「アントンは家にいない」
「これはバスの停留所です」
否定生格、所有・所属を示す生格
第11回　第20課「切符はいくらですか」
値段の表現
第12回　造格の用法「私はアントンと働いている」
「ニーナは医者になりたい」
第13回　映画鑑賞
第14回　まとめ
第15回　試験、解説など

＊　受講生の理解度に応じて授業を進めていくので、上記内容は変更となる可能性があります。

教科書

E・ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献

教場で指示します。

評価方法

学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

語学は日々の積み重ねが重要です。なるべく欠席しないように努力してください。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	露語中級IIB　後期火３上野		
科目キー	2800151026		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　化学		
科目キー	2800210001		
科目クラスコード	19	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	室谷　義昭		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する

シラバス

1. 集合と写像

2. ベクトルと図形の方程式
　平面ベクトル、空間ベクトル、ベクトルの外積、直線、平面の方程式、球の方程式

3. 行列と1次変換
　1次変換と行列、1次変換の合成、1次変換の像、1次変換と長さ、面積

4. 複素数
　複素数、複素平面、ドモアブルの定理

授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回

第　1回(　4月　6日)集合
第　2回(　4月13日)写像
第　3回(　4月20日)平面ベクトル、空間ベクトル
第　4回(　4月27日)ベクトルの外積
第　5回(　5月11日)直線の方程式、平面の方程式
第　6回(　5月18日)空間内の直線の方程式、平面の方程式
第　7回(　5月25日)円の方程式、球の方程式
第　8回(　6月　1日)1次変換と行列
第　9回(　6月　8日)1次変換の像
第10回(　6月15日)1次変換と長さ・面積
第11回(　6月22日)複素数
第12回(　6月29日)複素平面
第13回(　7月　6日)ドモアブルの定理
第14回(　7月13日)復習と応用
第15回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　簡易テキストとしてまとめたプリント「基礎の数学」(米田元先生作成)

参考文献

評価方法　平常点と試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　電生(1)		
科目キー	2800210001		
科目クラスコード	20	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	米田　元		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

シラバス
第01回集合
第02回写像
第03回平面ベクトル，空間ベクトル
第04回ベクトルの外積
第05回直線の方程式
第06回平面の方程式
第07回円，球の方程式
第08回1次変換と行列
第09回1次変換の像(平面)
第10回1次変換の像(空間)
第11回1次変換と長さ，面積
第12回複素数
第13回複素平面
第14回ドモアブルの定理
第15回学力考査および解説

教科書　プリントを配布する

参考文献

評価方法　試験と平常点

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yoneda/in/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　電生(2)		
科目キー	2800210001		
科目クラスコード	21	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	室谷　義昭		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する

シラバス

1. 集合と写像

2. ベクトルと図形の方程式
　平面ベクトル、空間ベクトル、ベクトルの外積、直線、平面の方程式、球の方程式

3. 行列と1次変換
　1次変換と行列、1次変換の合成、1次変換の像、1次変換と長さ、面積

4. 複素数
　複素数、複素平面、ドモアブルの定理

授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回

第　1回(　4月　9日)集合
第　2回(　4月16日)写像
第　3回(　4月23日)平面ベクトル、空間ベクトル
第　4回(　5月　7日)ベクトルの外積
第　5回(　5月14日)直線の方程式、平面の方程式
第　6回(　5月21日)空間内の直線の方程式、平面の方程式
第　7回(　5月28日)円の方程式、球の方程式
第　8回(　6月　4日)1次変換と行列
第　9回(　6月11日)1次変換の像
第10回(　6月18日)1次変換と長さ・面積
第11回(　6月25日)複素数
第12回(　7月　2日)複素平面
第13回(　7月　9日)ドモアブルの定理
第14回(　7月16日)復習と応用
第15回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　簡易テキストとしてまとめたプリント「基礎の数学」(米田元先生作成)

参考文献

評価方法　平常点と試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　外国学生		
科目キー	2800210001		
科目クラスコード	22	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	笹木　集夢		

副題

授業概要　基礎の数学は，大学の数学への導入を目的として講義を行う．

この科目では主に次の5つの内容について講義および演習を行う予定である．

1．平面ベクトル，空間ベクトル
2．図形と方程式
3．行列と線型変換
4．複素数平面
5．集合と写像

大学で必要な数学の基礎を解説し，具体例および一般論を展開する．
この題材を通して，具体例で事象をとらえる訓練を自ら行う力をつけること，
一般論を展開する力を身につけること，
論理的に考える力を身につけることも目的の1つである．
また，線型代数（数学A）や微分積分（数学B)につながる内容も解説したい．

シラバス　以下にある講義計画は，講義の進行状況によって変更することがある．

1．（4月11日）：オリエンテーション，ベクトルの内積
2．（4月18日）：ベクトルの線型独立，線型従属
3．（4月25日）：ベクトルの外積，スカラー3重積
4．（5月　9日）：直線・平面の方程式（1）
5．（5月16日）：行列の復習
6．（5月23日）：直線・平面の方程式（2），円・球の方程式（1）
7．（5月30日）：円・球の方程式（2）
8．（6月　6日）：線型変換と行列
9．（6月13日）：理工スポーツ大会のため休講（課題：複素数の演習）
10．（6月20日）：線型変換の像
11．（6月27日）：等長変換・等角変換
12．（7月　4日）：複素平面
13．（7月11日）：集合
14．（7月18日）：写像
15．（試験期間）：定期試験

教科書　指定しない．
必要に応じて資料を配付する予定．

参考文献　特になし．
ただし，数学A（線型代数）で使用する教科書は
この講義における参考書になると思います．

評価方法　講義中に適宜行う演習，レポート，定期試験などにより総合的に評価する．

備考　大学の講義は，受け身の姿勢では理解を深めることはできません．
高校に比べ，講義の進度が格段に速く，板書の量も多いのも特徴です．
ノートをとると同時に講義の内容をくまなく理解するのは難しいので，
毎回の復習を欠かさないことを申し上げておきます．
（板書の量は多いので，ノートをとるだけでも大変かもしれません）

なお，講義の情報、連絡事項については，
Waseda-net portal からアクセスできる「Course N@vi 」上にも掲載する予定です．

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　外国学生		
科目キー	2800210001		
科目クラスコード	22	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 物理		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	07	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺井　伸浩		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には、平面及び空間ベクトル、数ベクトル、 行列、線形写像、連立1 次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、内積、行列の標準化等について学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス　予定としては以下の内容について講義を行う。
ただし講義の進度に応じて内容の追加・削減を行う。

[前期] 線形代数における基本的な計算法の習得を目標とする。
[後期] ベクトル空間や線形写像など抽象化された概念の習得、
及び応用面において特に重要である行列の対角化の計算法の
習得を目標とする。

第1回　空間ベクトルの内積と外積
第2回　複素数と複素平面
第3回　行列の基本演算
第4回　逆行列・転置行列・対称行列の定義とその性質

第5回　行基本変形と掃き出し法
第6回　連立1次方程式の解法
第7回　逆行列の計算法
第8回　行列のrank
第9回　連立1次方程式の解構造

第10回　行列式の帰納的定義
第11回　行列式の符号による一般的な定義
第12回　行列式の基本性質
第13回　行列式の余因子展開
第14回　逆行列の公式とクラーメルの公式
第15回　前期のまとめと演習

第16回　ベクトル空間の定義
第17回　ベクトルの1次独立
第18回　ベクトル空間の基底・次元
第19回　内積と正規直交基底

第20回　線形写像の定義
第21回　線形写像の像と核
第22回　基底の変換と表現行列

第23回　固有値・固有ベクトル
第24回　行列の対角化
第25回　行列の三角化
第26回　実対称行列の対角化
第27回　フロベニウスの定理とケーリー・ハミルトンの定理

第28回　2次曲線の分類
第29回　線形微分方程式の解法
第30回　後期のまとめと演習

適宜テキスト以外の内容についても講義を行い、
公式・定理や演習問題のプリントを随時配布する予定である。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 物理		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	07	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

教科書　「線形代数学序論」，木村宣昭著，培風館

参考文献　演習書は次を薦める：
「演習と応用 − 線形代数」，寺田文行・木村宣昭共著，
サイエンス社

評価方法　前期・後期の定期試験、レポート、出席を総合的に判断して成績評価する。私語等で授業に迷惑を掛けた場合は大幅に減点するので注意すること。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 応物		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	08	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北田　韶彦		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には。連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス

教科書　松坂和夫著
線型代数入門　岩波書店

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 応化(1)		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	09	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	一山 稔之		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には、平面及び空間ベクトル、数ベクトル、行列、線形写像、連立1次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、内積、行列の標準化等について学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス
[1] 数ベクトル, 1次独立と1次従属
[2] 基底, 複素ベクトル
[3] 掃き出し法
[4] 階数と解の存在
[5] 基底の判定法
[6] 行列の定義と演算, 逆行列
[7] 正則行列と連立1次方程式
[8] 置換と 互換及びその符合
[9] 行列式の定義と例
[10] 行列式の基本性質
[11] 行列式の計算
[12] 転置行列の行列式
[13] 行列式の展開
[14] 積の行列式, クラメールの公式
[15] 学力考査
[16] 写像, 単射・全射・全単射, 線形写像
[17] 像空間と核空間
[18] 線形写像の行列表示
[19] 連立1次方程式の行列表示
[20] 1次変換と固有値, 固有方程式
[21] 行列の相似と対角化
[22] 行列の三角化, ケイリー＝ハミルトンの定理
[23] 内積, シュワルツの不等式
[24] 正規直交系, グラム・シュミットの正規直交化法
[25] 直交補空間
[26] エルミート内積, 実対象行列
[27] 実2次形式, ユニタリ行列
[28] 線形代数の応用(1)
[29] 線形代数の応用(2)
[30] 学力考査

教科書　内田伏一・浦川肇 共著「線形代数概説」裳華房

参考文献　授業中, 必要に応じて紹介する.

評価方法　評価は定期試験の他に平常点を加味して行う. 平常点は授業中にどれだけ真面目に講義や演習に取り組んでいるかで評価する. 私語等で授業に迷惑を掛けた場合は大幅に減点する.

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 応化(2)		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	10	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　誠一		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス

「前期予定」
第1回. 履修方法と概論。行列の導入。
第2回. 行列の演算：和とスカラー倍および積。
第3回. 行列の積の法則：分配法則と結合法則。
第4回. 転置行列の概念とその性質。
第5回. いろいろな正方行列の集合と名称。
第6回. 三角行列の集合と対称行列・交代行列。
第7回. 正則行列と直交行列。
第8回. 3次の行列式の定義方法。
第9回. n文字の順列の転倒数と順列の符号およびn次の行列式の定義方法。
第10回. サラスの方法。三角行列の行列式の求め方。
第11回. 転置行列の行列式の性質、行列式の基本性質その1.
第12回. 行列の積の行列式の性質、行列式の展開と応用。
第13回. 行列式の余因子展開による計算方法。クラメルの公式を導く。
第14回. 余因子展開の応用その2：逆行列の公式を導く。または、クラメルの公式を用いて、逆行列の公式を導けることを示す。演習問題解説。
第15回. 前期定期試験（定期試験期間中に行う）。

「後期予定」
第1回.　3元連立1次方程式の解法：基本変形と基本行列の例。
第2回.　掃き出し法のメカニズムの解明。基本変形と基本行列の概念。
第3回.　行列の階数の概念の導入。
第4回.　正則行列の階数、掃き出し法で逆行列が求められる理由を与える基本定理。
第5回.　一般のn元連立1次方程式の解法：自由度の概念と行列の階数との関連性を見出し一般解を求める方法を確立する。
第6回.　同次連立1次方程式の解法と基本解の概念の導入。
第7回.　m次数ベクトル空間で1次独立なベクトルの最大個数の求め方。数ベクトル空間の次元の概念。
第8回.　基底の概念と標準基底。行列の核としての部分空間。
第9回.　線形写像。1対1写像、上への写像、およびそれらの写像の階数による判定方法。
第10回.　表現行列。内積空間と正規直交系。
第11回.　正規直交基底の概念とグラム・シュミットの直交化法。外積とその性質。
第12回.　行列の固有値と固有ベクトルの求め方。同値な行列についての固有値の不変性　および対角化の概念の導入。
第13回.　対角化可能な行列の判定条件と計算例：対称行列の対角化。
第14回.　固有値に重解がある場合の対称行列の対角化と2次形式の理論。複素行列の場合：エルミート行列の対角化について。
第15回. 後期定期試験（定期試験期間中に行う）。

教科書　理工系の「入門線形代数」学術図書出版社
裕野敏博、原 祐子、山辺元雄　共著

参考文献

評価方法　前期1回、後期1回の定期試験により評価する。ただし、自主レポートは随時受け付けるので、内容により加点する。

備考　seiichi9@aoni.waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 応化(2)		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	10	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 生医		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	11	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺井　伸浩		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には、平面及び空間ベクトル、数ベクトル、 行列、線形写像、連立1 次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、内積、行列の標準化等について学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス　予定としては以下の内容について講義を行う。
ただし講義の進度に応じて内容の追加・削減を行う。

[前期] 線形代数における基本的な計算法の習得を目標とする。
[後期] ベクトル空間や線形写像など抽象化された概念の習得、
及び応用面において特に重要である行列の対角化の計算法の
習得を目標とする。

第1回　空間ベクトルの内積と外積
第2回　複素数と複素平面
第3回　行列の基本演算
第4回　逆行列・転置行列・対称行列の定義とその性質

第5回　行基本変形と掃き出し法
第6回　連立1次方程式の解法
第7回　逆行列の計算法
第8回　行列のrank
第9回　連立1次方程式の解構造

第10回　行列式の帰納的定義
第11回　行列式の符号による一般的な定義
第12回　行列式の基本性質
第13回　行列式の余因子展開
第14回　逆行列の公式とクラーメルの公式
第15回　前期のまとめと演習

第16回　ベクトル空間の定義
第17回　ベクトルの1次独立
第18回　ベクトル空間の基底・次元
第19回　内積と正規直交基底

第20回　線形写像の定義
第21回　線形写像の像と核
第22回　基底の変換と表現行列

第23回　固有値・固有ベクトル
第24回　行列の対角化
第25回　行列の三角化
第26回　実対称行列の対角化
第27回　フロベニウスの定理とケーリー・ハミルトンの定理

第28回　2次曲線の分類
第29回　線形微分方程式の解法
第30回　後期のまとめと演習

適宜テキスト以外の内容についても講義を行い、
公式・定理や演習問題のプリントを随時配布する予定である。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 生医		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	11	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

教科書　「線形代数学序論」，木村宣昭著，培風館

参考文献　演習書は次を薦める：
「演習と応用 − 線形代数」，寺田文行・木村宣昭共著，
サイエンス社

評価方法　前期・後期の定期試験、レポート、出席を総合的に判断して成績評価する。私語等で授業に迷惑を掛けた場合は大幅に減点するので注意すること。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数）　電生(1)		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	12	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	福島　延久		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には。連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス

CHAPTER 1　ベクトルと行列
第 1回（ 4月 8日） n次元ベクトルの演算
第 2回（ 4月15日） 行列の演算
第 3回（ 4月22日） 線形写像
第 4回（ 4月29日） 線形写像と行列
第 5回（ 5月13日） 空間の直線と平面
第 6回（ 5月20日） 空間の線形変換

CHAPTER 2　連立1次方程式
第 7回（ 5月27日） 消去法
第 8回（ 6月 3日） 連立1次方程式の解法（その1）
第 9回（ 6月10日） 連立1次方程式の解法（その2）
第10回（ 6月17日） 逆行列
第11回（ 6月24日） ベクトルの1次独立
第12回（ 7月 1日） 行列の階数

CHAPTER 3　ベクトル空間
第13回（ 7月 8日） 部分空間と次元・基底
第14回（ 7月15日） （抽象）ベクトル空間

第15回（日程別途指示） 前期学力考査および解説

CHAPTER 3　ベクトル空間（つづき）
第16回（ 9月30日） 基底の変換
第17回（10月 7日） 線形変換と基底の変換

CHAPTER 4　行列式
第18回（10月14日） 行列式の定義
第19回（10月28日） 行列式の性質
第20回（11月 4日） 余因子展開（その1）
第21回（11月11日） 余因子展開（その2）
第22回（11月18日） 余因子行列と逆行列

CHAPTER 5　ユークリッド空間と対称行列
第23回（11月25日） n次元ユークリッド空間
第24回（12月 2日） 直交性、転置行列
第25回（12月 9日） 直交変換と直交行列
第26回（12月16日） 固有値と固有ベクトル
第27回（ 1月 6日） 対称行列の対角化（その1）
第28回（ 1月13日） 対称行列の対角化（その2）
第29回（ 1月20日） 2次形式の標準形

第30回（日程別途指示） 後期学力考査および解説

教科書　教科書:「基礎 線形代数 [新訂版]」(洲之内治男著 田中和永改訂, サイエンス社)

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 電生(1)		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	12	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

評価方法　期末試験

備考　遅刻厳禁！

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数）　電生(2)		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	13	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	足立　恒雄		

副題

授業概要　ベクトル空間（線形空間とも言う）の徹底的な理解を目指す。主要な題目は次の通り:

1. ベクトル空間の定義と実例
2. ベクトル空間からベクトル空間への線形写像の定義と実例
3. 線形写像と行列の関係の把握
4. 行列の基本変形
5. 行列式の定義と計算
6. 連立1次方程式と行列・行列式の関係
7. 2次形式論への応用

シラバス

1. 4月中はベクトル空間と線形写像の定義とその豊富な実例を与える。

2. 5月中は線形写像と行列の関係を徹底的に理解する。

3. 6月中は行列式の定義と計算法を学ぶ。

4. 9月、10月中は行列の基本変形を学ぶ。

5. 11月中は連立方程式と行列・行列式の関係を学ぶ。

6. 12月、1月は2次形式論を学ぶ。

教科書　斎藤正彦著『線型代数学入門』（東京大学出版会）

参考文献

評価方法　定期試験と授業中における発言回数による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A1（線形代数） 再履修者用クラス		
科目キー	2800210002		
科目クラスコード	51	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小林　克正		

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶための数学的なバックグラウンドとして、微分積分学と線形代数学が2本の大きな柱となっており、この講義では、その一つである線形代数について基礎から学んでいく。具体的には、平面及び空間ベクトル、数ベクトル、行列、線形写像、連立1次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、内積、行列の標準化等について学習する。また、学科の希望により簡単な線形微分方程式の解法や対称行列の対角化と2次曲線、2次曲面についても講義する。

シラバス

第1回　平面ベクトル
第2回　空間ベクトル
第3回　行列　数ベクトルと行列
第4回　　基本演算
第5回　　さまざまな行列、正則性と逆行列
第6回　　基本変形、階数
第7回　　連立1次方程式の解法
第8回　ベクトル空間　　定義、部分空間
第9回　　1次独立
第10回　　次元と基底
第11回　線形写像　　線形写像の定義、表現行列
第12回　　核と像
第13回　行列式　行列式の定義、幾何学的意味
第14回　　行列式の性質、余因子展開
第15回　学力考査および解説
第16回　固有値　　固有値と固有ベクトル
第17回　　算出法
第18回　コースナビ等による学習した内容の点検と確認
第19回　内積空間　　内積、内積空間の定義
第20回　　正規直交基底
第21回　対称行列の対角化
第22回　2次形式の標準形
第23回　2次曲線・2次曲面
第24回　コースナビ等による学習した内容の点検と確認
第25回　簡単な線形微分方程式　行列との関係
第26回　　解法
第27回　行列の標準化　対角化可能性
第28回　　一般の場合の標準化
第29回　まとめ
第30回　学力考査および解説

教科書　講義の第1回で指示する。

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポートまたは作品・平常点

備考　講義の内容・進度は変更される場合がある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 化学		
科目キー	2800210003		
科目クラスコード	10	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡利　正弘	渡利　正弘	

副題

授業概要　理工学で必要な基本的な線形代数学の知識を、一年間をかけて学習する。

シラバス

○前期

第　1回 （　4月　9日） オリエンテーション
第　2回 （　4月16日） 行列の演算（1）
第　3回 （　4月23日） 行列の演算（2）
第　4回 （　5月　7日） 正則行列
第　5回 （　5月14日） 連立1次方程式（1）
第　6回 （　5月21日） 連立1次方程式（2）
第　7回 （　5月28日） 前期中間試験
第　8回 （　6月　4日） 連立1次方程式（3）
第　9回 （　6月11日） 連立1次方程式（4）
第10回 （　6月18日） 連立1次方程式（5）
第11回 （　6月25日） 連立1次方程式（6）
第12回 （　7月　2日） 行列式（1）
第13回 （　7月　9日） 行列式（2）
第14回 （　7月16日） 行列式（3）
第15回 （　7月23日） 前期期末試験

○後期

第16回 （　9月28日） 行列式（4）
第17回 （10月　1日） 行列式（5）
第18回 （10月　5日） 行列式（6）
第19回 （10月　8日） 行列式（7）
第20回 （10月12日） 行列式（8）
第21回 （10月15日） クラメルの公式
第22回 （10月19日） 数ベクトル空間と線形写像（1）
第23回 （10月26日） 数ベクトル空間と線形写像（2）
第24回 （10月29日） 後期中間試験
第25回 （11月　2日） ベクトル空間と線形写像（1）
第26回 （11月　5日） ベクトル空間と線形写像（2）
第27回 （11月　9日） ベクトル空間と線形写像（3）
第28回 （11月12日） ベクトル空間と線形写像（4）
第29回 （11月16日） ベクトル空間と線形写像（5）
第30回 （11月19日） ベクトル空間と線形写像（6）
第31回 （11月23日） ベクトル空間と線形写像（7）
第32回 （11月26日） ベクトル空間と線形写像（8）
第33回 （11月30日） ベクトル空間と線形写像（9）
第34回 （12月　3日） 固有値と固有ベクトル（1）
第35回 （12月　7日） 固有値と固有ベクトル（2）
第36回 （12月10日） 固有値と固有ベクトル（3）
第37回 （12月14日） 行列の対角化（1）
第38回 （12月17日） 行列の対角化（2）
第39回 （12月21日） 行列の対角化（3）
第40回 （　1月　7日） 二次形式（1）
第41回 （　1月14日） 二次形式（2）
第42回 （　1月18日） ジョルダン標準形（1）
第43回 （　1月21日） ジョルダン標準形（2）
第44回 （　1月25日） ジョルダン標準形（3）
第45回 （　1月28日） 後期期末試験

教科書　日本評論社 ”明解線形代数” 木村達雄・竹内光弘・宮本雅彦・森田純　著

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 化学		
科目キー	2800210003		
科目クラスコード	10	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

評価方法　定期テストおよび平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 化学		
科目キー	2800210003		
科目クラスコード	10	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡利　正弘	渡利　正弘	

副題

授業概要　理工学で必要な基本的な線形代数学の知識を、一年間をかけて学習する。

シラバス

○前期

第 1回 （ 4月 9日） オリエンテーション
第 2回 （ 4月16日） 行列の演算（1）
第 3回 （ 4月23日） 行列の演算（2）
第 4回 （ 5月 7日） 正則行列
第 5回 （ 5月14日） 連立1次方程式（1）
第 6回 （ 5月21日） 連立1次方程式（2）
第 7回 （ 5月28日） 前期中間試験
第 8回 （ 6月 4日） 連立1次方程式（3）
第 9回 （ 6月11日） 連立1次方程式（4）
第10回 （ 6月18日） 連立1次方程式（5）
第11回 （ 6月25日） 連立1次方程式（6）
第12回 （ 7月 2日） 行列式（1）
第13回 （ 7月 9日） 行列式（2）
第14回 （ 7月16日） 行列式（3）
第15回 （ 7月23日） 前期期末試験

○後期

第16回 （ 9月28日） 行列式（4）
第17回 （10月 1日） 行列式（5）
第18回 （10月 5日） 行列式（6）
第19回 （10月 8日） 行列式（7）
第20回 （10月12日） 行列式（8）
第21回 （10月15日） クラメルの公式
第22回 （10月19日） 数ベクトル空間と線形写像（1）
第23回 （10月26日） 数ベクトル空間と線形写像（2）
第24回 （10月29日） 後期中間試験
第25回 （11月 2日） ベクトル空間と線形写像（1）
第26回 （11月 5日） ベクトル空間と線形写像（2）
第27回 （11月 9日） ベクトル空間と線形写像（3）
第28回 （11月12日） ベクトル空間と線形写像（4）
第29回 （11月16日） ベクトル空間と線形写像（5）
第30回 （11月19日） ベクトル空間と線形写像（6）
第31回 （11月23日） ベクトル空間と線形写像（7）
第32回 （11月26日） ベクトル空間と線形写像（8）
第33回 （11月30日） ベクトル空間と線形写像（9）
第34回 （12月 3日） 固有値と固有ベクトル（1）
第35回 （12月 7日） 固有値と固有ベクトル（2）
第36回 （12月10日） 固有値と固有ベクトル（3）
第37回 （12月14日） 行列の対角化（1）
第38回 （12月17日） 行列の対角化（2）
第39回 （12月21日） 行列の対角化（3）
第40回 （ 1月 7日） 二次形式（1）
第41回 （ 1月14日） 二次形式（2）
第42回 （ 1月18日） ジョルダン標準形（1）
第43回 （ 1月21日） ジョルダン標準形（2）
第44回 （ 1月25日） ジョルダン標準形（3）
第45回 （ 1月28日） 後期期末試験

教科書　日本評論社 ”明解線形代数” 木村達雄・竹内光弘・宮本雅彦・森田純 著

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 化学		
科目キー	2800210003		
科目クラスコード	10	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡利　正弘	渡利　正弘	

評価方法　定期テストおよび平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 外国学生		
科目キー	2800210003		
科目クラスコード	11	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩尾　昌央	岩尾　昌央	

副題

授業概要　線形代数学は，数学における根幹理論の一つであり，自然科学や工学のさまざまな分野へ応用される．本講義では，前期において行列や行列式などに関する基本的な計算方法について学び，後期において固有値問題を中心とする理論体系とその応用について学ぶ．

シラバス

前期（各　90分）：
第　1回（　4月11日）　オリエンテーション
第　2回（　4月18日）　行列の演算と正則性
第　3回（　4月25日）　連立1次方程式と行列のLDU分解
第　4回（　5月　9日）　ガウスの消去法と行列の階数
第　5回（　5月16日）　行列における対等関係
第　6回（　5月23日）　同次方程式の解と行列式
第　7回（　5月30日）　行列式の展開と交代性
第　8回（　6月　6日）　行列式の転置不変性とクラメルの公式
第　9回（　6月13日）　コースナビ等にて学習した内容の点検と確認
第10回（　6月20日）　置換と符号
第11回（　6月27日）　行列式の基本公式
第12回（　7月　4日）　余因子と逆行列
第13回（　7月11日）　基礎体と整数の剰余類
第14回（　7月18日）　同値類と幾何ベクトル
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説

後期（各180分）：
第16回（10月　3日）　幾何ベクトルと数ベクトル
第17回（10月10日）　線形空間の基底と線形独立性
第18回（10月17日）　直和と次元，行列式と線形独立性
第19回（10月24日）　正規直交基底とグラム−シュミットの直交化
第20回（10月31日）　線形写像の像空間と核空間，射影と直交補空間
第21回（11月14日）　線形変換の幾何学的意味，直交変換
第22回（11月21日）　固有値と固有空間
第23回（11月28日）　実対称行列の対角化
第24回（12月　5日）　直線と平面，2次曲線と2次曲面
第25回（12月12日）　補間多項式，最小2乗法
第26回（12月19日）　実対称行列の射影分解，漸化式への応用
第27回（　1月　9日）　正規行列の対角化
第28回（　1月16日）　ジョルダン標準形
第29回（　1月23日）　微分方程式への応用
第30回（日程別途指示）　学力考査および解説

教科書　「工科系　線形代数　（新・工科系の数学TKM-2）」，筧三郎著，数理工学社

参考文献

評価方法　前期学力考査30点満点・後期学力考査50点満点・レポート20点として，合計100点満点とする．獲得点数100点−90点をA+，89点−80点をA，79点−70点をB，69点−60点をCとして，合格とする．59点以下を不合格とする．

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 外国学生		
科目キー	2800210003		
科目クラスコード	11	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩尾　昌央	岩尾　昌央	

副題

授業概要　線形代数学は，数学における根幹理論の一つであり，自然科学や工学のさまざまな分野へ応用される．本講義では，前期において行列や行列式などに関する基本的な計算方法について学び，後期において固有値問題を中心とする理論体系とその応用について学ぶ．

シラバス

前期（各　90分）：
第　1回（　4月11日）　オリエンテーション
第　2回（　4月18日）　行列の演算と正則性
第　3回（　4月25日）　連立1次方程式と行列のLDU分解
第　4回（　5月　9日）　ガウスの消去法と行列の階数
第　5回（　5月16日）　行列における対等関係
第　6回（　5月23日）　同次方程式の解と行列式
第　7回（　5月30日）　行列式の展開と交代性
第　8回（　6月　6日）　行列式の転置不変性とクラメルの公式
第　9回（　6月13日）　コースナビ等にて学習した内容の点検と確認
第10回（　6月20日）　置換と符号
第11回（　6月27日）　行列式の基本公式
第12回（　7月　4日）　余因子と逆行列
第13回（　7月11日）　基礎体と整数の剰余類
第14回（　7月18日）　同値類と幾何ベクトル
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説

後期（各180分）：
第16回（10月　3日）　幾何ベクトルと数ベクトル
第17回（10月10日）　線形空間の基底と線形独立性
第18回（10月17日）　直和と次元，行列式と線形独立性
第19回（10月24日）　正規直交基底とグラム−シュミットの直交化
第20回（10月31日）　線形写像の像空間と核空間，射影と直交補空間
第21回（11月14日）　線形変換の幾何学的意味，直交変換
第22回（11月21日）　固有値と固有空間
第23回（11月28日）　実対称行列の対角化
第24回（12月　5日）　直線と平面，2次曲線と2次曲面
第25回（12月12日）　補間多項式，最小2乗法
第26回（12月19日）　実対称行列の射影分解，漸化式への応用
第27回（　1月　9日）　正規行列の対角化
第28回（　1月16日）　ジョルダン標準形
第29回（　1月23日）　微分方程式への応用
第30回（日程別途指示）　学力考査および解説

教科書　「工科系　線形代数　（新・工科系の数学TKM-2）」，筧三郎著，数理工学社

参考文献

評価方法　前期学力考査30点満点・後期学力考査50点満点・レポート20点として，合計100点満点とする．獲得点数100点−90点をA+，89点−80点をA，79点−70点をB，69点−60点をCとして，合格とする．59点以下を不合格とする．

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 生医（化学未履修）		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大野　修一		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 応化(1)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	03	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	伊東　裕也		

副題

授業概要　各学科の専門科目を受講するにあたり，数学的なバックグラウンド（微分積分学と線形代数学）は不可欠である．微分積分学は，自然科学を語る「言葉」であり，その意味で現代の科学技術の基礎を支えている．

本講義では，一変数および多変数関数の微分積分学を扱う．具体的には，一変数関数については数列の極限，級数，連続関数，1変数関数の微分，テイラーの定理，初等関数の級数展開，積分，有理関数や簡単な無理関数の積分，広義積分などを学び，多変数関数については偏微分，全微分，多変数合成関数の微分，変数変換と偏微分，極値問題，多変数関数の積分，重積分の変数変換などを学ぶ．また，学科の希望によっては常微分方程式についても2，3回講義する．

シラバス

前学期
第1回（4月 7日） 休講（各自、高校の微積の復習を行う）
第2回（4月14日） 実数
第3回（4月21日） 連続関数
第4回（4月28日） 初等関数
第5回（5月12日） $\varepsilon-\delta$ 論法
第6回（5月19日） 関数の微分
第7回（5月26日） 平均値の定理
第8回（6月 2日） 高次の導関数
第9回（6月 9日） テーラーの定理
第10回（6月16日） テーラーの定理（続）
第11回（6月23日） 定積分と不定積分
第12回（6月30日） 積分の計算
第13回（7月 7日） 広義積分
第14回（7月14日） 区分求積法と定積分の応用
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

後学期
第1回（9月29日） 後学期の内容のガイダンス
第2回（10月 6日） 多変数の関数
第3回（10月13日） 全微分可能性と合成関数の微分
第4回（10月20日） 高次の偏導関数とテーラーの定理
第5回（10月27日） 極値問題
第6回（11月10日） 陰関数の定理
第7回（11月17日） 陰関数の定理（続き）
第8回（11月24日） 重積分
第9回（12月 1日） 重積分の変数変換
第10回（12月 8日） 重積分の応用
第11回（12月15日） 重積分の応用(続き)
第12回（12月22日） 広義の重積分、ベータ関数・ガンマ関数
第13回（1月12日） 面積分と線積分
第14回（1月19日） 面積分と線積分（続き）
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書　三宅 敏恒 著『入門 微分積分』(培風館)

参考文献　金子 晃 著『理数系のための基礎と応用 微分積分I』『〃 II』(サイエンス社)
小林 昭七 著『微分積分読本』『続微分積分読本』(裳華房)

評価方法　レポートと定期試験による．評価は定期試験を重視する．

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 応化(1)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	03	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 応化(2)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	04	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	米田　元		

副題

授業概要　先進理工学部の教養として，また後に専門分野で必要となる知識の準備として，微分積分の基礎的事項を教授する。

シラバス

第01回基本的な関数
第02回関数の極限，連続性
第03回導関数，逆三角関数
第04回逆関数の微分，双曲線関数
第05回対数微分法，高階微分
第06回テイラーの定理とテイラー展開
第07回ロピタルの定理と不定形
第08回不定積分，定積分
第09回積分の変数変換，部分積分
第10回分数関数の積分
第11回三角関数の積分
第12回無理関数の積分
第13回曲線の長さ，図形の面積
第14回広義積分，無限積分
第15回学力考査および解説

第16回多変数関数の極限，連続性，偏微分
第17回勾配ベクトル，曲面の接平面と法線
第18回陰関数
第19回合成関数の偏微分
第20回変数変換と偏微分
第21回高階偏微分とライプニッツの公式
第22回極値問題，条件付き極値問題
第23回重積分の定義，累次積分
第24回重積分の変数変換
第25回広義重積分
第26回体積，曲面積
第27回微分方程式(1)
第28回微分方程式(2)
第29回微分方程式(3)
第30回学力考査および解説

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・平常点

備考　科目の趣旨

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yoneda/mb/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 生医		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	05	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大豆生田　雅一		

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学を扱う。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、1変数関数の微分、テイラーの定理、初等関数の級数展開、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、多変数関数の積分、重積分の変数変換などを学ぶ。また、学科の希望によっては常微分方程式についても2、3回講義する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 化学		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	06	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	伊藤　俊次		

副題

授業概要　微分積分学は、数学のみならず自然科学にとって基礎言語といっても過言ではない。これから学習する多変数の微分積分学の修得が、とりわけ大切な課題となる。本講義は、数IIIをより深くした1変数微分積分学を前期に学習し、後期に多変数のそれへと向かう。

シラバス　授業回数30回 内「学力考査および解説」（定期試験）2回

第 1回（ 4月 7日）数列の極限
第 2回（ 4月14日）関数の極限と連続関数
第 3回（ 4月21日）導関数
第 4回（ 4月28日）高次導関数
第 5回（ 5月12日）平均値の定理
第 6回（ 5月19日）テーラーの定理
第 7回（ 5月26日）マクローリン展開
第 8回（ 6月 2日）微分法の応用
第 9回（ 6月 9日）不定積分
第10回（ 6月16日）有理関数の積分
第11回（ 6月23日）三角関数の積分
第12回（ 6月30日）定積分
第13回（ 7月 7日）広義積分
第14回（ 7月14日）積分の応用
第15回（日程別途指示）学力考査および解説
第16回（9月29日）2変数関数と極限
第17回（10月 6日）偏導関数
第18回（10月13日）全微分
第19回（10月20日）接平面
第20回（10月27日）合成関数の微分とテーラーの定理
第21回（11月10日）陰関数
第22回（11月17日）偏微分の応用：その1
第23回（11月24日）偏微分の応用：その2
第24回（12月 1日）2重積分
第25回（12月 8日）積分の順序交換
第26回（12月15日）2重積分の変数変換
第27回（12月22日）広義積分
第28回（ 1月12日）3重積分
第29回（ 1月19日）重積分の応用
第30回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　未定。

参考文献

評価方法　（定期試験・教場試験・レポートまたは作品・平常点）
平常点と定期試験で評価する（予定）

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分）　電生(1)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	07	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大野　修一		

副題

授業概要　高校でやった「微分積分」をまた履修するのか、といぶかる人もいるかと思いますが、まず、その「やった気分」のなかのいい加減さを埋め、更なる理解を深めます。そして，目的は「多変数」の関数の扱いです。複雑化する現代、一つの結果にいたるには、何万の原因が考えられます。そこで、「線形代数」とともに，多変量の扱いに慣れよう、ということです。

シラバス　教科書の目次に従い、前期は1変数の、極限、微分積分を、
後期は多変数の場合、偏微分、重積分を行う。

1（4・10）オリエンテーション
2（4・17）実数とその性質
3（4・24）数列の極限
4（5・8）極限の計算
5（5・15）関数の極限と連続関数
6（5・22）逆関数
7（5・29）導関数
8（6・5）平均値の定理、Taylorの定理
9（6・12）コースナビなどにて学習した内容の点検と確認
10（6・19）微分の応用
11（6・26）不定積分
12（7・3）積分の計算
13（7・10）定積分、広義積分
14（7・17）積分の応用
15（7・24）学力考査および解説

1（10・2）オリエンテーション（多変数関数）
2（10・9）2変数関数の極限
3（10・16）偏導関数
4（10・23）全微分
5（10・30）合成関数の微分とTaylorの定理
7（11・13）陰関数の微分
8（11・20）偏微分の応用
9（11・27）2重積分
10（12・4）積分の順序交換
11（12・11）広義の2重積分
12（1・8）3重積分
13（1・15）コースナビなどにて学習した内容の点検と確認
14（1・22）応用
15（1・29）学力考査および解説

教科書　高橋　泰嗣、加藤　幹雄：微分積分概論　（サイエンス社）

参考文献

評価方法　定期試験による。

備考　高校でやった、と油断せずに、更なる理解を深めましょう。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 電生(1)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	07	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分）　電生(2)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	08	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　哲男		

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学を扱う。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、1変数関数の微分、テイラーの定理、初等関数の級数展開、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、多変数関数の積分、重積分の変数変換などを学ぶ。また、学科の希望によっては常微分方程式についても2、3回講義する。

シラバス　第1回から第15回（4月から7月）までは一変数の微積分、第16回から第30回(10月から1月)までは多変数の微積分の講義を行う。講義内容は変更することがあります。

1. オリエンテーション、実数とは
2. 関数の極限と連続性
3. 導関数(微分)
4. 逆（三角）関数など
5. 平均値の定理
6. ロピタルの定理、テーラーの定理
7. 関数の級数展開
8. 原始関数と定積分
9. 問題演習とレポート
10. 有理関数の積分
11. いろいろな関数の積分
12. 広義積分
13. 積分の応用
14. 学習内容の点検、質問
15. 定期考査

16. 多変数関数と偏微分
17. 全微分、連鎖律
18. 高次偏導関数
19. テーラーの定理と極値
20. 陰関数定理
21. 条件付極値
22. 問題演習とレポート
23. 重積分の定義
24. 累次積分
25. 変数変換と重積分
26. 広義重積分
27. 3重積分
28. 重積分の応用
29. 学習内容の点検、質問
30. 定期考査

教科書　微分積分の基礎 （寺田文行、中村哲男著）
サイエンス社

参考文献

評価方法　平常点（レポート、小テスト、演習等）および定期考査の成績による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B1（微分積分） 電生(2)		
科目キー	2800210004		
科目クラスコード	08	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　物理		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	14	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　義雄	山田　義雄	

副題　微分積分学入門コース

授業概要　高校で直感的に教えられている連続性や極限の概念を数学的に再構築した後、微分・積分および微分方程式の解法について演習を交えながら講義する.
　前期は主として、実数の基本的性質を講義した後、数列や級数の収束、連続関数の性質、微分可能な関数のTaylor展開、有理型関数の積分、三角関数の積分、広義積分など、1変数関数の微分と積分に関する基本的性質について講義し、演習を通して理解を深める.
　後期は簡単な常微分方程式の初等解法、多変数関数の偏微分、極地問題の解法、多変数関数の積分（重積分）について講義するし、演習を通して理解を深める.
　最終的には、微分積分の演算がスムーズにできることを目指す.

シラバス　【使用教室】
前期　月2　54-203
前期　木2　52-201
後期　月2　54-203
後期　木2　52-203

前期
第1回（4月6日）：自然数、整数、有理数からなる集合とその性質を説明し、集合間の写像、無限集合の概念について講義
第2回（4月9日）：無限集合について可算集合と非可算集合について講義、実数の集合について、可算集合と非可算集合の例を提示
第3回（4月13日）：実数の性質のうち、集合の有界性とともに上限、下限などの定義と説明
第4回（4月16日）：実数の連続性公理とその意味を講義
第5回（4月20日）：数列の極限、単調数列の収束性を講義
第6回（4月23日）：単調数列の収束（演習を含む）
第7回（4月27日）：一般の数列の収束とコーシー（Cauchy）の収束判定条件
第8回（5月7日）：関数の極限と連続性をいろいろな例を交えて講義
第9回（5月11日）：連続関数の性質（連続関数の有界性、最大値（最小値）の存在、中　間値の定理）
第10回（5月14日）：逆関数と逆三角関数の定義を解説
第11回（5月18日）：級数、とくに正項級数の収束とその収束判定法について講義
第12回（5月21日）：正項級数の収束判定法の応用と一般の級数の収束について講義
第13日（5月25日）：数列、級数、連続関数に関する学力考査
第14日（5月28日）：学力考査についての解説
第15回（6月1日）：関数の微分（高校で習った微分の再構築）、微分公式とその応用
第16日（6月4日）：n回微分、ライプニッツの公式とその応用を講義
第17回（6月8日）：合成関数、逆関数の微分について講義
第18回（6月11日）：平均値の定理とコーシーの平均値の定理の解説
第19回（6月15日）：関数のテイラー(Taylor)展開とその意味について講義
第20回（6月18日）：いろいろな関数のテイラー展開（演習を含む）
第21回（6月22日）：関数のマクローリン級数展開（テイラー級数展開）
第22回（6月25日）：微分の応用（その1、不定形の極限とロピタルの定理）
第23回（6月29日）：微分の応用（その2、不等式の証明、グラフ、極値問題）
第24回（7月2日）：定積分の定義と微分積分学の基本定理
第25回（7月6日）：部分積分、置換積分とその応用（演習を含む）
第26回（7月9日）：有理型関数の微分法（演習を含む）
第27回（7月13日）：三角関数を含む有理型関数の積分（演習を含む）
第28回（7月16日）：無理関数を含む有利型関数の積分（積分を含む）
第29回（期日は追って指示）：学力考査とその解説
第30回（学力考査後指示）：CourseN@aviによる解説

後期
第31回（9月28日）：広義積分の定義と計算法について講義
第32回（10月1日）：広義積分の収束・発散判定法とガンマ関数の解説
第33回（10月5日）：微分方程式の具体例と求積法による解法（演習を含む）
第34回（10月8日）：変数分離型の微分方程式の解法と初期値問題について解説

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 物理		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	14	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

第35回（10月12日）：1階線形微分方程式（同次、非同次）方程式と定数変化法の応用
第36回（10月15日）：2階線形微分方程式の解法と独立解の概念の説明
第37回（10月19日）：非同次2階線形微分方程式と定数変化法による解法の解説
第38回（10月26日）：積分と微分方程式に関する学力考査と解説
第39回（10月29日）：多変数関数の極限と連続性、1変数関数との相違を丁寧に解説
第40回（11月2日）：偏微分の定義とその意味、いろいろな関数の偏微分（演習）
第41回（11月5日）：多変数関数の微分可能性と合成関数の偏微分について講義
第42回（11月9日）：座標変換（回転座標、極座標）と関数の偏微分の関係について講義と演習
第43回（11月12日）：多変数関数に対するテイラーの定理の解説
第44回（11月16日）：偏微分の応用として2変数関数の極値問題について講義
第45回（11月19日）：2変数関数の極値問題に関する極値判定法の講義とその応用（演習を含む）
第46回（11月23日）：2変数関数に関する極値問題の応用
第47回（11月26日）：陰関数定理と条件付き極値問題について講義
第48回（11月30日）：3変数以上の関数に対する偏微分と極値問題について講義
第49回（12月3日）：偏微分に関する学力考査とその解説
第50回（12月7日）：長方形領域での重積分の定義と関数の可積分性について講義
第51回（12月10日）：一般の領域での重積分の定義と関数の可積分性について講義
第52回（12月14日）：2重積分と逐次積分による積分計算法の解説
第53回（12月17日）：逐次積分による2重積分の演習
第54回（12月21日）：2重積分と積分の変数変換（演習を含む）
第55回（2010年1月7日）：3重積分の定義と逐次積分による積分の計算法の解説
第56回（1月14日）：3重積分と積分の変数変換（演習を含む）
第57回（1月18日）：いろいろな立体図形の体積の計算法を解説（演習を含む）
第58回（1月21日）：重積分における広義積分を講義
第59回（期日は追って指示）：学力考査とその解説（学力考査後指示）
第60回（学力考査後指示）：CourseN@aviによる解説

教科書　鈴木武，山田義雄，柴田良弘，田中和永　著
理工系のための「微分積分I，II」（内田老鶴圃）
および
「微分積分　問題と解説I,II」（内田老鶴圃）

参考文献

評価方法　1．前期、後期最終回での学力考査
2．前期、後期中間時点での学力考査（1または2回）
3．平常点(授業中の演習問題の解答状況）
により総合的に評価する．

備考　講義の理解を深めるためにテーマごとにできる限り多くの演習問題を課す．成績評価にあたっては試験の成績だけでなく、講義の中で出題する演習問題の解答状況も重視する．

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yamada/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　物理		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	14	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　義雄	山田　義雄	

副題　微分積分学入門コース

授業概要　高校で直感的に教えられている連続性や極限の概念を数学的に再構築した後、微分・積分および微分方程式の解法について演習を交えながら講義する.
　前期は主として、実数の基本的性質を講義した後、数列や級数の収束、連続関数の性質、微分可能な関数のTaylor展開、有理型関数の積分、三角関数の積分、広義積分など、１変数関数の微分と積分に関する基本的性質について講義し、演習を通して理解を深める.
　後期は簡単な常微分方程式の初等解法、多変数関数の偏微分、極地問題の解法、多変数関数の積分（重積分）について講義するし、演習を通して理解を深める.
　最終的には、微分積分の演算がスムーズにできることを目指す.

シラバス　【使用教室】
前期　月2　54-203
前期　木2　52-201
後期　月2　54-203
後期　木2　52-203

前期
第1回（4月6日）：自然数、整数、有理数からなる集合とその性質を説明し、集合間の写像、無限集合の概念について講義
第2回（4月9日）：無限集合について可算集合と非可算集合について講義、実数の集合について、可算集合と非可算集合の例を提示
第3回（4月13日）：実数の性質のうち、集合の有界性とともに上限、下限などの定義と説明
第4回（4月16日）：実数の連続性公理とその意味を講義
第5回（4月20日）：数列の極限、単調数列の収束性を講義
第6回（4月23日）：単調数列の収束（演習を含む）
第7回（4月27日）：一般の数列の収束とコーシー（Cauchy）の収束判定条件
第8回（5月7日）：関数の極限と連続性をいろいろな例を交えて講義
第9回（5月11日）：連続関数の性質（連続関数の有界性、最大値（最小値）の存在、中　間値の定理）
第10回（5月14日）：逆関数と逆三角関数の定義を解説
第11回（5月18日）：級数、とくに正項級数の収束とその収束判定法について講義
第12回（5月21日）：正項級数の収束判定法の応用と一般の級数の収束について講義
第13日（5月25日）：数列、級数、連続関数に関する学力考査
第14日（5月28日）：学力考査についての解説
第15回（6月1日）：関数の微分（高校で習った微分の再構築）、微分公式とその応用
第16日（6月4日）：n回微分、ライプニッツの公式とその応用を講義
第17回（6月8日）：合成関数、逆関数の微分について講義
第18回（6月11日）：平均値の定理とコーシーの平均値の定理の解説
第19回（6月15日）：関数のテイラー(Taylor)展開とその意味について講義
第20回（6月18日）：いろいろな関数のテイラー展開（演習を含む）
第21回（6月22日）：関数のマクローリン級数展開（テイラー級数展開）
第22回（6月25日）：微分の応用（その1、不定形の極限とロピタルの定理）
第23回（6月29日）：微分の応用（その2、不等式の証明、グラフ、極値問題）
第24回（7月2日）：定積分の定義と微分積分学の基本定理
第25回（7月6日）：部分積分、置換積分とその応用（演習を含む）
第26回（7月9日）：有理型関数の微分法（演習を含む）
第27回（7月13日）：三角関数を含む有理型関数の積分（演習を含む）
第28回（7月16日）：無理関数を含む有利型関数の積分（積分を含む）
第29回（期日は追って指示）：学力考査とその解説
第30回（学力考査後指示）：CourseN@aviによる解説

後期
第31回（9月28日）：広義積分の定義と計算法について講義
第32回（10月1日）：広義積分の収束・発散判定法とガンマ関数の解説
第33回（10月5日）：微分方程式の具体例と求積法による解法（演習を含む）
第34回（10月8日）：変数分離型の微分方程式の解法と初期値問題について解説

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　物理		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	14	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　義雄	山田　義雄	

第35回（10月12日）：1階線形微分方程式（同次、非同次）方程式と定数変化法の応用
第36回（10月15日）：2階線形微分方程式の解法と独立解の概念の説明
第37回（10月19日）：非同次2階線形微分方程式と定数変化法による解法の解説
第38回（10月26日）：積分と微分方程式に関する学力考査と解説
第39回（10月29日）：多変数関数の極限と連続性、1変数関数との相違を丁寧に解説
第40回（11月2日）：偏微分の定義とその意味、いろいろな関数の偏微分（演習）
第41回（11月5日）：多変数関数の微分可能性と合成関数の偏微分について講義
第42回（11月9日）：座標変換（回転座標、極座標）と関数の偏微分の関係について講義と演習
第43回（11月12日）：多変数関数に対するテイラーの定理の解説
第44回（11月16日）：偏微分の応用として2変数関数の極値問題について講義
第45回（11月19日）：2変数関数の極値問題に関する極値判定法の講義とその応用（演習を含む）
第46回（11月23日）：2変数関数に関する極値問題の応用
第47回（11月26日）：陰関数定理と条件付き極値問題について講義
第48回（11月30日）：3変数以上の関数に対する偏微分と極値問題について講義
第49回（12月3日）：偏微分に関する学力考査とその解説
第50回（12月7日）：長方形領域での重積分の定義と関数の可積分性について講義
第51回（12月10日）：一般の領域での重積分の定義と関数の可積分性について講義
第52回（12月14日）：2重積分と逐次積分による積分計算法の解説
第53回（12月17日）：逐次積分による2重積分の演習
第54回（12月21日）：2重積分と積分の変数変換（演習を含む）
第55回（2010年1月7日）：3重積分の定義と逐次積分による積分の計算法の解説
第56回（1月14日）：3重積分と積分の変数変換（演習を含む）
第57回（1月18日）：いろいろな立体図形の体積の計算法を解説（演習を含む）
第58回（1月21日）：重積分における広義積分を講義
第59回（期日は追って指示）：学力考査とその解説（学力考査後指示）
第60回（学力考査後指示）：CourseN@aviによる解説

教科書　鈴木武，山田義雄，柴田良弘，田中和永　著
理工系のための「微分積分I，II」（内田老鶴圃）
および
「微分積分　問題と解説I,II」（内田老鶴圃）

参考文献

評価方法　1．前期、後期最終回での学力考査
2．前期、後期中間時点での学力考査（1または2回）
3．平常点(授業中の演習問題の解答状況）
により総合的に評価する．

備考　講義の理解を深めるためにテーマごとにできる限り多くの演習問題を課す．成績評価にあたっては試験の成績だけでなく、講義の中で出題する演習問題の解答状況も重視する．

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yamada/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 応物		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	15	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山崎　昌男	山崎　昌男	

副題

授業概要　高等学校で初歩を学んだ微分積分について学ぶ。前期は、独立変数が1個の場合に、高等学校で学んでいない関数や計算方を取り扱うとともに、具体的に値の計算できない積分等を考察する際に必要となる理論的な基礎付けを行う。後期は高等学校で学んでいない、独立変数が2個以上の場合の微分と積分を学ぶ。

シラバス

(1) 数列の収束
(2) 実数の連続性
(3) 収束の判定
(4) 連続関数
(5) 中間値の定理、最大値の定理
(6) 関数の微分
(7) 種々の関数の微分
(8) 平均値の定理
(9) 逆関数、逆三角関数
(10) 対数関数、指数関数
(11) 対数微分法
(12) 高階の導関数
(13) Taylorの定理
(14) Taylorの定理の具体例
(15) 中間試験及び補遺
(16) 級数の収束
(17) べき級数の収束半径
(18) 複素数に対する指数関数、三角関数
(19) 双曲線関数
(20) 不定積分
(21) 不定積分の計算法
(22) 関数の一様連続性
(23) 定積分の定義
(24) 定積分の計算法
(25) 定積分の応用
(26) 広義積分
(27) 広義積分の計算法
(28) 広義積分で定義される関数
(29) 常微分方程式
(30) 学期末試験及び補遺
(31) 2変数関数のグラフ
(32) Euclid空間の位相
(33) 偏微分と全微分
(34) 合成関数の微分
(35) 高階の偏微分
(36) 多変数版のTaylorの定理
(37) 極値と臨界点
(38) 極大、極小の判定
(39) 極値問題の具体例
(40) 陰関数定理
(41) 陰関数定理の応用
(42) 逆写像定理
(43) 条件付き極値問題
(44) 条件付き極値問題の具体例
(45) 中間試験及び補遺
(46) 重積分の定義
(47) 重積分の存在定理
(48) 重積分と累次積分
(49) 重積分の変数変換
(50) 重積分の計算法

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 応物		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	15	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

---

(51) 線積分
(52) 線積分の計算法
(53) Greenの定理
(54) 面積分
(55) 面積分の計算法
(56) Gaussの発散定理
(57) Stokesの定理
(58) Fourier級数
(59) Fourier級数の応用
(60) 学年末試験及び補遺

教科書　中尾愼宏「微分積分学」、近代科学社、1987

参考文献

評価方法　期末試験、教場試験、レポート等による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 応物		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	15	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山崎　昌男	山崎　昌男	

副題

授業概要　高等学校で初歩を学んだ微分積分について学ぶ。前期は、独立変数が1個の場合に、高等学校で学んでいない関数や計算方を取り扱うとともに、具体的に値の計算できない積分等を考察する際に必要となる理論的な基礎付けを行う。後期は高等学校で学んでいない、独立変数が2個以上の場合の微分と積分を学ぶ。

シラバス

(1) 数列の収束
(2) 実数の連続性
(3) 収束の判定
(4) 連続関数
(5) 中間値の定理、最大値の定理
(6) 関数の微分
(7) 種々の関数の微分
(8) 平均値の定理
(9) 逆関数、逆三角関数
(10) 対数関数、指数関数
(11) 対数微分法
(12) 高階の導関数
(13) Taylorの定理
(14) Taylorの定理の具体例
(15) 中間試験及び補遺
(16) 級数の収束
(17) べき級数の収束半径
(18) 複素数に対する指数関数、三角関数
(19) 双曲線関数
(20) 不定積分
(21) 不定積分の計算法
(22) 関数の一様連続性
(23) 定積分の定義
(24) 定積分の計算法
(25) 定積分の応用
(26) 広義積分
(27) 広義積分の計算法
(28) 広義積分で定義される関数
(29) 常微分方程式
(30) 学期末試験及び補遺
(31) 2変数関数のグラフ
(32) Euclid空間の位相
(33) 偏微分と全微分
(34) 合成関数の微分
(35) 高階の偏微分
(36) 多変数版のTaylorの定理
(37) 極値と臨界点
(38) 極大、極小の判定
(39) 極値問題の具体例
(40) 陰関数定理
(41) 陰関数定理の応用
(42) 逆写像定理
(43) 条件付き極値問題
(44) 条件付き極値問題の具体例
(45) 中間試験及び補遺
(46) 重積分の定義
(47) 重積分の存在定理
(48) 重積分と累次積分
(49) 重積分の変数変換
(50) 重積分の計算法

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 応物		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	15	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山崎　昌男	山崎　昌男	

---

(51) 線積分
(52) 線積分の計算法
(53) Greenの定理
(54) 面積分
(55) 面積分の計算法
(56) Gaussの発散定理
(57) Stokesの定理
(58) Fourier級数
(59) Fourier級数の応用
(60) 学年末試験及び補遺

教科書　中尾愼宏「微分積分学」、近代科学社、1987

参考文献

評価方法　期末試験、教場試験、レポート等による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 外国学生		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	16	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	本間　泰史	本間　泰史	

副題

授業概要　一変数微分積分学と多変数微分積分学を基礎から応用まで学習する.
また, 講義内容への理解を深めるために, 随時, 演習を行う.

シラバス
(1)4/6,7 オリエンテーション・実数の連続性
(2)4/13,14　数列の極限
(3)4/20, 21　級数
(4)4/27, 28　関数の極限と連続性
(5)5/11,12　初等関数
(6)5/18,19　関数の微分
(7)5/25, 26　逆関数
(8)6/1,2　テーラー展開
(9)6/8, 9　微分の応用
(10) 6/15,16　演習と授業理解の確認
(11)6/22,23　一変数関数の積分
(12)6/29,30　不定積分
(13)7/6,7　広義積分と応用
(14)7/13,14　関数列の一様収束と項別微分・積分
(15)（日程別途指示） 学力考査, その解説
(16)9/28,29　多変数関数の極限と連続性
(17)10/5,6　多変数関数の微分1
(18)10/12,13　多変数関数の微分2
(19)10/19,20　テーラー展開
(20)10/26,27　極大極小陰関数定理と逆関数定理
(21)11/2,9　　陰関数定理と逆関数定理
(22)11/10,16　演習と授業理解の確認
(23)11/17,23　多重積分
(24)11/24,30　変数変換
(25)12/1,7　積分の演習
(26)12/8,14　広義積分
(27)12/15,21　線積分と応用
(28)12/22,1/12　微分方程式入門1
(29) 1/18,1/19 微分方程式入門2
(30)（日程別途指示） 学力考査, その解説

教科書　「微分積分学概論」越昭三　監修　高橋泰嗣・加藤幹雄　共著　サイエンス社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート・出席数

備考　演習問題や講義の情報をコースナビCourseN@viに載せるので, こまめにチェックすること.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 外国学生		
科目キー	2800210005		
科目クラスコード	16	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	本間　泰史	本間　泰史	

副題

授業概要　一変数微分積分学と多変数微分積分学を基礎から応用まで学習する.
また, 講義内容への理解を深めるために, 随時, 演習を行う.

シラバス
(1)4/6,7 オリエンテーション・実数の連続性
(2)4/13,14　数列の極限
(3)4/20, 21　級数
(4)4/27, 28　関数の極限と連続性
(5)5/11,12　初等関数
(6)5/18,19　関数の微分
(7)5/25, 26　逆関数
(8)6/1,2　テーラー展開
(9)6/8, 9　微分の応用
(10) 6/15,16　演習と授業理解の確認
(11)6/22,23　一変数関数の積分
(12)6/29,30　不定積分
(13)7/6,7　広義積分と応用
(14)7/13,14　関数列の一様収束と項別微分・積分
(15)（日程別途指示）学力考査, その解説
(16)9/28,29　多変数関数の極限と連続性
(17)10/5,6　多変数関数の微分1
(18)10/12,13　多変数関数の微分2
(19)10/19,20　テーラー展開
(20)10/26,27　極大極小陰関数定理と逆関数定理
(21)11/2,9　　陰関数定理と逆関数定理
(22)11/10,16　演習と授業理解の確認
(23)11/17,23　多重積分
(24)11/24,30　変数変換
(25)12/1,7　積分の演習
(26)12/8,14　広義積分
(27)12/15,21　線積分と応用
(28)12/22,1/12　微分方程式入門1
(29) 1/18,1/19 微分方程式入門2
(30)（日程別途指示）　学力考査, その解説

教科書　「微分積分学概論」越昭三　監修　高橋泰嗣・加藤幹雄　共著　サイエンス社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート・出席数

備考　演習問題や講義の情報をコースナビCourseN@viに載せるので, こまめにチェックすること.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学C（ベクトル解析） 化学		
科目キー	2800210006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	室谷　義昭		

副題

授業概要　関数としてのベクトルを対象にベクトルの微分や積分を考え、多変数関数の微分、積分に伴う幾何的概観を把握することを目指す。具体的には、ベクトルの基本的性質、ベクトルの微分、曲線（曲線のベクトル表現、接線、法線）、線積分、グリーンの定理とその応用, 曲面（曲面のベクトル表現、面積、曲率）、面積分、スカラー場とベクトル場、ベクトル場の勾配、発散、回転、ベクトル場における微分演算の関係式、ガウスの発散定理とその応用、ストークスの定理とその応用を学ぶ。

シラバス

1. ベクトルの基本的な性質
　スカラー積、ベクトル積、ベクトルの3重積、座標変換

2. ベクトルの微分
　運動、微分と積分、回転操作

3. 曲線
　平面曲線、空間曲線

4. 曲面
　曲面の例、線素、面積要素、法線、曲面上の曲線、主曲率

5. ベクトルの場
　勾配、発散、回転、微分演算と電磁場、座標変換に不変なスカラーとベクトル、　テンソル

6. ベクトル場の積分定理
　線積分、ガウスの定理、面積分、ガウスの定理、ストークスの定理

授業回数15回　内「学力考査および解説」（定期試験）1回

第　1回（　4月　8日）ベクトルの基本的な性質
第　2回（　4月15日）ベクトルの微分
第　3回（　4月22日）曲線
第　4回（　4月29日）空間曲線
第　5回（　5月13日）曲面
第　6回（　5月20日）第一基本量
第　7回（　5月27日）曲面上の曲線
第　8回（　6月　3日）演習問題
第　9回（　6月10日）ベクトルの場
第10回（　6月17日）ベクトルの場の応用
第11回（　6月24日）座標変換とスカラーとベクトル
第12回（　7月　1日）ガウスの定理
第13回（　7月　8日）ストークスの定理
第14回（　7月15日）復習と応用
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　戸田盛和・広田良吾・和達三樹編
「ベクトル解析」（岩波書店）

参考文献

評価方法　平常点と試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学C（ベクトル解析） 化学		
科目キー	2800210006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学C（ベクトル解析） 電生1		
科目キー	2800210006		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	鈴木　武		

副題

授業概要　曲線、曲面、陰関数定理の説明から始まり、関数の線積分、面積分の概念を述べる。引き続きグリーンの定理、ガウスの発散定理、ストークスの定理を述べる。またこれらの定理の応用について述べる。

シラバス

1. ベクトル値写像とその微分
2. 平面、空間における曲線、曲面
3. 陰関数定理について
4. ベクトルの外積
5. 曲面の曲面積
6. 関数の線積分、面積分
7. ベクトル値関数の線積分、面積分
8. 向き付けられた曲線に沿った線積分
9. グリーンの定理
10. ガウスの発散定理
11. ストークスの定理
12. ガウスの発散定理、ストークスの定理の応用1
13. ガウスの発散定理、ストークスの定理の応用2
14. n次元空間におけるガウスの発散定理
15. 学力考査及び解説

教科書　鈴木武・山田義雄・柴田良弘・田中和永　共著：理工系のための微分積分2　、　内田老鶴圃

参考文献　鈴木武・山田義雄・柴田良弘・田中和永　共著：理工系のための微分積分一問題と解説2、内田老鶴圃

評価方法　定期試験、レポート、出席

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学C（ベクトル解析） 電生2		
科目キー	2800210006		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村上　順		

副題　ベクトル解析の基礎

授業概要　ベクトル解析の基礎を学ぶ

シラバス
1回目　多変数関数と偏微分の復習
2回目　ベクトル空間
3回目　内積と外積
4回目　座標と場
5回目　ベクトル値関数
6回目　線積分
7回目　面積分
8回目　体積分
9回目　ここまでのまとめと復習
10回目　場の微分演算（2次元）
11回目　場の微分演算（3次元）
13回目　様々な座標系
14回目　積分公式
15回目　学力考査とその解説

教科書　ベクトル解析入門　小林亮／高橋大輔 著　東京大学出版会

参考文献

評価方法　出席，試験等による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学D（微分方程式） 化学		
科目キー	2800210007		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	郡　敏昭		

副題

授業概要　微分方程式の基礎となる1階常微分方程式や定数係数線形微分方程式の解法, および, 簡単な偏微分方程式(熱方程式, 波動方程式,)の初期境界値問題に対するフーリエの解法, を学習する.

シラバス
(1)微分方程式とは？
(2)求積法
(3)線形微分方程式
(4)フーリエ級数
(5)熱方程式
(6)境界値問題・グリーン関数
(7)波動方程式
(8)ラプラス変換とその応用

教科書　演習プリントを配布して講義を行う.

参考文献
参考書:
「新版 微分方程式入門」(古屋茂著, サイエンス社)
「工科系の数学5: 常微分方程式, 7: フーリエ解析, 8: 偏微分方程式, 変分法」(マイベルグ/ファヘンアウア著, 及川正行訳, サイエンス社)
その他

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学D(微分方程式)　電生1		
科目キー	2800210007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	長坂　浩史		

副題

授業概要　1階常微分方程式、定数係数線形微分方程式を中心に常微分方程式の解法、初期値問題、境界値問題を学ぶ。具体的には、常微分方程式の紹介、1階微分方程式の解法、2階線形微分方程式(定数係数)の解法、高階線形微分方程式、1階連立線形微分方程式系、いろいろな微分方程式、常微分方程式の境界値問題、固有値問題、ラプラス変換と微分方程式などについて学習する。また、学科の希望によりフーリエ級数、偏微分方程式の紹介(熱方程式、波動方程式など)とその解法についても講義する。

授業のねらい:

微分方程式は連続量の変化の様相を記述する方程式として、自然科学・工学・経済学などの様々な場面で用いられる。 この講義では 具体的な応用例を意識しつつ、汎用性のある基本的な考え方と解法を わかりやすく解説したいと思っている。また種々の形式的とも言える解法を保証する諸定理についても、時間の許す範囲でその要点を説明したいと思う(; これは単に精神衛生のためでなく、まとまった記憶を定着させる意図がある。指定教科書は、どちらかと言えば問題解法の紹介を主眼として 多くの内容をコンパクトにまとめた形になっている。講義は概ね教科書の順序に沿って行うが、解法の背景を説明することにも気を配りたい。)

シラバス　授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回

1. 基礎概念(方程式の分類, 解の分類,「微分方程式を解く」とは)

2. 基礎概念(解のグラフとベクトル場・方向場, 解の存在・一意性について)

3. 1階常微分方程式(変数分離形 及びそれに帰着可能な方程式)

4. 1階常微分方程式(1階線形 及びそれに帰着可能な方程式)

5. 1階常微分方程式(全微分方程式)

6. 求積可能な1階方程式に帰着できる2階常微分方程式

7. 線形常微分方程式(解空間の構造, 定数係数2階同次方程式)

8. 線形常微分方程式(高階の定数係数同次方程式, 微分作用素)

9. 線形常微分方程式(非同次方程式の解法)

10. 線形常微分方程式(特殊な形の変数係数方程式)

11. 連立線形常微分方程式(定数係数同次線形系の基本解行列, 行列値指数関数)

12. 連立線形常微分方程式(非同次方程式の解法)

13. フーリエ級数と偏微分方程式の初歩(フーリエ級数, 固有値問題)

14. フーリエ級数と偏微分方程式の初歩(典型的な初期値境界値問題)

15. 学力考査および解説

教科書　応用微分方程式 改訂版 (藤本淳夫 著, 培風館)

参考文献　適宜指定

評価方法　定期試験＋α(演習・小テスト等)

備考　履修上の注意:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学D（微分方程式） 電生1		
科目キー	2800210007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

数学A(線型代数), 数学B(微分積分)の内容に不安がある人は、簡単に復習をしておくこと。（ざっとでよい。重要な定義・定理が、ノートあるいは使用したテキストのどのあたりに記述してあったか、必要に応じて探し当てられるようにしておく。講義で言及したときに、おおよその見当がつけられるように。）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学D（微分方程式） 電生2		
科目キー	2800210007		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	福島　延久		

副題

授業概要

物理現象は全て微分方程式によって記述されると言っても過言ではない. 物体の運動や電気磁気学で学ぶ電界や磁界の振舞い, および, 電気回路における電圧と電流の関係なども微分方程式で表すことができる. 数学は人間が生み出した最も優れた考えるための道具であり, その中でも微分方程式は物理現象を応用する工学の分野においては最も重要な道具の一つである.
本講義では, 微分方程式の基礎となる1階常微分方程式や定数係数線形微分方程式の解法, および, 簡単な偏微分方程式(熱方程式, 波動方程式, ラプラス方程式)の初期境界値問題に対するフーリエの解法, を中心テーマとして学習する.

シラバス

第　1回（ 4月　8日） 微分方程式とは？ [現象のモデル化、一般解、特殊解]
第　2回（ 4月15日） 1階常微分方程式の解法（その1） [変数分離形、同次形]
第　3回（ 4月22日） 1階常微分方程式の解法（その2） [基本定理(存在と一意性)]
第　4回（ 4月29日） 1階常微分方程式の解法（その3） [完全形、解曲線]
第　5回（ 5月13日） 1階線形微分方程式の解法 [定数変化法]
第　6回（ 5月20日） 線形微分方程式（その1） [解空間の構造]
第　7回（ 5月27日） 線形微分方程式（その2） [解空間の構造(つづき)、基本解]
第　8回（ 6月　3日） 線形微分方程式（その3） [超幾何微分方程式、超幾何級数]
第　9回（ 6月10日） 演算子法（その1） [演算子、逆演算子]
第10回（ 6月17日） 演算子法（その2） [応用、オイラーの微分方程式]
第11回（ 6月24日） 連立微分方程式 [行列の指数関数、固有値、対角化]
第12回（ 7月　1日） 偏微分方程式とフーリエの解法（その1） [フーリエ級数]
第13回（ 7月　8日） 偏微分方程式とフーリエの解法（その2）
[熱方程式の初期境界値問題]
第14回（ 7月15日） 偏微分方程式とフーリエの解法（その3）
[波動方程式の初期境界値問題]
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書

演習プリントを配布して講義を行う.

参考書:
「新版 微分方程式入門」(古屋茂著, サイエンス社)
「工科系の数学5: 常微分方程式, 7: フーリエ解析, 8: 偏微分方程式, 変分法」(マイベルグ/ファヘンアウア著, 及川正行訳, サイエンス社)

参考文献

評価方法

定期試験

備考

数学A(線形代数, とくにベクトル空間・部分空間・次元・基底の概念, 行列の固有値問題),
数学B(微分積分, とくに初等関数のTaylor展開, 不定積分の計算[部分積分・置換積分を含む]),
の復習をしっかりしておくこと.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学E(関数論)　化学		
科目キー	2800210008		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	室谷　義昭		

副題

授業概要　初等関数をはじめとする多くの関数は、変数が複素数にまで拡げられたとき初めて本質的な姿が明らかになる。このような複素関数の微分積分の基本的理論とその応用を学ぶ。とりわけ理工学分野で重要な留数定理を自在に応用できることを目指す。具体的には、複素数と複素平面、複素変数の初等関数、コーシー・リーマンの関係式、正則関数、級数関数の基本的性質、複素積分、正則関数の基本的性質(コーシーの積分定理など)、有理型関数の性質(級数展開)、留数定理と積分計算への応用を学ぶ。

シラバス

1. 複素数と複素平面

2. 複素変数の初等関数

3. 複素関数の微分

4. 一次分数関数と等角写像

5. 複素積分

6. 級数展開と留数定理の応用

授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回

第　1回(　9月29日)複素数と複素平面
第　2回(10月　6日)演習問題1
第　3回(10月13日)複素変数の初等関数
第　4回(10月20日)演習問題2
第　5回(10月27日)複素関数の微分
第　6回(11月10日)演習問題3
第　7回(11月17日)一次分数関数と等角写像

第　8回(11月24日)演習問題4
第　9回(12月　1日)複素積分
第10回(12月　8日)演習問題5
第11回(12月15日)級数展開と留数定理
第12回(12月22日)留数定理の応用
第13回(　1月12日)　　演習問題6
第14回(　1月19日)追補
第15回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　林　一道著「初等関数論」(裳華房)

参考文献

評価方法　平常点と試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学E(関数論)　電生1		
科目キー	2800210008		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	長坂　浩史		

副題

授業概要　複素関数論の基本理論とその応用について講義する。

複素関数論は、自然科学や工学で用いられる様々な数学の基盤となっている。また高校以来なじみの深い初等関数は、変数が複素数まで拡げられて初めて本質が明らかになる。　講義は、初等関数の複素変数関数への拡張をはじめとして、扱われる概念や計算の意味をていねいに確認しながら進める（扱う内容については「シラバス(授業計画)」欄を参照 ）。「複素微分可能」「正則」という性質の強さ(＝ 実関数の微分可能性との違い ＆ 導かれる結果の豊富さ)について、まとまったイメージを得ること、その延長線上で、理工学への応用上重要な留数定理等についても イメージをともないつつ安心して使用できるようになることを目標とする。

部分的に、指定した教科書にない話や異なる論理展開になるところ、また逆に時間の都合上、講義ではとばす章があったりするが、必ず対応を説明をするので、講義ノートと教科書は互いに補完するものと思って理解を深めてください。

シラバス　授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回

1. 複素数と複素平面(複素数の導入，ベクトル・行列としての複素数，n乗根)

2. 複素数の極限(平面の位相，数列・級数の基本性質)，拡大複素平面

3. 複素関数(極限，連続性，微分)，整級数の基本性質

4. 初等関数(指数関数，三角関数)

5. 初等関数(対数関数，複素累乗，逆三角関数)

6. 複素関数の微分(対応する写像の微分可能性，等角性，コーシー・リーマンの関係式)

7. 複素関数の微分(正則関数，正則性の判定，調和関数)

8. 複素積分(複素線積分の定義，定義から導かれる基本性質)

9. コーシーの積分定理，原始関数，閉曲線の回転数

10. コーシーの積分公式(正則関数の積分表示)，整級数展開

11. コーシーの積分公式(導関数の積分表示，一般閉曲線に関する積分表示)

12. 孤立特異点(ローラン展開，特異点付近での関数の挙動)

13. 留数定理，∞に関するローラン展開・留数

14. 留数定理の応用(実定積分の計算など)

15. 学力考査および解説

教科書　初等関数論(改訂版)(林　一道 著，裳華房)

参考文献　適宜指定

評価方法　定期試験＋α(演習・小テスト等)

備考　履修上の注意：教科書の第1章(複素数と複素平面)には、軽く目を通しておくこと

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学E(関数論)　電生1		
科目キー	2800210008		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学E(関数論)　電生2		
科目キー	2800210008		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	福島　延久		

副題

授業概要　理工学の各専門分野においては, 級数や積分, 微分方程式などを通じて, これまで出会った以上に多くの面白い関数が登場し豊かな世界が開けてゆく. そしてこれら多くの関数は, 「複素変数の関数」=「複素関数」と考えたときにはじめてその本当の姿を明らかにする.
この講義では, 「複素関数論」=「複素関数に対する微分積分の理論, さまざまな関数を自在に解析する基本的手段」の, 基本理論およびその応用について解説する.

シラバス
第　1回(　9月30日)　複素数と複素平面(その1) [複素平面、極形式、複素数の幾何]
第　2回(10月　7日)　複素数と複素平面(その2) [無限遠点とリーマン球面]
第　3回(10月14日)　複素数と複素平面(その3) [複素級数、オイラーの公式]
第　4回(10月28日)　正則関数(その1)
[微分可能性、コーシー-リーマンの関係式(C-R)]
第　5回(11月　4日)　正則関数(その2) [調和関数、C-Rによる正則関数の構成]
第　6回(11月11日)　初等関数(その1) [収束べき級数、指数関数]
第　7回(11月18日)　初等関数(その2) [三角関数、解析関数、解析接続]
第　8回(11月25日)　初等関数(その3) [対数関数、累乗関数]
第　9回(12月　2日)　複素積分(その1) [複素平面上の曲線、複素積分の定義]
第10回(12月　9日)　複素積分(その2) [コーシーの積分定理、積分路変形の原理]
第11回(12月16日)　複素積分(その3) [(孤立)特異点、コーシーの積分公式]
第12回(　1月　6日)　留数定理(その1)
[正則関数のテーラー展開、特異点におけるローラン展開]
第13回(　1月13日)　留数定理(その2) [留数定理]
第14回(　1月20日)　留数定理(その3) [応用(実定積分の計算)]
第15回(日程別途指示)　学力考査および解説

教科書　教科書:「初等関数論(改訂版)」(林一道著, 裳華房)

参考書:「工科系の数学6: 関数論」(マイベルグ/ファヘンアウア著, 及川正行訳, サイエンス社)

参考文献

評価方法　定期試験

備考　教科書第1章「複素数と複素平面」は各自で予習しておくこと.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Fundamental Mathematics		
科目キー	2800210009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Synopsis: The first part of the course provides an introduction to university level mathematics and problem solving. The second part of the course focuses on the basics of complex numbers (geometry and algebra). Throughout, the mathematical theory is placed in a historical context. This course is taught in English.

シラバス

第 1回(4月 9日)Orientation/Overview
第 2回(4月 16日)Basic set theory
第 3回(4月 23日)Inequalities
第 4回(5月 7日)Basic logic
第 5回(5月 14日)Direct and indirect proof
第 6回(5月 21日)Induction
第 7回(5月 28日)Sequences and series 1
第 8回(6月 4日)Sequences and series 2
第 9回(6月 11日)Plane curves
第10回(6月 18日)Polar coordinates
第11回(6月 25日)Complex numbers 1
第12回(7月 2日)Complex numbers 2
第13回(7月 9日)Complex numbers 3
第14回(7月 16日)Review class
第15回(日程別途指示) EXAMINATION

教科書

参考文献

評価方法

Evaluation: Coursework 30%
Exam 70%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Mathematics A		
科目キー	2800210010		
科目クラスコード	01	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Synopsis: This is an introductory linear algebra course for first year students. It begins with a review of basic vector and matrix algebra, and then introduces the fundamental concepts of linear algebra (solutions of systems, linear transformations, eigenvalues and eigenvectors, etc.) through a combined geometrical-algebraic approach. This course is taught in English.

シラバス

第 1回(4月10日)Orientation/Overview
第 2回(4月17日)Introduction to vector/matrix algebra
第 3回(4月24日)Equations of lines and planes
第 4回(5月8日)Solutions of linear equations
第 5回(5月15日)Determinants
第 6回(5月22日)Linear transformations 1
第 7回(5月29日)Linear transformations 2
第 8回(6月 5日)Orthogonality 1
第 9回(6月12日)Student-review of course material
第10回(6月19日)Orthogonality 2
第11回(6月26日)Eigenvalues-Eigenvectors 1
第12回(7月3日)Eigenvalues-Eigenvectors 2
第13回(7月10日)Quadratic forms and conics
第14回(7月17日)Review class
第15回(別途日程指示)EXAMINATION

教科書

参考文献

評価方法

Evaluation: Coursework 30%
Exam 70%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Mathematics A		
科目キー	2800210010		
科目クラスコード	01	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Synopsis: This is an introductory linear algebra course for first year students. It begins with a review of basic vector and matrix algebra, and then introduces the fundamental concepts of linear algebra (solutions of systems, linear transformations, eigenvalues and eigenvectors, etc.) through a combined geometrical-algebraic approach. This course is taught in English.

シラバス

第 1回(4月10日)Orientation/Overview
第 2回(4月17日)Introduction to vector/matrix algebra
第 3回(4月24日)Equations of lines and planes
第 4回(5月8日)Solutions of linear equations
第 5回(5月15日)Determinants
第 6回(5月22日)Linear transformations 1
第 7回(5月29日)Linear transformations 2
第 8回(6月 5日)Orthogonality 1
第 9回(6月12日)Student-review of course material
第10回(6月19日)Orthogonality 2
第11回(6月26日)Eigenvalues-Eigenvectors 1
第12回(7月3日)Eigenvalues-Eigenvectors 2
第13回(7月10日)Quadratic forms and conics
第14回(7月17日)Review class
第15回(別途日程指示)EXAMINATION

教科書

参考文献

評価方法

Evaluation: Coursework 30%
Exam 70%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Mathematics A		
科目キー	2800210010		
科目クラスコード	01	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Synopsis: This is an introductory linear algebra course for first year students. It begins with a review of basic vector and matrix algebra, and then introduces the fundamental concepts of linear algebra (solutions of systems, linear transformations, eigenvalues and eigenvectors, etc.) through a combined geometrical-algebraic approach. This course is taught in English.

シラバス

第 1回(4月10日)Orientation/Overview
第 2回(4月17日)Introduction to vector/matrix algebra
第 3回(4月24日)Equations of lines and planes
第 4回(5月8日)Solutions of linear equations
第 5回(5月15日)Determinants
第 6回(5月22日)Linear transformations 1
第 7回(5月29日)Linear transformations 2
第 8回(6月 5日)Orthogonality 1
第 9回(6月12日)Student-review of course material
第10回(6月19日)Orthogonality 2
第11回(6月26日)Eigenvalues-Eigenvectors 1
第12回(7月3日)Eigenvalues-Eigenvectors 2
第13回(7月10日)Quadratic forms and conics
第14回(7月17日)Review class
第15回(別途日程指示)EXAMINATION

教科書

参考文献

評価方法

Evaluation: Coursework 30%
Exam 70%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Mathematics B		
科目キー	2800210011		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	平良　和昭		

副題

授業概要

Contents: The purpose of this lecture is to provide students with basic knowledge and skills of calculus. To understand natural sciences, students should learn some basic mathematics.
Therefore, students will study also various topics from Physics, Biology, Chemistry and Technology.

シラバス

Week1 (April 6) Introduction and Summary
Week2 (April 13) Real Numbers
Week3 (April 20) Sequences and Limits
Week4 (April 27) Sequences and Newton's Method
Week5 (May 11) Exponential Functions and Trigonometric Functions
Week6 (May 18) Continuous Functions
Week7 (May 25) The Intermediate Value Theorem
Week8 (June first) Reviews and Tutorial
Week9(June 8) Differentiable Functions
Week10(June 15) Rolle's Theorem and the Mean Value Theorem
Week11(June 22) Maximal and Minimal Values of Functions
Week12 (June 29) Taylor's Theorem
Week13 (July 6) Taylor Expansion
Week14 (July 13) Reviews and Ttutorial
Week15 (July 20) Written Examination

Week1 (September 29) Introduction and Summary
Week2 (October 6) Uniform Continuity
Week3 (October 13) Riemann Integral (1)
Week4 (October 20) Riemann Integral (2)
Week5 (October 27) Integration by Parts and Formula of the Change of Variables
Week6 (November 10) Continuous Functions of Two Variables
Week7 (November 17) Differentiable Functions of Two Variables
Week8 (November 24) Reviews and Tutorial
Week9 (December first) Maximal and Minimal Values of Functions of Two Variables
Week10 (December 8) Lagrange's Method of Undetermined Multipliers
Week11(December 15) Riemann Double Integral
Week12(December 22) Surface Areas and Volumes
Week13(January 12) Differential Equations of Variable Separable Type
Week14(January 19) Reviews and Tutorial
Week15(January 26) Written Examination

教科書

Textbook: The course material "Introduction to Calculus" prepared by myself will be provided in class.

参考文献

評価方法

Score: Class participation 50%; Assignments 50%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Mathematics B		
科目キー	2800210011		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	平良　和昭		

副題

授業概要

Contents: The purpose of this lecture is to provide students with basic knowledge and skills of calculus. To understand natural sciences, students should learn some basic mathematics.
Therefore, students will study also various topics from Physics, Biology, Chemistry and Technology.

シラバス

Week1 (April 6) Introduction and Summary
Week2 (April 13) Real Numbers
Week3 (April 20) Sequences and Limits
Week4 (April 27) Sequences and Newton's Method
Week5 (May 11) Exponential Functions and Trigonometric Functions
Week6 (May 18) Continuous Functions
Week7 (May 25) The Intermediate Value Theorem
Week8 (June first) Reviews and Tutorial
Week9(June 8) Differentiable Functions
Week10(June 15) Rolle's Theorem and the Mean Value Theorem
Week11(June 22) Maximal and Minimal Values of Functions
Week12 (June 29) Taylor's Theorem
Week13 (July 6) Taylor Expansion
Week14 (July 13) Reviews and Ttutorial
Week15 (July 20) Written Examination

Week1 (September 29) Introduction and Summary
Week2 (October 6) Uniform Continuity
Week3 (October 13) Riemann Integral (1)
Week4 (October 20) Riemann Integral (2)
Week5 (October 27) Integration by Parts and Formula of the Change of Variables
Week6 (November 10) Continuous Functions of Two Variables
Week7 (November 17) Differentiable Functions of Two Variables
Week8 (November 24) Reviews and Tutorial
Week9 (December first) Maximal and Minimal Values of Functions of Two Variables
Week10 (December 8) Lagrange's Method of Undetermined Multipliers
Week11(December 15) Riemann Double Integral
Week12(December 22) Surface Areas and Volumes
Week13(January 12) Differential Equations of Variable Separable Type
Week14(January 19) Reviews and Tutorial
Week15(January 26) Written Examination

教科書

Textbook: The course material "Introduction to Calculus" prepared by myself will be provided in class.

参考文献

評価方法

Score: Class participation 50%; Assignments 50%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　物理・応物（2）		
科目キー	2800220001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大場　一郎		

副題

授業概要　″力学の初歩に関し、以下の要目について講義を行う。
運動学、運動の法則、簡単な運動（微分方程式含む）、力学的エネルギー、質点系・剛体の運動。
また、受験科目の理科で物理を選択しなかった学生向けのクラスも開設する。″

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　応物（1）		
科目キー	2800220001		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山崎　義弘		

副題

授業概要　講義用ページ（http://www.f.waseda.jp/yoshy/lecture/）を参照

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yoshy/lecture/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　電生		
科目キー	2800220001		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺崎　一郎		

副題

授業概要　自然科学は，自然現象を単純化・抽象化し，それを数式で表現することで発展した。ニュートンによって確立した力学はそのプロトタイプであり，物体を質量を持った大きさのない点として抽象化することから出発する。この抽象化された物体は質点と呼ばれ，力学の基本概念を形成する。力学Aでは1つおよび2つの質点に働く力と運動について学ぶ。

シラバス

1. 自然科学の夜明け： ケプラーとガリレオ
2. 位置，速度，加速度： 微分・積分とベクトル
3. ニュートンの法則： 微分方程式
4. 単振動
5. 摩擦を含む運動
6. 仕事とエネルギー
7. 保存力とポテンシャル
8. エネルギー保存則
9. 2つの質点の運動
10. 運動量保存則
11. 中心力場の運動
12. モーメントと角運動量
13. 角運動量の保存則
14. 惑星の運動
15. 学力考査と解説

教科書　特に指定しない

参考文献

評価方法　レポートおよび試験

備考　講義ノート，レポートなどのすべての資料は
http://www.f.waseda.jp/terra/ma/
にアップロードする予定である。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/terra/ma/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　電生(1)（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田崎　秀一	牧野　浩典	

副題

授業概要　現代の自然科学は、観察/実験に基づく理論の構築・理論的予想の実験あるいは観測による検証というプロセスを繰り返して発展している。この自然科学の方法は、物理学などの基礎科学のみならず、急速に進歩し、常に新しいアイデアを必要とする工学においても不可欠な素養である。そして、この方法は物体の運動を扱う力学において初めて確立された。講義では、自然科学の方法を身に付ける事を目的に質点の運動を中心に力学の体系を学習する。まず、質点の運動を表す道具としてベクトル代数・微積分について学び、続いて、質点について、ニュートンの運動の法則、仕事とエネルギー、角運動量と力のモーメントなどについて学ぶ。原則として、毎回演習を行う。

シラバス
1. オリエンテーション （物理学の体系）
2. 運動の記述と運動法則1 （ベクトル代数）
3. 運動の記述と運動法則2 （運動の記述、位置、速度、加速度）
4. 運動の記述と運動法則3 （力、ニュートンの運動の三法則）
5. 力と運動 （等加速度運動、万有引力、種々の力）
6. 運動量と力積
7. 運動方程式の解法1 （微分方程式）
8. 運動方程式の解法2 （等加速度運動、単振動、抵抗を受ける落体運動）
9. 運動方程式の解法3 （減衰振動、強制振動と共鳴）
10. 仕事とエネルギー1 （仕事、運動エネルギー）
11. 仕事とエネルギー2 （保存力とポテンシャル、保存力の例）
12. 仕事とエネルギー3 （力学的エネルギーの保存法則とその応用）
13. 極座標による記述
（曲線座標、2次元極座標での速度・加速度、球対称物体の万有引力）
14. 角運動量 （角運動量とその時間変化、面積速度）
15. 学力考査および解説

教科書　兵頭俊夫著「考える力学」学術図書出版

参考文献

評価方法　成績は、随時行う演習および定期試験で評価。授業中に小テストを行った場合はその成績も含む。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　電生(1)(物理未履修者用クラス)		
科目キー	2800220002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田崎　秀一	牧野　浩典	

副題

授業概要　現代の自然科学は、観察/実験に基づく理論の構築・理論的予想の実験あるいは観測による検証というプロセスを繰り返して発展している。この自然科学の方法は、物理学などの基礎科学のみならず、急速に進歩し、常に新しいアイデアを必要とする工学においても不可欠な素養である。そして、この方法は物体の運動を扱う力学において初めて確立された。講義では、自然科学の方法を身に付ける事を目的に質点の運動を中心に力学の体系を学習する。まず、質点の運動を表す道具としてベクトル代数・微積分について学び、続いて、質点について、ニュートンの運動の法則、仕事とエネルギー、角運動量と力のモーメントなどについて学ぶ。原則として、毎回演習を行う。

シラバス
1. オリエンテーション （物理学の体系）
2. 運動の記述と運動法則1 （ベクトル代数）
3. 運動の記述と運動法則2 （運動の記述、位置、速度、加速度）
4. 運動の記述と運動法則3 （力、ニュートンの運動の三法則）
5. 力と運動 （等加速度運動、万有引力、種々の力）
6. 運動量と力積
7. 運動方程式の解法1 （微分方程式）
8. 運動方程式の解法2 （等加速度運動、単振動、抵抗を受ける落体運動）
9. 運動方程式の解法3 （減衰振動、強制振動と共鳴）
10. 仕事とエネルギー1 （仕事、運動エネルギー）
11. 仕事とエネルギー2 （保存力とポテンシャル、保存力の例）
12. 仕事とエネルギー3 （力学的エネルギーの保存法則とその応用）
13. 極座標による記述
（曲線座標、2次元極座標での速度・加速度、球対称物体の万有引力）
14. 角運動量 （角運動量とその時間変化、面積速度）
15. 学力考査および解説

教科書　兵頭俊夫著「考える力学」学術図書出版

参考文献

評価方法　成績は、随時行う演習および定期試験で評価。授業中に小テストを行った場合はその成績も含む。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　電生(2)（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220002		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	篠原　邦夫	篠原　邦夫	

副題

授業概要　力学は早い時期に完成された理論的体系であり、自然科学の種々の分野のさきがけとなった学問である。力学A、力学B　電生(2)（物理未履修者用クラス）では、一般力学を体系的に扱い、物理学に馴染みのない学生が、力学の学習を通して、物理的な考え方を習得することを目標としたい。演習の時間が設けられているので、自ら練習問題に積極的に取り組み、学習効果を十分に上げられるよう心がけて欲しい。

シラバス　運動の法則

第1回（4月6日）　オリエンテーション
第2回（4月13日）　運動（空間と時間、速度、加速度）
第3回（4月20日）　運動の法則
第4回（4月27日）　運動量と力積
第5回（5月11日）　一次元の運動
第6回（5月18日）　二次元の運動
第7回（5月25日）　円運動
第8回（6月1日）　仕事と運動エネルギー
第9回（6月8日）　力のポテンシャルとエネルギーの保存
第10回（6月15日）　惑星の運動(I)ケプラーの法則
第11回（6月22日）　惑星の運動(II)中心力と平面極座標
第12回（6月29日）　惑星の運動(III)万有引力
第13回（7月6日）　角運動量と力のモーメント
第14回（7月13日）　学力考査および解説
第15回（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　講義は、戸田盛和著「力学」（岩波書店、物理入門コース1）
演習は、戸田盛和・渡辺慎介著「例解力学演習」（岩波書店、物理入門コース/演習1）
を利用する予定である。

参考文献

評価方法　試験、演習を総合して評価する。

備考　kshino-wsd@aoni.waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学A　電生(2)（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220002		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	篠原　邦夫	篠原　邦夫	

副題

授業概要　力学は早い時期に完成された理論的体系であり、自然科学の種々の分野のさきがけとなった学問である。力学A、力学B　電生(2)（物理未履修者用クラス）では、一般力学を体系的に扱い、物理学に馴染みのない学生が、力学の学習を通して、物理的な考え方を習得することを目標としたい。演習の時間が設けられているので、自ら練習問題に積極的に取り組み、学習効果を十分に上げられるよう心がけて欲しい。

シラバス　運動の法則

第1回（4月6日）　オリエンテーション
第2回（4月13日）　運動（空間と時間、速度、加速度）
第3回（4月20日）　運動の法則
第4回（4月27日）　運動量と力積
第5回（5月11日）　一次元の運動
第6回（5月18日）　二次元の運動
第7回（5月25日）　円運動
第8回（6月1日）　仕事と運動エネルギー
第9回（6月8日）　力のポテンシャルとエネルギーの保存
第10回（6月15日）　惑星の運動(I)ケプラーの法則
第11回（6月22日）　惑星の運動(II)中心力と平面極座標
第12回（6月29日）　惑星の運動(III)万有引力
第13回（7月6日）　角運動量と力のモーメント
第14回（7月13日）　学力考査および解説
第15回（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　講義は、戸田盛和著「力学」（岩波書店、物理入門コース1）
演習は、戸田盛和・渡辺慎介著「例解力学演習」（岩波書店、物理入門コース/演習1）
を利用する予定である。

参考文献

評価方法　試験、演習を総合して評価する。

備考　kshino-wsd@aoni.waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　物理・応物（2）		
科目キー	2800220003		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大場　一郎		

副題

授業概要　″力学Aの継続として、相対運動、振動・波動、解析力学の初歩、特殊相対論の初歩などについて講義を行う。講義の進度に応じて適宜内容を変えることがある。
また、受験科目の理科で物理を選択しなかった学生向けのクラスも開設する。″

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　応物（1）		
科目キー	2800220003		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山崎　義弘		

副題

授業概要　講義用ページ（http://www.f.waseda.jp/yoshy/lecture/）の連絡事項を参照

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考　http://www.f.waseda.jp/yoshy/lecture/

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　電生		
科目キー	2800220003		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	多辺　由佳		

副題　剛体の運動と振動・波動

授業概要　前半は、力学Aで学習した質点の運動を、質点の集合である剛体の運動へと拡張し、固定軸周りの剛体の回転・平面運動を扱う。
後半は、単振動からスタートして様々な振動について学び、連続体中を伝わる波動までを取り扱う。

シラバス
第1回：相対運動
第2回：剛体のつりあいと固定軸まわりの回転
第3回：慣性モーメント
第4回：剛体の平面運動
第5回：中間試験及び解説
第6回：自由振動と減衰
第7回：強制振動と共振
第8回：連成振動
第9回：鎖の振動
第10回：弦を伝わる波
第11回：波動の表現(I)
第12回：波動の表現(II)
第13回：音波

教科書

参考文献

評価方法　レポート・中間試験・定期試験の成績の合計で評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　電生(1)（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田崎　秀一	牧野　浩典	

副題

授業概要　現代の自然科学は、観察/実験に基づく理論の構築・理論的予想の実験あるいは観測による検証というプロセスを繰り返して発展している。この自然科学の方法は、物理学などの基礎科学のみならず、急速に進歩し、常に新しいアイデアを必要とする工学においても不可欠な素養である。そして、この方法は物体の運動を扱う力学において初めて確立された。講義では、力学Aの知識を前提にして、座標系の相対運動から始め、複数の質点からなる「質点系」および変形しない拡がった物体「剛体」の運動について学ぶ。講義に続いて演習を行う。

シラバス

1. 座標系の相対運動1 （並進運動、慣性力）
（9/28講義、担当：田崎、9/29演習、担当：牧野）
2. 座標系の相対運動2 （回転運動、遠心力、コリオリの力）
（10/5講義、担当：田崎、10/6演習、担当：牧野）
3. 二体問題1 （重心座標と相対座標、全運動量、全エネルギー）
（10/12講義、担当：田崎、10/13演習、担当：牧野）
4. 二体問題2 （惑星運動：基礎方程式と惑星運動の第二法則）
（10/19講義、担当：田崎、10/20演習、担当：牧野）
5. 二体問題3 （楕円の方程式、惑星運動の第一・第三法則）
（10/26講義、担当：田崎、10/27演習、担当：牧野）
6. 二体問題4 （衝突現象）
（11/2講義、担当：田崎、11/10演習、担当：牧野）
7. 質点系と剛体1 （質点系の全運動量、全エネルギー、全角運動量）
（11/9講義、担当：田崎、11/17演習、担当：牧野）
8. 質点系と剛体2 （剛体の運動）
（11/16講義、担当：田崎、11/24演習、担当：牧野）
9. 質点系と剛体3 （慣性モーメント）
（11/23講義、担当：田崎、12/1演習、担当：牧野）
10. 剛体運動1 （実体振り子）
（11/30講義、担当：田崎、12/8演習、担当：牧野）
11. 剛体運動2 （斜面を転がる円柱・円筒、高速回転する軸対称ゴマ）
（12/7講義、担当：田崎、12/15演習、担当：牧野）
12. 波動1 （弦の運動方程式、波動）
（12/14講義、担当：田崎、12/22演習、担当：牧野）
13. 波動2 （波動のエネルギー、種々の波動）
（12/21講義、担当：田崎、1/12演習、担当：牧野）
14. 解析力学の初歩（ラグランジュの運動方程式）
（1/18講義、担当：田崎、1/19演習、担当：牧野）
15. 学力考査および解説

教科書　兵頭俊夫著「考える力学」学術図書出版

参考文献

評価方法　成績は、随時行う演習や小テストおよび定期試験で評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　電生(1)(物理未履修者用クラス)		
科目キー	2800220004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田崎　秀一	牧野　浩典	

副題

授業概要　現代の自然科学は、観察/実験に基づく理論の構築・理論的予想の実験あるいは観測による検証というプロセスを繰り返して発展している。この自然科学の方法は、物理学などの基礎科学のみならず、急速に進歩し、常に新しいアイデアを必要とする工学においても不可欠な素養である。そして、この方法は物体の運動を扱う力学において初めて確立された。講義では、力学Aの知識を前提にして、座標系の相対運動から始め、複数の質点からなる「質点系」および変形しない拡がった物体「剛体」の運動について学ぶ。講義に続いて演習を行う。

シラバス

1. 座標系の相対運動1 （並進運動、慣性力）
   （9/28講義、担当：田崎、9/29演習、担当：牧野）
2. 座標系の相対運動2 （回転運動、遠心力、コリオリの力）
   （10/5講義、担当：田崎、10/6演習、担当：牧野）
3. 二体問題1 （重心座標と相対座標、全運動量、全エネルギー）
   （10/12講義、担当：田崎、10/13演習、担当：牧野）
4. 二体問題2 （惑星運動：基礎方程式と惑星運動の第二法則）
   （10/19講義、担当：田崎、10/20演習、担当：牧野）
5. 二体問題3 （楕円の方程式、惑星運動の第一・第三法則）
   （10/26講義、担当：田崎、10/27演習、担当：牧野）
6. 二体問題4 （衝突現象）
   （11/2講義、担当：田崎、11/10演習、担当：牧野）
7. 質点系と剛体1 （質点系の全運動量、全エネルギー、全角運動量）
   （11/9講義、担当：田崎、11/17演習、担当：牧野）
8. 質点系と剛体2 （剛体の運動）
   （11/16講義、担当：田崎、11/24演習、担当：牧野）
9. 質点系と剛体3 （慣性モーメント）
   （11/23講義、担当：田崎、12/1演習、担当：牧野）
10. 剛体運動1 （実体振り子）
    （11/30講義、担当：田崎、12/8演習、担当：牧野）
11. 剛体運動2 （斜面を転がる円柱・円筒、高速回転する軸対称ゴマ）
    （12/7講義、担当：田崎、12/15演習、担当：牧野）
12. 波動1 （弦の運動方程式、波動）
    （12/14講義、担当：田崎、12/22演習、担当：牧野）
13. 波動2 （波動のエネルギー、種々の波動）
    （12/21講義、担当：田崎、1/12演習、担当：牧野）
14. 解析力学の初歩（ラグランジュの運動方程式）
    （1/18講義、担当：田崎、1/19演習、担当：牧野）
15. 学力考査および解説

教科書　兵頭俊夫著「考える力学」学術図書出版

参考文献

評価方法　成績は、随時行う演習や小テストおよび定期試験で評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　電生(2)（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220004		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	篠原　邦夫	篠原　邦夫	

副題

授業概要　力学は早い時期に完成された理論的体系であり、自然科学の種々の分野のさきがけとなった学問である。力学A、力学B　電生(2)（物理未履修者用クラス）では、一般力学を体系的に扱い、物理学に馴染みのない学生が、力学の学習を通して、物理的な考え方を習得することを目標としたい。演習の時間が設けられているので、自ら練習問題に積極的に取り組み、学習効果を十分に上げられるよう心がけて欲しい。

シラバス　質点系の力学と相対運動

第1回（9月28日）　質点の運動と質点系の運動
第2回（10月5日）　2体問題
第3回（10月12日）　質点系における運動エネルギー
第4回（10月19日）　質点系における角運動量
第5回（10月26日）　剛体の運動(I)剛体の運動方程式
第6回（11月2日）　剛体の運動(II)固定軸をもつ剛体の運動
第7回（11月9日）　剛体の運動(III)慣性モーメント
第8回（11月16日）　剛体の運動(IV)コマの歳差運動
第9回（11月23日）　相対運動(I)重心系と実験室系
第10回（11月30日）　相対運動(II)座標変換と回転座標系
第11回（12月7日）　相対運動(III)運動座標系に対する運動方程式
第12回（12月14日）　相対運動(IV)地球表面近くでの運動
第13回（12月21日）　まとめ（日常生活における力学的現象に関する自由討論）
第14回（1月18日）　学力考査および解説
第15回（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　講義は、戸田盛和著「力学」（岩波書店、物理入門コース1）
演習は、戸田盛和・渡辺慎介著「例解力学演習」（岩波書店、物理入門コース/演習1）
を利用する予定である。

参考文献

評価方法　試験、演習を総合して評価する。

備考　kshino-wsd@aoni.waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学B　電生(2)（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220004		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	篠原　邦夫	篠原　邦夫	

副題

授業概要　力学は早い時期に完成された理論的体系であり、自然科学の種々の分野のさきがけとなった学問である。力学A、力学B　電生(2)（物理未履修者用クラス）では、一般力学を体系的に扱い、物理学に馴染みのない学生が、力学の学習を通して、物理的な考え方を習得することを目標としたい。演習の時間が設けられているので、自ら練習問題に積極的に取り組み、学習効果を十分に上げられるよう心がけて欲しい。

シラバス　質点系の力学と相対運動

第1回（9月28日）　質点の運動と質点系の運動
第2回（10月5日）　2体問題
第3回（10月12日）　質点系における運動エネルギー
第4回（10月19日）　質点系における角運動量
第5回（10月26日）　剛体の運動(I)剛体の運動方程式
第6回（11月2日）　剛体の運動(II)固定軸をもつ剛体の運動
第7回（11月9日）　剛体の運動(III)慣性モーメント
第8回（11月16日）　剛体の運動(IV)コマの歳差運動
第9回（11月23日）　相対運動(I)重心系と実験室系
第10回（11月30日）　相対運動(II)座標変換と回転座標系
第11回（12月7日）　相対運動(III)運動座標系に対する運動方程式
第12回（12月14日）　相対運動(IV)地球表面近くでの運動
第13回（12月21日）　まとめ（日常生活における力学的現象に関する自由討論）
第14回（1月18日）　学力考査および解説
第15回（日程別途指示）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　講義は、戸田盛和著「力学」（岩波書店、物理入門コース1）
演習は、戸田盛和・渡辺慎介著「例解力学演習」（岩波書店、物理入門コース/演習1）
を利用する予定である。

参考文献

評価方法　試験、演習を総合して評価する。

備考　kshino-wsd@aoni.waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　化学		
科目キー	2800220005		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大下　範幸		

副題

授業概要　物体の運動を規定する基本法則とその適用の仕方を学ぶ。力学は、物理学の中で基礎的な地位を占め、物理学の典型的な考え方や方法に基づいて構築されている。修得することは、他分野の理解にも重要な役割を果たす。授業では、始めに基本となる法則を概説し、続いて質点および質点系の運動を具体的に議論する。運動の法則を理解し、その適用方法に習熟することが目的である。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　運動の記述（速度と加速度）
第　3回　運動の記述（運動量と角運動量）
第　4回　運動の法則（力）
第　5回　運動の法則（基本三法則）
第　6回　質点の力学（直線上の運動）
第　7回　質点の力学（微分方程式）
第　8回　質点の力学（振動）
第　9回　質点の力学（平面上の運動）
第10回　質点の力学（中心力による運動）
第11回　仕事とエネルギー（仕事）
第12回　仕事とエネルギー（力学的エネルギー）
第13回　質点系の力学（質点の集合）
第14回　質点系の力学（全運動量と全角運動量）
第15回　学力考査および解説

教科書　特定の教科書は使用しない。

参考文献　「理工系の標準力学」大場一郎・中村純（培風館）
力学を学習するための書物は種々あるが、物理学的内容に大きな相違は無い。各自の学習方式に即して選べばよい。

評価方法　期末試験を評価し、60点以上を合格とする。

備考　講義内容の理解を深めるために、復習として問題演習を行うことが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　応化		
科目キー	2800220005		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	多辺　由佳		

副題

授業概要　″力学の初歩に関し、以下の要目について講義を行う:運動学、運動の法則、簡単な運動(微分方程式含む)、力学的エネルギー、質点系・剛体の運動。
また、受験科目の理科で物理を選択しなかった学生向けのクラスも開設する。″

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　生医		
科目キー	2800220005		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	落合　萌		

副題

授業概要

物理学の根幹を成すのが力学と電磁気学である。とりわけ力学は物理学の学習プログラムで常に最初に配置されることからも推しはかれるように、後で学ぶであろう科学・技術分野のあらゆる場面ですぐさま役立つように準備されなくてはならない。
物理学はなかなかとりつき難く、分かりにくいと言われるが、このような先入観は別にしても、もし初歩の学習段階でこのように感じた経験があったとしたなら、その理由はいったい何だったのだろう。処方箋はどんなものなのだろうか。
1　自然とのかかわり合いは数式で書き表されることが多いが、そのため内容の言葉による説明になじめなかったり、それが不十分だったりしたためではないだろうか。物理学とくに力学では現象を厳密かつ簡潔に表現するために、数式は便利な道具として多用され、その議論のさいには欠かせない役割を果たしている。しかし、この道具を使うにはそれ以前に自然現象の表している意味・背景を言葉で捉え、出来ることならモデルを仮定し可視化する作業をしておくのが望ましい。本講義では数式だけでなく図やモデルを援用して定性的な説明をより充実することに努める。この試みは解決の糸口になると信じている。
2　自然界に起こっている現象はたとえそれが我々にとって単純に映ることがあっても、じつはなかなか正体を見せてくれないものだ。衣が大きすぎてその現象を引き起こしているもっとも本質的な部分が見透し難いのだ。正体つまり中身は同じでも衣によって見た目が化けてしまい、これは我々人間という生き物にも言える事だが、同じ理由によって起こっている現象とは思えなくなってしまうのだ。ここに自然現象に対する注意深さが必要とされる。これを見抜いて、現象の本質を見つけ出すことができれば、そしてそのように問題意識を持つことが、物理学になじむ近道ではないだろうか。これを物理的センスを磨くというのかもしれない。大学の講義は楽しいばかりではないかもしれないが、ここでは物理学の魅力について大学一般教養のレベルをそのままに、最新のトピックスもおりまぜ、力学の本質的な部分を分かり易くお話しし、あわよくばそれに便乗して物理的センスとやらも感じていただけたら幸いである。

シラバス

1　力学を学ぶために用意しておく事柄、約束事、単位系、座標系
2　なぜはじめに質点なのか、力はどんな働きをするか，ガリレイ変換，基準座標系
3　質点に働く力のつりあい
4　運動の第1法則，速さと速度
5　再び力そして加速度、運動の第2法則
6　運動の第2法則と運動方程式
7　作用・反作用の法則
8　力積と運動量、速度も大切だがなぜ運動量なのか、そして角運動量
9　落体の運動、放物運動
10　単振動、強制振動
11　抵抗力を伴う運動
12　仕事とエネルギー
13　運動方程式の積分、再び仕事とエネルギー、運動エネルギー、位置エネルギー、エネルギー保存則
14　質点系の扱い
15　剛体の力学

教科書　指定しない

参考文献　必要な場合教場で指定する

評価方法　定期試験AND/OR教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　生医		
科目キー	2800220005		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　応化（物理未履修者用クラス）		
科目キー	2800220006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高野　光則	田邊　誠	

副題

授業概要　ニュートン力学の基礎法則の理解をねらいとし、質点・剛体の力学の初歩を扱う。必要な数学は、ベクトル解析、微分方程式であるが、これらはその都度解説を行いながら道具として使う。物理の基本法則は驚くほど簡潔に定式化される。それらの美しさと意味を感じてもらいたい。一般論に徹するのではなく、随時身近な基礎法則の応用例を取り上げて講義する予定である。

シラバス
1 位置・速度・加速度
2 ベクトル、放物運動
3 力、ニュートンの運動方程式
4 運動方程式の応用例1：単振動
5 運動方程式の応用例2：摩擦があるとき
6 仕事
7 運動エネルギー
8 ポテンシャルエネルギー
9 学力考査および解説
10 粒子系、剛体に対する運動の法則
11 運動量の保存、衝突
12 回転（1） 角速度、角加速度、慣性モーメント
13 回転（2） 角運動量、固定軸周りの剛体の運動
14 重力
15 学力考査および解説

教科書　物理学の基礎 [1]力学
ハリディ・レスニック・ウォーカー　共著　野崎光昭 監訳 培風館

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）・平常点・（定期試験およびレポート・出席点）

備考　講義と演習の両方に必ず出席すること。毎回宿題を出すので解答を次週にレポートとして提出すること。なお実験（理工学基礎実験1A）の解説も行う。本科目は高校において物理Ⅱを履修してこなかった者を対象とする。

金曜5時限（講義）、6時限（演習）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　生医(物理未履修者用クラス)		
科目キー	2800220006		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大下　範幸	青柳　巧介	

副題

授業概要　物体の運動を規定する基本法則とその適用の仕方を学ぶ。力学は、物理学の中で基礎的な地位を占め、物理学の典型的な考え方や方法に基づいて構築されている。修得することは、他分野の理解にも重要な役割を果たす。授業では、始めに基本となる法則を概説し、続いて質点および質点系の運動を具体的に議論する。運動の法則を理解し、その適用方法に習熟することが目的である。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　運動の記述(速度と加速度)
第　3回　運動の記述(運動量と角運動量)
第　4回　運動の法則(力)
第　5回　運動の法則(基本三法則)
第　6回　質点の力学(直線上の運動)
第　7回　質点の力学(微分方程式)
第　8回　質点の力学(振動)
第　9回　質点の力学(平面上の運動)
第10回　質点の力学(中心力による運動)
第11回　仕事とエネルギー(仕事)
第12回　仕事とエネルギー(力学的エネルギー)
第13回　質点系の力学(質点の集合)
第14回　質点系の力学(全運動量と全角運動量)
第15回　学力考査および解説

教科書　特定の教科書は使用しない。

参考文献　「理工系の標準力学」大場一郎・中村純(培風館)
力学を学習するための書物は種々あるが、物理学的内容に大きな相違は無い。各自の学習方式に即して選べばよい。

評価方法　期末試験を評価し、60点以上を合格とする。

備考　講義内容の理解を深めるためには、問題演習が不可欠である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	力学C　生医(物理未履修者用クラス)		
科目キー	2800220006		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大下　範幸	青柳　巧介	

副題

授業概要　物体の運動を規定する基本法則とその適用の仕方を学ぶ。力学は、物理学の中で基礎的な地位を占め、物理学の典型的な考え方や方法に基づいて構築されている。修得することは、他分野の理解にも重要な役割を果たす。授業では、始めに基本となる法則を概説し、続いて質点および質点系の運動を具体的に議論する。運動の法則を理解し、その適用方法に習熟することが目的である。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　運動の記述(速度と加速度)
第　3回　運動の記述(運動量と角運動量)
第　4回　運動の法則(力)
第　5回　運動の法則(基本三法則)
第　6回　質点の力学(直線上の運動)
第　7回　質点の力学(微分方程式)
第　8回　質点の力学(振動)
第　9回　質点の力学(平面上の運動)
第10回　質点の力学(中心力による運動)
第11回　仕事とエネルギー(仕事)
第12回　仕事とエネルギー(力学的エネルギー)
第13回　質点系の力学(質点の集合)
第14回　質点系の力学(全運動量と全角運動量)
第15回　学力考査および解説

教科書　特定の教科書は使用しない。

参考文献　「理工系の標準力学」大場一郎・中村純(培風館)
力学を学習するための書物は種々あるが、物理学的内容に大きな相違は無い。各自の学習方式に即して選べばよい。

評価方法　期末試験を評価し、60点以上を合格とする。

備考　講義内容の理解を深めるためには、問題演習が不可欠である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎電磁気学　化学		
科目キー	2800220007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大下　範幸		

副題

授業概要　電磁気現象を規定する基本法則とその適用の仕方を学ぶ。電磁気学は、物理学の基本的な分野であると共に、現代の科学技術に広く応用されている。 修得することは、種々の自然科学を理解する上にも有用である。授業では、主として静的な電場と磁場における法則を議論し、最後に一般的な電磁場の理論を考察する。電磁気の法則と考え方を体系的に理解することが目的である。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　電荷と静電場（電荷に働く力）
第　3回　電荷と静電場（電場の記述）
第　4回　電荷と静電場（Gauss の法則）
第　5回　電荷と静電場（導体と誘電体）
第　6回　電流と静磁場（電荷の流れ）
第　7回　電流と静磁場（運動電荷に働く力）
第　8回　電流と静磁場（磁場の記述）
第　9回　電流と静磁場（Ampere の法則）
第10回　電流と静磁場（磁気双極子と磁性体）
第11回　一般の電磁場（電磁誘導）
第12回　一般の電磁場（変位電流）
第13回　一般の電磁場（Maxwell の方程式）
第14回　一般の電磁場（電磁波）
第15回　学力考査および解説

教科書　特定の教科書は使用しない。

参考文献　「電磁気学I,II」長岡洋介（岩波書店）
電磁気学を学習するための書物は種々あるが、物理学的内容に大きな相違は無い。各自の学習方式に即して選べばよい。

評価方法　期末試験を評価し、60点以上を合格とする。

備考　講義内容の理解を深めるために、復習として問題演習を行うことが望ましい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎電磁気学　応化		
科目キー	2800220007		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	多辺　由佳		

副題

授業概要　クーロンの法則から始めて場の考え方を学び、真空中の静電場を記述できるようにする。誘電体中での電場を学んだ後、歴史的な経緯にそって、時間変動する電荷の作る電磁場へと進む。必要に応じてベクトル解析についても補足する。
到達目標は、様々な状況での静電場、また時間変動する電荷がある時の電磁界が記述できるようになること。

シラバス
1. 静止した点電荷間に働く力:クーロンの法則
2. 電荷の保存則とガウスの法則
3. 電場と電位
4. 導体と静電場
5. 静電場のエネルギー
6. 電気容量と導体のエネルギー
7. 誘電体中の電磁場
8. 定常電流(オームの法則)
9. 定常電流の作る磁界(ビオサバールの法則)
10. 磁場の基本法則
11. 時間変動する電荷の作る電磁場(ファラデーの法則)
12. 電磁誘導とインダクタンス
13. 変動する電磁場:マクスウェル方程式 I
14. 変動する電磁場:マクスウェル方程式 II
15. まとめ(理解の確認)

教科書　教科書として指定するものではないが、参考書が必要な学生には以下を推薦する:

岩波書店:物理入門コース 3 電磁気学 I 電場と磁場 長岡洋介著

参考文献

評価方法　定期試験の成績にレポート2回の得点を加算して評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎電磁気学　生医		
科目キー	2800220007		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	落合　萌		

副題

授業概要

電磁気学は力学とともに物理学の土台を成す重要な役割を担っている。電磁気学も力学同様かならずしも取り付きやすい科目ではないが、その体系のつくりおよび完成度の美しさは熱力学とならび魅力的である。
電磁気学はその名のとおり電気現象と磁気現象を、そしてそのつながりを議論するのだが、なかなかなじみにくい部分が多いといわれる。
マクスウエル方程式が主役で、これは力学の運動方程式に相当する役割を果たしている。ところが力学における運動方程式がプログラムの中で比較的早い時点で履修されるのとは異なり、マクスウエル方程式はかなり話が進んだ時点から学習される。
電磁気学は発展の経緯によりその体系は複数に分類できて、それぞれの流儀に都合のよい四種類の単位系が使われてきた。電磁気学はマクスウエルによりいまの体系が確立され、これらの単位系もそれに伴いmksA系（四元単位系とも呼ばれる）に整理統合された。さらに昨今はSI単位系に発展し、国際的に広く採用されるようになった。本講義ではSI単位系に従って話を進める。議論の内容によっては歴史的に他の単位系のほうが便利なことがある。この場合はSI単位系にこだわらない。
力学においては我々の日常生活上で実感できる現象を扱うことは多い。この事実と比べると、電磁気学ではそこで扱われるべき現象を意識し、視認できることはほとんどあるまい。我々の五感に直接触れる現象あるいはその部分が少ない。ただずまいが地味で、間口が狭く奥が見通しにくいが内部は深く広い学問である、と言っても過言ではあるまい。電気現象だの磁気現象ではないかと思わせられることすらない場合が少なくないのだ。下手をすれば、木を見て森を見ず。一部を見て、電磁気学とはこれだ、と思い込む危険すらあるように思える。
本講義では、電磁気学に特徴的な現象を図や例えを用いて、身近にひきよせ、できるだけ平易に話を進め、その考え方に慣れてもらいつつ全体像がつかめるように配慮する。

シラバス

1　はじめに準備する事柄、約束事；　電磁気学の体系、SI単位系
2　静電力、静電場；　遠隔作用論、近接作用論
3　クローンの法則，場というもの、電荷のつくる電場、電気双極子のつくる電場
4　電気力線、電気力線の密度と電界の強さ
5　ガウスの法則
6　電位と仕事のかかわり合いおよび電圧
7　電気容量、電流、コンデンサー
8　静磁場
9　磁気におけるクーロンの法則
10　電流による磁場。アンペールの法則。ローレンツ力
11　電磁誘導。ファラデーの法則。コイル
12　時間変動をする電場と磁場
13　マクスウエル方程式

教科書　指定しない

参考文献　必要な場合教場で指定する

評価方法　定期試験AND/OR教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎電磁気学　応化（未履修者）		
科目キー	2800220008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高野　光則	田邊　誠	

副題

授業概要　電磁気学の基礎法則の理解をねらいとする。今日我々の生活に欠かせない家電や通信機器もその基礎は電磁気学の4つの基本法則（マクスウエル方程式）に集約される。しかしながらいきなりマクスウエル方程式から講義を行うのは1年時の基礎学力では困難である。逆に電磁気現象から基礎法則がどのように導き出されたかに注目して解説する。物理の仕掛けの一端を身近な応用例を取り上げて講義する予定である。

シラバス
1 電荷
2 電場、ガウスの法則（1）
3 電位、ガウスの法則（2）
4 導体、キャパシタ
5 中間試験
6 定常電流
7 磁場　アンペールの法則（1）
8 電流が作る磁場　アンペールの法則（2）
9 電磁誘導（1）
10 電磁誘導（2）
11 電磁気の振動、 交流回路
12 電磁波
13 後期予備日

教科書　物理学の基礎 [3]電磁気学
ハリディ・レスニック・ウォーカー　共著　野崎光昭 監訳 培風館

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）・平常点・（定期試験およびレポート・出席点）

備考　講義と演習の両方に必ず出席すること。毎回宿題を出すので解答を次週にレポートとして提出すること。なお実験（理工学基礎実験1B）の解説も行う。本科目は高校において物理Ⅱを履修してこなかった者を対象とする。

金曜5時限（講義）、6時限（演習）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎電磁気学　生医(未履修者)		
科目キー	2800220008		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大下　範幸	青柳　巧介	

副題

授業概要　電磁気現象を規定する基本法則とその適用の仕方を学ぶ。電磁気学は、物理学の基本的な分野であると共に、現代の科学技術に広く応用されている。 修得することは、種々の自然科学を理解する上にも有用である。授業では、主として静的な電場と磁場における法則を議論し、最後に一般的な電磁場の理論を考察する。電磁気の法則と考え方を体系的に理解することが目的である。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　電荷と静電場(電荷に働く力)
第　3回　電荷と静電場(電場の記述)
第　4回　電荷と静電場(Gauss の法則)
第　5回　電荷と静電場(導体と誘電体)
第　6回　電流と静磁場(電荷の流れ)
第　7回　電流と静磁場(運動電荷に働く力)
第　8回　電流と静磁場(磁場の記述)
第　9回　電流と静磁場(Ampere の法則)
第10回　電流と静磁場(磁気双極子と磁性体)
第11回　一般の電磁場(電磁誘導)
第12回　一般の電磁場(変位電流)
第13回　一般の電磁場(Maxwell の方程式)
第14回　一般の電磁場(電磁波)
第15回　学力考査および解説

教科書　特定の教科書は使用しない。

参考文献　「電磁気学I,II」長岡洋介(岩波書店)
電磁気学を学習するための書物は種々あるが、物理学的内容に大きな相違は無い。各自の学習方式に即して選べばよい。

評価方法　期末試験を評価し、60点以上を合格とする。

備考　講義内容の理解を深めるためには、問題演習が不可欠である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎電磁気学　生医(未履修者)		
科目キー	2800220008		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大下　範幸	青柳　巧介	

副題

授業概要　電磁気現象を規定する基本法則とその適用の仕方を学ぶ。電磁気学は、物理学の基本的な分野であると共に、現代の科学技術に広く応用されている。 修得することは、種々の自然科学を理解する上にも有用である。授業では、主として静的な電場と磁場における法則を議論し、最後に一般的な電磁場の理論を考察する。電磁気の法則と考え方を体系的に理解することが目的である。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　電荷と静電場(電荷に働く力)
第　3回　電荷と静電場(電場の記述)
第　4回　電荷と静電場(Gauss の法則)
第　5回　電荷と静電場(導体と誘電体)
第　6回　電流と静磁場(電荷の流れ)
第　7回　電流と静磁場(運動電荷に働く力)
第　8回　電流と静磁場(磁場の記述)
第　9回　電流と静磁場(Ampere の法則)
第10回　電流と静磁場(磁気双極子と磁性体)
第11回　一般の電磁場(電磁誘導)
第12回　一般の電磁場(変位電流)
第13回　一般の電磁場(Maxwell の方程式)
第14回　一般の電磁場(電磁波)
第15回　学力考査および解説

教科書　特定の教科書は使用しない。

参考文献　「電磁気学I,II」長岡洋介(岩波書店)
電磁気学を学習するための書物は種々あるが、物理学的内容に大きな相違は無い。各自の学習方式に即して選べばよい。

評価方法　期末試験を評価し、60点以上を合格とする。

備考　講義内容の理解を深めるためには、問題演習が不可欠である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	現代物理学		
科目キー	2800220011		
科目クラスコード	12	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	湯浅　一哉	寄田　浩平	

副題

授業概要　自然界の各階層で起こる現象を記述し，現代物理学の基盤を様々な側面から支える理論体系を概観しつつ，研究の最先端でまさに話題となっているホット・トピックスに触れる．

シラバス　前期は湯浅が担当し，量子力学で語られるミクロの世界に見られる不思議な現象の数々を垣間見るとともに，近年発達してきた量子情報のアイデアに触れる．

1．物理学とは何だろうか
2．物理学の基礎を支える理論1
3．物理学の基礎を支える理論2
4．波動現象を語る言葉
5．現代物理学を支える2つの柱
6．光の本性
7．サッカーボールも干渉する？
8．量子力学的波動のルール
9．不確定性原理
10. スピンと2種類の粒子たち
11. 量子力学的波動の不思議
12. 観測の不思議
13. エンタングルメント
14. 量子情報のアイデア
15. 課題への取組

後期は寄田が担当し，素粒子実験物理の最先端を解説する．

教科書　教科書は指定しない．

参考文献

評価方法　講義への参加姿勢と，各期末に出題するレポート課題をもとに評価する．

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Fundamental Physics A		
科目キー	2800220012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題　Mechanics

授業概要　This class is the first term of a two-term sequence in first-year level physics. The first term will focus on classical mechanics. The second term will focus on electricity and magnetism.Topics that will be treated during the first term include Newton's laws, projectile motion, conservation laws, harmonic oscillators, motion of rigid bodies, and special relativity. The class will not only provides a conceptual and mathematical understanding of these topics, but also emphasizes problem-solving using the laws of mechanics. It is assumed that students have a background in basic differentiation and integration. The class will be conducted in English, but some Japanese technical
terms will be introduced.

Course Goals
• Acquire a conceptual and mathematical understanding of basic 1st year level mechanics
• Practice solving basic problems using the laws of mechanics
• Learn some basic terms of physics in English and Japanese
• Develop the personal discipline and intellectual maturity to take more advanced courses.

シラバス　A tentative course schedule is listed below.
Week 1　Introduction to Course and Discussion of Vectors
Week 2　Newton's Laws 1 (including projectile motion)
Week 3　Newton's Laws 2
Week 4　Frames of Reference
Week 5　Conservation of Energy
Week 6　Conservation of Linear Momentum
Week 7　Conservation of Angular Momentum
Week 8　Midterm Exam
Week 9　Harmonic Oscillator
Week 10　Rigid Bodies
Week 11　Inverse-square-law forces
Week 12　Introduction to Special Relativity 1
Week 13　Introduction to Special Relativity 2
Week 14　Review
Week 15　Final Examination
We may adjust the schedule depending on the needs, interests, and comprehension level of the class.

教科書　Berkeley Physics Course Volume 1: Mechanics (2nd edition) by Charles Kittel, Walter Knight, and Malvin Ruderman, 2008. Published by McGraw-Hill. This text was
originally published as a hardcover text, but there is an international edition of the text available in paperback.

参考文献　The text is also available in Japanese:
バークレー物理学コース第1巻(2版)：　力学　上下、 丸善。

評価方法　The final grade will be based on three components that are weighted as follows:
Problem sets and Quizzes: 40 %
Midterm Exam: 30%
Final Exam: 30%

Regular attendance is expected.

備考　Students will be expected to spend the necessary time to complete the problem sets and prepare for class. As a basic principle, NO LATE PROBLEM SETS will be accepted. If you are late in turning in a problem set due to special circumstances such as illness, emergencies, or public transportation problems, please see me.

We will cover a lot material in this class, and the problem sets will take time to complete. Be sure to start them early. You will never have more time to study than your university years, please use them wisely! If you have problems, please contact me.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Fundamental Physics A		
科目キー	2800220012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Fundamental Physics B		
科目キー	2800220013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題　Electricity and Magnetism

授業概要　This class is the second term of a two-term sequence in first-year level physics. The first term will focus on classical mechanics. The second term will focus on electricity and magnetism. Topics that will be treated during the second term include electrostatics, electric potentials, electric circuits, magnetic fields, electromagnetic induction, and the Maxwell equations. The class will not only provides a conceptual and mathematical understanding of these topics, but also emphasizes problem-solving using the laws of electricty and magnetism. It is assumed that students have a background in basic differentiation and integration. The class will be conducted in English, but some Japanese technical terms will be introduced.

Course Goals
• Acquire a conceptual and mathematical understanding of basic 1st year level belectricity and magnetism
• Practice solving basic problems using the laws of electricity and magnetism
• Learn some basic terms of physics in English and Japanese
• Develop the personal discipline and intellectual maturity to take more advanced courses.

シラバス　A tentative course schedule is listed below.
Week 1　Introduction to Course and Electrostatics Part 1
Week 2　Electrostatics Part 2
Week 3　Electric potential Part 1
Week 4　Electric potential Part 2
Week 5　Electric Fields around conductors
Week 6　Electric currents
Week 7　Fields of moving charnes
Week 8　Midterm Exam
Week 9　Magnetic Fields
Week 10　Electromagnetic Induction
Week 11　Alternating-current circuits
Week 12　Maxwell equations
Week 13　Electromagnatic waves
Week 14　Review
Week 15　Final Examination
We may adjust the schedule depending on the needs, interests, and comprehension level of the class.

教科書　Berkeley Physics Course Volume 2: Electricity and Magnetism (2nd edition) by Edward Purcell, 2008. Published by McGraw-Hill. This text was originally published as a hardcover text, but there is an international edition of the text available in paperback.

参考文献　The text is also available in Japanese:
バークレー物理学コース第2巻（2版）:電磁気学　上下、 丸善

評価方法　The final grade will be based on three components that are weighted as follows:
Problem sets and Quizzes: 40 %
Midterm Exam: 30%
Final Exam: 30%
Regular attendance is expected.

備考　Students will be expected to spend the necessary time to complete the problem sets and prepare for class. As a basic principle, NO LATE PROBLEM SETS will be accepted. If you are late in turning in a problem set due to special circumstances such as illness, emergencies, or public transportation problems, please see me.

We will cover a lot material in this class, and the problem sets will take time to complete. Be sure to start them early. You will never have more time to study than your university years, please use them wisely! If you have problems, please contact me.

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Fundamental Physics B		
科目キー	2800220013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学A　生医・電生（化学未履修者用クラス）		
科目キー	2800230001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鹿島　長次		

副題

授業概要　″高校の化学未履修者およびそれに準ずる学生を対象とし、化学B1 – B4, Cを履修するために必要な、高校の化学の基礎から大学受験程度までの内容を講義する。生物の組織の内部に起こる化学についても言及する。″

シラバス

第1週 オリエンテーション
第2週 宇宙化学：化学的知見を基に、地球外生物の概観を想像し、地球上の生物の合理性を考える。
第3週 イオン結合：周期律表を原子の状態で解説し、イオン結合をあわせて説明する。
第4週 共有結合：共有結合と配位結合を電子の状態で概念的に解説し、結合エネルギーや結合性軌道に付いても言及する。
第5週 結合のイオン性と双極子モーメント：共有結合において構成する電子の偏りを説明し、双極子モーメントも解説する。
第6週 炭素原子と分子の構造：単結合、2重結合、3重結合を電子の状態で説明し、炭素の正四面体構造など分子の概念を解説する。
第7週 芳香族化合物：ベンゼンの安定性を電子の状態で説明し、電子の共鳴を解説する。
第8週 物質の三態：固体、液体、気体に3態を考え、熱力学の概念を解説する。
第9週 反応の機構：結合の開裂様式、反応を支配する因子、反応の種類など化学反応を概説する。
第10週 酸・塩基：反応の平衡を考え、酸、塩基の概念、酸の強さを支配する要素、酸を抑える方法を解説する。
第11週 求核性・求電子性：試薬の性質から有機化学反応における選択性の源を探る。
第12週 有機化合物の反応：代表的な有機化学反応の付加反応と脱離反応を解説する。
第13週 酸化・還元：酸化、還元の概念を説明し、生活に関係する酸化、還元反応を解説する。
第14週 溶液と水素結合：水素結合の概念を説明し、水の特異な性質を考えながら生体反応との関係を解説する。
第15週 学力考査および解説

教科書

鹿島長次著「宇宙の生物を化学する」（http://www.geocities.jp/choji_kashima/etchemistry/index.html）
鹿島長次著「人間の贅沢を化学する」（http://www.geocities.jp/choji_kashima/WasteChem/index.html）
鹿島長次著「我が家の食べ物を化学する」（http://www.geocities.jp/choji_kashima/FoodsChem/index.html）
鹿島長次著「我が家の料理法を化学する」（http://www.geocities.jp/choji_kashima/CookChem/index.html）
鹿島長次著「箪笥の中を化学する」（http://www.geocities.jp/choji_kashima/ClothChem/index.html）
鹿島長次著「電化生活を化学する」（http://www.geocities.jp/choji_kashima/DenkaChem/index.html）

参考文献

評価方法　授業中の小テストと期末試験、評価基準は小テストが30%、期末試験が70%。

備考　質問などは授業終了後またはE-Mail（choji.kashima@nifty.ne.jp）にて受け付けます。

関連URL:　http://www.geocities.jp/choji_kashima/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B1　物理・応物(1)		
科目キー	2800230002		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐々木　幸夫		

副題

授業概要　化学は物質を対象とする自然科学の重要な学問である。いろいろな物質についての性質、構造および原子や分子間で起こる反応などを理解するには少なくとも二つの分野を学ばなければいけない。それは物質を微視的な観点から考察する量子力学と巨視的な観点から考察する熱力学である。本授業ではこれらの分野を理解するために原子構造と熱力学の基礎について学ぶ。

シラバス

1. オリエンテーション　国際単位(SI)
2. 原子の構成　エネルギー量子
3. 原子のスペクトルと原子モデル
4. 電子の波動性とシュレーデインガーの波動方程式
5. 波動方程式の解法　波動関数の解釈
6. 水素型原子のシュレーデインガーの波動方程式　量子数
7. 原子の電子配置と元素の周期律
8. 熱と熱力学　状態量
9. 熱力学第一法則　体積変化の仕事
10. 内部エネルギー　エンタルピー　熱容量
11. 熱力学第二法則　カルノーサイクル
12. エントロピーとその解釈
13. 自由エネルギー　熱力学関係式
14. 部分モル量　化学ポテンシャル
15. 学力考査および解説

教科書　「理工系学生のための化学基礎」野村浩康、川泉文男共編(学術図書出版)

参考文献

評価方法　学力試験および平常点(出席点)

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B1　物理・応物(2)		
科目キー	2800230002		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中井　浩巳		

副題

授業概要　物理化学系の基礎項目とそれに関連した現代化学のトピックスについて講義する。

シラバス
1　基礎知識の確認のための講義（基礎知識確認のための資料を事前に配布する。）
2　原子の構造：原子スペクトル、電子の波動性
3　原子の構造：Schrödingerの波動方程式、原子オービタル、電子配置、周期律表など
4　元素の性質：イオン化ポテンシャル、電子親和力など
5　化学結合：結合の種類、結合の方向性、混成軌道、多重結合、共役系など
6　化学結合：分子軌道法
7　分子の構造と性質：結合の極性と電気陰性度、van der Waals力など
8　スペクトロスコピー：光の発光と吸収、振動スペクトル、電子スペクトル
9　現代化学のトピックス：”福井謙一博士とフロンティア電子論”など
10　気体分子運動論：理想気体の運動論モデル、実在気体とvan der Waalsの状態方程式
11　熱力学の第一法則：仕事、熱、内部エネルギー
12　熱力学の第一法則：エンタルピーと比熱、断熱変化
13　熱力学の第二法則：エントロピー
14　化学反応速度：一次反応と二次反応
15　化学反応速度：複雑な反応

教科書　開講時に指示する。

参考文献　開講時に指示する。

評価方法　定期試験，平常点（出席），レポートなどを勘案して評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B1　電生(1)		
科目キー	2800230002		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鈴木　一成		

副題

授業概要　物理化学系の基礎項目とそれに関連した現代化学のトピックスについて講義する。

シラバス

第1回（ 9月28日） 基礎知識の確認のための講義（基礎知識確認のための資料を事前に配布する。）
第2回（10月 5日） 物質の構成単位としての原子の性質（原子の構造、原子スペクトル、電子の波動性、Schrödingerの波動方程式、原子オービタル、電子配置、周期律表など、元素の性質、イオン化ポテンシャル、電子親和力など）
第3回（10月12日） 物質の構成要素としての分子、イオンの性質（化学結合はどのように形成されるか、分子軌道法、結合の種類、結合の方向性、混成軌道、多重結合、共役系など、分子の構造と性質、結合の極性と電気陰性度、van der Waals力など）
第4回（10月19日） 光による分子の観察（スペクトロスコピー、光の発光と吸収、振動スペクトル、電子スペクトル）
第5回（10月26日） 現代化学のトピックス（その1）（"福井謙一博士とフロンティア電子論"など）
第6回（11月 2日） 理想気体から超臨界状態まで（気体の状態と諸法則、理想気体の運動論モデル、実在気体とvan der Waalsの状態方程式）
第7回（11月 9日） "無から有は生じない"---熱エネルギーを含んだエネルギー保存則---（熱力学の第一法則と熱化学、仕事、熱、内部エネルギー、第一法則）
第8回（11月16日） 物質の変化に伴う熱エネルギーの出入（エンタルピーと比熱、断熱変化、熱化学）
第9回（11月23日） 現代化学のトピックス（その2）（"白川英樹博士と導電性高分子"など）
第10回（11月30日） 自然界（＝物質）の変化はどのように進行するか（熱力学の第二法則とエントロピー、自発変化の方向、エントロピーと第二法則）
第11回（12月 7日） 物質の状態（固体、液体、気体）間のつりあいはどのように決まるか（その1）（自由エネルギー、純物質の化学ポテンシャルと相平衡）
第12回（12月14日） 物質の状態（固体、液体、気体）間のつりあいはどのように決まるか（その2）（混合の熱力学と溶液の化学ポテンシャル、化学平衡）
第13回（12月21日） 物質の化学変化はどのように進行するか（化学反応速度、一次反応と二次反応、複雑な反応（連鎖反応、酵素反応など））
第14回（ 1月18日） 電池（電気化学反応の熱力学、半電池と単極電池、濃淡電池）
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書　開講時に指示する。

参考文献　開講時に指示する。

評価方法　定期試験・レポート・出席点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B1　電生(2)		
科目キー	2800230002		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	伊藤　紘一		

副題

授業概要　物質を構成している原子、分子に関する基本的理論である量子化学と物質の平衡状態で示す巨視的な性質（溶解度、蒸気圧、化学平衡など）を体系的に説明する化学熱力学について解説する。

シラバス　講義内容は下記の教科書の内容に即します。

第1回（9月28日）
第1章　序章　1-1　から　1-8

第2回（10月5日）
第2章　原子　2-1　から　2-4

第3回（10月12日）
第2章　原子　2-5　から　2-10

第4回（10月19日）
第3章　化学結合と結合エネルギー　3-1　から　3-2

第5回（10月26日）
第3章　化学結合と結合エネルギー　3-3　から　3-4

第6回（11月2日）
第4章　分子の構造とエネルギー　4-1　から　4-2

第7回（11月9日）
第5章　分子間相互作用

第8回（11月16日）
第6章　凝集相にある物質の化学的性質

第9回（11月23日）
第7章　物質のエネルギーと平衡状態
7-1　内部エネルギー、仕事、熱　（7-1-1　から　7-1-2）

第10回（11月30日）
7-1　内部エネルギー、仕事、熱　（7-1-3　から　7-1-5）

第11回（12月7日）
7-2　エントロピー

第12回（12月14日）
7-3　自由エネルギー　（7-3-1　から　7-3-3）

第13回（12月21日）
7-3　自由エネルギー　（7-3-4　から　7-3-8）

第14回（1月18日）
7-4　電気エネルギーへの変換

第15回（日程別途指示）
学力考査および解説ー

教科書　池田憲明他著、化学序説（第4版）学術図書出版社

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B1　電生(2)		
科目キー	2800230002		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B2　生医		
科目キー	2800230003		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柴田　高範		

副題

授業概要　有機化学の入門として、有機化学に関する基礎的な知識、主な有機化合物の性質や構造、さらに基本的な有機合成反応について説明する。
基本的にはテキストにより授業を進めるが、その中で化学、特に有機化学についての最新のトピックにも言及するので、現代社会における(有機)化学の果たすべき役割についても考えるようになって欲しい。

シラバス
第1回　オリエンテーションならびに化学学力調査
第2回　有機化合物の役割、結合の形成と分子の構造
第3回　電子とエネルギー
第4回　酸と塩基
第5回　有機化学反応の考え方、アルカン
第6回　理解度確認テストならびにその解説
第7回　ハロゲン化アルキル
第8回　アルコールとエーテル
第9回　アルケンとアルキン
第10回　芳香族化合物とキラリティ
第11回　理解度確認テストならびにその解説
第12回　カルボニル化合物(1)アルデヒドとケトン
第13回　カルボニル化合物(2)カルボン酸とその誘導体
第14回　窒素を含む有機化合物　ニトロ化合物とアミン
第15回　学力考査および解説

教科書　「有機化学」?有機反応論で理解する?　村田　滋著　東京大学出版会

参考文献

評価方法　成績評価方法:出席(理解度確認テスト)、最終試験より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009 年度		
科目名付クラス名	化学B3 生医		
科目キー	2800230004		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	永澤 明		

副題 無機化学の基礎

授業概要 無機分析化学系の基礎項目とそれに関連した現代化学のトピックスについて講義する。
第1週 基礎知識の確認のための講義
第2週 原子の構造
第3週 元素の周期律
第4週 結合の生成
第5週 固体の結合と構造
第6週 分子の結合と形
第7週 化学熱力学
第8週 酸と塩基(1)
第9週 酸と塩基(2)
第10週 酸化と還元(1)
第11週 酸化と還元(2)
第12週 化学反応の速度
第13週 現代化学のトピックス

シラバス
1. 基礎知識の確認のための講義
 1.1 元素の種類と性質 1.2 元素の起源 1.3 周期表
 1.4 エネルギー
2. 原子の構造
 2.1 原子の構造 2.2 電子のエネルギー準位 2.3 電子の軌道とその形
 2.4 構成原理, パウリの排他原理, フントの規則
3. 元素の周期律
 3.1 原子半径, イオン半径 3.2 イオン化ポテンシャル 3.3 電子親和力
 3.4 電気陰性度
4. 結合の生成
 4.1 電子軌道の重なり 4.2 等核2原子分子の共有結合
 4.3 極性をもった共有結合 4.4 イオン結合
5. 固体の結合と構造
 5.1 金属元素の単体 5.2 金属元素の化合物 5.3 イオン固体
 5.4 格子エネルギー
6. 分子の結合と形
 6.1 原子価結合法 6.2 電子対の反発 6.3 分子の形
 6.4 分子軌道
7. 化学熱力学
 7.1 熱力学の法則 7.2 物質の自由エネルギー 7.3 エンタルピー
 7.4 エントロピー 7.5 物質の状態変化 7.6 化学平衡
8. 酸と塩基(1)
 8.1 ブレンステッド-ローリーの酸塩基 8.2 酸解離平衡と塩
 8.3 酸の強さ 8.4 水溶液での酸解離 8.5 緩衝作用 8.6 電解質
9. 酸と塩基(2)
 9.1 ルイスの酸塩基 9.2 配位結合と錯体 9.3 錯体の安定性
 9.4 イオンの溶媒和 9.5 金属イオンと配位子の親和性
10. 酸化と還元(1)
 10.1 酸化還元の定義 10.2 酸化数 10.3 電子移動と原子移動
 10.4 標準酸化還元電位 10.5 電気分解
11. 酸化と還元(2)
 11.1 電池 11.2 新しい電池 11.3 生体内の電子移動
 11.4 金属の製造
12. 化学反応の速度
 12.1 反応速度とは 12.2 一次反応, 二次反応 12.3 化学平衡と反応速度
13. 現代化学のトピックス

教科書 なし

参考文献 D.F.Shriver, P.W.Atkins, "Inorganic Chemistry", 3rd edn., Oxford University Press, 1999. (訳書「シュライバー 無機

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学B3　生医		
科目キー	2800230004		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

化学(上)」玉虫ほか訳，東京化学同人）

評価方法　出席状況，課題を与えてのレポート，授業時間の小テスト，期末試験の結果を合計して判定する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学C　生医（化学未履修者用クラス）		
科目キー	2800230005		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松本　一嗣		

副題

授業概要　人間が暮らしていく「衣食住」全てにおいて、化学製品はなくてはならないモノとなっている。化学製品の性質は、構造単位である「分子」の性質が反映されたものであり、物質を「分子」の単位で取り扱う「化学」を学ぶことは極めて重要である。食の安全や環境問題が大きく取りざたされている今日、社会人にとって「化学」は必須の知識ということができる。本講義では、高校で学んだ化学をベースに、化学結合の成り立ちから分子のふるまい・酸塩基・反応速度・有機化学まで、幅広く化学の基礎を学ぶ。

シラバス
第　1回（　9月30日）オリエンテーション・学力調査
第　2回（10月　7日）原子と分子
第　3回（10月14日）化学結合
第　4回（10月28日）化学反応と量的関係
第　5回（11月　4日）物質の三態
第　6回（11月11日）気体の状態方程式
第　7回（11月18日）溶解度、コロイド
第　8回（11月25日）反応速度
第　9回（12月　2日）酸・塩基
第10回（12月　9日）酸化・還元
第11回（12月16日）化学平衡、アルカン命名の小テスト
第12回（　1月　6日）有機化合物の命名法
第13回（　1月13日）異性体
第14回（　1月20日）有機化学反応の基礎
第15回（　1月27日）天然高分子
第16回（　2月　3日）学力考査および解説

教科書　長島弘三・富田　功著「一般化学（三訂版）」裳華房

参考文献

評価方法　期末テスト（70%）、授業中の演習（20%）、小テスト（10%）について評価する。

備考　E-mail address：mkazu@chem.meisei-u.ac.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学C　外国学生		
科目キー	2800230005		
科目クラスコード	13	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐々木　幸夫		

副題

授業概要　化学は物質を対象とする自然科学の重要な分野である。物質の中でも構造の簡単な気体の研究から、数多くの法則が生まれてきた。本授業では気体の性質について学んだ後、物質を原子や分子、いわゆる微視的な観点から理解するために必要な量子力学の基礎となる原子の構造について学ぶ。

シラバス

1. オリエンテーション　国際単位(SI)
2. 気体の諸性質と理想気体の状態方程式
3. 実在気体の状態方程式(ビリアル方程式)
4. 実在気体の状態方程式(ファンデルワールス式)　分子間力
5. 臨界現象
6. 気体分子運動論
7. 分子の速度と速度分布
8. 原子の構成　エネルギー量子
9. 原子スペクトルと原子モデル
10. 電子の波動性　物質波
11. シュレーデインガーの波動方程式
12. 波動方程式の解法　波動関数の解釈
13. 水素型原子のシュレーデインガー波動方程式　量子数
14. 原子の電子配置と元素の周期律
15. 学力考査および解説

教科書　『理工系学生のための化学基礎』野村浩康、川泉文男共編(学術図書出版)

参考文献

評価方法　学力試験および平常点(出席点)

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学C　再履修		
科目キー	2800230005		
科目クラスコード	51	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	今村　穣		

副題

授業概要　高校の物理・化学の内容を踏まえながら、基礎的な大学の化学の内容を講義する。前半は、ミクロな視点からの原子・分子の電子状態について、後半は、マクロな視点から熱力学について講義を行う。

シラバス

1．原子とは何か
2．原子核の周りの電子状態に対する考察
3．波動力学
4．原子の電子状態
5．原子の周期的性質
6．2原子分子の共有結合
7．多原子分子―分子の立体構造(I)
8．多原子分子―分子の立体構造(II)
9．状態変化の記述と状態量
10．系の状態変化の方向を示す状態量エントロピー(I)
11．系の状態変化の方向を示す状態量エントロピー(II)
12. ギブス自由エネルギーの導入
13. 溶液中の溶質のギブス自由エネルギー
14. ギブス自由エネルギーの応用

教科書　大学化学の基礎　内山敬康　共立出版

参考文献　化学の基礎　分子論的アプローチ　平尾公彦・加藤重樹　講談社サイエンティフック

評価方法　定期試験・レポート・平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学C　再履修		
科目キー	2800230005		
科目クラスコード	52	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	遠藤　恒平		

副題

授業概要　大学で触れる化学の入門講義（の再履修者向け）。
主に物理化学では熱力学から始まり有機化学、無機化学、生物化学の基礎を確認する。
専門課程ではないため、広く浅く学び、現代社会で取り上げられるトピックについても解説する。
基礎と、現在、実用化されている応用の両面について講義する。

シラバス　前半：
物理化学。主に気体の状態について。
内部エネルギー、エンタルピー、エントロピー
熱力学第１ー第3法則

後半：
有機化学、無機化学、生物化学など。
最新論文、最先端研究についても紹介する。

教科書　購入の必要はない。
アトキンス物理化学（上下）
マクマリー有機化学（上）など

参考文献　授業中に配布予定。

評価方法　１出席
２課題
３試験

試験必須。基本的に試験を受けなければ単位は認められない。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命科学概論A　化学・応化		
科目キー	2800240001		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	武岡　真司	朝日　透	増田　優
	青井　議輝	武田　直也	合田　亘人
	南沢　享	岡村　好子	松田　七美
	川内　健史	重谷　安代	

副題

授業概要　これまで十分な生物学教育を高等学校で受けなかった学生対象が、少しでも生命の神秘に興味を持ってもらうために設けられた科目である。また、本講義では、我々ほ乳類だけでなく幅広い生命体の活動、日常生活の場でも良く耳にする遺伝子改変生物の現状と未来や最先端医療の基盤を支える最新科学テクノロジーについてもできるだけ分かりやすく紹介する。さらに、本講義は、細胞生物学など今後より高いレベルの講義の履修を考えている学生にも、生命科学に対して十分な基礎知識をつけてもらうための登竜門と考えてほしい。

シラバス
1. 4月9日　オリエンテーション　合田
2. 4月16日　生命と生命科学　朝日
3. 4月23日　遺伝　松田
4. 5月7日　細胞の構造と各部の役割　松田
5. 5月14日　生命活動とエネルギー　合田
6. 5月21日　生命の誕生から死まで　川内
7. 5月28日　レギュラトリーサイエンス　増田
8. 6月4日　生物の進化　重谷
9. 6月11日　環境と生物I　青井
10. 6月18日　環境と生物II　岡村
11. 6月25日　食物と生物　武田
12. 7月2日　資源・エネルギーと生物　武岡
13. 7月9日　バイオテクノロジーと医療　南沢
14. 7月16日　生命科学と医療　合田
15. 日程別途指示　学力考査とその解説　合田

教科書　一般的な生物学・細胞生物学の教科書、例えば「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 著和田進　羊土社

参考文献

評価方法　平常点
筆記試験
遅刻は30分までとし、2回の遅刻で1回の欠席とする。4回以上の欠席の場合には成績の評価は行わない。

備考　不明な点があった場合には、主担当者の合田まで連絡を下さい。
goda@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命科学概論B　生医		
科目キー	2800240002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	武岡　真司 井上　貴文 辰巳　徳史	増田　優 南沢　享	枝川　義邦 重谷　安代

副題

授業概要　生物を履修している学生を対象とした教養的な科目。生命科学や医療に関心のある学生対象：主として細胞レベルから生命現象を理解し、その理解に基づいた先端のバイオテクノロジーや医療に関するキーワードが理解できる程度の学力を身に付けることをねらいとしている。

シラバス
1) 4月10日「生命と生命科学」生命とは何かについて触れつつ、分子、細胞、臓器、個体レベルで扱う生命科学の学問について考える。また、本講義全体のねらいや評価方法、勉強方法についても説明する。(武岡)
2) 4月17日「細胞の構造と各部の役割」細胞の構造、原核細胞と真核細胞の違い、動物細胞と植物細胞の違い、細胞小器官の構造と役割、細胞膜の構造と役割(南沢)
3) 4月24日「組織・器官の構造」循環、各効果器、各受容器、各臓器の構造と機能など、いろいろな器官を知る。(辰巳)
4) 5月8日「発生と分化」生殖、発生、分化、分化の誘導、老化の機構を知る。(重谷)
5) 5月15日「遺伝と遺伝物質」遺伝物質であるDNAの構造、複製、遺伝の仕組みについて知る。(南沢)
6) 5月22日「生命活動とエネルギー」エネルギー代謝、ミトコンドリア、クエン酸回路、解糖系、電子伝達系(枝川)
7) 5月29日「遺伝子工学の基礎」遺伝子工学の発展の流れを理解し、組み換え技術の基礎を知る。(武岡)
8) 6月5日「レギュラとリーサイエンス」科学・工学における規範について学ぶ。(増田)
9) 6月12日「学習した内容の点検と確認(コースナビ)」(井上)
10) 6月19日「先端バイオテクノロジー」ゲノム計画、ゲノムの特徴、ポストゲノムと生命科学(井上)
11) 6月26日「生物と環境/食物・エネルギー・資源」生態系の理解し、食物連鎖や炭素や窒素の循環、エネルギー問題と環境を考える。(武岡)
12) 7月3日「生物と環境/食物・エネルギー・資源」生態系の理解し、食物連鎖や炭素や窒素の循環、エネルギー問題と環境を考える。(武岡)
13) 7月10日「生命科学と医療1」疾患(がん、血管障害、感染症)(井上)
14) 7月17日「生命科学と医療2」生命科学の最先端(移植医療、再生医学、遺伝子治療)、生と死。(井上)
15) (日程別途指示)　学力考査および解説　(井上)

教科書

参考文献　「ヒューマンバイオロジー 人体と生命」シルビア S. メイダー著、医学書院、2005年

評価方法　平常点および筆記試験。遅刻は30分までとし、2回の遅刻で1回の欠席とする。4回以上の欠席の場合には成績の評価は行わない。

備考　生命科学概論Aと生命科学概論Bの単位を両方修得することは認められない。
担当責任者：井上貴文 (inoue.t@waseda.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学A　物理・応物		
科目キー	2800240003		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤野　秀樹		

副題

授業概要

生物学に関連した諸問題を理解する目的で動物及び植物細胞の基礎知識を広く習得し、各細胞内器官の役割や生理学的意義について学ぶ。また応用として、食品の遺伝子操作方法、テーラーメード医療及びゲノム創薬についても講義にて紹介する。講義概略を以下に示す。

1) 細胞学とは

細胞を作り上げている細胞の諸器官について学ぶ。原核生物の細胞と真核生物の細胞の違いを理解する。細胞は多種多様であるという特徴を有するが、細胞の統一性と多様性を理解する。

2) 細胞の化学成分

生物は化学反応で働くシステムであるので、化学結合の理解につとめる。また、細胞内の化合物は、糖、脂肪酸、アミノ酸、ヌクレオチドに4種類に属するが、これらの構成要素でできる多糖、脂肪、タンパク質、核酸要素であることを理解する。

3) 細胞のエネルギー

細胞が生きていくために必要なエネルギーをどのようにして得ているかについて理解する。この場合、酵素による触媒反応や同化や異化と呼ばれる細胞の代謝についても理解する。

4) タンパク質の構造と機能

タンパク質のアミノ酸配列から、高次構造にいたるまで、タンパク質の構造と機能の理解をする。特にタンパク質の多様な役割はその三次元構造に由来するが、タンパク質の分離、精製、構造決定法などについても理解する。

5) DNAの構造と機能

染色体、遺伝子、DNAの基本的な理解と、DNAの構造について理解する。DNAの自己複製やDNAの修復についての基礎知識を学ぶ。

6) DNAからタンパク質へ

DNAからRNAさらにタンパク質へと、転写、翻訳といったセントラルドグマを理解する。また、RNAワールドについても理解する。DNA操作や遺伝子発現調節については、分子生物学で別途学ぶ。

7) 膜の構造

人工リン脂質二重層による膜構造、イオンチャンネルやポンプさらに受容体といった膜タンパクの構造・性質を理解する。

8) 膜を通した輸送

運搬体タンパク質の働きや、イオンチャンネルと膜電位や活動電位の発生について理解する。さらに神経細胞特有のイオンチャンネルとシグナル伝達機構についても理解する。

9) 細胞骨格

細胞を形成の基本となる、フィラメントの働きを理解し、筋収縮に関わるアクチンとミオシンのフィラメントの滑走について知る。さらに微小管の物質移動にかかわるモータータンパクについて理解する。

10) 細胞分裂

細胞の増殖に関わる、細胞分裂について理解する。真核細胞の細胞周期特異的な4つの時期の意味を理解し、有糸分裂や減数分裂も知る。

11) 細胞周期の調節

細胞周期は厳密な調節系で制御されているが、これらの調節系に関わる酵素反応系の理解と共に、その異常である、ガン化の機構やプログラム死(アポトーシス)を理解する。″

シラバス

授業回数15回(含理工スポーツ大会、含教場での「学力考査および解説」)
第1回(4月10日)　オリエンテーション
第2回(日程別途指示)　細胞説の歴史
第3回(日程別途指示)　細胞内器官
第4回(日程別途指示)　細胞の化学成分およびエネルギー
第5回(日程別途指示)　DNAの構造と機能
第6回(日程別途指示)　DNAからタンパク質へ
第7回(日程別途指示)　タンパク質の構造と機能
第8回(日程別途指示)　各種酵素及び反応様式
第9回(6月12日)　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回(日程別途指示)　細胞膜輸送
第11回(日程別途指示)　細胞分裂
第12回(日程別途指示)　細胞周期の調節
第13回(日程別途指示)　アポトーシスとネクローシス
第14回(日程別途指示)　遺伝子工学
第15回(日程別途指示)　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学A　物理・応物		
科目キー	2800240003		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

第2-15回講義の開催時期及び場所はオリエンテーションにて指示する。

教科書

参考文献

評価方法　教場試験及びレポートの総合的採点により評価を行う。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学A　電生(1)		
科目キー	2800240003		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井上　宏子		

副題

授業概要

″人間とは何かを他の生物とのかかわりで理解したり、遺伝子診断、食品の遺伝子操作、ゲノム創薬など、生物学に関連した問題を理解するには、ヒトの体を作り上げている細胞の機能、すなわち細胞生物学の基本的理解が欠かせない。ここでは細胞の営みについて、一通り理解することを重点に講義を進める。

1)細胞とは
細胞を作り上げている細胞の諸器官について学ぶ。原核生物の細胞と真核生物の細胞の違いを理解する。細胞は多種多様であるという特徴を有するが、細胞の統一性と多様性を理解する。

2)細胞の化学成分
生物は化学反応で働くシステムであるので、化学結合の理解につとめる。また、細胞内の化合物は、糖、脂肪酸、アミノ酸、ヌクレオチドに4種類に属するが、これらの構成要素でできる多糖、脂肪、タンパク質、核酸要素であることを理解する。

3)細胞のエネルギー
細胞が生きていくために必要なエネルギーをどのようにして得ているかについて理解する。この場合、酵素による触媒反応や同化や異化と呼ばれる細胞の代謝についても理解する。

4)、5)タンパク質の構造と機能
タンパク質のアミノ酸配列から、高次構造にいたるまで、タンパク質の構造と機能の理解をする。特にタンパク質の多様な役割はその三次元構造に由来するが、タンパク質の分離、精製、構造決定法などについても理解する。

6)DNAの構造と機能
染色体、遺伝子、DNAの基本的な理解と、DNAの構造について理解する。DNAの自己複製やDNAの修復についての基礎知識を学ぶ。

7)DNAからタンパク質へ
DNAからRNAさらにタンパク質へと、転写、翻訳といったセントラルドグマを理解する。また、RNAワールドについても理解する。DNA操作や遺伝子発現調節については、分子生物学で別途学ぶ。

8)膜の構造
人工リン脂質二重層による膜構造、イオンチャンネルやポンプさらに受容体といった膜タンパクの構造・性質を理解する。

9)膜を通した輸送
運搬体タンパク質の働きや、イオンチャンネルと膜電位や活動電位の発生について理解する。さらに神経細胞特有のイオンチャンネルとシグナル伝達機構についても理解する。

10)細胞骨格
細胞を形成の基本となる、フィラメントの働きを理解し、筋収縮に関わるアクチンとミオシンのフィラメントの滑走について知る。さらに微小管の物質移動にかかわるモータータンパクについて理解する。

11)細胞分裂
細胞の増殖に関わる、細胞分裂について理解する。真核細胞の細胞周期特異的な4つの時期の意味を理解し、有糸分裂や減数分裂も知る。

12)細胞周期の調節
細胞周期は厳密な調節系で制御されているが、これらの調節系に関わる酵素反応系の理解と共に、その異常である、ガン化の機構やプログラム死(アポトーシス)を理解する。″

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学A　電生(2)		
科目キー	2800240003		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高松　敦子		

副題

授業概要　21世紀の科学技術は生命科学がほとんど必ずといって良いほどキーワードとして関連してくる。物理学は、その研究対象の中心はかつては「物」であったが、解析手法やコンピュータの発展もあって、今では「生き物」が最も興味深い対象の1つとなりつつある。一方、技術面においても、マイクロ・ナノテクノロジー分野は遺伝子診断や生体分子機械などに展開され、また、ロボティクスの分野では生物に学ぶ制御機構の研究が盛んになってきた。このように、基盤となる学問分野が何であれ、今や「生命科学」は、基礎知識として欠かせない学問となった。
この授業では、高等学校で「生物学」を専門として履修してこなかった学生を対象に、生物とは何かを学ぶ。そのためには、生物の体を作り上げている細胞の機能、すなわち細胞生物学の基本的理解が欠かせない。ここでは細胞の営みについて、一通り理解することを重点に講義を進め、物理学との関わりについても言及する。

シラバス
第　1回（4月　6日）イントロダクション−細胞とは、細胞生物学とは−
第　2回（4月13日）細胞の構成
第　3回（4月20日）細胞内器官の役割
第　4回（4月27日）細胞をつくる分子
第　5回（5月11日）DNAの複製
第　6回（5月18日）DNA~RNA~タンパク質
第　7回（5月25日）タンパク質の構造と機能
第　8回（6月　1日）細胞内の化学反応−代謝、酵素反応−
第　9回（6月　8日）細胞内の化学反応−エネルギー−
第10回（6月15日）膜
第11回（6月22日）細胞間コミュニケーション
第12回（6月29日）細胞骨格と細胞運動
第13回（7月　6日）細胞周期と細胞分裂
第14回（7月13日）細胞からからだへ
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　Essential 細胞生物学　南江堂

参考文献

評価方法　毎週演習レポートを出題する。その提出状況と定期試験の成績によって評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学A　電生(3)		
科目キー	2800240003		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岡野　俊行		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学B　化学・生医		
科目キー	2800240004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	仙波　憲太郎	大島　登志男	

副題

授業概要　本講義では、生物の基本単位である「細胞」に着目し、その構造と機能を学習し（仙波）、さらに、特殊な機能を持つ細胞をより深く掘り下げて学習する（大島）。生命科学概論のアドバンスコースとして位置づけられる。

シラバス

1（10月1日）オリエンテーション（仙波）
2（10月8日）細胞とは何か一起源、多様性、細胞小器官（1章、2章）（仙波）
3（10月15日）タンパク質の誕生と死一転写、翻訳、品質管理、分解（3章1から4）（仙波）
4（10月29日）タンパク質の局在化一膜透過、細胞小器官間輸送（3章一4）（仙波）
5（11月5日）細胞骨格と運動制御一アクチンフィラメント、中間径フィラメント、モータータンパク質（5章）（仙波）
6（11月12日）細胞間相互作用一細胞膜、細胞外マトリックス、細胞接着（6章一1）（仙波）
7（11月19日）シグナル伝達一原理、多様性（6章一2から5）（仙波）
8（11月26日）細胞周期1一細胞周期を駆動するエンジンとブレーキ（7章一2，3）（仙波）
9（12月3日）細胞周期2一DNAの複製、染色体分配、細胞分裂（7章一1、2）（仙波）
10（12月10日）細胞の老化と死一幹細胞、アポトーシス、がん（10章）（仙波）
11（12月17日）特殊化した細胞の機能1：生殖細胞一減数分裂と受精、個体の発生のしくみ（8章）（大島）
12（1月7日）特殊化した細胞の機能2：血球細胞一非特異的生体防御、免疫（9章）（大島）
13（1月14日）特殊化した細胞の機能3：内分泌系一ホメオスタシス（11章）（大島）
14（1月21日）特殊化した細胞の機能4：神経細胞一感覚の受容（11章）（大島）
15（日程別途指示）学力考査とその解説（仙波）

教科書　基礎から学ぶ生物学・細胞生物学　和田　勝著　羊土社

参考文献　細胞生物学　永田、中野、米田編　東京化学同人
クーパー細胞生物学　東京化学同人
分子生物学講義中継　井出利憲著　羊土社

評価方法　平常点（出席・態度）、定期試験

備考　シラバスの括弧内は各回の授業に該当する教科書の章を表す。

担当責任者：仙波憲太郎

E-mail：ksemba@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学B　応化		
科目キー	2800240004		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竹山　春子	尾高　雅文	

副題

授業概要　本講義では、生物の基本単位である「細胞」に着目し、その構造と機能を学習し、個々の細胞内あるいは細胞間、組織、個体におけるいとなみ、コミュニケーションを理解する。また、幾つかの特殊化した機能をもつ細胞についてより深く掘り下げて学習する。

シラバス

1（4月10日：竹山）オリエンテーション
2（4月17日：尾高）細胞とは何か（起源、多様性、構造、細胞小器官）（1章、2章）
3（4月24日：尾高）タンパク質の一生（転写、翻訳、品質管理、分解）（3章1から4）
4（5月８日：竹山）タンパク質の輸送と局在化（膜透過、細胞小器官間輸送）（3章４）
5（5月１５日：尾高）細胞の形と運動（細胞骨格、運動制御、アクチンフィラメント、中間径フィラメント、モータータンパク質（5章）
6（5月22日：尾高）細胞間コミュニケーション（細胞膜、細胞外マトリックス、細胞接着）（6章１）
7（5月29日：尾高）シグナル伝達１（リン酸化を介したタンパク質の活性制御機構）（6章2から5）
8（6月5日：尾高）シグナル伝達２（細胞膜受容体を介するシグナル伝達機構）（6章2から5）
9（6月12日：尾高）細胞周期１（細胞周期を駆動するエンジンとブレーキ）（7章一2，３）
10（6月19日：尾高）細胞周期２（DNAの複製、染色体分配、細胞分裂）（7章一1、2）
11（6月26日：尾高）細胞の老化と死（幹細胞、アポトーシス、がん）（10章）
12（7月3日：尾高）特殊化した細胞の機能１：生殖細胞（減数分裂と受精、個体の発生）（8章）
13（7月10日：尾高）特殊化した細胞の機能２：血球細胞（非特異的生体防御、免疫）（9章）
14（7月17日：尾高）特殊化した細胞の機能４：神経細胞（感覚の受容）（11章）
15（7月24日：尾高）学力考査とその解説

教科書　基礎から学ぶ生物学・細胞生物学　和田　勝著　羊土社

参考文献
・クーパー細胞生物学　東京化学同人
・分子細胞生物学ボルティモア、ロディッシュ、ダーネル著　東京化学同人
・細胞の分子生物学　第4版　Bruce Albertsら著、中村桂子・松原健一監訳　ニュートンプレス

評価方法　平常点（出席・態度）、定期試験

備考　シラバスの括弧内は各回の授業に該当する教科書の章を表す。
担当責任者　尾高　雅文
E-mail: modaka@cc.tuat.ac.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　Iブロック		
科目キー	2800250001		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鷲尾　方一	菅野　重樹	大島　忠平
	常田　聡	大江　親臣	鹿島　長次
	吉川　昭	木村　一宇	久保　葉子
	小出　隆規	福島　靖孝	石川　知則

副題

授業概要

高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の実験の素養を養う。頭だけでなく、手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマの物理を学ぶ。

化学系実験では、身近な物質を対象に、環境測定（水の中の鉄）、定量分析（果実などの中のビタミンC）、合成（高分子繊維のナイロン）を通して化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、分析機器などの扱い方や環境保全の重要性について学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

シラバス

第　1回	ガイダンス
第　2回	レンズを作る
第　3回	波動
第　4回	電磁誘導
第　5回	音の波形を見る
第　6回	エレクトリック・ギター
第　7回	コンデンサーを作ってラジオを聴く
第　8回	水の流れの物理
第　9回	水の分析
第10回	ビタミンCの定量
第11回	ナイロンの合成
第12回	細胞の顕微鏡観察
第13回	Course N@viによる学習
第14回・第15回	適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。 提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　IIブロック		
科目キー	2800250001		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鷹野　正利	角田　頼彦	中井　浩巳
	鵜飼　一彦	湯浅　一哉	松田　梓
	高松　敦子	林　久治	西　正和
	久保　葉子	神崎　夏子	中尾　洋一

副題

授業概要

高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の実験の素養を養う。頭だけでなく、手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマの物理を学ぶ。

化学系実験では、身近な物質を対象に、環境測定（水の中の鉄）、定量分析（果実などの中のビタミンC）、合成（高分子繊維のナイロン）を通して化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、分析機器などの扱い方や環境保全の重要性について学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

シラバス

第　1回	ガイダンス
第　2回	レンズを作る
第　3回	波動
第　4回	電磁誘導
第　5回	音の波形を見る
第　6回	エレクトリック・ギター
第　7回	コンデンサーを作ってラジオを聴く
第　8回	水の流れの物理
第　9回	水の分析
第10回	ビタミンCの定量
第11回	ナイロンの合成
第12回	細胞の顕微鏡観察
第13回	Course N@viによる学習
第14回・第15回	適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。 提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法　出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　IIIブロック		
科目キー	2800250001		
科目クラスコード	03	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺崎　一郎	宗田　孝之	川原田　洋
	庄子　習一	菊田　敏輝	中田　雅久
	宇高　勝之	栗原　進	谷田貝　文夫
	高野　光則	大山　俊行	仙波　憲太郎

副題

授業概要

高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の実験の素養を養う。頭だけでなく、手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

物理系実験では、レンズ、波動、磁石と誘導起電力、音の波形、エレクトリック・ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマの物理を学ぶ。

化学系実験では、身近な物質を対象に、環境測定（水の中の鉄）、定量分析（果実などの中のビタミンC）、合成（高分子繊維のナイロン）を通して化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、分析機器などの扱い方や環境保全の重要性について学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

シラバス

第　1回	ガイダンス
第　2回	レンズを作る
第　3回	波動
第　4回	電磁誘導
第　5回	音の波形を見る
第　6回	エレクトリック・ギター
第　7回	コンデンサーを作ってラジオを聴く
第　8回	水の流れの物理
第　9回	水の分析
第10回	ビタミンCの定量
第11回	ナイロンの合成
第12回	細胞の顕微鏡観察
第13回	Course N@viによる学習
第14回・第15回	適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。 提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　IVブロック		
科目キー	2800250001		
科目クラスコード	04	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鹿又　宣弘	菊田　敏輝	鈴木　一成
	師　啓二	齋藤　俊和	秋元　琢磨
	篠原　邦夫	吉川　昭	大山　俊行
	林　久治	岡野　俊行	中村　真吾

副題

授業概要

高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の実験の素養を養う。頭だけでなく、手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

物理系実験では、レンズ、波動、磁石と誘導起電力、音の波形、エレクトリック・ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマの物理を学ぶ。

化学系実験では、身近な物質を対象に、環境測定（水の中の鉄）、定量分析（果実などの中のビタミンC）、合成（高分子繊維のナイロン）を通して化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、分析機器などの扱い方や環境保全の重要性について学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

シラバス

第　1回	ガイダンス
第　2回	レンズを作る
第　3回	波動
第　4回	電磁誘導
第　5回	音の波形を見る
第　6回	エレクトリック・ギター
第　7回	コンデンサーを作ってラジオを聴く
第　8回	水の流れの物理
第　9回	水の分析
第10回	ビタミンCの定量
第11回	ナイロンの合成
第12回	細胞の顕微鏡観察
第13回	Course N@viによる学習
第14回・第15回	適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。 提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　Vブロック		
科目キー	2800250001		
科目クラスコード	05	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古川　行夫	長谷部　信行	菊田　敏輝
	大江　親臣	北川　盈雄	寺沢　和洋
	勝藤　拓郎	柴田　高範	山崎　義弘
	山口　正	大山　俊行	大島　登志男

副題

授業概要

高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の実験の素養を養う。頭だけでなく、手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

物理系実験では、レンズ、波動、磁石と誘導起電力、音の波形、エレクトリック・ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマの物理を学ぶ。

化学系実験では、身近な物質を対象に、環境測定（水の中の鉄）、定量分析（果実などの中のビタミンC）、合成（高分子繊維のナイロン）を通して化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、分析機器などの扱い方や環境保全の重要性について学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

シラバス

第　1回	ガイダンス
第　2回	レンズを作る
第　3回	波動
第　4回	電磁誘導
第　5回	音の波形を見る
第　6回	エレクトリック・ギター
第　7回	コンデンサーを作ってラジオを聴く
第　8回	水の流れの物理
第　9回	水の分析
第10回	ビタミンCの定量
第11回	ナイロンの合成
第12回	細胞の顕微鏡観察
第13回	Course N@viによる学習
第14回・第15回	適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。 提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法　出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A 補講実験クラス		
科目キー	2800250001		
科目クラスコード	51	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	勝藤　拓郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　Iブロック		
科目キー	2800250002		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鷲尾　方一	菅野　重樹	石原　浩二
	大島　忠平	菊田　敏輝	大江　親臣
	佐々木　幸夫	鹿島　長次	松田　梓
	井上　貴文	福島　靖孝	石川　知則

副題

授業概要

「理工学基礎実験1A」で習得した知識と技術を土台にして、物理、化学および生命科学の基礎分野におけるより進んだ実験を1回1テーマで行い、理工系学生として必須の実験の素養を養う。1Aと同様に、自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に自主性を伸ばすことを目標としている。

物理系実験では、物体の衝突、剛体振り子などの運動を解析して力学の基本（運動量、角運動量、エネルギー、慣性モーメント）の理解を深めるほか、オシロスコープを使用して抵抗、コンデンサー、コイルなどの基本的な電気回路の構成素子の働きを学んだり、白色光の分光やレーザー光の干渉を通じて光の性質を学ぶ。また、自分の実験結果を他の人にわかりやすく説明や議論したりする、いわゆるプレゼンテーションの練習を行う項目も用意されている。このほか、電子回路を自分で設計・製作し動作検証やトラブルシューティングを行うような、ものづくり要素の強い項目もあり、楽しみながら実践的な技術や洞察力を高めることができるように工夫されている。

化学系実験では、つぎの3つの実験事項の体得を通して、物質を構成する原子、物質の性質、化学反応についての理解を深めることを目的とする。(1)原子の発光スペクトルの測定と解析方法、(2)医薬品の合成、および生成物の分離・精製、同定の方法、(3)酵素反応と化学反応の反応速度の測定と、反応機構の解析。

生命科学系実験では、生物の遺伝情報を担う物質であるDNAについて理解を深める。またPCR法の原理を学び、DNAを短時間で増幅する実験を行う。さらに実験結果をもとに論理的な考察を行う。

シラバス

第　1回　ガイダンス
第　2回　医薬品の合成
第　3回　原子の発光スペクトル
第　4回　酵素反応と化学反応
第　5回　DNAの抽出とPCRを利用した増幅
第　6回　電子回路工作
第　7回　回路素子と波形
第　8回　身近なものを振り子にする
第　9回　光の分光と干渉
第10回　惑星の運動
第11回　エアーホッケーの物理
第12回　発表と討論
第13回・第14回・第15回　適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1B　IIブロック		
科目キー	2800250002		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上江洲　由晃	鹿又　宣弘	林　泰弘
	鷹野　正利	菊田　敏輝	角田　頼彦
	山口　正	高松　敦子	吉川　昭
	林　久治	木村　一宇	西　正和

副題

授業概要

「理工学基礎実験1A」で習得した知識と技術を土台にして、物理、化学および生命科学の基礎分野におけるより進んだ実験を1回1テーマで行い、理工系学生として必須の実験の素養を養う。1Aと同様に、自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に自主性を伸ばすことを目標としている。

物理系実験では、物体の衝突、剛体振り子などの運動を解析して力学の基本（運動量、角運動量、エネルギー、慣性モーメント）の理解を深めるほか、オシロスコープを使用して抵抗、コンデンサー、コイルなどの基本的な電気回路の構成素子の働きを学んだり、白色光の分光やレーザー光の干渉を通じて光の性質を学ぶ。また、自分の実験結果を他の人にわかりやすく説明や議論したりする、いわゆるプレゼンテーションの練習を行う項目も用意されている。このほか、電子回路を自分で設計・製作し動作検証やトラブルシューティングを行うような、ものづくり要素の強い項目もあり、楽しみながら実践的な技術や洞察力を高めることができるように工夫されている。

化学系実験では、つぎの3つの実験事項の体得を通して、物質を構成する原子、物質の性質、化学反応についての理解を深めることを目的とする。(1)原子の発光スペクトルの測定と解析方法、(2)医薬品の合成、および生成物の分離・精製、同定の方法、(3)酵素反応と化学反応の反応速度の測定と、反応機構の解析。

生命科学系実験では、生物の遺伝情報を担う物質であるDNAについて理解を深める。またPCR法の原理を学び、DNAを短時間で増幅する実験を行う。さらに実験結果をもとに論理的な考察を行う。

シラバス

第　1回　ガイダンス
第　2回　医薬品の合成
第　3回　原子の発光スペクトル
第　4回　酵素反応と化学反応
第　5回　DNAの抽出とPCRを利用した増幅
第　6回　電子回路工作
第　7回　回路素子と波形
第　8回　身近なものを振り子にする
第　9回　光の分光と干渉
第10回　惑星の運動
第11回　エアーホッケーの物理
第12回　発表と討論
第13回・第14回・第15回　適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　IIIブロック		
科目キー	2800250002		
科目クラスコード	03	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石渡　信一	古川　行夫	川原田　洋
	庄子　習一	菊田　敏輝	宇高　勝之
	栗原　進	常田　聡	谷田貝　文夫
	木下　一彦	柴田　高範	大山　俊行

副題

授業概要

「理工学基礎実験1A」で習得した知識と技術を土台にして、物理、化学および生命科学の基礎分野におけるより進んだ実験を1回1テーマで行い、理工系学生として必須の実験の素養を養う。1Aと同様に、自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に自主性を伸ばすことを目標としている。

物理系実験では、物体の衝突、剛体振り子などの運動を解析して力学の基本（運動量、角運動量、エネルギー、慣性モーメント）の理解を深めるほか、オシロスコープを使用して抵抗、コンデンサー、コイルなどの基本的な電気回路の構成素子の働きを学んだり、白色光の分光やレーザー光の干渉を通じて光の性質を学ぶ。また、自分の実験結果を他の人にわかりやすく説明や議論したりする、いわゆるプレゼンテーションの練習を行う項目も用意されている。このほか、電子回路を自分で設計・製作し動作検証やトラブルシューティングを行うような、ものづくり要素の強い項目もあり、楽しみながら実践的な技術や洞察力を高めることができるように工夫されている。

化学系実験では、つぎの3つの実験事項の体得を通して、物質を構成する原子、物質の性質、化学反応についての理解を深めることを目的とする。(1)原子の発光スペクトルの測定と解析方法、(2)医薬品の合成、および生成物の分離・精製、同定の方法、(3)酵素反応と化学反応の反応速度の測定と、反応機構の解析。

生命科学系実験では、生物の遺伝情報を担う物質であるDNAについて理解を深める。またPCR法の原理を学び、DNAを短時間で増幅する実験を行う。さらに実験結果をもとに論理的な考察を行う。

シラバス

第　1回　ガイダンス
第　2回　医薬品の合成
第　3回　原子の発光スペクトル
第　4回　酵素反応と化学反応
第　5回　DNAの抽出とPCRを利用した増幅
第　6回　電子回路工作
第　7回　回路素子と波形
第　8回　身近なものを振り子にする
第　9回　光の分光と干渉
第10回　惑星の運動
第11回　エアーホッケーの物理
第12回　発表と討論
第13回・第14回・第15回　適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　IVブロック		
科目キー	2800250002		
科目クラスコード	04	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中井　浩巳	鈴木　一成	師　啓二
	齋藤　俊和	秋元　琢磨	篠原　邦夫
	吉川　昭	大山　俊行	林　久治
	岡野　俊行	福島　靖孝	岡田　淳

副題

授業概要

「理工学基礎実験1A」で習得した知識と技術を土台にして、物理、化学および生命科学の基礎分野におけるより進んだ実験を1回1テーマで行い、理工系学生として必須の実験の素養を養う。1Aと同様に、自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に自主性を伸ばすことを目標としている。

物理系実験では、物体の衝突、剛体振り子などの運動を解析して力学の基本（運動量、角運動量、エネルギー、慣性モーメント）の理解を深めるほか、オシロスコープを使用して抵抗、コンデンサー、コイルなどの基本的な電気回路の構成素子の働きを学んだり、白色光の分光やレーザー光の干渉を通じて光の性質を学ぶ。また、自分の実験結果を他の人にわかりやすく説明や議論したりする、いわゆるプレゼンテーションの練習を行う項目も用意されている。このほか、電子回路を自分で設計・製作し動作検証やトラブルシューティングを行うような、ものづくり要素の強い項目もあり、楽しみながら実践的な技術や洞察力を高めることができるように工夫されている。

化学系実験では、つぎの3つの実験事項の体得を通して、物質を構成する原子、物質の性質、化学反応についての理解を深めることを目的とする。(1)原子の発光スペクトルの測定と解析方法、(2)医薬品の合成、および生成物の分離・精製、同定の方法、(3)酵素反応と化学反応の反応速度の測定と、反応機構の解析。

生命科学系実験では、生物の遺伝情報を担う物質であるDNAについて理解を深める。またPCR法の原理を学び、DNAを短時間で増幅する実験を行う。さらに実験結果をもとに論理的な考察を行う。

シラバス

第　1回　ガイダンス
第　2回　医薬品の合成
第　3回　原子の発光スペクトル
第　4回　酵素反応と化学反応
第　5回　DNAの抽出とPCRを利用した増幅
第　6回　電子回路工作
第　7回　回路素子と波形
第　8回　身近なものを振り子にする
第　9回　光の分光と干渉
第10回　惑星の運動
第11回　エアーホッケーの物理
第12回　発表と討論
第13回・第14回・第15回　適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1B　Vブロック		
科目キー	2800250002		
科目クラスコード	05	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	長谷部　信行	中田　雅久	大江　親臣
	北川　盈雄	寺沢　和洋	勝藤　拓郎
	山崎　義弘	大山　俊行	合田　亘人
	久保　葉子	中尾　洋一	小出　隆規

副題

授業概要

「理工学基礎実験1A」で習得した知識と技術を土台にして、物理、化学および生命科学の基礎分野におけるより進んだ実験を1回1テーマで行い、理工系学生として必須の実験の素養を養う。1Aと同様に、自分で直接体験することにより、基本法則や理論をより深く理解すると同時に自主性を伸ばすことを目標としている。

物理系実験では、物体の衝突、剛体振り子などの運動を解析して力学の基本（運動量、角運動量、エネルギー、慣性モーメント）の理解を深めるほか、オシロスコープを使用して抵抗、コンデンサー、コイルなどの基本的な電気回路の構成素子の働きを学んだり、白色光の分光やレーザー光の干渉を通じて光の性質を学ぶ。また、自分の実験結果を他の人にわかりやすく説明や議論したりする、いわゆるプレゼンテーションの練習を行う項目も用意されている。このほか、電子回路を自分で設計・製作し動作検証やトラブルシューティングを行うような、ものづくり要素の強い項目もあり、楽しみながら実践的な技術や洞察力を高めることができるように工夫されている。

化学系実験では、つぎの3つの実験事項の体得を通して、物質を構成する原子、物質の性質、化学反応についての理解を深めることを目的とする。(1)原子の発光スペクトルの測定と解析方法、(2)医薬品の合成、および生成物の分離・精製、同定の方法、(3)酵素反応と化学反応の反応速度の測定と、反応機構の解析。

生命科学系実験では、生物の遺伝情報を担う物質であるDNAについて理解を深める。またPCR法の原理を学び、DNAを短時間で増幅する実験を行う。さらに実験結果をもとに論理的な考察を行う。

シラバス

第　1回	ガイダンス
第　2回	医薬品の合成
第　3回	原子の発光スペクトル
第　4回	酵素反応と化学反応
第　5回	DNAの抽出とPCRを利用した増幅
第　6回	電子回路工作
第　7回	回路素子と波形
第　8回	身近なものを振り子にする
第　9回	光の分光と干渉
第10回	惑星の運動
第11回	エアーホッケーの物理
第12回	発表と討論
第13回・第14回・第15回	適宜、レポートの提出による授業理解の確認を行う。 提出方法・提出時期は授業中に指示する。

実験をグループ分けして進めていく都合上、実際の進行順は上記のようになるとは限らない。各自の実際の履修順序は必ずガイダンスで確認すること。

教科書

参考文献

評価方法

出席状況、レポート内容などを考慮して総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1B 補講実験クラス		
科目キー	2800250002		
科目クラスコード	51	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	勝藤　拓郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2B　電生		
科目キー	2800250004		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村田　昇 井上　真郷	渡邊　亮 寺田　泰比古	山口　正

副題

授業概要

″理工学基礎1A、1Bに続いて2年次に行う基礎実験科目である。物理的・工学的な実験を通して、多様な実験技術と実験手法に関する素養を修得し、専門実験への準備を行う。講義で学習していない内容が含まれる場合があるので、十分な予習と手際のよい作業が要求される。また、1年次に修得した計算機を用いてデータを整理して考察を行うなど、創意工夫も重要である。
実験内容は以下の通りである。
1）物理系実験（弾性と粘弾性、共振回路と振動系、レーザーとホログラフィー干渉、いろいろな顕微鏡、コイルとコンデンサ、磁化特性）
2）化学系実験（錯体の合成と反応、異性体のクロマトグラフィー、タンパク質の分子量測定、着色ほう酸塩ガラスの作製）″

シラバス

第　1回（4月　6日）　オリエンテーション
第　2回（4月13日）　レポートの書き方 
第　3回（4月20日）　装置の取り扱い操作方法
第　4回（4月27日）　弾性と粘弾性　 
第　5回（5月11日）　共振回路と振動系
第　6回（5月18日）　レーザーとホログラフィー干渉
第　7回（5月25日）　いろいろな顕微鏡
第　8回（6月　1日）　熱と拡散
第　9回（6月　8日）　異性体のクロマトグラフィー 
第10回（6月15日）　錯体の合成と反応 
第11回（6月22日）　コンピューターによる自動計測
第12回（6月29日）　タンパク質の分子量測定
第13回（7月　6日）　着色ほう酸塩ガラスの作製
第14回・第15回　　レポートの提出による授業理解の確認を行う。提出方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2B　応化		
科目キー	2800250004		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	小柳津　研一 関根　泰	木野　邦器 細川　誠二郎	小堀　深

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2B　応物		
科目キー	2800250004		
科目クラスコード	03	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	竹内　淳	小松　進一	石渡　信一
	石原　浩二	中井　浩巳	橋本　周司
	森島　繁生	多辺　由佳	

副題

授業概要　″理工学基礎1A、1Bに続いて2年次に行う基礎実験科目である。物理的・工学的な実験を通して、多様な実験技術と実験手法に関する素養を修得し、専門実験への準備を行う。講義で学習していない内容が含まれる場合があるので、十分な予習と手際のよい作業が要求される。また、1年次に修得した計算機を用いてデータを整理して考察を行うなど、創意工夫も重要である。
実験内容は以下の通りである。
1）物理系実験（弾性と粘弾性、共振回路と振動系、レーザーとホログラフィー干渉、いろいろな顕微鏡、コイルとコンデンサ、磁化特性）
2）化学系実験（錯体の合成と反応、異性体のクロマトグラフィー、タンパク質の分子量測定、着色ほう酸塩ガラスの作製）″

シラバス
第　1回（　9月28日）　オリエンテーション
第　2回（10月　5日）　レポートの書き方
第　3回（10月12日）　装置の取り扱い操作方法
第　4回（10月19日）　弾性と粘弾性
第　5回（10月26日）　共振回路と振動系
第　6回（11月　2日）　レーザーとホログラフィー干渉
第　7回（11月　9日）　いろいろな顕微鏡
第　8回（11月16日）　熱と拡散
第　9回（11月23日）　コンピューターによる自動計測
第10回（11月30日）　異性体のクロマトグラフィー
第11回（12月　7日）　錯体の合成と反応
第12回（　1月18日）　タンパク質の分子量測定
第13回（　1月25日）　着色ほう酸塩ガラスの作製
第14回・第15回　　レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献

評価方法　出席・レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2B　物理		
科目キー	2800250004		
科目クラスコード	04	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	竹内　淳	小松　進一	石渡　信一
	石原　浩二	中井　浩巳	橋本　周司
	森島　繁生	多辺　由佳	

副題

授業概要　″理工学基礎1A、1Bに続いて2年次に行う基礎実験科目である。物理的・工学的な実験を通して、多様な実験技術と実験手法に関する素養を修得し、専門実験への準備を行う。講義で学習していない内容が含まれる場合があるので、十分な予習と手際のよい作業が要求される。また、1年次に修得した計算機を用いてデータを整理して考察を行うなど、創意工夫も重要である。
実験内容は以下の通りである。
1）物理系実験（弾性と粘弾性、共振回路と振動系、レーザーとホログラフィー干渉、いろいろな顕微鏡、コイルとコンデンサ、磁化特性）
2）化学系実験（錯体の合成と反応、異性体のクロマトグラフィー、タンパク質の分子量測定、着色ほう酸塩ガラスの作製）″

シラバス
第　1回（　9月28日）　オリエンテーション
第　2回（10月　5日）　レポートの書き方
第　3回（10月12日）　装置の取り扱い操作方法
第　4回（10月19日）　弾性と粘弾性
第　5回（10月26日）　共振回路と振動系
第　6回（11月　2日）　レーザーとホログラフィー干渉
第　7回（11月　9日）　いろいろな顕微鏡
第　8回（11月16日）　熱と拡散
第　9回（11月23日）　コンピューターによる自動計測
第10回（11月30日）　異性体のクロマトグラフィー
第11回（12月　7日）　錯体の合成と反応
第12回（　1月18日）　タンパク質の分子量測定
第13回（　1月25日）　着色ほう酸塩ガラスの作製
第14回・第15回　　レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献

評価方法　出席・レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2B　化学		
科目キー	2800250004		
科目クラスコード	05	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武岡　真司 高安　徹 高野　光則	中田　雅久 木下　一彦 武田　直也	朝日　透 鵜飼　一彦

副題

授業概要　理工学基礎実験2Bは、理工学基礎実験1A、1Bに続いて2年次に行う基礎実験科目である。物理・化学の基礎法則を学ぶとともに、物理的・工学的な実験を通して、多様な実験技術と実験手法に関する素養を身につけ、専門実験への準備をととのえる。また、1年次に学んだコンピュータ技術を用いて実験データを整理し、その考察に基づいて実験全体を深く理解する体験を通して、総意工夫する能力を養う。

シラバス
第　1回（　9月28日）　オリエンテーション
第　2回（10月　5日）　レポートの書き方
第　3回（10月12日）　装置の取り扱い操作方法
第　4回（10月19日）　弾性と粘弾性
第　5回（10月26日）　共振回路と振動系
第　6回（11月　2日）　レーザーとホログラフィー干渉
第　7回（11月　9日）　いろいろな顕微鏡
第　8回（11月16日）　熱と拡散
第　9回（11月23日）　磁化特性
第10回（11月30日）　錯体の合成と反応
第11回（12月　7日）　異性体のクロマトグラフィー
第12回（12月14日）　タンパク質の分子量測定
第13回（12月21日）　着色ほう酸塩ガラスの作製
第14回・第15回　　レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法は授業中に指示する。

教科書　理工学基礎実験2B テキスト

参考文献

評価方法　出席、レポート、口頭試問

備考　実験の順は、班によって変わることがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2B　生医		
科目キー	2800250004		
科目クラスコード	06	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武岡　真司	中田　雅久	朝日　透
	高安　徹	木下　一彦	鵜飼　一彦
	高野　光則	武田　直也	

副題

授業概要　理工学基礎実験2Bは、理工学基礎実験1A、1Bに続いて2年次に行う基礎実験科目である。物理・化学の基礎法則を学ぶとともに、物理的・工学的な実験を通して、多様な実験技術と実験手法に関する素養を身につけ、専門実験への準備をととのえる。また、1年次に学んだコンピュータ技術を用いて実験データを整理し、その考察に基づいて実験全体を深く理解する体験を通して、総意工夫する能力を養う。

シラバス
第　1回（　9月28日）　オリエンテーション
第　2回（10月　5日）　レポートの書き方
第　3回（10月12日）　装置の取り扱い操作方法
第　4回（10月19日）　弾性と粘弾性
第　5回（10月26日）　共振回路と振動系
第　6回（11月　2日）　レーザーとホログラフィー干渉
第　7回（11月　9日）　いろいろな顕微鏡
第　8回（11月16日）　熱と拡散
第　9回（11月23日）　磁化特性
第10回（11月30日）　錯体の合成と反応
第11回（12月　7日）　異性体のクロマトグラフィー
第12回（12月14日）　タンパク質の分子量測定
第13回（12月21日）　着色ほう酸塩ガラスの作製
第14回・第15回　　レポートの提出による授業理解の確認を行う。
提出方法は授業中に指示する。

教科書　理工学基礎実験2B テキスト

参考文献

評価方法　出席、レポート、口頭試問

備考　実験の順は、班によって変わることがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物学実験		
科目キー	2800250005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	集中講義(前期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	常田　聡		

副題

授業概要　講義予定日程:9/7-9/11　2-4時限
教室:50号館3階　共通実験室

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　物理・応物		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　大輔		

副題

授業概要　本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

シラバス
1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　物理・応物		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　生医		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	09	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　理		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　応化		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	10	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	瀧本　幸男		

副題

授業概要　本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

シラバス
1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　応化		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	10	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　電生		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	12	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　和宏		

副題

授業概要　本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

シラバス
1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　電生		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	12	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　化学		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	13	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	河原井　茂義		

副題

授業概要

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

シラバス

1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法

出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　化学		
科目キー	2800260001		
科目クラスコード	13	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　物理・生医		
科目キー	2800260002		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	荻田　晴美		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　応物(必修)		
科目キー	2800260002		
科目クラスコード	10	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松田　七美男		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する(書く)ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

シラバス　1. イントロダクション(第1週)
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む(第2-8週)
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く(第9-10週)
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良(第11-12週)
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。(2-3回程度)。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　電生1クラス（月2）		
科目キー	2800260002		
科目クラスコード	14	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	林　泰弘		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　電生2クラス（木4）		
科目キー	2800260002		
科目クラスコード	15	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	丸山　一貴		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　電生3クラス（水1）		
科目キー	2800260002		
科目クラスコード	16	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高松　敦子		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　化学		
科目キー	2800260003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田中　康司		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下の3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。
2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラミングを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。
3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラミングを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

シラバス
第１回講義概要
第２回UNIXコマンド
第３回プログラム作成の基本と変数・標準入出力
第４回プログラムの流れと条件分岐（１）
第５回条件分岐（２）
第６回反復処理と組み込み関数
第７回多重ループと条件付き反復処理
第８回プログラミング演習（第７回までの内容の演習）
第９回配列と書式指定
第１０回多次元配列とファイル操作
第１１回副プログラム（外部サブルーチン・外部関数）
第１２回副プログラム（内部サブルーチン・内部関数）
第１３回プログラミング演習（第１２回までの内容の演習）
第１４回Fortran90とFortran77について
第１５回講義のまとめ・課題の解説

教科書　教科書は特に指定しない。

参考文献　参考書は随時紹介する。

評価方法　出席、演習および課題により評価する。

備考　教科書指定は行わないが、自分に合った参考書を1冊手元に置くことを薦める。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング入門　電生1クラス（木4）		
科目キー	2800260004		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中谷　祐介		

副題

授業概要

「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。
1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。
2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。
3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

シラバス

1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考　各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング入門　電生2クラス（水1）		
科目キー	2800260004		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	伊藤　貴之		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング入門　電生3クラス（月2）		
科目キー	2800260004		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中谷　祐介		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　物理・応物		
科目キー	2800260005		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松田　七美男		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　生医		
科目キー	2800260005		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	神山　司		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　電生1クラス（月2）		
科目キー	2800260005		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村田　昇		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　電生2クラス（木2）		
科目キー	2800260005		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	井上　真郷		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　電生3クラス（水1）		
科目キー	2800260005		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	久保　隆徹		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング　化学		
科目キー	2800260006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞鍋　尚		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング　電生1クラス（木2）		
科目キー	2800260007		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中谷　祐介		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング　電生2クラス（水1）		
科目キー	2800260007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中谷　祐介		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング　電生3クラス（月2）		
科目キー	2800260007		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	尾崎　克久		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Cアプリケーションデベロップメント　電生		
科目キー	2800260008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	尾崎　克久		

副題

授業概要

CG(コンピュータグラフィックス)、アプリケーション開発に関連するプログラミングを目的とした、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。
本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。
1. CG、アプリケーション開発プログラミング技術の習得
「Cプログラミング入門」「Cプログラミング」を通して学んだ内容を踏まえ、OpenGLを使ったCG、アプリケーション開発プログラミングに関する技術を習得する。
CGプログラミングを学ぶにあたって、線形代数および多変数関数の微積分に関するひと通りの知識が要求される。
2. プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、グループ単位で作品を完成させる演習を行う。この演習を通して、複数のプログラマーによる1つのアプリケーション開発における工程を理解する。
また、設計・開発・評価というアプリケーション開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。
なお本科目では、プログラム言語として「C言語」を用いる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	Computer Literacy		
科目キー	2800260009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	蘇　洲		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	C Programming		
科目キー	2800260010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	蘇　洲		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2800510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中田　雅久		

副題

授業概要

21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会における活動の基盤として重要性を増す、「知識基盤社会」の時代と言われています。学術・科学技術が著しく進歩する一方で、学問分野の融合化・総合化の傾向は強まり、また、地球環境や生命倫理等の問題に見られるように、学術・科学技術と社会との調和が一層重要となることは言うまでもありません。こうした中で、諸君が物質的経済的側面と精神的文化的側面のバランスのとれた人間性を備え、相互の信頼と共生を支える基盤を築いてゆくこと、そのために他者の文化を理解・尊重することは、ますます重要となります。この理工文化論では、その一助として、各界のオピニオン・リーダーでもある総長、理工教授陣、学外の著名な科学者・文化人にそれぞれの立場から「理工文化」への熱い思いを語っていただきます。自らの視野を広げ、幅広い知識を身に付けたいと考える、意欲のある諸君は、是非、積極的に履修・聴講して下さい。

シラバス

日時4月11日（土）1限（9:00-10:30）2限（10:40-12:10）
講師名中田雅久
講義テーマ理工文化論ガイダンス

日時4月18日（土）　1限（9:00-10:30）
講師名橋本周司（理工学術院長）
講義テーマ理工文化論序説　一夢の実現から夢の創造へ一
シラバス　20世紀は科学と技術の時代であった。100年前には夢であったこと、さらには想像すら出来なかったことが実現している。歴史上、夢と現実がこれほど近づいた時代はない。また、20世紀は科学技術の負の側面が顕在化した時代でもある。科学技術の成果を人類の幸福のために律する思想を私たちはまだ持てないる。ここでは、人々の夢が如何に実現されつつあるか、いくつかの例を紹介する。そして、科学あるいは技術が見落としてきたものは何かを考え、新しい夢の創造へのヒントを探る。

日時4月18日（土）　2限（10:40-12:10）
講師名山川　宏（創造理工学部　学部長）
講義テーマ宇宙と工学
シラバス人類の宇宙への夢は宇宙科学技術の長足な進歩により徐々に実現されてきている。国際宇宙ステーションの日本のモジュール”きぼう”には日本人宇宙飛行士若田さんが長期滞在をめざしている。宇宙でなされる種々のミッションは人工衛星や宇宙ステーションによって行われ、その輸送にはロケットやスペースシャトルが使用されている。これらの宇宙機や輸送機などの設計・製作に工学が果たす役割は非常に大きい。そこで本講義では宇宙と工学というテーマで工学の宇宙科学技術の中で果たす役割のを紹介する。特に宇宙構造に焦点を当て、平易に工学がどのように応用されているかを考える。

日時4月25日（土）　1限（9:00-10:30）
講師名河合素直（基幹理工学部　学部長）
講義テーマ「新しい時代の科学技術の社会とのかかわりを考える」
シラバス〃文明の潮流に科学技術が大きなかかわりをもって久しくなる。そして、科学技術は種々の意味で人類の可能性を大きく広げると同時に、人類の多くの夢を現実のものとし、いわゆる豊かな社会の実現に大きく貢献してきた。
しかしがら、その反動として地球環境問題をはじめとする負の遺産に直面することにもなった。このような時代状況における科学技術の社会とのかかわりを考えることにしたい。
〃

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2800510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

日時4月25日（土） 2限（10:40-12:10）
講師名逢坂哲彌（理工学術院総合研究所　所長）
講義テーマ電気化学ナノテクノロジーの展開
シラバス電気化学をベースとしてナノオーダーの原子分子設計によって新しい材料創製を行う研究開発概念を紹介する。電気化学とは電気と化学の学際分野であり、金属表面と溶液との界面の関係する学問である。この系を対象に、めっき、電池、センサ、磁気記録等の応用分野に通じる研究開発を紹介する。

日時5月9日（土） 1限（9:00-10:30）
講師名白井克彦（早稲田大学総長）
講義テーマ「早稲田大学理工学部の生ひ立ちとこれから」
シラバス〃理工学部は昨年2008年に創立100周年の節目を迎えた。早大理工学術院は、現在学部、大学院を合わせて約1万人の学生を持つ最大規模の理工系組織である。このような理工学部がどうして生まれ育ってきたか。そして、わが国は科学技術を基本に国の産業が組み立てられてきたが、これからの科学技術に寄せられる一層の期待と可能性について述べ、早大理工が次の100年で果たそうとする方向について話す。
〃

日時5月9日（土） 2限（10:40-12:10）
講師名岡部憲明（岡部憲明アーキテクチャーネットワーク　代表・神戸芸術工科大学　教授）
講義テーマ「デザインの領域、デザインのプロセス」
シラバス〃現代の科学技術を応用しながら、今日の社会に新たな形態と空間を生みだしていくデザインの実体について講師の経験にもとづき講義する。
土木（橋梁）、建築、鉄道、車輌などの諸領域にわたり、具体的なプロジェクトのデザインが発注者、デザインアーキテクト、エンジニア、施工者、製作メーカーなどの協力のもとで生まれていくプロセスについてふれたいと考える。
〃

日時5月16日（土） 1限（9:00-10:30）
講師名中島秀人（東京工業大学大学院社会理工学研究科　准教授）
講義テーマ科学技術時代と理工学の社会的責任
シラバス現代が科学技術の時代であることは異論がないだろう。しかし、「科学技術」とは一体何を意味するのであろうか。この授業では、純粋の科学でも技術でもない「科学技術」が歴史的にどのように形成されてきたのかを論じる。その上で、理工学を担う人々が科学技術時代に追うべき社会的責任について考える。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2800510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

日時5月16日（土） 2限（10:40-12:10）
講師名石山　敦士（先進理工学部　学部長）
講義テーマ「生体から発する磁気を測る-臨床応用から脳機能解明、そして・・・」
シラバス　超電導量子干渉素子（SQUID）磁束計の開発により、心筋の活動や人間の脳内の神経活動に伴う非常に微弱な磁界の測定が可能となりました。この素晴らしい技術が心臓や脳などの機能異常の診断や部位の推定、さらに脳や神経系の高次機能の研究に活用されています。また近年、脳磁界や脳波計測技術を用いたBMI（Brain Machine Interface）の研究が話題となっています。生命現象は電気現象である。それでは我々の意識・存在そのものが「生体電気現象」と言えるのであろうか？

日時5月23日（土） 1限（9:00-10:30）
講師名北田韶彦（基幹理工学部　教授）
講義テーマ超距離空間とゼロ次元
シラバス絵にするとおかしな絵になってしまうが、カオス力学系など現代科学にとっては、とても重要な意味を持つ幾何学的空間を紹介する。遺伝情報などの具体例を用いて、“ふちのない部分集合からなる空間”について説明する。“ふちがない”という言葉の幾何学的意味を出来る限り正確に述べる。

日時5月23日（土） 2限（10:40-12:10）
講師名北澤宏一（科学技術振興機構　理事長）
講義テーマ科学・技術者の生き甲斐と格好良さ
シラバス″世の中に色々な職業があるが、好きなことに没頭していて給料が貰える職業は殆どない。ただし、競争は厳しい。グローバルスケールだからだ。イチローや松井に似る。実力だけでなく運も必要だ。しかし、楽しい。推理小説の好きな人ならはまるであろう。科学技術は国家発展の85%の重要性を占めてきたと言われる。各国は科学技術振興策で競合するようになった。日本が乗り遅れないようにするために、どのような工夫がなされているであろうか。
″

日時6月6日（土） 1限（9:00-10:30）
講師名高杉紳一郎（九州大学病院リハビリテーション部助教・医学部講師）
講義テーマ医工連携の未来〜リハビリ医療現場の期待と提言
シラバス医療現場における技術革新は日進月歩であり，かつ高齢社会における人間支援ニーズも高まる一方，マンパワー不足や制度上の制約もあって，理工学と医療との連携が必須の時代を迎えております．しかし優れたロボット技術が，医療福祉領域で十分に活かされている段階には未だ至っておりません．講義では，リハビリ医療最前線からのメッセージとして，最近の医工連携研究の中から実践例を供覧し，失敗と成功，焦燥と感動，反省や教訓など，「ウラ・オモテ」のお話を致します．

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2800510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

日時6月6日（土） 2限（10:40-12:10）
講師名岡野栄之（慶應義塾大学・医学部・生理学教室　教授）
講義テーマiPS細胞技術の医学研究におけるインパクト
シラバスiPS細胞技術は、単に再生医療のみに使われるものではなく、稀少な臓器内の体性幹細胞を試験管内で大量に調整する事が可能になるため、メタボローム解析、プロテオーム解析等の網羅的解析を可能にし、細胞の分化能と遺伝子のリプログラミングの研究や、ヒト疾患モデル細胞の提供により、疾患の原因の解明や創薬研究に大きく貢献し、医学研究の大きなパラダイムシフトを産む出すものと期待される。本講演では、iPS細胞を用いた中枢神経系の再生医学研究および疾患モデル細胞を用いた解析の現状と課題について言及したい。

日時6月20日（土） 1限（9:00-10:30）
講師名後藤敏（情報生産システム研究科　教授）
講義テーマアンビエント情報社会の革新技術
シラバス情報技術でいつでも、どこでも誰でもが安全に楽しく暮らせる社会をアンビエント情報社会と呼んでいます。情報技術はこの10年間で急激な様変わりをしてきました。携帯電話、パソコン、インターネットを使わねば生活ができない状態になり、革新技術が次々と生み出されてきています。次の情報社会はどのようになっているかを予測し、何を研究するかが極めて大事な課題となっています。早稲田大学は電気・電子・情報分野で文部科学省のグローバルCOE拠点に選ばれ、世界の最先端技術の研究を進めており、本研究の紹介を行い、若い学生諸君に次世代の科学技術の進展を担って頂きたいと思っています。

日時6月20日（土） 2限（10:40-12:10）
講師名佐藤健宗（佐藤健宗法律事務所）
講義テーマ巨大事故と社会 － 被害者、経営者、社会は巨大事故といかに向き合きあうか
シラバス″ 理工分野の技術の発展はすばらしいが、リアルに見るならば技術の進歩の歴史は、事故の歴史でもある。結果として事故が起きてしまったとき、どのような問題状況が起きるのか。信楽高原鉄道事故、明石花火大会歩道橋事故、JR西日本福知山線脱線事故などで遺族とともに歩んだ経験をもとに、被害者や遺族は何を求めるのか、事故を起こした企業側はいかに対応するべきなのか、刑事訴追と事故原因調査の関係はどうあるべきか、さらに社会としていかに事故に臨むのかを考えてみたい。
″

教科書

参考文献

評価方法　毎回の講義の後に、授業の終了までに提出が必要となる小レポートが課されます。これらの成績の総合点で判断されます。遅刻、欠席はマイナス点となります。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2800510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ボランティア		
科目キー	2800510002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	通年	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	柳澤　政生		

副題

授業概要　福祉、災害救援、環境保全、まちづくり、平和維持など、さまざまな場面で、ボランティア活動が大きな役割を果たし始めている現代社会において、理工学部の学生諸君が、ボランティア活動を実践することは、人間として生きていく上でも、科学技術の社会的な意味・影響を理解する上でも、きわめて貴重な経験となることは疑いを入れない。特に、身につけた科学技術を生かす「サイエンス・ボランティア」のあり方を模索することも、大いに奨励したいところである。

以上のようなボランティア活動とそこから得られたものを評価し、正式に単位として認定することを目的として設置された科目であり、学生の積極的な参加を期待する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	インターンシップ		
科目キー	2800510003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	通年	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	柳澤　政生		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理入門 （物理）		
科目キー	2801011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大場　一郎	上江洲　由晃	石渡　信一
	長谷部　信行	前田　恵一	中里　弘道
	栗原　進	木下　一彦	勝藤　拓郎
	山田　章一	山崎　義弘	松田　梓

副題

授業概要　物理学は最も基本的な法則から自然を理解しようとする人類の知的活動であり、あらゆる自然科学・工業技術の基礎となっている。本講義では、応用物理学科と物理学科の各教員が物理の各分野を分担・説明し，今後の物理学習の展望・指針を与える。

シラバス
第1回　4/6　勝藤 「固体中の電子の振舞い」(含ガイダンス)
第2回　4/13　大場 「量子力学とナノテクノロジー，量子工学」
第3回　4/20　石渡 「生物の仕組みを物理の言葉で解く」
第4回　4/27　山崎 「身近にある現象の物理」
第5回　5/11　角田 「固体の中の波を見る―回折入門」
第6回　5/18　山田 「特異な天体:宇宙は物理の実験室」
第7回　5/25　中島 「物理学と産業社会そして生活環境」
第8回　6/1　栗原 「低温に見る量子の秩序」
第9回　6/8　小松 「ニュートンとアインシュタイン」
第10回　6/15　相澤 「ミクロとマクロをつなぐ」
第11回　6/22　大島 「ナノの世界」
第12回　6/29　小澤 「物理法則に潜む数学的構造」
第13回　7/6　橋本 「確率的現象―でたらめの効用」
第14回　7/13　長谷部「素粒子と宇宙」
第15回　課題実習(詳細は授業の際に指示する)

教科書

参考文献

評価方法　各回に教員より指示される課題に関するレポートの評価に基づく。出席も重視する。詳細は初回のガイダンスで述べる。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	場の数理		
科目キー	2801011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　物理学における基本的概念に、質点や剛体があるが、もう一つの重要な概念に「場」がある。物理量はその多くがベクトルで記述され、そのダイナミクスを論じるにはベクトル場の数学が必要不可欠となる。本講義では、力学において学んだベクトル代数の後をうけ、ベクトル解析について詳述する。また、それを通して 場の物理学に共通な基本的考え方を学ぶ。なお本講義は、電磁気学や連続体の物理などの古典場の物理学の入門的基礎となるだけでなく、その他の専門的な講義 の数学的および物理学的基盤を与えるものである。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学概論A		
科目キー	2801011003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　物理学の諸法則は「数学」という言語で記述され、さらに、物理学理論の展開も数学という道具を使ってはじめて可能になる。 この意味で、物理学を真に理解しその発展に寄与するためには、数学は不可欠な学問であるといえる。
数学概論Aでは、このような数学理論の理解の基礎となる、実数、極限、集合論に関する緒概念の修得とその応用を身につけることを目標とする。

シラバス
（1）実数の導入と極限
・ゼノンの逆理
・極限とはなにか？
・エプシロン・デルタ論法
・連続の公理
・実数の諸性質
・実数の完備性
・はさみうちの原理
・極限と四則演算の可換性
（2）集合と写像
・集合間の演算
・対応と写像
・全射性と単射性
・集合と集合族
・同値関係と商空間
（3）集合の濃度
・「数をかぞえる」とはどういうことか？
・全単射性と濃度
・ベルンシュタインの定理
・選出公理
・可算濃度
・連続濃度とカントールの対角線論法
・濃度の演算
（4）順序とゾルンの補題

・選出公理

教科書　「集合位相入門」松坂和夫（岩波書店）

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	波の物理		
科目キー	2801011004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	勝藤　拓郎		

副題

授業概要　量子力学に代表される現代物理の多くは「波」の概念、さらにはそれをさらに発展させた「場」の概念の上になりたっており、波動についての理解は、これから先の物理学の学習に必須である。この授業では、振動、連成振動から入って、その極限としての波動方程式の導出を行う。さらに、波動方程式の解法、具体的な波動の例、波動における干渉・回折についての議論を行う。

シラバス
第1回(9/29)：単振動の復習と重ね合わせの原理
第2回(10/6)：連成振動とモード
第3回(10/13)：多自由度の振動と分散関係
第4回(10/20)：連続体の振動
第5回(10/27)：波動方程式
第6回(11/10)：フーリエ級数１
第7回(11/17)：フーリエ級数２
第8回(11/24)：進行波とフーリエ級数
第9回(12/1)：分散関係
第10回(12/8)：波束
第11回(12/15)：フーリエ変換
第12回(12/22)：デルタ関数
第13回(1/12)：波の干渉
第14回(1/19)：物質の波（量子力学の基礎）
第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

教科書　教科書ではないが、参考書として「振動・波動」 小形正男　裳華房テキストシリーズ を推薦する。

参考文献

評価方法　定期試験

備考　【担当教員連絡先等】
勝藤拓郎　katsuf@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理学研究ゼミナール		
科目キー	2801011005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	通年	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大場　一郎 門内　隆明	上江洲　由晃	石渡　信一

副題

授業概要　物理学の基礎知識及び歴史的発展の中から、いくつかのテーマを選んで学生諸君の研究に委ねる。自主的な調査・研究(理論的研究だけでなく実験的研究もある)を行った後、全員の前で成果の発表と討論を通して物理学の学習に触れることを目的としている。あわせて、物理学科の教科目を学習していく上で必須となる数学、力学などの基礎知識、know-howを身につけるための演習を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地球科学A		
科目キー	2801011006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	香村　一夫	内田　悦生	

副題

授業概要　地球の誕生と進化の歴史、地球内部構造とテクトニクス、海洋および大気の構造と循環、地球外物質などを学習し地球の過去と現在の姿を理解することをこの授業のねらいとする。また、気候と環境の変遷や公害と災害にも言及する。

シラバス

第1回地球の形成と進化（その1）　内田担当
第2回地球の形成と進化（その2）　内田担当
第3回地球の内部構造と構成物質　内田担当
第4回隕石の話　内田担当
第5回高温・高圧実験と相平衡　内田担当
第6回大気と海洋の構造と循環　内田担当
第7回プレート・テクトニクスとプルーム・テクトニクス　内田担当
第8回日本列島の地質構造と成り立ち　内田担当
第9回地層の形成(1)ー堆積作用ー　香村担当
第10回地層の形成(2)ー構造運動ー　香村担当
第11回地球46億年史をふりかえる(1)ー地質時代概観ー　香村担当
第12回地球46億年史をふりかえる(2)ー気候と環境の変遷ー　香村担当
第13回地球と人類の共生(1) ー資源の開発と利用ー　香村担当
第14回地球と人類の共生(2) ー公害と災害ー　香村担当
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　教科書:「地球・環境・資源　地球と人類の共生をめざして」 共立出版　内田・高木編

参考文献　全地球史解読　熊澤・伊藤・吉田編　東京大学出版会
地球学入門　酒井治孝著　東海大学出版

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地球科学B		
科目キー	2801011007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　悦生	山崎　淳司	

副題

授業概要　地球の構成物質である鉱物および岩石に関する基礎知識の修得を目標とする。はじめに鉱物学において基本となる結晶の対称性と分類、結晶構造、化学組成、化学結合および諸物性に関して学習する。次に、主要造岩鉱物である珪酸塩鉱物の構造と分類および火成岩と変成岩の分類と成因に関する基礎的知識を習得する。

シラバス
(1)鉱物学1：結晶の対称性と分類　山担当
(2)鉱物学2：鉱物の化学組成式と構造式　山担当
(3)鉱物学3：鉱物の化学結合論　山担当
(4)鉱物学4：鉱物の物理的特性　山担当
(5)鉱物学5：鉱物の結晶構造と性質　山担当
(6)鉱物学6：鉱物の基本構造による分類　山担当
(7)岩石学1：岩石の分類と珪酸塩鉱物の構造　内田担当
(8)岩石学2：主要造岩鉱物の概要　その1　内田担当
(9)岩石学3：主要造岩鉱物の概要　その2　内田担当
(10)岩石学4：火成岩の分類法　内田担当
(11)岩石学5：溶融体の関与した相平衡図の読み方　その1　内田担当
(12)岩石学6：溶融体の関与した相平衡図の読み方　その2　内田担当
(13)岩石学7：火成岩とその成因　内田担当
(14)岩石学8：変成岩とその成因　内田担当
(15)定期試験：理解度の確認および質問，解説

教科書　「地球・環境・資源 地球と人類の共生をめざして」(内田悦生・高木秀雄編)　共立出版

参考文献　参考書：地学団体研究会編「鉱物の科学」 東海大学出版会
参考書：地学団体研究会編「岩石と地下資源」 東海大学出版会

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	解析力学 （物理）		
科目キー	2801012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中里 弘道		

副題

授業概要　現代物理学を学ぶ上で不可欠となる解析力学を講義し，量子力学，統計力学への橋渡しとする。

シラバス　<Pre>
第1回 4月7日　1. 物理現象と模型化，2. 運動法則，ニュートンの運動の3法則，3. 運動状態の記述
第2回 4月14日　3. 運動状態の記述，4. 座標変換と運動法則
第3回 4月21日　4. 座標変換と運動法則，5. ダランベールの原理と拘束条件
第4回 4月28日　6. 一般化座標とラグランジュの方程式
第5回 5月12日　7. ハミルトンの正準方程式とポアッソン括弧式
第6回 5月19日　8. ラグランジアンの多様性，9. 不連続変換と対称性
第7回 5月26日　10. 基準座標と基準振動
第8回 6月2日　11. 連続体，汎関数と汎関数微分
第9回 6月9日　12. 電磁場と荷電粒子
第10回 6月16日　13. 変分原理と運動方程式，14. 変分原理と保存則，15. 正準変換
第11回 6月23日　15. 正準変換，16. 正準変換の具体例
第12回 6月30日　17. 正準変換不変量
第13回 7月7日　18. ハミルトン・ヤコビの偏微分方程式
第14回 7月14日　19. 作用変数と角変数，断熱不変量，水素原子への適用，量子化条件
第15回（日程別途指示）　20. 学力考査及び解説</Pre>

教科書　概ね，並木美喜雄著「解析力学」（丸善）に沿って講義する。予め CourseN@vi に講義メモを公開する予定。その他，詳細は授業開始時に説明する。

参考文献

評価方法　定期試験。

備考　講義では解析力学の概略を紹介しますが，講義を聴くだけでは不十分です。自ら手と頭を動かしてみないと本当の理解には到達できません。そのためには演習を活用したり，小人数でセミナーをするのが効果的です。そのような過程の中で初めて自分の理解度が認識できるのです。
実際，勉強を進める中で多くの疑問，質問がわいてくると思います。講義では皆さんの理解を助け疑問の解消につながることも期待しています。分からないことは放置せず，是非質問に来て下さい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学A （物理）		
科目キー	2801012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　量子力学は原子や分子の構造、金属の電子論、半導体や超伝導体などに関するエレクトロニクス理論、化学反応素過程、原子核の構造及び反応、そして素粒子の相互作用などを取り扱うのに欠くことのできない枠組みであり、現代物理学の多くの分野の基礎となっている。序論として量子論の生まれるまでの前期量子論を簡単にまとめ、量子力学の基礎について講義する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （物理）		
科目キー	2801012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	栗原　進		

副題

授業概要

電磁気学は古典物理学の主要な柱の一つであり、一見無関係に見える電気、磁気、光が、ここにおいてみごとに統一されている。 電磁気学は場の理論のさきがけであり、ゲージ理論全般のお手本でもある。 本講義では、クーロン、ファラデー、アンペール等によって発見された法則が、いかにしてマックスウェルの方程式に集約されていったかを詳説する。 ベクトル解析が電磁現象の記述にいかに役に立つか、良く理解できるように話したい。 実験にも可能な限り言及し、相対論的共変性、ゲージ不変性などについてもある程度触れる予定。

シラバス

第1回　序論
- 1.1 現代物理学における電磁気学の位置づけと簡単な歴史
- 1.2 数学的準備：ベクトル解析のおさらい
  スカラー積、ベクトル積、grad, div, rot ・・・
- 1.3 Maxwell方程式をまず眺める

第2回　電荷と電場
- 2.1 電荷： 場の源、保存量、2種、量子化、
- 2.2 Coulombの法則
- 2.3 重ね合わせの原理
- 2.4 遠隔作用と近接作用

第3回　ガウスの法則
- 3.1 電気力線と電束、電束密度
- 3.2 ガウス積分
- 3.3 ガウスの法則
- 3.4 具体的な応用

第4回　静電場の回転と発散 -- 局所的法則
- 4.1 静電場は渦なし場
- 4.2 ガウスの法則の微分形
- 4.3 静電ポテンシャルとポアソン方程式
- 4.4 ポアソン方程式のグリーン関数による解法

第5回　静電場の多重極展開
- 5.1 静電ポテンシャルのルジャンドル多項式による展開
- 5.2 単極子、双極子、四重極、…
- 5.3 双極子の作る静電場
- 5.4 双極子−双極子相互作用

第6回.　導体と静電場
- 6.1 導体は等電位領域
- 6.2 導体近傍の電場と表面電荷
- 6.3 導体系の静電場　ラプラス方程式と境界値問題
- 6.4 簡単で賢い解法　鏡像法、重ね合わせ法

第7回　電気容量と静電エネルギー
- 7.1 電気容量
- 7.2 自己容量、相互容量、相反定理
- 7.3 導体系の静電エネルギー
- 7.4 静電場のエネルギー密度

第8回　電流
- 8.1 電流と電流密度
- 8.2 電荷保存則と連続の方程式
- 8.3 オームの法則
- 8.4 電流と磁場との相互作用
- 8.5 ローレンツ力

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （物理）		
科目キー	2801012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

8.6 ビオ・サバールの法則

第9回　電流と磁場
9.1 ベクトル・ポテンシャル
9.2 電流間にはたらく力
9.3 直線電流による磁束密度の線積分
9.4 アンペールの法則 （積分形）
9.5 アンペールの法則 （微分形）

第10回　電磁誘導の法則
10.1 ファラデーの発見
10.2 電磁誘導と運動の相対性
10.3 ファラデーの法則 （積分形）
10.4 ファラデーの法則 （微分形）
10.5 運動座標系における電磁場
10.6 アインシュタイン論文「運動物体の電磁力学」(参考)

第11回　インダクタンス
11.1 電流 → 磁束　線形応答係数としてのインダクタンス
11.2 自己インダクタンス、相互インダクタンス
11.3 ソレノイド中の磁束と変圧器の原理
11.4 コイル・抵抗(LR)回路と時定数
11.5 磁場のエネルギー密度

第12回　マックスウェル方程式
12.1 J. C. Maxwell (1831-1879) と A. Einstein (1879-1955)
12.2 マックスウェルの発見　変位電流
12.3 マックスウェル・アンペールの法則
12.4 変位電流の物理的解釈
12.5 マックスウェル方程式
12.6 真空中の電磁波

第13回　電磁場と荷電粒子系のエネルギーと運動量
13.1 電磁場のエネルギー密度の時間微分
13.2 ポインティング・ベクトル
13.3 電磁場＋荷電粒子系のエネルギー
13.4 電磁場の運動量
13.5 電磁場＋荷電粒子系の運動量

第14回　電磁気学と特殊相対論
14.1 ローレンツ変換
14.2 電磁場はテンソル成分として変換
14.3 電磁テンソル
14.4 電磁テンソル形式のマックスウェル方程式と電荷保存則

第15回　問題演習

教科書　教科書は特に指定しない。

参考書としては
1. 砂川重信著「電磁気学」(岩波テキストシリーズ 4)
2. ファインマン、レイトン、サンズ「ファインマン物理学 III 電磁気学」 (岩波)
3. D. J. Griffiths, Introduction to Electrodynamics (Prentice Hall)
4. J. D. Jackson, Classical Electrodynamics (John Wiley & Sons)
などを挙げておく。

参考文献

評価方法　定期試験による。 出席、レポートも考慮に入れる。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （物理）		
科目キー	2801012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （物理）		
科目キー	2801012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	寺崎　一郎		

副題

授業概要　前期で学んだ真空中の電磁気学を発展させ，物質の電磁応答を中心に学習する。大別して次の3つのテーマ，（1）物質と電場　（2）物質と磁場　（3）物質と電磁場　を取り扱う。電磁気学Aとあわせて，輻射をのぞく非相対論的な電磁気学を網羅する。

シラバス
1. 電磁気学Aの復習
2. 物質と電場(1)　金属と遮蔽，外場と応答
3. 物質と電場(2)　誘電体
4. 物質と電場(3)　補助場D
5. 演習　電磁気学の数理的基礎
6. 物質と磁場(1)　磁気双極子
7. 物質と磁場(2)　補助場H
8. 物質と磁場(3)　常磁性と強磁性
9. 物質と磁場(4)　反磁性と超伝導
10. 物質と電磁波(1)　光の吸収と複素誘電率
11. 物質と電磁波(2)　反射と屈折
12. 物質と電磁波(3)　誘電関数
13. 電磁場のエネルギー
14. 誘電体・磁性体の熱力学
15. 学力考査と解説

教科書　教科書は指定しないが，すべての講義ノート，レポート課題などは下記URLからダウンロードできる。

参考文献

評価方法　評価方法は第1回講義の冒頭で紹介。レポートと試験で評価の予定。

備考　【担当教員連絡先等】
寺崎　一郎（terra@waseda.jp）

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/terra/eb/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	熱力学 （物理）		
科目キー	2801012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	相澤　洋二		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	常微分方程式(物理)		
科目キー	2801012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　力学や回路理論など、物理学・工学の基本法則を記述する基本的な道具である常微分方程式の基礎理論について学ぶ。 求積法、定数係数線形微分方程式(系)に対する記号解法の修得のほかに、これらでは解の具体的表示が得られないより一般的な常微分方程式の初期値問題に対する解の存在、一意性、比較定理などに関する基礎理論についても解説する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フーリエ解析（物理）		
科目キー	2801012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　物理法則のほとんどは、独立変数が複数（時間、空間3次元）偏微分方程式で記述される。 これらの偏微分方程式の解の具体的表示を与える代表的な数学的手法であるフーリエ解析について学ぶ。 フーリエ級数・フーリエ変換理論及びその偏微分方程式への応用などが主たる話題となる。 さらに、ラプラス変換とその応用についても言及する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	複素関数論1（物理）		
科目キー	2801012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小澤　徹		

副題

授業概要　一変数複素函数論の基礎を講義します。複素函数論は微分積分と線形代数の次に必ず学ぶ科目で、世界中どの理工系の学部においても3年次に履修するように設置されています。 それは、複素函数論が、これから受講者が進む専門課程のどの分野でも、その基盤の一部となっているからです。例えば、様々な自然現象に現れる波動を記述するためにも、さらには、画像工学で画像処理をする際にも複素函数論が有用になります。 電波望遠鏡での天体観測においても必要です。数値解析においても複素函数論が顔を出します。この講義では、シラバスに従って、複素函数論に現れる基本的概念の把握と基本的計算技能の習得を目的に丁寧に、かつ平明に講義することを心がけます。複素函数論に限らず、どの教科においても、自分の理解度を確認し、計算の能力を習得するためには、問題演習を欠かすことはできません。 併設されている数学演習を履修し、自己訓練をすることを期待しています。

シラバス
1. 複素数の代数的構造
2. 複素数の位相的構造
3. 複素函数と連続性
4. 正則函数
5. コーシー・リーマンの関係式
6. 冪級数（その1）
7. 冪級数（その2）
8. 初等函数（その1）
9. 初等函数（その2）
10. 複素積分（その1）
11. 複素積分（その2）
12. コーシーの積分定理（その1）
13. コーシーの積分定理（その2）
14. コーシーの積分定理（その3）
15. 学力考査と解説

教科書

参考文献　杉浦光夫、解析入門 I, II、東京大学出版会
高橋礼司、[新版]複素解析、東京大学出版会
アールフォルス、複素解析、現代数学社

評価方法　定期試験とレポートによる。詳しくは第一回目の講義で説明する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	複素関数論2（物理）		
科目キー	2801012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小澤　徹		

副題

授業概要　一変数複素函数論の基礎を講義します。複素函数論は微分積分と線形代数の次に必ず学ぶ科目で、世界中どの理工系の学部においても3年次に履修するように設置されています。 それは、複素函数論が、これから受講者が進む専門課程のどの分野でも、その基盤の一部となっているからです。例えば、様々な自然現象に現れる波動を記述するためにも、さらには、画像工学で画像処理をする際にも複素函数論が有用になります。 電波望遠鏡での天体観測においても必要です。数値解析においても複素函数論が顔を出します。この講義では、シラバスに従って、複素函数論に現れる基本的概念の把握と基本的計算技能の習得を目的に丁寧に、かつ平明に講義することを心がけます。複素函数論に限らず、どの教科においても、自分の理解度を確認し、計算の能力を習得するためには、問題演習を欠かすことはできません。 併設されている数学演習を履修し、自己訓練をすることを期待しています。

シラバス
1. 正則函数の解析性（その1）
2. 正則函数の解析性（その2）
3. 一致の定理
4. 最大値の原理（その1）
5. 最大値の原理（その2）
6. ローラン展開（その1）
7. ローラン展開（その2）
8. 孤立特異点（その1）
9. 孤立特異点（その2）
10. 孤立特異点（その3）
11. 留数（その1）
12. 留数（その2）
13. 留数（その3）
14. 分散関係式
15. 学力考査と解説

教科書

参考文献　杉浦光夫、解析入門 I, II、東京大学出版会
高橋礼司、[新版]複素解析、東京大学出版会
アールフォルス、複素解析、現代数学社

評価方法　定期試験とレポートによる。詳しくは第一回目の講義で説明する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理学演習A		
科目キー	2801012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	寺崎　一郎	相澤　洋二	前田　恵一
	中里　弘道	栗原　進	田崎　秀一
	秋元　琢磨	門内　隆明	山内　雄介

副題

授業概要　本演習では講義に対応させて，解析力学，量子力学A，熱力学，電磁気学の演習問題を順番に行う。演習問題としては，講義で触れる余裕のなかった項目も取り上げるが，基本的には対応する各講義内容を参照せよ。また，分野毎に演習の具体的実施方法，成績評価方法等が異なり得るが，詳しいことは演習開始時に教室で説明する。

シラバス

1. 演習と解説（電磁気学1）
2. 演習と解説（解析力学1）
3. 演習と解説（熱力学1）
4. 演習と解説（電磁気学2）
5. 演習と解説（解析力学2）
6. 演習と解説（熱力学2）
7. 演習と解説（電磁気学3）
8. 演習と解説（解析力学3）
9. 演習と解説（熱力学3）
10. 演習と解説（電磁気学4）
11. 演習と解説（解析力学4）
12. 演習と解説（熱力学4）
13. 演習と解説（電磁気学5）
14. 演習と解説（解析力学5）
15. 学力考査および解説

16. 演習と解説（量子力学A1）
17. 演習と解説（熱力学5）
18. 演習と解説（電磁気学6）
19. 演習と解説（量子力学A2）
20. 演習と解説（熱力学6）
21. 演習と解説（電磁気学7）
22. 演習と解説（量子力学A3）
23. 演習と解説（熱力学7）
24. 演習と解説（電磁気学8）
25. 演習と解説（量子力学A4）
26. 演習と解説（熱力学8）
27. 演習と解説（電磁気学9）
28. 演習と解説（量子力学A5）
29. 演習と解説（熱力学9）
30. 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）・平常点・(成績評価の詳細に関しては教室で説明する予定。)

備考　・この演習に対応する講義，すなわち，解析力学（前期），量子力学A（後期），熱力学（後期），電磁気学はいずれも現代物理学の基礎を成す重要かつ基本的科目であり，きちんと理解しておくことが必要である。そのためには自ら考え，自ら問題を解くことが不可欠であるが，演習はそのような機会を諸君のために大学として用意したものである。積極的に取り組んでいただきたい。
・詳しい日程などについてはコースナビで随時確認すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理学演習Ａ		
科目キー	2801012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	５時限～６時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学B		
科目キー	2801013001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大場　一郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	統計力学A （物理）		
科目キー	2801013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	田崎　秀一		

副題

授業概要　物質の示す巨視的諸現象を、その構成要素である原子・分子集団の振る舞いから説明する処方箋が統計力学である。個々の原子・分子の振る舞いは量子力学で説明することが可能だが、これらが1モル当り10^23個も集まった巨視的物体で起こる現象を説明するには＋αが必要である。この＋αが統計力学で、物質の様々な性質を理解する上で欠くことのできない分野である。統計力学Aでは、平衡熱力学を出発点にとり、平衡統計力学の基礎事項について講義する。

シラバス
1. 序 （統計力学の位置づけ、平衡熱力学）
2. 気体運動論1 （ヴィリアル定理、マクスウェル分布）
3. 気体運動論2 （マクスウェル・ボルツマン分布、分布とエントロピー）
4. 気体運動論3 （ボルツマン方程式）
5. 平衡統計力学1:ミクロカノニカル分布
6. 平衡統計力学2:カノニカル分布
7. 平衡統計力学3:カノニカル分布の応用
8. 平衡統計力学4:格子振動による固体比熱
9. 平衡統計力学5:グランドカノニカル分布
10. 平衡統計力学6:グランドカノニカル分布の応用
11. 平衡統計力学7:理想フェルミ気体1 （フェルミ分布）
12. 平衡統計力学8:理想フェルミ気体2 （電子気体）
13. 平衡統計力学9:理想ボーズ気体1
（ボーズ分布、ボーズ・アインシュタイン凝縮）
14. 平衡統計力学10:理想ボーズ気体2
（光子気体、プランクの輻射公式、フォノン）
15. 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　講義中に紹介します。

評価方法　定期試験、随時行うレポートおよび平常点。

備考　講義資料については、コースナビを参照して下さい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論A （物理）		
科目キー	2801022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森島　繁生		

副題

授業概要　科学、工学、産業技術の分野から一般家庭に至るまで、電気回路は広く利用されており、この基礎となる学問の習得は重要である。この背景の下に、本講義では、L、R、Cを主な要素とする線形電気回路に、正弦波状信号（交流）を加えたときの定常状態での信号解析を、周波数領域を主にして行う。これは従来「交流理論」として体系化された分野であり、L、R、C各要素の基本的性質や、インピーダンスやアドミッタンスの概念、回路各部の電流や電圧の計算法、などが主な内容となる。この講義は「回路理論B」に引き継がれ、そこでは交流理論のより一般的あるいは高度な内容と、電気回路のスイッチのオン・オフ時のような過渡的な現象の解析が取り扱われる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B （物理）		
科目キー	2801022002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森島　繁生		

副題

授業概要　「回路理論A」に続く講義である。まず、L、R、Cのほかに電圧源や電流源を含む一般的な回路網の各部の電流や電圧の計算法を、グラフ理論を応用して述べる。また複数の周波数成分を含む周期波形の解析法として、「フーリエ級数」を応用した回路解析について学習する。さらに回路にスイッチ類を含み、そのオン・オフ時刻前後の電圧、電流をも考察の対象とする「過渡現象論」について述べる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理実験学		
科目キー	2801023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上江洲　由晃	寺崎　一郎	角田　頼彦
	橋本　周司	中島　啓幾	

副題

授業概要　本講義では応用物理学科および物理学科3年時に設置されている応用物理学実験Aおよび物理実験Aの実験項目の主要なものについて、実験の理解に必要な物理を基礎から詳しく講義する。実験をとる学生はこの講義をなるべく受講することが望まれる。

シラバス

4月8日　角田(1)X-線と放射線・放射線の人体に及ぼす影響
15日　角田(2)X-線回折入門(すぐに実験に取り掛かる学生のために)
22日　角田(3)X-線の発生(輻射の電磁気学)・放射光
5月13日　角田(4)X-線の散乱(電子による散乱・固体による散乱)
20日　角田(5)干渉性散乱と非干渉性散乱
27日　角田(6)散乱の特殊問題(散乱振幅の変調と位相の変調)・熱振動による影響
6月3日　角田(7)電磁波の共鳴吸収(赤外吸収・メスバウアー効果)
10日　角田(8)磁性の基礎(磁化測定に入る前に)
17日　角田(9)理解度の確認のための教場試験

6月24日　橋本(1)論理代数の基礎(論理変数、論理式、論理演算)
7月　1日　橋本(2)論理回路の基礎と組み合わせ論理
8日　橋本(3)記憶回路と順序論理回路

7月15日　全員　物理実験および応用物理実験の前期講評

9月30日　寺崎(1)超伝導体の電磁気学
10月7日　寺崎(2)ギンツブルグーランダウ理論
14日　寺崎(3)超伝導体の物理的性質
28日　寺崎(4)超伝導の電子論
11月4日　寺崎(5)超伝導の応用

11月11日　中島(1)半導体からLSIに:Siテクノロジー
18日　中島(2)化合物半導体:高周波素子と半導体レーザ
25日　中島(3)光エレクトロニクス:ファイバと光回路

12月2日　上江洲(1)非線形光学とは —現象、発生起源、応用、SHGの簡単な導出—、演習1
9日　上江洲(2)結晶中の光の伝播—複屈折—、屈折率楕円体による複屈折の記述、演習2
16日　上江洲(3)光の偏光現象とJones行列による偏光の記述 Poincare球による偏光の記述、演習3
1月　6日　上江洲(4)非線形光学の基礎方程式、演習4
13日　上江洲(5)位相整合の重要性、高調波測定方法、演習5

20日　全員　物理実験および応用物理実験の後期講評

教科書

参考文献　それぞれの項目を担当する教員が講義の初めに紹介する。

評価方法　教場試験(角田)、レポート(橋本、中島、寺崎)、講義の後の演習(上江洲)

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理実験学		
科目キー	2801023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	真空技術		
科目キー	2801023002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　肇		

副題

授業概要

講義日程(09/07/27更新):
10月3日　2，3限
※10月24日、2．3限
10月31日、2，3限
11月14日、2，3限
12月5日、2，3限
12月19日、2，3限
1月9日、2，3，4限

※10月17日から24日に変更になりました(09/09/10更新)

教室(09/10/24更新):
54-302教室　→　53-301

シラバス

教科書

参考文献

オーム社発行
清水　肇編:超高真空

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光学B		
科目キー	2801023003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	盛岡　敏夫		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	非線形現象の数理		
科目キー	2801023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	相澤　洋二	中里　弘道	大谷　光春
	田崎　秀一	山崎　義弘	多辺　由佳

副題

授業概要

シラバス

(1)　4/10　　担当　田崎　秀一

パターン形成と分岐理論の初歩　1

(2)　4/17　　担当　田崎　秀一

パターン形成と分岐理論の初歩　2

(3)　4/24　　担当　多辺　由佳

配向自由度の非線形結合による液晶のパターン形成

(4)　5/08　　担当　多辺　由佳

二次元液晶に見られる外場誘起動的構造の解析

(5)　5/15　　担当　相澤　洋二

カオスと複雑系の数理的基礎概念

(6)　5/22　　担当　相澤　洋二

カオスと複雑系に関する最近の話題

(7)　5/29　　担当　大谷　光春

非線形楕円型方程式の解の非存在

(8)　6/05　　担当　大谷　光春

非線形シュレンディンガー方程式の解の非存在

(9)　6/12　　Course N@vi にて講義内容の再確認・復習

(10)　6/19　　担当　山崎　義弘

非線形動力学のイントロダクション

(11)　6/26　　担当　山崎　義弘

計物理と非線形

(12)　7/03　　担当　中里　弘道

非線形波動現象とKdV方程式

(13)　7/10　　担当　中里　弘道

有限振幅波動現象と非線形Schroedinger方程式

(14)　7/17　　Course N@vi にて講義内容の再確認・復習

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	非線形現象の数理		
科目キー	2801023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上

（15）7/24　　Course N@vi にて講義内容の再確認・復習

教科書

参考文献

評価方法　（1）　レポート（各教員が，各自の最終講義時に課題を与える）
（2）　出席点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	偏微分方程式論		
科目キー	2801023005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	小澤　徹		

副題　偏微分方程式入門

授業概要　数理物理に現れる定数係数偏微分作用素の基本解(グリーン作用素)の
求め方を学ぶ。線型代数学とベクトル解析の復習から始め、
函数解析学、フーリエ解析学の初歩を必要に応じて解説する。

シラバス
1. 講義の概要
2. ベクトル空間の復習
3. 線型写像の復習
4. ベクトル場の復習
5. 曲面の復習
6. 積分定理の復習
7. ルベーグ積分
8. ルベーグ空間
9. 急減少函数のフーリエ変換
10. 緩増加超函数のフーリエ変換
11. 熱方程式
12. 波動方程式
13. ラプラス方程式
14. ヘルムホルツ方程式
15. 総括

教科書　垣田夫・柴田良弘
『ベクトル解析から流体へ』
日本評論社　ISBN978-4-535-78493-2

参考文献　熊之郷準『偏微分方程式』共立出版
堤誉志雄『偏微分方程式入門』培風館

評価方法　レポートおよび試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物学B		
科目キー	2801023007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	藤森　嶺		

副題　代謝とエネルギー生産

授業概要　46億年の歴史を有する地球に、34億年ほどの大昔に生命が誕生し、現在は微生物、植物、動物のさまざまな生物種が生存している。現在、種名がわかっているだけで約140万種の多様な生物（このうち約75万種が昆虫）が生きている。生命とは何かをあらためて考え、生物多様性についても理解を深めたい。
また、生物学の技術的な応用としての品種改良や遺伝子組換え作物についても解説する。

シラバス　【生物とは】
1. 地球の歴史と生命の誕生
2. 単細胞と多細胞　細胞の構造
3. クロロプラスト　植物による太陽光エネルギー利用の仕組み
4. ミトコンドリア　ATP生産の仕組み
5. 生体成分　生命を支える生体内の物質の変化
6. 代謝系　酵素が制御する生体内の物質代謝
7. 神経系と農薬　神経系の仕組みと殺虫剤の作用機構
8. 昆虫のフェロモン　フェロモンは昆虫の行動を制御する
9. 植物ホルモン　植物の化学調節
10. 内分泌系と免疫系　ホルモン、抗原と抗体
11. 農薬の功罪　現代の農業を支える農薬、環境問題としての農薬
12. 微生物農薬　微生物を利用した農薬の開発、有機農産物
13. 遺伝子組換え作物　なぜ遺伝子組換え作物は誕生したか
14. バイオマスエネルギー　農産物とエネルギー調達との関係
15. まとめ

教科書　生物科学入門（石川　統著、裳華房）

参考文献　はじめて出会う細胞の分子生物学/伊藤明夫著、岩波書店
生きものからくり―分子から生命まで―/中村和行・山本芳美・祐村恵彦共編/培風館
地球環境システム/円城寺　守編著/学文社

評価方法　期末試験

備考　出席を重視する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子工学B		
科目キー	2801023008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中島　啓幾	後藤　公太郎	

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計測原論		
科目キー	2801023009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中島　啓幾	長棟　章生	

副題

授業概要　物理学の応用としての計測工学とその基礎について二つの側面から学ぶ。すなわち、

A. 力学や電磁気学、回路理論などの基礎学問を復習するとともにこれらに共通した概念や取扱い方を抽出し、普遍的な見方を醸成する。・・・・・・担当：　中島啓幾

B. 工業計測などを実践する際に必要となる基礎的事項、すなわち、計測における信号、誤差、雑音、検出技術、デジタル技術などを概説する。・・・・担当：　長棟章生

シラバス

A1　物理量と計測：アナログとデジタル
A2　アナロジカル・アプローチ：力学と電気回路は等価に扱える！
A3　集中定数系と分布定数系はどこが違うのか？
A4　伝送線路のインピーダンス整合は無反射コーティングと同じ
A5　結晶格子の振動は繰り返し系で扱うことができる
A6　線形系と非線形系の違い
A7　フィードバックと制御
A8　自然環境、生態系、生命に学ぶ

B1　計測の基礎：仮説の創造と実証、定量的考察（ベイズ）
B2　計測における基本概念（誤差論、精度と感度）
B3　計測法の各論（各種の効果、色々な計測法）
B4　計測における雑音と信号処理(1)　雑音（種類、特性、ノイズフィギュア）
B5　計測における雑音と信号処理(2)　周波数領域、ロックインアンプ
B6　計測における雑音と信号処理(3)　相関法、疑似ランダム信号
B7　計測におけるデジタル技術：画像計測（トモグラフィ入門）

教科書　とくになし

参考文献

評価方法　レポートと出席点で評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル信号処理		
科目キー	2801023010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	森島　繁生		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計測システム		
科目キー	2801023011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武田　朴		

副題

授業概要　自然科学における様々な仮説は実験により検証され初めて信頼の置ける理論となる。従って、計測システムを構築する、あるいは利用することが理学あるいは工学の発展には必要不可欠である。本講義は医療用の計測システムの開発に携わってきた経験を生かし、実例に基づいて計測システムについて解説を加える。講義に用いる実例は電気化学的測定用センサシステム、脳波計心電計などの生体電気信号導出記録システム、血流測定システム、血圧測定システム、パルス分光システム、フローサイトメータ応用システムなどを実例にとり、そこに用いられている計測システム構築用の技術すなわちアナログインターフェイス回路、A/D変換技術および雑音除去、特徴抽出、波形認識などの技術について解説する。本講義を理解し、さらに研鑽を進めることにより、信頼できる計測システムを構築できる。あるいは既存の計測システムがどの程度信頼できるかが判断できる。などを目指している。また、医療計測に関わったものとして現代医療の抱える問題点についても言及する。

シラバス
第一回10月2日オリエンテーション
第二回10月9日アナログインターフェイス回路
第三回10月16日電気化学的測定用電極
第四回10月23日生体信号導出用電極
第五回10月30日流量計測システム（1）（流量計測概論）
第六回11月13日流量計測システム（2）（電磁血流計）
第七回11月20日圧力計測システム（1）観血式血圧計測システム
第八回11月27日圧力計測システム（2）非観血血圧計測システム
第九回12月4日圧力計測システム（3）A/D変換技術と波形認識技術
第十回12月11日光学的成分計測（1） 血液中酸素飽和度計測システム
第十一回12月18日光学的成分計測（2） 血液成分計測システム
第十二回1月8日光学的成分計測（3） 細胞表面抗原応用計測技術
第十三回1月15日信号処理技術　FFT、wavelet、独立成分分析の応用による雑音除去　技術
第十四回1月23日計測とは何か　講義のまとめ
第十五回日程別途指示学力考査および解説

教科書
特定の教科書は使用しません。
講義に用いる資料を配付します。

参考文献
環境計測システム特論　2007年早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻
国士舘　岸本　健　（インターネット上にあります。）
線形代数とその応用　G・ストラング　産業図書
効果の事典
Transducers for Biomedical Measurement　Cobbold John Wiley & sons
Building Scientific Apparatus　John H. Moore, Addison wesley
独立成分分析　根本幾・川勝真喜約、東京電機大学出版局
道具としての微分方程式　斎藤恭一他　講談社
ビギナースデジタルフィルタ　中村尚吾　東京電機大学
センサ　千原国宏　コロナ社

評価方法　出席日数と定期試験の成績による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子エレクトロニクス		
科目キー	2801023012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上江洲　由晃	竹内　淳	小松　進一

副題

授業概要　光と物質の相互作用としての，光の吸収や放射，さらには光の統計的性質などを正しく理解するためには，光の量子論を必要とする。
とくに1960年のレーザーの発明以降，エネルギー量子としての光子を対象にした量子エレクトロニクスの分野がめざましい発展を遂げ，現代の情報社会を支える光通信技術，半導体加工技術，画像情報関連技術，光ディスク・光メモリー関連技術等の基盤となっている。
この科目では，量子エレクトロニクス，およびその基礎となる光の量子論への入門を目的としている。

シラバス

（量子エレクトロニクス入門；小松）
1．光と量子エレクトロニクス
（序：授業計画，波と粒子，レーザー，光と電波，光子，EPRパラドクス etc.）
2．光と量子力学（光のコヒーレンス，光の量子論）
3．光と物質の相互作用の基礎1（半古典論，2準位系による光の吸収と放出）
4．光と物質の相互作用の基礎2
（光の吸収と放出の遷移確率，アインシュタインのA係数，B係数，スペクトル線の幅と形）

（レーザーと非線形光学の基礎；竹内）
5．レーザーの歴史と基礎
6．ファブリー・ペロー共振器
7．フェムト秒・アト秒レーザーと物理現象
8．非線形光学効果の基礎
9．フォニック結晶

（レーザーと物質内の励起状態の相互作用；上江洲）
10．固体内の励起状態の記述
11．ラマン散乱の量子論
12．誘導ラマン散乱、誘導ブリユアン散乱
13．コヒーレント反ストークスラマン散乱

（量子エレクトロニクスの最前線；井上修一郎（招へい講師））
14．量子情報通信の新展開（仮題）

15．学力考査と解説（未定）

教科書　量子光学（櫛田孝司，朝倉書店，1981，2002）

参考文献　Quantum Electronics （A. Yariv, John Wiley & Sons）

評価方法　平常点（出席を含む）・教場試験（簡単なテスト）・定期試験

備考

関連URL:　http://www.opt.phys.waseda.ac.jp/komatsu/QE/ （第1回～

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ダイナミカルシステム		
科目キー	2801023013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	橋本　周司		

副題

授業概要　本講義では、身近に見られる例から、ダイナミカルシステムがきわめて一般的なものであることを示す。次に、微分方程式で表現される線形システムの制御の考え方を説明し、実際の物理システムに応用してフィードバック制御の基本的な問題と、現代制御理論の基礎を説明する。さらに、非線形系で現れる興味深い現象をいくつか示した後、ニューラルネットワークなど最近のダイナミカルシステムの話題を取り上げる。

シラバス
第1週　イントロダクション　授業計画およびダイナミカルシステム入門
第2週　ダイナミカルシステムと微分方程式
第3週　線形システムと周波数応答
第4週　制御とはなにか、制御工学の基礎
第5週　フィードバック制御1　応答特性
第6週　フィードバック制御2　安定性
第7週　現代制御理論の基礎1　状態空間
第8週　現代制御理論の基礎2　可制御性、可観測性
第9週　自動制御のまとめ、具体例とレポート課題
第9週　非線形ダイナミカルシステム1　線形と非線形
第10週　非線形ダイナミカルシステム2　非線形振動
第11週　非線形ダイナミカルシステム3　その他の非線形現象の例
第12週　最近の話題1　神経回路網のダイナミックス
第13週　最近の話題2　時空間ダイナミカルシステム
第14週　最近の話題3　情報ネットワークおよびロボティックスから
第15週　まとめとテスト

教科書　講義中に紹介する。

参考文献　講義中に紹介する。

評価方法　レポートおよびテストによる。

備考　講義の順序内容は進行状況によって変更する場合がある。また、講義の一部をコースナビで行うことがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学概論B		
科目キー	2801031001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　物理学の諸法則は「数学」という言語で記述され、さらに、物理学理論の展開も数学という道具を使ってはじめて可能になる。この意味で、物理学を真に理解しその発展に寄与するためには、数学は不可欠な学問であるといえる。さらに、量子力学における「関数解析学」、一般相対論における「リーマン幾何学」、素粒子理論における「ひも理論」など、現代物理学では数学の高度な知識が要求される場合が多い。数学概論Bでは、このような数学理論の理解の基礎となる位相構造に関する緒概念の修得とその応用を身につけることを目標とする。

シラバス

（1）ノルム空間と距離空間
- ・ユークリッド空間
- ・線形空間とノルム空間
- ・非ユークリッド空間と距離空間
- ・開集合と閉集合
- ・開核作用素と閉包作用素
- ・距離空間における連続写像

（2）位相空間
- ・開集合と開核作用素
- ・閉集合と閉包作用素
- ・近傍と全近傍系
- ・位相の強弱と位相の生成
- ・位相の基底と基本近傍系
- ・連続写像と同相写像
- ・誘導位相と相対位相
- ・位相空間における連続写像

（3）連結性とコンパクト性
- ・連結性と弧状連結性
- ・連結成分
- ・開被覆とコンパクト性
- ・ハウスドルフ空間におけるコンパクト集合
- ・ユークリッド空間におけるコンパクト集合

（4）分離公理
- ・T1空間とハウスドルフ空間
- ・正則空間と正規空間
- ・Urysohn の拡張定理

教科書　「集合・位相入門」松坂和夫著（岩波書店）

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学演習 （物理）		
科目キー	2801032001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	４時限～５時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	大谷　光春	小澤　徹	

副題

授業概要　数学概論II（主として、常微分方程式、フーリエ級数、フーリエ変換など）と複素関数論講義に対応する演習を行う。さらには、数学の基礎的能力を高めるため、数学概念の基本的事項に関する問題等を与える。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	非線形問題		
科目キー	2801032002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	相澤　洋二		

副題

授業概要　非線形現象および非線形力学の取り扱い手法、基礎的理論を講義する。相空間解析、摂動理論、分岐理論、ハミルトン力学系、散逸力学系、写像力学系、離散力学系、非線形波動などを実際の物理現象との関連から論じる。非線形現象の面白さと具体的な解析例を通じて非線形モデルを構想できる力をつけることを目的とする。なお、必要に応じてコンピュータによる数値計算の技法を演習によって学ぶ。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学C		
科目キー	2801033001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	相澤　洋二		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学C		
科目キー	2801033002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	安倍　博之		

副題

授業概要　量子力学はミクロな物理現象を支配する、現代物理学の最も重要な理論体系の1つである。本講義では量子力学A及びBに引き続き、量子力学の基礎的事項の解説を行う。

シラバス
第　1回（　9月29日）　導入
第　2回（10月　6日）　束縛状態
第　3回（10月13日）　束縛状態（続）
第　4回（10月20日）　散乱状態
第　5回（10月27日）　散乱状態（続）
第　6回（11月10日）　散乱状態（続）
第　7回（11月17日）　散乱状態（続）
第　8回（11月24日）　摂動論
第　9回（12月　1日）　摂動論（続）
第10回（12月　8日）　電磁場
第11回（12月15日）　電磁場（続）
第12回（12月22日）　電磁場（続）
第13回（　1月12日）　応用・発展
第14回（　1月19日）　応用・発展（続）
第15回（日程別途指示）　学力考査及び解説

教科書　特定の教科書なし。講義中に適宜参考書や資料を提示。

参考文献

評価方法　定期試験・平常点

備考　量子力学を習得するためには、各自で応用問題に沢山触れ、講義で説明した基本概念を具体的に理解することが重要。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	統計力学B （物理）		
科目キー	2801033003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	田崎　秀一		

副題

授業概要　物質の示す巨視的諸現象を、その構成要素である原子・分子集団の振る舞いから説明する処方箋が統計力学である。個々の原子・分子の振る舞いは量子力学で説明することが可能だが、これらが1モル当り10^23個も集まった巨視的物体で起こる現象を説明するには＋αが必要である。この＋αが統計力学で、物質の様々な性質を理解する上で欠くことのできない分野である。前期の統計力学Aの内容は既知として、相転移現象の統計力学や揺らぎと応答の関係（線形応答）など進んだ話題について講義する。

シラバス
1. 統計分布と熱力学1：巨視的物理量のゆらぎ
2. 統計分布と熱力学2：各統計分布の同等条件
3. 相転移の統計力学1：独立スピン系の常磁性
4. 相転移の統計力学2：ハイゼンベルグ模型の平均場近似
5. 相転移の統計力学3：平均場近似とギンツブルグ・ランダウ理論
6. 相転移の統計力学4：相関距離とギンツブルグ条件
7. 相転移の統計力学5：S=1/2イジング模型
   （長距離相互作用型、1次元イジング模型、2次元イジング模型）
8. 相転移の統計力学6：種々の相転移現象1
9. 相転移の統計力学7：種々の相転移現象2
10. 相転移の統計力学8：臨界指数とスケーリング理論
11. ゆらぎと応答1：古典系の静的応答と動的応答 （線形応答の理論）
12. ゆらぎと応答2：量子統計力学入門 （密度行列）
13. ゆらぎと応答3：量子系の静的応答と動的応答 （線形応答の理論）
14. 統計力学と力学
15. 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　講義中に紹介します。

評価方法　定期試験、随時行うレポートおよび平常点。

備考　講義資料については、コースナビを参照して下さい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理学演習B		
科目キー	2801033004		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大場　一郎	小松　進一	相澤　洋二
	中島　啓幾	田崎　秀一	安倍　博之

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理実験A		
科目キー	2801033005		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鷲尾　方一 高野　光則	勝藤　拓郎 重成　武	松田　梓 片岡　淳

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学A		
科目キー	2801033006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　忠平		

副題　原子や電子の運動により物質の諸々の性質を説明。

授業概要　固体物理学は電磁気学、量子力学、統計力学を駆使して、固体内部の電子・原子の運動から固体の諸々の性質を説明する学問であり、最も見事な理論体系をもつ物理学分野の1つです。固体物理学A・Bは、この分野の入門的講義と位置られます。

量子力学・統計力学の発達とともに発展してきた固体物理学は、金属・半導体・半金属・絶縁物等に係るエレクトロニクスの機能の理解から、生体分子の機能を発現機構の理解を深める基礎的な基本概念を提供します。

固体物理学Aでは、固体を形成する原子配列の様子・その測定法、凝集力、原子振動およびその関連現象を勉強する入門にあたります。

シラバス

第1回　教科書、講義内容・授業形式・レポート・成績等の評価法の説明

第2回　著名研究者による“固体物理学A/Bとその応用”の講義

第3回　結晶系（表示法と具体的物質）　晶系と結晶群

第4回　実際の実空間の結晶構造解析　（FIM，TEM、STM）

第5回　逆格子の数学的概念と回折法による結晶構造解析

第6回　固体の凝集力I　（ファンデアワールス結晶　有機結晶）

第7回　固体の凝集力II（イオン結晶、半導体　金属）

第8回　講義理解の確認と質問・解説

第9回　格子振動　I（1次元1原子結晶）
　　位相速度と群速度
第10回　格子振動　II　（1次元2原子結晶）

第11回　フォノンとエネルギー分散

第12回　格子比熱　I　アインシュタインモデル
　　古典統計と量子統計
第13回　格子比熱　II　デバイモデル
　　状態密度
第14回　格子の非線形現象

第15回　講義理解の確認と質問・解説

教科書　C.Kittel　Introduction to Solid State Physics、 Wiey （8th edition）

キッテル著　固体物理入門　（上巻）　丸善

参考文献　C.Kittel　Quantum theory of Solid

評価方法　2回の試験結果　と数回のレポート採点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学A		
科目キー	2801033006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学B		
科目キー	2801033007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　忠平		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	連続体の物理		
科目キー	2801033008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　ミクロなスケールでは原子や分子のように離散的な分布をしている物体も、巨視的に取り扱う場合にはその物質が連続的に分布しているとみなすことができる。本講義では、そのような連続体を取扱うための基本的な考え方、およびその具体的な応用である弾性体力学や流体力学について詳述する。

シラバス

0章　連続体

I 章　弾性体
1.1 変形
1.2 応力
1.3 応力歪み関係式
1.4 等方弾性体のつりあい
1.5 運動方程式
1.6 弾性波

II 章　流体
2.1 流体力学の基礎
2.2 完全流体
2.3 ポテンシャル流
2.4 二次元ポテンシャル流
2.5 圧縮性流体と衝撃波
2.6 粘性流体

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考　ベクトル解析、複素関数論は既知のものとする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光学A		
科目キー	2801033009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鵜飼　一彦		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	相対性理論		
科目キー	2801033010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　20世紀初頭に相次いで発表された Einstein の特殊相対性理論、および一般相対性理論は、時間や空間に関する従来の常識を大きく覆した. その結果、時空そのものが物理学の対象として扱われるようになり、また、その応用範囲は、素粒子・原子核、物性物理、そして宇宙物理と幅広い. 本講義では、その理論の入門的解説を行う.

シラバス　序:光の速度

第 I 部　特殊相対性理論
1. 特殊相対性理論
1.1 序
1.2 相対性原理
1.3 世界間隔
1.4 時間的・空間的
1.5 Lorentz 変換
1.6 速度の変換
1.7 固有時間

2. 相対論的力学
2.1 最小作用の原理
2.2 エネルギー・運動量
2.3 4元ベクトル
2.4 相対論的運動方程式
2.5 弾性散乱

3. 電磁気学(4次元表現)
3.1 電磁気学のまとめ
3.2 4次元表現
3.3 Lagrange 形式

4. エネルギー・運動量テンソル
4.1 一般論
4.2 エネルギー・運動量保存則
4.3 電磁場の エネルギー・運動量テンソル
4.4 多粒子系のエネルギー・運動量テンソル
4.5 スピン
4.6 相対論的流体力学

第 II 部　一般相対性理論
1. 等価原理と曲がった時空
1.1 序
1.2 等価原理
1.3 曲がった時空と重力

2. Riemann幾何学
2.1 ベクトル・テンソル
2.2 計量とChristoffel記号
2.3 測地線
2.4 平行移動と共変微分
2.5 曲率テンソル

3. 一般相対性理論
3.1 運動方程式
3.2 Einstein 方程式

4. アインシュタイン方程式の解とその性質

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	相対性理論		
科目キー	2801033010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

4.1 序
4.2 Schwarzschild 解とブラックホール
4.3 Friedmann 膨張宇宙解とビッグバン

教科書

参考文献　『アインシュタインの時間』(ニュートンプレス 1998年)
『重力理論講義:相対性理論と時空物理学の進展』(サイエンス社 2008年)

評価方法　定期試験

備考　力学・電磁気学・解析力学を理解していること

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	関数解析		
科目キー	2801033011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子工学A		
科目キー	2801033012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竹内　淳		

副題

授業概要　電子工学(エレクトロニクス)は現代の高度な半導体物理学の発展に支えられ、一般社会に大きく貢献している。本講義は半導体物理学の基礎から解説し、トランジスタや半導体レーザーなどの半導体デバイスの動作原理とその特性の理解をすすめる。量子ドットやワイドバンドギャップ半導体などの最先端のトピックスにも触れながら、物理学のテクノロジーへの応用について学んでいく。現在の電子・情報産業を支える必須の基礎的知識を与える。

シラバス

1.半導体のバンド構造
2.バルクの状態密度
3.伝導帯と価電子帯のキャリア濃度
4.n型半導体とp型半導体
5.拡散電流とドリフト電流
6.移動度とキャリア散乱
7.p-n接合の構造
8.p-n接合の電流電圧特性
9.ショットキー接合
10.バイポーラトランジスタの動作原理
11.バイポーラトランジスタの電気特性
12.電界効果トランジスタ
13.受光素子と発光素子
14.半導体レーザー
15.学力考査および解説

教科書

参考文献　「半導体デバイス （第2版)」　S. M. ジィー著　　産業図書
「高校数学でわかる半導体の原理」 竹内　淳著　講談社ブルーバックス

評価方法　学力考査・レポート・出席

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用確率過程		
科目キー	2801033013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	橋本　周司		

副題

授業概要　確率的な現象は自然界でも日常生活でも数多く見ることができる。本講義では、確率論の基礎的な概念を確認した後、確率的に時間発展する現象を確率過程として取り扱うための考え方と数学的方法について学習する。
一般的な理論の枠組みを講じた後、特に、物理学および工学から代表的な確率過程の例を示し、確率的な過程の記述と応用について、理解を深めることを目的とする。

シラバス
1. 問題の設定
2. 確率とはなにか
3. 確率論の基礎、数学的な記述法
4. 確率過程論の枠組み
5. 確率過程の例とその数学的な記述
6. 定常過程と非定常過程
7. 線形システムと確率過程
8. 線形予測理論1　原理
9. 線形予測理論2　応用
10. 自然界での確率過程とランダムウオーク
11. 確率微分方程式
12. Fokker-Planck方程式
13. 外乱を受ける力学系の取り扱い
14. 確率過程の応用　計測とランダムネス、ランダムネスと非線形性
15. その他、関連する話題とテスト

教科書

参考文献

評価方法

備考　講義の順序と内容は変わる可能性があります。
また、講義の一部をコースナビで行うことがあります。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物物理学A		
科目キー	2801033014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	石渡　信一	高野　光則	

副題

授業概要　本講義はA，Bからなり、それぞれ2名の担当者によって分担される。各担当者の生物物理学に対する考え方の共通性と多様性が講義内容に反映されるので，その共通性と多様性を通じて生物物理学のエッセンスを伝えていきたい。A，Bともに履修することを原則とする。今年度はAを高野・石渡，Bを輪湖・木下が担当する。

シラバス

＜＜高野担当分＞＞
第　1回（4月　8日）生物物理入門
第　2回（4月15日）高分子の統計力学―コイル・グロビュール転移
第　3回（4月22日）分子の世界の相互作用エネルギー
第　4回（4月29日）高分子からタンパク質へ―秩序・無秩序転移，分子進化
第　5回（5月13日）蛋白質の構造と機能（1）基準振動，揺らぎ
第　6回（5月20日）蛋白質の構造と機能（2）応答，アロステリー
第　7回（5月27日）蛋白質の構造と機能（3）酵素反応，クラマース理論
＜＜石渡担当分＞＞
第　8回（6月　3日）
第　9回（6月10日）
第10回（6月17日）
第11回（6月24日）
第12回（7月　1日）
第13回（7月　8日）
第14回（7月15日）
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説（高野担当の講義内容）

教科書

高野担当分の参考図書として
・Molecular Biophysics (M. Daune, Oxford Univ Press)
・Molecular and Cellular Biophysics (M. B. Jackson, Cambridge Univ Press)
石渡担当分

参考文献

評価方法

1）高野担当分：学力考査
2）石渡担当分：レポート
1，2を総合して成績を評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物物理学B		
科目キー	2801033015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	輪湖　博	木下　一彦	

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理入門 （応物）		
科目キー	2802011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺崎　一郎	竹内　淳	小松　進一
	相澤　洋二	大島　忠平	角田　頼彦
	橋本　周司	中島　啓幾	大谷　光春
	田崎　秀一	鵜飼　一彦	森島　繁生

副題

授業概要　物理学は最も基本的な法則から自然を理解しようとする人類の知的活動であり、あらゆる自然科学・工業技術の基礎となっている。本講義では、応用物理学科と物理学科の各教員が物理の各分野を分担・説明し，今後の物理学習の展望・指針を与える。

シラバス
第1回　4/6 勝藤 「固体中の電子の振舞い」(含ガイダンス)
第2回　4/13 大場 「量子の世界」
第3回　4/20 石渡 「生物の仕組みを物理の言葉で解く」
第4回　4/27 山崎 「身近にある現象の物理」
第5回　5/11 角田「固体の中の波を見る一回折入門」
第6回　5/18 山田 「特異な天体:宇宙は物理の実験室」
第7回　5/25 中島 「物理学と産業社会そして生活環境」
第8回　6/1 栗原 「低温に見る量子の秩序」
第9回　6/8　小松 「ニュートンとアインシュタイン」
第10回　6/15 相澤 「ミクロとマクロをつなぐ」
第11回　6/22 大島 「ナノの世界」
第12回　6/29 小澤 「物理法則に潜む数学的構造」
第13回　7/6 橋本
第14回　7/13 長谷部
第15回　課題実習(詳細は授業の際に指示する)

教科書

参考文献

評価方法　各回に教員より指示される課題に関するレポートの評価に基づく。出席も重視する。詳細は初回のガイダンスで述べる。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	場の数理		
科目キー	2802011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　物理学における基本的概念に、質点や剛体があるが、もう一つの重要な概念に「場」がある。物理量はその多くがベクトルで記述され、そのダイナミクスを論じるにはベクトル場の数学が必要不可欠となる。本講義では、力学において学んだベクトル代数の後をうけ、ベクトル解析について詳述する。また、それを通して 場の物理学に共通な基本的考え方を学ぶ。なお本講義は、電磁気学や連続体の物理などの古典場の物理学の入門的基礎となるだけでなく、その他の専門的な講義 の数学的および物理学的基盤を与えるものである。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学概論A		
科目キー	2802011003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　物理学の諸法則は「数学」という言語で記述され、さらに、物理学理論の展開も数学という道具を使ってはじめて可能になる。 この意味で、物理学を真に理解しその発展に寄与するためには、数学は不可欠な学問であるといえる。
数学概論Aでは、このような数学理論の理解の基礎となる、実数、極限、集合論に関する緒概念の修得とその応用を身につけることを目標とする。

シラバス

（1）実数の導入と極限
- ・ゼノンの逆理
- ・極限とはなにか？
- ・エプシロン・デルタ論法
- ・連続の公理
- ・実数の諸性質
- ・実数の完備性
- ・はさみうちの原理
- ・極限と四則演算の可換性

（2）集合と写像
- ・集合間の演算
- ・対応と写像
- ・全射性と単射性
- ・集合と集合族
- ・同値関係と商空間

（3）集合の濃度
- ・「数をかぞえる」とはどういうことか？
- ・全単射性と濃度
- ・ベルンシュタインの定理
- ・選出公理
- ・可算濃度
- ・連続濃度とカントールの対角線論法
- ・濃度の演算

（4）順序とゾルンの補題

- ・選出公理

教科書　「集合位相入門」松坂和夫（岩波書店）

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	波の物理		
科目キー	2802011004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	勝藤　拓郎		

副題

授業概要　量子力学に代表される現代物理の多くは「波」の概念、さらにはそれをさらに発展させた「場」の概念の上になりたっており、波動についての理解は、これから先の物理学の学習に必須である。この授業では、振動、連成振動から入って、その極限としての波動方程式の導出を行う。さらに、波動方程式の解法、具体的な波動の例、波動における干渉・回折についての議論を行う。

シラバス
第1回(9/29)：単振動の復習と重ね合わせの原理
第2回(10/6)：連成振動とモード
第3回(10/13)：多自由度の振動と分散関係
第4回(10/20)：連続体の振動
第5回(10/27)：波動方程式
第6回(11/10)：フーリエ級数１
第7回(11/17)：フーリエ級数２
第8回(11/24)：進行波とフーリエ級数
第9回(12/1)：分散関係
第10回(12/8)：波束
第11回(12/15)：フーリエ変換
第12回(12/22)：デルタ関数
第13回(1/12)：波の干渉
第14回(1/19)：物質の波（量子力学の基礎）
第15回（日程別途指示）：学力考査および解説

教科書　教科書ではないが、参考書として「振動・波動」 小形正男　裳華房テキストシリーズ を推薦する。

参考文献

評価方法　定期試験

備考　【担当教員連絡先等】
勝藤拓郎　katsuf@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用物理学研究ゼミナール		
科目キー	2802011005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	通年	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	竹内　淳	田崎　秀一	

副題

授業概要　応用物理学科に入学した新入生諸君が、将来立派な技術者あるいは研究者に成長する近道を自分で発見して、一日も早く巣立つことが出来るように手助けをする事を狙ったユニークな科目である。

大学入学までに諸君が身につけた暗記中心の学習方法が、最先端の研究を進める際にどの程度役に立つかを見極め、諸君独自の学習に対する哲学を新しく確立する助けにしたい。

具体的にはこの科目の内容は研究と演習に大別できる。

研究では1年生の段階で、応用物理学科の各研究室の指導を受けながら、4月−12月に研究を進め、12月下旬に発表し、1月にレポートを提出する。

演習ではベクトル解析、フーリエ級数、微分方程式、多重積分等の演習を学生諸君の理解度に応じて進める。

シラバス　研究：4月に各研究室から提案された研究テーマの中から自分に適した研究テーマを選ぶ。人気の高いテーマに定員以上の希望者が集中した場合は抽選等の選抜方法を用いる事がある。12月下旬に研究発表し、1月にレポートを提出する。

演習：講義に続き関連の演習を行う。

1. オリエンテーション
2. 第一回研究日（配属研究室にて研究を行う。）
3. ベクトルの積、行列式（余因子行列、固有値）
4. ベクトルの微分、一階常微分方程式
5. 定数係数線形常微分方程式
（複素数の指数関数、特性方程式、演算子法）
6. 第二回研究日（配属研究室にて研究を行う。）
7. テーラー展開、べき級数、フーリエ級数
8. 多変数関数、スカラー場、ベクトル場、偏微分
9. コースナビにて学習内容の点検
10. 勾配、発散、回転
11. 第三回研究日（配属研究室にて研究を行う。）
12. 電磁気への応用
13. デルタ関数、フーリエ変換
14. 線形偏微分方程式への応用
15. 学力考査および解説

16. 多重積分1 （重積分、計算方法、変数変換）
17. 多重積分2 （3重積分、計算方法、変数変換）
18. 線積分 （一般の線積分、ベクトル場の線積分）
19. 第四回研究日（配属研究室にて研究を行う。）
20. 面積分 （一般の面積分、ベクトル場の面積分）
21. グリーンの定理 （説明と例題）
22. ストークスの定理 （説明と例題）
23. 第五回研究日（配属研究室にて研究を行う。）
24. ガウスの定理 （説明と例題）
25. ベクトル解析の応用
26. 第六回研究日（配属研究室にて研究を行う。）
27. 変分法1 （条件なし変分法）
28. 変分法2 （条件付変分法）
29. 学力考査および解説
30. 授業理解の確認を行う。方法は講義中に指示する。

教科書　なし

参考文献

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用物理学研究ゼミナール		
科目キー	2802011005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	通年	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

評価方法　定期試験あるいは教場試験・レポート（研究成果を発表して、レポートを提出する。作品を含む。）・平常点

備考　・ この科目は金曜日の5限に設置されている。研究や演習は時間が延びることが常識で、理解の遅い諸君はしばしば終了時間が7限を越えることがある。受講者はこの授業の後の時間を明けておくことが望ましい。
・ 詳しい日程などについてはコースナビで随時確認すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	常微分方程式(応物)		
科目キー	2802012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　力学や回路理論など、物理学・工学の基本法則を記述する基本的な道具である常微分方程式の基礎理論について学ぶ。 求積法、定数係数線形微分方程式(系)に対する記号解法の修得のほかに、これらでは解の具体的表示が得られないより一般的な常微分方程式の初期値問題に対する解の存在、一意性、比較定理などに関する基礎理論についても解説する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フーリエ解析(応物)		
科目キー	2802012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　物理法則のほとんどは、独立変数が複数(時間、空間3次元)偏微分方程式で記述される。 これらの偏微分方程式の解の具体的表示を与える代表的な数学的手法であるフーリエ解析について学ぶ。 フーリエ級数・フーリエ変換理論及びその偏微分方程式への応用などが主たる話題となる。 さらに、ラプラス変換とその応用についても言及する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	複素関数論1（応物）		
科目キー	2802012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小澤　徹		

副題

授業概要　一変数複素函数論の基礎を講義します。複素函数論は微分積分と線形代数の次に必ず学ぶ科目で、世界中どの理工系の学部においても3年次に履修するように設置されています。 それは、複素函数論が、これから受講者が進む専門課程のどの分野でも、その基盤の一部となっているからです。例えば、様々な自然現象に現れる波動を記述するためにも、さらには、画像工学で画像処理をする際にも複素函数論が有用になります。 電波望遠鏡での天体観測においても必要です。数値解析においても複素函数論が顔を出します。この講義では、シラバスに従って、複素函数論に現れる基本的概念の把握と基本的計算技能の習得を目的に丁寧に、かつ平明に講義することを心がけます。複素函数論に限らず、どの教科においても、自分の理解度を確認し、計算の能力を習得するためには、問題演習を欠かすことはできません。 併設されている数学演習を履修し、自己訓練をすることを期待しています。

シラバス
1. 複素数の代数的構造
2. 複素数の位相的構造
3. 複素函数と連続性
4. 正則函数
5. コーシー・リーマンの関係式
6. 冪級数（その1）
7. 冪級数（その2）
8. 初等函数（その1）
9. 初等函数（その2）
10. 複素積分（その1）
11. 複素積分（その2）
12. コーシーの積分定理（その1）
13. コーシーの積分定理（その2）
14. コーシーの積分定理（その3）
15. 学力考査と解説

教科書

参考文献　杉浦光夫、解析入門 I, II、東京大学出版会
高橋礼司、[新版]複素解析、東京大学出版会
アールフォルス、複素解析、現代数学社

評価方法　定期試験とレポートによる。詳しくは第一回目の講義で説明する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	複素関数論2（応物）		
科目キー	2802012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小澤　徹		

副題

授業概要　一変数複素函数論の基礎を講義します。複素函数論は微分積分と線形代数の次に必ず学ぶ科目で、世界中どの理工系の学部においても3年次に履修するように設置されています。 それは、複素函数論が、これから受講者が進む専門課程のどの分野でも、その基盤の一部となっているからです。例えば、様々な自然現象に現れる波動を記述するためにも、さらには、画像工学で画像処理をする際にも複素函数論が有用になります。 電波望遠鏡での天体観測においても必要です。数値解析においても複素函数論が顔を出します。この講義では、シラバスに従って、複素函数論に現れる基本的概念の把握と基本的計算技能の習得を目的に丁寧に、かつ平明に講義することを心がけます。複素函数論に限らず、どの教科においても、自分の理解度を確認し、計算の能力を習得するためには、問題演習を欠かすことはできません。 併設されている数学演習を履修し、自己訓練をすることを期待しています。

シラバス
1. 正則函数の解析性（その1）
2. 正則函数の解析性（その2）
3. 一致の定理
4. 最大値の原理（その1）
5. 最大値の原理（その2）
6. ローラン展開（その1）
7. ローラン展開（その2）
8. 孤立特異点（その1）
9. 孤立特異点（その2）
10. 孤立特異点（その3）
11. 留数（その1）
12. 留数（その2）
13. 留数（その3）
14. 分散関係式
15. 学力考査と解説

教科書

参考文献　杉浦光夫、解析入門 I, II、東京大学出版会
高橋礼司、[新版]複素解析、東京大学出版会
アールフォルス、複素解析、現代数学社

評価方法　定期試験とレポートによる。詳しくは第一回目の講義で説明する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （応物）		
科目キー	2802012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	栗原　進		

副題

授業概要

電磁気学は古典物理学の主要な柱の一つであり、一見無関係に見える電気、磁気、光が、ここにおいてみごとに統一されている。 電磁気学は場の理論のさきがけであり、ゲージ理論全般のお手本でもある。 本講義では、クーロン、ファラデー、アンペール等によって発見された法則が、いかにしてマックスウェルの方程式に集約されていったかを詳説する。 ベクトル解析が電磁現象の記述にいかに役に立つか、良く理解できるように話したい。 実験にも可能な限り言及し、相対論的共変性、ゲージ不変性などについてもある程度触れる予定。

シラバス

第1回　序論
- 1.1 現代物理学における電磁気学の位置づけと簡単な歴史
- 1.2 数学的準備：ベクトル解析のおさらい
  スカラー積、ベクトル積、grad, div, rot ・・・
- 1.3 Maxwell方程式をまず眺める

第2回　電荷と電場
- 2.1 電荷： 場の源、保存量、2種、量子化、
- 2.2 Coulombの法則
- 2.3 重ね合わせの原理
- 2.4 遠隔作用と近接作用

第3回　ガウスの法則
- 3.1 電気力線と電束、電束密度
- 3.2 ガウス積分
- 3.3 ガウスの法則
- 3.4 具体的な応用

第4回　静電場の回転と発散 -- 局所的法則
- 4.1 静電場は渦なし場
- 4.2 ガウスの法則の微分形
- 4.3 静電ポテンシャルとポアソン方程式
- 4.4 ポアソン方程式のグリーン関数による解法

第5回　静電場の多重極展開
- 5.1 静電ポテンシャルのルジャンドル多項式による展開
- 5.2 単極子、双極子、四重極、…
- 5.3 双極子の作る静電場
- 5.4 双極子−双極子相互作用

第6回.　導体と静電場
- 6.1 導体は等電位領域
- 6.2 導体近傍の電場と表面電荷
- 6.3 導体系の静電場　ラプラス方程式と境界値問題
- 6.4 簡単で賢い解法　鏡像法、重ね合わせ法

第7回　電気容量と静電エネルギー
- 7.1 電気容量
- 7.2 自己容量、相互容量、相反定理
- 7.3 導体系の静電エネルギー
- 7.4 静電場のエネルギー密度

第8回　電流
- 8.1 電流と電流密度
- 8.2 電荷保存則と連続の方程式
- 8.3 オームの法則
- 8.4 電流と磁場との相互作用
- 8.5 ローレンツ力

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （応物）		
科目キー	2802012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

8.6 ビオ・サバールの法則

第9回　電流と磁場
9.1 ベクトル・ポテンシャル
9.2 電流間にはたらく力
9.3 直線電流による磁束密度の線積分
9.4 アンペールの法則 （積分形）
9.5 アンペールの法則 （微分形）

第10回　電磁誘導の法則
10.1 ファラデーの発見
10.2 電磁誘導と運動の相対性
10.3 ファラデーの法則 （積分形）
10.4 ファラデーの法則 （微分形）
10.5 運動座標系における電磁場
10.6 アインシュタイン論文「運動物体の電磁力学」(参考)

第11回　インダクタンス
11.1 電流 → 磁束　線形応答係数としてのインダクタンス
11.2 自己インダクタンス、相互インダクタンス
11.3 ソレノイド中の磁束と変圧器の原理
11.4 コイル・抵抗(LR)回路と時定数
11.5 磁場のエネルギー密度

第12回　マックスウェル方程式
12.1 J. C. Maxwell (1831-1879) と A. Einstein (1879-1955)
12.2 マックスウェルの発見　変位電流
12.3 マックスウェル・アンペールの法則
12.4 変位電流の物理的解釈
12.5 マックスウェル方程式
12.6 真空中の電磁波

第13回　電磁場と荷電粒子系のエネルギーと運動量
13.1 電磁場のエネルギー密度の時間微分
13.2 ポインティング・ベクトル
13.3 電磁場＋荷電粒子系のエネルギー
13.4 電磁場の運動量
13.5 電磁場＋荷電粒子系の運動量

第14回　電磁気学と特殊相対論
14.1 ローレンツ変換
14.2 電磁場はテンソル成分として変換
14.3 電磁テンソル
14.4 電磁テンソル形式のマックスウェル方程式と電荷保存則

第15回　問題演習

教科書　教科書は特に指定しない。

参考書としては
1. 砂川重信著「電磁気学」(岩波テキストシリーズ 4)
2. ファインマン、レイトン、サンズ「ファインマン物理学 III 電磁気学」 (岩波)
3. D. J. Griffiths, Introduction to Electrodynamics (Prentice Hall)
4. J. D. Jackson, Classical Electrodynamics (John Wiley & Sons)
などを挙げておく。

参考文献

評価方法　定期試験による。 出席、レポートも考慮に入れる。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （応物）		
科目キー	2802012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （応物）		
科目キー	2802012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	寺崎　一郎		

副題

授業概要　前期で学んだ真空中の電磁気学を発展させ，物質の電磁応答を中心に学習する。大別して次の3つのテーマ，（1）物質と電場　（2）物質と磁場　（3）物質と電磁場　を取り扱う。電磁気学Aとあわせて，輻射をのぞく非相対論的な電磁気学を網羅する。

シラバス
1. 電磁気学Aの復習
2. 物質と電場(1)　金属と遮蔽，外場と応答
3. 物質と電場(2)　誘電体
4. 物質と電場(3)　補助場D
5. 演習　電磁気学の数理的基礎
6. 物質と磁場(1)　磁気双極子
7. 物質と磁場(2)　補助場H
8. 物質と磁場(3)　常磁性と強磁性
9. 物質と磁場(4)　反磁性と超伝導
10. 物質と電磁波(1)　光の吸収と複素誘電率
11. 物質と電磁波(2)　反射と屈折
12. 物質と電磁波(3)　誘電関数
13. 電磁場のエネルギー
14. 誘電体・磁性体の熱力学
15. 学力考査と解説

教科書　教科書は指定しないが，すべての講義ノート，レポート課題などは下記URLからダウンロードできる。

参考文献

評価方法　評価方法は第1回講義の冒頭で紹介。レポートと試験で評価の予定。

備考　【担当教員連絡先等】
寺崎　一郎（terra@waseda.jp）

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/terra/eb/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	解析力学 （応物）		
科目キー	2802012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中里 弘道		

副題

授業概要　現代物理学を学ぶ上で不可欠となる解析力学を講義し，量子力学，統計力学への橋渡しとする。

シラバス　<Pre>
第1回 4月7日　1. 物理現象と模型化，2. 運動法則，ニュートンの運動の3法則，3. 運動状態の記述
第2回 4月14日　3. 運動状態の記述，4. 座標変換と運動法則
第3回 4月21日　4. 座標変換と運動法則，5. ダランベールの原理と拘束条件
第4回 4月28日　6. 一般化座標とラグランジュの方程式
第5回 5月12日　7. ハミルトンの正準方程式とポアッソン括弧式
第6回 5月19日　8. ラグランジアンの多様性，9. 不連続変換と対称性
第7回 5月26日　10. 基準座標と基準振動
第8回 6月2日　11. 連続体，汎関数と汎関数微分
第9回 6月9日　12. 電磁場と荷電粒子
第10回 6月16日　13. 変分原理と運動方程式，14. 変分原理と保存則，15. 正準変換
第11回 6月23日　15. 正準変換，16. 正準変換の具体例
第12回 6月30日　17. 正準変換不変量
第13回 7月7日　18. ハミルトン・ヤコビの偏微分方程式
第14回 7月14日　19. 作用変数と角変数，断熱不変量，水素原子への適用，量子化条件
第15回（日程別途指示）　20. 学力考査及び解説</Pre>

教科書　概ね，並木美喜雄著「解析力学」（丸善）に沿って講義する。予め CourseN@vi に講義メモを公開する予定。その他，詳細は授業開始時に説明する。

参考文献

評価方法　定期試験。

備考　講義では解析力学の概略を紹介しますが，講義を聴くだけでは不十分です。自ら手と頭を動かしてみないと本当の理解には到達できません。そのためには演習を活用したり，小人数でセミナーをするのが効果的です。そのような過程の中で初めて自分の理解度が認識できるのです。
実際，勉強を進める中で多くの疑問，質問がわいてくると思います。講義では皆さんの理解を助け疑問の解消につながることも期待しています。分からないことは放置せず，是非質問に来て下さい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論A （応物）		
科目キー	2802012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森島　繁生		

副題

授業概要　科学、工学、産業技術の分野から一般家庭に至るまで、電気回路は広く利用されており、この基礎となる学問の習得は重要である。この背景の下に、本講義では、L、R、Cを主な要素とする線形電気回路に、正弦波状信号（交流）を加えたときの定常状態での信号解析を、周波数領域を主にして行う。これは従来「交流理論」として体系化された分野であり、L、R、C各要素の基本的性質や、インピーダンスやアドミッタンスの概念、回路各部の電流や電圧の計算法、などが主な内容となる。この講義は「回路理論B」に引き継がれ、そこでは交流理論のより一般的あるいは高度な内容と、電気回路のスイッチのオン・オフ時のような過渡的な現象の解析が取り扱われる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学A （応物）		
科目キー	2802012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　量子力学は原子や分子の構造、金属の電子論、半導体や超伝導体などに関するエレクトロニクス理論、化学反応素過程、原子核の構造及び反応、そして素粒子の相互作用などを取り扱うのに欠くことのできない枠組みであり、現代物理学の多くの分野の基礎となっている。序論として量子論の生まれるまでの前期量子論を簡単にまとめ、量子力学の基礎について講義する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	熱力学 （応物）		
科目キー	2802012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	相澤　洋二		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理学演習		
科目キー	2802012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	寺崎　一郎	相澤　洋二	前田　恵一
	中里　弘道	栗原　進	田崎　秀一
	秋元　琢磨	門内　隆明	山内　雄介

副題

授業概要　本演習では講義に対応させて，解析力学，量子力学A，熱力学，電磁気学の演習問題を順番に行う。演習問題としては，講義で触れる余裕のなかった項目も取り上げるが，基本的には対応する各講義内容を参照せよ。また，分野毎に演習の具体的実施方法，成績評価方法等が異なり得るが，詳しいことは演習開始時に教室で説明する。

シラバス

1. 演習と解説（電磁気学1）
2. 演習と解説（解析力学1）
3. 演習と解説（熱力学1）
4. 演習と解説（電磁気学2）
5. 演習と解説（解析力学2）
6. 演習と解説（熱力学2）
7. 演習と解説（電磁気学3）
8. 演習と解説（解析力学3）
9. 演習と解説（熱力学3）
10. 演習と解説（電磁気学4）
11. 演習と解説（解析力学4）
12. 演習と解説（熱力学4）
13. 演習と解説（電磁気学5）
14. 演習と解説（解析力学5）
15. 学力考査および解説

16. 演習と解説（量子力学A1）
17. 演習と解説（熱力学5）
18. 演習と解説（電磁気学6）
19. 演習と解説（量子力学A2）
20. 演習と解説（熱力学6）
21. 演習と解説（電磁気学7）
22. 演習と解説（量子力学A3）
23. 演習と解説（熱力学7）
24. 演習と解説（電磁気学8）
25. 演習と解説（量子力学A4）
26. 演習と解説（熱力学8）
27. 演習と解説（電磁気学9）
28. 演習と解説（量子力学A5）
29. 演習と解説（熱力学9）
30. 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）・平常点・(成績評価の詳細に関しては教室で説明する予定。)

備考　・この演習に対応する講義，すなわち，解析力学（前期），量子力学A（後期），熱力学（後期），電磁気学はいずれも現代物理学の基礎を成す重要かつ基本的科目であり，きちんと理解しておくことが必要である。そのためには自ら考え，自ら問題を解くことが不可欠であるが，演習はそのような機会を諸君のために大学として用意したものである。積極的に取り組んでいただきたい。
・詳しい日程などについてはコースナビで随時確認すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理学演習		
科目キー	2802012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学B		
科目キー	2802013001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大場　一郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	統計力学A （応物）		
科目キー	2802013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	田崎　秀一		

副題

授業概要　物質の示す巨視的諸現象を、その構成要素である原子・分子集団の振る舞いから説明する処方箋が統計力学である。個々の原子・分子の振る舞いは量子力学で説明することが可能だが、これらが1モル当り10^23個も集まった巨視的物体で起こる現象を説明するには＋αが必要である。この＋αが統計力学で、物質の様々な性質を理解する上で欠くことのできない分野である。統計力学Aでは、平衡熱力学を出発点にとり、平衡統計力学の基礎事項について講義する。

シラバス
1. 序 （統計力学の位置づけ、平衡熱力学）
2. 気体運動論1 （ヴィリアル定理、マクスウェル分布）
3. 気体運動論2 （マクスウェル・ボルツマン分布、分布とエントロピー）
4. 気体運動論3 （ボルツマン方程式）
5. 平衡統計力学1:ミクロカノニカル分布
6. 平衡統計力学2:カノニカル分布
7. 平衡統計力学3:カノニカル分布の応用
8. 平衡統計力学4:格子振動による固体比熱
9. 平衡統計力学5:グランドカノニカル分布
10. 平衡統計力学6:グランドカノニカル分布の応用
11. 平衡統計力学7:理想フェルミ気体1 （フェルミ分布）
12. 平衡統計力学8:理想フェルミ気体2 （電子気体）
13. 平衡統計力学9:理想ボーズ気体1
（ボーズ分布、ボーズ・アインシュタイン凝縮）
14. 平衡統計力学10:理想ボーズ気体2
（光子気体、プランクの輻射公式、フォノン）
15. 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　講義中に紹介します。

評価方法　定期試験、随時行うレポートおよび平常点。

備考　講義資料については、コースナビを参照して下さい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地球科学A		
科目キー	2802021001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	香村　一夫	内田　悦生	

副題

授業概要　地球の誕生と進化の歴史、地球内部構造とテクトニクス、海洋および大気の構造と循環、地球外物質などを学習し地球の過去と現在の姿を理解することをこの授業のねらいとする。また、気候と環境の変遷や公害と災害にも言及する。

シラバス
第1回地球の形成と進化（その1）　内田担当
第2回地球の形成と進化（その2）　内田担当
第3回地球の内部構造と構成物質　内田担当
第4回隕石の話　内田担当
第5回高温・高圧実験と相平衡　内田担当
第6回大気と海洋の構造と循環　内田担当
第7回プレート・テクトニクスとプルーム・テクトニクス　内田担当
第8回日本列島の地質構造と成り立ち　内田担当
第9回地層の形成(1)ー堆積作用ー　香村担当
第10回地層の形成(2)ー構造運動ー　香村担当
第11回地球46億年史をふりかえる(1)ー地質時代概観ー　香村担当
第12回地球46億年史をふりかえる(2)ー気候と環境の変遷ー　香村担当
第13回地球と人類の共生(1) ー資源の開発と利用ー　香村担当
第14回地球と人類の共生(2) ー公害と災害ー　香村担当
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　教科書:「地球・環境・資源　地球と人類の共生をめざして」 共立出版　内田・高木編

参考文献　全地球史解読　熊澤・伊藤・吉田編　東京大学出版会
地球学入門　酒井治孝著　東海大学出版

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	地球科学B		
科目キー	2802021002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　悦生	山崎　淳司	

副題

授業概要　地球の構成物質である鉱物および岩石に関する基礎知識の修得を目標とする。はじめに鉱物学において基本となる結晶の対称性と分類、結晶構造、化学組成、化学結合および諸物性に関して学習する。次に、主要造岩鉱物である珪酸塩鉱物の構造と分類および火成岩と変成岩の分類と成因に関する基礎的知識を習得する。

シラバス
(1)鉱物学1：結晶の対称性と分類　山担当
(2)鉱物学2：鉱物の化学組成式と構造式　山担当
(3)鉱物学3：鉱物の化学結合論　山担当
(4)鉱物学4：鉱物の物理的特性　山担当
(5)鉱物学5：鉱物の結晶構造と性質　山担当
(6)鉱物学6：鉱物の基本構造による分類　山担当
(7)岩石学1：岩石の分類と珪酸塩鉱物の構造　内田担当
(8)岩石学2：主要造岩鉱物の概要　その1　内田担当
(9)岩石学3：主要造岩鉱物の概要　その2　内田担当
(10)岩石学4：火成岩の分類法　内田担当
(11)岩石学5：溶融体の関与した相平衡図の読み方　その1　内田担当
(12)岩石学6：溶融体の関与した相平衡図の読み方　その2　内田担当
(13)岩石学7：火成岩とその成因　内田担当
(14)岩石学8：変成岩とその成因　内田担当
(15)定期試験：理解度の確認および質問，解説

教科書　「地球・環境・資源 地球と人類の共生をめざして」(内田悦生・高木秀雄編)　共立出版

参考文献　参考書：地学団体研究会編「鉱物の科学」 東海大学出版会
参考書：地学団体研究会編「岩石と地下資源」 東海大学出版会

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B　(応物)		
科目キー	2802022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森島　繁生		

副題

授業概要　「回路理論A」に続く講義である。まず、L、R、Cのほかに電圧源や電流源を含む一般的な回路網の各部の電流や電圧の計算法を、グラフ理論を応用して述べる。また複数の周波数成分を含む周期波形の解析法として、「フーリエ級数」を応用した回路解析について学習する。さらに回路にスイッチ類を含み、そのオン・オフ時刻前後の電圧、電流をも考察の対象とする「過渡現象論」について述べる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理実験学		
科目キー	2802023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上江洲　由晃	寺崎　一郎	角田　頼彦
	橋本　周司	中島　啓幾	

副題

授業概要　本講義では応用物理学科および物理学科3年時に設置されている応用物理学実験Aおよび物理実験Aの実験項目の主要なものについて、実験の理解に必要な物理を基礎から詳しく講義する。実験をとる学生はこの講義をなるべく受講することが望まれる。

シラバス

4月8日　角田(1)X-線と放射線・放射線の人体に及ぼす影響
15日　角田(2)X-線回折入門(すぐに実験に取り掛かる学生のために)
22日　角田(3)X-線の発生(輻射の電磁気学)・放射光
5月13日　角田(4)X-線の散乱(電子による散乱・固体による散乱)
20日　角田(5)干渉性散乱と非干渉性散乱
27日　角田(6)散乱の特殊問題(散乱振幅の変調と位相の変調)・熱振動による影響
6月3日　角田(7)電磁波の共鳴吸収(赤外吸収・メスバウアー効果)
10日　角田(8)磁性の基礎(磁化測定に入る前に)
17日　角田(9)理解度の確認のための教場試験

6月24日　橋本(1)論理代数の基礎(論理変数、論理式、論理演算)
7月　1日　橋本(2)論理回路の基礎と組み合わせ論理
8日　橋本(3)記憶回路と順序論理回路

7月15日　全員　物理実験および応用物理実験の前期講評

9月30日　寺崎(1)超伝導体の電磁気学
10月7日　寺崎(2)ギンツブルグーランダウ理論
14日　寺崎(3)超伝導体の物理的性質
28日　寺崎(4)超伝導の電子論
11月4日　寺崎(5)超伝導の応用

11月11日　中島(1)半導体からLSIに:Siテクノロジー
18日　中島(2)化合物半導体:高周波素子と半導体レーザ
25日　中島(3)光エレクトロニクス:ファイバと光回路

12月2日　上江洲(1)非線形光学とは —現象、発生起源、応用、SHGの簡単な導出—、演習1
9日　上江洲(2)結晶中の光の伝播—複屈折—、屈折率楕円体による複屈折の記述、演習2
16日　上江洲(3)光の偏光現象とJones行列による偏光の記述 Poincare球による偏光の記述、演習3
1月　6日　上江洲(4)非線形光学の基礎方程式、演習4
13日　上江洲(5)位相整合の重要性、高調波測定方法、演習5

20日　全員　物理実験および応用物理実験の後期講評

教科書

参考文献　それぞれの項目を担当する教員が講義の初めに紹介する。

評価方法　教場試験(角田)、レポート(橋本、中島、寺崎)、講義の後の演習(上江洲)

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理実験学		
科目キー	2802023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ダイナミカルシステム		
科目キー	2802023002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	橋本　周司		

副題

授業概要　本講義では、身近に見られる例から、ダイナミカルシステムがきわめて一般的なものであることを示す。次に、微分方程式で表現される線形システムの制御の考え方を説明し、実際の物理システムに応用してフィードバック制御の基本的な問題と、現代制御理論の基礎を説明する。さらに、非線形系で現れる興味深い現象をいくつか示した後、ニューラルネットワークなど最近のダイナミカルシステムの話題を取り上げる。

シラバス
第1週　イントロダクション　授業計画およびダイナミカルシステム入門
第2週　ダイナミカルシステムと微分方程式
第3週　線形システムと周波数応答
第4週　制御とはなにか、制御工学の基礎
第5週　フィードバック制御1　応答特性
第6週　フィードバック制御2　安定性
第7週　現代制御理論の基礎1　状態空間
第8週　現代制御理論の基礎2　可制御性、可観測性
第9週　自動制御のまとめ、具体例とレポート課題
第9週　非線形ダイナミカルシステム1　線形と非線形
第10週　非線形ダイナミカルシステム2　非線形振動
第11週　非線形ダイナミカルシステム3　その他の非線形現象の例
第12週　最近の話題1　神経回路網のダイナミックス
第13週　最近の話題2　時空間ダイナミカルシステム
第14週　最近の話題3　情報ネットワークおよびロボティックスから
第15週　まとめとテスト

教科書　講義中に紹介する。

参考文献　講義中に紹介する。

評価方法　レポートおよびテストによる。

備考　講義の順序内容は進行状況によって変更する場合がある。また、講義の一部をコースナビで行うことがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計測原論		
科目キー	2802023003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中島　啓幾	長棟　章生	

副題

授業概要　物理学の応用としての計測工学とその基礎について二つの側面から学ぶ。すなわち、

A. 力学や電磁気学、回路理論などの基礎学問を復習するとともにこれらに共通した概念や取扱い方を抽出し、普遍的な見方を醸成する。・・・・・・担当：　中島啓幾

B. 工業計測などを実践する際に必要となる基礎的事項、すなわち、計測における信号、誤差、雑音、検出技術、デジタル技術などを概説する。・・・・担当：　長棟章生

シラバス

A1　物理量と計測：アナログとデジタル
A2　アナロジカル・アプローチ：力学と電気回路は等価に扱える！
A3　集中定数系と分布定数系はどこが違うのか？
A4　伝送線路のインピーダンス整合は無反射コーティングと同じ
A5　結晶格子の振動は繰り返し系で扱うことができる
A6　線形系と非線形系の違い
A7　フィードバックと制御
A8　自然環境、生態系、生命に学ぶ

B1　計測の基礎：仮説の創造と実証、定量的考察（ベイズ）
B2　計測における基本概念（誤差論、精度と感度）
B3　計測法の各論（各種の効果、色々な計測法）
B4　計測における雑音と信号処理(1)　雑音（種類、特性、ノイズフィギュア）
B5　計測における雑音と信号処理(2)　周波数領域、ロックインアンプ
B6　計測における雑音と信号処理(3)　相関法、疑似ランダム信号
B7　計測におけるデジタル技術：画像計測（トモグラフィ入門）

教科書　とくになし

参考文献

評価方法　レポートと出席点で評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル信号処理		
科目キー	2802023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	森島　繁生		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	非線形現象の数理		
科目キー	2802023005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	相澤　洋二	中里　弘道	大谷　光春
	田崎　秀一	山崎　義弘	多辺　由佳

副題

授業概要

シラバス

(1)　4/10　　担当　田崎　秀一

パターン形成と分岐理論の初歩　1

(2)　4/17　　担当　田崎　秀一

パターン形成と分岐理論の初歩　2

(3)　4/24　　担当　多辺　由佳

配向自由度の非線形結合による液晶のパターン形成

(4)　5/08　　担当　多辺　由佳

二次元液晶に見られる外場誘起動的構造の解析

(5)　5/15　　担当　相澤　洋二

カオスと複雑系の数理的基礎概念

(6)　5/22　　担当　相澤　洋二

カオスと複雑系に関する最近の話題

(7)　5/29　　担当　大谷　光春

非線形楕円型方程式の解の非存在

(8)　6/05　　担当　大谷　光春

非線形シュレンディンガー方程式の解の非存在

(9)　6/12　　Course N@vi にて講義内容の再確認・復習

(10)　6/19　　担当　山崎　義弘

非線形動力学のイントロダクション

(11)　6/26　　担当　山崎　義弘

計物理と非線形

(12)　7/03　　担当　中里　弘道

非線形波動現象とKdV方程式

(13)　7/10　　担当　中里　弘道

有限振幅波動現象と非線形Schroedinger方程式

(14)　7/17　　Course N@vi にて講義内容の再確認・復習

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	非線形現象の数理		
科目キー	2802023005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上

（15）7/24　　Course N@vi にて講義内容の再確認・復習

教科書

参考文献

評価方法　（1）　レポート（各教員が，各自の最終講義時に課題を与える）
（2）　出席点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	情報処理システム		
科目キー	2802023007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	後藤　正幸	石田　崇	菱山　玲子

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	情報理論		
科目キー	2802023008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	韓　太舜		

副題　情報の符号化と復号化

授業概要　本講義では、情報処理の基本である情報のやり取りに関する様々な考 え方，とくにディジタル情報の符号化と 復号化に関する撞々の理論的基礎を学ぶ. とくに，今日のディジタル情報の高信頼化を図る基幹理論の1つとして今日重要な役割を果たいる情報理論（できれば，符号理論も）について学ぶ. 予定している講義内容はシラバスに述べた通りである.

シラバス
1.情報源符号化（データ圧縮）の基本的考え方と方法
2.可変長符号化
3.Kraftの不等式
4.Shannon-Fano符号
5.Shannon-Fano-Elias符号
6.整数の符号化
7.算術符号
8.情報スペクトル
9.種々の乱数生成問題
10.確率分布の優劣関係(majority)
11.MDL原理（統計的モデル 選択問題），統計的推論とデータ圧縮.
12.賭けとデータ圧縮
13.符号理論の初歩
14.まとめ
15.まとめ

教科書
書名：情報と符号化の数理
著者名：韓太舜・小林吾
出版社：培風館
出版年：1998

参考文献
書名：情報理論
著者名：橋本猛
出版社: 培風館
出版年：2003

評価方法　期末試験または期末レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	真空技術		
科目キー	2802023009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　肇		

副題

授業概要

講義日程(09/07/27更新):
10月3日　2，3限
※10月24日、2．3限
10月31日、2，3限
11月14日、2，3限
12月5日、2，3限
12月19日、2，3限
1月9日、2，3，4限

※10月17日から24日に変更になりました(09/09/10更新)

教室(09/10/24更新):
54-302教室　→　53-301

シラバス

教科書

参考文献

オーム社発行
清水　肇編:超高真空

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子エレクトロニクス		
科目キー	2802023010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上江洲　由晃	竹内　淳	小松　進一

副題

授業概要　光と物質の相互作用としての，光の吸収や放射，さらには光の統計的性質などを正しく理解するためには，光の量子論を必要とする。
とくに1960年のレーザーの発明以降，エネルギー量子としての光子を対象にした量子エレクトロニクスの分野がめざましい発展を遂げ，現代の情報社会を支える光通信技術，半導体加工技術，画像情報関連技術，光ディスク・光メモリー関連技術等の基盤となっている。
この科目では，量子エレクトロニクス，およびその基礎となる光の量子論への入門を目的としている。

シラバス

（量子エレクトロニクス入門；小松）
1．光と量子エレクトロニクス
（序：授業計画，波と粒子，レーザー，光と電波，光子，EPRパラドクス etc.）
2．光と量子力学（光のコヒーレンス，光の量子論）
3．光と物質の相互作用の基礎1（半古典論，2準位系による光の吸収と放出）
4．光と物質の相互作用の基礎2
（光の吸収と放出の遷移確率，アインシュタインのA係数，B係数，スペクトル線の幅と形）

（レーザーと非線形光学の基礎；竹内）
5．レーザーの歴史と基礎
6．ファブリー・ペロー共振器
7．フェムト秒・アト秒レーザーと物理現象
8．非線形光学効果の基礎
9．フォニック結晶

（レーザーと物質内の励起状態の相互作用；上江洲）
10．固体内の励起状態の記述
11．ラマン散乱の量子論
12．誘導ラマン散乱、誘導ブリユアン散乱
13．コヒーレント反ストークスラマン散乱

（量子エレクトロニクスの最前線；井上修一郎（招へい講師））
14．量子情報通信の新展開（仮題）

15．学力考査と解説（未定）

教科書　量子光学（櫛田孝司，朝倉書店，1981，2002）

参考文献　Quantum Electronics （A. Yariv, John Wiley & Sons）

評価方法　平常点（出席を含む）・教場試験（簡単なテスト）・定期試験

備考

関連URL:　http://www.opt.phys.waseda.ac.jp/komatsu/QE/ （第1回～

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子工学B		
科目キー	2802023011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中島　啓幾	後藤　公太郎	

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光学B		
科目キー	2802023012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	盛岡　敏夫		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計測システム		
科目キー	2802023013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武田　朴		

副題

授業概要　自然科学における様々な仮説は実験により検証され初めて信頼の置ける理論となる。従って、計測システムを構築する、あるいは利用することが理学あるいは工学の発展には必要不可欠である。本講義は医療用の計測システムの開発に携わってきた経験を生かし、実例に基づいて計測システムについて解説を加える。講義に用いる実例は電気化学的測定用センサシステム、脳波計心電計などの生体電気信号導出記録システム、血流測定システム、血圧測定システム、パルス分光システム、フローサイトメータ応用システムなどを実例にとり、そこに用いられている計測システム構築用の技術すなわちアナログインターフェイス回路、A/D変換技術および雑音除去、特徴抽出、波形認識などの技術について解説する。本講義を理解し、さらに研鑽を進めることにより、信頼できる計測システムを構築できる。あるいは既存の計測システムがどの程度信頼できるかが判断できる。などを目指している。また、医療計測に関わったものとして現代医療の抱える問題点についても言及する。

シラバス
第一回10月2日オリエンテーション
第二回10月9日アナログインターフェイス回路
第三回10月16日電気化学的測定用電極
第四回10月23日生体信号導出用電極
第五回10月30日流量計測システム（1）（流量計測概論）
第六回11月13日流量計測システム（2）（電磁血流計）
第七回11月20日圧力計測システム（1）観血式血圧計測システム
第八回11月27日圧力計測システム（2）非観血血圧計測システム
第九回12月4日圧力計測システム（3）A/D変換技術と波形認識技術
第十回12月11日光学的成分計測（1） 血液中酸素飽和度計測システム
第十一回12月18日光学的成分計測（2） 血液成分計測システム
第十二回1月8日光学的成分計測（3） 細胞表面抗原応用計測技術
第十三回1月15日信号処理技術　FFT、wavelet、独立成分分析の応用による雑音除去　技術
第十四回1月23日計測とは何か　講義のまとめ
第十五回日程別途指示学力考査および解説

教科書
特定の教科書は使用しません。
講義に用いる資料を配付します。

参考文献
環境計測システム特論　2007年早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻
国士舘　岸本　健　（インターネット上にあります。）
線形代数とその応用　G・ストラング　産業図書
効果の事典
Transducers for Biomedical Measurement　Cobbold John Wiley & sons
Building Scientific Apparatus　John H. Moore, Addison wesley
独立成分分析　根本幾・川勝真喜約、東京電機大学出版局
道具としての微分方程式　斎藤恭一他　講談社
ビギナースデジタルフィルタ　中村尚吾　東京電機大学
センサ　千原国宏　コロナ社

評価方法　出席日数と定期試験の成績による。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	偏微分方程式論		
科目キー	2802023014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	小澤　徹		

副題　偏微分方程式入門

授業概要　数理物理に現れる定数係数偏微分作用素の基本解(グリーン作用素)の
求め方を学ぶ。線型代数学とベクトル解析の復習から始め、
函数解析学、フーリエ解析学の初歩を必要に応じて解説する。

シラバス
1. 講義の概要
2. ベクトル空間の復習
3. 線型写像の復習
4. ベクトル場の復習
5. 曲面の復習
6. 積分定理の復習
7. ルベーグ積分
8. ルベーグ空間
9. 急減少函数のフーリエ変換
10. 緩増加超函数のフーリエ変換
11. 熱方程式
12. 波動方程式
13. ラプラス方程式
14. ヘルムホルツ方程式
15. 総括

教科書　垣田夫・柴田良弘
『ベクトル解析から流体へ』
日本評論社　ISBN978-4-535-78493-2

参考文献　熊之郷準『偏微分方程式』共立出版
堤誉志雄『偏微分方程式入門』培風館

評価方法　レポートおよび試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物学B		
科目キー	2802023015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	藤森　嶺		

副題　代謝とエネルギー生産

授業概要　46億年の歴史を有する地球に、34億年ほどの大昔に生命が誕生し、現在は微生物、植物、動物のさまざまな生物種が生存している。現在、種名がわかっているだけで約140万種の多様な生物（このうち約75万種が昆虫）が生きている。生命とは何かをあらためて考え、生物多様性についても理解を深めたい。
また、生物学の技術的な応用としての品種改良や遺伝子組換え作物についても解説する。

シラバス　【生物とは】
1. 地球の歴史と生命の誕生
2. 単細胞と多細胞　細胞の構造
3. クロロプラスト　植物による太陽光エネルギー利用の仕組み
4. ミトコンドリア　ATP生産の仕組み
5. 生体成分　生命を支える生体内の物質の変化
6. 代謝系　酵素が制御する生体内の物質代謝
7. 神経系と農薬　神経系の仕組みと殺虫剤の作用機構
8. 昆虫のフェロモン　フェロモンは昆虫の行動を制御する
9. 植物ホルモン　植物の化学調節
10. 内分泌系と免疫系　ホルモン、抗原と抗体
11. 農薬の功罪　現代の農業を支える農薬、環境問題としての農薬
12. 微生物農薬　微生物を利用した農薬の開発、有機農産物
13. 遺伝子組換え作物　なぜ遺伝子組換え作物は誕生したか
14. バイオマスエネルギー　農産物とエネルギー調達との関係
15. まとめ

教科書　生物科学入門（石川　統著、裳華房）

参考文献　はじめて出会う細胞の分子生物学/伊藤明夫著、岩波書店
生きものからくり―分子から生命まで―/中村和行・山本芳美・祐村恵彦共編/培風館
地球環境システム/円城寺　守編著/学文社

評価方法　期末試験

備考　出席を重視する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学概論B		
科目キー	2802031001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要　物理学の諸法則は「数学」という言語で記述され、さらに、物理学理論の展開も数学という道具を使ってはじめて可能になる。この意味で、物理学を真に理解しその発展に寄与するためには、数学は不可欠な学問であるといえる。さらに、量子力学における「関数解析学」、一般相対論における「リーマン幾何学」、素粒子理論における「ひも理論」など、現代物理学では数学の高度な知識が要求される場合が多い。数学概論Bでは、このような数学理論の理解の基礎となる位相構造に関する緒概念の修得とその応用を身につけることを目標とする。

シラバス

（1）ノルム空間と距離空間
- ・ユークリッド空間
- ・線形空間とノルム空間
- ・非ユークリッド空間と距離空間
- ・開集合と閉集合
- ・開核作用素と閉包作用素
- ・距離空間における連続写像

（2）位相空間
- ・開集合と開核作用素
- ・閉集合と閉包作用素
- ・近傍と全近傍系
- ・位相の強弱と位相の生成
- ・位相の基底と基本近傍系
- ・連続写像と同相写像
- ・誘導位相と相対位相
- ・位相空間における連続写像

（3）連結性とコンパクト性
- ・連結性と弧状連結性
- ・連結成分
- ・開被覆とコンパクト性
- ・ハウスドルフ空間におけるコンパクト集合
- ・ユークリッド空間におけるコンパクト集合

（4）分離公理
- ・T1空間とハウスドルフ空間
- ・正則空間と正規空間
- ・Urysohn の拡張定理

教科書　「集合・位相入門」松坂和夫著（岩波書店）

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数学演習 （応物）		
科目キー	2802032001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	４時限～５時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	大谷　光春	小澤　徹	

副題

授業概要　数学概論II（主として、常微分方程式、フーリエ級数、フーリエ変換など）と複素関数論講義に対応する演習を行う。さらには、数学の基礎的能力を高めるため、数学概念の基本的事項に関する問題等を与える。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	非線形問題		
科目キー	2802032002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	相澤　洋二		

副題

授業概要　非線形現象および非線形力学の取り扱い手法、基礎的理論を講義する。相空間解析、摂動理論、分岐理論、ハミルトン力学系、散逸力学系、写像力学系、離散力学系、非線形波動などを実際の物理現象との関連から論じる。非線形現象の面白さと具体的な解析例を通じて非線形モデルを構想できる力をつけることを目的とする。なお、必要に応じてコンピュータによる数値計算の技法を演習によって学ぶ。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用物理学演習		
科目キー	2802033001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大場　一郎	小松　進一	相澤　洋二
	中島　啓幾	田崎　秀一	安倍　博之

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用物理学実験A		
科目キー	2802033002		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	寺崎　一郎 角田　頼彦 多辺　由佳 小林　航	竹内　淳 中島　啓幾 前田　真吾	大島　忠平 森島　繁生 西　正和

副題

授業概要　実験項目

1. 赤外吸収スペクトル
2. 誘電率の周波数分散
3. 示差熱分析
4. X線回折
5. 真空実験
6. 放射線実験
7. 磁化測定
8. 高温超伝導
9. 光高調波の発生
10. 生体分子の構造と機能
11. 量子ポイントコンタクトの製作と量子コンダクタンスの測定
12. 論理回路
13. 光回路素子
14. 半導体の物性評価とデバイス製作

このうち「X線回折」は全員必修、他の13項目の中から5項目を選択し
通年で6項目の実験を行う。

シラバス　実験日程

第　1回（4月　9日）ガイダンス・講義、項目選択カードの提出
第　2回（4月16日）選択6項目の決定と事前学習
第　3回（4月23日）選択した1項目目の実験
第　4回（5月　7日）選択した1項目目の実験
第　5回（5月14日）選択した1項目目の実験の試問
第　6回（5月21日）選択した2項目目の実験
第　7回（5月28日）選択した2項目目の実験
第　8回（6月　4日）選択した2項目目の実験の試問
第　9回（6月11日）選択した1・2項目目の実験の口頭発表
第10回（6月18日）選択した3項目目の実験
第11回（6月25日）選択した3項目目の実験
第12回（7月　2日）選択した3項目目の実験の試問
第13回（7月　9日）1から3項目の実験結果の整理と解析
第14回（7月16日）1から3項目の実験結果の整理と解析
第15回（10月　1日）選択した4項目目の実験
第16回（10月　8日）選択した4項目目の実験
第17回（10月15日）選択した4項目目の実験の試問
第18回（10月29日）選択した3・4項目目の実験の口頭発表
第19回（11月　5日）選択した3・4項目目の実験の口頭発表
第20回（11月12日）選択した5項目目の実験
第21回（11月19日）選択した5項目目の実験
第22回（11月26日）選択した5項目目の実験の試問
第23回（12月　3日）選択した6項目目の実験
第21回（12月10日）選択した6項目目の実験
第22回（12月17日）選択した6項目目の実験の試問
第23回（　1月　7日）選択した5・6項目目の実験の口頭発表
第24回（　1月14日）選択した全項目の実験結果の整理と解析
第25回（　1月21日）選択した全項目の実験結果の整理と解析

教科書　専用テキストをガイダンス・講義時に配布

参考文献

評価方法　口頭発表・試問・レポート・出席

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用物理学実験A		
科目キー	2802033002		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上

の総合評価による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学C		
科目キー	2802033003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	相澤　洋二		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学C		
科目キー	2802033004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	安倍　博之		

副題

授業概要　量子力学はミクロな物理現象を支配する、現代物理学の最も重要な理論体系の1つである。本講義では量子力学A及びBに引き続き、量子力学の基礎的事項の解説を行う。

シラバス
第　1回（　9月29日）　導入
第　2回（10月　6日）　束縛状態
第　3回（10月13日）　束縛状態（続）
第　4回（10月20日）　散乱状態
第　5回（10月27日）　散乱状態（続）
第　6回（11月10日）　散乱状態（続）
第　7回（11月17日）　散乱状態（続）
第　8回（11月24日）　摂動論
第　9回（12月　1日）　摂動論（続）
第10回（12月　8日）　電磁場
第11回（12月15日）　電磁場（続）
第12回（12月22日）　電磁場（続）
第13回（　1月12日）　応用・発展
第14回（　1月19日）　応用・発展（続）
第15回（日程別途指示）　学力考査及び解説

教科書　特定の教科書なし。講義中に適宜参考書や資料を提示。

参考文献

評価方法　定期試験・平常点

備考　量子力学を習得するためには、各自で応用問題に沢山触れ、講義で説明した基本概念を具体的に理解することが重要。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学A		
科目キー	2802033005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　忠平		

副題　原子や電子の運動により物質の諸々の性質を説明。

授業概要　固体物理学は電磁気学、量子力学、統計力学を駆使して、固体内部の電子・原子の運動から固体の諸々の性質を説明する学問であり、最も見事な理論体系をもつ物理学分野の1つです。固体物理学A・Bは、この分野の入門的講義と位置られます。

量子力学・統計力学の発達とともに発展してきた固体物理学は、金属・半導体・半金属・絶縁物等に係るエレクトロニクスの機能の理解から、生体分子の機能を発現機構の理解を深める基礎的な基本概念を提供します。

固体物理学Aでは、固体を形成する原子配列の様子・その測定法、凝集力、原子振動およびその関連現象を勉強する入門にあたります。

シラバス

第1回　教科書、講義内容・授業形式・レポート・成績等の評価法の説明

第2回　著名研究者による“固体物理学A/Bとその応用”の講義

第3回　結晶系（表示法と具体的物質）　晶系と結晶群

第4回　実際の実空間の結晶構造解析　（FIM，TEM、STM）

第5回　逆格子の数学的概念と回折法による結晶構造解析

第6回　固体の凝集力I　（ファンデアワールス結晶　有機結晶）

第7回　固体の凝集力II（イオン結晶、半導体　金属）

第8回　講義理解の確認と質問・解説

第9回　格子振動　I（1次元1原子結晶）
　　位相速度と群速度
第10回　格子振動　II　（1次元2原子結晶）

第11回　フォノンとエネルギー分散

第12回　格子比熱　I　アインシュタインモデル
　　古典統計と量子統計
第13回　格子比熱　II　デバイモデル
　　状態密度
第14回　格子の非線形現象

第15回　講義理解の確認と質問・解説

教科書　C.Kittel　Introduction to Solid State Physics、 Wiey （8th edition）

キッテル著　固体物理入門　（上巻）　丸善

参考文献　C.Kittel　Quantum theory of Solid

評価方法　2回の試験結果　と数回のレポート採点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学A		
科目キー	2802033005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	連続体の物理		
科目キー	2802033006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　ミクロなスケールでは原子や分子のように離散的な分布をしている物体も、巨視的に取り扱う場合にはその物質が連続的に分布しているとみなすことができる。本講義では、そのような連続体を取扱うための基本的な考え方、およびその具体的な応用である弾性体力学や流体力学について詳述する。

シラバス

0章　連続体

I 章　弾性体
1.1 変形
1.2 応力
1.3 応力歪み関係式
1.4 等方弾性体のつりあい
1.5 運動方程式
1.6 弾性波

II 章　流体
2.1 流体力学の基礎
2.2 完全流体
2.3 ポテンシャル流
2.4 二次元ポテンシャル流
2.5 圧縮性流体と衝撃波
2.6 粘性流体

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考　ベクトル解析、複素関数論は既知のものとする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子工学A		
科目キー	2802033007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竹内　淳		

副題

授業概要　電子工学（エレクトロニクス）は現代の高度な半導体物理学の発展に支えられ、一般社会に大きく貢献している。本講義は半導体物理学の基礎から解説し、トランジスタや半導体レーザーなどの半導体デバイスの動作原理とその特性の理解をすすめる。量子ドットやワイドバンドギャップ半導体などの最先端のトピックスにも触れながら、物理学のテクノロジーへの応用について学んでいく。現在の電子・情報産業を支える必須の基礎的知識を与える。

シラバス
1.半導体のバンド構造
2.バルクの状態密度
3.伝導帯と価電子帯のキャリア濃度
4.n型半導体とp型半導体
5.拡散電流とドリフト電流
6.移動度とキャリア散乱
7.p-n接合の構造
8.p-n接合の電流電圧特性
9.ショットキー接合
10.バイポーラトランジスタの動作原理
11.バイポーラトランジスタの電気特性
12.電界効果トランジスタ
13.受光素子と発光素子
14.半導体レーザー
15.学力考査および解説

教科書

参考文献　「半導体デバイス （第2版）」　S. M. ジィー著　　産業図書
「高校数学でわかる半導体の原理」 竹内　淳著　講談社ブルーバックス

評価方法　学力考査・レポート・出席

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光学A		
科目キー	2802033008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鵜飼　一彦		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用確率過程		
科目キー	2802033009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	橋本　周司		

副題

授業概要　確率的な現象は自然界でも日常生活でも数多く見ることができる。本講義では、確率論の基礎的な概念を確認した後、確率的に時間発展する現象を確率過程として取り扱うための考え方と数学的方法について学習する。
一般的な理論の枠組みを講じた後、特に、物理学および工学から代表的な確率過程の例を示し、確率的な過程の記述と応用について、理解を深めることを目的とする。

シラバス
1. 問題の設定
2. 確率とはなにか
3. 確率論の基礎、数学的な記述法
4. 確率過程論の枠組み
5. 確率過程の例とその数学的な記述
6. 定常過程と非定常過程
7. 線形システムと確率過程
8. 線形予測理論1　原理
9. 線形予測理論2　応用
10. 自然界での確率過程とランダムウオーク
11. 確率微分方程式
12. Fokker-Planck方程式
13. 外乱を受ける力学系の取り扱い
14. 確率過程の応用　計測とランダムネス、ランダムネスと非線形性
15. その他、関連する話題とテスト

教科書

参考文献

評価方法

備考　講義の順序と内容は変わる可能性があります。
また、講義の一部をコースナビで行うことがあります。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	関数解析		
科目キー	2802033010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大谷　光春		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学B		
科目キー	2802033011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　忠平		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	統計力学B （応物）		
科目キー	2802033012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	田崎　秀一		

副題

授業概要　物質の示す巨視的諸現象を、その構成要素である原子・分子集団の振る舞いから説明する処方箋が統計力学である。個々の原子・分子の振る舞いは量子力学で説明することが可能だが、これらが1モル当り10^23個も集まった巨視的物体で起こる現象を説明するには＋αが必要である。この＋αが統計力学で、物質の様々な性質を理解する上で欠くことのできない分野である。前期の統計力学Aの内容は既知として、相転移現象の統計力学や揺らぎと応答の関係（線形応答）など進んだ話題について講義する。

シラバス
1. 統計分布と熱力学1：巨視的物理量のゆらぎ
2. 統計分布と熱力学2：各統計分布の同等条件
3. 相転移の統計力学1：独立スピン系の常磁性
4. 相転移の統計力学2：ハイゼンベルグ模型の平均場近似
5. 相転移の統計力学3：平均場近似とギンツブルグ・ランダウ理論
6. 相転移の統計力学4：相関距離とギンツブルグ条件
7. 相転移の統計力学5：S=1/2イジング模型
   （長距離相互作用型、1次元イジング模型、2次元イジング模型）
8. 相転移の統計力学6：種々の相転移現象1
9. 相転移の統計力学7：種々の相転移現象2
10. 相転移の統計力学8：臨界指数とスケーリング理論
11. ゆらぎと応答1：古典系の静的応答と動的応答 （線形応答の理論）
12. ゆらぎと応答2：量子統計力学入門 （密度行列）
13. ゆらぎと応答3：量子系の静的応答と動的応答 （線形応答の理論）
14. 統計力学と力学
15. 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　講義中に紹介します。

評価方法　定期試験、随時行うレポートおよび平常点。

備考　講義資料については、コースナビを参照して下さい。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	相対性理論		
科目キー	2802033013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	前田　恵一		

副題

授業概要　20世紀初頭に相次いで発表された Einstein の特殊相対性理論、および一般相対性理論は、時間や空間に関する従来の常識を大きく覆した. その結果、時空そのものが物理学の対象として扱われるようになり、また、その応用範囲は、素粒子・原子核、物性物理、そして宇宙物理と幅広い. 本講義では、その理論の入門的解説を行う.

シラバス　序:光の速度

第 I 部　特殊相対性理論
1. 特殊相対性理論
1.1 序
1.2 相対性原理
1.3 世界間隔
1.4 時間的・空間的
1.5 Lorentz 変換
1.6 速度の変換
1.7 固有時間

2. 相対論的力学
2.1 最小作用の原理
2.2 エネルギー・運動量
2.3 4元ベクトル
2.4 相対論的運動方程式
2.5 弾性散乱

3. 電磁気学(4次元表現)
3.1 電磁気学のまとめ
3.2 4次元表現
3.3 Lagrange 形式

4. エネルギー・運動量テンソル
4.1 一般論
4.2 エネルギー・運動量保存則
4.3 電磁場の エネルギー・運動量テンソル
4.4 多粒子系のエネルギー・運動量テンソル
4.5 スピン
4.6 相対論的流体力学

第 II 部　一般相対性理論
1. 等価原理と曲がった時空
1.1 序
1.2 等価原理
1.3 曲がった時空と重力

2. Riemann幾何学
2.1 ベクトル・テンソル
2.2 計量とChristoffel記号
2.3 測地線
2.4 平行移動と共変微分
2.5 曲率テンソル

3. 一般相対性理論
3.1 運動方程式
3.2 Einstein 方程式

4. アインシュタイン方程式の解とその性質

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	相対性理論		
科目キー	2802033013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

4.1 序
4.2 Schwarzschild 解とブラックホール
4.3 Friedmann 膨張宇宙解とビッグバン

教科書

参考文献　『アインシュタインの時間』(ニュートンプレス 1998年)
『重力理論講義:相対性理論と時空物理学の進展』(サイエンス社 2008年)

評価方法　定期試験

備考　力学・電磁気学・解析力学を理解していること

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物物理学A		
科目キー	2802033014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	石渡　信一	高野　光則	

副題

授業概要　本講義はA，Bからなり、それぞれ2名の担当者によって分担される。各担当者の生物物理学に対する考え方の共通性と多様性が講義内容に反映されるので，その共通性と多様性を通じて生物物理学のエッセンスを伝えていきたい。A，Bともに履修することを原則とする。今年度はAを高野・石渡，Bを輪湖・木下が担当する。

シラバス
＜＜高野担当分＞＞
第　1回（4月　8日）生物物理入門
第　2回（4月15日）高分子の統計力学―コイル・グロビュール転移
第　3回（4月22日）分子の世界の相互作用エネルギー
第　4回（4月29日）高分子からタンパク質へ―秩序・無秩序転移，分子進化
第　5回（5月13日）蛋白質の構造と機能（1）基準振動，揺らぎ
第　6回（5月20日）蛋白質の構造と機能（2）応答，アロステリー
第　7回（5月27日）蛋白質の構造と機能（3）酵素反応，クラマース理論
＜＜石渡担当分＞＞
第　8回（6月　3日）
第　9回（6月10日）
第10回（6月17日）
第11回（6月24日）
第12回（7月　1日）
第13回（7月　8日）
第14回（7月15日）
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説（高野担当の講義内容）

教科書
高野担当分の参考図書として
・Molecular Biophysics (M. Daune, Oxford Univ Press)
・Molecular and Cellular Biophysics (M. B. Jackson, Cambridge Univ Press)
石渡担当分

参考文献

評価方法
1）高野担当分：学力考査
2）石渡担当分：レポート
1，2を総合して成績を評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物物理学B		
科目キー	2802033015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	輪湖　博	木下　一彦	

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機化学A		
科目キー	2803011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石原　浩二		

副題

授業概要　無機化学はすべての元素を扱う化学であるから、内容が非常に膨大となるため、各論を省略して総論に終始すると、初年度の学生にとっては焦点のはっきりしないつかみ所のない科目になりがちである。そこで、本講義では総論および各論で取り上げる項目を必要最小限とし、重要な化学的基礎概念を平易に解説することにより、無機化学の基礎を身につけることに主眼をおいて講述する。典型元素を中心として述べる。

シラバス

1. 序論
2. 元素と周期表
3. 共有結合
4. 共有結合と軌道
5. 共有結合と軌道
6. 分子の立体構造
7. 分子の立体構造
8. 分子の対称性
9. 結晶構造
10. イオン性固体
11. 酸と塩基1
12. 酸と塩基2
13. 酸化と還元1
14. 酸化と還元2
15. まとめ

各項目は授業回数と必ずしも対応してはいない。また、授業の進行度により、順不同となることがある。

教科書

参考文献　「基本無機化学」東京化学同人
「シュライバー無機化学上・下」東京化学同人
「酸と塩基」裳華房
「酸化と還元」裳華房
など。

評価方法　期末試験、レポート、小テスト、など。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機化学B		
科目キー	2803011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山口　正		

副題

授業概要　遷移元素およびその化合物の概論、各論を中心に述べる。特に、第一遷移系列金属錯体の諸性質、配位子場理論の基礎、各種反応、立体化学などについて詳述する。また、有機金属錯体についても述べる。

シラバス

1. 講義の概要，遷移元素各論
2. 遷移元素各論
3. 対称性，点群
4. 遷移金属錯体とは，錯体の構造
5. 錯体の命名法，異性体
6. 結晶場理論1
7. 結晶場理論2，配位子場理論
8. 中間試験および解説
9. 金属錯体の電子スペクトル
10. 金属錯体の磁性
11. 錯形成反応
12. 置換反応，電子移動反応
13. 有機金属錯体(18電子則)
14. 有機金属錯体(金属-炭素結合)
15. 有機金属錯体(反応)

教科書　教科書ではないが参考書として以下の書籍を推薦する
「基本無機化学」 荻野博他著〔東京化学同人〕
「詳説無機化学」 福田豊他編〔講談社サイエンティフィック〕
「無機化学」上下 シュライバー，アトキンス（東京化学同人）
「無機化学」上下 ミースラー，タール（丸善）

参考文献

評価方法　定期試験・中間試験・平常点・(出席，小テスト形式)より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学A		
科目キー	2803011003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中田　雅久		

副題

授業概要　有機化学を学ぶにあたり、有機化合物の構造と反応に関する知識を体系的に習得する。主としてOrganic Chemistry(J。McMurry著、最新版)の1−9章に相当する内容（有機化学とは何か？有機化学の重要性、有機化学の基礎、有機化合物の性質;アルカン類、アルカンとシクロアルカンの立体化学、有機反応の概観、アルケン、アルケンの合成と反応、アルキン、立体化学、共役化合物への付加反応）を講義する。有機化合物、官能基の分類、アルカン、アルケン、アルキンの命名法、構造、反応、立体化学、合成の講義が中心となる。

シラバス
第　1回（4月10日）オリエンテーション、有機化学の重要性
第　2回（4月17日）有機化学の基礎
第　3回（4月24日）有機化合物の性質:アルカン類
第　4回（5月　8日）アルカンとシクロアルカンの立体化学1
第　5回（5月15日）アルカンとシクロアルカンの立体化学2
第　6回（5月22日）有機反応の概観
第　7回（5月29日）アルケン
第　8回（6月　5日）アルケンの合成と反応1
第　9回（6月12日）コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回（6月19日）アルケンの合成と反応2
第11回（6月26日）アルキン
第12回（6月　3日）有機化合物の合成
第13回（7月10日）立体化学、共役化合物への付加反応
第14回（7月17日）レポートの解説
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　J. McMurry著、Organic　Chemistry　最新版（英語版を使用する）

参考文献

評価方法　レポートの内容、定期試験の結果を合わせて評価する

備考　レポートは添削して返却する。
最終回にレポートの解説をする。
追試、定期試験終了後のレポートによる評価等は行わない。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学B		
科目キー	2803011004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鹿又　宣弘		

副題

授業概要　本講義は、有機化学Aとあわせて有機化学の全体系を理解することを目的としており、ハロゲン化アルキル、共役ジエンと芳香族化合物、主に酸素官能基を持つ有機化合物を対象として、構造と性質・合成と反応性について学習する。各論としては、置換・脱離反応の機構、Diels-Alder反応、芳香族の求核置換と酸化還元、アルコールとフェノール、エーテル・エポキサイドおよびチオール、アルデヒドとケトンの順に解説する。McMurry著 Organic Chemistryの第10章から第19章を扱うが、構造決定手段としてのSpectroscopyの項目は除外する。

シラバス

第1回
ハロゲン化アルキルの合成、性質、および構造（1）

第2回
ハロゲン化アルキルの合成、性質、および構造（2）

第3回
ハロゲン化アルキルの反応：SN2およびSN1反応（1）

第4回
ハロゲン化アルキルの反応：SN2およびSN1反応（2）

第5回
ハロゲン化アルキルの反応：E1およびE2反応

第6回
共役ジエンの合成、性質、構造および安定性と反応性
親電子付加反応、Diels-Alder反応

第7回
ベンゼンの特異な性質：安定性と芳香族性

第8回
ベンゼンの反応化学：親電子置換反応（1）

第9回
ベンゼンの反応化学：親電子置換反応（2）
求核置換反応，酸化還元反応

第10回
アルコールとフェノール：合成、構造および電子的性質（1）

第11回
アルコールとフェノール：合成、構造および電子的性質（2）

第12回
エーテル、エポキサイドおよびチオールの合成、構造および反応性（1）

第13回
エーテル、エポキサイドおよびチオールの合成、構造および反応性（2）

第14回
アルデヒドとケトン：合成と構造および反応性（1）

第15回
アルデヒドとケトン：合成と構造および反応性（2）

教科書　Organic Chemistry （J. McMurry著）の最新版（原著）

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学B		
科目キー	2803011004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

参考文献

評価方法

1. 定期試験および課題(レポートまたは小テスト)で評価する.
2. 評価の割合は, 概ね定期試験80%, 課題20%とする.
3. 定期試験終了後の追試・課題による再評価は一切行わない.
4. 欠席は定期試験の成績から減点する. (出席による加点は行わない.)
   出席回数が3分の2に達しない場合は, 自動的にF評価とする.
5. 遅刻は欠席と同等に扱う.
6. Course N@viの活用状況により, 適宜加点する場合がある.

追記2009年9月30日

【評価の概要】
有機化学Bの評価は, 以下に説

備考　この授業は, Course N@vi を活用して進める.

関連URL:　http://academic.cengage.com/cengage/instructor.do?

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎化学A		
科目キー	2803011005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古川　行夫		

副題　高校から大学の化学へ

授業概要　現代社会のなかで科学技術が果たしている役割は大きく，科学技術なくして我々の生活を語ることはできない．ナノテクノロジーなど新しい科学技術を理解し発展させるためには，物理と化学の基礎を学ぶことが不可欠である．科学技術の基礎となる「物質」を扱うための学問が化学である．化学の専門分野（有機化学，物理化学，無機化学など）に進む基礎となる事柄について学ぶ．

シラバス

1. Introduction

2. Gases (Chapter 5)

3. 4. Thermochemistry (Chapter 6)

5. 6. The Quantum-Mechanical Model of the Atom (Chapter 7)

7. Periodic Properties of the Elements (Chapter 8)

8. Midterm Exam (Chapter 1-8)

9. Chemical Bonding I: Lewis Theory (Chapter 9)

10. Chemical Bonding II: Molecular Shapes, Valence Bond Theory, and Molecular Orbital Theory (Chapter 10)

11. 12. Liquids, Solids, and Intermolecular Forces (Chapter 11)

13. 14. Solutions (Chapter 12)

15. Final Exam (Chapter 1-12)

教科書　N. J. Tro, Chemistry – A Molecular Approach, Pearson/Prentice Hall, 2008.
Chapter 1-12

参考文献　小島和夫著，「かいせつ化学熱力学」培風館．
アトキンス著，「物理化学要論」，東京化学同人．

評価方法　Grades will be based on the cumulative scores of exams and participation points of on-line homeworks by MasteringChemistryTM.

備考　Yukio Furukawa
E-mail: furukawa@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎化学B		
科目キー	2803011006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石原　浩二		

副題　高校から大学の化学へ（2）

授業概要　大学の教養課程の化学の教科書は数多く出版されているが、頁数の制約のためか、それらを教養課程の学生が読んで容易に理解できると思われるものはそれほど多くない。
本講義では、高校の化学の内容を復習しつつ、大学の化学の基礎が学べるように平易に詳しく書かれたテキストを用いて、専門課程に進むための化学の基礎を学ぶ。

シラバス

1. Introduction

2. Rate Law (Chapter 13)

3. Reaction Mechanisms (Chapter 13)

4. Equilibrium Constant 1 (Chapter 14)

5. Equilibrium Constant 2 (Chapter 14)

6. Acids and Bases (Chapter 15)

7. Titrations, Buffers (Chapter 16)

8. Solubility Product (Chapter 16)

9. Chemical Thermodynamics 1 (Chapter 17)

10. Chemical Thermodynamics 2 (Chapter 17)

11. Chemical Thermodynamics 3 (Chapter 17)

12. Electrochemistry 1 (hapter 18)

13. Electrochemistry 2 (hapter 18)

14. Radioactivity (Chapter 19)

15. Final Exam (Chapter 13 – 19)

教科書　N. J. Tro, Chemistry – A Molecular Approach, Pearson/Prentice Hall, 2008.
Chapter 13-18

参考文献　アトキンス著,「物理化学」第6版 上・下, 東京化学同人, など

評価方法　基礎化学Aに準ずる。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命化学A		
科目キー	2803012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小出　隆規		

副題

授業概要　生命体は化学物質の集積体であり、生命活動は複雑な化学的な過程である、という視点から生命化学を講述する。

シラバス

1）細胞とは
2）細胞の化学成分（1）
3）細胞の化学成分（2）
4）エネルギー、触媒作用、生合成
5）タンパク質（1）
6）タンパク質（2）
7）中間試験
8）DNAと染色体
9）DNAの複製、修復、組換え
10）DNAからタンパク質へ
11）遺伝子発現の調節
12）遺伝子とゲノムの進化
13）遺伝子と細胞の操作（1）
14）遺伝子と細胞の操作（2）
15）最終試験

教科書　Alberts他（中村・松原　監訳）Essential細胞生物学（南江堂）

参考文献　Alberts他（中村・松原　監訳）細胞の分子生物学（Newton Press）は教科書であつかう内容をより詳細に記述したものである。

評価方法　中間および最終試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命化学B		
科目キー	2803012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	寺田　泰比古		

副題

授業概要　生命現象に関わる生体分子（タンパク質・酵素・糖・脂質・核酸など）の構造と物性、生体内における機能、生合成、また、ビタミン、化学メッセンジャーであるホルモン、神経伝達物質、薬物などの構造と物性、生体内における働きについて講義する。また、生物が生命を維持するために必要なエネルギー源とエネルギーの獲得、利用、生体内におけるエネルギー発生と吸収について講義し、タンパク質、炭水化物、脂質等の物質代謝を化学変化およびエネルギー変換の視点から講義する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学A		
科目キー	2803012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中井　浩巳		

副題　量子化学入門

授業概要　量子化学は、化学の諸問題を量子力学によって導入されたシュレディンガー方程式を解くことによって理解・説明・予言する学問である。本講義では、量子論の誕生、量子論の仮定と演算子の概念、簡単な系のシュレディンガー方程式の解法、といった量子力学の入門的内容をまず復習し、次に、原子構造論として、水素原子の波動関数と各種量子数の提示、多電子系に対するシュレディンガー方程式の近似的解法（変分法）の説明を行う。さらに、化学結合の理論として、原子価結合（VB）法と分子軌道（MO）法を解説する。

シラバス
(1)量子論の誕生、黒体輻射
(2)水素原子スペクトル、ボーア模型、ハイゼンベルグの不確定性原理
(3)シュレディンガー方程式
(4)箱の中の粒子、（トンネル効果）
(5)量子論の仮定、エルミーティアン、直交性
(6)交換関係、固有値問題、角運動量演算子
(7)球面座標、剛体回転子、角運動量の固有値、回転スペクトル
(8)水素原子、原子単位系
(9)変分法1（変分原理、水素原子）
(10)変分法2（ヘリウム）
(11)多電子原子、スピン、パウリの排他原理
(12)フント則、合成角運動量、スペクトル項
(13)化学結合、水素分子イオン、軌道相互作用
(14)Huckel分子軌道法1
(15)Huckel分子軌道法2

教科書　「アトキンス　物理化学（上）11,12,13,14章」千原ほか訳（東京化学同人）

参考文献　「マッカーリ・サイモン　物理化学（上）」千原ほか訳（東京化学同人）
「初等量子化学」大岩著（化学同人）

評価方法　定期試験・レポート・平常点

備考　【注意事項】
2004年度入学生以上には、旧カリキュラムの「量子化学A」（専門必修）に対応する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学B		
科目キー	2803012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	古川　行夫		

副題　物性化学

授業概要　反応，構造，物性は化学で学ぶ中心分野である．本講義では，それらの中で物性について解説する．分子集合体を形成する力である分子間相互作用，規則的な配列をもつ物質（結晶）の構造，振動状態，電子状態を記述する方法について学習する．物質が示す電気的，磁気的，光学的性質を知り，それらを電子構造に基づいて理解する．

シラバス

1．はじめに　物性の研究

2．結晶の構造

3．逆格子

4．X線回折

5．金属の自由電子

6．結晶中の電子　バンド理論

7．問題演習

8．基準振動

9．格子振動と熱的性質

10．金属の電気的性質

11．半導体

12．誘電体の電気的性質

13．分子間力

14．磁気的性質

15．問題演習

教科書　なし

参考文献　アトキンス物理化学，14，21，22章
キッテル「固体物理学入門」丸善

評価方法　定期試験

備考　担当教員古川連絡先
E-mail: furukawa@waseda.jp

関連URL:　http://www.chem.waseda.ac.jp/furukawa/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎化学演習		
科目キー	2803012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	遠藤　恒平		

副題

授業概要　″本科目では、1年次の必修科目「基礎化学A/B」に関連した演習を行う″

1. 計12回を予定.
2. 基礎化学(熱力学, 速度論など)を中心とした演習.
3. 専門課程への橋渡しという位置づけで, 化学系で頻度の高い物理化学の感性を専門課程へと引き継ぐ目的がある.
4. 難問は解かない. アトキンスをよく読む.

シラバス

1. 熱力学
気体の状態方程式から内部エネルギー, エンタルピー, エントロピーの関わる計算を解く.
複雑な計算問題ではなく, 独力で重要公式を導き, その意味を再認識する.

2. 反応速度論
化学反応の基礎を確認し, 問題を解く.

演習形式
　例題の解き方を説明後, 実際の演習. 次週に解答配布.

教科書　主にアトキンス物理化学(上)

参考文献

評価方法　毎週, 行う演習問題の中から, 二つを選んで答案を作成し, 次週の演習にて提出. 場合によっては, 提出課題を指定する.

独力で解くことに重点を置く.
最低限, 課題を提出することで単位を与える.

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学C		
科目キー	2803012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柴田　高範		

副題

授業概要　″有機化学A、Bに引き続き、McMurry ″″Organic Chemistry″を教科書として用い、第20章以降を担当する。項目は下記の通りであり、本講義終了時点で、有機化学の基礎的知識を全て修得したことになる。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　カルボン酸
第3回　カルボン酸誘導体と求核的アシル置換反応（1）
第4回　カルボン酸誘導体と求核的アシル置換反応（2）
第5回　理解度確認テストならびにその解説
第6回　カルボニル化合物のα置換反応（1）
第7回　カルボニル化合物のα置換反応（2）
第8回　カルボニル縮合反応
第9回　理解度確認テストならびにその解説
第10回　アミン（1）
第11回　アミン（2）
第12回　理解度確認テストならびにその解説
第13回　生体関連物質の概説
第14回　有機化学　最新トピック
第15回　学力考査および解説

教科書　McMurry ″″Organic Chemistry″

参考文献

評価方法　3回の理解度確認テスト、ならびに最終試験より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機分析化学実験		
科目キー	2803012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石原　浩二	山口　正	

副題

授業概要　本実験では、重量分析、容量分析、金属錯体の合成を行う。重量分析法は、目的成分を純粋に損失なく分離して、その質量を測定する分析法である。容量分析法は、試料溶液に濃度既知の溶液（標準溶液）を加え、反応に要する標準溶液の体積を測定して、試料溶液中の目的成分の濃度を求める分析法である。実験を通して、器具の正しい取り扱い方や試薬の正しい秤量法などの化学分析操作法の基礎を学ぶ。

シラバス

1. 実験ガイダンス・講義
2. 実験器具使用法
3. 硫酸カリウム中の硫酸根の定量(1)
4. 硫酸カリウム中の硫酸根の定量(2)
5. 中和滴定
6. ヨウ素滴定
7. 酸化還元滴定(1)
8. 酸化還元滴定(2)
9. 沈殿滴定
10. キレート滴定
11. ケイ12タングステン酸の合成(1)
    トリスエチレンジアミンコバルト(III)錯体の合成と光学分割(1)
12. ケイ12タングステン酸の合成(2)
    トリスエチレンジアミンコバルト(III)錯体の合成と光学分割(2)
13. トリスエチレンジアミンコバルト(III)錯体の合成と光学分割(3)
14. レポート内容に関する質疑応答
15. 試験および解説

教科書　「無機分析化学実験」早稲田大学理工学部 無機分析化学実験編集委員会 編
丸善株式会社

参考文献

評価方法　実験態度、レポート内容、試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学演習		
科目キー	2803012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	鹿又　宣弘	中田　雅久	柴田　高範

副題

授業概要　本科目では、1年前後期・2年前期設置科目：有機化学A、B、Cに関連した演習を行う。演習問題を解くことにより有機化学の基礎、および有機化学反応に対する理解を高め、有機電子論に基づく説明を自ら行う力を身に付けることを目的とする。

シラバス

第1回（10月　1日）　有機化合物の構造と物性（担当：中田 雅久）
第2回（10月　8日）　アルケン・アルキンの化学（1）（担当：中田 雅久）
第3回（10月15日）　アルケン・アルキンの化学（2）（担当：中田 雅久）
第4回（10月29日）　立体化学（担当：中田 雅久）
第5回（11月　5日）　第1-4回の理解度を確認するテストを行う。（担当：中田 雅久）
第6回（11月12日）　ハロゲン化アルキルの合成と求核置換・脱離反応（担当：鹿又　宣弘）
第7回（11月19日）　共役ジエンの反応と芳香族性・芳香族化合物の置換反応（担当：鹿又　宣弘）
第8回（11月26日）　アルコール・エーテルの合成と反応（担当：鹿又　宣弘）
第9回（12月　3日）　アルデヒド・ケトンの合成と官能基変換（担当：鹿又　宣弘）
第10回（12月10日）第6-9回の理解度を確認するテストを行う。（担当：鹿又　宣弘）

第11回（12月17日）　カルボン酸誘導体と求核的アシル置換反応（担当：柴田　高範）
第12回（1月　7日）　カルボニル化合物のα置換反応（担当：柴田　高範）
第13回（1月14日）　カルボニル縮合反応（担当：柴田　高範）
第14回（1月21日）　アミン、ペリ環状反応（担当：柴田　高範）
第15回（定期試験中）　第11-14回の理解度を確認するテストを行う。（担当：柴田　高範）

教科書　マクマリー第7版

参考文献

評価方法　各回の演習と、3回の「理解度を確認するテスト」の結果（出席、回答状況）より総合的に判断する

備考　遅刻すると受講できないので注意

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	機器分析実験		
科目キー	2803012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	石原　浩二	山口　正	

副題

授業概要　本実験では、吸光光度分析、電解分析、原子吸光分析、クロマト分析、発光分析、蛍光X線分析などの機器分析実験を行う。近年の分析は機器による分析が主流になっているが、ただマニュアルにしたがって機械的に操作するのではなく、装置の測定原理を十分理解し、適切な測定操作を行うことにより、正しい分析技術を体得する。また、光学活性な遷移金属錯体の合成も行い、機器分析によって生成物の確認を行う。

シラバス

1. 実験ガイダンス・講義
2. トリス(L-アラニナト)コバルトの合成(1)
3. トリス(L-アラニナト)コバルトの合成(2)
4. フタロシアニン銅の合成
5. 蛍光X線分析
6. X線回折分析
7. 原子吸光分析
8. レポート内容に関する質疑応答
9. ICP発光分析
10. GC・IC
11. 電解分析
12. 錯生成定数の測定
13. CDと磁化率の測定
14. レポート内容に関する質疑応答
15. 試験および解説

教科書　「無機分析化学実験」早稲田大学理工学部 無機分析化学実験編集委員会 編
丸善株式会社

参考文献

評価方法　実験態度、レポート内容、試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命化学実験		
科目キー	2803012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中尾　洋一 小出　隆規	中尾　洋一 寺田　泰比古	小出　隆規 寺田　泰比古

副題

授業概要　生命化学実験における基礎知識、基本操作、および実験器具、実験装置の取り扱いを習得し、研究室レベルの生命化学実験を実際に行うことによって、より高度な実験操作を身に付ける。また、実験毎のレポート提出により、生命化学を実験と結びつけてより深く学び、実験報告に関する要領を会得する。

シラバス

1. オリエンテーション
2. 基礎的実験手技講習
3. 遺伝子操作実験1：HisTag融合タンパク質発現ベクターの構築と形質転換
4. 遺伝子操作実験2：様々な手法を用いたHisTag融合タンパク質発現ベクターの確認と融合タンパク質発現の確認
5. 遺伝子操作実験3：DNAシーケンサーを用いた融合タンパク質発現ベクターの確認
6. 遺伝子操作実験4：レポートの作成と発表
7. タンパク質実験1：遺伝子組み換えタンパク質の発現と精製
8. タンパク質実験2：ウェスタンブロッティング
9. タンパク質実験3：肝細胞からの酵素の部分生成と反応速度解析
10. タンパク質実験4：レポートの作成と発表
11. 細胞生物学実験1：細胞の無菌操作を習得し、細胞に遺伝子導入を行い、遺伝子の発現を調べる
12. 細胞生物学実験2：動物細胞に遺伝子を導入し、GFP可視化技術を用いて細胞の中でタンパク質やオルガネラのダイナミクスを蛍光顕微鏡で観察する。RNAi（RNA干渉）を利用して培養細胞の特定の遺伝子をノックオフし、その表現kを調べる。
13. 細胞生物学実験3：RT-PCR（Reverse Transcription Polymerase Chain Reaction：逆転写ポリメラーゼ連鎖反応）
14. 細胞生物学実験4：レポートの作成と発表
15. 試験

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命化学実験		
科目キー	2803012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中尾　洋一 小出　隆規	中尾　洋一 寺田　泰比古	小出　隆規 寺田　泰比古

副題

授業概要　生命化学実験における基礎知識、基本操作、および実験器具、実験装置の取り扱いを習得し、研究室レベルの生命化学実験を実際に行うことによって、より高度な実験操作を身に付ける。また、実験毎のレポート提出により、生命化学を実験と結びつけてより深く学び、実験報告に関する要領を会得する。

シラバス

1. オリエンテーション
2. 基礎的実験手技講習
3. 遺伝子操作実験1：HisTag融合タンパク質発現ベクターの構築と形質転換
4. 遺伝子操作実験2：様々な手法を用いたHisTag融合タンパク質発現ベクターの確認と融合タンパク質発現の確認
5. 遺伝子操作実験3：DNAシーケンサーを用いた融合タンパク質発現ベクターの確認
6. 遺伝子操作実験4：レポートの作成と発表
7. タンパク質実験1：遺伝子組み換えタンパク質の発現と精製
8. タンパク質実験2：ウェスタンブロッティング
9. タンパク質実験3：肝細胞からの酵素の部分生成と反応速度解析
10. タンパク質実験4：レポートの作成と発表
11. 細胞生物学実験1：細胞の無菌操作を習得し、細胞に遺伝子導入を行い、遺伝子の発現を調べる
12. 細胞生物学実験2：動物細胞に遺伝子を導入し、GFP可視化技術を用いて細胞の中でタンパク質やオルガネラのダイナミクスを蛍光顕微鏡で観察する。RNAi（RNA干渉）を利用して培養細胞の特定の遺伝子をノックオフし、その表現kを調べる。
13. 細胞生物学実験3：RT-PCR（Reverse Transcription Polymerase Chain Reaction：逆転写ポリメラーゼ連鎖反応）
14. 細胞生物学実験4：レポートの作成と発表
15. 試験

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分析化学概論		
科目キー	2803012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宮村　一夫		

副題

授業概要　″分析化学に共通な検量線、誤差、感度、精度、検出限界などの概念を理解する。また、代表的機器分析法である蛍光X線分析、原子吸光分析、ICP発光分析、炎光分析、高速液体クロマトグラフィーなどの方法の原理を理解する。
これらの授業を通して、化学科2年生の「無機・分析実験」の内容を解説することにより、実験の理解をより一層深くする
″

シラバス

1回目　分析化学総論
　分析と合成、定性と定量、状態分析、分析の流れ
2回目　試料採取法と試料調製法
　サンプリングの基礎、試料調製の基本
3回目　試料調製法
　酸と塩基、溶媒、蛍光試薬と呈色試薬、標準試料
4回目　分離分析（1）
　沈殿分離と重量分析、金属イオンの系統分析法
5回目　分離分析（2）
　溶媒抽出
6回目　分離分析（3）
　クロマトグラフィー
7回目　分離分析（4）
　電気泳動、電気分解
8回目　中間試験

9回目　中間試験の解説とデータ処理
　誤差論、データ解析法
10回目　電気化学分析
　アンペロメトリー、ボルタンメトリー、ポーラログラフィー
11回目　分光分析（1）
　ブーゲ・ランバート・ベールの法則、光と物質の相互作用、光の分類
12回目　分光分析（2）
　メスバウアー分光、X線吸収分析、蛍光X線分析、X線光電子分光
13回目　分光分析（3）
　原子吸光、原子発光、紫外・可視吸光、蛍光分光
14回目　分光分析（4）
　赤外吸収、ラマン分光、核磁気共鳴法
15回目　期末試験

教科書

参考文献

評価方法　講義中に実施する一回の中間試験の結果を参考に期末試験の結果にて評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学C		
科目キー	2803013001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	井村　考平		

副題

授業概要　物質を構成する原子，分子は，固有のエネルギー構造をもち，光との相互作用により光を吸収，散乱，発光する。これらの光学過程は，分子の構造や配列，またそのエネルギー構造と深い関わりがある。分子分光学は，物質の光学特性を，分子レベルで明らかにする学問である。本講義では，分子分光学の入門的，基礎的内容について解説する。

シラバス　授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回

第　1回(4月　6日)オリエンテーション
第　2回(4月13日)序論，実験技術
第　3回(4月20日)分子の回転スペクトル1
第　4回(4月27日)分子の回転スペクトル2
第　5回(5月11日)分子の振動スペクトル1
第　6回(5月18日)分子の振動スペクトル2
第　7回(5月25日)分子の対称性と群論1
第　8回(6月　1日)分子の対称性と群論2
第　9回(6月　8日)分子の対称性と群論3(振動分光への応用)
第10回(6月15日)分子の対称性と群論4(分子軌道への応用)
第11回(6月22日)電子スペクトル
第12回(6月29日)光電子分光法，レーザーと光科学研究への応用
第13回(7月　6日)核磁気共鳴(NMRとESR)
第14回(7月13日)核磁気共鳴についてのレポート(フーリエ変換NMR、スピン緩和，スピンエコー，相関分光法)
第15回(日程別途指示)学力考査

教科書　アトキンス「物理化学」15，16，17，18章

参考文献　バーロー「物理化学」
中崎昌雄，分子の対称と群論

評価方法　定期試験，レポート，平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学演習		
科目キー	2803013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	今村　穣		

副題

授業概要　物理化学A、物理化学B、物理化学Cに関する演習を行う。

シラバス　第1-4回は、物理化学A、第5-8回は、物理化学B 、第9-12回は、物理化学Cに関して授業を行う。最後の第13,14回は、物理化学の総合演習を行う。授業の構成としては、最初に演習問題に関連する講義を行い、続けて演習を行う。

教科書

参考文献　物理化学A、物理化学B、物理化学Cの授業で用いられた教科書及び授業ノート

評価方法　平常点、レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学実験		
科目キー	2803013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鹿又　宣弘 中田　雅久	鹿又　宣弘 柴田　高範	中田　雅久 柴田　高範

副題

授業概要　有機化学実験における基礎知識、基本操作、および実験器具、実験装置の取り扱いを習得し、研究室レベルの有機化学実験を実際に行うことによって、より高度な実験操作を身に付ける。また、実験毎のレポート提出により、有機化学を実験と結びつけてより深く学び、実験報告に関する要領を会得する。課題として文献検索、スペクトルデータの解析を自分で行うことで情報収集、有機化合物の構造解析に関する基礎知識も身に付ける。

シラバス　＊全回について、山本浩之／鹿又　宣弘／柴田　高範／中田　雅久　が担当する。
＊幾つかのグループに分け、2人1組で実験を行うため、全員が同一項目の実験をするとは限らない。

第　1回(4月　6日)ガイダンス
第　2回(4月　7日)基本操作1
第　3回(4月13日)基本操作2
第　4回(4月14日)避難訓練・前半実験講義
第　5回(4月20日)アントロンの合成1
第　6回(4月21日)アントロンの合成2
第　7回(4月27日)ニトロフェノールの合成1
第　8回(4月28日)ニトロフェノールの合成2／光学活性化合物の合成1
第　9回(5月11日)光学活性化合物の合成2
第10回(5月12日)アセトフェノンの合成1／ベンゾピナコールの合成1
第11回(5月18日)アセトフェノンの合成2／ベンゾピナコールの合成2
第12回(5月19日)光学活性化合物の合成1
第13回(5月25日)光学活性化合物の合成2
第14回(5月26日)後半実験講義
第15回(6月　1日)Beilstein・Chemical Abstracts の検索
第16回(6月　2日)ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成1
／NMRスペクトルの帰属1
第17回(6月　8日)ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成2
第18回(6月　9日)ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成3
第19回(6月15日)ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成4
第20回(6月16日)ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成5
第21回(6月22日)ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成6
第22回(6月23日)(±)-4-tert-butyl-2-methylcyclohexanone の合成と
分子力場計算1
第23回(6月29日)Grignard 試薬の調製と付加反応／cross coupling 反応1
第24回(6月30日)Grignard 試薬の調製と付加反応／cross coupling 反応2
第25回(7月　6日)(±)-4-tert-butyl-2-methylcyclohexanone の合成と
分子力場計算1
第26回(7月　7日)シクロペンタジエンと無水マレイン酸のDiels-Alder 反応1
第27回(7月13日)NMRスペクトルの帰属2
第28回(7月14日)シクロペンタジエンと無水マレイン酸のDiels-Alder 反応2
第29回(日程別途指示)レポートの提出による授業理解の確認を行う
第30回(日程別途指示)レポートの提出による授業理解の確認を行う

教科書　ガイダンス時にテキスト配布

参考文献

評価方法　出席、レポート、試問
＊4/6ガイダンスから適用

備考　ガイダンス時に実験履修上の諸注意をするので、かならず出席すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学実験		
科目キー	2803013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学実験		
科目キー	2803013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鹿又　宣弘 中田　雅久	鹿又　宣弘 柴田　高範	中田　雅久 柴田　高範

副題

授業概要　有機化学実験における基礎知識、基本操作、および実験器具、実験装置の取り扱いを習得し、研究室レベルの有機化学実験を実際に行うことによって、より高度な実験操作を身に付ける。また、実験毎のレポート提出により、有機化学を実験と結びつけてより深く学び、実験報告に関する要領を会得する。課題として文献検索、スペクトルデータの解析を自分で行うことで情報収集、有機化合物の構造解析に関する基礎知識も身に付ける。

シラバス　＊全回について、山本浩之／鹿又　宣弘／柴田　高範／中田　雅久　が担当する。
＊幾つかのグループに分け、2人1組で実験を行うため、全員が同一項目の実験をするとは限らない。

第　1回（4月　6日）ガイダンス
第　2回（4月　7日）基本操作1
第　3回（4月13日）基本操作2
第　4回（4月14日）避難訓練・前半実験講義
第　5回（4月20日）アントロンの合成1
第　6回（4月21日）アントロンの合成2
第　7回（4月27日）ニトロフェノールの合成1
第　8回（4月28日）ニトロフェノールの合成2／光学活性化合物の合成1
第　9回（5月11日）光学活性化合物の合成2
第10回（5月12日）アセトフェノンの合成1／ベンゾピナコールの合成1
第11回（5月18日）アセトフェノンの合成2／ベンゾピナコールの合成2
第12回（5月19日）光学活性化合物の合成1
第13回（5月25日）光学活性化合物の合成2
第14回（5月26日）後半実験講義
第15回（6月　1日）Beilstein・Chemical Abstracts の検索
第16回（6月　2日）ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成1
／NMRスペクトルの帰属1
第17回（6月　8日）ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成2
第18回（6月　9日）ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成3
第19回（6月15日）ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成4
第20回（6月16日）ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成5
第21回（6月22日）ペニシリンの環拡大反応によるセファロスポリンの合成6
第22回（6月23日）（±）-4-tert-butyl-2-methylcyclohexanone の合成と
分子力場計算1
第23回（6月29日）Grignard 試薬の調製と付加反応／cross coupling 反応1
第24回（6月30日）Grignard 試薬の調製と付加反応／cross coupling 反応2
第25回（7月　6日）（±）-4-tert-butyl-2-methylcyclohexanone の合成と
分子力場計算1
第26回（7月　7日）シクロペンタジエンと無水マレイン酸のDiels-Alder 反応1
第27回（7月13日）NMRスペクトルの帰属2
第28回（7月14日）シクロペンタジエンと無水マレイン酸のDiels-Alder 反応2
第29回（日程別途指示）レポートの提出による授業理解の確認を行う
第30回（日程別途指示）レポートの提出による授業理解の確認を行う

教科書　ガイダンス時にテキスト配布

参考文献

評価方法　出席、レポート、試問
＊4/6ガイダンスから適用

備考　ガイダンス時に実験履修上の諸注意をするので、かならず出席すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学実験		
科目キー	2803013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鹿又　宣弘 中田　雅久	鹿又　宣弘 柴田　高範	中田　雅久 柴田　高範

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学実験		
科目キー	2803013004		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	古川　行夫 中井　浩巳	古川　行夫 井村　考平	中井　浩巳 井村　考平

副題

授業概要　物理化学の基礎として重要な課題を取り上げて，実際に実験を行いデータを取得し，得られたデータを解析・考察してレポートをまとめる．このような過程を通して，物理化学の実験法の取得，まとめ方，さらに，発表・討論の仕方を修得することを目的とする．

シラバス

第1回（9月25日）実験ガイダンス（予定）
第2回（10月5日）UV
第3回（10月6日）UV
第4回（10月12日）NMR
第5回（10月13日）NMR
第6回（10月19日）X線回折
第7回（10月20日）X線回折
第8回（10月26日）計算機実験
第9回（10月27日）計算機実験
第10回（11月2日）口頭発表ガイダンス
第11回（11月9日）平衡定数
第12回（11月10日）平衡定数
第13回（11月16日）液体誘電率
第14回（11月17日）液体誘電率
第15回（11月23日）蛍光
第16回（11月24日）蛍光
第17回（11月30日）示差熱分析
第18回（12月1日）示差熱分析
第19回（12月7日）IR
第20回（12月8日）IR
第21回（12月14日）口頭発表
第22回（12月15日）口頭発表

教科書　物理化学実験指導書

参考文献

評価方法　出席，レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学実験		
科目キー	2803013004		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	古川　行夫 中井　浩巳	古川　行夫 井村　考平	中井　浩巳 井村　考平

副題

授業概要　物理化学の基礎として重要な課題を取り上げて，実際に実験を行いデータを取得し，得られたデータを解析・考察してレポートをまとめる．このような過程を通して，物理化学の実験法の取得，まとめ方，さらに，発表・討論の仕方を修得することを目的とする．

シラバス

第1回（9月25日）実験ガイダンス（予定）
第2回（10月5日）UV
第3回（10月6日）UV
第4回（10月12日）NMR
第5回（10月13日）NMR
第6回（10月19日）X線回折
第7回（10月20日）X線回折
第8回（10月26日）計算機実験
第9回（10月27日）計算機実験
第10回（11月2日）口頭発表ガイダンス
第11回（11月9日）平衡定数
第12回（11月10日）平衡定数
第13回（11月16日）液体誘電率
第14回（11月17日）液体誘電率
第15回（11月23日）蛍光
第16回（11月24日）蛍光
第17回（11月30日）示差熱分析
第18回（12月1日）示差熱分析
第19回（12月7日）IR
第20回（12月8日）IR
第21回（12月14日）口頭発表
第22回（12月15日）口頭発表

教科書　物理化学実験指導書

参考文献

評価方法　出席，レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命化学C		
科目キー	2803013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中尾　洋一		

副題

授業概要　細胞の分子生物学を教科書とした生命化学シリーズの第3シリーズ。これまで学んだことを基本に化学的な視点を含めて、膜、エネルギー変換、組織、がん、免疫について学ぶ。

シラバス

1. 膜の構造
2. 小分子の膜輸送と膜の電気的性質1
3. 小分子の膜輸送と膜の電気的性質2
4. エネルギー変換—ミトコンドリアと葉緑体1
5. エネルギー変換—ミトコンドリアと葉緑体2
6. エネルギー変換—ミトコンドリアと葉緑体3
7. 組織の形成—組織を作る細胞の生と死1
8. 組織の形成—組織を作る細胞の生と死2
9. 組織の形成—組織を作る細胞の生と死3
10. がん1
11. がん2
12. がん3
13. 適応免疫1
14. 適応免疫2
15. 試験と解説

教科書　細胞の分子生物学　第4版 （Newton Press）

参考文献　Essential 細胞生物学 （南江堂）
マクマリー・生物有機化学 （丸善）

評価方法　筆記試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学I		
科目キー	2803021001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	酒井　清孝	山本　健一郎	

副題

授業概要　エンジニアリングを身に付けた化学技術者を育てるのに化学工学という学問が有用である。化学工学は化学に関連する問題を解決するのに用いられる物理化学的手法を提供する学問で、装置間の関連性や制御性など、プロセス全体を考えるsystem approachを得意とする。その基礎になっているのが収支、平衡、速度の概念である。化学工学総論では、エンジニアリングの重要性を示し、化学工学がどのような学問であるか、化学工学でどういうことを学べるか、実社会との接点は何かなどについて、身近な話題を通して講述する。この身近な話題に化学工学がどの様に役に立ち、どの様に使われているかを理解し、例題、問題を通して計算能力を身につける訓練をしながら、化学工学の基礎概念（収支、速度、平衡など）の重要性を学ぶ。本講義は応用化学基礎演習IIと連動して講義を行う。

シラバス
（1）化学工学とは何ぞや？１
（2）化学工学とは何ぞや？２
（3）化学工学の基礎概念１
（4）化学工学の基礎概念２
（5）流動１
（6）流動２
（7）熱移動１
（8）熱移動２
（9）物質移動１
（10）物質移動２
（11）膜分離１
（12）膜分離２
（13）吸着
（14）医用化学工学１
（15）医用化学工学２

教科書　酒井清孝編著、21世紀の化学シリーズ14、化学工学、朝倉書店、2005

参考文献　吉田文武・酒井清孝：化学工学と人工臓器、第2版6刷、共立出版、2006

評価方法　クイズ・出欠・定期試験を重視

備考

関連URL:　http://www.waseda.jp/sem-sakai/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学II		
科目キー	2803022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	平沢 泉	小堀 深	

副題

授業概要　本講義では反応工学を扱う。工業的に用いられている多くの反応装置内で起こる流動、物質移動、伝熱といった現象を数学的に解き、反応装置の至適設計を修得する。実社会の反応装置では総括反応速度が化学反応速度に等しくない場合が多々ある。このとき、化学工学的手法により、適切な運転操作や装置設計を行えるよう、理解を深める。本講では反応機構および反応速度によって反応系の特性を解析し、物質および熱の移動速度論を使い、各種反応装置の操作特性と設計法について講述する。応用化学基礎演習IVと連動して講義を行う。

シラバス
第　1回　オリエンテーション（担当：小堀）
第　2回　反応工学の意義：化学工学と工業化学の架け橋、化学反応に物理現象を考慮する（担当：小堀）
第　3回　化学反応と反応装置：化学反応の分類、反応装置の分類（担当：小堀）
第　4回　反応速度式：反応速度の定義、反応次数、反応速度定数、反応速度の温度依存性（担当：小堀）
第　5回　反応器設計の基礎式：量論関係、空間時間、空間速度、平均滞留時間（担当：小堀）
第　6回　反応速度解析法：積分法、微分法（担当：小堀）
第　7回　具体的な反応装置設計：代数的解法、図解法、数値解法（担当：小堀）
第　8回　回分反応器の設計基本式（担当：小堀）
第　9回　連続槽型反応器の設計基本式（担当：小堀）
第10回　管型反応器の設計基本式（担当：小堀）
第11回　連続槽型反応器の直列接続と管型反応器の類似性（担当：小堀）
第12回　不均一反応：不均一反応の概念、律速段階（担当：小堀）
第13回　拡散と反応が逐次的に起こる場合：生体肺における酸素移動の解析（担当：小堀）
第14回　拡散と反応が同時に起こる場合：ミジンコの飼いかた（担当：小堀）
第15回　学力考査および解説（担当：小堀）

教科書　酒井清孝ほか：21世紀の化学シリーズ14 "化学工学"、朝倉書店

参考文献　橋本健治：改訂版"反応工学"、培風館

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	反応有機化学		
科目キー	2803022002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柴田　高範		

副題

授業概要　″数多く報告されている有機合成反応をより深く理解し、その応用性、一般性について把握するためには、その反応機構をなるべく少数に類型化し、それらを“感覚的″″に身につけることが、最も有効な方法である。
本講義では、反応性中間体の構造、生成法、反応性(特にその立体化学)について下記の項目ごとに講義する。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　カルボアニオン(1)
第3回　カルボアニオン(2)
第4回　アート錯体
第5回　理解度確認テストならびにその解説
第6回　カルボカチオン(1)
第7回　カルボカチオン(2)
第8回　カルボカチオン(3)
第9回　理解度確認テストならびにその解説
第10回　カルボラジカル(1)
第11回　カルボラジカル(2)
第12回　カルベン
第13回　理解度確認テストならびにその解説
第14回　遷移金属を用いた合成反応
第15回　学力考査および解説

教科書　Organic Chemistry by Nick Greeves, Stuart Warren, Peter Wothers, Jonathan Clayden (ISDN 0-19-850346-6)

参考文献

評価方法　3回の理解度確認テスト、ならびに最終試験より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学統計力学		
科目キー	2803022003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	落合　萌		

副題

授業概要　巨視的な自然現象、たとえば熱力学の対象となるような物質の状態変化を原子・分子の世界の尺度の、つまり微視的な現象から導こうとするのが物性論であり、その数学的手法が統計力学である。微視的スケールに降り下るときまず熱運動に基づくゆらぎがみえてくる。このゆらぎの不規則性からその扱いが確率的・統計的なものになることが分かる。本講議に用いる数学的手法や近似法は物性論の範囲を越えて広く自然科学のあらゆる分野で役立つはずである。豊富な例題を通して、統計力学の正体を知り、その応用を学ぶ。

シラバス　熱力学では物質が熱平衡状態あるいは局所について熱平衡状態とみなせる系を扱う。たとえ巨視的なサイズであろうともゆらぎを無視するところに成立している。これに対して統計力学はゆらぎを含む自然現象を扱う。統計力学はゆらぎを調べる学問である。ゆらぎの不規則性はその扱いに統計的な処理を必要とすることを示唆する。不規則性が現われるのは系が非常に多くの原子・分子から成り立っていることに起因する：つまり、原子・分子の力学的運動は、3体問題がいまだ解決していないいま、数学的に厳密に解くことはできない。このような多体問題の困難を回避するために確率論、統計学を援用したところに統計力学がうまれたといってもよかろう。いいかえれば、統計力学は非常に自由度の大きい多体系の力学である。

統計力学は系の微視的模型と系の微視的運動を定める基本法則を仮定して系の巨視的性質を予測する。それが自然界にみられる現象と矛盾しないことをもって意味のある理論となる。

統計力学はその発展の経緯からいくつかの異なった理論体系をもつ。それぞれが適用限界を持ち、扱う対象となる自然現象に応じて使い分けられる。したがって、その手法も異なる。

確率・統計の考え方に慣れるためにも、まず、

1　ボルツマン・プランクの方法　を入門に選ぼう。これは複合数の方法とも呼ばれ、もともと理想気体を扱うのに都合が良い方法であった。

a　複合数と熱平衡分布
b　μ空間とエネルギー準位
c　ちょっとした量子力学の話し
d　ラグランジュの未定係数法
e　N→∞　は実験結果の再現性を保証する。
f　ex.1　理想気体
g　ex.2 固体のアインシュタイン模型

2　分配関数の方法　これは応用の広い手法である。

a　μ空間と「空間
b　統計集団、カノニカル集団
c　状態密度
d　カノニカル分布
e　ex.1　自由エネルギー、エントロピー、各種熱力学的関数の導出
f　ex.2　磁性体のIsing 模型
g　閉じた系、開いた系
h　グランドカノニカル集団

確率・統計の基礎知識に乏しい受講生にも興味が持てる講議にまとめたい。

教科書　指定しない

参考文献　必要な場合教場で紹介する

評価方法　定期試験　AND/OR 教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学統計力学		
科目キー	2803022003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B（化学）		
科目キー	2803022005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	吉川　昭		

副題

授業概要　「物質中の電磁気学」を扱う。物質に電場を加えると、物質中の電荷は電場から力を受け、電荷が自由に動き回れる場合には電流を生じ（電気伝導性）、電荷が束縛されていれば、正負の電荷の位置が僅かにずれて分極を生じる（誘電性）。磁場をかければ原子・分子のもつ磁気双極子の方向が揃い物質は磁気を帯びる（磁性）。このように、物質は電磁場の作用に対して多彩に応答し、応用上有用な様々な性質を生み出す。
本講義では、既に学んだ真空中の電磁気学を基礎として、物質中の電場、磁場がどのように記述され、どのような法則に従うか、電気伝導性、誘電性、磁性などの物質の電磁気的性質が、電磁気学の立場からどのように理解されるかを学ぶ。抽象的な説明のみになることを避けるため、必要に応じて代表的な物質を取り上げて議論する。理解を深め応用力を身につけるため、演習問題を宿題として適宜課す。前期の電磁気学A「真空中の電磁気学」と併せれば、使う立場から必要な電磁気学の内容は、ひととおりカバーされる。

シラバス

第　1回（　9月30日）　オリエンテーション、真空中の電磁気学の復習
第　2回（10月　7日）　導体と電流（電気伝導の基礎的事項、起電力、電気回路）
第　3回（10月14日）　導体と電流（導体中の電流分布、電気伝導の電子論、金属・半導体の電気伝導）
第　4回（10月28日）　物質中の電場と誘電体（電気分極と電気変位ベクトル、誘電率）
第　5回（11月　4日）　物質中の電場と誘電体（誘電体の内外の電場、物質の境界での電場の接続性、静電エネルギー）
第　6回（11月11日）　物質中の電場と誘電体（誘電体の内部電場、誘電率の分子論）
第　7回（11月18日）　物質中の電場と誘電体（誘電体の興味ある性質と応用）
第　8回（11月25日）　物質中の磁場と磁性体（磁性体の種類、磁化と磁場）
第　9回（12月　2日）　中間試験
第10回（12月　9日）　物質中の磁場と磁性体（磁化率と透磁率、磁性体が存在する場合の磁場）
第11回（12月16日）　物質中の磁場と磁性体（磁位、磁性体の境界での磁場の接続条件、磁場中の磁性体の受ける力）
第12回（　1月　6日）　物質中の磁場と磁性体（磁化の微視的機構、磁性体の興味ある性質と応用）
第13回（　1月13日）　変動する電磁場と物質（物質中のマックスウェルの方程式、誘電分散と複素誘電率）
第14回（　1月20日）　変動する電磁場と物質（電磁波の反射と透過、導体と電磁波）
第15回（日程別途指示）　学力考査および解説（定期試験）

教科書　特に定めない。

参考文献　パーセル著（飯田修一監訳）「電磁気　上、下」丸善
上江洲由晃著「電磁気学」産業図書
長岡洋介著「電磁気学1、2」岩波書店、他

評価方法　定期試験、中間試験、レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	放射化学		
科目キー	2803022006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	藥袋　佳孝		

副題

授業概要　放射壊変の現象や核力に関する知識，核エネルギー利用，理工学・医療分野における放射性物質・放射線の利用などは，人類が20世紀初頭に初めて見出し，約100年をかけて理解し，研究・利用開発してきた貴重な財産である．人類は自然界の力の一つである核力をますます上手に利用していかなければいけないが，そのためには物質を扱う化学者の役割が一番大切になる．この授業では，放射壊変・放射線などについて化学者が知っておくべき基礎的な事項を講義する．

シラバス
(1)ガイダンス
(2)原子・原子核・元素・核種
(3)原子核の安定性・安定核種・放射性核種
(4)放射壊変の形式(α壊変・β壊変・γ遷移・自発核分裂など)
(5)放射壊変の法則・放射能・半減期・天然放射性核種
(6)核構造・核反応・原子核の合成・加速器
(7)放射線と物質との相互作用・放射線化学・放射線の生体影響
(8)放射線計測
(9)放射化学分離
(10)核的手法(トレーサー技術・放射化分析・PETなど)
(11)核現象をプローブとする化学(ホットアトム化学・メスバウアー分光・ポジトロン消滅・中間子化学など)
(12アクチニド化学・超アクチニド化学
(13)原子炉と核燃料サイクル
(14)環境放射能
(15)年代測定・放射性核種の利用

教科書　パワーポイントで作成した資料を配布して授業を進める．以下の教科書を参考書として推薦する．
「放射化学概論[第2版]」富永健・佐野博敏(東京大学出版会)
「放射化学」ショパン他(柴田誠一他訳)(丸善)
「現代放射化学」海老原充(化学同人)

参考文献　放射化学に関連した領域の参考書として以下を推薦する．その他，随時，授業中に紹介する．
「放射線・アイソトープ—講義と実習—」日本アイソトープ協会(丸善)
「原子核物理学」八木浩輔(朝倉書店)

評価方法　期末試験により評価する．

備考　1-2年の化学と物理の基礎科目を履修していることが望ましい．

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	振動と波動		
科目キー	2803022007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	勝藤　拓郎		

副題

授業概要　昨年学んだ力学C,基礎電磁気学に引き続き、振動、波動を中心に学ぶ。振動、波動は、物理学において基本的な現象であり、化学の分野においても、分子振動、光と物質の相互作用等あらゆるところに顔を出す。したがってこれを学んでおくことは、今後の専門の勉強のために有用である。授業の最後には、物質中の電磁場についても触れる。

シラバス
第1回(4/7)： 単振動の復習
第2回(4/14)： 連成振動とモード
第3回(4/21)： 多自由度の振動と分散関係
第4回(4/28)： 連続体の振動と
第5回(5/12)： 波動方程式
第6回(5/19)： フーリエ級数
第7回(5/25)： 進行波とフーリエ級数
第8回(6/2)： 波束
第9回(6/9)： 微分形のマックスウェルの方程式
第10回(6/16)： 電磁波
第11回(6/23)： 物質中の電場
第12回(6/30)： 物質中の磁場と電磁波
第13回(7/7)： 誘電率のミクロなモデル
第14回(7/14)： 3次元の波
第15回(日程は別途指示)： 学力考査および解説

教科書　教科書ではないが、参考書として「振動・波動」 小形正男 裳華房テキストシリーズ　を推薦する。

参考文献

評価方法　定期試験、レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	金属錯体化学		
科目キー	2803023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	山口　正		

副題

授業概要　典型的金属錯体の構造と電子スペクトルや磁性などの物理化学的性質との関係を理解する。そのために必要な配位子場理論の基礎を学ぶ。さらに金属錯体の構造や電子状態について研究を行う上で用いられる分光法，分析法，測定手法のうち特に重要なものについて概説するとともに金属錯体化学の研究にどのように利用されているかに的を絞って講義を行う。

シラバス

1. 講義の概要，電子スペクトルの復習
2. 電子スペクトル（スペクトル項）
3. 錯体の電子スペクトル（配位子場理論）
4. 錯体の電子スペクトル（田辺菅野図）
5. 金属錯体の振動スペクトル（赤外吸収）
6. 金属錯体の振動スペクトル（ラマン散乱）
7. 金属錯体のNMR(1H NMR)
8. 金属錯体のNMR(常磁性錯体のNMR)
9. 金属錯体のNMR(他核NMR)
10. 中間試験および解説
11. 金属錯体のESR(1)
12. 金属錯体のESR(2)
13. 金属錯体の電気化学
14. 金属錯体の光化学
15. トピックス

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・中間試験・平常点より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機固体化学		
科目キー	2803023002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	下井　守		

副題

授業概要　無機化学では、有機化学と異なり、分子よりバルクの固体、特に結晶で物質をとらえなくてはならない場合が多い。この講義では固体化学に重点をおいて無機物質の構造と性質について議論していく。結晶について学ぶ上で欠かせない対称性（点群と空間群）やX線結晶解析法についても、基礎を学ぶ。

シラバス
第 1回（ 9月29日） 分子の対称性と点群(1)
第 2回（10月06日） 分子の対称性と点群(2)
第 3回（10月13日） 分子の対称性と点群—演習
第 4回（10月20日） 結晶の対称性と空間群
第 5回（10月27日） 代表的な無機物質の結晶構造
第 6回（11月10日） イオン結晶の格子エネルギー
第 7回（11月17日） 結晶構造と物質の性質
第 8回（11月24日） X線の発生と性質
第 9回（12月 1日） 結晶によるX線の回折
第10回（12月 8日） 結晶解析(1)
第11回（12月15日） 結晶解析(2)
第12回（12月22日） 結晶解析(3)
第13回（ 1月12日） 結晶解析の応用（絶対配置、電子密度など）
第14回（ 1月19日） 固体表面の構造解析
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書

参考文献
大橋裕二：X線結晶構造解析　裳華房(2005)
大場茂、矢野重信：X線構造解析　朝倉書店(1999)
L. Smart, E. Moore著、川本邦仁、平尾一之訳: 入門固体化学　化学同人(1996)
その他、授業で指示する

評価方法　定期試験および平常点（レポートなど）により、成績評価をする。

備考　E-mailアドレス
cshimoi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計算化学		
科目キー	2803023003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鈴木　一成		

副題

授業概要

計算化学の創始者の一人であるPaul v. R. Schleyerは、計算化学を次のように定義しています。"Computational chemistry is the modeling of all aspects of chemistry by computation rather than experiment."

このように、計算化学は、その性質、方法において実験・理論と異なる第三の新しいカテゴリーの学問分野です。

理論手法の目ざましい発展とコンピュータの能力の飛躍的進歩により、複雑な分子の性質や化学反応を高い信頼度で理論的に予測することができるようになってきました。

この授業では、(1)計算化学を研究するために必要とされるコンピュータに関する知識および(2)分子の性質や化学反応を量子力学・統計力学の原理に基づいて計算する方法を、代表的な計算化学パッケージ(ソフトウェア)を使用して、実習形式でその基礎を学びます。

シラバス

第　1回(　9月24日)オリエンテーション
第　2回(10月　1日)計算化学を研究するために必要とされるコンピュータに関する知識(コンピュータサイエンス、コンピュータグラフィックス、並列分散処理およびグリッドコンピューティング、量子コンピュータ)
第　3回(10月　8日)数値解析の基礎知識
第　4回(10月15日)量子力学・統計力学の基礎概念
第　5回(10月29日)Hartree-Fock近似(Born-Oppenheimer近似、反対称性原理、Slater行列式、独立粒子近似、変分原理、基底関数、Koopmansの定理)
第　6回(11月　5日)電子相関(動的電子相関、静的電子相関)
第　7回(11月12日)密度汎関数法(Hohenberg-Kohn定理、Kohn-Sham方程式、交換相関汎関数)
第　8回(11月19日)バンド理論(Blochの定理)
第　9回(11月26日)理論計算による分子の形と化学反応の予測(その1)(ポテンシャルエネルギー曲面、平衡構造)
第10回(12月　3日)理論計算による分子の形と化学反応の予測(その2)(遷移状態、基準座標、固有反応座標)
第11回(12月10日)コンピュータシミュレーション(分子動力学法、モンテカルロ法)
第12回(12月17日)生命現象に計算化学がどこまで迫れるか(タンパク質の折り畳み問題)
第13回(　1月　7日)多体量子系シミュレーション(その1)(量子モンテカルロ法、経路積分モンテカルロ法)
第14回(　1月14日)多体量子系シミュレーション(その2)(第一原理分子動力学法(Car-Parrinello法))
第15回(　1月21日)第一原理計算に基づいたComputational Materials Design
第16回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書

開講時に指示する。

参考文献

その都度資料(ファイル)を配布します。
参考書として、以下を推薦します。

・Attila Szabo and Neil S. Ostlund, Modern Qunatum Chemistry: Introduction to Advanced Electronic Structure Theory, Dover, 1996.
・Frank Jensen, Introduction to Computational Chemistry, John Wiley &　Sons,1999.
・Robert G. Parr and Weitao Yang, Density-Functional Theory of Atoms and Molecules, Oxford University Press, 1989.
・岡崎　進, コンピュータ・シミュレーションの基礎, 化学同人, 2000.
・永瀬　茂、平尾公彦, 分子理論の展開(岩波講座現代化学への入門17), 岩波書店, 2002.
・J. M. ティッセン著, 松田他訳, 計算物理学, シュプリンガー東京, 2003.
・武次徹也, 平尾公彦, 早わかり分子軌道法, 裳華房, 2003.
・日本化学会編、(先端化学シリーズ4)理論・計算化学／クラスター／スペースケミストリー、丸善、2003.
・笠井秀明他編、(大阪大学新世紀レクチャー)計算機マテリアルデザイン入門、大阪大学出版会、2005.
・上田顯、分子シミュレーション-古典系から量子系手法まで-、裳華房、2003.
・日本化学会編、第5版実験化学講座12　計算化学、丸善、2004.
・能勢修一他、岩波講座応用数学8[対象6]計算理学の方法、岩波書店、1994.

評価方法

定期試験・レポート・出席点

備考

講義ばかりでなく、63号館3階コンピュータルームでコンピュータを使った実習も行います。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計算化学		
科目キー	2803023003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学A		
科目キー	2803023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　忠平		

副題　原子や電子の運動により物質の諸々の性質を説明。

授業概要　固体物理学は電磁気学、量子力学、統計力学を駆使して、固体内部の電子・原子の運動から固体の諸々の性質を説明する学問であり、最も見事な理論体系をもつ物理学分野の1つです。固体物理学A・Bは、この分野の入門的講義と位置られます。

量子力学・統計力学の発達とともに発展してきた固体物理学は、金属・半導体・半金属・絶縁物等に係るエレクトロニクスの機能の理解から、生体分子の機能を発現機構の理解を深める基礎的な基本概念を提供します。

固体物理学Aでは、固体を形成する原子配列の様子・その測定法、凝集力、原子振動およびその関連現象を勉強する入門にあたります。

シラバス

第1回　教科書、講義内容・授業形式・レポート・成績等の評価法の説明

第2回　著名研究者による“固体物理学A/Bとその応用”の講義

第3回　結晶系（表示法と具体的物質）　晶系と結晶群

第4回　実際の実空間の結晶構造解析　（FIM，TEM、STM）

第5回　逆格子の数学的概念と回折法による結晶構造解析

第6回　固体の凝集力I　（ファンデアワールス結晶　有機結晶）

第7回　固体の凝集力II（イオン結晶、半導体　金属）

第8回　講義理解の確認と質問・解説

第9回　格子振動　I（1次元1原子結晶）
　　位相速度と群速度
第10回　格子振動　II　（1次元2原子結晶）

第11回　フォノンとエネルギー分散

第12回　格子比熱　I　アインシュタインモデル
　　古典統計と量子統計
第13回　格子比熱　II　デバイモデル
　　状態密度
第14回　格子の非線形現象

第15回　講義理解の確認と質問・解説

教科書　C.Kittel　Introduction to Solid State Physics、 Wiey （8th edition）

キッテル著　固体物理入門　（上巻）　丸善

参考文献　C.Kittel　Quantum theory of Solid

評価方法　2回の試験結果　と数回のレポート採点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学A		
科目キー	2803023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	固体物理学B		
科目キー	2803023005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　忠平		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気化学		
科目キー	2803023006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	逢坂　哲彌	本間　敬之	門間　聰之

副題

授業概要　電気化学系は主として固−液界面における二次元反応系であり，バルク反応系にない多くの特徴を有している．本講義は電気化学の入門編として，まず電気化学反応系の特徴，電極反応速度論および電気化学的計測法などの基礎的内容を講述する．続いて電気化学プロセスを主体とした応用分野である電池，エレクトロニクスデバイス，機能薄膜，化学センサーなどについて，社会で実際に応用されている例，さらにそれらの研究開発分野について概説する．

シラバス
1ガイダンス，電気化学反応系の概略と特徴
2平衡電位とネルンスト式
3電極反応速度論
4電気化学測定法（1）
5電気化学測定法（2）
6電気化学とナノテクノロジー
7理解度の確認および質問，解説
8電気化学の応用：概要，表面処理と機能薄膜形成
9機能薄膜1　回路実装材料
10機能薄膜2　磁性薄膜と磁気記録デバイス
11電気化学デバイスと化学エネルギー電気エネルギー変換
12電気化学デバイス1　センサー
13電気化学デバイス2燃料電池
14電気化学デバイス3　電池とキャパシタ
15理解度の確認および質問，解説

教科書
材料電気化学」− 先端材料のための新化学11 −
日本化学会編，逢坂哲彌，太田健一郎，松永　是共著
朝倉書店

参考文献
「電子移動の化学　− 電気化学入門」
− 化学者のための基礎講座11 −
日本化学会編，渡辺　正，中林誠一郎共著

評価方法　定期試験・演習・平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機反応論		
科目キー	2803023007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	石原　浩二		

副題

授業概要　有機化学反応、無機化学反応、分析化学反応、あるいは生体反応などの多くは溶液内で起こる。これらの反応の場、すなわち水あるいは非水媒体中に存在する化学種の組成、構造、反応、平衡などを主として取り扱う分野は、溶液化学(Solution Chemistry)と呼ばれる。本講義では主に水溶液、非水溶液中における無機反応に焦点を絞り、それらの溶液化学反応を定量的に扱う上で基本的かつ重要なことがらについて解説する。

シラバス

1. ガイダンス、溶液内平衡と活量
2. 酸塩基平衡、pHの計算
3. 酸化還元平衡
4. 錯形成平衡(生成定数, 条件生成定数, etc.)
5. キレート滴定
6. 沈殿平衡
7. 反応速度、速度式、解析法
8. 配位子置換反応(溶媒交換反応、錯形成反応)
9. 配位子置換反応機構
10. プロトン移動反応、電子移動反応
11. 反応速度測定法(フロー法、緩和法)
12. 測定装置
13. 高圧化学反応
14. 高圧実験装置
15. まとめ

各項目は授業回数と対応していない。また、授業の進行度により、順不同となることがある。

教科書

参考文献　「溶液反応の化学」 学会出版センター
「化学反応の速度と機構」 マグロウヒル
「無機溶液化学」 江南堂
など。

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生体構成物質化学		
科目キー	2803023008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	林　利彦		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生理活性物質化学		
科目キー	2803023009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄　　竜田　邦明　　細川　誠二郎		

副題

授業概要　生理活性物質の中でももっとも重要なものの一つは、医薬品である。医薬品合成は有機合成化学の集大成であり、環境に優しく安全で経済的でなければならない。その工業的合成法は、人間の叡知の賜物である。本講義では、医薬品開発を含めた生理活性物質の合成と生体への作用機序を詳述する。

シラバス

回数（担当）	日付（水曜3時限）	内容
1.（清水）	4月8日	有機合成の役割と方法（有機合成化学序論）
2.（清水）	4月15日	ステロイドの機能と合成（1）
3.（清水）	4月22日	ステロイドの機能と合成（2）
4.（清水）	4月29日	ステロイドの機能と合成（3）
5.（竜田・細川）	5月13日	医薬品の作用機序と合成（1）
6.（竜田・細川）	5月20日	医薬品の作用機序と合成（2）
7.（竜田・細川）	5月27日	医薬品の作用機序と合成（3）
8.（竜田・細川）	6月3日	バイオテクノロジーの中の有機化学
9.（竜田・細川）	6月10日	生理活性物質の合成（1）
10.（竜田・細川）	6月17日	生理活性物質の合成（2）
11.（竜田・細川）	6月24日	生理活性物質の合成（3）
12.（竜田・細川）	7月1日	医薬品の開発（1）
13.（竜田・細川）	7月8日	医薬品の開発（2）
14.（竜田・細川）	7月15日	医薬品の開発（3）
15. 学力考査		

教科書

参考文献

評価方法　試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	精密合成化学		
科目キー	2803023010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄	竜田　邦明	細川　誠二郎

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機金属化学		
科目キー	2803023011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄	菅原　義之	

副題

授業概要　有機金属化学は、金属と有機基が金属−炭素間の直接結合で結びついた化合物を扱う化学である。これらの化合物（有機金属化合物）は錯体触媒や有機合成試薬としてだけでなく、無機材料の出発物質としても有用である。本講義では、有機金属化合物を中心に、関連する化合物も取り上げながら、基礎と応用について概説する。

シラバス
第1回（4月6日） 有機金属化合物とは（金属ー炭素結合、18電子則など）
第2回（4月13日） 有機金属化合物の基本反応（酸化的付加反応、還元的脱離反応、挿入、β ―脱離など）
第3回（4月20日） π ―オレフィン錯体の反応 （ワッカー法を含む）
第4回（4月27日） 金属カルボニルの反応 （オキソ法、モンサント法を含む）
第5回（5月11日） オリゴメリゼーションと重合反応（チーグラー触媒を含む）
第6回（5月18日） カルベン錯体の反応とオレフィンメタセシス反応
第7回（5月25日） 中間試験　教室　55号館N棟1階大会議室
第8回（6月1日） 配位子の化学
第9回（6月8日） Siの化学1 ヒドロシリル化・Siを含むポリマー
第10回（6月15日） Siの化学2　Siを含むポリマー2・ゾル−ゲル法
第11回（6月22日） Bの化学 ヒドロボーレーション・ボラン
第12回（6月29日） Alの化学 アルキルアルミニウム
第13回（7月6日） Pの化学 ポリフォスファゼン・リンを含むオキソ酸
第14回（7月13日） 無機固体表面と有機化合物の反応
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　山本明夫 著、有機金属化学?基礎と応用?、裳華房化学選書（ISBN978−4−7853−3301−0）.

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機立体化学		
科目キー	2803023012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中田　雅久		

副題

授業概要

McMurry を教科書とする有機化学の講義を履修した学生に対して、立体化学的立場から有機化合物の構造および反応を理解することに重点を置き、より高度な内容を講義する。
立体配置、立体配座、およびそれらと化学反応性、スペクトルなどの相関、光学異性の諸問題、立体電子効果、動的立体化学、有機合成に見られる立体化学の問題、また、実際に研究を進める際に欠かせない知識に関し解説する。

シラバス

第1回（9月30日） Introduction、立体配座1
§1-1 立体配座の表記法
§1-2 エタンの立体配座
§1-3 立体配座の安定性の要因
第2回（10月7日） コースナビにて学習した内容の点検と確認
第3回（10月14日） 立体配座2
§1-4 各種鎖状不飽和化合物の立体配座
第4回（10月28日） 立体配座3
§1-5 環状化合物の立体配座
　(1)5員環
第5回（11月4日） 立体配座4
§1-5 環状化合物の立体配座
　(2)6員環
第6回（11月11日） コースナビにて学習した内容の点検と確認
第7回（11月18日） 立体配座5
§1-5 環状化合物の立体配座
　(2)6員環
第8回（11月18日） 立体配座6
§1-5 環状化合物の立体配座
　(2)6員環
　(3)7員環
　(4)8員環
第9回（11月25日） 立体配座7
§1-5 環状化合物の立体配座
　(2)6員環
　(3)7員環
　(4)8員環
　(5)9員環-大員環
　(5)渡環反応
§1-6 立体配座解析と計算化学
第10回（12月2日） 立体配座8
(8)§1-7 縮合環化合物
§1-8 架橋環化合物
第11回（12月9日） 動的立体化学1
§2-1 有機化学反応における立体選択性
§2-2 有機化学反応における立体化学と立体電子効果
第12回（12月16日） 動的立体化学2
(10)§2-2 有機化学反応における立体化学と立体電子効果
§2-2-1 置換反応
第13回（1月6日） 動的立体化学3
(11)§2-2-2 付加反応
§2-2-3 C=O結合への付加反応
　(a)鎖状の系におけるジアステレオ選択的付加反応；
　　1,2-不斉誘起
　(b)環状カルボニル化合物へのジアステレオ選択的付加反応
第14回（1月13日） 動的立体化学4
§2-2-4 脱離反応
§2-2-5 転位反応

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機立体化学		
科目キー	2803023012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

---

§2-2-6 環化反応
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書　参考書

1. Stereochemistry of Organic Compounds, by E.L.Eliel and S.H.Wilen, (Wiley-Interscience).
2. Basic Organic Chemistry, by E.L.Eliel, S.H.Wilen, and M.P.Doyle (Wiley-Interscience).
3. Stereoelectronic Effect in Organic Chemistry, by P. Deslongchamps (Pergamon Press).
4. Organic Chemistry, by Nick Greeves, Stuart Warren, Peter Wothers, Jonathan Clayden (OXFORD).
5. 立体電子効果, by A.J.カービー、鈴木啓介 訳, 化学同人
6. 有機立体化学, by 豊田真司, 丸善株式会社
7. 基礎有機立体化学, by S.R.Buxton, S.M.Roberts (小倉克之, 川井正雄 訳), 化学同人

参考文献

評価方法　定期試験

備考　分子模型は有機化合物の3次元構造を理解するのに役立つ。予算が許せる範囲で購入することを強く勧める。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	構造有機化学		
科目キー	2803023013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鹿又　宣弘		

副題

授業概要　炭素一炭素結合を同時に複数形成することができるDiels-Alder反応は，効率的な骨格形成や精密立体化学の構築という観点から，構造有機化学あるいは天然物有機化学における合成手法の一つとして頻繁に用いられている化学反応である．本講義では，π電子，σ電子を含むペリ環状反応（周辺環状反応）を取りあげ，有機化学における位置選択性や立体選択性を考える上で重要な規則性・支配因子を習得し，反応機構と生成物の化学構造との関連性について理解を深めることを目的とする．各論としては，まず初めに様々な構造因子を有するペリ環状反応の概要を紹介し，Woodward-Hoffmann則およびフロンティア軌道法による環状反応の理論的背景・反応機構について解説した後，環化付加反応，電子環状反応，シグマトロピー転位，グループ移動反応について詳述してゆく．

シラバス

第1回
ペリ環状反応概説

第2回
環化付加反応（1）
・Diels-Alder反応
・1,3-双極付加反応
・カチオン・アニオンの環化付加
・6電子以上の環化付加

第3回
環化付加反応（2）
・許容と禁制
・光環化付加反応
・立体化学

第4回
環化付加反応（3）
・位置選択性
・分子内環化付加反応
・ペリ環状付加反応でない環化付加反応
・キレトロピー反応

第5回
環化付加反応（4）
・問題演習と解説

第6回
Woodward-Hoffmann則と分子軌道（1）
・結合形成と開裂の協奏性
・遷移状態仮説
・フロンティア軌道法
・軌道相関図と状態相関図（その1）

第7回
Woodward-Hoffmann則と分子軌道（2）
・軌道相関図と状態相関図（その2）
・Woodward-Hoffmann則
・例外反応

第8回
Woodward-Hoffmann則と分子軌道（3）
・二次的相互作用と立体化学
・置換基効果と反応速度

第9回

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	構造有機化学		
科目キー	2803023013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

Woodward-Hoffmann則と分子軌道（4）
・位置選択性
・問題演習と解説

第10回
電子環状反応（1）
・ポリエンと共役イオン
・立体化学
・熱反応
・イオン性有機化合物の電子環状反応

第11回
電子環状反応（2）
・光反応
・同旋的および逆旋的な開閉環反応のまとめ
シグマトロピー転位（1）
・スプラ型とアンタラ型
・水素移動型の転位反応

第12回
シグマトロピー転位（1）
・炭素移動型の転位反応
・問題演習と解説

第13回
グループ移動反応
・ジイミド還元
・エン反応
・逆エン反応と脱離反応

第14回
構造有機化学と有機合成化学の接点（1）

第15回
構造有機化学と有機合成化学の接点（2）

教科書　ペリ環状反応　第三の有機反応機構
I.フレミング著
鈴木啓介・千田憲孝訳
化学同人

ISBN　4-7598-0875-2

参考文献

評価方法　1．定期試験と演習により評価する．
2．評価の割合は，概ね定期試験80%，演習20%とする．
3．定期試験終了後の追試・課題による再評価は一切行わない．
4．Course N@viの活用状況により，適宜加点する場合がある．

備考　この授業は，Course N@vi　を活用して進める．

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	構造有機化学		
科目キー	2803023013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命環境化学		
科目キー	2803023014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	吉村　悦郎		

副題

授業概要　生物体は多種類の元素から構成されている。これらの元素はすべて、その環境を起源としており、このため生物の生命活動には環境との物質交換が必然的に生じてくる。この活動は地球誕生以来の環境の変化に大きな影響を及ぼしてきたが、現在においても、この地球環境の形成における主要な因子となっている。講義では、このような生物による物質代謝、物質変換の実際を述べ、現在の地球環境を理解する上での基礎とする。

シラバス
第　1回（　9月30日）　イントロダクション
第　2回（10月　2日）　生物と代謝（エネルギーの獲得機構）
第　3回（10月14日）　生物と代謝(光合成)
第　4回（10月28日）　生物と代謝(環境からの物質の取り込み)
第　5回（11月　4日）　炭素の循環
第　6回（11月11日）　窒素の循環
第　7回（11月18日）　イオウの循環
第　8回（11月25日）　リンの循環
第　9回（12月　2日）　土壌の構造
第10回（12月　9日）　土圏における物質循環
第11回（12月16日）　水圏I　淡水における物質循環
第12回（　1月　6日）　水圏II　海洋における物質循環
第13回（　1月13日）　環境における水銀の化学形態変化
第14回（　1月20日）　環境におけるカドミウムの化学形態変化
第15回（　1月27日）　授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　資料を配布する。

参考文献　The elements on earth P.A. Cox, Oxford university press

評価方法　教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物学B		
科目キー	2803023016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	藤森　嶺		

副題　代謝とエネルギー生産

授業概要　46億年の歴史を有する地球に、34億年ほどの大昔に生命が誕生し、現在は微生物、植物、動物のさまざまな生物種が生存している。現在、種名がわかっているだけで約140万種の多様な生物（このうち約75万種が昆虫）が生きている。生命とは何かをあらためて考え、生物多様性についても理解を深めたい。
また、生物学の技術的な応用としての品種改良や遺伝子組換え作物についても解説する。

シラバス　【生物とは】
1. 地球の歴史と生命の誕生
2. 単細胞と多細胞　細胞の構造
3. クロロプラスト　植物による太陽光エネルギー利用の仕組み
4. ミトコンドリア　ATP生産の仕組み
5. 生体成分　生命を支える生体内の物質の変化
6. 代謝系　酵素が制御する生体内の物質代謝
7. 神経系と農薬　神経系の仕組みと殺虫剤の作用機構
8. 昆虫のフェロモン　フェロモンは昆虫の行動を制御する
9. 植物ホルモン　植物の化学調節
10. 内分泌系と免疫系　ホルモン、抗原と抗体
11. 農薬の功罪　現代の農業を支える農薬、環境問題としての農薬
12. 微生物農薬　微生物を利用した農薬の開発、有機農産物
13. 遺伝子組換え作物　なぜ遺伝子組換え作物は誕生したか
14. バイオマスエネルギー　農産物とエネルギー調達との関係
15. まとめ

教科書　生物科学入門（石川　統著、裳華房）

参考文献　はじめて出会う細胞の分子生物学/伊藤明夫著、岩波書店
生きものからくり―分子から生命まで―/中村和行・山本芳美・祐村恵彦共編/培風館
地球環境システム/円城寺　守編著/学文社

評価方法　期末試験

備考　出席を重視する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命倫理科学		
科目キー	2803023017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	浅野　茂隆		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分光化学		
科目キー	2803023018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	古川　行夫		

副題　電子状態を取り扱い理論と実験

授業概要　物質の構造，性質，反応は電子の状態で決まるので，電子状態を理解することは化学において重要である．本講義では，電子状態を記述する理論と実験法（分光学）について解説する．光の吸収と発光に関する実例を通して，電子状態に関する理解を深める．卒業研究で物理化学分野の研究を行う学生には，是非，履修してほしい．

シラバス

1．はじめに　分光学が化学に果たす役割

2．分子の電子状態

3．分子振動

4．光の吸収

5．発光

6．群論の基礎

7．分光学と群論

8．許容遷移と振電遷移

9．問題演習

10．いろいろな電子遷移

11．光励起ダイナミックス

12．光化学

13．アインシュタイン係数

14．エネルギー・電子移動

15．電子分光

教科書　なし

参考文献　長倉三郎編，光と分子，上・下，岩波講座現代化学12，岩波書店．
中崎昌雄著，分子の対称と群論，東京化学同人．

評価方法　定期試験

備考　担当教員古川連絡先
E-mail: furukawa@waseda.jp

関連URL:　http://www.chem.waseda.ac.jp/furukawa/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子化学		
科目キー	2803023020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	中井　浩巳		

副題　量子化学応用

授業概要　分子の構造・物性・反応性・電子状態を解明するために、今日では広く分子軌道（MO）計算が行われている。本講義では、MO法の中でも最も初歩的なHuckel法について講述し、これに基づいた分子構造論や化学反応理論を解説する。特に、化学反応理論としてはフロンティア電子論を紹介する。その他、群論の基本的概念とそのMO法への応用も述べる。

本講義は、第2学年における量子化学A（新カリキュラム：物理化学A）の講義内容を前提としている。

シラバス
(1)イントロダクション
(2)Huckel法1
(3)Huckel法2
(4)拡張Huckel法
(5)群論：点群
(6)群論：対称関数
(7)群論：簡約、MO法への応用
(8)群論：電子スペクトルへの応用、分子振動への応用
(9)分子構造
(10)化学反応理論、フロンティア電子論
(11)量子化学計算プログラムの使用法
(12)コンピュータ実習：使用法
(13)コンピュータ実習：課題（Diels-Alder反応1）
(14)コンピュータ実習：課題（Diels-Alder反応2）
(15)コンピュータ実習：自由課題

教科書

参考文献
・「量子化学入門（上／下）」米澤他著（化学同人）
・「分子の対称と群論」中崎著（東京化学同人）
・「マッカーリ・サイモン物理化学（上）」千原ほか訳（東京化学同人）
・「アトキンス物理化学（上）」千原ほか訳（東京化学同人）

評価方法　定期試験・レポート（作品を含む）・平常点・（計算機実習の出席とレポートは必須）

備考
【担当教員連絡先等】
中井　浩巳 (nakai@waseda.jp)

【注意事項】
2005年度入学生以下には、新カリキュラムの「量子化学」（専門選択）に対応する

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	磁気共鳴化学		
科目キー	2803023021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	渡部　徳子		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	酵素工学		
科目キー	2803023022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	桐村　光太郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命化学D		
科目キー	2803023023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	浅野　茂隆 寺田　泰比古	中尾　洋一	小出　隆規

副題

授業概要　4人の教員がリレー方式で、生命化学の最先端について講述する。

シラバス

第1回ガイダンス担当者　中尾／小出／寺田／浅野
第2回天然物化学と生命化学・そのI:天然から見出される抗がん剤について解説する。担当者　中尾
第3回天然物化学と生命化学・そのI:天然から見出される抗微生物剤について解説する。担当者　中尾
第4回天然物化学と生命化学・そのI:天然から見出される酵素阻害剤について解説する。担当者　中尾
第5回タンパク質(1)担当者　小出
第6回タンパク質(2)担当者　小出
第7回タンパク質(3)担当者　小出
第8回試験(前半)担当者　中尾／小出
第9回細胞の増殖制御研究の最前線:理想の抗がん剤は存在するのか？
がん遺伝子とがん抑制遺伝子の発見から最新の細胞周期研究に至るまでの
研究の歴史を概説し、抗がん剤開発等への応用と可能性について解説する。担当者　寺田
第10回老化研究の最前線:不老不死の薬は存在するのか？
ヘイフリック仮説からテロメアの制御機構に至るまで老化研究の歴史を概説し
寿命を延ばすことが可能であるのか？その可能性について解説する。担当者　寺田
第11回化学の立場から見た生命科学:
薬剤のみならず、有機化合物がどのように働きかけ細胞の制御に機能するのか？
分子レベルで概説し、ポストゲノムプロジェクトにおけるケミカルバイオロジーの
未来について解説する。担当者　寺田
第12回細胞療法の現状と課題:造血幹細胞移植の歴史、その発展を支えてきた医療技術
と医薬品、再生医療の将来展望について解説する。担当者　浅野
第13回遺伝子治療の現状と課題:遺伝子治療臨床研究の現状、その実現化を阻む様々な
要因、期待される戦略について解説する。担当者　浅野
第14回分子標的療法の開発と課題:造血器疾患を中心に開発が期待される医薬品、開発
研究における諸課題について解説する。担当者　浅野
第15回試験(後半)担当者　寺田／浅野

教科書

参考文献

評価方法　試験による

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機錯体化学		
科目キー	2803023024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	山口　正		

副題

授業概要　有機金属錯体の構造と典型的な配位子の金属との結合性を理解する。また、生体内の金属イオンの働きについて学ぶ

シラバス

1. 講義の概要，有機金属化学(序)
2. 配位子と金属-炭素結合性
3. 18電子則
4. 有機金属錯体の合成
5. 配位子の配位と解離
6. 酸化的付加、還元的脱離反応
7. 挿入反応、逆挿入
8. 中間試験および解説
9. 配位子の反応
10. 触媒反応(1)
11. 触媒反応(2)
12. 生物無機化学(1) 生体内の金属イオン
13. 生物無機化学(2) 酸素の貯蔵運搬
14. 生物無機化学(3) 酸素化酵素
15. 生物無機化学(3) 加水分解酵素

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・中間試験・平常点・(出席，小テスト形式)より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機化学I		
科目キー	2804011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	菅原　義之	本間　敬之	

副題

授業概要　あらゆる元素を取り扱う無機化学の中で、その基礎原理について取り扱う。前半では、水素原子の電子軌道の名称と形、多原子分子の電子軌道とその電子配置、原子の性質を示すパラメータ、化学結合の種類、分子軌道法の基礎、原子価結合法の基礎とVSEPR理論、イオン結合と格子エネルギーについて概説する（担当菅原）。後半では、溶液の化学、ボルンハーバーサイクル、酸と塩基の定義と概念、酸化還元の概念、標準電極電位について概説する。本講義は応用化学演習Iと連動して講義を行う（担当本間）。

シラバス
第1回（4月7日） 序章 無機化学への招待, 1.1.1原子構造
第2回（4月14日）1.1.4 シュレジンガーの波動方程式と原子軌道, 1.1.5 多電子原子の場合の電子エネルギー, 1.2 原子の電子配置と周期表
第3回（4月21日） 1.3 イオンの生成（イオン化エネルギー・電子親和力・電気陰性度）
第4回（4月28日） 1.4 原子の大きさ, 2.1 結合の種類
第5回（5月12日） 2.3 化学結合と分子の構造（原子価結合法）
第6回（5月19日） 2.3 化学結合と分子の構造（原子価結合法）
第7回（5月26日） 2.2.1 分子軌道法のエネルギー準位図
第8回（6月2日） 2.2.1 分子軌道法のエネルギー準位図
第9回（6月9日） 2.4 イオン結合と格子エネルギー
第10回（6月16日） 6.1.1 結晶におけるイオンの配列
第11回（6月23日） 4.1 溶液とその化学, 4.2 理想溶液, 4.3 非理想希薄溶液
第12回（6月30日） 4.3 非理想希薄溶液, 4.4 束一的性質
第13回（7月7日） 4.5 酸と塩基
第14回（7月14日） 4.6 酸化・還元反応
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書　平尾一之・田中勝久・中平敦著 無機化学 その現代的アプローチ 東京化学同人

参考文献　菅原担当分
初級者向け
・鐸木啓三 電子の軌道 化学One Point7 共立出版
・飯島隆夫他 化学結合を考える 講談社
上級者向け
・シュライバー 無機化学（上） 東京化学同人
・コットン ウイルキンソン ガウス 基礎無機化学 培風館

評価方法

備考　次の項目は講義・試験の対象としない
1.1.2ボーアモデル及び 1.1.3量子力学
2.2.2 分子軌道法と分子の電子状態 2.2.3 バンド計算法と分子軌道法

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学I		
科目キー	2804011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	西出　宏之	清水　功雄	

副題

授業概要　化学研究者、化学技術者に必要な有機化学の基礎を修得することを目的とし、有機化学1および有機化学2で有機化合物の構造、反応および合成について体系的に学習する。有機化学1では、主に、化学結合、脂肪族化合物(アルカン、アルケン、アルキン)、立体化学、ハロゲン化アルキル、芳香族化合物について講述する。本講義は応用化学基礎演習Iと連動し、学習効果を上げ、理解の向上をはかる。

シラバス　教科書の前半の項目(16章まで)を、下記のように順次学ぶ。
第1回　4月10日　1章　化学結合
第2回　4月17日　2章　酸と塩基、極性
第3回　4月24日　3章　アルカン
第4回　5月08日　4章　アルカンの立体化学
第5回　5月15日　5章　有機反応概論　6章　アルケン
第6回　5月22日　7章　アルケン(反応と合成)
第7回　5月29日　8章　アルキン　9章　立体化学
第8回　6月05日　学力考査と解説1
第9回　6月12日　10章　ハロゲン化アルキル
第10回　6月19日　11章　ハロゲン化アルキルの反応
第11回　6月26日　14章　共役ジエン
第12回　7月03日　15章　ベンゼンと芳香族性
第13回　7月10日　16章　ベンゼンの化学　親電子置換反応
第14回　7月17日　学力考査と解説2
第15回　7月24日　学力考査と解説3

連動する応用化学基礎演習で、少人数クラスの演習を実施しながら進める。

12章(質量分析、赤外吸収スペクトル)、13章(核磁気共鳴)については、他の講義(分析化学I(1年後期必修および機器分析演習(3年後期))の中で扱う。)

教科書の17章以降は有機化学2(2年前期必修)で扱う。

教科書　John McMurry "Organic Chemistry" 7th Edition

参考文献

評価方法　中間試験および学期末試験を実施する。

備考　第1回目の授業で授業計画を説明する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学入門		
科目キー	2804011003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　功雄	小柳津　研一	木野　邦器

副題

授業概要　応用化学科の1年生を対象とした必修科目。応用化学の分野について学習し研究を行っていくための基礎となる事項を教示する。まず、応用化学という学問の考え方と学び方、カリキュラムの構成と展開について概説する。特に、大学と高校での勉学の相違について理解し、学生が卒業までに自ら考え、将来を選択し、行動していくことができるようにはかる。さらに、応用化学を学ぶ上で基礎の基礎となる事項を修得する。下記の内容を演習を行いながら修得する。
(1) 社会と応用化学
(2) 化学結合
(3) 反応論概論
(4) 酸塩基と酸化還元
(5) 立体化学
(6) 物質と状態
(7) 物質の変化とエネルギー:エンタルピー
(8) 物質の変化とエネルギー:エントロピー、自由エネルギーと反応
(9) 研究リテラシー:実験ノート、倫理的課題
(10) 研究リテラシー:化学情報など、研究の社会性・意義
上記の講義ほか、配当時間内に応化オリエンテーションが実施される。

シラバス　下記の日程で行う
第1回　4月06日高校化学の総復習（化学学力調査）
第2回　4月13日化学量論　（清水）
第3回　4月20日化学結合　（清水）
第4回　4月27日酸塩基、酸化還元　（清水）
第5回　5月11日反応論概論　（清水）
第6回　5月18日立体化学　（清水）
第7回　5月25日物質と状態　（木野）
第8回　6月01日化学反応と速度　（木野）
第9回　6月08日物質の変化とエネルギー:エンタルピー　（木野）
第10回　6月15日物質の変化とエネルギー:エントロピー、自由エネルギーと反応　（木野）
第11回　6月22日研究リテラシー(1):実験ノート、倫理的課題(小柳津)
第12回　6月29日研究リテラシー(2):化学情報など　（小柳津）
第13回　7月06日研究リテラシー(3):研究の社会性・意義　（小柳津）
第14回　7月13日社会と応用化学(清水)
第15回　（日程別途指示）　学力考査および解説

教科書　担当教員の指示に従うこと。

参考文献

評価方法　試験は実施しない。毎回、演習を果たす。教室での演習及び活動を総合的に評価する。

備考　毎回の演習課題については、通常、事前にその範囲を予告する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学数学I		
科目キー	2804011004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	平沢　泉	立川　仁典	

副題

授業概要　化学を修得する上で必要な基礎的数学概念を取り扱う。主に「量子力学」「熱力学」の基礎的概念を概説する。まず、シュレディンガー方程式から原子と分子の量子性を理解する。さらに、ミクロからマクロへの橋渡しを担う分配関数について解説し、それによって内部エネルギーが与えられること、エントロピーやギブスエネルギーなどの熱力学関数が解明されることを詳しく解説する。また、統計熱力学的手法から化学平衡への適用、実在気体や液体についての指針についても言及する。

シラバス

第1回　ガイダンス・前期量子論　?ミクロの世界の不思議、Newton力学の破綻?
（原子と分子（高校の復習）、ボーアのモデル、観測問題、不確定性原理、光と電子）
化学における量子論の役割を述べる。Newton（古典）・電磁気学だけでは説明できない現象を概観し、ボーアのモデルを概説する。その後、ミクロの世界における観測問題、不確定性原理を説明し、化学結合・化学反応において中心的な役割を果たす「電子」と「光」の正体を概説する。 4月14日

第2回　量子論　?Schrödinger方程式の紹介1?
（古典力学と量子力学の比較、運動エネルギー、ポテンシャルエネルギー、Newton方程式とSchrödinger方程式の紹介、オービタルの概念、固有値、固有関数、演算子）
Schrödinger方程式を紹介する。古典力学を復習した後、固有値、固有関数、演算子に関する数学的準備を行い、ミクロの世界を支配しているSchrödinger方程式を解説する。特に、解として得られる波動関数の確率解釈、化学的な意味づけを概説する。4月21日

第3回　量子論　?Schrödinger方程式の紹介2?
（井戸型ポテンシャル、量子数、基底状態・励起状態、三角関数、指数関数の性質）
井戸型ポテンシャルのSchrödinger方程式を解く。三角関数、指数関数に関する数学的準備を行った後、井戸型ポテンシャルの問題を実際に解く。これにより、具体的な波動関数の解釈、量子数（離散的な解）、基底状態・励起状態の概念、を体感する。また、三次元に拡張した場合も解説する。4月28日

第4回　原子　?水素原子?
（水素原子の波動関数、主量子数、副量子数、方位量子数、波動関数の縮退、スピン）
水素原子の波動関数を学ぶ。水素原子の波動関数(1s, 2s, 2p orbitals)が、どのような手続きで得られるのかを概観する。主量子数、副量子数、方位量子数を説明した後、何故、水素原子の電子は原子核に落ち込まないのか（古典電磁気）を考える。また、スピンや、波動関数の縮退(2px, 2py, 2pz)に関しても述べる。 5月12日

第5回　原子　?一般の原子?
（反対称性原理、Slater行列式、パウリの排他律、フントの規則）
一般の原子の波動関数を学ぶ。ミクロの世界では、「同種粒子は区別できない」という原理があり、二つ以上の電子を考える際には反対称性原理を考慮する必要である。行列式に関する数学的準備を行った後、反対称性原理、パウリの排他律、フントの規則を学ぶ。 5月19日

第6回　分子　?原子から分子へ1?
（波の重ね合わせ、変分原理、混成軌道）
波動関数の重ね合わせという観点から化学結合を学ぶ。無機化学I、有機化学I、応用化学入門で学んだ原子価結合法、共鳴状態を、Schrödinger方程式の立場から見直す。
5月26日

第7回　分子　?原子から分子へ2?
（波の重ね合わせ、変分原理、分子軌道法）
波動関数の重ね合わせという観点から化学結合を学ぶ。無機化学I、有機化学I、応用化学入門で学んだ分子軌道法、Schrödinger方程式の立場から見直す。6月2日

第8回　実験データの扱い 4月7日、6月9日

第9回.　統計データの扱い　6月16日

第10回　実験式の立て方　6月23日、6月30日

第11回　ミクロからマクロへの橋渡しを担う分配関数　6月30日

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学数学I		
科目キー	2804011004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

第12回. 熱力学関数　7月7日

第13回. 統計熱力学的手法から化学平衡への適用　7月14日

第14回. 実在気体や液体についての指針　7月14日

第15回　データ処理と討論　7月14日

教科書　配付資料

参考文献　試験　75%、レポート　25%

評価方法　試験７５%、レポート２５%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学基礎演習I		
科目キー	2804011005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	西出　宏之 本間　敬之	清水　功雄	菅原　義之

副題

授業概要　応用化学の基礎科目である有機化学および無機化学を理解するには、演習問題を解くことが重要である。本演習では、有機化学Iおよび無機化学Iの授業の進行とともに、学習した単元の理解を深める目的で、少人数クラスの演習および解説を実施する。

シラバス

第1回　4月10日　ガイダンス
第2回　4月17日　無機化学演習１
第3回　4月24日　有機化学演習１
第4回　5月08日　無機化学演習２
第5回　5月15日　有機化学演習２
第6回　5月22日　無機化学演習３
第7回　5月29日　有機化学演習３
第8回　6月05日　無機化学演習４
第9回　6月12日　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回 6月17日　有機化学演習４
第11回 6月22日　無機化学演習５
第12回 6月29日　有機化学演習５
第13回 7月03日　無機化学演習６
第14回 7月10日　有機化学演習６
第15回 7月17日　学力考査および解説

教科書

参考文献

評価方法　毎回出題される演習問題の解答を採点し、集計して評価を行う。
別途、レポート課題出題など教員から指示がある場合は、その指示に従うこと。

備考　少人数クラスに分け、実施する。
クラス分けおよび演習の出題範囲は事前に別途連絡する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機化学II		
科目キー	2804011006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	黒田　一幸		

副題

授業概要　あらゆる元素を取り扱う無機化学の中で、典型元素の化学についての各論と遷移金属の化学について概説する。まず、水素、アルカリ金属、アルカリ土類金属、13族、14族、15族、酸素とカルコゲン、ハロゲン、希ガスについて、単体と代表的な化合物について取り扱う。次いで、金属錯体の構造と異性体、結晶場理論について述べ、様々な実例を挙げて概説する。本講義は応用化学基礎演習IIと連動して講義を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学I		
科目キー	2804011007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	酒井　清孝	山本　健一郎	

副題

授業概要　エンジニアリングを身に付けた化学技術者を育てるのに化学工学という学問が有用である。化学工学は化学に関連する問題を解決するのに用いられる物理化学的手法を提供する学問で、装置間の関連性や制御性など、プロセス全体を考えるsystem approachを得意とする。その基礎になっているのが収支、平衡、速度の概念である。化学工学総論では、エンジニアリングの重要性を示し、化学工学がどのような学問であるか、化学工学でどういうことを学べるか、実社会との接点は何かなどについて、身近な話題を通して講述する。この身近な話題に化学工学がどの様に役に立ち、どの様に使われているかを理解し、例題、問題を通して計算能力を身につける訓練をしながら、化学工学の基礎概念（収支、速度、平衡など）の重要性を学ぶ。本講義は応用化学基礎演習IIと連動して講義を行う。

シラバス
（1）化学工学とは何ぞや？1
（2）化学工学とは何ぞや？2
（3）同志社大学一早稲田大学遠隔講義
（4）化学工学の基礎概念
（5）流動1
（6）流動2
（7）熱移動1
（8）熱移動2
（9）物質移動1
（10）物質移動2
（11）膜分離1
（12）膜分離2
（13）吸着
（14）医用化学工学1
（15）医用化学工学2

教科書　酒井清孝編著、21世紀の化学シリーズ14、化学工学、朝倉書店、2005

参考文献　吉田文武・酒井清孝：化学工学と人工臓器、第2版6刷、共立出版、2006

評価方法　クイズ・出欠・定期試験を重視

備考

関連URL:　http://www.waseda.jp/sem-sakai/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学数学II		
科目キー	2804011008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	酒井　清孝	小堀　深	山本　健一郎

副題

授業概要　物理化学や化学工学で必要な数学的基礎知識を取り扱う。主に微分積分の基礎解法を概説し、様々な移動現象を例にとり講義を進める。化学反応速度論を理解するための偏微分方程式の解法や、テイラー展開、ラプラス変換を含む数学的解法を扱う。ここでは、化学技術者、研究者にとって、その成果を確実に情報伝達する手段の一つとしての数学を理解させるとともに、ビーカー内で起こっている現象を数式化し、プロセスや装置の設計、さらには地球環境問題を考えるなど、有用な道具としての化学数学を学ぶ。

シラバス
第　1回　オリエンテーション（担当：小堀）
第　2回　関数とは（担当：小堀）
第　3回　微分と積分の基礎概念の復習（担当：小堀）
第　4回　微分方程式の作り方と解法（担当：小堀）
第　5回　演習1（関数と微分方程式）（担当：小堀）
第　6回　常微分方程式の級数解法（担当：小堀）
第　7回　常微分方程式の数値解法（担当：小堀）
第　8回　演習2（常微分方程式）（担当：小堀）
第　9回　偏微分方程式の作り方1（担当：小堀）
第10回　偏微分方程式の作り方2（担当：小堀）
第11回　偏微分方程式の解法1（担当：小堀）
第12回　偏微分方程式の解法2（担当：小堀）
第13回　偏微分方程式の解法3（担当：小堀）
第14回　演習3（偏微分方程式）（担当：小堀）
第15回　学力考査および解説（担当：小堀）

教科書　特に指定なし
（適宜プリント配布する）

参考文献

評価方法　定期試験・演習課題・(定期試験を75%、演習課題を25%の割合で成績を評価する。)

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分析化学I		
科目キー	2804011009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	菅原　義之	細川　誠二郎	

副題

授業概要　広く化学研究の基礎である分析化学の中で、化学平衡論と有機化学関連の機器分析について取り扱う。前半では、溶解平衡、電離平衡、酸化還元平衡、錯体形成平衡について、基礎理論だけでなく、実際の計算方法とその応用まで概説する。後半では、有機化合物で主に用いられる基本的機器分析である核磁気共鳴分光分析、赤外吸光分析、紫外可視分光分析について、原理、装置構成、ならびにスペクトル解析の基礎について概説する。

シラバス

回　日付講義内容
1　10/2図表の書き方　SI単位（菅原）
2　10/9溶解平衡1：平衡の基礎・活量・活量係数・水素イオン濃度（菅原）
3　10/16溶解平衡2：pH・緩衝溶液・指示薬（菅原）
4　10/23沈澱平衡：溶解度・溶解度積・分別沈澱・分配の法則（菅原）
5　10/30酸化還元平衡：酸化と還元・標準電極電位・ネルンスト式（菅原）
6　11/13錯体形成平衡：キレート・安定度定数・β値　（菅原）
7　11/20学力考査
8　11/27紫外分光法、可視分光法：量子化・遷移・Beer-Lambert則　（細川）
9　12/4蛍光、燐光：基底状態・励起状態・垂直遷移　（細川）
10　12/11赤外分光法：分子の振動・選択律　（細川）
11　12/18【演習】Beer-Lambert則・紫外・可視・赤外分光法・蛍光・燐光（細川）
12　1/8核磁気共鳴法：Zeeman分裂・歳差運動・化学シフト　（細川）
13　1/15核磁気共鳴法：スピン-スピン結合、質量分析法：イオン化法　（細川）
14　1/22質量分析法：フラグメンテーション・高分解能質量分析・不飽和度　（細川）
15　学力考査

教科書

参考文献　Gary D. Christian 著，原口監修，「原書6版 クリスチャン分析化学 I 基礎編」，丸善（2005）.
佐竹正忠ら著，「分析化学の基礎」，共立出版（1994）.
高木誠著，「ベーシック分析化学」，化学同人（2006）.
加藤忠蔵，菅原義之著，「理論分析化学-理論と機器分析-」，昭晃堂（2000）.
アトキンス物理化学（下巻）16章(Beer-Lambert則,IR)、17章(UV,蛍光)、18章(NMR)

評価方法　平常点(演習を含む)・教場試験・定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学基礎演習II		
科目キー	2804011010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	酒井　清孝	黒田　一幸	山本　健一郎

副題

授業概要　無機化学II及び化学工学Iの内容について、これら2つの講義科目と連動して、演習を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機・分析化学実験I		
科目キー	2804011011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	逢坂　哲彌 本間　敬之	黒田　一幸 門間　聰之	菅原　義之

副題

授業概要　化学者としての基本的な実験操作について学び、安全で正確に実験を遂行する技術を身につける。また、あわせて化学平衡に関する基礎的な理論を学ぶ。実験器具の取り扱い（定容ガラス器具、加熱装置、ろ過装置等）、中和滴定、酸化還元滴定、沈殿滴定、水の分析を項目とし、終了後に簡単な報告書を作成する。実験内容は、分析化学Iと連動する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学基礎実験		
科目キー	2804011012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	西出　宏之 細川　誠二郎	清水　功雄	竜田　邦明

副題

授業概要　有機化合物を取り扱う上での基本操作を習得する。様々なガラス器具や装置を使いながら、蒸留やクロマトグラフィーなどの分離技術の原理を学び、その原理を実際に使って化合物を分離する際の工夫や手順を体験する。これにより机上の学問から実践への意識を高め、化学や工学に対する理解を深める。また、実際に様々な薬品を扱うことにより、官能基の性質を理解すると共に、安全に対する意識を高め、化合物の正しい取り扱い方を身につける。

シラバス

回　内容
1．ガイダンス・内容講義・安全教育
2．薄層クロマトグラフィー（1）
3．薄層クロマトグラフィー（2）
4．再結晶（1）
5．再結晶（2）
6．蒸留（1）
7．蒸留（2）
8．減圧蒸留（1）
9．減圧蒸留（2）
10．分液操作（1）
11．分液操作（2）
12．合成（1）
13．合成（2）
14．課題考察
15．学力考査

教科書

参考文献

評価方法　平常点およびプレレポート，報告書，試験

備考　実験中は、常に白衣、安全眼鏡を着用すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学II		
科目キー	2804012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	桐村　光太郎	竜田　邦明	細川　誠二郎

副題

授業概要　有機化学Iの理解を前提として、有機化合物の構造と反応について体系的に講義する。有機化学IIでは、アルデヒドとケトン、カルボン酸、カルボニル化合物、アルコールやエーテル、アミン、フェノール、糖質、アミノ酸、脂質などに関して構造と性質ならびに特徴的な反応について講義する。本講義は応用化学演習IIIと連動して講義を行う。

シラバス

（ 前 半 ）　担 当 者: 竜 田

(1)有機II　4月07日(火)　講義説明、講義:19章、20章、21章
(2)有機II　4月14日(火)　講義:19章、20章、21章
I演 習　4月20日(月)　演習1:(19から21章)＋講義:19章、20章、21章
(3)有機II　4月21日(火)　講義:19章、20章、21章
(4)有機II　4月28日(火)　講義:19章、20章、21章
II演 習　5月11日(月)　演習2:(19から21章)
(5)有機II　5月12日(火)　講義:22章、23章
(6)有機II　5月19日(火)　講義:22章、23章
III演 習　5月25日(月)　演習3:(22章、23章)
(7)有機II　5月26日(火)　講義:22章、23章

（ 後 半 ）　担 当 者: 細 川、 桐 村

(8)有機II　6月02日(火)　講義:17章、18章
(9)有機II　6月09日(火)　中間試験:(前半19から23章に相当:50点配当)
(10)有機II　6月16日(火)　講義:17章、18章
IV演 習　6月22日(月)　演習4:(17章、18章)
(11)有機II　6月23日(火)　講義:17章、18章
(12)有機II　6月30日(火)　講義:18章
V演 習　7月06日(月)　演習5:(17章、18章)
(13)有機II　7月07日(火)　講義:24章
VI演 習　7月13日(月)　演習6:(24章)
(14)有機II　7月14日(火)　講義:24章
----　[試験期間中]　前期末試験:(後半17章,18章、24章に相当:50点配当)

教科書

参考文献　McMurry "Organic Chemistry 7th ed."

評価方法　・有機化学IIの成績評価:中間試験(50点)、前期末試験(50点)の総合成績で決定するが、両方(2回)の試験を受験していなければ単位は与えない。
・応用化学基礎演習IIIの成績評価:有機化学IIの演習と物理化学Iの演習(配点は1:1)の合計点を基礎成績とする。

備考　・火曜日の講義と中間試験は同じ教室(56号館102教室)で行う。
・演習1から3は履修者全員56号館102で行う。演習4から6は演習1から3の結果により、クラス分けをして行う。(場所は後日通知する)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学I		
科目キー	2804012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菊地　英一	関根　泰	

副題

授業概要　物理化学は物質の性質や化学変化などの種々の現象を理解、推定するために必要な基本的な学問領域のひとつである。本講義は学科設置の物理化学関連科目の導入として、物理化学の位置づけを理解し、その理解に必要な数学的知識を確認した後、熱力学、化学平衡論および反応速度論の基礎について学ぶ。本講義は応用化学演習Ⅲと連動して講義を行う。

シラバス
1回目　基礎事項のおさらい
2回目　熱力学の基礎　気体の性質
3回目　熱力学の基礎　第一法則など
4回目　熱力学の基礎　第二法則について
5回目　熱力学の基礎　第二法則の応用と方法論
6回目　熱力学の基礎総括と発展
7回目　熱力学の基礎に関する中間テスト
8回目　気体分子運動論のおさらい
9回目　反応速度論の基礎　反応速度式とは
10回目　反応速度論の基礎　反応次数について
11回目　反応速度論の基礎　連鎖反応など
12回目　反応速度論の基礎　複雑な反応について
13回目　反応速度論の基礎総括と発展
14回目　熱力学・反応速度論の総復習
15回目　おもに反応速度論の基礎に関する期末テスト（一部に熱力学も含む）

教科書　アトキンス　物理化学第8版　日本語版　（第6版でも良い）上下
上下両方を、物理化学?の授業にて使いますので、必ず両方準備ください。

参考文献　マッカーリ・サイモン　物理化学　下巻

評価方法　毎回の出席＋ミニテスト、中間試験（6月上旬頃）、期末試験（7月末）

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分析化学II		
科目キー	2804012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	逢坂　哲彌　　松方　正彦　　門間　聰之		

副題

授業概要　化学研究において大きな役割を示す機器分析の中で、無機化合物で主に用いられる基本的機器分析を取り扱う。前半では、X線回折分析について、回折現象と結晶構造の両面から解説する。また、原子吸光分析や蛍光X線についても取り扱う。後半では、透過型電子顕微鏡、操作型電子顕微鏡、各種表面分析、各種電気化学的測定法について取り扱い、原理、装置構成、ならびにデータの解釈について概説する。

シラバス
1X線の発生と回折現象
2空間群（1） 2次元格子から3次元格子への拡張
3空間群（2） 結晶系
4X線回折
5EXAFS, XANES, 中性子線回折
6クロマトグラフィー
7試験および解説
8電子をプローブとする分析手法の原理
9透過型電子顕微鏡, LEED
10走査型電子顕微鏡, EDX
11表面分析　AES、XPS　他
12表面を観る　STM,AFM
13各種電気化学的測定法（1）定常法
14各種電気化学的測定法（2）非定常法
15試験および解説

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学基礎演習III		
科目キー	2804012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	桐村　光太郎 細川　誠二郎	竜田　邦明	関根　泰

副題

授業概要　有機化学II及び物理化学Iの内容について、これら2つの講義科目と連動して、演習を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学基礎実験		
科目キー	2804012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	酒井　清孝 山本　健一郎	平沢　泉	小堀　深

副題

授業概要　将来、多くの者は化学工業をはじめ種々の工業プロセスの設計・操作・開発に携わることになる。その際、化学工学の基礎概念を十分把握し理解せねばならない。ここでは、化学工学Iで学んだ化学工学の基礎概念を実験的に修得することを目的に

シラバス

(1) 層流と乱流に関する実験
(2) 同上、データ解析
(3) 熱交換器の実験
(4) 同上、データ解析
(5) 透析実験
(6) 同上、データ解析、討論
(7) オリフィス流量計に関する実験
(8) 同上、データ解析
(9) 配管系の圧損失に関する実験
(10) 同上、データ解析
(11) 単蒸留
(12) 同上、データ解析
(13) 考察・討論
(14) プレゼンテーション
(15) 実験の進め方

教科書　化学工学実験室編　化学工学基礎実験

参考文献　実験に際して、適宜紹介する。

評価方法　レポート75%、出席25%

備考　レポートの提出は、期限を厳守すること。

【担当教員連絡先等】
小堀　深(kohori@waseda.jp)、平沢　泉、酒井　清孝

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機・分析化学実験II		
科目キー	2804012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	逢坂　哲彌 菅原　義之	松方　正彦 門間　聰之	黒田　一幸

副題

授業概要　分析化学I及び分析化学IIで学んだ応用化学分野で重要な機器分析の中で、基本的な項目を取り上げ、原理、サンプル調整法、測定技術、装置構成、ならびにデータの解釈について学ぶ。項目としては、ICP発光分光分析、原子吸光分析、紫外・可視吸光光度分析、NMR分析、クロマトグラフィを取り上げる。あわせてランバートベールの法則、フランク−コンドン則についても学ぶ。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学II		
科目キー	2804012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松方　正彦	本間　敬之	

副題

授業概要　物理化学Iで学んだ熱力学と化学反応速度論にもとづいて、さまざまな物理化学的現象を定量的に理解することを目的に講義する。内容としては、物質の状態を支配する相平衡の考え方、イオンの挙動を中心とした溶液論、化学電池と電極反応を中心とした平衡電気化学、物質の移動現象や電解質溶液の性質を取り扱う分子運動論、液—液、液—固、気—固といった異相界面における現象とその取り扱いなどを取り上げる。本講義は応用化学演習IVと連動して講義を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学II		
科目キー	2804012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	平沢 泉	小堀 深	

副題

授業概要　本講義では反応工学を扱う。工業的に用いられている多くの反応装置内で起こる流動、物質移動、伝熱といった現象を数学的に解き、反応装置の至適設計を修得する。実社会の反応装置では総括反応速度が化学反応速度に等しくない場合が多々ある。このとき、化学工学的手法により、適切な運転操作や装置設計を行えるよう、理解を深める。本講では反応機構および反応速度によって反応系の特性を解析し、物質および熱の移動速度論を使い、各種反応装置の操作特性と設計法について講述する。応用化学基礎演習IVと連動して講義を行う。

シラバス
第　1回　オリエンテーション（担当：小堀）
第　2回　反応工学の意義：化学工学と工業化学の架け橋、化学反応に物理現象を考慮する（担当：小堀）
第　3回　化学反応と反応装置：化学反応の分類、反応装置の分類（担当：小堀）
第　4回　反応速度式：反応速度の定義、反応次数、反応速度定数、反応速度の温度依存性（担当：小堀）
第　5回　反応器設計の基礎式：量論関係、空間時間、空間速度、平均滞留時間（担当：小堀）
第　6回　反応速度解析法：積分法、微分法（担当：小堀）
第　7回　具体的な反応装置設計：代数的解法、図解法、数値解法（担当：小堀）
第　8回　回分反応器の設計基本式（担当：小堀）
第　9回　連続槽型反応器の設計基本式（担当：小堀）
第10回　管型反応器の設計基本式（担当：小堀）
第11回　連続槽型反応器の直列接続と管型反応器の類似性（担当：小堀）
第12回　不均一反応：不均一反応の概念、律速段階（担当：小堀）
第13回　拡散と反応が逐次的に起こる場合：生体肺における酸素移動の解析（担当：小堀）
第14回　拡散と反応が同時に起こる場合：ミジンコの飼いかた（担当：小堀）
第15回　学力考査および解説（担当：小堀）

教科書　酒井清孝ほか：21世紀の化学シリーズ14 ”化学工学”、朝倉書店

参考文献　橋本健治：改訂版”反応工学”、培風館

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物化学		
科目キー	2804012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	桐村　光太郎	木野　邦器	

副題

授業概要　生命とは何かということ、さらに生命現象の根底にある素晴らしい機能を化学の視点から探究する学問が生物化学である。生命に関する理解は応用化学の研究の展開に必須で、生物化学工業（バイオインダストリー）の基礎でもある。本講義では、生体あるいは生命の理解に必要な生体物質の構造や機能について化学の視点から解説する。前半では、水、アミノ酸・ペプチド、タンパク質、ビタミンなど、後半では、糖質、脂質、核酸（DNAやRNA）などについて系統的に解説し、化学的構造と細胞内の反応や生命現象との関連性について講義する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学基礎演習IV		
科目キー	2804012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菊地　英一 本間　敬之	松方　正彦 小堀　深	平沢　泉

副題

授業概要　物理化学II及び化学工学IIの内容について、これら2つの講義科目と連動して、演習を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機化学実験		
科目キー	2804012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	清水　功雄 小柳津　研一	桐村　光太郎 細川　誠二郎	竜田　邦明

副題　桂皮酸類の合成

授業概要　有機化学I及び有機化学IIの講義で学んだ有機化合物の構造、反応および合成を、本実験を通じてその理解を深め、活きた知識として活用できるようにすることを目的とする。有機化学実験の基本操作を習得すると共に、有機化合物の安全な取扱い、安全な操作および環境問題への対応についても学ぶ。同時に、分析化学Iで学んだクロマトグラフィー、赤外吸収スペクトル、核磁気共鳴スペクトルなどの機器分析法についても理解を深め、これらを利用した有機化合物の同定法を習得する。

シラバス

回　内容

1. ガイダンス・内容講義・安全教育・機器分析解析法
2. 有機構造解析演習
3. Wittig試薬の調整（1）
4. Wittig試薬の調整（2）
5. Wittig反応（1）
6. Wittig反応（2）
7. カラムクロマトグラフィー（1）
8. カラムクロマトグラフィー（2）
9. エステルの加水分解（1）
10. エステルの加水分解（2）
11. 物性測定（1）
12. 物性測定（2）
13. スペクトル解析（1）
14. スペクトル解析（2）
15. 学力考査

教科書　指導書を配布

参考文献

評価方法　平常点、プレレポート、レポート、試験

備考　実験中は、常に白衣、安全眼鏡を着用すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学実験I		
科目キー	2804012012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	松方　正彦 本間　敬之	桐村　光太郎	菅原　義之

副題

授業概要　分析化学I及び分析化学IIで学んだ応用化学分野で重要な機器分析の中で、アドバンスな項目を取り上げ、原理、サンプル調整法、測定技術、装置構成、ならびにデータの解釈について学ぶ。項目としては、pH測定、イオン選択性電極、、電解分析、蛍光X線分析、X線回折分析、赤外及びラマン分光分析、呈色反応を利用した定量分析を行う。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学総論		
科目キー	2804013001		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一	酒井　清孝	逢坂　哲彌
	松方　正彦	西出　宏之	黒田　一幸
	清水　功雄	桐村　光太郎	菅原　義之
	平沢　泉	本間　敬之	竜田　邦明

副題

授業概要　応用化学が展開している様々な先端領域の中から特に重要な領域を選択し、基本となる原理、研究開発の歴史と状況、実用化と将来展望などについて、実例を交えながら概説する。

シラバス　回日付担当者内容

1．4月10日　4時限逢坂化学を基礎とした新しい融合研究
2．4月17日　3時限西出高分子化学の現在とこれから
3．4月17日　4時限清水未来を拓く有機合成化学
4．4月24日　3時限平沢進展する化学工学：希望の結晶を自在に創製する先進晶析工学
5．4月24日　4時限松方触媒化学の現在とこれから（1）
6．5月08日　3時限木野生物化学の現在とこれから（1）
7．5月08日　4時限木野生物化学の現在とこれから（2）
8．5月15日　3時限桐村グリーンバイオテクノロジーの展開
9．5月15日　4時限小柳津高分子の設計と新しい機能
10．5月22日　3時限関根触媒化学の現在とこれから（2）
11．5月22日　4時限黒田無機化学の現在とこれから（2）
12．5月29日　3時限細川天然物合成と新反応の発見
13．5月29日　4時限酒井進展する医用化学工学：人工膜を用いて人の命を助ける
14．6月05日　3時限本間固液界面の微細構造・反応の解析・制御と応用
15．6月19日　4時限小柳津機能性高分子化学の挑戦
16．6月26日　3時限菅原無機化学の現在とこれから（2）
17．6月26日　4時限菅原無機化学の現在とこれから（3）
18．7月03日　3時限門間化学状態・エネルギーと電気信号・エネルギーの直接変換
19．7月03日　4時限松方触媒化学の現在とこれから（3）
20．7月10日　3時限吉見（芝浦工大）アメフラシの神経と人工神経の開発
21．7月10日　4時限藤本（慶応大）生体に働きかけるナノバイオマテリアル
22．7月17日　3時限学外講師
23．7月17日　4時限竜田自然に学び、自然を超す

教科書

参考文献

評価方法　毎回授業の終わりに課題を提出する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学実験		
科目キー	2804013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一 松方　正彦 本間　敬之 関根　泰	菊地　英一 桐村　光太郎 本間　敬之	松方　正彦 桐村　光太郎 関根　泰

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物理化学実験		
科目キー	2804013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一 松方　正彦 本間　敬之 関根　泰	菊地　英一 桐村　光太郎 本間　敬之	松方　正彦 桐村　光太郎 関根　泰

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学実験II		
科目キー	2804013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	西出　宏之 木野　邦器	西出　宏之 小堀　深	木野　邦器 小堀　深

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用化学専門演習		
科目キー	2804013004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一	酒井　清孝	逢坂　哲彌
	松方　正彦	西出　宏之	黒田　一幸
	清水　功雄	桐村　光太郎	菅原　義之
	平沢　泉	本間　敬之	竜田　邦明

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	工業化学実験I		
科目キー	2804013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	工業化学実験I		
科目キー	2804013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	工業化学実験I		
科目キー	2804013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之	菊地　英一 逢坂　哲彌 松方　正彦 西出　宏之

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学実験I		
科目キー	2804013006		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	酒井　清孝 平沢　泉 小堀　深 山本　健一郎	酒井　清孝 平沢　泉 小堀　深 山本　健一郎	酒井　清孝 平沢　泉 小堀　深 山本　健一郎

副題　ものづくりのための発展化学工学実験

授業概要　化学工学基礎実験を発展させ、化学工学1,2で学習した考え方を、ものづくりのためのプロセスや操作にどのように生かしているかを、以下の実験、解析、および考察を通して、理解をする。

シラバス

1. 次元解析に関する実験
2. 次元解析に関する、解析・考察
3. 充填塔の圧損失に関する実験
4. 充填塔の圧損失に関する解析・考察
5. 灌液充填塔の圧損失に関する実験
6. 灌液充填塔の圧損失に関する解析・考察
7. 充填層の伝熱に関する実験
8. 充填層の伝熱に関する解析・考察
9. 蒸留塔に関する実験
10. 蒸留塔に関する解析・考察
11. 吸着装置に関する実験
12. 吸着装置に関する解析・考察
13. 攪拌層の混合特性に関する実験
14. 攪拌層の混合特性に関する解析・考察
15. タンク系の流動に関する実験・解析・考察

教科書　化学工学実験指導書

参考文献　化学工学　各教科書
化学工学便覧
分離プロセス工学の基礎　朝倉書店

評価方法　レポート　提出
提出期限を厳守すること。たとえ、再提出でも、その期限を厳守すること。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	振動と波動		
科目キー	2804022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	勝藤　拓郎		

副題

授業概要　昨年学んだ力学C,基礎電磁気学に引き続き、振動、波動を中心に学ぶ。振動、波動は、物理学において基本的な現象であり、化学の分野においても、分子振動、光と物質の相互作用等あらゆるところに顔を出す。したがってこれを学んでおくことは、今後の専門の勉強のために有用である。授業の最後には、物質中の電磁場についても触れる。

シラバス
第1回(4/7)： 単振動の復習
第2回(4/14)： 連成振動とモード
第3回(4/21)： 多自由度の振動と分散関係
第4回(4/28)： 連続体の振動と
第5回(5/12)： 波動方程式
第6回(5/19)： フーリエ級数
第7回(5/25)： 進行波とフーリエ級数
第8回(6/2)： 波束
第9回(6/9)： 微分形のマックスウェルの方程式
第10回(6/16)： 電磁波
第11回(6/23)： 物質中の電場
第12回(6/30)： 物質中の磁場と電磁波
第13回(7/7)： 誘電率のミクロなモデル
第14回(7/14)： 3次元の波
第15回(日程は別途指示)： 学力考査および解説

教科書　教科書ではないが、参考書として「振動・波動」 小形正男 裳華房テキストシリーズ　を推薦する。

参考文献

評価方法　定期試験、レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学史・化学技術史		
科目キー	2804022002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　功雄		

副題

授業概要　われわれの生活はたくさんの物質によって成り立っている。このような物質社会の基盤をなすものが化学産業である。化学産業が一朝一夕に出来上がったのではなく、現代に至るまでいくつかのパラダイム変化を経ている。技術は時代とともに廃れ、時代に即した新たな技術を生みだす。本講義では過去から現代までの科学技術発展の軌跡を検証しながら、ダイナミックな化学技術開発と産業社会の構築を理解する。また、現代の化学技術自身も大きく急速に変化しつつあり、この講義が単なる歴史的知識にとどまらず、化学技術開発や未来への産業の動向を重視する。すなわち、現在、発展するバイオテクノロジーやナノテクノロジーなどの先端技術を横断的に理解し、資源・環境・エネルギー問題、技術経営、科学技術の社会性や政策などにも踏み込み、その概略を把握する。
本講座を通じ、講義による知識獲得のみならず、受講生のコミュニケーション能力や社会全体を見る目を養うことを目指す。講義にはあらかじめ課題を果たし、教室では演習やディスカッション、学生の調査報告を重視する。これらをファシリテートしながら大学における知識獲得法について習得する。

シラバス　I部　物質観の変遷と化学革命 "Science Liberalism"の時代

11月05日
第1回　はじめに:科学技術とは何か？　Why研究開発？

11月09日(月4補講日)
第2回　物質観の変遷:アリストテレス的世界観の終焉、最後の錬金術師ニュートンまで。近代自然科学の成立。

11月16日(月4補講日)
第3回　化学革命:物質観の変遷／アルケミーから化学革命まで

II部　近代化学工業の成立と20世紀の物質社会の形成 "Science Capitalism"の時代へ

11月23日(月4補講日)
第4回　近代化学工業のはじまり:酸とアルカリの工業とその発達

11月30日(月4補講日)
第5回　近代有機化学工業の発達:その発達の要因

12月03日
第6回　第二の産業革命:鋼鉄と電気エネルギー

12月07日(月4補講日)
第7回　化学工学の発展 (エンジニアリングの意義):非可逆性、反応論と触媒化学(ハーバー法)

12月10日
第8回　研究開発型企業の成立、大企業の形成:高分子の発見と石油化学の時代 (オットー内燃機関、フォードの大量生産)、研究開発とカーネギー、ロックフェラーの成功、研究開発型企業デュポンの挑戦

III部　21世紀の応用化学 "Chemistry, Central Solution as Sustainable Technology for Sustainable Society"

12月21日(月4補講日)
第9回　元素の化学から量子の化学へ

1月07日(月4補講日)
第10回　第三の波:物質社会から循環型社会へ、グリーンケミストリー、レイチェルカーソン、水俣病、京都議定書

1月18日(月4補講日)
第11回　ゲノムの時代と化学技術、参考書:DNA　ワトソン　バイオテクノロジーとは？

1月21日
第12回　科学技術の価値(モードII型の研究開発)、:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学史・化学技術史		
科目キー	2804022002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

化学からナノテクへ 、分化から融合へ機能物質

第13回　人間と化学
CourseN@vilによる学習

第14回　社会と化学：科学技術社会は安定しうるか？
CourseN@vilによる学習

第15回　総括（考査と説明）

教科書

参考文献　「物質理論の探求」岩波新書970、島尾永康著
「化学の技術史」 加藤邦興　オーム社 （この本はとてもいい本だが、現在手に入らないので、関連箇所のコピーを配布する）

評価方法　授業の参加活動および試験を総合的に評価する。

備考　2009年度は都合により、11月第2週より開講する。
補講スロット（月４）を利用したスケジュールのため、講義スケジュールに留意のこと。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	反応有機化学		
科目キー	2804022003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柴田　高範		

副題

授業概要　″数多く報告されている有機合成反応をより深く理解し、その応用性、一般性について把握するためには、その反応機構をなるべく少数に類型化し、それらを“感覚的″″に身につけることが、最も有効な方法である。
本講義では、反応性中間体の構造、生成法、反応性(特にその立体化学)について下記の項目ごとに講義する。

シラバス
第1回　オリエンテーション
第2回　カルボアニオン(1)
第3回　カルボアニオン(2)
第4回　アート錯体
第5回　理解度確認テストならびにその解説
第6回　カルボカチオン(1)
第7回　カルボカチオン(2)
第8回　カルボカチオン(3)
第9回　理解度確認テストならびにその解説
第10回　カルボラジカル(1)
第11回　カルボラジカル(2)
第12回　カルベン
第13回　理解度確認テストならびにその解説
第14回　遷移金属を用いた合成反応
第15回　学力考査および解説

教科書　Organic Chemistry by Nick Greeves, Stuart Warren, Peter Wothers, Jonathan Clayden (ISDN 0-19-850346-6)

参考文献

評価方法　3回の理解度確認テスト、ならびに最終試験より総合的に評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機固体化学		
科目キー	2804023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	黒田　一幸		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生理活性物質化学		
科目キー	2804023002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄	竜田　邦明	細川　誠二郎

副題

授業概要　生理活性物質の中でももっとも重要なものの一つは、医薬品である。医薬品合成は有機合成化学の集大成であり、環境に優しく安全で経済的でなければならない。その工業的合成法は、人間の叡知の賜物である。本講義では、医薬品開発を含めた生理活性物質の合成と生体への作用機序を詳述する。

シラバス

回数（担当）	日付（水曜3時限）	内容
1.（清水）	4月8日	有機合成の役割と方法（有機合成化学序論）
2.（清水）	4月15日	ステロイドの機能と合成（1）
3.（清水）	4月22日	ステロイドの機能と合成（2）
4.（清水）	4月29日	ステロイドの機能と合成（3）
5.（竜田・細川）	5月13日	医薬品の作用機序と合成（1）
6.（竜田・細川）	5月20日	医薬品の作用機序と合成（2）
7.（竜田・細川）	5月27日	医薬品の作用機序と合成（3）
8.（竜田・細川）	6月3日	バイオテクノロジーの中の有機化学
9.（竜田・細川）	6月10日	生理活性物質の合成（1）
10.（竜田・細川）	6月17日	生理活性物質の合成（2）
11.（竜田・細川）	6月24日	生理活性物質の合成（3）
12.（竜田・細川）	7月1日	医薬品の開発（1）
13.（竜田・細川）	7月8日	医薬品の開発（2）
14.（竜田・細川）	7月15日	医薬品の開発（3）
15. 学力考査		

教科書

参考文献

評価方法　試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気化学		
科目キー	2804023003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	逢坂　哲彌	本間　敬之	門間　聰之

副題

授業概要　電気化学系は主として固−液界面における二次元反応系であり，バルク反応系にない多くの特徴を有している．本講義は電気化学の入門編として，まず電気化学反応系の特徴，電極反応速度論および電気化学的計測法などの基礎的内容を講述する．続いて電気化学プロセスを主体とした応用分野である電池，エレクトロニクスデバイス，機能薄膜，化学センサーなどについて，社会で実際に応用されている例，さらにそれらの研究開発分野について概説する．

シラバス
1ガイダンス，電気化学反応系の概略と特徴
2平衡電位とネルンスト式
3電極反応速度論
4電気化学測定法（1）
5電気化学測定法（2）
6電気化学とナノテクノロジー
7理解度の確認および質問，解説
8電気化学の応用：概要，表面処理と機能薄膜形成
9機能薄膜1　回路実装材料
10機能薄膜2　磁性薄膜と磁気記録デバイス
11電気化学デバイスと化学エネルギー電気エネルギー変換
12電気化学デバイス1　センサー
13電気化学デバイス2燃料電池
14電気化学デバイス3　電池とキャパシタ
15理解度の確認および質問，解説

教科書
材料電気化学」− 先端材料のための新化学11 −
日本化学会編，逢坂哲彌，太田健一郎，松永　是共著
朝倉書店

参考文献
「電子移動の化学　− 電気化学入門」
− 化学者のための基礎講座11 −
日本化学会編，渡辺　正，中林誠一郎共著

評価方法　定期試験・演習・平常点

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	触媒化学		
科目キー	2804023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一	松方　正彦	関根　泰

副題

授業概要　触媒化学は現代の化学および工業化学を志す者にとっては是非とも心得ていなければならぬものである．化学工業における新しい技術の開発はその反応に有効な新触媒の発見によっているといってよい．本講義は触媒の物性・構造と作用機構に関する基礎的な知識をあたえ，これを基にして一般的な触媒の分類，作用，反応，製法などを述べ，工業的利用の概要を解説するものである．

シラバス

第1回目（菊地）
「触媒とは」 定義，触媒反応サイクル，触媒反応の熱力学と動力学，機能の三要素（第１章，1.1，1.4）
第2回目（菊地）
反応分子の活性化，化学吸着（均等解離，配位，不均等解離）（第１章，1.2，第8章，8.1）
第3回目（菊地）
化学プロセスにおける触媒の役割（第１章，1.3，第２章）
第4回目（松方）
不均一系触媒反応，物理的過程と化学的過程，化学吸着，L-HおよびR-E機構（第８章）
第5回目（松方）
遷移金属の触媒作用，担持金属触媒（第３章　脱硫、水蒸気改質、C1化学、第４章　水素の関与する反応）
第6回目（松方）
典型元素の触媒作用，固体酸触媒（第３章　クラッキング、第４章　酸触媒反応）
第7回目（松方）
二元機能触媒（接触改質、第３章3.4)、酸化反応、脱水素反応（第４章　4.2）
第8回目（松方）
E-factor, Atomic Utilization,アンモニア脱硝（６章　6.1-6.4　アンモニア脱硝）
第9回目（関根）
自動車排ガス浄化触媒（第６章6.4.2）
第10回目（関根）
間接環境触媒とグリーンケミストリー（第６章6.5）
第11回目（関根）
触媒のデザインと調製（第７章）
第12回目（関根）
キャラクタリゼーション（第９章）
第13回目・14回目（各教員）
触媒の起訴から応用までの復習
第15回目　定期試験

教科書　新しい触媒化学　第二版　三共出版

参考文献

評価方法　定期試験を中心に、出欠などを加味する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	高分子化学		
科目キー	2804023005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	西出　宏之	小柳津　研一	

副題

授業概要　身の回りにあるプラスティック、繊維、ゴム、また先端技術を支える機能性有機材料はともに、高分子から構成されている、これら高分子化合物について、化学構造、物理化学、性質・機能、重合反応の基礎を講義する。生体高分子も含め具体例を挙げながら、どのように高分子量体が規則正しく合成できるのか？なぜ優れた性質や機能が発現することができるのか？高分子の化学構造と関連づけて説明する。

シラバス
(1) 高分子とは　その特徴と意義、高分子の構造
(2) 熱的性質　ガラス転移と耐熱性
(3) 力学的性質　ゴム弾性
(4) 固体弾性、液体粘性、粘弾性
(5) 高分子鎖のかたち　高分子溶液、鎖の広がり、分子量分布、分子量測定
(6) 中間試験
(7) 高分子の機能(1)　導電性
(8) 高分子の機能(2)　感光性、光電子機能
(9) 高分子の機能(3)　生体適合性
(10) 天然高分子　糖質・核酸・タンパク質、高次構造に基づく機能
(11) 高分子物質の化学　高分子ゲル、架橋による機能発現
(12) 高分子の合成(1)　重縮合と重付加
(13) 高分子の合成(2)　付加重合、重縮合
(14) 高分子の高性能化と未来
(15) 学習進捗と理解度の確認

教科書　必要に応じプリント等を配布する。
参考書：高分子の科学（土田英俊著、培風館）

参考文献

評価方法　中間試験、定期試験により評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	酵素工学		
科目キー	2804023006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	桐村　光太郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	医用化学工学		
科目キー	2804023007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	酒井　清孝	小堀　深	山本　健一郎

副題

授業概要

本講義では、医工学という境界領域を解説する。医工学とは生命科学と工学の融合であるが、生命科学に対して工学的な原理や解析手法を応用することが、この分野の発展において高い必然性を持つ。例えば生命科学の対象である人間を工学の代表的分野である化学工学の視点で見ると、「生体は小型の化学プラントである」といえる。特に腎臓と肺においては、膜を介した血液の浄化、酸素の吸収、炭酸ガスの放散が行われており、化学工学の物質移動論により、その機能を深く理解することができる。このように、本講義では人体の諸機能について具体的数値を挙げながら解剖学的知識からモデル化まで詳細に述べる。

講義の詳細な流れとしては、まず医学の歴史の概要を簡潔に述べた後、人体の基本的な定量的特徴ならびに血液の物理的、流動的特性について述べる。ついで、人体における体液の流れ、熱伝達、物質移動のモデル化について考察する。工学的原理（例えばベルヌーイの式）、相関法（例えば無次元数の使用）、数式によるモデル化には一貫して重点を置く。さらに生物学的な膜の全般、特に腎臓や肺における物質移動については詳細に説明する。これらに関しては、基礎的な拡散現象について定量化とモデル化を行う。最後に、医工学の二大発明である、人工腎臓と人工肺について詳細に検討する。

シラバス

第　1回　オリエンテーション（担当：小堀）
第　2回　人体概説（担当：小堀）
第　3回　医学と工学（担当：小堀）
第　4回　骨格系の化学工学（担当：小堀）
第　5回　血液と体液の化学工学（担当：小堀）
第　6回　循環器系の化学工学（担当：小堀）
第　7回　呼吸器系の化学工学（担当：小堀）
第　8回　泌尿器系の化学工学（担当：小堀）
第　9回　消化器系の化学工学（担当：小堀）
第10回　ヒトの腎臓（担当：小堀）
第11回　人工腎臓装置（担当：小堀）
第12回　ヒトの肺（担当：小堀）
第13回　人工肺装置（担当：小堀）
第14回　バイオセンサ（担当：小堀）
第15回　学力考査および解説（担当：小堀）

教科書

参考文献

参考書：吉田文武，酒井清孝，化学工学と人工臓器、第2版4刷、共立出版、2004
参考書：酒井清孝編著、21世紀の化学シリーズ14、化学工学、朝倉書店、2005

評価方法

定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境調和プロセス工学		
科目キー	2804023008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	平沢　泉		

副題　環境配慮型ものづくり、物質循環型排水処理

授業概要　環境に配慮したプロセス、システムの設計概念について、環境の問題を理解しながら、応用化学の学問、特に化学工学がどのように使えるかを様々な対象分野で講述する。

シラバス

(1)地球環境問題の現状
温暖化、酸性雨、砂漠化、資源の枯渇、ゴミ埋め立て処分場、
(2)ミクロ汚染に関する現状認識と将来
(3)地球環境問題とリサイクル
(4)
を理解した上で、なぜリサイクルをしなければいけないのかを講義
(5)水資源確保のための分離プロセス
(6)上水道関連の分離プロセスおよび高度分離プロセス、美味しい水ー安全な水
(7)水環境保全のための分離プロセス
(8)下水、排水処理のための分離プロセスおよび高度処理
(9)古紙リサイクルのための分離プロセス
(10)森林資源確保のための、パルプの循環プロセス、他インクが消せる紙
(11)環境浄化のための化学工学基礎
(12)移動速度論（物質拡散）、固体の扱いを伴う単位操作（晶析、沈降、濾過、脱水、集塵、乾燥）
(13)環境浄化のための分離工学
単位操作を分離工学的に考えたら、どうなるか
(14)分離工学その1：膜分離，クロマトグラフィー
バイオ生産物の分離精製への利用
(15)分離工学その2：吸着

教科書　日本化学会編：リサイクルのための化学　大日本図書

副読本。分離プロセス工学の基礎　朝倉書店

参考文献

評価方法　試験　70%、 レオート、出席　30%

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機金属化学		
科目キー	2804023009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄	菅原　義之	

副題

授業概要　有機金属化学は、金属と有機基が金属−炭素間の直接結合で結びついた化合物を扱う化学である。これらの化合物（有機金属化合物）は錯体触媒や有機合成試薬としてだけでなく、無機材料の出発物質としても有用である。本講義では、有機金属化合物を中心に、関連する化合物も取り上げながら、基礎と応用について概説する。

シラバス
第1回（4月6日） 有機金属化合物とは（金属ー炭素結合、18電子則など）
第2回（4月13日） 有機金属化合物の基本反応（酸化的付加反応、還元的脱離反応、挿入、β —脱離など）
第3回（4月20日） π —オレフィン錯体の反応 （ワッカー法を含む）
第4回（4月27日） 金属カルボニルの反応 （オキソ法、モンサント法を含む）
第5回（5月11日） オリゴメリゼーションと重合反応（チーグラー触媒を含む）
第6回（5月18日） カルベン錯体の反応とオレフィンメタセシス反応
第7回（5月25日） 中間試験　教室　55号館N棟1階大会議室
第8回（6月1日） 配位子の化学
第9回（6月8日） Siの化学1 ヒドロシリル化・Siを含むポリマー
第10回（6月15日） Siの化学2　Siを含むポリマー2・ゾル−ゲル法
第11回（6月22日） Bの化学 ヒドロボーレーション・ボラン
第12回（6月29日） Alの化学 アルキルアルミニウム
第13回（7月6日） Pの化学 ポリフォスファゼン・リンを含むオキソ酸
第14回（7月13日） 無機固体表面と有機化合物の反応
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説

教科書　なし

参考文献　山本明夫 著、有機金属化学?基礎と応用?、裳華房化学選書（ISBN978-4-7853-3301-0）.

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	無機工業化学		
科目キー	2804023010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	逢坂　哲彌 本間　敬之	黒田　一幸 島村　清史	菅原　義之

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	精密合成化学		
科目キー	2804023011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄	竜田　邦明	細川　誠二郎

副題

授業概要　複雑な化合物を合成するための戦略および方法論を講述する。

シラバス
第1回　9月29日(火1　竜田・細川)　官能基の保護
第2回　10月06日(火1　竜田・細川)　保護基の化学
第3回　10月13日(火1　竜田・細川)　位置選択的反応
第4回　10月20日(火1　竜田・細川)　立体特異的反応
第5回　10月27日(火1　竜田・細川)　芳香族化合物の合成
第6回　11月10日(火1　竜田・細川)　酸化反応
第7回　11月12日(木1　補講スロット　清水)　不斉水素化反応 (56-102教室)
第8回　11月17日(火1　竜田・細川)　糖を使う合成
第9回　11月19日(木1　補講スロット　清水)　不斉酸化反応 (56-102教室)
第10回　11月26日(木1　補講スロット　清水)　カップリング反応 (56-102教室)
第11回　12月01日(火1　清水)　Heck反応
第12回　12月08日(火1　清水)　πアリルパラジウム反応
第13回　1月14日(木1　補講スロット　清水)　金属触媒を活用する精密有機合成1 (56-102教室)
第14回　1月19日(火1　清水)　有機金属触媒を活用する精密有機合成2(トピックス)
第15回　日程後日指定　学力考査および解説　(清水)

教科書　J. McMurry "Organic Chemistry".

参考文献

評価方法　授業(出席および演習)、レポートおよび試験を果たし、総合的に評価を行う。

備考　3年までの有機化学1(清水・西出)、有機化学2(竜田・細川・桐村)、生理活性物質化学(竜田・細川・清水)、有機金属化学(清水・菅原)を履修していることが望ましい。
3年後期の機器分析演習を併履修することが望ましい。

本年度は、木曜1限に補講スロットに4回の講義を行うので日程を確認のこと。
木曜1限の講義は56?102教室で行います。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	バイオプロセス		
科目キー	2804023012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	木野　邦器		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	有機工業化学		
科目キー	2804023013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	菊地　英一 細川　誠二郎	西出　宏之	竜田　邦明

副題

授業概要

回数	月　日	担当部門	担当者	講義内容
1.	10月02日	有機合成化学	細川	色素、機能性物質
2.	10月09日	有機合成化学	細川	香料、食品添加物
3.	10月16日	有機合成化学	竜田	医薬品の工業化学(1)
4.	10月23日	有機合成化学	竜田	医薬品の工業化学(2)
5.	10月30日	有機合成化学	竜田	学力考査および解説
6.	11月13日	触媒	菊地	化石資源と有機化学工業
7.	11月20日	触媒	菊地	石油精製と石油化学
8.	11月27日	触媒	菊地	エネルギー利用と環境
9.	12月04日	触媒	関根	エネルギーの資源問題
10.	12月11日	触媒	菊地	学力考査および解説
11.	12月18日	高分子	西出	汎用高分子の工業化学
12.	1月08日	高分子	西出	機能性高分子材料(1)
13.	1月15日	高分子	西出	機能性高分子材料(2)
14.	1月22日	高分子	西出	環境と高分子
15.		高分子	西出	学力考査および解説

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	機器分析演習		
科目キー	2804023014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	清水　功雄	細川　誠二郎	

副題　有機合成のための機器分析

授業概要　生理活性物質や機能性物質の創成を実施する有機合成化学の研究では、実際、純粋な化合物を精製する過程と 化合物の構造を明らかにすること が重要である。とくに物質科学において研究のスピードを決めるのは、自分が手にした化合物の構造を解明する作業である場合が多い。本講座では、卒業研究などで有機化合物の合成や構造決定に際し、その物質の構造解析に最も威力を示すNMRを中心に、有機化合物の構造解析を実際に行い、機器分析の原理とスペクトルチャートの解析法を修得する。授業には、理論だけでなく実際のスペクトルチャートを解析しながら、有機化合物の立体化学の同定と反応機構の解明など、実験と理論の関係を理解するための実践的な演習を中心に進める。将来、有機合成を修得しようとする学生の基礎力を高めることを目的とする。

シラバス

回　日付 （担当）　内容
1．9/28 （細川）　1H NMRスペクトルチャートの解析 ： ケミカルシフト
2．10/5 （細川）　1H NMRスペクトルチャートの解析 ： スピン-スピン結合（1）
3．10/12 （細川）　1H NMRスペクトルチャートの解析 ： スピン-スピン結合（2）
4．10/19 （細川）　1H NMRスペクトルチャートの解析 ： J値の活用（1）
5．10/26 （細川）　1H NMRスペクトルチャートの解析 ： J値の活用（2）
6．11/2 （細川）　1H NMRスペクトルチャートの解析 ： nOe、デカップリング
7．11/9 （清水）　1H NMRによる有機化合物の構造決定（1）
8．11/16 （清水）　1H NMRによる有機化合物の構造決定（2）
9．11/23 （清水）　1H NMRによる有機化合物の構造決定（3）
10．11/30 （清水）　1H NMRと13C NMRによる有機化合物の構造決定 (1)
11．12/7 (清水）　1H NMRと13C NMRによる有機化合物の構造決定 (2)
12．12/14 （細川）　13C NMRスペクトルチャートの解析
13．12/21 （清水）　機器分析と有機合成化学(1)
14．1/18 （清水）　機器分析と有機合成化学(2)
15．日程後日指定　学力考査および解説

教科書　教科書は用いない。必要により、プリントを配布する。

参考文献　Silverstein「有機化合物のスペクトルによる同定法」（東京化学同人）

評価方法　演習および試験を実施し、総合的に判断する。

備考　3年までの有機化学1（清水・西出）、有機化学2（竜田・細川・桐村）、生理活性物質化学（竜田・細川・清水）を履修していること、および3年後期の精密合成化学（清水・竜田・細川）を併修することが望ましい。

CourseN@viを通じて、あらかじめ課題を与える場合がるので留意のこと。

変更：11月9日と12月14日の担当者を入れ替えました。（9月12日）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	化学工学熱力学		
科目キー	2804023016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	栃木　勝己		

副題

授業概要　(09/10/26更新)

日程:
11月21日
12月19日
1月16日　各2-4時限

教室:53-204

持ち物:電卓またはノートPC

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プロセス設計		
科目キー	2804023017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	橋谷　元由		

副題

授業概要　プロセス設計に関する仕事の流れ、および仕事の概要を理解させ、プロピレン-プロパン分離蒸留塔、その周りのベッセル、熱交換器のデザイン、ポンプの仕様の決定などを行うことにより、プロセスデザインの仕事がどのようなものであるかを理解させる。これによって、化学工学で学んだ知識が実際のプラントデザインでどのように使われるかを理解させるとともにデザイン能力をつけさせる。。また、これらの機器のコスト、運転費、建設費などを計算することによって、経済性についても言及する。

シラバス

第1回?. プラント建設プロジェクト遂行
　プラントとは
　プラント建設における業務の流れ
第2回?. プロセス設計
　プロセス設計前の必要情報
　プロセス設計の概要
第3回?. プロセス設計の基礎
　　1. 蒸気になりやすいとは
　　2. 沸点
　　3. 気液平衡
第4回　　4. 蒸留
5.物質収支
6.熱収支
第5回?. プロセス設計例題計算（プロピレン-プロパン分離蒸留塔）
1. デザインベース
2. 蒸留塔の物質収支
第6回　　3. 蒸留塔の操作圧力、操作温度の決定
4. 最小理論段の計算
5. 最小還流比の算出
6. 還流比の決定
第7回7. 実段と原料供給段の決定
8. 蒸留塔周りの熱収支計算
第8回9. 蒸留塔のインターナルの構造
10. 蒸留塔の塔径の算出
第9回11. 蒸留塔の高さ決定
12. 蒸留塔まわりのPFD
13. 蒸留塔の概略図（スケルトン）作成
14. レシーバーのサイズ決定
第10回15. 熱交換器の設計
（1)コンデンサー
（2)リボイラー
（3)ボトムズクーラー
第11回16. .ポンプ仕様の決定
（1)ポンプ仕様の計算
（2)モーターの選定
第12回17. ユーテリティコストの算出と運転費算出
18. 機器コストの算出
（1)塔
（2)塔インターナル
（3)熱交換器
（4)ベッセル
第13回19. プラント総建設費と経済評価
（1)プラントコスト
（2)プラント総建設費
（3)プラントの経済評価
第14回20. フィードと塔底液の熱交換による熱回収
21. 熱回収した場合としない場合との経済評価
第15回学力考査

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プロセス設計		
科目キー	2804023017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

教科書　教科書は使用せず、プリントを配布。

参考文献　化学工学会編「実用化学装置設計ガイド」(工業調査会)
Web教材　科学技術振興機構「Webラーニングプラザ」化学、化学工学基礎「蒸留」
http://weblearningplaza.jst.go.jp/

評価方法　定期試験・平常点・
課題・宿題点40%、最終試験60%を原則として総合的に評価。
出席率が60%以下の者は最終試験の受験資格は無いものとする。

備考　化学工学I、IIを履修済であること
課題・宿題は必ず提出すること
できるだけ復習し、わからないところは次の授業で質問し、理解すること

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プロセス開発		
科目キー	2804023018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	上田　義一		

副題

授業概要　プロセスとは物理学・化学・化学工学などを基礎として工業規模で物質に物理的・化学的な状態変化を与える操作のことであるが、実際のプロセスではシステム工学的なエンジニアリングに基づく伝熱工学・機械工学・電気電子工学的な知識が必要となる。本講義ではプロセス操作の基本の一つである伝熱工学を取り上げ、主として熱伝導に対する理解を深める。なお教室における講義では数式による一次元熱伝導（非定常、熱源のある場合も含む）、コンピュータールームにおける授業（11月19日から1月21日）では二次元熱伝導問題に対する数値解法を取り扱う。特に後者は熱絶縁部を積極的に取り込んだものであるが、プログラミングの知識が無くてもエクセルで解くことが可能であり、一般化すれば複雑な形状をした物体内の二次元ポテンシャル分布（拡散における濃度分布や電気における電圧分布）の数値的算出法や偏微分方程式の数値解法に対する初歩的な知見も与えるものである。

シラバス
第　1回（10月　1日）　アンケート調査、オリエンテーション
第　2回（10月　8日）　一次元熱伝導方程式の誘導と特殊な場合の非定常解
第　3回（10月15日）　一次元定常解の導出（熱源の有る場合、多層構造の場合）
第　4回（10月29日）　周囲に対し熱放散の有る場合の取り扱い
第　5回（11月　5日）　円筒座標系における熱伝導
第　6回（11月12日）　エクセルを用いた数値解法の原理と注意事項
第　7回（11月19日）　簡単な一次元・二次元熱伝導問題の数値解法
第　8回（11月26日）　流れを妨害するように熱絶縁部を取り込んだ二次元熱伝導問題の数値解法（シンプルな考え方による）
第　9回（12月　3日）　複雑な断面形状に対する数値解法（シンプルな考え方による）
第10回（12月10日）　複雑な断面形状に対する数値解法・・・その1（より精度の高い考え方による）
第11回（12月17日）　複雑な断面形状に対する数値解法・・・その2（より精度の高い考え方による）
第12回（　1月　7日）　熱のわき出しや吸い込みが有る場合
第13回（　1月14日）　一次元非定常の数値解法
第14回（　1月21日）　円筒座標系に対する数値解法の例
第15回（　1月28日）　授業理解の確認を行う

教科書　特には使用せず、必要な資料はその都度配布する。

参考文献

評価方法　出席状況と宿題

備考
（1）授業開始から10分経過後の入・退室および授業中の携帯電話の使用を禁止する。
（2）微積分や微分方程式に関する初歩的な事項は習得済みとする。
（3）特に宿題は授業の一部（演習問題）として、また成績評価の基本資料として重視する。
（4）宿題はほぼ毎週出すが、必ずしも全員同じものではない。なお提出された宿題は評価後にそれぞれコメントを付けて一週間後に返却する。
ただし内容の悪いものに対しては再提出を命ずる。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境化学工学		
科目キー	2804023019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	稲森　悠平		

副題

授業概要　生態処理工学および生態工学技術としてのバイオ・エコエンジニアリングを、地域特性、流域特性を踏まえて適正に導入する上での窒素・リン除去型浄化槽、水素回収クリーンエネルギー化効率技術、バイオマスのコンポスト化技術、傾斜型土壌浄化技術、フロート型水耕栽培浄化技術等の要素技術の概要、処理機能等、ならびにシステム化を図るための応用化技術を習得するべく授業を実施する。授業内容としては、富栄養化対策・地球温暖化対策・バイオマスリサイクル対策等の必要とされる流域特性，地域特性を踏まえたバイオ・エコエンジニアリングのシステム技術の適正配置が極めて重要であることを踏まえ、このような実用技術に対し，基礎的な点も含め生物処理工学，生態工学を組み合わせたバイオエコエシステムの実際の環境再生への適用方策について理解すべく行う。

シラバス
第 1回 (11/14・1限)環境浄化に貢献する微生物とバイオ・エコエンジニリングへの応用
第 2回 (11/14・1限)環境浄化における微生物の役割と水処理・水質浄化への応用
第 3回 (11/14・2限)栄養塩の点源・面源発生源とAGPによる評価・栄養塩負荷量の評価
第 4回 (11/14・3限)点源・面源・湖内対策による富栄養化防止
第 5回 (11/14・4限)微小動物による藻類制御・富栄養化防止対策の立案
第 6回 (12/5・1限)地球温暖化とその制御・温室効果ガス発生防止対策の立案
第 7回 (12/5・1限)活性汚泥法における微生物とその制御・応用
第 8回 (12/5・2限)生物膜法における微生物とその制御・応用
第 9回 (12/5・3限)包括固定化法における微生物とその制御・応用
第10回 (12/5・4限)養塩類除去における微生物とその制御・応用
第11回 (12/12・1限)生ごみディスポーザ活用排水処理における微生物とその制御・応用
第12回 (12/12・1限)生態工学植栽・土壌浄化法におけるCH4、N2O対策と微生物制御・応用
第13回 (12/12・2限)微生物による水素・メタンクリーンエネルギー等回収資源化・応用
第14回 (12/12・3限)オゾン・マイクロバブル等生物物理化学的手法導入汚泥減容化・応用
第15回 (12/12・4限)バイオエコシステムのアジア地域への展開手法と環境再生戦略造り

※全日程　教室52-201

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分光化学		
科目キー	2804023020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	古川　行夫		

副題　電子状態を取り扱い理論と実験

授業概要　物質の構造，性質，反応は電子の状態で決まるので，電子状態を理解することは化学において重要である．本講義では，電子状態を記述する理論と実験法（分光学）について解説する．光の吸収と発光に関する実例を通して，電子状態に関する理解を深める．卒業研究で物理化学分野の研究を行う学生には，是非，履修してほしい．

シラバス

1．はじめに　分光学が化学に果たす役割

2．分子の電子状態

3．分子振動

4．光の吸収

5．発光

6．群論の基礎

7．分光学と群論

8．許容遷移と振電遷移

9．問題演習

10．いろいろな電子遷移

11．光励起ダイナミックス

12．光化学

13．アインシュタイン係数

14．エネルギー・電子移動

15．電子分光

教科書　なし

参考文献　長倉三郎編，光と分子，上・下，岩波講座現代化学12，岩波書店．
中崎昌雄著，分子の対称と群論，東京化学同人．

評価方法　定期試験

備考　担当教員古川連絡先
E-mail: furukawa@waseda.jp

関連URL:　http://www.chem.waseda.ac.jp/furukawa/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	構造有機化学		
科目キー	2804023021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	鹿又　宣弘		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学ゼミナールI		
科目キー	2805011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	武岡　真司	竜田　邦明	朝日　透
	常田　聡	青井　議輝	武田　直也
	竹山　春子	仙波　憲太郎	合田　亘人
	大島　登志男	井上　貴文	南沢　享

副題

授業概要　生命医科学科の１年生を対象とした必修科目であり，生命医科学がどのような分野を扱っていく学問であるかを学習する。また，本科目では，学習や研究についての取り組み方，生命倫理・技術者倫理の考え方，研究に関する専門情報の収集法，研究の発表方法なども教示するとともに，全体を通じて研究者としての基本姿勢を修得させることも目的としている。

シラバス
1)4月8日(南沢) オリエンテーション
2)4月15日(竜田) 自然に学び、自然を超す － くすりを創る
3)4月22日(合田) 生体における酸素利用の功罪
4)4月29日(昭和の日)(南沢) 心血管研究の現在・過去・未来
5)5月13日(仙波) がんと遺伝子
6)5月20日(武田) バイオマテリアル−遺伝子治療分野を中心に−
7)5月27日(大島) 遺伝病と生命科学
8)6月3日(武岡) 救急患者を救う先端バイオマテリアルとは？
9)6月10日(常田) 生命・生態システム工学の創生
10)6月17日(竹山) 生命科学におけるバイオ計測ツール開発
11)6月24日(池田) 未定
12)7月1日(朝日) キラルサイエンスと生命科学
13)7月8日　　(井上) 大学生活・私論7月8日
14)7月15日(石田) HIVよもやま話/(青井) 未知なる微生物の生態
15)(日程後日連絡)理解度の確認と解説

教科書　なし

参考文献　講義担当教官が、講義時に随時配布する。

評価方法　平常点・各回毎に課題・レポートをを提出、以上の総合評価による。理由なき欠席が3回以上の場合、単位は取得できない。

備考　講義終了後あるいは別日程で小グループのチュートリアルを予定。詳細は、第1回講義にて説明し、その後は担当教員に確認すること。
E−mail：sminamis@waseda.jp
講義日程の変更の可能性があった場合、随時Course N@viにて連絡をする。

担当連絡先
南沢　享　sminamis@waseda.jp

関連URL:　生命医科学科・専攻ホームページ
http://www.biomed.sci.waseda.ac.j

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	解剖・組織学実習		
科目キー	2805011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	合田　亘人 南沢　享	大島　登志男 池田　栄二	井上　貴文

副題

授業概要

本科目では、系統講義・実習を通じて、生物（主にヒト・マウス）の構造を学習し、構造に基づく機能への理解を深める。生命体の機能を維持してゆくために、如何に人体を含む生物の構造が巧妙に設計されるかを学び、さらに自らの目を通して、感じとることが何よりも重要である。各講義では、トートラ人体解剖生理学に基づき、臓器別の解剖・組織学を系統的に学ぶ。原則的に1コマ目は講義、2コマ目をコンピューター上での演習、組織像のスケッチ等を行う。実習では、1）光学顕微鏡を用いて、組織標本を学生自らが観察し、記録をとる、2）他大学で行われている人体解剖実習に参加することを予定している。

シラバス

1）9月30日（南沢）オリエンテェーション、PC操作ガイド等
2）10月7日（南沢）1. 人体の構成、4. 組織、5. 外皮系、6. 骨格系、7. 関節、8. 筋系
3）10月14日（合田）19.消化器系
4）10月28日解剖学実習見学/顕微鏡実習　（南沢・井上・大島・合田）
5）11月4日（池田）18.呼吸器系
6）11月11日解剖学実習見学/顕微鏡実習　（南沢・井上・大島・合田）
7）11月18日（大島）10.中枢神経系、脊髄神経と脳神経
8）11月25日解剖学実習見学/顕微鏡実習　（南沢・井上・大島・合田）
9）12月2日（南沢）15.心臓、16.血管と循環
10）12月9日（井上）11.自律神経系、12.体性感覚と特殊感覚
11）12月16日（大島）内分泌系
12）1月6日（合田）23.生殖器系、24.発達と遺伝
13）1月13日（井上）21.泌尿器系
14）1月20日組織解剖学演習（南沢・井上・大島・合田）
15）（日程後日連絡）　理解の確認と解説

教科書

トートラ　人体解剖生理学・原書7版　丸善

参考文献

Faiz & Moffat著　山内昭雄監訳，一目でわかる解剖学　メディカル・サイエンス・インターナショナル
マウス解剖イラストレイテッド　秀潤社
現代の組織学　改訂第3版版　山田安正　金原出版
ウォルフガング・クーネル　／坂井建雄　カラーアトラス顕微鏡写真で見る細胞組織学
メディカル・サイエンス・インターナショナル

評価方法

1）各回の講義毎に提出される課題のレポート
2）組織標本観察スケッチ
3）定期試験

以上により総合的に評価する。本科目は実験科目に相当するため、理由なき欠席が3回以上ある場合は、定期試験を受験できない。
成績不良者には追試験・追加レポート等を課す。

備考

本講義は63号館端末室で行うため、場所を間違わないように注意すること。
Course N@viを使って、レポートの提出や連絡を行うので、Course N@viの使い方を把握しておくこと。
組織標本観察の実施場所については、改めてCourse N@viで通知する。

【担当教員連絡先等】
南沢　享（sminamis@waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	応用数学		
科目キー	2805012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	朝日　透	常田　聡	

副題

授業概要　研究者・技術者にとって、その成果を確実に情報伝達する手段の一つは、数字で表現することである。生体内や自然界での生命現象を数式化するばかりでなく、生物機能を使ったバイオプロセスや人工臓器の設計を行ううえで、数学は有用な道具となる。本講義では、応用数学の基礎、データの処理、現象を数式化する意義を理解させるとともに、身近に起こる現象を整理して数式化する一般的な方法、およびその数式（微分方程式）の解き方を学習する。まず、物質・熱・運動量の移動現象や収支を表す常微分方程式や偏微分方程式の立て方、および境界条件・初期条件の設定の仕方を学習する。つぎに、反応を伴う場合の式の立て方や反応律速と拡散律速の違いを学習する。さらに、ラプラス変換や数値解析による解法を学習する。最終目標は、各現象の予測や制御ができるようになることである。

シラバス
4/10　イントロダクション：応用数学とは（朝日）
4/17　ベクトル、テンソル：座標変換と物理量（朝日）
4/24　逆空間・逆格子の基礎と応用（朝日）
5/8　計測・統計・誤差（朝日）
5/15　フーリエ変換の基礎（朝日）
5/22　フーリエ変換の応用：現象の解析（朝日）
5/29　移動現象・反応現象を数式化する意義（常田）
6/5　分子運動に基づく移動現象の法則，拡散係数，アナロジー，無次元数（常田）
6/12　学習した内容の点検と確認（朝日・常田）
6/19　いろいろな移動現象に対する収支式の立て方，境界条件（常田）
6/26　反応を伴う移動現象に関する偏微分方程式の立て方・解き方（常田）
7/3　非定常拡散の速度論1：拡散および反応の時定数（常田）
7/10　非定常拡散の速度論2：ラプラス変換による解法1（常田）
7/17　非定常拡散の速度論3：ラプラス変換による解法2（常田）
7/24　学力考査とその解説（朝日・常田）

教科書

参考文献　「道具としての微分方程式」（斎藤恭一著，講談社ブルーバックス）

評価方法　平常点，演習，レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命系物理化学		
科目キー	2805012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武岡　真司	武田　直也	

副題

授業概要　生命科学を理解し研究を行う上で必要な物理化学の内容を学習する。前半では、気体の状態方程式、熱力学の第1、第2、第3法則からエンタルピー、エントロピー、自由エネルギーの概念を理解する。また、溶液の熱力学として溶解挙動や活量を学ぶ。更に酸-塩基平衡から生命科学実験でよく使用する緩衝液やpHの原理を理解できるようにする。

後半では、原子の構造と各種スペクトルや周期表との関係を理解する。また、分子運動と拡散現象などからタンパク質や遺伝子の分離精製の原理や反応速度や遷移状態理論から反応論を学び酵素反応の基礎が理解できるようにする。

シラバス　第　1回（4月　7日）オリエンテーション
第　2回（4月14日）総論：記号やグラフの‘読み方’、標準状態、「マクロ（経験論、理想気体）な視点」と「ミクロ（分子論、分子間相互作用、実在気体）な視点」の相違と特徴を理解する。
第　3回（4月21日）熱力学I：熱力学の第1法則、熱と仕事の関係、エンタルピー、内部エネルギーの概念、状態変化によるエンタルピーや内部エネルギーの状態関数の変化を式で表現する。
第　4回（4月28日）熱力学II：熱力学の第2、第3法則、エントロピーの概念、ギブスならびにヘルムホルツの自由エネルギーを理解する。
第　5回（5月12日）溶液の熱力学：化学ポテンシャル、部分モル量、活量について理解する。溶液の熱力学的変化（溶質が溶液の熱力学的性質に及ぼす影響；蒸気圧効果、凝固点降下）を式で記述する。
第　6回（5月19日）化学平衡：酸と塩基を中心とした化学平衡論（pKa、pKb）。生体反応における水分子の重要性を理解する。
第　7回（5月26日）平衡電気化学：イオンの水和など電解質溶液を中心題材として電気化学の基礎を述べる（pHなど）。ネルンストの式などを理解する。
第　8回（6月　2日）学力考査および解説
第　9回（6月　9日）分子運動：：気体の分子運動、液体の分子運動、伝導率や拡散に関する基本から、拡散方程式を理解する。
第10回（6月16日）反応速度論I：反応速度の定義の理解と測定方法を概観する。反応速度式から反応物や生成物の濃度を予測する。
第11回（6月23日）反応速度論II：連鎖反応、重合反応、触媒作用について理解する。また、溶液中の反応の律速過程を知る。
第12回（6月30日）電磁スペクトル：励起の種類とエネルギーについて俯瞰する。
第13回（7月　7日）原子構造I：1電子原子のシュレーディンガー方程式の成立ちから原子軌道を理解する。
第14回（7月14日）原子構造II：多電子原子の構造と周期表を解説する。原子スペクトルを項の記号と選択律から説明する。
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　アトキンス物理化学（第8版）上下
P.W.ATKINS著　千原秀明，中村亘男訳
東京化学同人

参考文献

評価方法　平常点と2回の定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命系物性学		
科目キー	2805012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	朝日　透	中西　卓也	杉山　敦史

副題

授業概要　生体物質の物理的・化学的性質の理解のために不可欠な基礎知識を幅広く習得し、生命科学の研究に資する物性科学の基礎力を養う。外場による物質の応答や反応を記述する物質方程式や極性物理量と軸性物理量の相違の理解を通して、生命現象の理解に必要な数学、力学、電磁気学、量子論、結晶学、界面科学の基礎を学ぶ。生体物質を研究対象とした界面科学やキラル科学の研究例も紹介し、本講義で習得したことが最前線の研究に如何に役立つかを適宜明示して講義を進める。

シラバス

1. 4月 9日 オリエンテーション
2. 4月16日 物質の状態と構造I:物質の対称性　朝日
3. 4月23日 物質の状態と構造II:結晶学の基礎　朝日
4. 5月 7日 刺激と応答:感受率　朝日
5. 5月14日 凝集物質の構造解析　朝日
6. 5月21日 物質の電磁気学的性質I:誘電性　朝日
7. 5月28日 物質の電磁気学的性質II:磁性　朝日
8. 6月 4日 授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。
9. 6月11日 バイオと磁気　杉山
10. 6月18日 生体物質と界面科学　中西
11. 6月25日 医用材料と界面科学　中西
12. 7月 2日 物質の光学的性質:電磁波と物質の相互作用　朝日
13. 7月 9日 構造解析の基礎:回折法と分光法　朝日
14. 7月16日 キラル光学と磁気光学　朝日
15. 7月23日 学力考査と解説

教科書

参考文献　結晶光学: 応用物理学会懇談会編
結晶物理工学: 小川智哉著
Physical Properties in Crystals: J. F. Nye

評価方法　平常点（出席点、授業へのかかわり方）、レポート、プレゼンテーション、学力考査。
＊欠席が多いと学力考査の結果にかかわらず単位を認定しない。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生理学I		
科目キー	2805012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大島　登志男	井上　貴文	

副題

授業概要　生理学は生体における様々なレベルでの知識を統合することにより個体や生命現象を理解する学問で、複雑な生命機能を要素に分解して理解してゆく生化学・分子生物学と生命科学の両輪をなしている。授業形態は講義中心で生理学Iでは細胞生理学と腎機能および内分泌調節について学ぶ。細胞生理学では生理学を理解する上で必要な細胞レベルの知識を習得する。腎機能では体液恒常性の要となっている腎について学ぶ。内分泌調節ではホルモンの機能、生殖、環境に対する生体の調節機構を扱う。なお、生理学の体系で重要な柱である神経生理学は3年次の「神経科学」で学ぶ。

シラバス

第1回 4月8日（井上）
　オリエンテーション
第2回 4月15日（井上）
　細胞膜の輸送機能（第4章）
第3回 4月22日（井上）
　シグナル伝達の原理（第5章）
第4回 4月29日（井上）
　体のホルモン調節（第12章）
　　下垂体
第5回 5月13日（井上）
　体のホルモン調節（第12章）
　　副腎
第6回 5月20日（井上）
　男性および女性生殖器系の生理学（第20章）
第7回 5月27日（井上）
　受精、妊娠および授乳（第21章）
第8回 6月3日（井上）
　血糖値の調節（第27章）
第9回 6月10日（百溪）
　体のホルモン調節（第12章）
　　甲状腺
第10回 6月17日（井上）
　成長の調節（第23章）
　エネルギー平衡と代謝率の調節（第24章）
第11回 6月24日（井上）
　腎と内部環境の調節（第17章）
第12回 7月1日（井上）
　腎と内部環境の調節（第17章）
第13回 7月8日（井上）
　体液量の調節（第28章）
第14回 7月15日（井上）
　酸塩基平衡（第29章）
第15回（日程別途指示）（井上）
　学力考査及び解説

教科書　「オックスフォード 生理学 原書2版」Pocock & Richards著 丸善株式会社 2004年

参考文献

評価方法　平常点と定期試験

備考　担当：井上 貴文（inoue.t@waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生理学I		
科目キー	2805012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生理学II		
科目キー	2805012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	南沢　享 池田　康夫	佐藤　元彦	谷口　英樹

副題

授業概要　生理学は生体における様々なレベル(細胞・組織・器官)での知識を統合することにより、個体や生命現象を理解する学問である。複雑な生命機能を要素に分解して理解してゆく生化学・分子生物学と対比され、生命科学の基本的両輪の一輪をなしている。生理学IIでは、講義中心の授業形態をとる。内容は血液循環呼吸器系、消化器系の機能とその制御機構の基本について学ぶ。

シラバス
1)（南沢）オリエンテェーション・9月28日
2)（南沢）筋肉（7章）・10月5日
3)（南沢）心臓と循環(1)（15章）・10月12日
4)（南沢）心臓と循環(2)（15章）・10月19日
5)（南沢）心臓と循環(3)（15章）・10月26日
6)（南沢）心臓と循環(4)（15章）・11月2日
7)（谷口）消化器系(1)（18章）・11月9日
8)（谷口）消化器系(2)（18章）・11月16日
9)（南沢）運動の生理学（25章）・11月23日
10)（池田）血液の作用（13章）・11月30日
11)（南沢）臨床生理学（1）（31章）・12月7日
12)（南沢）臨床生理学（2）（31章）・12月14日
13)（佐藤）呼吸器系(1)（16章）・12月21日
14)（佐藤）呼吸器系(2)（16章）・1月18日
15) 理解の確認と解説（日程は未定、ただし14回講義終了後）

教科書　オックスフォード　生理学　原著2版　丸善　（生理Ｉと共通）

参考文献
トートラ人体解剖生理学（原書第7版）丸善
Berne/Levy カラー基本生理学　西村書店
ギャノング生理学 （第22版）丸善
標準生理学（第6版）本郷 利憲他編　医学書院

評価方法
1)「生理学II」試験を後期講義終了後、定期試験期間中に行う。
　試験成績が合格に到らない場合は、2月中に追試験を施行する。
　成績評価は、その結果に基づいて、判定する。ただし下記の要件が勘案される。
2）講義の出席は成績評価に加える。欠席(30分以上の遅刻は欠席）は試験成績より減点する。
3）毎回の講義において、課題を与える（Course N@vi上にアップする）。課題が未提出の場合、試験成績より減点する。

備考
主担当：南沢　享
不明な点がある場合は、南沢までメールで連絡のこと：sminamis@waseda.jp

シラバス（授業計画）中の順番はあくまで予定で、変更のある場合はCourse N@viにて連絡をする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎微生物学		
科目キー	2805012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	常田　聡	竹山　春子	横田　恭子

副題　微生物の働きやヒトとの関わりに関して知る

授業概要　自然環境からヒトの体内環境まで多くの場に様々な微生物が生息していることを理解する。これらの微生物研究の歴史、微生物の構造、観察方法、分類、増殖、保存に関して学ぶ。さらにはそれらの分離方法や生産する各種生理活性物質、工業的利用、環境修復への利用なの応用に関しても学ぶ。

シラバス
1回目：10月1日【竹山】イントロダクション・微生物学の歴史と発展を解説します。
2回目：10月8日【常田】原核生物と真核生物の細胞構造とそれぞれの部位の機能について解説します。
3回目：10月15日【竹山】微生物の増殖と様々な分離方法，培養方法について解説します。
4回目：10月29日【竹山】生命の起源と進化，微生物の様々な分類法と系統解析について解説します。進化・分類
5回目：11月5日【竹山】糖質、アミノ酸の代謝を中心に微生物の代謝について解説します。
6回目：11月12日【竹山】光合成の仕組みに関して解説します。
7回目：11月19日【竹山】原核生物の分子生物学について真核生物との違いを考慮して解説します。
8回目：11月26日【常田】遺伝子工学技術の歴史，およびクローニング技術の詳細について解説します。
9回目：12月3日【横田】ウイルスを中心に病原微生物と感染症について概説します。
10回目：12月10日【常田】環境浄化（特に水処理）に関わる微生物の機能や生態について解説します。環境微生物・環境浄化（水処理）
11回目：12月17日【竹山】地球環境，生体内における微生物の生態および機能について解説します。
12回目：1月7日【竹山】発酵や醸造を中心に微生物を利用した食品の製造について解説します。
13回目：1月14【竹山】化学産業や医療分野における微生物を利用した技術について解説します。
14回目：1月21日【竹山】総合解説
15回目：1月28日【竹山】学力考査と解説

教科書

参考文献　ベーシックマスター「微生物学」
堀越弘毅　監修，井上明　編
オーム社

評価方法　出席点、学期末試験

備考　連絡教員：竹山春子　haruko-takeyama@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生化学		
科目キー	2805012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	合田　亘人	涌井　昌俊	松田　七美

副題

授業概要　複雑な生命現象を維持するためには、生体を構成する様々な成分の絶え間ない生合成と分解が必要である。生物、特にヒトにおけるこれらの生体内化学反応の特性とその制御メカニズムについて理解する。また各臓器特有の代謝制御を理解した上で、個体レベルでの代謝動態の統合的理解を深める。授業形態は講義中心で、生体内における主要な代謝経路である糖代謝、生体酸化、アミノ酸代謝、脂質代謝、核酸代謝などに分けて授業を行う。

シラバス

1.　9月29日　　タンパク質　合田
2.　10月6日　　酵素の反応速度論　合田
3.　10月13日　　代謝についての序論、解糖　涌井
4.　10月20日　　糖新生、ペントースリン酸経路（グリコーゲン代謝以外）　涌井
5.　10月27日　　グリコーゲン代謝と糖代謝の調節機構　合田
6.　11月10日　　クエン酸回路　合田
7.　11月17日　　電子伝達とATP合成　松田
8.　11月24日　　脂肪酸分解と合成　合田
9.　12月1日　　学力考査・まとめ　合田
10.　12月8日　　コレステロール合成と脂質輸送　合田
11. 12月15日　　アミノ酸代謝　合田
12. 12月22日　　ヌクレオチド代謝　合田
13. 1月12日　　代謝の統合　合田
14. 1月19日　　コースナビにて学習した内容の点検と確認　合田
15. 日程別途指示　学力考査と解説　合田

教科書　ホートン生化学　東京化学同人 第4版

参考文献　ヴォート基礎生化学　東京化学同人 第2版

評価方法　平常点
筆記試験
遅刻は30分までとし、2回の遅刻で1回の欠席扱いとする。4回以上欠席した場合には成績の評価は行わない。

備考　E-mail：goda@waseda.jp
講義日程の変更の可能性があることに注意して下さい。

教科書は必ず購入して下さい。
生協での販売価格はインターネット上での価格よりも安いと言うことです。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生体分子工学I		
科目キー	2805012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	朝日　透	武田　直也	

副題

授業概要　【講義概要】
分子論的アプローチから物質をとらえ、電子の軌道概念に基づいて原子・分子の構造、化学結合、分子間力ならびに有機反応の基礎を学ぶ。続いて、核酸、タンパク質、糖など生体高分子を中心に取り上げ、基本ユニットであるモノマーの立体構造から高分子の高次構造の形成において、化学結合や分子間力がどのように寄与しているかを理解する。さらに、IR、NMR、蛍光など構造解析やイメージングのための分光学的手法や分析手法についても講義する。

シラバス　【シラバス(授業計画)】
第1回9月30日　総論、量子論導入
第2回10月7日　量子化学基礎
第3回10月14日　原子軌道論
第4回10月28日　分子軌道論
第5回11月4日　化学結合論
第6回11月11日　分子間相互作用
第7回11月18日　理解度の確認と解説
第8回11月25日　光化学基礎
第9回　12月2日　分光分析法I
第10回12月9日　分光分析法II
第11回12月16日　磁気分光法
第12回　1月6日　質量分析法
第13回　1月13日　分子構造解析I
第14回　1月20日　分子構造解析II
第15回　日程別途指示　学力考査とその解説

教科書　指定しない。

参考文献　【参考書・資料等】
「マッカーリ・サイモン 物理化学 分子論的アプローチ（上）」
出版社: 東京化学同人
著者: D.A.McQuarrie・J.D.Simon著、千原秀昭・江口太郎・齋藤一弥訳

「アトキンス物理化学（上）(下）第8版」
出版社: 東京化学同人
著者: P.W.Atkins著、千原秀昭・中村亘男訳

評価方法　【成績評価方法】
平常点、中間演習、定期試験
出席回数が少ない場合は、試験の結果に関わらず単位を認定しないことがある。

備考　【備考】
受講生の理解の助けなどを考慮して、授業計画や講義内容を変更することがある。

担当:朝日、武田
E-mail:tasahi@waseda.jp、ntakeda@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学実験I		
科目キー	2805012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武岡　真司 朝日　透 竹山　春子 南沢　享	武岡　真司 常田　聡 竹山　春子	朝日　透 常田　聡 南沢　享

副題

授業概要　本実験は第二年次の学生を対象とし、分子細胞生物学I、生命系物理化学、生命系物性学、生理学Iにおいて学習した内容について、実験を通じて理解を深める。生体分子の基本的な取扱いを習得する。また、解剖・組織学実習を受け、具体的に動物を用いた実験も行う。(1)安全講習、(2)遺伝子操作I、II、III、(3)タンパク質操作、(4)酵素反応解析、(5)有機合成と同定、(6)界面物性解析、(7)動物の扱い、(8)生理学実験

シラバス　班によってスケジュールが異なるので，詳細は4/8のガイダンス時に説明するが，ここでは一例を挙げる。

4月8日（水） ガイダンス
4月9日（木） 実験内容に関する事前調査1
4月15日（水） 基本操作トレーニング1
4月16日（木） 基本操作トレーニング2
4月22日（水） 基本操作トレーニング3
4月23日（木） 基本操作トレーニング4
4月29日（木） 実験内容に関する事前調査2
5月7日（木） X線回折に関する講義（朝日）
5月13日（水） 遺伝子操作1
5月14日（木） 遺伝子操作1
5月20日（水） 遺伝子操作2
5月21日（木） 遺伝子操作2
5月27日（水） 遺伝子操作3
5月28日（木） 遺伝子操作3
6月 3日（水） タンパク質操作1
6月 4日（木） タンパク質操作1
6月10日（水） 動物の扱い
6月11日（木） 動物の扱い
6月17日（水） 生理学実験
6月18日（木） 生理学実験
6月24日（水） 有機合成
6月25日（木） 有機合成
7月 1日（水） 実験の自己点検
7月 2日（木） NMR, IR
7月 8日（水） X線回折
7月 9日（木） 実験の自己点検
7月15日（水） 酵素反応解析
7月16日（木） 酵素反応解析

教科書

参考文献

評価方法　出席点，レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学実験I		
科目キー	2805012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武岡　真司 朝日　透 竹山　春子 南沢　享	武岡　真司 常田　聡 竹山　春子	朝日　透 常田　聡 南沢　享

副題

授業概要　本実験は第二年次の学生を対象とし、分子細胞生物学I、生命系物理化学、生命系物性学、生理学Iにおいて学習した内容について、実験を通じて理解を深める。生体分子の基本的な取扱いを習得する。また、解剖・組織学実習を受け、具体的に動物を用いた実験も行う。(1)安全講習、(2)遺伝子操作I、II、III、(3)タンパク質操作、(4)酵素反応解析、(5)有機合成と同定、(6)界面物性解析、(7)動物の扱い、(8)生理学実験

シラバス　班によってスケジュールが異なるので，詳細は4/8のガイダンス時に説明するが，ここでは一例を挙げる。

4月8日（水） ガイダンス
4月9日（木） 実験内容に関する事前調査1
4月15日（水） 基本操作トレーニング1
4月16日（木） 基本操作トレーニング2
4月22日（水） 基本操作トレーニング3
4月23日（木） 基本操作トレーニング4
4月29日（木） 実験内容に関する事前調査2
5月7日（木） X線回折に関する講義（朝日）
5月13日（水） 遺伝子操作1
5月14日（木） 遺伝子操作1
5月20日（水） 遺伝子操作2
5月21日（木） 遺伝子操作2
5月27日（水） 遺伝子操作3
5月28日（木） 遺伝子操作3
6月 3日（水） タンパク質操作1
6月 4日（木） タンパク質操作1
6月10日（水） 動物の扱い
6月11日（木） 動物の扱い
6月17日（水） 生理学実験
6月18日（木） 生理学実験
6月24日（水） 有機合成
6月25日（木） 有機合成
7月 1日（水） 実験の自己点検
7月 2日（木） NMR, IR
7月 8日（水） X線回折
7月 9日（木） 実験の自己点検
7月15日（水） 酵素反応解析
7月16日（木） 酵素反応解析

教科書

参考文献

評価方法　出席点，レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子細胞生物学IA		
科目キー	2805012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武田　直也	竹山　春子	合田　亘人
	井上　貴文	尾池　雄一	佐野　元昭

副題

授業概要　生体を構成する細胞内の基本的な構造と分子について理解し、多細胞生物の形成を可能にした細胞間相互作用を生化学や遺伝子学の観点から深く理解することを目標としている。また、これまでの分子生物学の発展を支えてきた基礎的な技術と最新技術の原理およびその応用についても理解を深める。

シラバス

1. ガイダンス　4月7日　合田
2. DNAと染色体I　4月14日　竹山
3. DNAと染色体II　4月21日　竹山
4. DNAの複製機構　4月28日　武田
5. DNAの修復機構・組み換え　5月12日　武田
6. ゲノム情報の読み取りI　5月19日　佐野
7. ゲノム情報の読み取りII　5月26日　尾池
8. 学力考査・まとめ　武田
9. 遺伝子発現の調節I　6月9日　合田
10. 遺伝子発現の調節II　6月16日　合田
11. タンパク質、DNA, RNA、細胞の観察、蛍光タンパク質の種類とその応用I　6月23日　井上
12. 学力考査・まとめ　合田
13. タンパク質、DNA, RNA、細胞の観察、蛍光タンパク質の種類とその応用II　7月7日　井上
14. タンパク質、DNA, RNA、細胞の観察、蛍光タンパク質の種類とその応用III　7月14日　井上
15. 日程別途指示　学力考査と解説　合田

教科書　Molecular Biology of THE CELL Fifth Edition

参考文献　分子細胞生物学　第5版　石浦　章一　他

評価方法　平常点
筆記試験
遅刻は30分までとし、2回の遅刻で1回の欠席扱いとする。4回以上欠席した場合には成績の評価は行わない。
全ての学力考査に合格しなければ成績はつかないことに注意。

備考　E-mail：goda@waseda.jp
講義日程の変更の可能性があることに注意して下さい。

教科書は必ず購入して下さい。
生協での販売価格はインターネット上での価格よりも安いそうです。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子細胞生物学IB		
科目キー	2805012012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	武岡　真司 山梨　裕司	合田　亘人 榎森　康文	井上　貴文 涌井　昌俊

副題

授業概要　生体を構成する細胞内の基本的な構造と分子について理解し、多細胞生物の形成を可能にした細胞間相互作用を生化学や遺伝子学の観点から深く理解することを目標としている。また、これまでの分子生物学の発展を支えてきた基礎的な技術と最新技術の原理およびその応用についても理解を深める。

シラバス
1. ガイダンス　9月29日　井上
2. 膜の構造　10月6日　武岡
3. 膜輸送I　10月13日　武岡
4. 膜輸送II　10月20日　井上
5. 細胞内区画とタンパク質の選別I　10月27日　合田
6. 細胞内区画とタンパク質の選別II　11月10日　合田
7. エネルギー変換I　11月17日　涌井
8. 学力考査・まとめ　11月24日　武岡
9. エネルギー変換II　12月1日　涌井
10. 細胞間コミュニケーションI　12月8日　榎森
11. 細胞間コミュニケーションII　12月15日　合田
12. 学力考査・まとめ　12月22日　合田
13. 細胞間コミュニケーションIII　1月12日　合田
14. 細胞間コミュニケーションIV　1月19日　山梨
15. 日程別途指示　学力考査と解説　合田

教科書　Molecular Biology of THE CELL Fifth edition

参考文献　分子細胞生物学　第5版　石浦　章一　他

評価方法　平常点
筆記試験
遅刻は30分までとし、2回の遅刻で1回の欠席扱いとする。4回以上欠席した場合には成績の評価は行わない。
全ての学力考査に合格しなければ成績はつかないことに注意。

備考　E-mail：goda@waseda.jp
講義日程の変更の可能性があることに注意して下さい。

教科書は必ず購入して下さい。
生協での販売価格はインターネット上での価格よりも安いそうです。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生体分子工学II		
科目キー	2805013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武岡　真司 野田　尚宏	常田　聡	竹山　春子

副題　生体分子を変える、並べる、分ける、検出する

授業概要　生体分子を化学的に取り扱うためには、分子の構造を理解し、結合を作るための方法を学ぶ。さらに分子同士を結合させる重合により生体高分子を形成する方法や生体高分子を化学修飾する方法を理解する。ここでは、具体的な例として、生体高分子であるポリペプチドと糖類を取り扱い、生体高分子の人工的な形成の方法と化学修飾法に関する演習を行う。また、分子間に働く相互作用についてその種類と性質を理解し、包接化合物に代表されるホスト・ゲスト化学や生体膜の基本構造である両親媒性分子の二分子膜構造の形成を学びながら、生体内における分子認識、膜透過、反応について理解を深める。また、生体分子の大きさや分子間相互作用を利用して、分子を分離精製する技術を理解すると共に、生体分子の性質を利用してこれを検出する方法について学ぶ。
この講義を通して、生体分子や生体高分子に関する基本的な操作を理解し、生命医科学実験の各操作項目の習熟度を高める。

シラバス
第　1回（4月　9日）【武岡】オリエンテーション 、生体高分子、合成高分子の化学構造
第　2回（4月16日）【武岡】高分子の合成（付加重合、縮合重合）と高分子反応
第　3回（4月23日）【武岡】アミノ酸、ペプチド、タンパク質の有機化学（アミド結合、保護基の選択）、糖類の有機化学（鎖の結合、糖の修飾）、
第　4回（5月　7日）【武岡】分子間相互作用（分子間力、疎水性相互作用、水素結合、イオン結合、配位結合）とタンパク質の高次構造の形成
第　5回（5月14日）【武岡】ホスト・ゲストの化学（環状分子、超分子）、分子集合体の化学（ミセル、ベシクル、LB膜、SAM）
第　6回（5月21日）【野田】生体分子解析への蛍光の利用（蛍光分子、蛍光の原理、Q-dots、蛍光タンパク質）
第　7回（5月28日）【野田】生体分子のイメージング技術（光学顕微鏡技術、FISH法、蛍光顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡、一分子イメージング）
第　8回（6月　4日）【野田】生体分子間相互作用解析技術（蛍光偏光法、表面プラズモン共鳴（SPR）、一分子解析技術、生体分子間相互作用を利用したバイオアッセイ）
第　9回（6月11日）【竹山】塩基配列決定法（DNAシーケンサーの歴史、サンガー法、RIシーケンス及び蛍光シーケンサーの原理、次世代型高速シーケンサー）
第10回（6月18日）【竹山】免疫学的検出手法（抗原・抗体反応、モノクローナル抗体、ポリクローナル抗体、固相法、イムノアッセイ法、競合法、サンドイッチ法、ホモジニアス法、FACS適用例、免疫クロマト市販診断薬、薬物モニタリングへの応用）
第11回（6月25日）【竹山】バイオセンシング（電気化学的手法、抗体固相化、カプセル固定化、バイオセンサー、バイオチップ、医療計測）
第12回（7月　2日）【常田】生体分子の分離精製の意義およびバイオプロセスエンジニアリングの実際（組換え蛋白質の生産、発酵プロセス、バイオセパレーション）
第13回（7月　9日）【常田】生体分子の分離精製技術1（細胞破砕、ろ過、抽出、吸着、膜分離）
第14回（7月16日）【常田】生体分子の分離精製技術2（各種クロマトグラフィー、電気泳動、遠心分離、晶析）
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書

参考文献

評価方法　各回におけるレポート提出ならびに期末考査にて行う。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	発生生物学		
科目キー	2805013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　登志男 有賀　純	南沢　享 久保田　健夫	田中　英臣

副題

授業概要　生物の発生過程の基本原理とそのメカニズムを、代表的なモデル生物（ショウジョウバエ、線虫、ニワトリ、ツメガエル、ゼブラフィッシュ、マウス）の例を通じ理解する。

シラバス

第1回2009年 9月 30日　ガイダンス・発生生物学の基本原理I （大島）
第2回2009 年10月 7日　発生生物学の基本原理II ―組織の成り立ちと幹細胞（大島）
第3回2009 年10 月14日　発生生物学の基本原理III 、神経系の発生（大島）
第4回2009 年10 月28日　中胚葉の発生　（南沢）
第5回2009 年11月4日　循環器系の発生　（南沢）
第6回2009 年11 月11日　外胚葉・内胚葉の発生 （大島）
第7回2009 年11 月18日　比較発生生物学 （重谷）
第8回2009 年11 月25日　モデル生物の発生I―ニワトリ・ツメガエル（有賀）
第9回2009 年12 月2日　モデル生物の発生II―ゼブラフィッシュ （田中）
第10回2009 年12 月9日　モデル生物の発生III―マウス　（大島）
第11回2009 年12 月16日　モデル生物の発生 – ショウジョウハエ・線虫（大島）
第12回2010 年1 月6日　成長と再生　（大島）
第13回2010 年1 月13日　進化と発生　（有賀）
第14回2010 年1 月20日　発生とエピジェネティクス（久保田）
第15回（日程別途指示）　学力考査及び解説

教科書　エッセンシャル発生生物学　改訂第2版　J. Slack著、大隈典子訳
羊土社

参考文献　Principles of Development 3rd ed. Lewis Wolpert, OxfordUniv. Press
臨床心臓発生学　山岸敬幸、白石公編集、メジカルビュー社
ムーア人体発生学　医歯薬出版; 第7版版 (2007/03)
ラングマン人体発生学 第9版　メディカル・サイエンス・インターナショナル; 第9版版 (2006/1/26)

評価方法　平常点（出席と小テスト・レポート）と定期試験の成績により評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	神経科学		
科目キー	2805013004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	大島　登志男 林　隆介	井上　貴文	岡本　仁

副題

授業概要　こころと思考を司る脳の機能を解明することは生命科学のフロンティアの一つであり、多くの人の興味を惹きつけている。神経系における生命科学の様々なトピックについて理解を深める。
授業形態は講義中心で、脳・神経系の発生及び構造と機能、神経細胞の細胞生物学と分子生物学（イオンチャンネルの構造と機能、神経系に特有の分子メカニズム）、神経細胞の生理学（動作原理）、記憶・学習とシナプス可塑性、感覚系、運動系、神経疾患などの話題を扱う。

シラバス
第1回 4月10日（大島）
　オリエンテーション
　神経科学入門（第1章）
　ニューロンとグリア（第2章）
第2回 4月17日（井上）
　神経細胞の膜電位（第3,4章）
第3回 4月24日（井上）
　シナプス（第5,6章）
第4回 5月8日（大島）
　神経系の構造（第7章）
第5回 5月15日（井上）
　化学感覚系（第8章）
第6回 5月22日（林）
　視覚系（末梢）（第9章）
第7回 5月29日（林）
　視覚系（中枢）（第10章）
第8回 6月5日（林）
　聴覚と平衡感覚（第11章）
第9回 6月12日（大島）
　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第10回 6月19日（大島）
　体性感覚（第12章）
第11回 6月26日（井上）
　記憶（第24章）
第12回 7月3日（岡本）
　情動
第13回 7月10日（井上）
　学習と記憶の分子メカニズム（第25章）
第14回 7月17日（大島）
　運動制御（第13,14章）
第15回（日程別途指示）（井上）
　学力考査及び解説

教科書　「カラー版 神経科学 ー脳の探求ー」 ベアー、コノーズ、パラディーソ著、西村書店, 2007年

参考文献

評価方法　平常点および定期試験

備考　担当：井上 貴文（inoue.t@waseda.jp）

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	神経科学		
科目キー	2805013004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	薬理学		
科目キー	2805013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竜田　邦明	合田　亘人	大島　登志男
	南沢　享	辻本　豪三	三部　篤

副題

授業概要

薬理学は、ヒトをはじめとする生体に対して、選択的相互作用を生じる物質（薬物）の作用機序を解明し、その応用（薬物療法）を行うための基盤となる学問である。

本講義での目標
1．薬物が生体と選択的な相互作用をする機序を、分子・細胞・個体レベルで理解する。その理解ためには化学・生理学・生化学・分子生物学・遺伝学など、あらゆる領域の学問が必要であり、その背景にある理論・研究手法を学ぶ。
2．新しい薬物の開発に試みられている様々な方法論を学ぶ。特にゲノムレベルでの創薬や物質構造情報からの薬物設計、ナノテクノロジーを利用したバイオマテリアルなどによる薬剤送達システムなど、最新の知見について学習する。

シラバス

1）総論（1）（担当：南沢）10月12日
1 薬理学とは
2 薬の作用様式と作用機序

2）総論（2）（担当：竜田）10月26日
3 構造−活性相関研究
4 薬はどのようにして創られるか（ゲノム創薬は除く）

3）薬理学からみた生体内情報伝達システム（担当：三部）10月26日
1 細胞膜受容体シグナリングと薬物の作用機序
2 セカンドメッセンジャーシステムと薬物の作用機序
3 遺伝子発現機構と薬物の作用機序
4 細胞間情報伝達と薬物の作用機序

4）イオンチャネルとトランスポーター（担当：南沢）　10月12日
1 イオンチャネル
2 イオントランスポーター

5）生理活性物質（1）（担当：三部）11月2日
1 神経性アミノ酸
2 生理活性アミン
3 生理活性ヌクレオチド・ヌクレオシド

6）生理活性物質（2）（担当：三部）11月2日
4 生理活性ペプチド
5 血管内皮由来弛緩因子
6 エイコサノイドとその他の脂質メディエーター
7 サイトカインとケモカイン
8 ビタミン
9 ホルモン

7）末梢神経薬理（担当：大島）11月9日
1 末梢神経の構造と機能
2 コリン作用薬
3 抗コリン作用薬
4 アドレナリン作用薬
5 抗アドレナリン作用薬
6 局所麻酔薬

8）中枢神経系薬理（担当：大島）11月9日
1 中枢神経の構造と機能
2 抗精神病薬
3 抗うつ薬・気分安定薬・精神刺激薬

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	薬理学		
科目キー	2805013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上

4 Parkinson病治療薬
5 抗認知症薬, 脳循環・代謝改善薬
6 抗てんかん薬・中枢性骨格筋弛緩薬
7 抗不安薬・睡眠薬
8 全身麻酔薬
9 麻薬性鎮痛薬
10 薬物の耐性と依存症

9）免疫・アレルギー・炎症薬理（担当：合田）11月16日
1 免疫抑制薬・免疫刺激薬と抗アレルギー薬
2 抗炎症薬およびその関連薬

10）呼吸器・消化器作用薬（担当：南沢）11月30日
1 呼吸器作用薬
2 消化器作用薬

11）循環器薬理、利尿薬（担当：南沢）11月16日
1 心臓作用薬
2 高血圧治療薬およびその他の血管作用薬
3 血液・造血器作用薬
4 腎臓の機能と利尿薬

12）代謝性疾患治療薬、化学療法（担当：合田）11月30日
1 糖代謝、脂質代謝、プリン代謝と薬物
2 抗感染症薬
3 抗腫瘍薬

13）臨床薬理学、薬物動態学（担当：辻本）12月7日
1 薬物代謝学と臨床薬物治療学
2 薬物の安全性／副作用や中毒学

14）ゲノム創薬　（担当：辻本）12月7日
薬理ゲノミクス、ゲノム情報に基づく個別化医薬品

15）理解度の確認と解説

教科書　NEW薬理学・改訂第5版　田中千賀子、加藤隆一編集　南江堂

参考文献　Principles of Pharmacology: The Pathophysiologic Basis of Drug Therapy, 2e (Paperback) by David E Golan (Editor), Armen H Tashjian (Editor), Ehrin J Armstrong (Editor), April W Armstrong (Editor). Lippincott Williams & Wilkins.　「病態生理に基づく臨床薬理学―ハーバード大学テキスト」メディカルサイエンスインターナショナル

カッツング・薬理学 Bertram G.Katzung (著), 柳澤 輝行 (著), 飯野 正光 (著), 丸山 敬 (著), 三澤 美和 (著)　丸善

評価方法　1）「薬理学」試験を後期講義終了後、定期試験期間中に行う。
試験成績が合格に到らない場合は、追試験を施行する。
成績評価は、その結果に基づいて、判定する。ただし下記の要件が勘案される。
2）講義の出席は成績評価に加える。
欠席（30分以上の遅刻は欠席扱い）は試験成績より減点する。
3）毎回の講義において、課題を与える。
課題が未提出の場合、試験成績より減点する。

備考　主担当：南沢　享
不明な点がある場合は、南沢までメールで連絡のこと：sminamis@waseda.jp

シラバス（授業計画）中の順番はあくまで予定で、変更のある場合はCourse N@viにて連絡をする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	薬理学		
科目キー	2805013005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	１時限～２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	３年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	ゲノム医科学		
科目キー	2805013006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	仙波　憲太郎 三宅　正人	池川　志郎	杉浦　亙

副題

授業概要　ゲノム科学を理解するための基礎から学習し（仙波担当）、オムニバス形式でゲノム科学の最先端に触れる。この講義は、後期に開講される分子微生物学と連携した講義内容となっている。

シラバス

第１回（4月６日）オリエンテーション（仙波）
第2回（4月13日）ゲノム研究法1ーゲノム地図の作成、配列解析（3章、4章）（仙波）
第3回（4月20日）ゲノム研究法2ートランスクリプトーム、プロテオーム（1章、6章）（仙波）
第4回（4月27日）ゲノムの機能1ークロマチン修飾、DNA修飾、転写（10、11章）（仙波）
第5回（5月11日）ゲノムの機能2ー転写、翻訳（12, 13章）（仙波）
第6回（5月18日）感染症診断とゲノム（杉浦）
第7回（5月25日）感染症治療におけるゲノムの活用（杉浦）
第8回（6月1日）感染症の分子疫学（杉浦）
第9回（6月8日）ゲノムと創薬:創薬プロセスの中でゲノム情報がどのように利用されているかを解説する。（三宅）
第10回（6月15日）ゲノムと診断:医療診断におけるゲノム情報の意義について解説する。（三宅）
第11回（6月22日）ゲノムと産業：ゲノム情報の産業への波及効果について解説する。（三宅）
第12回（6月29日）分子系統学ー先史時代のヒト、他の霊長類との比較（19章）（仙波）
第13回（7月６日）疾患感受性遺伝子の同定とその応用ーオーダーメイド医療に向けて１（池川）
第14回（7月13日）疾患感受性遺伝子の同定とその応用ーオーダーメイド医療に向けて２（池川）
第15回（日程別途指示）学力考査および解説（仙波）

教科書　ゲノム第3版　村松・木南　監訳　メディカル・サイエンス・インターナショナル

参考文献

評価方法　出席（態度）・定期試験

三宅先生の成績評価：
講義の最後に10-20分の時間をとり、以下のテーマについての試験によって成績評価を行う。
1）創薬におけるゲノム情報の意義について理解したことを記述しなさい。
2）医療診断におけるゲノム情報の意義について理解したことを記述しなさい。
3）ゲノム情報が産業にもたらす効果や影響についてあなたの考えを記述しなさい。

仙波の回では、授業の最後に授業内容に関係した小テストを行い、出席点として加算します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学ゼミナールII		
科目キー	2805013007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武岡　真司	朝日　透	常田　聡
	増田　優	武田　直也	竹山　春子
	仙波　憲太郎	合田　亘人	大島　登志男
	井上　貴文	南沢　享	池田　康夫

副題

授業概要　4年次の研究室配属・卒業研究に向けて、生命医科学科教員による研究内容の紹介をオムニバス形式で行なう。

シラバス
第1回2009年9月29日　ガイダンス、研究内容紹介I(大島)
第2回2009 年 10月6日　研究内容紹介II　(合田)
第3回2009 年 10月13日 研究内容紹介III (南沢)
第4回2009 年10月20日　研究内容紹介IV (仙波)
第5回2009 年10月27日　研究内容紹介V (武田)
第6回2009 年11月10日　研究内容紹介VI　(竹山)
第7回2009 年11月17日　研究内容紹介VII　(常田)
第8回2009 年11月24日　研究内容紹介 VIII (武岡)
第9回2009 年12月1日　研究室配属に関するガイダンスI (大島)
研究内容紹介 IX (池田)
第10回2009 年 12月8日　研究内容紹介X (井上)
第11回2009 年12月15日　研究内容紹介XI (朝日)
第12回2009 年12月22日　レギュラトリーサイエンス(増田)
第13回2010 年1月12日　研究室配属に関するガイダンスII(大島、常田)
第14回2010 年1月19日　配属研究室での個別指導　(全教員)
第15回(日程別途指示)　理解度の確認と解説

教科書　なし。

参考文献　各講義の際に配布される資料

評価方法　出席と小テスト・レポート、諮問の成績により評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	臨床医学概論		
科目キー	2805013008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	小林　紘一	笠貫　宏	合田　亘人
	大島　登志男	南沢　享	石川　義弘
	堀　正士	池田　康夫	山縣　然太朗

副題

授業概要　医療の現場を理解する上で臨床医学の知識は必須であり、ヒト疾患の原因や病態、診断法や治療の基本を理解する。生命倫理や医療倫理を学び、予防医学としての公衆衛生や医療制度を理解する。専門分野の教員や講師によるオムニバス形式の講義で行なう。

シラバス
第1回2009年9月28日 ガイダンス、医学とは（大島）
第2回2009 年9月28日　症候学、診断学（大島）
第3回2009 年 10月5日　病理学、神経疾患（小林槙雄）
第4回2009 年10月5日　倫理と公衆衛生、疫学　（山縣）
第5回2009 年10月19日　精神疾患　（堀）
第6回2009 年10月19日　血液疾患(池田)
第7回2009 年11月23日　循環器病学（南沢）
第8回2009 年11月23日　消化器病学（合田）
第9回2009 年12月14日　外科学（小林紘一）
第10回2009 年 12月14日　呼吸器病学（小林紘一）
第11回2009 年12月21日　循環器系疾患Ⅱ（石川）
第12回2009 年12月21日　医療システムの日米比較（石川）
第13回2010 年1月18日　医薬品開発のレギュラトリーサイエンス　（池田）
第14回2010 年1月18日　医療機器開発のレギュラトリーサイエンス　（笠貫）
第15回（日程別途指示）　　学力考査及び解説

教科書

参考文献　四訂　臨床医学入門　（講談社サイエンティフィク）

評価方法　出席と小テスト・レポートにより評価する

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学実験II		
科目キー	2805013009		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武田　直也 仙波　憲太郎	武田　直也 合田　亘人	仙波　憲太郎 合田　亘人

副題

授業概要　生命医科学実験Iで習得した技術に基づいて、より高度な分子細胞生物学の実験手法の理解と習得を目指す。
生命医科学実験IIでは、ほ乳類細胞の培養のための知識と技術を身につけた上で、様々な種類の遺伝子導入試薬を用いた外来遺伝子導入とその発現解析、western blotを用いた細胞内シグナル伝達経路における調節分子のリン酸化解析、培養細胞からのRNA分離と最新機器を用いた特定の遺伝子発現の定量的解析などを行う。

シラバス
1. 4月6-7日　オリエンテーション
2. 4月13-14日　滅菌操作と試薬の調整法
3. 4月20-21日　細胞培養I 基本編
4. 4月27-28日　細胞培養I 応用編
5. 5月11-12日　バイオマテリアルI
6. 5月18-19日　バイオマテリアルII
7. 5月25-26日　バイオマテリアルIII
8. 6月1-2日　シグナル伝達I
9. 6月8-9日　シグナル伝達II
10. 6月15-16日　シグナル伝達III
11. 6月22-23日　遺伝子発現解析I
12. 6月29-30日　遺伝子発現解析II
13. 7月6-7日　遺伝子発現解析III
14. （日程別途指示）授業理解の確認（1）。確認方法は授業中に指示する。
15. （日程別途指示）授業理解の確認（2）。確認方法は授業中に指示する。
以上、全ての実習は、仙波、武田、合田の3人の教員が担当する。

教科書

参考文献

評価方法　平常点、レポート、口頭試問

原則として遅刻および欠席は認めない。

備考　白衣は必ず着用して下さい。
実験よってはマスクをしてもらいますので、お化粧にも気をつけて下さい。
ヒールの高い履き物、サンダル、裸足は避けて下さい。
実験を行う際に支障が出る可能性がある着衣は避けて下さい。
実験用手袋を着用しますので、着脱に支障がでる指輪は外して下さい。
電卓として携帯電話を使用することは認めません。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学実験II		
科目キー	2805013009		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武田　直也 仙波　憲太郎	武田　直也 合田　亘人	仙波　憲太郎 合田　亘人

副題

授業概要　生命医科学実験Iで習得した技術に基づいて、より高度な分子細胞生物学の実験手法の理解と習得を目指す。
生命医科学実験IIでは、ほ乳類細胞の培養のための知識と技術を身につけた上で、様々な種類の遺伝子導入試薬を用いた外来遺伝子導入とその発現解析、western blotを用いた細胞内シグナル伝達経路における調節分子のリン酸化解析、培養細胞からのRNA分離と最新機器を用いた特定の遺伝子発現の定量的解析などを行う。

シラバス
1. 4月6-7日　オリエンテーション
2. 4月13-14日　滅菌操作と試薬の調整法
3. 4月20-21日　細胞培養I 基本編
4. 4月27-28日　細胞培養I 応用編
5. 5月11-12日　バイオマテリアルI
6. 5月18-19日　バイオマテリアルII
7. 5月25-26日　バイオマテリアルIII
8. 6月1-2日　シグナル伝達I
9. 6月8-9日　シグナル伝達II
10. 6月15-16日　シグナル伝達III
11. 6月22-23日　遺伝子発現解析I
12. 6月29-30日　遺伝子発現解析II
13. 7月6-7日　遺伝子発現解析III
14. （日程別途指示）授業理解の確認（1）。確認方法は授業中に指示する。
15. （日程別途指示）授業理解の確認（2）。確認方法は授業中に指示する。
以上、全ての実習は、仙波、武田、合田の3人の教員が担当する。

教科書

参考文献

評価方法　平常点、レポート、口頭試問

原則として遅刻および欠席は認めない。

備考　白衣は必ず着用して下さい。
実験よってはマスクをしてもらいますので、お化粧にも気をつけて下さい。
ヒールの高い履き物、サンダル、裸足は避けて下さい。
実験を行う際に支障が出る可能性がある着衣は避けて下さい。
実験用手袋を着用しますので、着脱に支障がでる指輪は外して下さい。
電卓として携帯電話を使用することは認めません。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学実験III		
科目キー	2805013010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武岡　真司 合田　亘人 井上　貴文 南沢　享	武岡　真司 大島　登志男 井上　貴文	合田　亘人 大島　登志男 南沢　享

副題

授業概要　本実験は第3年次の学生を対象とし、分子細胞生物学I・II, 生化学、生理学I・II、神経科学などで学習した内容について、実験を通じて理解を深める。実験項目としては、1)顕微鏡観察2)組織学3)プロテオミクス4)動物生理学があり、すべての実験は50号館で行なう。12-15人が1つのグループ(A-D)として、各実験を行なう。与えられた課題についてレポートとして提出する。

シラバス
第1週2009年10月1日　ガイダンス　(大島、井上、合田、南沢)
第2週2009 年 10月8,9日　細胞生物学I　(井上)
第3週2009 年 10月15,16日　細胞生物学II　(井上)
第4週2009 年10月29,30日　組織学I (大島)
第5週2009 年11月5,6日　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第6週2009 年11月12,13日　組織学II　(大島)
第7週2009 年11月19,20日　プロテオミクスI (合田)
第8週2009 年11月26,27日　プロテオミクスII　(合田)
第9週2009 年12月3,4日　プロテオミクスIII (合田)
第10週2009 年 12月10,11日　動物生理学 (南沢)
第11週2009 年12月17,18日　レポート作成I
第12週2010 年1月7,8日　　予備・補講I (大島)
第13週2010 年1月14,15日　卒業研究オリエンテーション　(大島ほか)
第14週2010 年1月21,22日　第15週　(日程別途指示)学力考査及び解説

教科書　ガイダンス時に指導書を配布する

参考文献

評価方法　出席(必須)とレポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生命医科学実験III		
科目キー	2805013010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武岡　真司 合田　亘人 井上　貴文 南沢　享	武岡　真司 大島　登志男 井上　貴文	合田　亘人 大島　登志男 南沢　享

副題

授業概要　本実験は第3年次の学生を対象とし、分子細胞生物学I・II, 生化学、生理学I・II、神経科学などで学習した内容について、実験を通じて理解を深める。実験項目としては、1)顕微鏡観察2)組織学3)プロテオミクス4)動物生理学があり、すべての実験は50号館で行なう。12-15人が1つのグループ(A-D)として、各実験を行なう。与えられた課題についてレポートとして提出する。

シラバス
第1週2009年10月1日　ガイダンス （大島、井上、合田、南沢）
第2週2009 年 10月8,9日　細胞生物学I（井上）
第3週2009 年 10月15,16日　細胞生物学II （井上）
第4週2009 年10月29,30日　組織学I（大島）
第5週2009 年11月5,6日　コースナビにて学習した内容の点検と確認
第6週2009 年11月12,13日　組織学II （大島）
第7週2009 年11月19,20日　プロテオミクスI（合田）
第8週2009 年11月26,27日　プロテオミクスII （合田）
第9週2009 年12月3,4日　プロテオミクスIII（合田）
第10週2009 年 12月10,11日　動物生理学（南沢）
第11週2009 年12月17,18日　レポート作成I
第12週2010 年1月7,8日　　予備・補講I（大島）
第13週2010 年1月14,15日　卒業研究オリエンテーション （大島ほか）
第14週2010 年1月21,22日　第15週 （日程別途指示）学力考査及び解説

教科書　ガイダンス時に指導書を配布する

参考文献

評価方法　出席（必須）とレポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子細胞生物学IIA		
科目キー	2805013011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	仙波　憲太郎 大杉　美穂	大島　登志男	南沢　享

副題

授業概要　生体を構成する細胞内の基本的な構造と分子について理解し、多細胞生物の形 成を可能にした細胞間相互作用を生化学や遺伝子学の観点から深く理解するこ とを目標としている。また、これまでの分子生物学の発展を支えてきた基礎的な 技術と最新技術の原理およびその応用についても理解を深める。

シラバス
1)ガイダンス と学習内容の確認 (仙波) 4月8日
2) 細胞骨格(16章965-991)(南沢) 4月15日
3) 細胞骨格(16章992-1010)(南沢) 4月22日
4) 細胞骨格(16章1010-1050)(南沢) 4月29日
5) 細胞周期(17章1053-1071)(大島) 5月13日
6) 分生演習・細胞骨格(南沢) 5月20日
7) 細胞周期(17章1071-1113)(大島) 5月27日
8) 減数分裂(21章)(仙波) 6月3日
9) 細胞周期 (大杉) 6月10日
10) 分生演習・細胞周期(大島) 6月17日
11) 細胞内における小胞の輸送(13章749-779)(仙波) 6月24日
12)細胞内における小胞の輸送(13章779-809)(仙波) 7月1日
13) apoptosis(18章1115-1128)(仙波) 7月8日
14) apoptosis(三浦) 7月15日
15) 学習の理解と解説 (仙波) 日程は後日連絡

教科書　Molecular Biology of THE CELL Fifth edition

参考文献

評価方法　1)分子細胞生物学演習2回及び定期試験を行う。
以上の成績が合格に到らない場合は、9月中に追試験を施行する。
成績評価は、その結果に基づいて、判定する。ただし下記の要件が勘案される。
2)講義の出席は成績評価に加える。欠席(30分以上の遅刻は欠席)は試験成績より減点する。5回以上の講義(演習を含む)を欠席した場合、定期試験の受験資格を失う。

備考　主担当:南沢　享
不明な点がある場合は、南沢までメールで連絡のこと:sminamis@waseda.jp

シラバス(授業計画)中の順番はあくまで予定で、変更のある場合はCourse N@viにて連絡をする。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子細胞生物学IIB		
科目キー	2805013012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	仙波　憲太郎 仁科　博史	渡邊　雄一郎	秋山　泰身

副題

授業概要　生体を構成する細胞内の基本的な構造と分子について理解し、多細胞生物の形成を可能にした細胞間相互作用を生化学や遺伝子学の観点から深く理解することを目標としている。また、これまでの分子生物学の発展を支えてきた基礎的な技術と最新技術の原理およびその応用についても理解を深める。

シラバス
第１回（9月30日）ガイダンス（仙波）
第２回（10月７日）多細胞生物の発達4（15章955-964, 19章1195-1204, 22章1398-1415）（渡辺）
第３回（10月14日）細胞結合・細胞間接着（19章1131-1163）（仙波）
第４回（10月28日）細胞外マトリックス・インテグリン（19章1164-1195）（仙波）
第５回（11月４日）癌（20章1205-1223）（仙波）
第６回（11月11日）分子生物学演習（仙波）
第７回（11月18日）癌（20章1224-1240）（仙波）
第８回（11月25日）癌（20章1240-1264）（仙波）
第９回（12月２日）幹細胞・組織再生（23章）（仁科）
第10回（12月９日）分子生物学演習（仙波）
第11回（12月16日）自然免疫（24章）（仙波）
第12回（1月６日）適応免疫(25章1569-1599)（仙波）
第13回（1月13日）適応免疫(25章1539-1568)（秋山）
第14回（1月20日）オートファジィ（水島）
第15回（日程別途指示）学力考査及び解説（仙波）

教科書　Molecular Biology of THE CELL Fifth edition

参考文献

評価方法　平常点、筆記試験（期末試験および分子細胞生物学演習）

備考　担当：仙波憲太郎
期末筆記試験の受験資格は、それぞれ8回以上の講義の出席した学生のみに与える。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	バイオインフォマティクス演習		
科目キー	2805023001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竹山　春子	藤渕　航	諏訪　牧子

副題　生命情報を自在に解析するための計算機実習

授業概要　膨大な生命情報データの集積を基にその解析手法を開発、応用する学問（バイオインフォマティクス）を理解するため、本演習では主要な生命情報データベースを利用しながら、遺伝子機能解析、タンパク質の構造・機能解析、遺伝子発現、ネットワーク解析等の基礎手法を習得する。

シラバス
1回目(11月26日)ガイダンス(竹山)　2限目から開始
2,3回目(12月3日)バイオデータベース利用演習（諏訪）
4,5回目(12月10日)配列データからの機能推定（諏訪）
6,7回目(12月17日)タンパク質構造データ解析（諏訪）
8,9回目(1月7日)遺伝子発現データ解析（藤渕）
10,11回目(1月14日)パスウェイデータ解析（藤渕）
12,13回目(1月21日)パターン認識と機械学習（藤渕）
14,15回目(1月28日)学力考査と解説(竹山)

教科書　資料配布あり。

参考文献
参考文献
「生命情報学キーノート」シュプリンガーフェアラーク東京
（「Instant Notes in Bioinformatics], David. R. Wetheard et al.」の翻訳本）
「マイクロアレイデータ統計解析プロトコール（藤渕・堀本編／羊土社）」

評価方法　学力考査と出席

備考　窓口教員　竹山春子　haruko-takeyama@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子微生物学		
科目キー	2805023002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竹山　春子　　横田　恭子　　寺原　和孝 長谷川　秀樹		

副題　ウイルス、微生物のゲノムと疾病

授業概要　ウイルスや微生物による疾病（感染症等）は私たちの生活の中では非常に大きな問題となっている。インフルエンザウイルスは今や社会問題へと発展している。本講義では、ウイルス、微生物のゲノムを中心に、その特徴、機能等を解説するとともに、遺伝子レベルで研究を進めるための先端的な分子生物学的解析手法についても解説する。
生命医科学を学ぶものにとって知っておく必要のある内容である。

シラバス
1回目（9月28日）イントロダクション：竹山
2回目（10月5日）DNA研究法について：竹山
3回目（10月12日）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。：竹山
4回目（10月19日）真核生物/原核生物のゲノム：竹山
5回目（10月26日）ウイルス学概論：分類、構造、機能、生活環など：寺原
6回目（11月2日）DNAウイルスの遺伝子工学的活用：寺原
7回目（11月9日）DNAウイルスとヒトの攻防：寺原
8回目（11月16日）RNAウイルスにより引き起こされるヒトの病気：長谷川
9回目（11月23日）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。：竹山
10回目（11月30日）RNAウイルスのゲノムの働き：長谷川
11回目（12月7日）生体によるウイルス感染の認識と生体防御：長谷川
12回目（12月14日）トランスポゾン：レトロウイルスと細胞ゲノムの共存から進化へ：横田
13回目（12月21日）ゲノムの進化：ゲノムの起源、細胞とウイルスゲノムの進化の解析：　横田
14回目（1月18日）非翻訳領域のRNAによる遺伝子発現制御と感染症：横田
15回目（1月25日）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。：竹山

教科書　ゲノム（日本語版）　第3版　T.A.Brown メディカル・サイエンス・インターナショナル社

参考文献

評価方法　レポート、学力考査、出席による

備考　窓口教員　竹山春子　haruko-takeyama@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	バイオマテリアル		
科目キー	2805023003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	武田　直也		

副題

授業概要　バイオマテリアルとは、「生きた生体組織に直接的あるいは間接的に接触する材料」の総称である。生体組織に直接接触する例としては、注射器、カテーテル、人工透析膜、人工骨、人工心臓などが挙げられる。また、間接的な接触については、DNAチップや血糖センサ、細胞培養皿なども含めることができよう。
高分子材料、金属、セラミックスは、バイオマテリアルに用いられる三大材料である。本講義では、中でも、高分子材料を中心に採り上げる。高分子材料について、有機合成反応、分子間相互作用、表面修飾とその解析技術など基礎的な知識を身につけ、マイクロナノ技術との関わりや医療への応用など先端技術の理解を図る。

シラバス
第1回9/29オリエンテーション、総論
第2回10/6金属とセラミックス
第3回10/13生体高分子
第4回10/20合成高分子
第5回10/27高分子ゲル
第6回11/10バイオコンジュゲートケミストリーと材料の高機能化
第7回11/17分子間相互作用と表面科学の基礎
第8回11/24理解度の確認と解説
第9回12/1生分解性・生体適合性
第10回12/8生体計測
第11回12/15ナノバイオテクノロジー
第12回12/22ドラッグデリバリーシステム
第13回1/12バイオセパレーション・人工臓器
第14回1/19細胞工学・組織工学・再生医療
第15回日程は別途指示学力考査と解説

教科書　指定しない。

参考文献　講義中などに適宜紹介する。

評価方法　平常点、中間演習、定期試験

備考　受講生の理解の助けなどを考慮して、授業計画や講義内容を変更することがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物統計学		
科目キー	2805023004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	竹山　春子	藤渕　航	加藤　毅

副題　生命の謎を解くために必要とされる統計科学

授業概要　生命科学において近年特に重要視されてきている統計科学の先端分野から、基礎的かつ特に有用な項目である「推定」「尤度」「ベイズ統計」「多変量解析」などを選んでわかりやすく講義し次世代の生命科学者に必要とされる数理統計学的な理解力を身に付ける。

シラバス
1回目（10月1日）ガイダンス（竹山）
2，3回目（10月8日）統計学の基礎と様々な分布関数（藤渕）
4，5回目（10月15日）検定と情報量基準の基礎（藤渕）
6，7回目（10月29日）生物学における時系列解析（藤渕）
8，9回目（11月5日）ベイズ統計学の基礎（加藤）
10，11回目（11月12日）多変量解析の基礎（加藤）
12，13回目（11月19日）パターン認識と学習の理論（加藤）
14，15回目（11月26日）学力考査と解説（竹山）

教科書　資料配布。

参考文献　「統計科学のフロンティア」1ー6巻（岩波書店）

評価方法　学力考査と出席

備考　窓口教員　竹山春子　haruko-takeyama@waseda.jp

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	環境衛生学		
科目キー	2805023005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	常田　聡	松岡　雅人	

副題

授業概要　人間は、地球上のエコシステムの一員として他の生物と健やかに共生していかねばならない。人間が健康で快適な生活を送るには、住居環境を衛生面で良好に維持することが基本的条件である。本講義では、まず、水環境・空気などの衛生的環境のあり方について、健康や快適性の面から考える。つぎに、要因と宿主との相互作用を理解し、予防医学的見地を踏まえた環境医学および健康科学を学ぶ。予防医学・薬学の立場から環境要因が重要な健康影響因子であることを理解し、環境保全、化学物質の適正使用・適正管理の重要性を学ぶとともに、疾病予防、健康増進、寿命延長を目指すための基礎知識を身につけてもらいたい。

シラバス
10月　2日　環境と健康との関わり(常田)
10月　9日　大気環境と室内環境(常田)
10月16日　水環境(常田)
10月23日　衛生仮説，免疫とアレルギー(常田)
10月30日　環境と微生物(常田)
11月13日　バイオフィルムと感染症(国立感染研:泉福)
11月20日　環境と健康、化学物質の体内動態(東京女子医大:松岡)
11月27日　化学的要因による健康障害1、金属、粉じん(東京女子医大:松岡)
12月　4日　化学的要因による健康障害2、有機溶剤、ガス(東京女子医大:松岡)
12月11日　物理的要因による健康障害(東京女子医大:松岡)
12月18日　食品衛生・食中毒(東京女子医大:松岡)
1月　8日　産業医学・予防医学(東京女子医大:松岡)
1月15日　学力考査とその解説
1月22日　学力考査とその解説
1月29日　学力考査とその解説

教科書

参考文献

評価方法　平常点，レポート，定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気・情報生命工学フロンティア		
科目キー	2806011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松本　隆 大木　義路 宗田　孝之 林　泰弘	加藤　勇 石山　敦士 井上　宏子 柴田　重信	内田　健康 岩本　伸一 若尾　真治 武田　京三郎

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論A　1クラス		
科目キー	2806012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松本　隆		

副題

授業概要　″回路とは何か″、からはじめる。基本物理量として電圧、電流、電荷、磁束を学び、それらを関係つけるものとしての回路素子とその性質を学ぶ。次に複数の回路素子を接続した場合何が起きるかを考える。″素子の接続″という境界条件により素子単体でおきる現象以外の、時として興味深い現象がおきうる事を学ぶ。回路理論Aでは主として、交流定常現象の基本コンセプトと、その扱いに習熟する事を目的とする。基本的には「複素インピーダンス」の概念を根本から身につける。

シラバス

（1） 受動回路素子（抵抗、キャパシタ、インダクタ）と電源
　　回路と微分方程式（回路の方程式、過渡、定常）
（2）（3）正弦波交流（最大値、実効値）
　　複素数
　　正弦波交流のベクトル表示／複素表示／フェーザ表示
（4） インピーダンスとアドミタンス（位相進み／容量性、位相遅れ／誘導性、同相）
（5） 電力（瞬時電力、有効電力、皮相電力、無効電力、複素電力）
（6） 直並列回路
　　共振回路（直列共振、並列共振、Q）
（7） 相互インダクタ（等価回路、理想変圧器）
（8） 回路網の方程式（閉路方程式／節点方程式）
（9） 回路の諸定理（重ね合わせの理、テブナンの定理／ノートンの定理、相反定理、補償定理、供給電力最大の法則）
（10）三相交流（三相電源、三相負荷）
　　対称三相回路
（11）4端子（2ポート）回路（アドミタンス行列、インピーダンス行列、縦続行列、ハイブリッド行列）
（12）システムコンセプト（入力／出力インピーダンス、伝達量、周波数特性）
（13）フィルタ
（14）余裕があれば、能動回路素子や非線形回路素子およびそれらの初等回路にも言及する。
--

教科書　参考書:
大下著:電気回路演習、上、下、共立出版
尾崎著:電気回路、1、2、オーム社

参考文献

評価方法　期末試験、出席、課題の総合的な評価によりおこなう。）

備考　【担当教員連絡先等】
松本隆(takashi@mse.waseda.ac.jp)

関連URL:　http://www.matsumoto.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論A　2クラス		
科目キー	2806012001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　健康		

副題

授業概要　″回路とは何か″、からはじめる。基本物理量として電圧、電流、電荷、磁束を学び、それらを関係つけるものとしての回路素子とその性質を学ぶ。次に複数の回路素子を接続した場合何が起きるかを考える。″素子の接続″という境界条件により素子単体でおきる現象以外の、時として興味深い現象がおきうる事を学ぶ。回路理論Aでは主として、交流定常現象の基本コンセプトと、その扱いに習熟する事を目的とする。基本的には「複素インピーダンス」の概念を根本から身につける。

シラバス

（1） 受動回路素子（抵抗、キャパシタ、インダクタ）と電源
　　回路と微分方程式（回路の方程式、過渡、定常）
（2） 正弦波交流（最大値、実効値）、複素数
（3） 正弦波交流のベクトル表示／複素表示／フェーザ表示　1
（4） 正弦波交流のベクトル表示／複素表示／フェーザ表示　2
（5） インピーダンスとアドミタンス（位相進み／容量性、位相遅れ／誘導性、同相）
（6） 電力（瞬時電力、有効電力、皮相電力、無効電力、複素電力）
（7） 直並列回路、共振回路（直列共振、並列共振、Q）
（8） 相互インダクタ（等価回路、理想変圧器）
（9） 中間試験
（10）回路網の方程式（閉路方程式）　1
（11）回路網の方程式（節点方程式）　2
（12）回路の諸定理（重ね合わせの理、テブナンの定理／ノートンの定理、相反定理、　補償定理、供給電力最大の法則）
（13）4端子（2ポート）回路（アドミタンス行列、インピーダンス行列、縦続行列、　ハイブリッド行列）
（14）システムコンセプト（入力／出力インピーダンス、伝達量、周波数特性、フィルタ）
（15）期末試験
––

教科書　大野、西　共著
大学課程　電気回路（1）第3版
オーム社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・（中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。）

備考　【担当教員連絡先等】
内田健康(kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論A・演習　1クラス		
科目キー	2806012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松本　隆		

副題

授業概要　回路理論Aのコンセプト、手法等を十分身につけるため、毎週演習を行う。最重要事項は、「交流定常状態」とそれの帰結としての「複素インピーダンス」の概念の把握である。

シラバス　1)回路理論Aの講義の進行に合わせて演習問題により演習を行う。

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・(中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。)

備考　【担当教員連絡先等】
内田　健康 (kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論A・演習　2クラス		
科目キー	2806012002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　健康		

副題

授業概要　回路理論Aのコンセプト、手法等を十分身につけるため、毎週演習を行う。最重要事項は、「交流定常状態」とそれの帰結としての「複素インピーダンス」の概念の把握である。

シラバス　回路理論Aの講義の進行に合わせて演習問題により演習を行う。
--

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・(中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。)

備考　【担当教員連絡先等】
内田健康(kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気・情報生命工学実験A		
科目キー	2806012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松本　隆	加藤　勇	内田　健康
	大木　義路	石山　敦士	岩本　伸一
	宗田　孝之	井上　宏子	若尾　真治
	柴田　重信	武田　京三郎	堀越　佳治

副題

授業概要　電気電子情報系ならびに生命生物系の基盤科目群とリンクして、それらの理解を深めるため必要な実験・実習を行う。実験技術の習得と報告書作成能力の養成のみならず、いずれの分野にも必要なコンピュータ支援による計測・データ整理・データ解析ツールを使いこなせる能力の養成を目的とする。

シラバス
第1回:ガイダンス及び実験講義
第2回:計測器実習
第3回:電力変換　事前学習および試問(プリレポート)
第4回:電力変換　実験
第5回:アナログIC　事前学習および試問(プリレポート)
第6回:アナログIC　実験
第7回:論理回路　事前学習および試問(プリレポート)
第8回:論理回路　実験
第9回:発振回路　事前学習および試問(プリレポート)
第10回:発振回路　実験
第11回:動物実験?　実験
第12回:動物実験?　実験
第13回:学習した内容の点検と確認(1)
第14回:学習した内容の点検と確認(2)
第15回:学習した内容の点検と確認(3)

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気・情報生命工学実験B　A組		
科目キー	2806013001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	内田　健康	宗田　孝之	若尾　真治
	武田　京三郎	胡桃坂　仁志	岩崎　秀雄

副題

授業概要　電気電子情報系ならびに生命生物系の専門基礎科目群とリンクして、それらの理解を深めるため必要な実験・実習を行う。実験技術の習得をめざすとともに、報告書作成能力のみならず実験計画能力の養成をめざす。電気・情報生命工学実験Aで用いたものよりもより高度なコンピュータ支援ツールを使いこなす能力の養成も目的とする。

シラバス
第1回:ガイダンス及び実験講義
第2回:計測器実習
第3回:フィードバック制御 事前学習および試問
第4回:フィードバック制御　実験
第5回:太陽光発電システム　事前学習および試問
第6回:太陽光発電システム　実験
第7回:手作りOPアンプ　事前学習および試問
第8回:手作りOPアンプ　実験
第9回:光通信?　実験
第10回:光通信?　実験
第11回:遺伝子増幅とDNA断片分析?　実験
第12回:遺伝子増幅とDNA断片分析?　実験
第13回:学習した内容の点検と確認(1)
第14回:学習した内容の点検と確認(2)
第15回:学習した内容の点検と確認(3)

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気・情報生命工学実験B　B組		
科目キー	2806013001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	内田　健康	宗田　孝之	若尾　真治
	武田　京三郎	胡桃坂　仁志	岩崎　秀雄

副題

授業概要　電気電子情報系ならびに生命生物系の専門基礎科目群とリンクして、それらの理解を深めるため必要な実験・実習を行う。実験技術の習得をめざすとともに、報告書作成能力のみならず実験計画能力の養成をめざす。電気・情報生命工学実験Aで用いたものよりもより高度なコンピュータ支援ツールを使いこなす能力の養成も目的とする。

シラバス

第1回:ガイダンス及び実験講義
第2回:計測器実習
第3回:フィードバック制御 事前学習および試問
第4回:フィードバック制御　実験
第5回:太陽光発電システム　事前学習および試問
第6回:太陽光発電システム　実験
第7回:手作りOPアンプ　事前学習および試問
第8回:手作りOPアンプ　実験
第9回:光通信?　実験
第10回:光通信?　実験
第11回:遺伝子増幅とDNA断片分析?　実験
第12回:遺伝子増幅とDNA断片分析?　実験
第13回:学習した内容の点検と確認(1)
第14回:学習した内容の点検と確認(2)
第15回:学習した内容の点検と確認(3)

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気・情報生命工学実験C		
科目キー	2806013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	松本　隆	加藤　勇	内田　健康
	大木　義路	岩本　伸一	井上　宏子
	若尾　真治	林　泰弘	柴田　重信
	堀越　佳治	胡桃坂　仁志	高松　敦子

副題

授業概要　先端科目群の理解を深めるために、電気系、電子・光系、情報系、生命・生物系に細分化した実験・実習を行う。プロジェクト研究ともリンクさせ、実験の立案・計画・実施のための能力の涵養を目指す。

シラバス

（電気分野）
第1回:ガイダンスおよび実験講義（1）
第2回:ガイダンスおよび実験講義（2）
第3回:計測器実習
第4回:電力システム　事前学習および口頭試問（プリレポート）
第5回:電力システム　実験1
第6回:電力システム　実験2
第7回:電力システム　学習した内容の点検と確認（ポストレポート）
第8回:デジタルモーター・コントロール　事前学習および試問（プリレポート）
第9回:デジタルモーター・コントロール　実験1
第10回:デジタルモーター・コントロール　実験2
第11回:デジタルモーター・コントロール　学習した内容の点検と確認
（ポストレポート）
第12回:電気絶縁　事前学習および試問（プリレポート）
第13回:電気絶縁　実験1
第14回:電気絶縁　実験2
第15回:電気絶縁　学習した内容の点検と確認（ポストレポート）

（電子・光分野）
第1回:ガイダンスおよび実験講義（1）
第2回:ガイダンスおよび実験講義（2）
第3回:計測器実習
第4回:半導体物性　事前学習および口頭試問（プリレポート）
第5回:半導体物性　実験1
第6回:半導体物性　実験2
第7回:半導体物性　学習した内容の点検と確認（ポストレポート）
第8回:サイリスタ　事前学習および試問（プリレポート）
第9回:サイリスタ　実験1
第10回:サイリスタ　実験2
第11回:サイリスタ　学習した内容の点検と確認（ポストレポート）
第12回:半導体レーザー・光増幅システム　事前学習および試問（プリレポート）
第13回:半導体レーザー・光増幅システム　実験1
第14回:半導体レーザー・光増幅システム　実験2
第15回:半導体レーザー・光増幅システム　学習した内容の点検と確認
（ポストレポート）

（システム分野）
第1回:ガイダンスおよび実験講義（1）
第2回:ガイダンスおよび実験講義（2）
第3回:計測器実習
第4回:サーボ系　事前学習および口頭試問（プリレポート）
第5回:サーボ系　実験1
第6回:サーボ系　実験2
第7回:サーボ系　学習した内容の点検と確認（ポストレポート）
第8回:フレーム間差分オブジェクト抽出　事前学習および試問（プリレポート）
第9回:フレーム間差分オブジェクト抽出　実験1
第10回:フレーム間差分オブジェクト抽出　実験2
第11回:フレーム間差分オブジェクト抽出　学習した内容の点検と確認
（ポストレポート）
第12回:音声信号処理　事前学習および試問（プリレポート）
第13回:音声信号処理　実験1

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気・情報生命工学実験C		
科目キー	2806013002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	3年以上

第14回:音声信号処理　実験2
第15回:音声信号処理　学習した内容の点検と確認(ポストレポート)

(生命生物系)
第1回:ガイダンスおよび実験講義(1)
第2回:ガイダンスおよび実験講義(2)
第3回:細胞生物学実験1
第4回:細胞生物学実験2
第5回:細胞生物学実験3
第6回:タンパク質工学実験1
第7回:タンパク質工学実験2
第8回:遺伝子工学実験1
第9回:遺伝子工学実験2
第10回:生化学実験1
第11回:生化学実験2
第12回:生理学実験1
第13回:生理学実験2
第14回:生命科学解析法1
第15回:生命科学解析法2

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プロジェクト研究A		
科目キー	2806013003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	松本　隆	加藤　勇	内田　健康
	大木　義路	石山　敦士	岩本　伸一
	宗田　孝之	井上　宏子	若尾　真治
	林　泰弘	柴田　重信	武田　京三郎

副題

授業概要　電気・電子・情報・生命の4分野にわたる基礎的演習を通じて、異分野間の物の見方・考え方の相違を体感する。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　グループ別ガイダンス
第　3回　電気系　第一回演習
第　4回　電気系　第二回演習
第　5回　電気系　第三回演習
第　6回　電子系　第一回演習
第　7回　電子系　第二回演習
第　8回　電子系　第三回演習
第　9回　情報系　第一回演習
第10回　情報系　第二回演習
第11回　情報系　第三回演習
第12回　生命系　第一回演習
第13回　生命系　第二回演習
第14回　生命系　第三回演習
第15回　レポート提出による授業理解の確認（提出方法・時期は授業中に指示）

教科書　指定なし

参考文献

評価方法　レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プロジェクト研究B		
科目キー	2806013004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	松本　隆	加藤　勇	内田　健康
	大木　義路	石山　敦士	岩本　伸一
	宗田　孝之	井上　宏子	若尾　真治
	林　泰弘	柴田　重信	武田　京三郎

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （1クラス）		
科目キー	2806021001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石山　敦士		

副題

授業概要

電磁気学は、回路理論と並んで、電気関連の仕事をしていく上で最も基本となる学問である。本講義は、いわゆる「古典電磁気学」と言われる範囲の電磁現象（巨視的電磁現象）を扱うが、そのほとんどはすでに高校までの物理でお目にかかっているものである。この現象をいかに数学的に表現するかを本講義で学んでいく。従って、電磁現象と数式表現の関連を把握することが最も重要であり、苦労する点である。この学問体系をわずか1年という短期間で学ばせてしまおうとすることは本来無謀であるといってよい。何度見直しても理解度が深まっていく余地のある奥の深い学問である。単位取得後も自らの「電磁気学」の世界を広げていってもらいたい。

「電磁気学A]に続き、以下について順に学んでいく。7. 誘電体・静電容量、8. 電磁力・磁性体・インダクタンス、9. 時間的に変化する場（マクスウェル方程式）、10. ラプラスとポアソンの方程式

シラバス

以下を13回に分けて講義する。また、学力考査および解説を2回行う。
詳細な日程については後日知らせる。

7章. 誘電体・静電容量
- 4. 6　電気双極子
- 7. 1　誘電体の性質と境界条件
- 7. 2　静電容量

8章. 電磁力・磁性体・インダクタンス
- 8. 1　運動電荷に作用する力
- 8. 2　電流素片・閉回路に作用する力
- 8. 3　磁性体の性質
- 8. 4　磁化と透磁率
- 8. 5　磁界の境界条件
- 8. 6　磁気回路
- 8. 7　インダクタンス

9章. 時間的に変化する場（マクスウェル方程式）
- 9. 1ファラデーの電磁誘導の法則
- 9. 2変位電流
- 9. 3マクスウェル方程式（微分形）
- 9. 4マクスウェル方程式（積分形）
- 9. 5遅延ポテンシャル

10章. ラプラスとポアソンの方程式
- 10. 1　ラプラスとポアソンの方程式
- 10. 2　解の一意
- 10. 3　ラプラスとポアソンの方程式の解法

11章. 一様平面波
- 11. 1　自由空間中の波動波動
- 11. 2　誘電体中の波動
- 11. 3　ポインティングベクトルと電力
- 11. 4　表皮効果

教科書　W. H. ヘイト著　山中他訳「工学系の基礎電磁気学」朝倉書店

参考文献　適宜紹介

評価方法　試験（2回実施）、演習、宿題（レポート）の成績の総合的な評価により行う。

備考

関連URL:　http://www.super.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （1クラス）		
科目キー	2806021001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （2クラス）		
科目キー	2806021001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大木　義路		

副題

授業概要　電力から情報通信まで電気を使う全ての技術の文字通り土台であり、多くの生命現象の元ともなっている重要な電磁気現象を学ぶことを目的とする。同時に自然科学の中で数学的な説明が最も美しくなされ、最も体系的な学問であるとも言われる電磁気学を通じ自然科学の考え方の修得し、理論構築の楽しさ、美しさを体験することを目的とする。電磁気Bの範囲は、色々な媒質中の電磁界が中心となる。

シラバス

(1)1章 誘電体
1･1 誘電体と誘電分極
1･2 誘電分極の種類
(2)1･3 誘電体中の静電界
1･4 誘電体の境界面での境界条件
(3)2章 電流
2･1 オームの法則
2･2 抵抗の接続
2･3 電池
2･4 連続媒質中の電流
2･5 電力
(4)3章
3 インダクタンス
3･1 自己インダクタンス
3･2 相互インダクタンス
3･3 誘導起電力
(5)4章 磁石と磁性体
4･1 磁石による磁界
4･2 磁性体
(6)4･3 磁気回路
(7)5章 静電界および静磁界の特殊解法
5･1 影像法
5･2 影像法の静電界への適用
5･2･1 接地された導体平板と点電荷
5･2･2 接地された導体球と点電荷
5･2･3 導体球と導体平板
5･2･4 平行な2本の無限長導体円柱
5･2･5 点電荷と誘電体
5･3 影像法の静磁界への適用
5･3･1 影像磁荷法
5･3･2 影像電流法
5･4 電荷重畳法
(9)6章 電界の力とエネルギー
6･1 電界のエネルギー密度
6･2 点電荷の有するエネルギー
6･3 導体の有するエネルギー
(10)6･4 帯電導体の表面に作用する力
6･5 コンデンサの両極板に作用する力
6･6 誘電体の境界面に働く力
6･7 マクスウェルの応力
(11)第7章 磁界の有するエネルギーと回路などに働く力
7･1 磁界のエネルギー密度
7･2 電流回路の磁気エネルギー
7･3 電流回路に働く力
7･4 磁性体の境界面に働く力
(12)第8章 電磁波
8･1 変位電流
8･2 マクスウェルの電磁方程式
(13)8･3 波動方程式

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （2クラス）		
科目キー	2806021001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

8･4 平面電磁波
8･5 電磁波の境界条件
8･6 エネルギーの流れ
(14)中間テスト[実施日未定]
(15)定期テスト
授業計画の全ての記載は一応の予定である。授業の内容や進行速度あるいは順序を変更すること、上に記載のない授業期間中の試験実施等の種々の変更を講ずることがある。

教科書　教科書 「EE Text電磁気学」 大木義路編著　オーム社
（参考書として「電磁気学演習」 大木義路著　産業図書）

参考文献

評価方法　評価はレポート、平常点、出席、テストを総合して行う。テストは演習のテストと合併して中間と期末の2回(以上)行う。

備考　◎ レポート
1. レポートの書式
- レポートの用紙はA4とする。
- レポートの書き出しには
a. 科目名。
b. 学生番号、氏名。
c. 出題日、提出日。
などの情報を第1ページの上部に記載すること。レポートは原則的に返却しないので、提出前に自分でノートに写すなり、コピーをとるなりすること。
2. レポートの提出場所
- 授業の開始時までに教卓の上に提出すること。TAが回収する。
3. 期限外レポートの扱い
- レポートは、期限内に提出すべきものであることは言うまでもないが、期限に遅れたものについてもそれなりの評価を行う。よって遅れたからといって諦めずに、必ず提出すること。ただし、回答配布後は無効。
4. その他
- 白紙に近いレポートは未提出と同じ扱いとする。他人のレポートの丸写しはカンニングとなる。
注意事項： 私語をする者、授業を聞く気の少ない者は選択しないで頂きたい。また、上記の者には退席をお願いすることがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B （3クラス）		
科目キー	2806021001		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小林　正和		

副題

授業概要　前期で学んだ真空中の電磁気学を発展させ、物質の電磁応答を中心に学習する。大別して次の3つのテーマ、（1）物質と電場　（2）物質と磁場　（3）物質と電磁場　を取り扱う。電磁気学Aとあわせて、輻射をのぞく非相対論的な電磁気学を網羅する。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B・演習　（1クラス）		
科目キー	2806021002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石山　敦士		

副題

授業概要　演習は「電磁気学B（1クラス）の講義内容のより確実な把握のためにある。自分で考え、手を動かし、体得しなければならない。それが電気技術者・研究者としてのセンスを磨くことになる。電磁現象はその実体を目で見ることはできないが、頭の中で豊かに想像・表現されなければならない。その点で実験科目も重要であり、講義との対応を常に念頭に置いてもらいたい。毎回与えられた演習課題を解き、最後にレポートとして提出する。また、毎回宿題を課す。演習において疑問点は積極的にTAに質問すること。

「電磁気学A]に続き、以下について順に学んでいく。7. 誘電体・静電容量、8. 電磁力・磁性体・インダクタンス、9. 時間的に変化する場（マクスウェル方程式）、10. ラプラスとポアソンの方程式

シラバス　以下を13回に分けて講義する。また、学力考査および解説を2回行う。
詳細な日程については後日知らせる。

7章. 誘電体・静電容量
- 4. 6　電気双極子
- 7. 1　誘電体の性質と境界条件
- 7. 2　静電容量

8章. 電磁力・磁性体・インダクタンス
- 8. 1　運動電荷に作用する力
- 8. 2　電流素片・閉回路に作用する力
- 8. 3　磁性体の性質
- 8. 4　磁化と透磁率
- 8. 5　磁界の境界条件
- 8. 6　磁気回路
- 8. 7　インダクタンス

9章. 時間的に変化する場（マクスウェル方程式）
- 9. 1ファラデーの電磁誘導の法則
- 9. 2変位電流
- 9. 3マクスウェル方程式（微分形）
- 9. 4マクスウェル方程式（積分形）
- 9. 5遅延ポテンシャル

10章. ラプラスとポアソンの方程式
- 10. 1　ラプラスとポアソンの方程式
- 10. 2　解の一意
- 10. 3　ラプラスとポアソンの方程式の解法

11章. 一様平面波
- 11. 1　自由空間中の波動波動
- 11. 2　誘電体中の波動
- 11. 3　ポインティングベクトルと電力
- 11. 4　表皮効果

教科書　W. H. ヘイト著　山中他訳「工学系の基礎電磁気学」朝倉書店

参考文献　適宜紹介

評価方法　試験（2回実施）、演習、宿題（レポート）の成績の総合的な評価により行う。

備考

関連URL:　http://www.super.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B・演習 （1クラス）		
科目キー	2806021002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B・演習 （2クラス）		
科目キー	2806021002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大木　義路		

副題

授業概要　電力から情報通信まで電気を使う全ての技術の文字通り土台であり、多くの生命現象の元ともなっている重要な電磁気現象を学ぶことを目的とする。同時に自然科学の中で数学的な説明が最も美しくなされ、最も体系的な学問であるとも言われる電磁気学を通じ自然科学の考え方の修得し、理論構築の楽しさ、美しさを体験することを目的とする。本講義は電磁気Bに付属する演習であり、その範囲は、色々な媒質中の電磁界が中心となる。

シラバス

(1)1章 誘電体
1･1 誘電体と誘電分極
1･2 誘電分極の種類
(2)1･3 誘電体中の静電界
1･4 誘電体の境界面での境界条件
(3)2章 電流
2･1 オームの法則
2･2 抵抗の接続
2･3 電池
2･4 連続媒質中の電流
2･5 電力
(4)3章
3 インダクタンス
3･1 自己インダクタンス
3･2 相互インダクタンス
3･3 誘導起電力
(5)4章 磁石と磁性体
4･1 磁石による磁界
4･2 磁性体
(6)4･3 磁気回路
(7)5章 静電界および静磁界の特殊解法
5･1 影像法
5･2 影像法の静電界への適用
5･2･1 接地された導体平板と点電荷
5･2･2 接地された導体球と点電荷
5･2･3 導体球と導体平板
5･2･4 平行な2本の無限長導体円柱
5･2･5 点電荷と誘電体
5･3 影像法の静磁界への適用
5･3･1 影像磁荷法
5･3･2 影像電流法
5･4 電荷重畳法
(9)6章 電界の力とエネルギー
6･1 電界のエネルギー密度
6･2 点電荷の有するエネルギー
6･3 導体の有するエネルギー
(10)6･4 帯電導体の表面に作用する力
6･5 コンデンサの両極板に作用する力
6･6 誘電体の境界面に働く力
6･7 マクスウェルの応力
(11)第7章 磁界の有するエネルギーと回路などに働く力
7･1 磁界のエネルギー密度
7･2 電流回路の磁気エネルギー
7･3 電流回路に働く力
7･4 磁性体の境界面に働く力
(12)第8章 電磁波
8･1 変位電流
8･2 マクスウェルの電磁方程式
(13)8･3 波動方程式

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B・演習 （2クラス）		
科目キー	2806021002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

8･4 平面電磁波
8･5 電磁波の境界条件
8･6 エネルギーの流れ
(14)中間テスト[実施日未定]
(15)定期テスト
授業計画の全ての記載は一応の予定である。授業の内容や進行速度あるいは順序を変更すること、上に記載のない授業期間中の試験実施等の種々の変更を講ずることがある。

教科書　教科書 「EE Text電磁気学」 大木義路編著　オーム社
（参考書として「電磁気学演習」 大木義路著　産業図書）

参考文献

評価方法　評価はレポート、平常点、出席、テストを総合して行う。テストは演習のテストと合併して中間と期末の2回(以上)行う。

備考　◎ レポート
1. レポートの書式
- レポートの用紙はA4とする。
- レポートの書き出しには
a. 科目名。
b. 学生番号、氏名。
c. 出題日、提出日。
などの情報を第1ページの上部に記載すること。レポートは原則的に返却しないので、提出前に自分でノートに写すなり、コピーをとるなりすること。
2. レポートの提出場所
- 授業の開始時までに教卓の上に提出すること。TAが回収する。
3. 期限外レポートの扱い
- レポートは、期限内に提出すべきものであることは言うまでもないが、期限に遅れたものについてもそれなりの評価を行う。よって遅れたからといって諦めずに、必ず提出すること。ただし、回答配布後は無効。
4. その他
- 白紙に近いレポートは未提出と同じ扱いとする。他人のレポートの丸写しはカンニングとなる。
注意事項： 私語をする者、授業を聞く気の少ない者は選択しないで頂きたい。また、上記の者には退席をお願いすることがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学B・演習 （3クラス）		
科目キー	2806021002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小林　正和		

副題

授業概要　電磁気学A演習に続く演習科目。本質を考え、理論を構築し、実地に応用することのできる実力を養成していく。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁エネルギー変換		
科目キー	2806021003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石山　敦士		

副題

授業概要　電磁エネルギーと機械エネルギー間のエネルギー変換について、その原理より出発し、電磁・機械エネルギー変換機器について工学的見地を学ぶ。そのための準備として、変圧器の基礎特性について学ぶ。また、パワーエレクトロニクスの初歩として、サイリスタなどの半導体素子を用いた整流器やインバータ回路についても学ぶ。1．磁気回路と変圧器、2．電気・機械エネルギー変換の基礎、3．電気・機械エネルギー変換論と回転機原論、4．パワーエレクトロニクス（初歩）

シラバス　後日発表する

教科書　特に指定しない

参考文献　適宜紹介する

評価方法　与えられた課題に対するレポートと筆記試験により評価する

備考

関連URL:　http://www.super.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電力回路		
科目キー	2806021004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩本　伸一		

副題

授業概要　本講義は、日本語と英語の2ヶ国語で行うバイリンガル授業である。内容は、太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーを大量に電力系統に導入するために基本となる電力回路に関する項目である。これらの項目は、また、現在の既存の発電・送電・系統運用の基本となるものでもある。

シラバス

第　1回　オリエンテーション
第　2回　基本的概念（発電、送電、変電、配電）
第　3回　基本的概念の例題
第　4回　平常時の電力計算の概念（非線形連立代数方程式の解法）
第　5回　平常時の電力計算の応用
第　6回　平常時の電力計算の例題
第　7回　事故時の電力計算の概念（テブナンの定理の応用と逆行列計算）
第　8回　事故時の電力計算の応用
第　9回　事故時の電力計算の例題
第10回　単位法による計算の概念（すべての数値を1．0付近の値に）
第11回　基準値を用いた電力系統計算
第12回　安定度計算の概念（非線形連立微分方程式の解法）
第13回　安定度計算の応用（等面積法と過渡エネルギー関数法）
第14回　安定度計算の例題
第15回　学力考査および解説

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電力システム工学		
科目キー	2806021005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩本　伸一		

副題

授業概要　本講義は、日本語と英語の2ヶ国語で行うバイリンガル授業である。内容は、太陽光発電や風力発電等のこれからの再生可能エネルギーを如何に大量に電力系統に入れるかの基本となる、周波数制御、安定度、負荷配分法、状態推定法等である。また、これらの知識は、実際の電力系統運用に関しても基礎となるものである。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気法規・施設管理		
科目キー	2806021009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柿沼　宇佐		

副題

授業概要　電力供給システムは、現代社会においてあらゆる活動の基盤となるライフラインシステムであり、経済的、技術的に最適なシステムを構築するためのシステム設計・維持に係わる電気事業関連法制度、電力供給体制、設備形成、施設管理・運用等の知見は、将来の国民生活、社会構造のあり方にも大きく影響する分野であると考えられる。また、電力産業は、基幹的なエネルギー産業として、エネルギーセキュリティー、地球環境問題、新エネルギー技術開発など、我々が直面している多くの課題に密接な関連を有している。本講義は、現在世界的規模で進められている電気事業自由化の動きとの関連で、これらの諸課題解決に取り組む上での必須の知識を提供するものである。

シラバス
第　1回（4月　8日）　オリエンテーション
第　2回（4月15日）　電気事業の公的規制の考え方
第　3回（4月22日）　電力とエネルギー問題
第　4回（4月29日）　電気事業の歴史
第　5回（5月13日）　海外の電気事業
第　6回（5月20日）　電力需給計画及び調整
第　7回（5月27日）　電気施設の建設と運用
第　8回（6月　3日）　地球環境問題と電気事業
第　9回（6月10日）　電気料金制度
第10回（6月17日）　電気事業法及び関係政省令
第11回（6月24日）　その他の電気関係法令
第12回（7月　1日）　電気設備基準
第13回（7月　8日）　電気主任技術者制度
第14回（7月15日）　電気事業の規制緩和
第15回（日程別途指示）　学力考査及び解説

教科書　電気学会「電気施設管理と電気法規解説」

参考文献

評価方法　定期試験等

備考　電気主任技術者資格取得のための必修科目

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気機器		
科目キー	2806021012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	若尾　真治		

副題

授業概要　電気機器は、電気エネルギーと機械エネルギーを相互に変換する装置、あるいは電圧・電流・周波数などを変換する装置の総称であり、現在では発電や送配電から工場の動力設備はもちろん、家電製品やコンピュータ等の情報機器にいたるまで広く用いられ、現代社会を支える重要な基盤要素の一つとなっている。本講義では、電気機器のうち主なものについて、その基本原理・構造・特性・用途などについて解説する。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　電気機器の基礎（電磁力，ファラデーの電磁誘導の法則，磁気回路など）
第　3回　理想変圧器と等価回路
第　4回　実際の変圧器と等価回路
第　5回　変圧器の等価回路定数の決定
第　6回　誘導電動機の原理と構造
第　7回　固定子巻線と起磁力分布
第　8回　誘導電動機の等価回路と回路定数の決定
第　9回　誘導機におけるエネルギーの変換過程
第10回　誘導電動機の特性（速度特性，出力特性など）
第11回　同期機の原理と構造
第12回　同期機における電機子反作用と等価回路
第13回　同期機の特性（無負荷飽和曲線，短絡特性曲線など）
第14回　直流機の原理と構造
第15回　学力考査および解説

教科書　指定なし

参考文献

評価方法　定期試験・レポート

備考　大学初年度で学んだ電磁力や電磁誘導を中心とする電磁現象に関して、十分に復習しておくこと。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数値解析		
科目キー	2806021013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	若尾　真治		

副題

授業概要　工学における現実の諸問題を解く場合、物理現象のモデル化とその定式化、そして解の導出という過程を経る。このとき解析的な解が存在することは希であり、コンピュータを用いて数値的に解を求めることになる。本講義では定式化に留意しながら工学上の諸問題を数学的に分類し、その主なものについて計算機向きのアルゴリズムを解説する。

シラバス
第　1回　オリエンテーション
第　2回　数値計算の基礎
第　3回　補間
第　4回　数値積分
第　5回　常微分方程式
第　6回　非線型方程式
第　7回　偏微分方程式（差分法の基礎）
第　8回　偏微分方程式（ポアソン方程式）
第　9回　偏微分方程式（波動方程式，拡散方程式）
第10回　連立一次方程式（ガウスの消去法）
第11回　連立一次方程式（反復法）
第12回　固有値
第13回　数値計算における誤差
第14回　レポート提出による授業理解の確認（提出方法・時期は授業中に指示）
第15回　学力考査および解説

教科書　指定なし

参考文献

評価方法　定期試験・レポート

備考　注意事項：講義付随のレポート提出ではプログラミングに関する初歩的知識を要する。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数理計画法		
科目キー	2806021014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩本　伸一		

副題

授業概要

本講義は、日本語と英語の2ヶ国語で行われるバイリンガル授業である。内容は、一般の現実問題で起こる、等号制約下・不等号制約下で如何にに最適な解を見つけるかの手法の学習である。実際の社会で使われている、LP（線形計画法）、NLP（非線形計画法）、DP(動的計画法)を勉強する。具体的には、制約条件下でのコスト最小化や利潤最大化を例題を通して勉強する。特に、電気の知識は必要としない（1年生、2年生でも受講可）。

The lecutures are done both in Japanese and English. The content is to learn how to find the optimal solution for problems having both equality and nonequality constraints, which canbe found in real life. We learn ″Linear Programming″, ″Dynamic Programming″, and ″Nonlinear Programming″, which are being used in the real world. Examples cover ″Cost minmization problems″ and ″Profit maximization Problems″. No knowledge in Electrical Engineering is needed (Even 1st and 2nd year students can take this course).

シラバス

No. 1 オリエンテーション　（Orientation）
No. 2 線形計画法の概念　（Concept of Linear Programming）
No. 3 標準形　（Standard form）
No. 4 例題　（Examples）
No. 5 シンプレックス法　（Simplex method）
No. 6 正準形　（Cannonical form）
No. 7 段階I-段階II法　（Phase I – Phase II Approach）
No. 8 ビッグM法　（Big M method）
No. 9 動的計画法の概念　（Concept of Dynamic Programming）
No.10 動的計画法の理論　（Theory of Dynamic Programming）
No.11 動的計画法の例題　（Examples of Dymamic Programming）
No.12 非線形計画法の概念（Concept of Nonlinear Programming）
No.13 非線形計画法の理論（Theory of Nonlinear Programming）
No.14 非線形計画法の例題（Examples of Nonlinear Programming）
No.15 学力考査および解説（Comprehensive evaluation）

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プラズマエレクトロニクス		
科目キー	2806021015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　勇		

副題

授業概要　″ プラズマ現象の基礎知識を得ることを目的とする。プラズマは固体、液体、気体に続く物質の第四態とも呼ばれ、（宇宙空間まで含むと、むしろプラズマが物質の当たりまえの）状態である。この講義では、荷電粒子運動論、電磁流体力学などをもとに、プラズマの動きと安定性、プラズマ中の波動の伝搬についての理解を深めた上で、プラズマの応用に取り組む。CVDによる材料合成、レーザ、半導体プロセシングなど新しい物質の合成や光デバイスや電子デバイスの製造に広く使われている気体プラズマを中心するが、固体内のプラズマ現象にも触れていく。

″

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子回路A		
科目キー	2806021016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宗田　孝之		

副題

授業概要　バイポーラトランジスタの動作原理とそれを表現するときの基本式からはじめて、バイポーラ回路の基礎、バイポーラ基本回路について解説します。また、簡単な三角波発生器を例にとって、設計の考え方も解説します。

シラバス

1　はじめに
1.1　半導体とは
1.2　pn接合
1.3　トランジスタの動作原理
2　バイポーラトランジスタ回路の基礎
2.1　トランジスタの表現
2.2　エミッタ電流の決定
2.3　トランジスタの動作領域
2.4　トランジスタの増幅作用
2.5　利得と電源電圧
2.6　トランジスタ回路の周波数特性
3　バイポーラトランジスタの基本回路
3.1　ダーリントン回路
3.2　カレントミラー回路
3.3　アーリ効果がミラー係数に与える影響
3.4　ウィドラー型カレントミラー回路
3.5　差動増幅回路
3.6　差動増幅回路の電圧利得
3.7　アクティブ負荷付差動増幅回路
4　バイポーラ回路設計
4.1　目標規格
4.2　動作原理の考え方
4.3　回路設計法

教科書　半導体回路設計技術（玉井迪監修、日経マグロウヒル）

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）の成績を総合的に勘案して評価します。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子回路B		
科目キー	2806021017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小林　正和		

副題

授業概要

シラバス

バイポーラトランジスタ用いた電子回路の復習
FETの基礎　1，2
MOS構造の基礎1，2
バイポーラトランジスタとの比較
等価回路の考え方
FETの利用例1，2
アナログ回路とデジタル回路1，2
集積回路
CCD
C?MOS
期末試験

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	場の理論入門		
科目キー	2806021018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	宗田　孝之		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子力学		
科目キー	2806021019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宗田　孝之		

副題

授業概要　量子論を習得していることを前提として、量子力学の数学的構造を学ぶ。量子力学の数学的定式化をまず一次元系について学びすなわち、厳密な数学的定式化のもとで、行列表示、摂動論、不確定性原理などを学ぶ。スピンの概念、二次元、三次元における角運動量の量子化、量子論と本講義の集大成として、水素原子の電子構造と周期律表についても学ぶ。

シラバス
1　1次元系における散乱
2　行列法と摂動論
3　量子力学の数学的構造
4　スピンと粒子の同一性の役割
5　多粒子系
6　角運動量の量子化
（7　水素原子）

教科書　Quantum Mechanics, ed. By R.W. Robinet (Oxford University press, 1997)

参考文献　適宜自分に合った本を探してください。

評価方法　定期試験・レポート(提出レポートはA4版とし、必ず科目名、学籍番号、氏名、課題出題日、課題提出日を明記のこと)の成績を総合的に勘案して評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	量子論		
科目キー	2806021020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宗田　孝之		

副題

授業概要　量子力学の基本概念について教授する。まず、量子力学が身近なものであることを、核磁気共鳴イメージングなどの目に見える豊富な資料に基づいて示す。その後、古典力学との対比を明確にするため古典的波動の復習から出発して、不確定性原理、シュレディンガー方程式とその解釈など量子力学の基礎概念を詳述する。数学的簡単化のため、例題はすべて一次元系とする。この例題には、半導体レーザーの作成時にすでに用いられている応用上きわめて重要な量子井戸構造も含まれている。

シラバス
1 量子物理学概観
2 古典的波動
3 シュレディンガー波動方程式
4 確率の概念
5 シュレディンガー方程式の解釈
6 無限障壁井戸(1):エネルギー固有値問題
7 無限障壁井戸(2):量子力学の数学的構造
8 調和振動子

教科書　Quantum Mechanics, ed. By R.W. Robinet (Oxford University press, 1997)

参考文献　適宜自分に合った本を探してください。

評価方法　定期試験・レポート(提出レポートはA4版とし、必ず科目名、学籍番号、氏名、課題出題日、課題提出日を明記のこと)の成績を総合的に勘案して評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	半導体の物理		
科目キー	2806021021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	堀越　佳治	西永　慈郎	

副題

授業概要　エレクトロニクスの基礎をなす半導体について、エネルギーバンド、構造電子および正孔の統計、有効質量、電子正孔の移動度、pn接合、パイポーラ構造など、半導体を電子デバイス等に応用していく上で不可欠な基礎知識を学ぶ。さらに、超格子、量子井戸構造など、ナノ構造における半導体物理にも触れる。2年前期の「物性基礎論」では、半導体の入り口まで学ぶので、これを受講しておくことが望ましい。本講義では、これを受けて、半導体の基礎をしっかりと学び、3年前期の「電子デバイス」の講義に繋いでいく。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物性基礎論		
科目キー	2806021022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	堀越　佳治		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電子デバイス		
科目キー	2806021023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小林　正和		

副題

授業概要　電子デバイスとは、電子を使って機能を産み出す仕組みを意味する。その機能とは信号処理（増幅、発振、変復調）、記憶、センシングなどである。この講義では、固体物性論を基礎として、固体中での電子の動きを制御して機能を産み出す原理、デバイスの構造、動作を解説する。

シラバス

電子デバイスの概要と社会における浸透
電子状態とバンド理論　1，2
半導体の基礎物性　1，2
pn接合の基礎知識　1，2
バイポーラトランジスタ
MOSトランジスタ
集積回路　1，2
トンネル効果素子
光素子　1，2
期末試験

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光デバイス		
科目キー	2806021024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野口　一人		

副題

授業概要　現代のブロードバンド・ユビキタス社会を支えるインフラストラクチャーであるインターネット，および今や生活必需品となったDVDやBlu-Rayなどの光ディスクは，最新の光デバイスよってもたらされている。本講義では，これらの光デバイスを基本的な物理法則との関連において学修し，現代の光デバイス技術の基礎を修得することを主眼とする。

シラバス　授業回数15回　内「学力考査および解説」(定期試験)1回
第1回(4月6日)オリエンテーション
第2回(4月13日)光デバイス・光ファイバ通信システムの概観
第3回(4月20日)波動としての光，反射と屈折
第4回(4月27日)光線行列と結像系，干渉と回折
第5回(5月11日)光の伝搬とガウスビーム
第6回(5月18日)光の吸収と発生
第7回(5月25日)光増幅とレーザの原理
第8回(6月1日)レート方程式と各種レーザ
第9回(6月8日)光変調
第10回(6月15日)平面光波回路
第11回(6月22日)光ファイバ
第12回(6月29日)光検出器
第13回(7月6日)光通信システム
第14回(7月13日)光通信技術の最新動向と応用技術
第15回(日程別途指示)学力考査および解説

教科書　教科書:「光ファイバ通信入門」(改訂4版)　末松安晴・伊賀健一　オーム社

参考文献　参考書1:「光エレクトロニクス」　神保孝志　オーム社
参考書2:「光通信工学」　左貝潤一　共立出版

評価方法　出席および定期試験

備考　なし

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光記録		
科目キー	2806021025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田丸　直幸		

副題

授業概要　マルチメディアの中核を担うオプトエレクトロニクス分野の一つである光記憶について半年間で学びます。まず、光記憶の位置付け、分類について学んだ後に、CD（コンパクトディスク），ミニディスク、DVD、BDなどで一般に広く普及している光ディスクメモリについて特徴、記録・再生原理、光ヘッド構成、サーボ方式、信号方式などについて学習します。
さらに、新聞、雑誌に掲載された最新のトピックスを授業開始後10分間程度で紹介する。

シラバス　第1回（4月6日）自己紹介、事前テスト、アンケート、講義の進め方、注意事項など

第2回（4月13日）
1．メモリー般
(i)メモリとは
・メモリの分類、種類
・容量と転送速度、アクセス時間、容量とコスト
・ハイラーキ（センタシステム、パソコン）
・スーパーコンピュータ

第3回（4月20日）
(ii)光記録と磁気記録
・信頼性、転送速度、アクセス時間、メモリセル寸法の比較

第4回（4月27日）
2．光ディスクメモリ
(i)特徴と構成
・機構構成
・光ヘッド

第5回（5月11日）
・レーザ
・光学系
・光ディスクの特徴

第6回（5月18日）
(ii)分類
・読み取り専用（ROM:Read Only Memory）
・追記（WORM：Write Once Read Many）

第7回（5月25日）
・書き換え（RAM）

第8回（6月1日）
(iii)媒体の構成と特徴
・ROM媒体
・RAM媒体（光磁気（MO）、相変化（PD）、オーバーライト）

第9回（6月8日）
・製造法（インジェクション、スタンパなど）

第10回（6月15日）
(iv)光ヘッドの原理と構成
・光学系の構成（対物レンズ、コリメータレンズ、1／2・1／4波長板、偏光子など）

第11回（6月22日）
・レーザダイオードの原理と特徴（原理、構造、短波長化、楕円率、モードなど）
・光ヘッドの小形化

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	光記録		
科目キー	2806021025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

第12回（6月29日）
（v）記憶・再生の原理と高密度化
・MO媒体（カー効果、キューリー点）

第13回（7月6日）
・PC媒体（非晶質、結晶質）

第14回（7月13日）
（vi）光と磁気記録の将来
・光記録の将来動向予想
・磁気記録の将来動向予想

第15回（日程別途指示）
授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　授業で使用した図表類などは適時プリントで配布します。

参考文献　授業中に紹介します。

評価方法　定期試験・授業中に行う小テスト（数回）、課題、出席状況などを含めた総合的評価を行います。

備考

関連URL:　http://www.sis.otsuma.ac.jp/tamaru/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	フォトニクス		
科目キー	2806021026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　勇		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	誘電体材料		
科目キー	2806021028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大木　義路		

副題

授業概要　誘電体材料に関する講義である。誘電体は光透過材料であると同時に電気的絶縁材料である。光ファイバなど光透過性を活かした材料に関する基礎的な事柄を前半に、絶縁性を担う材料に関する事柄を後半に講義する。

シラバス

(1)第1章　誘電体とは？ 誘電体の性質と重要性
(2)第2章　光を通す材料としての誘電体
2.1 光の性質の基礎事項
2.1.1 光の電磁気学と波動方程式
2.1.2 屈折率
2.1.3 群速度
(3)2.2 光の反射・吸収・散乱
2.2.1 プラズマ振動とプラズマ反射
2.2.2 反射の電磁気学
(4)2.2.3 光の吸収
2.2.4 光の散乱
(5)第3章　光導波の機構
3.1 光導波路の構造
3.2 全反射条件
(6)3.3導波モード
(7)3.4 光ファイバ
3.4.1 光ファイバ材料の光学的特性
3.4.2 光ファイバの構造
(8)3.4.3 光ファイバの製造（時間があればビデオを見せる）
3.4.4 光ファイバの導波特性
3.4.5 光信号の伝搬速度
3.4.6 分散
(9)3.5 光ファイバ増幅器
3.6 ソリトン通信
3.7 誘電体材料のその他の応用
(10)第4章　強誘電性と非線形光学効果
4.1 強誘電性
4.2 非線形光学効果
4.2.1 非線形光学効果とは
4.2.2 2次の非線形光学効果
(11)2.3.3次の非線形光学効果
(12)第5章　誘電分極
5.1内部電界と外部電界
(13)5.2誘電分極の種類
5.2.1電子分極
5.2.2原子分極
5.2.3双極子分極
(14)5.3誘電損
番外　講義した中で最も重要な事柄のキーワードの伝達（都合により中止することもある）
(15)定期テスト

教科書　培風館　電気・電子・情報工学系テキストシリーズ11
大木義路編著　誘電体物性
可能なら2006年1月発行の初版第2刷、2009年4月に発行予定の第3刷と指定して購入して下さい。

参考文献

評価方法　1. 期末に行う試験の成績　2. 出席点　3. レポートの成績の総合的な評価によって行う。
◎　出席　原則として毎時間調べる。

備考　注意事項：　私語をする者、授業を聞く気の少ない者は選択しないで頂きたい。また、上記の者には退席をお願いすることがある。

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	誘電体材料		
科目キー	2806021028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物質の量子論		
科目キー	2806021029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	武田　京三郎		

副題

授業概要　本講義は、電子工学を学ぶ上で必要な量子力学の基礎知識およびその手法の修得を目的とする。従って、定義の厳密性より電子工学における量子力学の意義と量子論から導かれる種々の結論の理解に主眼を置いた講義を行う。講義内容は前期量子論を議論し、物質波の考え方を学び、シュレヂンガー方程式の導入を行った後、様々なポテンシャル場内での電子状態を解くことにより、物質開発での量子力学の適用法を学ぶ。講義の性格上、必要に応じて演習を行う。

シラバス
[第 1回]物質の量子論とは
[第 2回]原子のスペクトル
[第 3回]ボーアの水素原子模型
[第 4回]Rydberg-Ritzの結合則
[第 5回]光電効果
[第 6回]物質波と電子線回折
[第 7回]古典力学から量子力学へ
[第 8回]量子力学の基礎原理
[第 9回]知力と体力の強化
[第10回]自由電子の電子構造
[第11回]井戸型ポテンシャル中の電子状態
[第12回]トンネル現象
[第13回]水素原子中の電子状態I
[第14回]水素原子中の電子状態II
[第15回]量子材料学と量子生物学

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	物質の電子論		
科目キー	2806021030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	武田　京三郎		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	集積回路		
科目キー	2806021031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(前期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	作井　康司		

副題

授業概要　半導体メモリが工業的にどのように貢献してきたか　これまでのメーカーにおける研究開発の中で実践体験をもとに修得する事を目的とする。内容はトランジスタ動作の基礎を復習し、論理ゲートについて議論し、揮発性メモリの代表としてDRAMを議論し、不揮発性メモリの代表としてNANDを議論する。そして、今後NANDによるSSDがHDDに代わりコンピュータのアーキテクチャを変えていく将来像に焦点をあてる。

シラバス　※時限が変更になりました(4/1更新)。

第1回　6/25(木)3時限
＊自己紹介
＊フラッシュメモリの紹介
＊大分類　メモリとロジック
＊Intel生誕の話
第2回　6/25(木)4時限
＊トランジスタまでの復習(ショートチャネル効果、バックバイス効果)SGT
第3回　6/25(木)5時限
＊Stanford大学での話
第4回　6/26(金)3時限
＊インバータの計算
＊クロックジェネレータ回路
＊各種ゲート
第5回　6/26(金)4時限
＊半導体メモリの話
＊各種メモリDRAM、SRAM、ROM
第6回　6/26(金)5時限
＊DRAMの動作の話
＊トレンチセルの話
第7回　6/27(土)3時限
＊Table Look-up Modelの話(CICC)
第8回　6/27(土)4時限
＊RBCセルの話
第9回-13回　7/2(木)3-5時限、7/3(金)3-4時限
＊フラッシュ、NANDが生誕するまでの話
＊NANDの話
＊Pseudo Pass Program
＊BGRの話
第14回　7/3(金)5時限
3Tr.フラッシュ
第15回　7/4(土)3時限
＊SSDの話
＊まとめ

教室(予定)
6/25(木)3ー5時限　52-B104
6/26(金)3ー5時限 54-404
6/27(土)3ー4時限 52-B104

7/2(木)3ー5時限 52-B104
7/3(金)3ー5時限 54-404　→　63号館2階04会議室(09/06/30更新)
7/4(土)3時限 52-B104

教科書

参考文献　K. Sakui etc., "Flash memory technology with emphasis on Flash," IEEE Press, Jan. 2008.

評価方法　レポート・平常点

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	集積回路		
科目キー	2806021031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(前期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上

備考　【担当教員連絡先等】
作井　康司 (koji.sakui@happy.email.ne.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B　1クラス		
科目キー	2806021032		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松本　隆		

副題

授業概要　交流定常状態を扱う回路理論Aでは"時間"が背後に隠れていたが、回路理論Bでは回路の時間依存性を陽に学ぶ。例えば、ある素子に蓄えられていた電荷が何らかの理由で動かなければならない状況が生じると、回路素子の接続状況に依存して「過渡現象」が起こる。RC回路を詳述した後、RL回路、そしてRLC回路の過渡現象につい学ぶ。後半は分布定数回路、能動回路等を含め、高学年に進む際必要となり得る項目にも触れる。

シラバス

(1)(1)(2)定数係数線形微分方程式の解法
　　RC／RL直列回路(1次回路、時定数、初期値の決定)
(3)　RLC直列回路(2次回路、振動／under damping,／over damping／critical damping)
(4)(5)ラプラス変換と公式
　　ラプラス変換による解析
　　初期値を考慮した等価回路
(6)　展開定理による回路方程式の解法(重根を持つ場合を含む)
　　初期値定理／最終値定理の応用
(8)　システムコンセプト(インパルス応答、過渡応答)
(9)　分布定数回路の伝搬方程式と基本解
伝搬定数(減衰定数，位相定数)と特性インピーダンス
(10)基本解の4端子定数行列表示
　　境界条件(半無限長，両無限長，有限長)
(11)反射現象と定在波
　　インピーダンス整合
　　位置角
(12)周期関数のフーリエ級数展開(基底関数、フーリエ係数の計算法、スペクトル、高調波、Gibbs現象)
(13)非正弦波交流／歪み波交流回路
(14)余裕があれば、初等CMOSトランジスタ回路(過渡現象)やCADにも言及する。

教科書　尾崎　著
大学課程　電気回路(2)第3版
オーム社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・(中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。)

備考　【担当教員連絡先等】
内田健康(kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B　2クラス		
科目キー	2806021032		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　健康		

副題

授業概要　交流定常状態を扱う回路理論Aでは"時間"が背後に隠れていたが、回路理論Bでは回路の時間依存性を陽に学ぶ。例えば、ある素子に蓄えられていた電荷が何らかの理由で動かなければならない状況が生じると、回路素子の接続状況に依存して「過渡現象」が起こる。RC回路を詳述した後、RL回路、そしてRLC回路の過渡現象につい学ぶ。後半は分布定数回路、能動回路等を含め、高学年に進む際必要となり得る項目にも触れる。

シラバス

（1） 定数係数線形微分方程式
　　基本的な考え方と解法
（2） RC／RL直列回路(1次回路) 1
　　時定数、初期値の決定
（3） RC／RL直列回路(1次回路) 2
　　組み合わせ
（4） RLC直列回路(2次回路)
　　振動現象
　　under damping／over damping／critical damping
（5） ラプラス変換と公式
（6） ラプラス変換による解析
　　初期値を考慮した等価回路
（7） 展開定理による回路方程式の解法
　　重根を持たない場合
　　重根を持つ場合
（8） 初期値定理／最終値定理の応用
（9） 中間試験
（10）システムコンセプト
　　インパルス応答
　　過渡応答
（11）分布定数回路　1
　　伝搬方程式と基本解
　　伝搬定数(減衰定数, 位相定数)
　　特性インピーダンス
（12）分布定数回路　2
　　基本解の4端子定数行列表示
　　境界条件(半無限長, 両無限長, 有限長)
　　反射現象と定在波
　　インピーダンス整合
（13）周期関数のフーリエ級数展開
　　基底関数
　　フーリエ係数の計算法
　　スペクトル
　　高調波
（14）非正弦波交流／歪み波交流回路
（15）期末試験

教科書　参考書:
「大学課程 電気回路(2)第3版」尾崎, オーム社.

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・(中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。)

備考　内田健康(kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B　2クラス		
科目キー	2806021032		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B・演習　1クラス		
科目キー	2806021033		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松本　隆		

副題

授業概要　回路理論Bで講義されるコンセプト、手法等を十分身につけるため、毎週演習を行う。基本は各素子の物理量の時間への陽な依存性の捉え方を習熟する。

シラバス　(1)回路理論Bの講義の進行に合わせて、演習問題により演習を行う。

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・(中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。)

備考　担当教員連絡先等】
内田　健康 (kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	回路理論B・演習　2クラス		
科目キー	2806021033		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　健康		

副題

授業概要　回路理論Bで講義されるコンセプト、手法等を十分身につけるため、毎週演習を行う。基本は各素子の物理量の時間への陽な依存性の捉え方を習熟する。

シラバス　回路理論Bの講義の進行に合わせて、演習問題により演習を行う。

教科書

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・(中間試験、期末試験の成績の総合的な評価によりおこなう。)

備考　内田健康(kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	システム解析		
科目キー	2806021034		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　健康		

副題

授業概要　システム技術の特徴は、それが電気工学、機械工学など個別分野の縦割りの体系を超えて、すべての分野に関連するいわば横割の方法を提供することにある。それらはさらに、情報生命システム、社会システム、環境システムなどにも共通する視点を養う。この講義では、電気系、機械系、流体系、熱系、およびそれらの複合系などの様々なシステムの解析から出発して、システムの振舞いを理解する統一的な方法を学ぶ。微分方程式によるモデル化、線形化、応答解析、安定性などがテーマである。

シラバス

1. システムとは
2. 状態と状態方程式
3. 状態空間
4. 平衡状態の近傍における運動
5. 入力、状態および出力、線形系の応答
6. 線形性と時不変性、インパルス応答
7. ラプラス変換、伝達関数
8. 演習課題の解説
9. 周波数応答、周波数特性
10. 高次系の応答、高次系の伝達関数
11. 状態ベクトルと1次変換、標準形
12. 状態遷移行列、モード
13. 平衡状態の安定性、安定性の条件
14. 安定性の判別法、入出力関係の安定性
15. 定期試験

教科書　教科書：示村悦二郎 "線形システム解析入門"コロナ社
参考書：示村悦二郎 "自動制御とは何か" コロナ社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）・平常点・(成績は、講義期間中の試験、学期末の定期試験、レポートの成績、出席の状況を勘案して決める。なかでもレポートの成績を50-60%のウエイトで考慮する。)

備考　授業の進め方：
大学における学習は自己の主体的，能動的な学習が基本であることは言うまでもない．講義は必要な学習量の1／3にしか相当しない．残りは自分で勉強する事を前提として，教室での講義が組み立てられている．そこで，教室以外での学習を実効あるものにするために，原則として毎週宿題を課す．宿題には，予習をするためのもの，復習をするためのもの，知識の幅と深さをますためのものなど，その時どきによって性格の異なるものが課せられるが，宿題を解決するのが自学自習のすべてではないことを認識しておかなくてはならない．

【担当教員連絡先等】
内田　健康 (kuchida@uchi.elec.waseda.ac.jp)

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	デジタル回路		
科目キー	2806021035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	渡邊　亮		

副題

授業概要　デジタル電子回路の基本を講じ、論理回路素子の動作を理解し、論理システムを設計するために必要な基本を理解する。組み合せ論理回路、順序回路、レジスター回路の具体的な回路構造を理解し、情報システムの基本的なハードウェア構造を理解し、ハードウェアのアーキテクチャ設計の基本を身につける。

シラバス

基本論理ゲート

論理式

組み合わせ論理回路

フリップフロップ

順序論理回路

教科書　教科書は指定しない

参考文献　藤井信生 著「なっとくするディジタル電子回路」講談社

評価方法　定期試験（適宜レポートの提出を求めることがある）

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	制御工学		
科目キー	2806021036		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡邊　亮		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計測工学		
科目キー	2806021037		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	富田 豊		

副題

授業概要　定量的な計測は多くの分野において重要であり、現在は電気、電子計測が主流になっている。この講義においては、計測における考え方をはじめ、各種計測器、計測システムに至るまで、出来る限り実例をあげながら説明を行

シラバス

1 計測の基礎(誤差、感度、単位)
2 センサ(電気量計測用、物理量計測用、化学量計測用)
3 電気計器(可動コイル形計器、 計器用トランス、記録計器)
4 電子計測用要素(オペアンプ、周波数シンセサイザ、A／D、D／A変換器)
5 電子計測機(カウンタ、オシロスコープ、スペクトラム、アナライザ)
6 計測システム(インタフェース、バス方式、広域システム)
7 電気量の計測(電流、高周波電圧、位相)
8 電力の計測(電力計、ホール電力計、力率の計測)
9 抵抗・インピーダンス計測 (抵抗の計測、高抵抗の計測、交流ブリッジ)
10 信号処理(アナログ)
11 信号処理(デジタル)
12 磁気計測(ホール・センサ、磁化特性、鉄損)
13 光計測(波長、スペクトラム、エネルギー)
14 センシングデバイス
15 センシングシステム

教科書　菅野允 著　改訂　電磁気計測　コロナ社

参考文献　富田豊 著　すぐに使えるオペアンプ回路図100　丸善

評価方法　レポートおよび教場試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	信号処理		
科目キー	2806021038		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松本　隆		

副題

授業概要

我々が日常接している音声、画像、気象、脳や心臓等からの生体データなどを「信号」(signal)と呼んでいます。

これらの信号は一般に複雑でゆれ動いているので、そのような信号から背後に潜む本質的な情報を「抽出」し、それを伝達・蓄積・利用・システムの観測や制御などを目的として信号に操作を施すことを「信号処理」(signal processing)と呼んでいます。

前半は、信号処理で基本的役割を演じるいくつかの変換手法を学びます。具体的にはフーリエ級数、フーリエ変換、離散フーリエ変換(DFT)、離散コサイン変換(DCT)を身に着けます。具体的応用例として、画像圧縮、たんぱく質X線解析、などを紹介します。ヒトの聴覚系や視覚系の特性がいかに応用に結びついているかに付いても述べます。

後半は、統計的信号処理について学びます。まず雑音とは何かからはじめ、確率・統計的枠組みから雑音を捕える視点のおさらいからはじめます。その上で最尤推定とそのすばらしさ、そしてその限界について学びます。最尤推定とは別の視点から問題を捉えるパラダイムとして、Bayes推定を詳述します。具体的応用例として、バイオメトリック

シラバス

1. 変換手法
Fourier級数
フーリエの定理
正規直交性
周波数スペクトル
Fourier級数からFourier変換へ：非周期関数の場合
フーリエ変換と逆変換
DFT(離散フーリエ変換)
関連する変換：DCT(離散コサイン変換)
何につかえるか？

2. 統計的信号処理
・そもそも雑音とはなにか？
・確率・統計的枠組み：おさらい
・尤度
・最尤推定
・最尤推定のすばらしさと限界
・Bayes推定
・Bayes公式
・何につかえるか？

教科書

資料配布

参考文献

参考書
堤　正義：「応用数学演習」, pp. 38-94、サイエンス社
高木　貞治：「解析概論」,pp. 268-203、岩波書店
大下　真二郎：「電気回路演習」, pp. 307-368、共立出版
末松　良一、山田　宏尚：「画像処理工学」、コロナ社
矢萩　隆嗣：「デジタル信号処理と基礎理論」、コロナ社
蓑谷千凰彦：「統計学入門」、東京図書
石黒, 松本, 乾, 田邉：「階層ベイズモデルとその周辺ー時系列・画像・認知への応用」, 岩波書店
http://www.iwanami.co.jp/.BOOKS/00/5/006841+.html

評価方法

定期試験・レポート・出席

備考

【担当教員連絡先等】
松本　隆 (takashi@mse.waseda.ac.jp)

関連URL:

http://www.matsumoto.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	信号処理		
科目キー	2806021038		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	画像処理		
科目キー	2806021039		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井田　孝		

副題

授業概要　デジタルTV放送、デジタルカメラ、携帯電話などで、デジタル画像情報にふれる機会が急増しています。これらを支えている画像処理技術について、基礎理論から実用アルゴリズムまで学びます。目的に応じて画像データをとらえ直しながら、様々な手法がこれまでに考案され、現在も日々進歩していることを理解します。

シラバス
第　1回（10月　1日）　オリエンテーション
第　2回（10月　8日）　画像の表現
第　3回（10月15日）　画像情報処理
第　4回（10月29日）　画像符号化（可逆符号化）
第　5回（11月　5日）　画像符号化（不可逆符号化）
第　6回（11月12日）　画像符号化（動画像の符号化）
第　7回（11月19日）　濃淡画像処理（濃度変換、平滑化、鮮鋭化など）
第　8回（11月26日）　濃淡画像処理（エッジ・線の検出など）
第　9回（12月　3日）　濃淡画像処理（幾何学的変換、画素内挿など）
第10回（12月10日）　2値画像処理
第11回（12月17日）　コンピュータグラフィックス
第12回（　1月　7日）　画像認識
第13回（　1月14日）　3次元画像処理・動画像処理
第14回（　1月21日）　学力考査および解説

教科書　「画像処理工学」(メカトロニクス教科書シリーズ)末松、山田著、コロナ社

参考文献　「ディジタル画像処理」奥富編、CG-ARTS協会、3,780円、ISBN 4-906665-47-0

評価方法　期末試験と出席状況

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	パターン認識		
科目キー	2806021040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	栗田　多喜夫	赤穂　昭太郎	

副題

授業概要

人間は、学習を通して、現実世界の多様で膨大な情報を類型的なパターンとして概念に対応付け、それらの関係を知識として蓄積することで、さまざまな状況に柔軟に対応できる。パターン認識は、人間が生存するための最も基本的な能力であり、知能の根幹をなしている。最近、犯罪・テロの防止、交通事故の削減等の「安心・安全で快適な社会」を構築するのための技術開発の重要性が指摘されている。これらの応用では「人間なら簡単にできるが今のコンピュータでは難しい」機能を実現することが重要である。パターン認識は、こうした課題の解決のための鍵となる技術である。また、インターネットや携帯電話等が急速に普及し、生活の様々な場面で情報技術が利用されるようになったが、そうした情報機器と人間との自然なインタフェースを実現するためにもパターン認識は重要な役割を担っている。さらには、インターネット上に分散的に蓄えられた大量のデータの中から意味のある情報を取り出すためのデータマイニングや遺伝子配列とその機能との関連性を抽出するバイオインフォマティクス等でも、パターン認識が多用されている。パターン認識の実現には、現実世界の曖昧さや不確かさを扱う必要がある。本講義では、パターン認識および機械学習の話題について、確率統計的な視点から解説し、人間のような柔軟な知的情報処理システムを実現するための基礎技術の習得を目指す。

シラバス

第 1回(9月28日 担当:赤穂) オリエンテーション
第 2回(10月 5日 担当:赤穂) 確率モデル
第 3回(10月12日 担当:赤穂) 線形モデル
第 4回(10月19日 担当:赤穂) 基本的な識別器
第 5回(10月26日 担当:赤穂) カーネル法と正則化
第 6回(11月 2日 担当:赤穂) いろいろな学習の枠組
第 7回(11月 9日 担当:赤穂) ベイジアンネットワーク
第 8回(11月16日 担当:栗田) パターン認識のための多変量データ解析手法
第 9回(11月23日 担当:栗田) 線形識別関数の学習とニューラルネット
第10回(11月30日 担当:栗田) 汎化性の評価と特徴選択
第11回(12月 7日 担当:栗田) クラスタリング
第12回(12月14日 担当:栗田) 進化論的計算論
第13回(12月21日 担当:栗田) パターン認識の応用(顔検出・顔認識)
第14回(1月18日 担当:栗田) 授業理解の確認。確認方法は授業中に指示する。

教科書

教科書は指定しない

参考書
・C.M.ビショップ著 元田他監訳、「パターン認識と機械学習　上」、シュプリンガー・ジャパン、2007.
・C.M.ビショップ著 元田他監訳、「パターン認識と機械学習　下」、シュプリンガー・ジャパン、2008.

参考文献

その他の参考書
・Richard O.Duda, Peter E. Hart, and David G.Stork, ``Pattern Classification,'' Second Edition, John Wiley & Sons (尾上守夫監訳:「パターン識別」新技術コミュニケーションズ)
・大津展之、栗田多喜夫、関田巌著 「パターン認識--理論と応用」、朝倉書店、1996
・石井ほか:わかりやすいパターン認識, オーム社
・麻生ほか:パターン認識と学習の統計学, 岩波書店
・渡辺ほか:学習システムの理論と実現, 森北出版
・Mackay: Information theory, inference and learning algorithms, Cambridge univ. press
など

評価方法

主にレポートで評価するが、出席状況も加味する。

備考

線形代数と確率統計の基礎を修得していることが望ましい。

【担当教員連絡先等】
栗田　多喜夫 (takio-kurita@aist.go.jp)
赤穂　昭太郎 (s.akaho@aist.go.jp)

関連URL: http://staff.aist.go.jp/takio-kurita/index-j.html

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	パターン認識		
科目キー	2806021040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	プログラム設計とアルゴリズム		
科目キー	2806021043		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野田　五十樹		

副題

授業概要　本講義では、効率的なプログラムを開発するために必要なプログラミング技術を修得するために、構造化コーディング、抽象データ構造(スタック、キュー、木、ハッシュなど)、およびオブジェクト指向について学ぶ。またソートや探索など代表的な各種アルゴリズムについて、実習を交えながら、具体的なプログラミングの技術について触れていく

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	オペレーティングシステム		
科目キー	2806021044		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松坂　要佐	本村　陽一	

副題

授業概要　オペレーティングシステムはコンピュータの基本ソフトウェアであるがその概念、意義は計算機利用技術の発展とともに拡大を続けている。本講義では、UNIXをはじめとするオペレーティングシステムの歴史を概観し、その基本的構成要素である、メモリ管理、プロセス管理、コンピュータリソース管理などの仕組みについて理解する。さらに、オペレーティングシステムが果たす役割について具体的にかつ、深く理解するために、スクリプト言語によるコンピュータの利用方法を学習し、具体的な課題設定を行いながら、最終的には各自で発案したアプリケーションプログラムの設計と作成を行う。

シラバス
第 1回（4月 8日） オリエンテーション（オペレーティングシステムとは？）[松坂]
第 2回（4月15日） オペレーティングシステムの基本機能 [松坂]
第 3回（4月22日） メモリ管理とディスク管理 [松坂]
第 4回（4月29日） プロセス管理とマルチタスク [松坂]
第 5回（5月13日） プロセス間通信・ソケット通信とWebシステム [松坂]
第 6回（5月20日） 情報システム [本村]
第 7回（5月27日） 情報セキュリティ [本村]
第 8回（6月 3日） シェルとスクリプト言語（演習）[松坂]
第 9回（6月10日） Webシステムの作成1（演習）[松坂]
第10回（6月17日） Webシステムの作成2（演習）[松坂]
第11回（6月24日） OSの機能としてのユーザインタフェース [松坂]
第12回（7月 1日） 代表的なオペレーティングシステムの歴史 [松坂]
第13回（7月 8日） 特殊用途のオペレーティングシステム [松坂]
第14回（7月15日） 分散オペレーティングシステム・仮想化 [松坂]
第15回（日程別途指示） 学力考査および解説 [松坂]

教科書　授業中に適宜紹介する。

参考文献

評価方法　教場試験、レポート及び、授業中に行う小テスト、小レポートの結果を総合的に評価する。

備考　最終レポートではスクリプト言語によるアプリケーションの作成と実行を行うので、レポート作成のためシェル(cshなど)、perlやPHPなどのスクリプト言語が実行可能な計算機(Windows, Mac, Linuxなど)が利用できる環境を各自で確保すること。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	データビジュアリゼーション		
科目キー	2806021046		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	横井　利彰		

副題

授業概要　大規模な物理系の複雑な現象を理解し、予測あるいは制御といった問題を考える際、コンピュータによってモデリングを行い、シミュレーションを実施することが一般的となってきている。こうしたシミュレーションにより得られた大量のデータは、そのままでは情報が過剰で、我々が理解できる形に変換して評価する必要がある。現在コンピュータ上では様々なマルチメディア表現が扱えるが、特に画像は多くの情報を含み人間にとって扱い易い情報表現であるため、2次元、あるいは3次元空間に情報を射影することによって可視化することが重要な役割を占めている。本講義では、大規模なデータをコンピュータ上で視覚化するための図形処理と画像処理の手法について習得し、情報メディアとマルチメディア表現に関する演習を合わせて行う。

シラバス
(1)-「データの可視化とは」
(2)-「可視化の段階とマルチメディア技術」
(3)-「数値シミュレーション技術と可視化（1） 有限差分法」
(4)-「数値シミュレーション技術と可視化（2） 有限要素法」
(5)-「数値シミュレーション技術と可視化（3） 表示技術」
(6)-「シミュレーションの可視化実例 均一磁界解析問題について」
(7)-「可視化ソフトウェア（1）vtkの環境整備方法 vtkの例題紹介」
(8)-「可視化ソフトウェア（2）利用の基礎と例題解説」
(9)-「可視化ソフトウェア（3）」
(10)-「医学分野での可視化技術（1）」
(11)-「医学分野での可視化技術（2）」
(12)-「対話的三次元可視化環境（1） シミュレーション技術と可視化の動向 」
(13)-「対話的三次元可視化環境（2） 」

教科書　指定なし。
必要資料・プログラム等は、印刷物または授業Webページにて配布する。

参考文献
(1) The Visualization Toolkit, An Object-Oriented Approach To 3D Graphics, Will Schroeder, Ken Martin, Bill Lorensen, 646 pages, 40 color pages, CD-ROM with software/data, ISBN 0-13-954694-4, Prentice Hall
(2) 別冊日経サイエンス130 ◆ シミュレーション科学への招待 川田重夫・田子精男・梅谷征雄 編 、4-532-51130-5 A4変型判 128ページ 2,415円（税込）
(3) コンピュータビジュアリゼーション インターネット時代の数学シリーズ 4, 中嶋正之・藤代一成編著 ISBN4-320-01643-2 A5・226頁・2,800円
(4) 流れのコンピュータグラフィックス、可視化情報学会編、朝倉書店 可視化情報ライブラリー5、4000円（税別）

評価方法　3回のレポート、出席状況、期末定期試験、を総合して評価する。

備考

関連URL:　授業Webページ
http://www.aoni.waseda.jp/yokoi-yc/LOCAL

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	計算機アーキテクチャ		
科目キー	2806021047		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井上　真郷		

副題

授業概要　現在コンピュータは，広く一般の人に日常的に使われており，その用途も様々である．一方，コンピュータがどのような原理，仕組みで動作しているのかということは寧ろブラックボックス化され，あまり理解されないようになってしまった．しかしながら，コンピュータの動作原理は驚くほど簡単であり，若干のデジタル素子を買ってくれば，自作することすら可能である．本講義は，前半はデジタル回路から出発してCPUを中心にコンピュータの仕組みを積み上げていき，後半はアセンブリ言語を中心にCPU，コンピュータの特性についての理解を深める．コンピュータの得手不得手を知るということは，単に良いプログラムが書けるようになるというだけでなく，次世代のコンピュータの開発や，ひいては周辺産業を含めた経営戦略の立案などにも役立つ重要な素養となろう．履修に当たっては，予めC/Javaプログラミングを修得していることが望ましい．

シラバス　コンピューターの中身がどのような仕組みで設計され，動いているのかを解説する．前半はCPUのデジタル回路としての側面を，後半はCPUのアセンブリ言語としての側面を中心に扱う．
具体的には，以下のことを順に学ぶ．
第01回(09月29日) 講義概要
第02回(10月06日) n進数・数値の内部表現
第03回(10月13日) 演算回路
第04回(10月20日) アナログ部分
第05回(10月27日) レジスタ・ALU
第06回(11月10日) 記憶装置・メモリ
第07回(11月17日) シーケンサ・デコーダ
第08回(11月24日) スタック
第09回(12月01日) 命令セット
第10回(12月08日) パイプライン
第11回(12月15日) 最適化
第12回(12月22日) 復習
第13回(01月12日) 周辺機器
第14回(01月19日) 高級言語との関わり
第15回(02月--日) 学力考査及び解説

教科書　特に指定しない．

参考文献　・「コンピュータの構成と設計」パターソン&ヘネシー著　日経BP社
・「CPUの創りかた」渡波郁著　MYCOM社
・「コンピュータアーキテクチャ」坂井修一著　電子情報通信学会編　コロナ社

評価方法　定期試験及びレポートにより評価する．

備考

関連URL:　http://www.eb.waseda.ac.jp/m_inoue/arch/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	情報理論		
科目キー	2806021048		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井上　真郷		

副題

授業概要　私たちは日常的に多種雑多な情報に接し，それらの価値を明示的に計算したりすることなく，殆ど無意識のうちに取捨選択したり活用したりしている．このようなヒトの能力，知能は素晴らしいものであるが，これを客観的，量的に記述しようとしたのが情報理論である．残念ながらヒトの知能を模すまでには至っていないが，コンピュータファイルの圧縮解凍や，通信における誤り訂正，暗号などの分野では，十分実用的なものが出来上がっている．また，ちょっとしたトランプゲームなどでも，確率のあるところには情報理論の活躍する場がある．必ず間違える通信路の方が，時々間違える通信路よりも性能が良い，などというちょっと変わった素養も身に付けることができる．是非，背後にある原理を読み取って欲しい．履修に当たっては，予め確率・統計を修得していることが望ましい．

シラバス　この分野での基礎的な学問的成果は
・情報量とエントロピー
・情報源符号化
・通信路符号化
の三点に集約され，これらを中心に講義を行う．
具体的には，以下のことを順に学ぶ．
第01回(04月08日) 講義概要
第02回(04月15日) 自己情報量
第03回(04月22日) エントロピー
第04回(04月29日) 情報量復習
第05回(05月13日) 情報源符号化
第06回(05月20日) Shannon-Fano符号
第07回(05月27日) Huffman符号
第08回(06月03日) Lempel-Ziv符号
第09回(06月10日) 相互情報量
第10回(06月17日) 通信路
第11回(06月24日) Hamming符号
第12回(07月01日) 情報源符号化演習
第13回(07月08日) 線形符号
第14回(07月15日) ランダム符号
第15回(07月--日) 学力考査及び解説

教科書　特に指定しない．

参考文献　・平澤茂一著「情報数理シリーズA-6　情報理論入門」培風館
・平澤茂一著「情報数理シリーズB-1　情報理論」培風館
・橋本猛著「情報理論」培風館
・David J. C. MacKay「Information Theory, Inference, and Learning Algorithms」Cambridge Univ. Press

評価方法　定期試験及びレポートにより評価する．

備考

関連URL:　http://www.eb.waseda.ac.jp/m_inoue/info/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	確率・統計		
科目キー	2806021049		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村田　昇		

副題

授業概要　システム制御や信号処理、あるいは機械学習といった分野では雑音や誤差を含んで観測される信号に基づいて様々な処理を行わなくてはいけない場面が多い。こうした不確定性を伴なって観測されるデータを記述するための道具立てとして確率論と統計学があるが、本講義では多くの工学分野で必要とされる確率・統計について基本的な考え方を学ぶ。まずはじめに測度論に基づいた確率論を概説し、数学的な枠組に慣れる。その後統計的な手法として、推定論と検定論の基礎を学ぶ。

シラバス
第　1回（4月　7日）オリエンテーション
第　2回（4月14日）有限試行の確率空間
第　3回（4月21日）一般の確率空間
第　4回（4月28日）確率分布と確率密度
第　5回（5月12日）確率変数
第　6回（5月19日）平均と分散
第　7回（5月26日）条件付確率と独立性
第　8回（6月　2日）大数の法則と中心極限定理
第　9回（6月　9日）計算機による乱数の生成
第10回（6月16日）母数推定の考え方
第11回（6月23日）平均値の推定
第12回（6月30日）不偏推定
第13回（7月　7日）最尤推定
第14回（7月14日）仮説検定の考え方
第15回（日程別途指示）学力考査および解説

教科書　講義資料はCourseN@viで公開

参考文献

評価方法　定期試験・レポート

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	多変量解析		
科目キー	2806021050		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村田　昇		

副題

授業概要　多変量解析法は多次元の変量を解析するために開発された方法の総称であるが、この講義ではその中の主要な方法の基本的な考え方を修得することを目的とする。データを縮約し、その構造をより鮮明に捉えるために少数の変量に変換する手法として回帰分析、主成分分析を、多数の変量を手掛りにデータを分類するための手法として判別分析、クラスタ分析を学ぶ。また有無といった本来量ではなく質を表わすような変数を数量化して、上記手法を適用する方法についても学ぶ。数理統計学の基礎的な知識と線形代数の知識は必須である。

シラバス
第　1回（　9月30日）オリエンテーション
第　2回（10月　7日）多変量解析の考え方
第　3回（10月14日）R言語の基礎
第　4回（10月28日）確率・統計と行列計算の基礎
第　5回（11月　4日）回帰分析
第　6回（11月11日）回帰分析演習
第　7回（11月18日）主成分分析
第　8回（11月25日）主成分分析演習
第　9回（12月　2日）判別分析
第10回（12月　9日）判別分析演習
第11回（12月16日）クラスタ分析
第12回（　1月　6日）クラスタ分析演習
第13回（　1月13日）質的データの数量化
第14回（　1月20日）学力考査および解説
第15回（日程別途指示）授業理解の確認を行う。確認方法は授業中に指示する。

教科書　講義資料はCourseN@viで公開

参考文献　参考書:
「多変量解析入門」永田靖・棟近雅彦，サイエンス社，2001.
など

評価方法　定期試験・レポート

備考　数理統計学の基礎的な知識と線形代数の知識は必須である。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物学史		
科目キー	2806021051		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩崎　秀雄		

副題

授業概要　生物学は「生命・生物」に関する自然科学的アプローチであるが、それゆえ古今の生命観・死生観と密接な関わりがあり、文化的・社会的・歴史的に多くの周辺事象を抱える学問領域である。本講義の目的は、このような生命科学の存立基盤を学説史のみならず、社会・思想・文化などの立場からも冷静に捉え直してみることである。

このため、16〜19世紀末にかけての西洋での生物学の胎動と制度化の過程を例に、科学基礎論の三本柱である科学哲学・科学社会学・科学史について概説する。また、19-20世紀に顕在化してきた生命倫理・医療倫理の課題について解説するとともに、近代化の中で衰退した博物学・本草学の独特の知的空間について、紀州博物学派を例に解説する。さらに、生命リズムの周辺事象をケーススタディとし、文化誌・イメージ史・芸術・科学ジャーナリズムがどのように生命科学の進展と関わってきたのかを解説する。

シラバス

教科書　教科書は特に指定しないが，学部学生のうちに，骨のある科学論の著作を読み，自分の人生における科学や技術の位置づけについてじっくり考え直す機会を作って欲しい。
その都度参考になる文献を紹介する。

参考文献

評価方法　私語は厳禁だが，質問・議論は歓迎する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子生物学I		
科目キー	2806021052		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	胡桃坂　仁志		

副題

授業概要　2003年にヒトゲノムの解読が完了し、現在までに多くの生物種のゲノム解読がなされている。ゲノムとは、ある生物種を構築するために必要なDNA情報を意味し、そのなかで最も重要な情報が遺伝子の情報である。個々の遺伝子がどのような構造を持ち、どのように働くかを理解することが重要であるのは勿論であるが、生体まるごとの機能を遺伝子がどのようにして生み出すのかを知るためには、ゲノムワイドでの遺伝子の機能を理解する必要がある。そこで本講義（分子生物学IおよびII）では、生命の誕生と維持の理解に必要な分子生物学的な基礎である、遺伝子の“複製”“転写”“修復”“組換え”そしてタンパク質への“翻訳”の分子機構を中心に学ぶ。それらを通して、遺伝子というミクロな世界の出来事から個体に生ずるマクロな現象を理解する基礎を身につけることを目標とする。

シラバス
第1回：遺伝物質としてのDNA（遺伝子）
第2回：遺伝物質としてのDNA（遺伝の法則）
第3回：遺伝物質としてのDNA（遺伝子DNAの発見）
第4回：DNAおよびRNAの構造と機能
第5回：DNAおよびRNAの構造と機能
第6回：DNA複製（半保存的複製を中心に）
第7回：DNA複製（DNAポリメラーゼを中心に）
第8回：DNA複製（複製フォーク進行とDNA鎖合成）
第9回：DNA損傷と修復（ミスマッチ修復を中心に）
第10回：DNA損傷と修復（DNA損傷機構を中心に）
第11回：DNA損傷と修復（塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復を中心に）
第12回：相同組換え（細胞分裂における相同組換えの重要性を中心に）
第13回：相同組換え（反応の分子機構を中心に）
第14回：相同組換え（相同組換えタンパク質群を中心に）
第15回：定期試験

教科書　Molecular Biology of the Gene (Sixth edition)

参考文献　イラストで見る　やさしい先端バイオ　羊土社　胡桃坂仁志著
基本がわかれば面白い！　バイオの授業　羊土社　胡桃坂仁志著

評価方法　レポートおよび定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子生物学II		
科目キー	2806021053		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	胡桃坂　仁志		

副題

授業概要　生命体を維持するために、生物は巨大なゲノムDNAに生存に必要な情報を保持している。このような巨大分子であるDNAが、小さい細胞核内に収容され、かつ効率よく機能するためには、高度に調節されたメカニズムが必要である。分子生物学の基礎である、遺伝子の“複製”“転写”“修復”“組換え”“翻訳”の基本メカニズムを踏まえた上で、これらが生体内においてどのように調節されているのかを、分子レベルで理解することを目標とする。特に分子生物学IIにおいては、遺伝子の転写、mRNAのスプライシング、タンパク質への翻訳、高次の染色体構造（クロマチン）について理解する。

シラバス
第1回：遺伝子の転写
第2回：転写の分子機構（遺伝子の構造を中心に）
第3回：転写の分子機構（RNAポリメラーゼを中心に）
第4回：転写の分子機構（開始から終結まで）
第5回：RNAスプライシング（機能的および進化的重要性を中心に）
第6回：RNAスプライシングの分子機構（RNAを中心に）
第7回：RNAスプライシングの分子機構（スプライシング因子群を中心に）
第8回：RNAスプライシングの分子機構（転写、スプライシング、翻訳）
第9回：翻訳（翻訳に関わるRNA分子群を中心に）
第10回：翻訳（コドンとtRNAを中心に）
第11回：翻訳（ペプチド合成反応を中心に）
第12回：翻訳（リボソームを中心に）
第13回：染色体（ヒストンとクロマチン構造）
第14回：染色体（クロマチン構造と遺伝子の機能制御を中心に）
第15回：定期試験

教科書　Molecular Biology of the Gene (Sixth edition)

参考文献　イラストでみる　やさしい先端バイオ　羊土社　胡桃坂仁志著
基本がわかれば面白い！　バイオの授業　羊土社　胡桃坂仁志著

評価方法　レポートおよび定期試験

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	分子進化学		
科目キー	2806021054		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	岡野　俊行		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	薬理学I		
科目キー	2806021055		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柴田　重信		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生化学		
科目キー	2806021058		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井上　宏子		

副題

授業概要　細胞を構成する分子には多くの種類があり、それらが様々な機能を担っている。本講義では、そのうちのタンパク質、脂質、及びそれらの関連分子の構造、機能、代謝について学ぶ。また、細胞外からの刺激に対する細胞応答の分子機構についても学ぶ。

シラバス

第1回水の性質
第2回アミノ酸
第3回ペプチド
第4回タンパク質の構造
第5回タンパク質の機能
第6回タンパク質の分析法
第7回酵素I
第8回酵素II
第9回脂質
第10回膜の構造
第11回膜の輸送
第12回細胞の情報伝達I
第13回細胞の情報伝達II
第14回神経化学
第15回学力試験

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	遺伝学		
科目キー	2806021059		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岩崎　秀雄		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生理学		
科目キー	2806021060		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柴田　重信		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	免疫学		
科目キー	2806021061		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岡野　俊行		

副題

授業概要

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	発生生物学		
科目キー	2806021062		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小嶋　徹也		

副題

授業概要　脊椎動物をはじめとする多くの多細胞動物では、受精卵という多分化能を持った単細胞が規定の細胞数まで増殖する過程で、各細胞は細胞間の相互作用を介してそれぞれに必要な構造や機能を獲得してゆく。また、その過程で不要となった細胞はプログラム細胞死によって積極的に除去される。こうして構造的・機能的に多様な細胞からなる様々な組織や器官が形成され、それらの集合体として最終的には生物個体が構築される。これが発生過程であり、その仕組みを理解しようとするのが発生生物学である。分子生物学の進んだ現在、ダイナミックな発生過程が、遺伝子及び遺伝子産物であるタンパク質の機能という分子レベルでどの様に理解されているのかについて学ぶ。同時に、生物の発生過程を分子レベルで明らかにするための様々なアプローチについても学ぶ。

シラバス
11/14 1. 発生生物学序論
11/14 2. 遺伝子の転写と翻訳
11/14 3. 細胞間シグナル伝達
11/21 4. 発生メカニズムの解析法
11/21 5. 初期発生(3胚葉の形成過程) I
11/21 6. 初期発生(3胚葉の形成過程) II
11/28 7. 外胚葉由来組織の発生 I
11/28 8. 外胚葉由来組織の発生 II
11/28 9. 中胚葉由来組織の発生 I
12/05 10. 中胚葉由来組織の発生 II
12/05 11. 内胚葉由来組織の発生
12/05 12. 肢芽や付属肢の発生
12/12 13. 幹細胞
12/12 14. 進化と発生
12/12 15. ショウジョウバエの発生学

※全日程3-5時限

※全日程52-302教室

教科書　なし

参考文献　Developmental Biology, Scott F. Gilbert (著) Sinauer Associates Inc.

評価方法　毎回の講義への出席とその日の最後に行う小テストの点数により評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	神経生物学		
科目キー	2806021063		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井上　宏子		

副題

授業概要

シラバス

第1回脳の構造
第2回神経系の構造
第3回神経伝達物質
第4回シナプスの構造
第5回イオンチャネル
第6回シナプス伝達
第7回受容体I
第8回受容体II
第9回学習と記憶I
第10回学習と記憶II
第11回神経栄養因子
第12回神経細胞死
第13回神経再生
第14回感覚受容器
第15回学力試験

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数理生物学		
科目キー	2806021064		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高松　敦子		

副題

授業概要　近年の分子生物学の発展により、生命を構成する部品、遺伝子、タンパク質などについて多くの情報が得られるようになってきた。細胞内ではこれらのたくさんの種類の物質が複雑な生化学反応をしており、その結果、生物は「生きているシステム」として動的に振る舞っている。これからの生物学において、このように複雑なシステムについて見通しの良い研究を行うには、数理的ツールがますます重要となる。この授業では、生命系に見られるさまざまな動的現象について、数理をツールとして理解を深めることを目指している。細胞内反応の基本である酵素反応から始め、細胞内に見られる振動反応、膜興奮、細胞のパターン形成に至るまで、細胞内・細胞間における動的振る舞いについて、これまで数理ツールを用いて良く理解されてきた系や現象を中心に概観する。

シラバス　以下の目次で授業を行う。
(1)細胞内反応と酵素反応
(2)生体反応の制御とリズム
(3)膜と興奮系

第　1回（4月　6日）イントロダクション
第　2回（4月13日）生命現象をモデル化するということ

(1)細胞内反応と酵素反応
第　3回（4月20日）細胞反応と酵素反応
第　4回（4月27日）ミカエリスメンテンの式
第　5回（5月11日）酵素反応の阻害反応
第　6回（5月18日）ヒルの式

(2)生体反応の制御とリズム
第　7回（5月25日）生体反応のモデル化
第　8回（6月　1日）2成分系の解析方法
第　9回（6月　8日）2成分系の実例
第10回（6月15日）3成分系の振動反応とその他の反応

(3)膜と興奮系
第11回（6月22日）振動反応から興奮系の反応へ
第12回（6月29日）興奮性膜のモデル化
第13回（7月　6日）Hodgkin-Huxley方程式
第14回（7月13日）4変数モデルから2変数モデルへ

第15回（日程別途指示）学力考査および解説

なお、細胞生物学A, 常微分方程式については習得済みのものとして授業を進める。

教科書　なし

参考文献　生命の数理 巌佐庸(2008)
理論生物学入門　関村利郎, 竹内安弘, 梯正之, 山村則男　著　現代図書　(2008)
Mathematical Biology I, II; Murray; Springer,
Mathematical Physiology; Keener; Springer,
Computational Cell Biology; Fall, Marland, Wagner, Tyson; Springer
Mathematical Models in Biology, L. Edelsterin-Keshet, SIAM (1988)
Understanding Nonlinea Dynamics, D. Kaplan and L. Glass , Springer (1995)

評価方法　レポートおよび定期試験

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/atsuko_ta/MathBio.html

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	数理生物学		
科目キー	2806021064		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電気エネルギーシステムと環境		
科目キー	2806021070		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	林　泰弘		

副題

授業概要　CO2排出量削減や省エネなど環境負荷低減の観点から国内外で導入されている太陽光発電，風力発電，燃料電池などの新エネルギーと呼ばれる分散型電源の発電原理や特徴・課題を理解するとともに，それらが面的に広範に分布して電気エネルギーネットワークに接続され，電気エネルギーを供給した際の電気エネルギーシステム全体のCO2排出量削減効果や省エネ効果を定量的に評価するための基本的知識を習得する。電気エネルギー分野と環境分野の境界領域に興味のある学生の受講を勧めます。

シラバス
（1回）　電気エネルギーネットワークと分散型電源（新エネルギー）
（2-3回）　太陽光発電
（4-5回）　風力発電
（6回）　燃料電池
（7回）　スマートグリッド
（8-9回）　分散型電源が電気エネルギーネットワークの電圧に与える影響
（10-11回）分散型電源が電気エネルギーネットワークのエネルギーロスに与える影響
（12-13回）分散型電源による電気エネルギーシステムの省エネ効果
（14回）　分散型電源による電気エネルギーシステムのCO2排出量削減効果
（15回）　期末試験

教科書　特になし

参考文献

評価方法　期末試験結果により評価

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	基礎統計熱力学		
科目キー	2806022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	角田　頼彦		

副題

授業概要　古典熱力学と統計力学、および量子統計力学の初歩を学ぶ。前期は主に古典熱力学および統計力学への入門を、後期には統計力学の初歩から量子統計の基礎について学ぶ。特に電気電子情報学科の学生を対象にしているので、半導体の原理が理解できるようになることを最終目的とする。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	生物有機化学		
科目キー	2806022002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樹林　千尋		

副題

授業概要　生命現象を物質に基づいて統一的に理解することができるよう、生体分子と生物の諸現象を化学の言葉で解説する。生体分子としては最重要である糖質、タンパク質（アミノ酸を含む）、脂質、核酸を取り上げ、これらの構造、化学的性質、生体における機能などについて解説する。

シラバス
(1)生体分子とその起源
(2)糖質の化学：単糖の分類と構造
(3)糖質の化学：単糖の立体配置と立体配座
(4)糖質の化学：単糖の反応
(5)糖質の化学：オリゴ糖および多糖
(6)アミノ酸、ペプチド、タンパク質の化学：アミノ酸の構造と性質
(7)アミノ酸、ペプチド、タンパク質の化学：アミノ酸の化学的性質と合成
(8)アミノ酸、ペプチド、タンパク質の化学：ペプチドの構造と合成
(9)アミノ酸、ペプチド、タンパク質の化学：タンパク質の構造
(10)脂質の化学：脂肪酸および単純脂質
(11)脂質の化学：複合脂質およびステロイド
(12)核酸の化学：核酸の構成要素と基本骨格
(13)核酸の化学：DNA の構造と合成
(14)核酸の化学：DNA の複製および RNA の転写
(15)学力考査及び解説

教科書　新版ライフサイエンスの有機化学（三共出版）

参考文献　マクマリー有機化学・下巻（東京化学同人）

評価方法　定期試験および出席状況により評価する。

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学要論		
科目キー	2806031001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	小林　正和		

副題

授業概要　主として非物理系の学生を念頭において電磁気学に関する基礎的能力を養う。まずベクトル解析の基礎を講義し、ベクトル、スカラーの簡単な演算、微分操作を可能にする。続いて電磁気学における単位系について説明し、実際の環境における単位系との関係を理解していく。さらに静電場、静電ポテンシャル、静電エネルギー、電流、静磁場、電磁波の順に講義し、マクスウエルの方程式が理解できるレベルに到達できるようにする。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学要論演習		
科目キー	2806031002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	小林　正和		

副題

授業概要　″非物理系の学生に電磁気学に関する基礎的能力を養うことを目的に、精選された電磁気学に関する問題に取り組む。問題は複雑なもの、難解なものを避け、基本的な原理を理解するにふさわしい問題が提供される。演習を通じ最終的にマクスウエルの方程式の理解と簡単な応用ができるレベルを目指す。この間学生は教員および指導助手に直接質問し指導を受けることができる。

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （1クラス）		
科目キー	2806031003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石山　敦士		

副題

授業概要

電磁気学は、回路理論と並んで、電気関連の仕事をしていく上で最も基本となる学問である。本講義は、いわゆる「古典電磁気学」と言われる範囲の電磁現象（巨視的電磁現象）を扱うが、そのほとんどはすでに高校までの物理でお目にかかっているものである。この現象をいかに数学的に表現するかを本講義で学んでいく。従って、電磁現象と数式表現の関連を把握することが最も重要であり、苦労する点である。この学問体系をわずか1年という短期間で学ばせてしまおうとすることは本来無謀であるといってよい。何度見直しても理解度が深まっていく余地のある奥の深い学問である。単位取得後も自らの「電磁気学」の世界を広げていってもらいたい。

1．ベクトル解析の基礎、2．クーロンの法則・電界の強さ、3．電束密度・ガウスの定理・発散、4．エネルギー・電位、5．電流・導体、6．定常磁界　の順に学んでいく。

「電磁気学B」では以下を学ぶので是非引き続き履修してもらいたい。7．誘電体・静電容量、8．電磁力・磁性体・インダクタンス、9．時間的に変化する場（マクスウェル方程式）、10．ラプラスとポアソンの方程式

シラバス

第1回
1章．ベクトル解析の基礎
1．1スカラーとベクトル
1．2ベクトル代数
1．3直交座標系
1．4ベクトル成分と単位ベクトル
1．5スカラー場・ベクトル場

第2回
1．6内積
1．7外積
1．8その他の座標系
1．9座標系の変換
2章．クーロンの法則・電界の強さ
2．1　電荷・電荷密度
2．2　単位系
2．3　クーロンの実験的法則

第3回
2．4　n個の点電荷による電界
2．5　連続に分布する体積電荷による電界
2．6　線電荷・面電荷による電界

第4回
2．7　流線（電気力線）
3章．電束密度・ガウスの定理・発散
3．1電束密度
3．2ガウスの定理
3．3ガウスの定理の応用

第5回
3．3ガウスの定理の応用
3．4発散（ガウスの定理の微分形）
3．5ベクトル演算子▽と発散の定理

第6回
4章．エネルギー・電位
4．1　電荷を動かすエネルギー
4．2　線積分

第7回
4．3　電位差の定義と電位

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （1クラス）		
科目キー	2806031003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

４．４　点電荷の作る電位の場
４．５　離散電荷の作る電位の場（保存場）

第8回
学力考査と解説

第9回
４．６　電位の勾配
４．８　静電界のエネルギー密度

第10回
5章. 電流・導体
５．１　電流と電流密度
５．2電流の連続性
５．3金属導体・抵抗・オームの法則

第11回
５．４導体の性質と境界条件
５．５影像法

第12回
6章. 定常磁界
６．１　ビオ・サバールの法則
６．２　アンペアの周回積分の法則

第13回
６．３　回転・ヘルムホルツの定理
６．４　ストークスの定理

第14回
６．５　磁束と磁束密度
６．６　磁位とベクトルポテンシャル

第15回
学力考査と解説

教科書　W. H. ヘイト著　山中他訳「工学系の基礎電磁気学」朝倉書店

参考文献　適宜紹介

評価方法　試験（2回実施）、演習、宿題（レポート）の成績の総合的な評価により行う。

備考

関連URL:　http://www.super.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （1クラス）		
科目キー	2806031003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （2クラス）		
科目キー	2806031003		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大木　義路		

副題

授業概要　電力から情報通信まで電気を使う全ての技術の文字通り土台であり、多くの生命現象の元ともなっている重要な電磁気現象を学ぶことを目的とする。同時に自然科学の中で数学的な説明が最も美しくなされ、最も体系的な学問であるとも言われる電磁気学を通じ自然科学の考え方の修得し、理論構築の楽しさ、美しさを体験することを目的とする。電磁気Aの範囲は、真空中の電磁界が中心となる。

シラバス

(1)1章 ベクトル解析
1･1 ベクトルに関する基礎事項
1･2 ベクトルの積
(2)1･3 ベクトルの位置に関する微分
1･3･1 スカラー場と勾配（gradient）
1･3･2 ベクトル場の発散(divergence)
(3)1･3･3 ベクトル場の回転 (rotation)
(4)1･4 ベクトルの積分と積分定理
1･4･1 勾配の線積分とスカラー場の変化量
1･4･2 面積分とガウスの定理
1･4･3 周回積分とストークスの定理
1･4･4 円柱座標、極座標におけるgrad, div, rot, Laplacian
(5)2章真空中の静電界
2･1 電界と電気力線
2･2 電位差と電位
2･3 基本的な電荷配置による電位と電界
(6)2･4 ガウスの定理
2･5 ラプラースおよびポアッソンの方程式
(7)3章 静電容量
3･1 静電容量
3･2 コンデンサ
3･3 電位係数と容量係数･静電誘導係数
(8)4章 電流の作る磁界
4･1 アンペールの法則
4･2 磁界のベクトルポテンシャル
(9)4･3 ビオ･サバールの法則
4･4 磁位（マグネティックスカラーポテンシャル）と等価板磁石の法則
4･5 電流の作る磁界の例
(10)5章 磁界の定義としてのローレンツ力
5･1 荷電粒子に働く力
(11)5･2 電流が磁界より受ける力
(12)6章 電磁誘導とインダクタンス
6･1 電磁誘導
6･2 時間的に変化する磁界による電磁誘導
(13)6･3 磁束切断による誘導起電力
6･4 磁束変化と磁束切断が一緒に存在するときの誘導起電力
(14)中間テスト[実施日未定]
(15)定期テスト
授業計画の全ての記載は一応の予定である。授業の内容や進行速度あるいは順序を変更すること、上に記載のない授業期間中の試験実施等の種々の変更を講ずることがある。

教科書　教科書「EE Text電磁気学」 大木義路編著　オーム社
（参考書として「電磁気学演習」 大木義路著　産業図書）

参考文献

評価方法　評価はレポート、平常点、出席、テストを総合して行う。テストは演習のテストと合併して中間と期末の2回(以上)行う。

備考　レポート
1. レポートの書式

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A （2クラス）		
科目キー	2806031003		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

－レポートの用紙はA4とする。
－レポートの書き出しには
a. 科目名。
b. 学生番号、氏名。
c. 出題日、提出日。
などの情報を第1ページの上部に記載すること。レポートは原則的に返却しないので、提出前に自分でノートに写すなり、コピーをとるなりすること。
2. レポートの提出場所
－授業の開始時までに教卓の上に提出すること。TAが回収する。
3. 期限外レポートの扱い
－レポートは、期限内に提出すべきものであることは言うまでもないが、期限に遅れたものについても、それなりの評価を行う。よって遅れたからといって諦めずに、必ず提出すること。ただし、回答配布後は無効。
4. その他
－白紙に近いレポートは未提出と同じ扱いとする。他人のレポートの丸写しはカンニングとなる。
注意事項： 私語をする者、授業を聞く気の少ない者は選択しないで頂きたい。また、上記の者には退席をお願いすることがある。

関連URL:

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A・演習 （1クラス）		
科目キー	2806031004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石山　敦士		

副題

授業概要

演習は「電磁気学A（1クラス）の講義内容のより確実な把握のためにある。自分で考え、手を動かし、体得しなければならない。それが電気技術者・研究者としてのセンスを磨くことになる。電磁現象はその実体を目で見ることはできないが、頭の中で豊かに想像・表現されなければならない。その点で実験科目も重要であり、講義との対応を常に念頭に置いてもらいたい。毎回与えられた演習課題を解き、最後にレポートとして提出する。また、毎回宿題を課す。演習において疑問点は積極的にTAに質問すること。

演習には、A4レポート用紙、正方眼紙、関数電卓、定規、ホチキスを持参のこと。

1．ベクトル解析の基礎、2．クーロンの法則・電界の強さ、3．電束密度・ガウスの定理・発散、4．エネルギー・電位、5．電流・導体、6．定常磁界　の順に学んでいく。

シラバス

第1回

1章．ベクトル解析の基礎

1．1スカラーとベクトル

1．2ベクトル代数

1．3直交座標系

1．4ベクトル成分と単位ベクトル

1．5スカラー場・ベクトル場

第2回

1．6内積

1．7外積

1．8その他の座標系

1．9座標系の変換

2章．クーロンの法則・電界の強さ

2．1　電荷・電荷密度

2．2　単位系

2．3　クーロンの実験的法則

第3回

2．4　n個の点電荷による電界

2．5　連続に分布する体積電荷による電界

2．6　線電荷・面電荷による電界

第4回

2．7　流線（電気力線）

3章．電束密度・ガウスの定理・発散

3．1電束密度

3．2ガウスの定理

3．3ガウスの定理の応用

第5回

3．3ガウスの定理の応用

3．4発散（ガウスの定理の微分形）

3．5ベクトル演算子▽と発散の定理

第6回

4章．エネルギー・電位

4．1　電荷を動かすエネルギー

4．2　線積分

第7回

4．3　電位差の定義と電位

4．4　点電荷の作る電位の場

4．5　離散電荷の作る電位の場（保存場）

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A・演習　（1クラス）		
科目キー	2806031004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

第8回
　学力考査と解説

第9回
　4．6　電位の勾配
　4．8　静電界のエネルギー密度

第10回
　5章．電流・導体
　5．1　電流と電流密度
　5．2電流の連続性
　5．3金属導体・抵抗・オームの法則

第11回
　5．4導体の性質と境界条件
　5．5影像法

第12回
　6章．定常磁界
　6．1　ビオ・サバールの法則
　6．2　アンペアの周回積分の法則

第13回
　6．3　回転・ヘルムホルツの定理
　6．4　ストークスの定理

第14回
　6．5　磁束と磁束密度
　6．6　磁位とベクトルポテンシャル

第15回
　学力考査と解説

教科書　W．H．ヘイト著　山中他訳「工学系の基礎電磁気学」朝倉書店

参考文献　適宜紹介

評価方法　試験（2回実施）、演習、宿題（レポート）の成績の総合的な評価により行う。

備考

関連URL:　http://www.super.elec.waseda.ac.jp/

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A・演習　（2クラス）		
科目キー	2806031004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大木　義路		

副題

授業概要　電力から情報通信まで電気を使う全ての技術の文字通り土台であり、多くの生命現象の元ともなっている重要な電磁気現象を学ぶことを目的とする。同時に自然科学の中で数学的な説明が最も美しくなされ、最も体系的な学問であるとも言われる電磁気学を通じ自然科学の考え方の修得し、理論構築の楽しさ、美しさを体験することを目的とする。本講義は電磁気Aに付属する演習であり、その範囲は、真空中の電磁界が中心となる。

シラバス

(1)1章 ベクトル解析
1･1 ベクトルに関する基礎事項
1･2 ベクトルの積
(2)1･3 ベクトルの位置に関する微分
1･3･1 スカラー場と勾配（gradient）
1･3･2 ベクトル場の発散(divergence)
(3)1･3･3 ベクトル場の回転 (rotation)
(4)1･4 ベクトルの積分と積分定理
1･4･1 勾配の線積分とスカラー場の変化量
1･4･2 面積分とガウスの定理
1･4･3 周回積分とストークスの定理
1･4･4 円柱座標、極座標におけるgrad, div, rot, Laplacian
(5)2章真空中の静電界
2･1 電界と電気力線
2･2 電位差と電位
2･3 基本的な電荷配置による電位と電界
(6)2･4 ガウスの定理
2･5 ラプラースおよびポアッソンの方程式
(7)3章 静電容量
3･1 静電容量
3･2 コンデンサ
3･3 電位係数と容量係数･静電誘導係数
(8)4章 電流の作る磁界
4･1 アンペールの法則
4･2 磁界のベクトルポテンシャル
(9)4･3 ビオ･サバールの法則
4･4 磁位（マグネティックスカラーポテンシャル）と等価板磁石の法則
4･5 電流の作る磁界の例
(10)5章 磁界の定義としてのローレンツ力
5･1 荷電粒子に働く力
(11)5･2 電流が磁界より受ける力
(12)6章 電磁誘導とインダクタンス
6･1 電磁誘導
6･2 時間的に変化する磁界による電磁誘導
(13)6･3 磁束切断による誘導起電力
6･4 磁束変化と磁束切断が一緒に存在するときの誘導起電力
(14)中間テスト[実施日未定]
(15)定期テスト
授業計画の全ての記載は一応の予定である。授業の内容や進行速度あるいは順序を変更すること、上に記載のない授業期間中の試験実施等の種々の変更を講ずることがある。

教科書　教科書「EE Text電磁気学」 大木義路編著　オーム社
（参考書として「電磁気学演習」 大木義路著　産業図書）

参考文献

評価方法　評価はレポート、平常点、出席、テストを総合して行う。テストは演習のテストと合併して中間と期末の2回(以上)行う。

備考　レポート
1. レポートの書式

配当年度	2009　年度		
科目名付クラス名	電磁気学A・演習 （2クラス）		
科目キー	2806031004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

－レポートの用紙はA4とする。
－レポートの書き出しには
a. 科目名。
b. 学生番号、氏名。
c. 出題日、提出日。
などの情報を第1ページの上部に記載すること。レポートは原則的に返却しないので、提出前に自分でノートに写すなり、コピーをとるなりすること。
2. レポートの提出場所
－授業の開始時までに教卓の上に提出すること。TAが回収する。
3. 期限外レポートの扱い
－レポートは、期限内に提出すべきものであることは言うまでもないが、期限に遅れたものについても、それなりの評価を行う。よって遅れたからといって諦めずに、必ず提出すること。ただし、回答配布後は無効。
4. その他
－白紙に近いレポートは未提出と同じ扱いとする。他人のレポートの丸写しはカンニングとなる。
注意事項： 私語をする者、授業を聞く気の少ない者は選択しないで頂きたい。また、上記の者には退席をお願いすることがある。

関連URL: